

東京港港湾計画資料（その1）

— 改 訂 —

令和5年11月

東京港港湾管理者
東京都

総目次

I 港湾計画の方針に関する資料	I-1
1. 港湾の沿革、現況	I-1
1-1 港湾の位置	I-1
1-2 港湾の沿革	I-3
2. 東京港を取り巻く状況	I-9
2-1 物流	I-10
2-2 防災・維持管理	I-18
2-3 環境	I-20
2-4 観光・水辺のまちづくり	I-22
2-5 長期構想の策定及び関連計画	I-23
3. 港湾計画の方針	I-24
3-1 [物流] 世界とつながるリーディングポート	I-25
3-2 [防災・維持管理] 信頼をつなぐレジリエントポート	I-26
3-3 [環境] 未来へつなぐグリーンポート	I-28
3-4 [観光・水辺のまちづくり] にぎわいをつなぐゲートウェイ	I-29
4. 港湾計画の実現に向けて	I-30
4-1 世界・国内の港湾、関係機関等との連携	I-30
4-2 貨物需要等の状況に応じた既存ストックの活用	I-30
4-3 港の仕事のPR・快適で働きやすい環境の実現	I-30
4-4 港湾空間のゾーニング	I-31
II 港湾の能力に関する資料	II-1
1. 取扱貨物量	II-1
1-1 取扱貨物量の推移	II-1
1-2 取扱貨物量の設定	II-31
2. 入港船舶隻数	II-62
2-1 入港最大標準船型	II-62
2-2 船舶の利用状況	II-63
2-3 入港船舶隻数の推計	II-65
3. 港湾利用者数	II-74
3-1 港湾利用者数の設定の方針	II-74
3-2 港湾利用者数の設定	II-75

III 港湾施設の規模及び配置	III-1
1. 公共埠頭計画	III-1
1-1 公共埠頭計画.....	III-1
1-2 外内貿コンテナ埠頭計画.....	III-16
1-3 内貿ユニットロード埠頭計画.....	III-25
1-4 外貿埠頭計画.....	III-30
1-5 内貿埠頭計画.....	III-34
2. 旅客船埠頭計画	III-39
2-1 旅客船埠頭の現況.....	III-39
2-2 旅客船埠頭計画の必要性.....	III-39
2-3 旅客船埠頭の規模及び配置.....	III-40
3. 旅客船埠頭（小型栈橋）計画	III-42
3-1 旅客船埠頭（小型栈橋等）の現況.....	III-42
3-2 旅客船埠頭（小型栈橋等）計画の必要性.....	III-43
3-3 旅客船埠頭（小型栈橋等）の規模及び配置.....	III-44
4. 木材取扱施設計画	III-47
4-1 木材取扱施設の現況.....	III-47
4-2 木材取扱施設の規模及び配置.....	III-47
5. 専用埠頭計画	III-49
5-1 専用埠頭の現況.....	III-49
5-2 専用埠頭計画の必要性.....	III-50
5-3 専用埠頭の規模及び配置.....	III-50
6. 水域施設計画	III-52
6-1 航路計画	III-52
6-2 泊地計画	III-54
6-3 操船例図	III-57
7. 外郭施設計画	III-70
7-1 防波堤計画	III-70
8. 小型船だまり計画	III-77
8-1 小型船だまりの現況.....	III-77
8-2 小型船だまり計画.....	III-78
9. 臨港交通施設計画	III-79
9-1 臨港道路の現況.....	III-79
9-2 臨港道路計画の必要性.....	III-79
9-3 臨港道路計画の変更.....	III-79
9-4 交通対策	III-79

10. マリーナ計画	III-81
10-1 マリーナの現況	III-81
10-2 マリーナ計画	III-82
IV 港湾の環境の整備及び保全	IV-1
1. 自然的環境を整備又は保全する区域	IV-1
1-1 良好な景観を形成する区域	IV-1
2. 廃棄物処理計画	IV-3
2-1 港湾における廃棄物処理場の現況	IV-3
2-2 港湾における廃棄物処理の必要性	IV-3
2-3 港湾において処分する廃棄物の種類及び量	IV-4
2-4 海面処分用地の規模及び配置	IV-5
3. 港湾環境整備施設計画	IV-7
3-1 緑地・海浜の現況	IV-7
3-2 緑地・海浜計画の必要性	IV-9
3-3 緑地・海浜の確保の考え方	IV-10
3-4 緑地計画・海浜計画	IV-11
4. 東京港におけるカーボンニュートラルポートの実現	IV-14
V 土地造成及び土地利用計画	V-1
1. 土地造成計画	V-1
1-1 土地造成の必要性	V-1
1-2 土地造成に係る土地利用計画	V-2
2. 土地利用計画	V-4
2-1 土地利用計画の変更内容	V-4
3. 海浜計画	V-13
4. 臨港地区の範囲	V-14
5. 地盤高	V-15
5-1 浸水想定	V-15
5-2 地盤高	V-16
VI 港湾の効率的な運営に関する事項	VI-1
1. 港湾の効率的な運営に関する事項	VI-1
VII その他重要事項	VII-1
1. 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設	VII-1
2. 港湾及び港湾に隣接する地域の保全	VII-2
2-1 海岸保全施設等	VII-2
2-2 東京港海岸保全施設整備計画（令和5年3月）	VII-4

3.	大規模地震対策施設	VII-7
3-1	耐震強化岸壁整備の基本的な考え方	VII-7
3-2	緊急物資輸送対応施設	VII-7
3-3	幹線貨物輸送対応施設	VII-9
4.	港湾施設の利用	VII-11
4-1	物資補給等のための施設	VII-11
5.	その他港湾の開発、利用及び保全に関する事項	VII-12
5-1	橋梁の桁下空間の確保	VII-12
5-2	放置等禁止区域	VII-15
5-3	将来構想	VII-18
VIII	その他	VIII-1
1.	港湾区域の範囲	VIII-1
2.	港湾の周辺条件	VIII-3
2-1	経済的・社会的条件	VIII-3
2-2	自然条件	VIII-6
3.	港湾の沿革	VIII-19
4.	港湾施設の現況	VIII-25
4-1	水域施設	VIII-25
4-2	外郭施設	VIII-25
4-3	係留施設	VIII-26
4-4	荷捌施設	VIII-28
4-5	保管施設	VIII-31
4-6	旅客施設	VIII-31
4-7	マリーナ施設	VIII-32
4-8	その他の施設	VIII-33
5.	過去の計画一覧	VIII-34
6.	新旧法線対象図	VIII-52
7.	東京都港湾審議会委員名簿	VIII-54
8.	将来イメージ	VIII-55

I 港灣計画の方針に関する資料

目 次

I 港湾計画の方針に関する資料	I-1
1. 港湾の沿革、現況	I-1
1-1 港湾の位置.....	I-1
1-2 港湾の沿革.....	I-3
2. 東京港を取り巻く状況	I-9
2-1 物流.....	I-10
2-2 防災・維持管理.....	I-18
2-3 環境.....	I-20
2-4 観光・水辺のまちづくり.....	I-22
2-5 長期構想の策定及び関連計画.....	I-23
3. 港湾計画の方針	I-24
3-1 [物流] 世界とつながるリーディングポート.....	I-25
3-2 [防災・維持管理] 信頼をつなぐレジリエントポート.....	I-26
3-3 [環境] 未来へつなぐグリーンポート.....	I-28
3-4 [観光・水辺のまちづくり] にぎわいをつなぐゲートウェイ.....	I-29
4. 港湾計画の実現に向けて	I-30
4-1 世界・国内の港湾、関係機関等との連携.....	I-30
4-2 貨物需要等の状況に応じた既存ストックの活用.....	I-30
4-3 港の仕事のPR・快適で働きやすい環境の実現.....	I-30
4-4 港湾空間のゾーニング.....	I-31

I 港湾計画の方針に関する資料

1. 港湾の沿革、現況

1-1 港湾の位置

東京港は、東京湾最奥部に位置し、東側は千葉港に、南側は川崎港及び横浜港に近接しており、国際貿易港及び国内拠点港として、首都圏の生活と産業を支える重要な役割を担っている。本港と各港との海上距離は次のとおりである。

表 I -1-1 国内港湾及び海外港湾との距離

■国内港湾

港名	国名	海上距離 (海里)	港名	国名	海上距離 (海里)
苫小牧	日本	558	高松	日本	372
塩釜	"	320	三島川之江	"	418
新潟	"	769	水島	"	417
横浜	"	17	広島	"	478
川崎	"	11	徳山下松	"	521
清水	"	123	博多	"	590
名古屋	"	211	北九州(門司)	"	552
四日市	"	210	鹿児島	"	600
大阪	"	371	志布志	"	538
神戸	"	363	那覇	"	878

■海外港湾

港名	国名	海上距離 (海里)	港名	国名	海上距離 (海里)
釜山	韓国	697	シンガポール	シンガポール	2,930
上海	中国	1,058	コロンボ	スリランカ	4,542
厦門	中国	1,367	ドバイ	アラブ首長国連邦	6,416
香港	中国	1,620	タンジェMED	モロッコ	9,962
広州	中国	1,824	ロサンゼルス	アメリカ	4,855
青島	中国	1,190	ニューヨーク	アメリカ	9,877
天津	中国	1,370	サバンナ	アメリカ	9,436
レムチャバン	タイ	2,993	ロッテルダム	オランダ	11,345
ホーチミン	ベトナム	2,410	ハンブルク	ドイツ	11,601
ハイフォン	ベトナム	2,067	アントワープ	ベルギー	11,338
ポートケラン	マレーシア	3,207			

※ 1海里=1,852m

出典：「距離表」(海上保安庁)より東京都作成

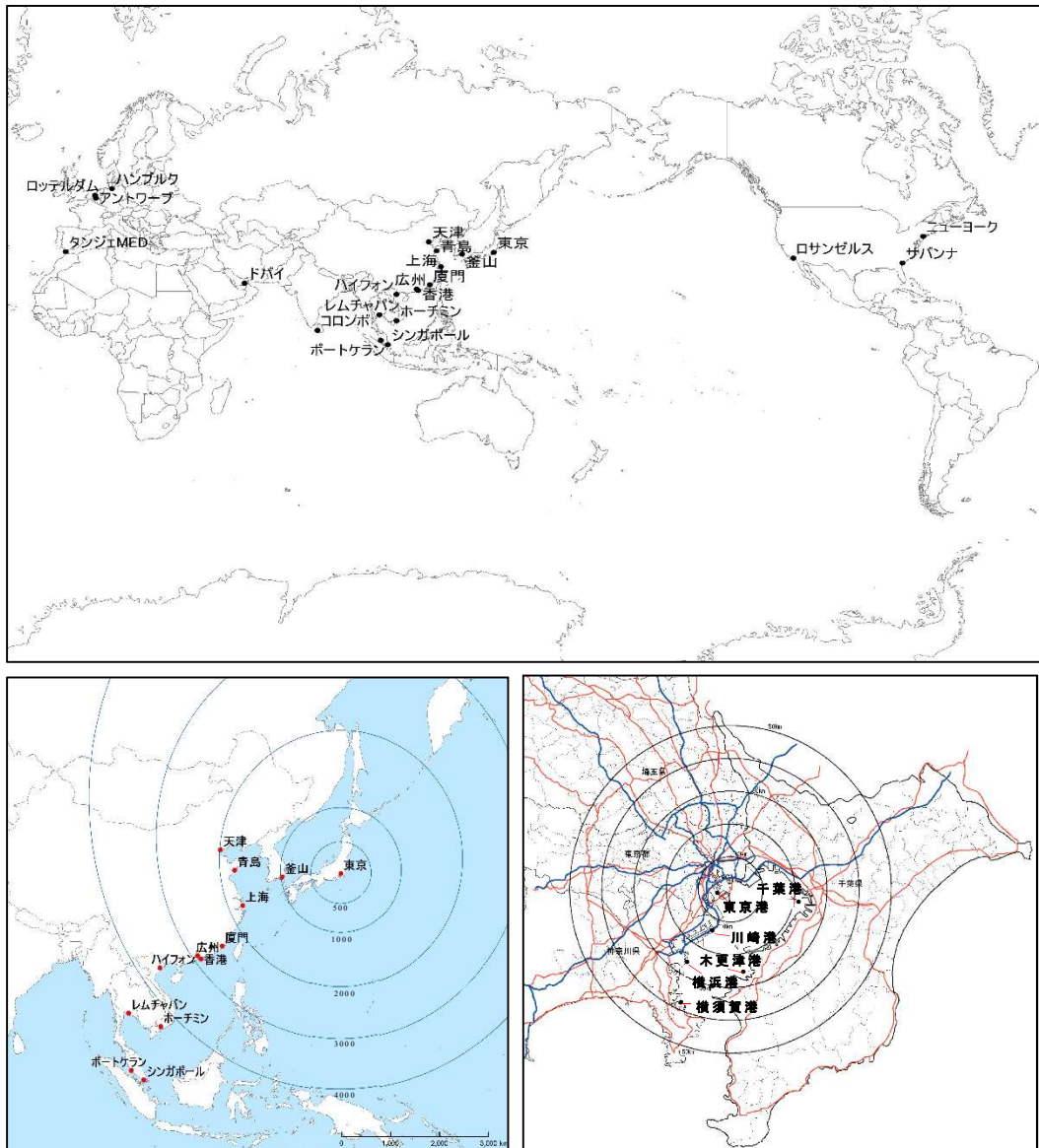


図 I-1-1 東京港の位置

1-2 港湾の沿革

東京港は、15世紀半ば、太田道灌が江戸城築城（1457年）の頃、隅田川河口付近が江戸湊として利用されたときが始まりといわれている。

慶長8年（1603年）、徳川幕府が江戸に開かれ、江戸の市街地の造成と江戸湊の拡張、整備が進められ、江戸の繁栄とともに、江戸湊は海上から運び込まれる物資の集積、流通の要地として栄えた。

明治元年（1868年）、江戸は東京と改められ、日本の首都として政治、経済、文化の各分野で大いに発展してきたが、海運の面では隣接する横浜港が開港して活況をみせたのに対し、東京港は明治末頃に至るまで江戸湊のままでさしたる発展はみられなかった。

港湾としての東京港は、明治13年、東京府が築港調査したときに始まり、本格的な工事は、明治39年、隅田川口改良工事からである。以来港の整備が行われてきたが、その規模は隅田川河口を利用する小型船（400～500トン級）を対象としたものであった。このため、大正12年（1923年）の関東大震災によって、東京が甚大な被害を受けた際には、陸上輸送が途絶したため、国内各地、諸外国からの救援物資は海上輸送によらざるを得なかったにもかかわらず、当時の東京港の施設が貧弱であったため、救援船の入港と荷役は困難を極めた。

関東大震災を契機として、東京港の港湾整備の必要性が痛感され、大正14年、日の出棧橋が完成、続いて昭和7年、芝浦岸壁、同9年、竹芝棧橋がそれぞれ完成、3,000～6,000トン級船舶が接岸できるようになった。

その後、東京港は、東京の産業の進展とともに物資の海上輸送基地として重要性を増し、昭和16年5月20日（1941年）アジア地域に限定されて開港することになり、外国貿易港としての第一歩を踏み出した。

しかし、まもなく太平洋戦争が始まり、港の発展は大きく阻まれ、終戦後は主要港湾施設が駐留軍に接収され、港湾機能はほとんど停止状態になった。

戦後、東京の復興とともに東京港は修築の必要に迫られ、昭和24年、東京港修築5年計画により、大型船が接岸できる豊洲・晴海・品川埠頭等の建設に着手した。また、昭和26年には港湾法に基づき東京港は京浜港として特定重要港湾に指定され、東京都が東京港の港湾管理者となった。

昭和30年代に至り、日本経済の復興とともに、東京に人口・産業が集中し、東京港は、首都東京の消費、生産活動に必要な物資の海上流通基地として重要な役割を担うこととなり、昭和31年の東京港港湾計画、昭和36年の東京港改訂港湾計画に基づき港湾施設の整備拡充を図った。

さらに、昭和41年には東京港第二次改訂港湾計画を策定し、輸送革新のコンテナ船就航に対応して、昭和42年、品川埠頭に外貨コンテナ埠頭を、昭和43年には、13号地に建材専門埠頭、10号地に内貿雑貨埠頭を整備し、昭和46年には10号地東岸壁と大井埠頭コンテナバースの一部が完成した。昭和47年にはフェリー埠頭が10号地に整備され、また昭和49年には、水産物専門埠頭が大井埠頭に、木材専門埠頭が15号地に建設された。

東京港は、物流拠点として大きく発展しつつ、その時々の経済状況や都民ニーズの変化等を反映しながら整備が進められてきたが、昭和48年のオイルショックにより従来の高度経済成長が期待できなくなったことをうけ、昭和51年に社会・経済的諸情勢の変化をふまえた東京港第三次改訂港湾計画を策定した。

昭和56年には、港湾機能と都市機能との調整、大都市問題あるいは都民のレクリエーションに対応するため、東京港第四次改訂港湾計画を策定し、物流基地として、港湾機能の充実と、埠頭背後地も含めた港湾施設の整備とともに、都民の憩いの場としての海上公園整備も併せて進めた。

昭和60年には青海コンテナ埠頭の一部が、昭和61年には埠頭再開発事業による竹芝・芝浦埠頭の一部が供用を開始するなど、港湾施設の整備・近代化が進められ、同時に埠頭背後地の開発も推進してきた。また、港湾区域と造成された埋立地には、既成市街地の再開発等に伴う事業所等の受入、海上公園の整備及び産業・レクリエーション施設を含めた広域的な施設・機能の整備など総合的な港湾空間の形成を図ってきた。加えて台場・青海・有明地区を、東京の都市構造を一点集中型から多心型に転換するとともに国際化や情報化の進展に対応する副都心を建設することになった。こうした情勢に対応するため、昭和63年5月、平成7年を目標年次とする東京港第五次改訂港湾計画を新たに策定した。

東京港が国際貿易港として広く世界の主要港と交流を図っていくため、昭和55年に米国のニューヨーク・ニュージャージー港と姉妹港、昭和56年に中国の天津港と友好港、昭和62年に米国のロサンゼルス港と姉妹港、平成元年4月にはオランダ国のロッテルダム港と姉妹港の提携を行い、相互の交流を深めてきた。国内有数の港に成長した東京港は、平成3年5月20日に開港50周年を迎えたが、この間入港船舶数は、24.3倍、取扱貨物量は11.4倍となった。

また、同年には、外航クルーズの玄関口としての晴海客船ターミナルや、同じく内航の伊豆諸島への玄関口である竹芝客船ターミナルが装いを新にして供用開始となった。

平成5年8月には、東京港の物流の円滑化に大きな役割を果たす、レインボーブリッジが東京港を横断する形で完成、平成6年5月に青海コンテナ埠頭第三バース、また同8年5月に同第四バースが供用開始、平成7年11月には東京臨海新交通臨海線「ゆりかもめ」（新橋～有明）が、平成8年3月には東京臨海高速鉄道臨海副都心線（新木場～東京テレポート）が開通し、都民に一層親しまれる港として変貌をとげている。

平成6年10月には、対中国海上貨物の東京港集貨拡大と、中国航路の東京港誘致を目指し「東京港中国会」が発足し、12月には新たに上海定期航路が開設された。

平成9年には、東京港港湾審議会の最終答申に基づき、また、その後の阪神・淡路大震災の教訓も踏まえ、平成17年を目標年次とする東京港第六次改訂港湾計画を策定し、平成9年4月告示された。その後、臨海副都心及び豊洲・晴海地域の開発整備計画の見直しに対応し、平成10年4月、計画の一部を変更した。

また、平成9年7月には、国際競争力をもった使いやすい東京港を実現するた

め、港湾管理者、関係官公庁、団体・事業者などの関係者が一体となって、東京港が抱える諸課題を検討する「東京港振興促進協議会」を設立し、平成10年9月に「全体のまとめ」を提言し、平成11年4月にこれを実現するための「アクションプラン」を策定した。その後、平成16年3月には、同プラン策定以降東京港をはじめとする我が国港湾を取り巻く状況の変化を踏まえ、直面する東京港の新たな課題の解決に向けた取組の目標を明らかにした「新アクションプラン」を策定した。

平成14年4月には、東京港の物流機能の冲合展開に向け、東京港臨海道路（大田区城南島～中央防波堤外側地区～江東区若洲）のうち第一工区部分である東京臨海トンネル（大田区城南島～中央防波堤外側地区）が供用開始され、東京港の物流効率化に大きく貢献している。

また、同年には、東京港の国際競争力を強化する取組として、国際港湾特区の申請及びスーパー中枢港湾への立候補を行った。

港湾に関する規制緩和を推進させ、港湾サービスの向上、コスト低減を図るために、構造改革特別区域法に基づき、東京港を国際港湾特区とし、税関及び検疫の執務時間延長及び手数料軽減等の提案を行った。

さらに、国のスーパー中枢港湾への取組に対し、東京都は、東京港におけるコスト低減、スピードアップ、サービス向上を図るとともに、年間取扱量の目標を340万～360万TEUとして、東京港をスーパー中枢港湾候補として応募した。そして、平成16年7月、東京港と横浜港からなる京浜港が、伊勢湾（名古屋港・四日市港）及び阪神港（神戸港・大阪港）とともにスーパー中枢港湾に指定された。

平成16年7月には、改正SOLAS条約の発効に伴う「国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律」が施行され、東京港の外貿コンテナ埠頭、外航客船埠頭及びその他の外貿埠頭においてフェンスや監視カメラの設置等の保安対策を講じ、立入制限区域における管理と監視を強化している。

平成18年には、首都圏4,000万人の生活と産業を支え、経済活力の向上に貢献する物流拠点としての役割を果たすとともに、憩いと賑わいのある空間を創出し、環境に優しく災害に強い安全なみなどを実現することを目指して、東京港第7次改訂港湾計画を策定した。

同年10月には、「特定外貿埠頭の管理運営に関する法律」が施行された。これを受け、東京港における物流効率化を促進し、国際競争力の強化と利用者サービスの向上を図るため財団法人東京港埠頭公社を民営化し、平成20年4月、東京港埠頭株式会社として業務を開始した。

平成20年3月、東京都、川崎市、横浜市は、アジア諸港の躍進により、日本港湾の国際的地位が低下していく中、積極的な対策を講じなければ、京浜三港が世界の基幹航路から外れ、我が国経済に与える影響は極めて深刻であるとの危機感を共有し、東京湾の国際競争力を強化するため、一層の連携を推進することとし、基本合意書を締結し、コンテナ船入港料の一元化や三港共同セミナーなど、様々な取組を実施した。

同年7月、東京都港湾審議会は、第7次改訂港湾計画策定後の東京港を取り巻く状況の変化を踏まえ、港湾物流を中心に、東京港の今後の経営戦略の方向性を明らかにし、港湾計画を策定するための指針となるよう、既存埠頭を含めたコンテナ埠頭等の充実・強化、臨海部全体の交通ネットワークの充実・強化、今後の港湾経営戦略の展開についての提言を「東京港の今後の港湾経営戦略」として答申した。この答申を受け、海事関係者や関係行政機関と調整を図り、「東京港港湾計画の一部変更（案）」をとりまとめ、東京都港湾審議会の議を経て、平成21年8月、公示を行った。

平成21年2月、東京港振興促進協議会は、国際物流動向の変化やコンテナ船の大型化、京浜三港における広域連携の推進、地球温暖化問題への対応など、東京港を取り巻く状況の著しい変化を踏まえ、東京港の振興を促進していくため、今後の取組目標を明らかにし、その実現に向けた関係者の努力を引き出していく指針となる「第3次アクションプラン」を策定した。

また、同年12月には、京浜三港の連携体制を強化するため、地方自治法に基づく協議会である「京浜港連携協議会」を設立するとともに、東東京港埠頭株式会社と横浜港埠頭公社の連携により、ユーザーサービスの向上と経営の効率化を図るため、「京浜港事業提携委員会」を設置した。京浜港連携協議会において、今後の京浜港が進むべき方向性について検討を進め、平成22年2月に「京浜港共同ビジョン」を策定した。

平成22年2月、国土交通省は、日本のコンテナ港湾が釜山港等アジア諸国の港湾との国際的な競争がますます激化するなか、更なる「選択」と「集中」により国際競争力を強化するため、「国際コンテナ戦略港湾」としての選定を希望する港湾を募集した。同年3月、東京都は、川崎市、横浜市、東京港埠頭株式会社、財団法人横浜港埠頭公社と連名で京浜港として「国際コンテナ戦略港湾」に応募し、同年8月に選定を受けた。

平成23年3月、東北地方太平洋沖地震が発生し、4月から9月まで、被災地支援の一環として救援物資等の搬出入のため東京港と被災地の港湾との間を航行する船舶に対し、東京港における入港料及び係留施設使用料の免除を実施した。また、震災による東京港と被災地を結ぶ内航フィーダー航路の休止に伴い、船舶輸送から陸上輸送に変更を余儀なくされた荷主に対し、陸上輸送にかかる費用の一部補助も実施した。さらに、内航フィーダー航路再開後の航路運航事業者に対し、航路の早期再開・運航の安定化を図るため、輸送に係る費用の一部補助を行った。一方、震災による福島第一原子力発電所の事故に伴う東京港に対する風評被害対策として、4月から東京港の各コンテナ埠頭の大気中の放射線量と東京港の海水中の放射能の測定を開始した。さらに、5月から各コンテナ埠頭のゲート付近でコンテナ表面の放射線量のサンプリング調査も開始した。

同年4月、国は我が国の港湾の国際競争力の強化を図ることを目的に港湾法を改正し、港格の見直しを行った。従来の特定重要港湾を廃止し、国際戦略港湾と国際拠点港湾が新たに設定され、東京港は京浜港として国際戦略港湾に規定された。

同年9月、京浜三港は「京浜港共同ビジョン」を具体化するとともに、今後、三港がそれぞれ策定する港湾計画の基本となる「京浜港の総合的な計画」を策定した。

平成24年2月、東京港の物流円滑化を図るとともに、東京港周辺道路の混雑緩和を目的とした東京ゲートブリッジを含む臨港道路（中央防波堤外側埋立地～江東区若洲）が供用開始された。

同年3月、クルーズ客船の大型化に伴うクルーズ人口の増加を背景にクルーズ客船の東京港寄港促進を図ることを目的に、クルーズ客船運航事業者や旅行会社などの業界関係者を対象に「東京港クルーズセミナー」を初めて開催し、新たなインセンティブ制度の周知や東京港周辺及び伊豆・小笠原諸島の最新の観光情報などを提供するとともに、東京港に対する要望などのヒアリングを行った。

平成25年9月、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会が東京で行われることが決定した。

同年11月、高さ60mを超える大型旅客船が就航（平成25年4月）したことから、レインボーブリッジの外側の臨海副都心に大型クルーズ客船対応の新客船埠頭を港湾計画に位置づけた。

平成26年1月、2020年オリンピック・パラリンピック開催都市として、また、国際観光都市として、今後のクルーズ客船誘致施策を積極的に展開していくため、概ね15年後の目標とその実現に向けた取組をまとめた「東京クルーズビジョン」を策定した。

また、社会情勢の変化や東京港を取り巻く環境変化を踏まえ、概ね10年後の「東京港の目指すべき姿」や「求められる取組」を実現するため、同年9月開催の東京都港湾審議会の議を経て、東京港第8次改訂港湾計画を策定した。

平成27年1月、コンテナ埠頭周辺における放置車両（台切りシャーシー）対策として、港湾法第37条の3の規定に基づき、東京港コンテナ埠頭周辺を「放置等禁止区域」に、台切りシャーシーを「放置等禁止物件」に指定し、取締を強化した。

同年3月、船舶から排出される大気汚染物質である、窒素酸化物（NO_x）や硫黄酸化物（SO_x）などを削減するため、外航船の国際的な環境対策プログラムであるESI（Environmental Ship Index）に日本の港湾では東京港が初めて参加し、環境負荷の少ない船舶に対するインセンティブ制度を導入した。

平成28年4月、大井水産物埠頭へ3年連続で入港した「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」の姉妹船である「マリナー・オブ・ザ・シーズ」（138,279総トン・当時）が、大井水産物埠頭へ初入港した。

同年12月、開港75周年を記念して、物流をはじめとする東京港や臨海副都心の多様な魅力を伝える都民向けセミナーを開催した。また、セミナー後には、東京港ナイトクルーズを実施した。

平成29年4月、地上100メートルから東京臨海部を望む眺望を活かし、青海

フロンティアビルに東京港や臨海副都心の歴史、現在の姿、未来を紹介する広報展示室をオープンした。

同年11月、クルーズ客船の誘致活動の一環として、東京港をホームポート(母港)とするクルーズ客船を“お得意さま”として認定する制度「東京港ホームポート認定」を開始し、にっぽん丸及びCOSTA neo ROMANTICA(コスタ ネオロマンチカ)が認定対象船舶(平成29年・平成29年度)となった。

平成30年7月、過去最大規模の「MSC PERLE」(141,754総トン、13,102TEU)が入港した。また、同年中は、14万トン超えの大型コンテナ船が19隻も入港した。

平成31年4月、東京港紹介動画「PORT OF TOKYO 東京港」を公開した。

同年8月、舟運の拠点である日の出埠頭において、更なる賑わいを創出するため、小型船用の新たな栈橋の整備や人道橋の改修を行うとともに、民間事業者により整備された新たな小型船ターミナル「Hi-NODE(ハイ-ノード)」が開業した。

同年11月、バルセロナ港と東京港の友好関係を深めるため、協定書を締結した。

令和2年3月、港の機能強化、混雑解消を目指すため整備された中央防波堤外側埠頭Y2ターミナルが供用開始された。また、同年6月には、中央防波堤地区の新しいコンテナ埠頭の貨物需要に適切に対応し、東京港全体の物流機能を強化する新たな南北軸となる「臨海道路南北線及び接続道路」(「東京港海の森トンネル」、「海の森大橋」)が開通した。

同年9月、臨海副都心の新たなランドマークとなる「東京国際クルーズターミナル」が開業し、これまでレインボーブリッジの高さ制限により東京港内での受入が難しかった超大型のクルーズ客船も入港・寄港可能となった。

令和3年5月、東京港は開港80周年を迎えた。

同年7月、新型コロナウイルス感染症拡大により延期となっていた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催された。多くの競技会場や関連施設が臨海部に配置されたことから、大会開催に伴う交通混雑を抑制し、大会運営と円滑な港湾物流の両立を図る必要があった。そのため、東京港では、大会開催前からコンテナターミナルゲートオープン時間の拡大やストックヤードの設置、トラックから船舶・鉄道への利用転換支援など、様々な取組を実施してきた。こうした取組等を通じて、コンテナ車両の分散化や走行時間帯の平準化が図られ、大会期間中の港湾物流に大きな混乱は生じなかった。

2. 東京港を取り巻く状況

昭和 16 年に国際貿易港として開港した東京港は、昭和 40 年代のコンテナ輸送革新にいち早く対応し、埠頭機能の強化や港湾運営の効率化に取り組んだことで大きな発展を遂げ、今日では我が国を代表する港湾として極めて重要な役割を果たしている。

港湾法に基づく東京港港湾計画は、昭和 31 年に初めて策定され、現在は、平成 26 年に策定した第 8 次改訂港湾計画に基づき施設整備等を実施している。

また、平成 22 年には京浜港として国際戦略港湾に選定され、京浜港を構成する各港においては、各港の特性等を踏まえつつ、京浜港全体としての機能の強化が図られるよう取組を推進してきた。

第 8 次改訂港湾計画の策定以降、東京港を取り巻く環境は、アジア貨物の更なる増加や船舶の大型化の進展などこれまで以上に大きく変化している。また、少子高齢化等による労働力不足や、A I や I o T 等の情報通信技術の進化など、社会情勢も変化している。このため、港湾機能の強化とともに D X を推進することなどにより、物流を効率化し生産性の高い港を実現することが求められている。

一方、首都直下地震等の発生や、激甚化・頻発化している高潮・暴風等のリスクの増大が懸念されていることから、港湾施設の老朽化に伴う更新需要の増加も見通した上で、災害時においても物流機能を維持できる、強靱な港の構築に向けた取組も求められている。

さらに、脱炭素社会の実現やクルーズを核とした観光拠点の形成など、様々な分野における取組が求められている。

このため、以下の各分野における現状や課題等を踏まえ、取組を進めていく。



図 I -2-1 東京港の全景

2-1 物流

2-1-1 現状

(1) 日本経済を牽引する国際貿易港

東京港は、北米や欧州、アジアなど世界の主要港と外貿コンテナ定期航路ネットワークで結ばれ、日本の経済活動を支える極めて重要な国際貿易港となっている。外貿コンテナ定期航路数は週 87 便、うち基幹航路である北米航路が週 6 便、欧州・北米航路が週 1 便となっており、国内トップクラスの航路数を有している。（令和 5 年 3 月時点）

東京港の方面別コンテナ貨物はアジア貨物が増加傾向にある。また、コンテナ貨物（重量ベース）の輸出入先としては、アジアが 76% となっており、アジア地域と強いつながりを持っている。（令和 3 年時点）

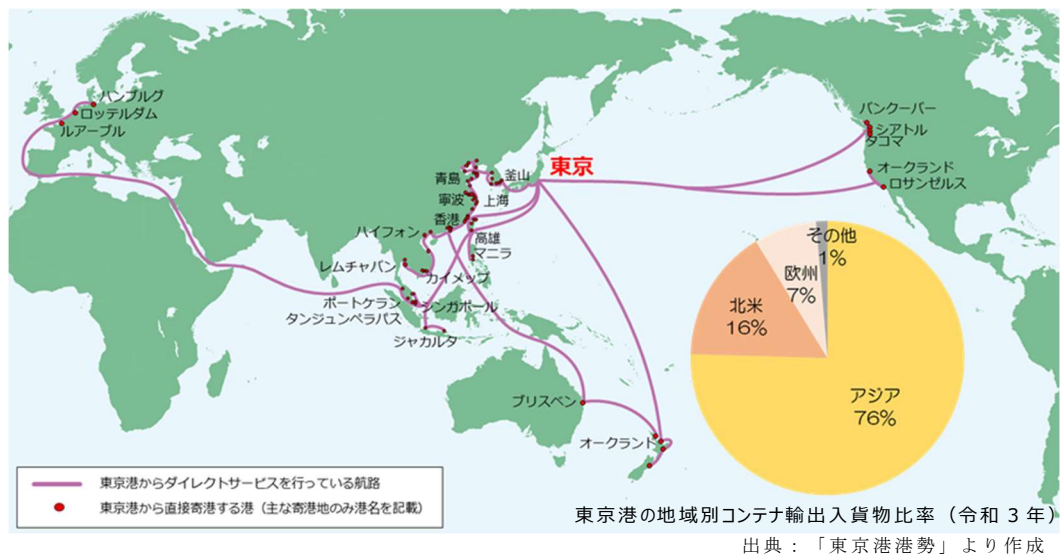
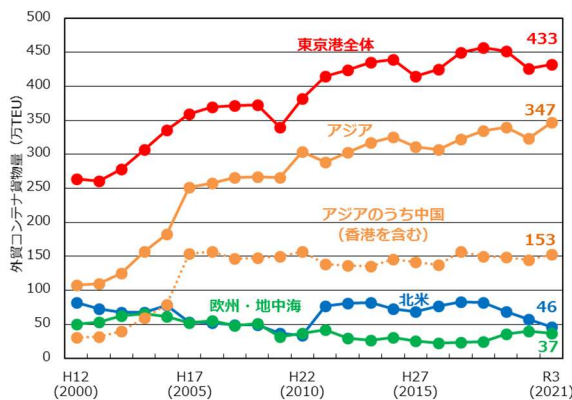


図 I-2-2 外貿コンテナ定期航路ネットワーク



※ 港湾統計上の方面別航路について、H16 以前及び H23 以降は「最遠寄港地」H17-H22 は「最終寄港地」を用いているため、統計上差異が生じている

図 I-2-3 方面別外貿コンテナ貨物量の推移

表 I-2-1 方面別航路数

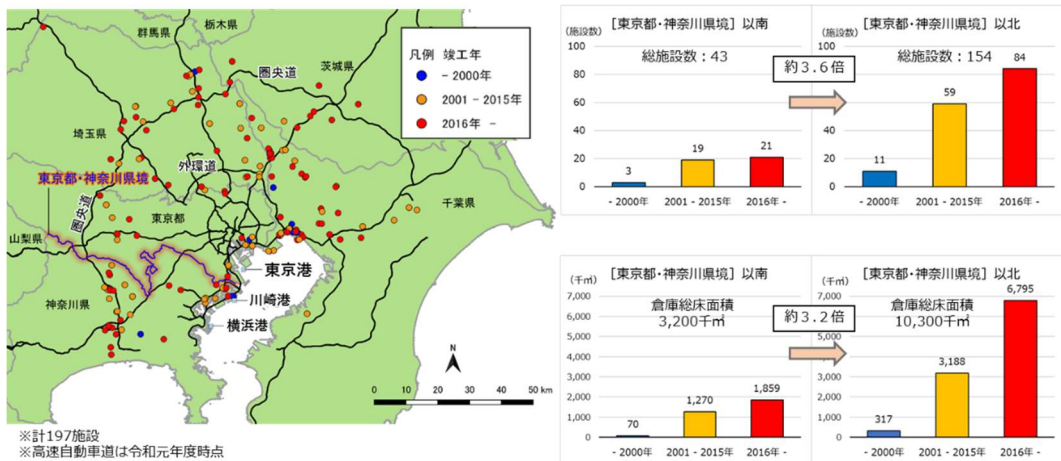
方面	便/週
北米	6
欧州・北米	1
中国	37
韓国	9
東南アジア	33
オセアニア	1
合計	87

※ 令和 5 年 3 月時点

東京港の背後には、首都東京を核とする充実した道路ネットワークが形成されているとともに、交通利便性の高い臨海部や環状道路等の沿線に大型物流倉庫の立地が進展している。このため、首都圏及び東日本の多くの荷主・物流事業者等に利用されており、平成10年以降国内最多のコンテナ貨物を取り扱っている。



図 I -2-4 東京港背後の道路ネットワーク



※ 大型物流倉庫：主な物流不動産事業者の所有する延床5,000㎡以上の大型物流施設で、1986年以降にしゅん工された施設（2021~2023年しゅん工予定の施設を含む）
出典：㈱プロジス、日本G L P㈱、大和ハウス工業㈱、三井不動産㈱、三菱地所㈱各社HP及び「物流革命2021」（日経MOOK）より東京都作成

図 I -2-5 首都圏における大型物流倉庫の立地と立地年代別施設数・施設面積

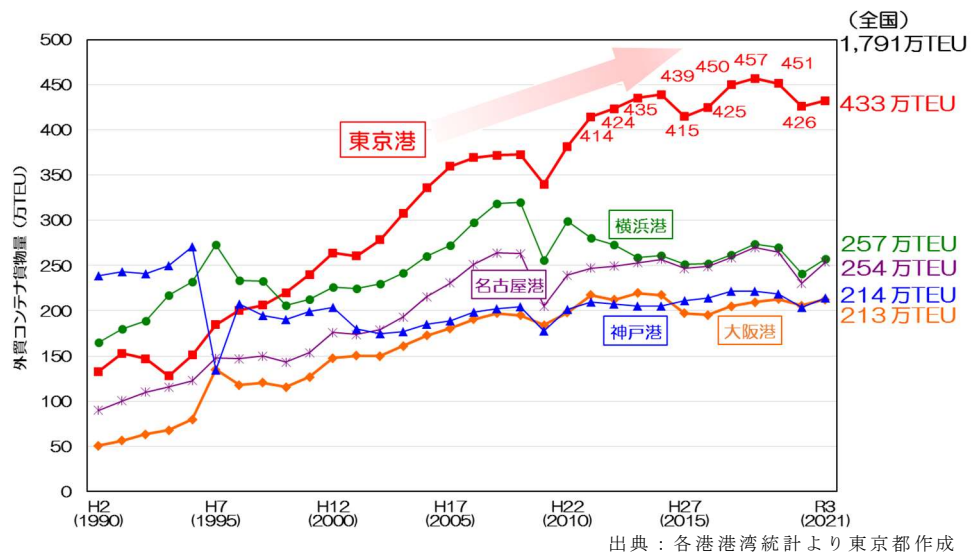


図 I-2-6 外貿コンテナ貨物量の推移

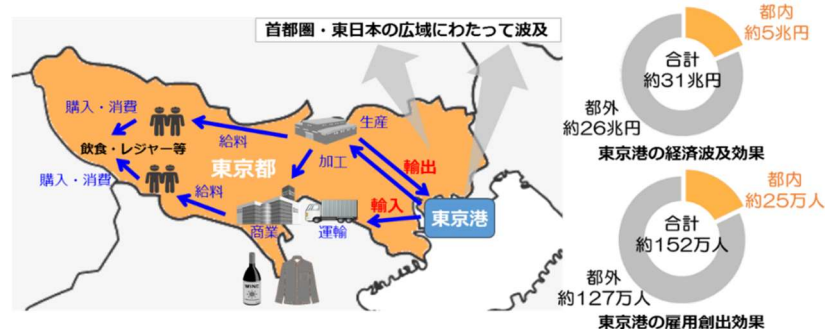
表 I-2-2 全国における東京港の外貿コンテナ貨物量割合の推移

		H2	H7	H12	H17	H22	H27	R3
外貿コンテナ貨物量 (万TEU)	全国	734	1,007	1,269	1,576	1,685	1,728	1,791
	東京港	133	185	264	360	382	415	433
全国に占める東京港の割合		18.1%	18.4%	20.8%	22.8%	22.7%	24.0%	24.2%

出典：「東京港港勢」及び港湾近代化促進協議会資料より東京都作成

また、東京港の令和3年の貿易額は約19兆円であり、国内港湾では最も多い。これは、空港を含めた我が国全体の貿易額の約11%に相当しており、東京港は日本経済を牽引する重要なインフラとしての役割を担っている。

さらに、東京港での貨物取扱いによる経済波及効果は年間約31兆円となっており、うち都内は約5兆円である。雇用創出効果は約152万人となっており、うち都内は約25万人である。このように、東京港は都内のみならず、広域にわたって経済波及効果・雇用創出効果をもたらしている。



出典：「平成28年東京港港勢」、「平成23年東京都産業連関表」、「平成25年度全国輸出入コンテナ貨物流動調査」（1か月値）（国土交通省）等を用いて東京都作成

図 I-2-7 東京港がもたらす経済効果（イメージ）

(2) 首都圏・東日本の生活と産業を支える物流拠点

東京港で令和3年に取り扱った貨物は約8,500万トンであり、外貨貨物が56%、内貨貨物が44%となっている。また、外貨貨物のうち97%がコンテナで輸送されている。

背後に大消費地を抱える東京港は、首都圏の都市活動や人々の生活に必要な物資を受け入れる輸入港としての性格が強く、輸入・輸出比率(重量ベース)は、約3:1となっている。

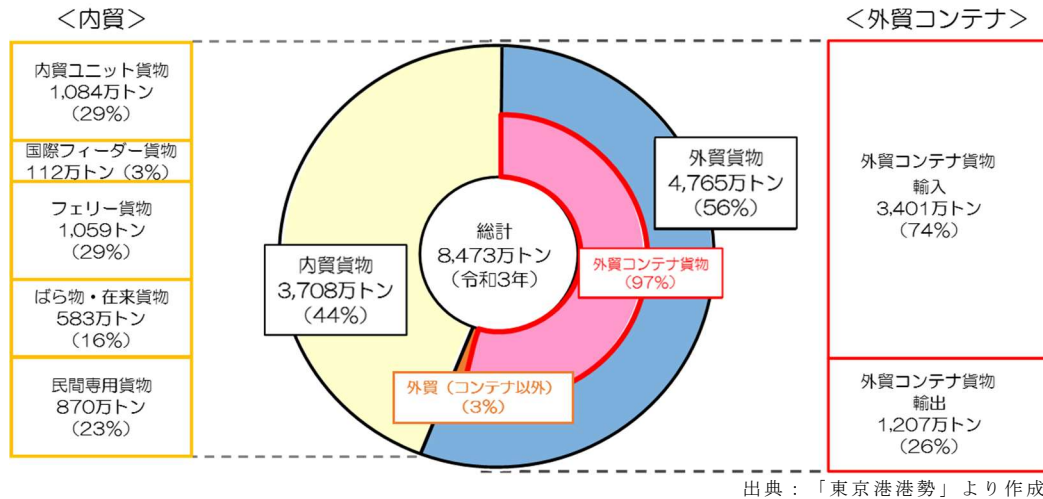


図 I-2-8 東京港の港勢 (令和3年)

東京港が取り扱う貨物の特徴として、輸入貨物では、食料品や家具等の生活関連物資の取扱シェアが大きく、これらの貨物の流通拠点として、人々の生活を支えている。また、輸出貨物では産業機械や自動車部品等の高付加価値製品が多く、我が国の産業活動に大きく貢献している。

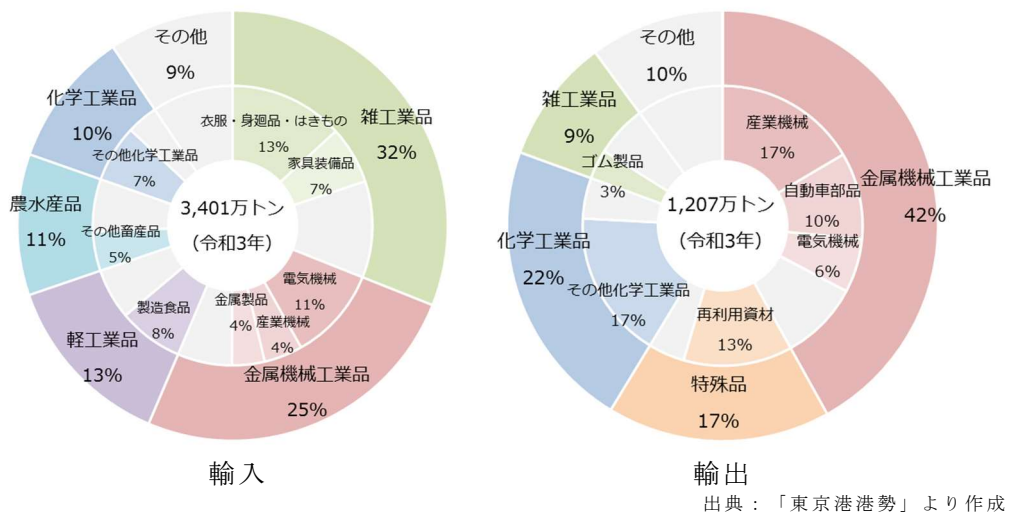


図 I-2-9 外貨コンテナ貨物の品目内訳 (令和3年)

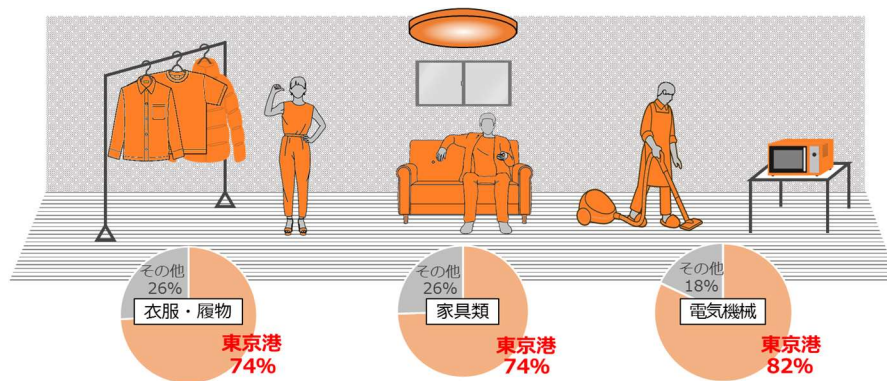


図 I-2-10 東京都で消費される海上輸入貨物のうち、東京港から輸入される割合

首都圏で消費される輸入コンテナ貨物の約 7 割、首都圏で生産される輸出コンテナ貨物の約 4 割が東京港を利用している。また、東日本における輸出入コンテナ貨物の約 6 割が東京港を利用している。

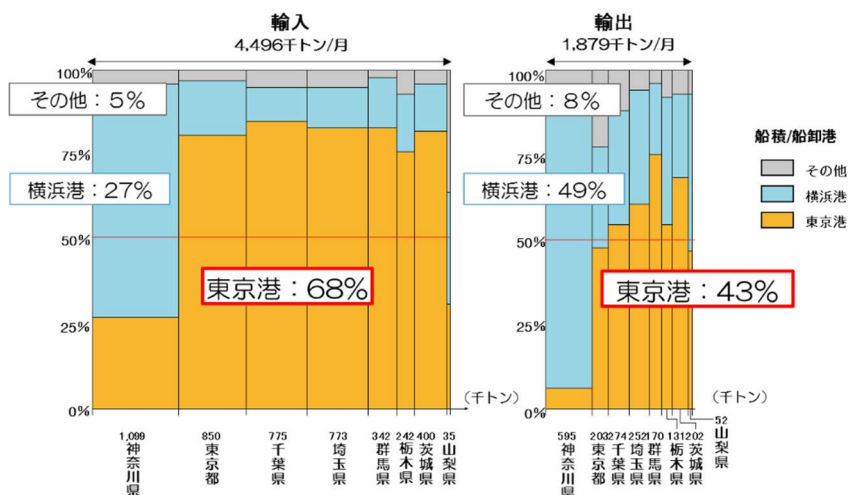


図 I-2-11 首都圏の外貿コンテナ貨物の港別取扱比率（平成 30 年）

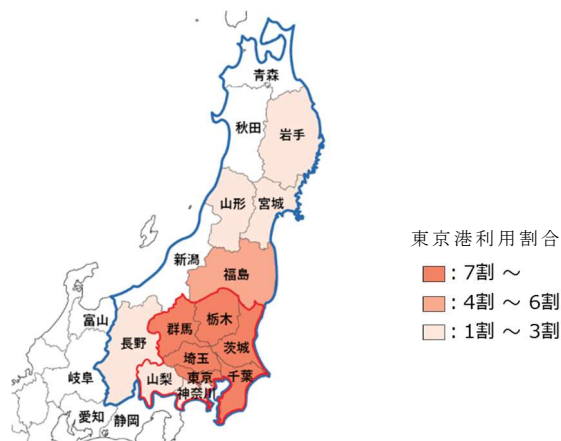


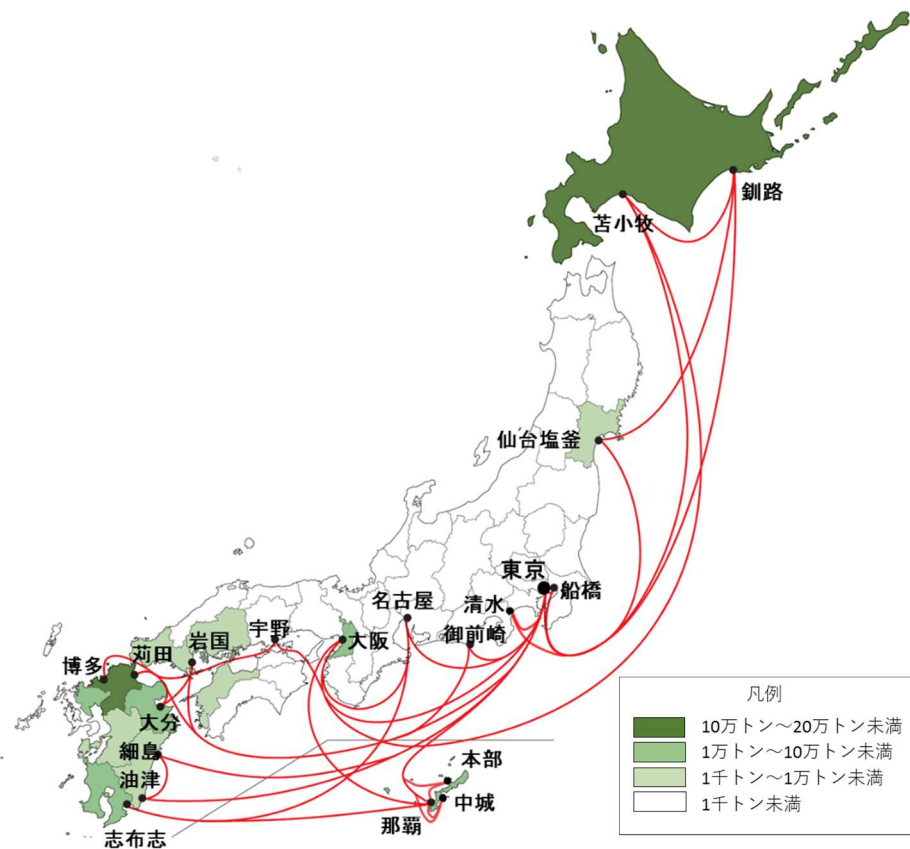
図 I-2-12 都県別の外貿コンテナ貨物における東京港利用割合（平成 30 年）

(3) 全国とつながる国内海上輸送拠点

東京港は、全国の長距離内航RORO船航路(28航路)のうち半数の14航路、週40便が就航するなど、共通化された荷姿で輸送可能なユニットロード貨物、フェリーによる貨物及び旅客を取り扱う国内海上輸送拠点として重要な役割を担っている。(令和2年時点)

これらの取扱量は、令和2年の東京港における内貿貨物の約6割に相当する1,964万トンとなっており、完成自動車や紙・パルプ、農林水産品など人々の消費や産業を支えている。

また、フェリーの旅客数については、令和元年において約4万人となっている。



出典：発着地別貨物量は「平成29年度ユニットロード貨物流動調査」(1か月値)(国土交通省)より東京都作成

図 I -2-13 東京港の長距離内航RORO船の発着地別貨物量と航路(令和2年)



出典：栗林商船株式会社HP



出典：オーシャン東九フェリーHP

図 I -2-14 東京港に寄港するRORO船

図 I -2-15 東京港に寄港するフェリー

2-1-2 東京港の課題や情勢変化

(1) グローバルロジスティクスの変化

世界の港湾においては、アジア諸国の経済成長等に伴いコンテナ貨物量が増加している。また、スケールメリットによる輸送コストの低減やCO₂の排出抑制などのため、コンテナ船の大型化が急激に進展しており、航路サービスの集約化が行われるなど、国際基幹航路における寄港地の絞り込みが進んでいる。

東京港への国際基幹航路の寄港を維持するためには、国際フィーダー輸送等を活用した集貨による貨物量の確保とともに、船舶大型化に対応した施設整備が求められている。

加えて、中国から東南アジア地域への生産拠点の南下等に伴う東南アジア航路における取扱貨物量の増加や、船舶の大型化への対応も求められている。

こうした状況とともに、地域的な包括的経済連携（RCEP）協定の発効や越境EC市場の拡大等による産業・貿易構造の変化、AIやIoT等の情報通信技術の進展に対応していくことが求められている。

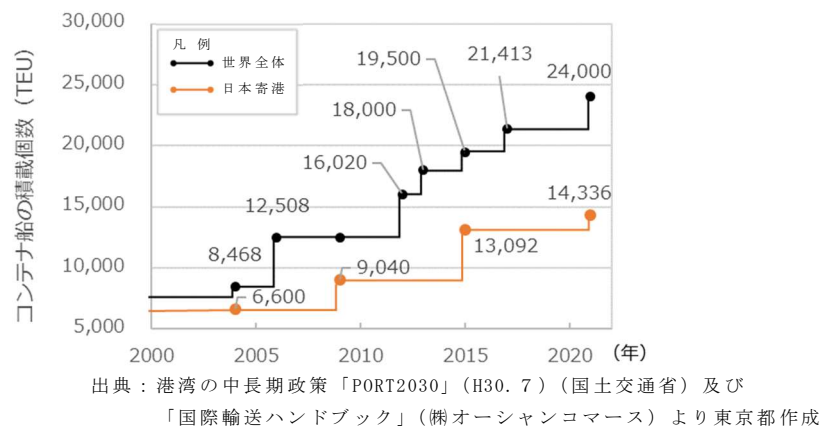


図 I -2-16 世界のコンテナ船の大型化動向

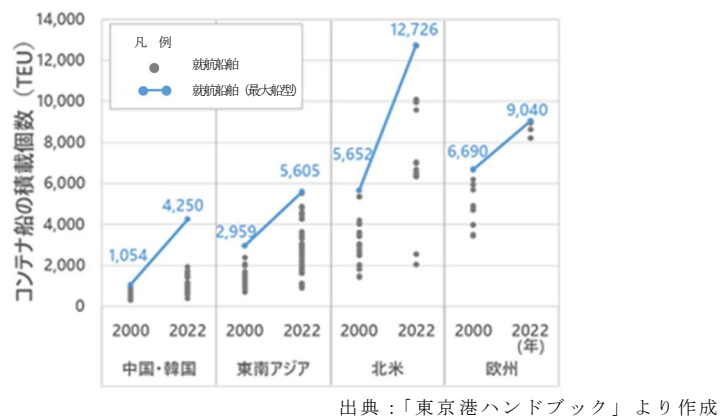
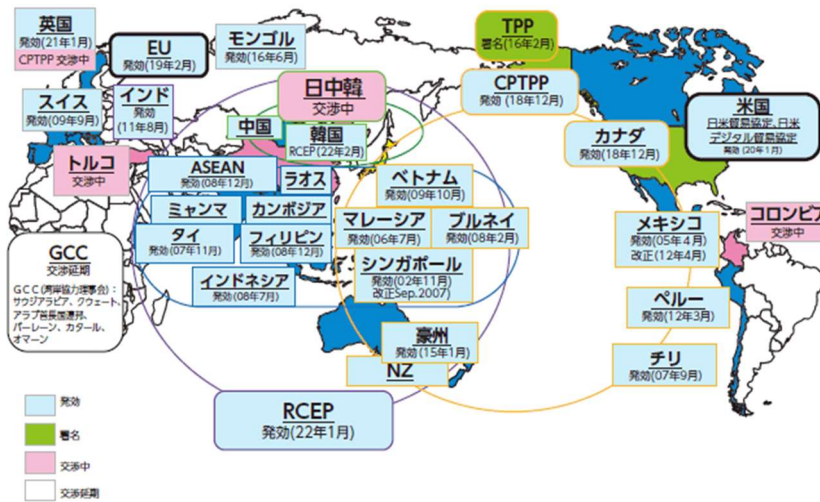


図 I -2-17 東京港寄港のコンテナ船の航路別大型化動向



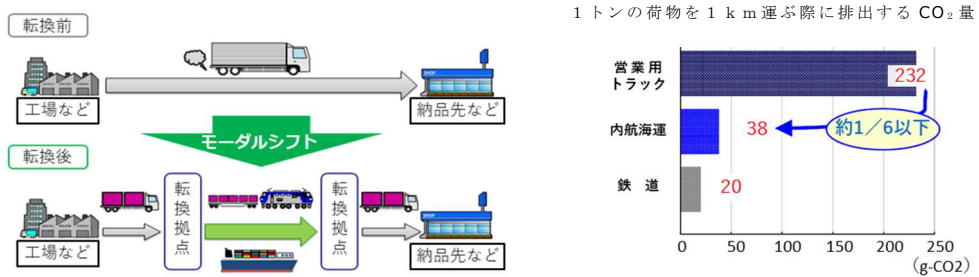
出典：「通商白書 2022」（経済産業省）

図 I-2-18 日本の経済連携協定の状況

(2) 重要性の高まる国内海上貨物輸送

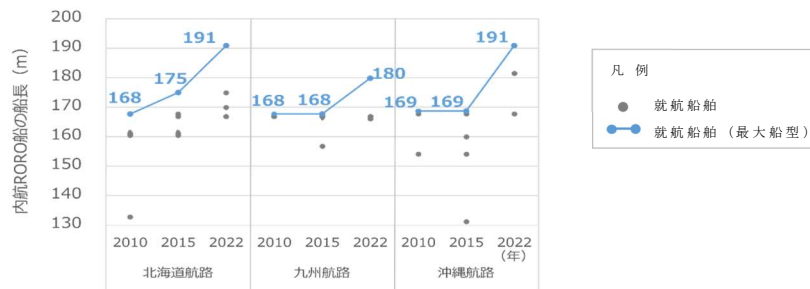
我が国は本格的な少子高齢化社会を迎える中、トラックドライバーへの時間外労働の上限規制が適用されること等により、ドライバー不足による物流への影響が懸念される。

このため、大量輸送が可能で環境への負荷が少なく、長距離ドライバーの負担軽減も図れる内航RORO船・フェリー等を活用したモーダルシフト及び国内複合一貫輸送等の重要性が高まっている。これに伴い取扱貨物量が増加しているとともに、内航RORO船の大型化も進展しており、その対応が求められている。



出典：国土交通省 HP より東京都作成

図 I-2-19 トラック輸送から船舶輸送等への転換（モーダルシフト）



出典：「内航船舶明細書」（一般社団法人日本海運集会所）、「東京港ハンドブック」より東京都作成

図 I-2-20 東京港寄港のRORO船の大型化動向

2-2 防災・維持管理

2-2-1 現状

(1) 災害時の緊急物資等の輸送

東京港は、大規模地震時における緊急物資や応急・復旧資機材等を海上輸送で受け入れる、重要な役割を担っている。また、首都圏及び東日本の経済活動を停滞させないよう、港湾機能を確保し、物流活動を維持する役割を担っている。

(2) 高潮等から都民の生命と財産を守る

東京臨海部には、満潮面以下のゼロメートル地帯を含めた低地帯が広がっており、高潮等による浸水の影響を受けやすい地形となっている。そのため、高潮等に対しては、我が国で最大の浸水被害をもたらした伊勢湾台風級の台風から背後地を防御できるよう、防潮堤や水門、排水機場等の海岸保全施設を整備し、都民の生命と財産を守っている。

2-2-2 東京港の課題や情勢変化

(1) 災害リスクの高まり

東京港においては、切迫性が高まる首都直下地震等の発生や、激甚化・頻発化している台風・高潮等に対して被害を最小化し、災害時においても港湾機能を確実に維持できる、強靱な港づくりが求められている。



出典：「令和元年台風第15号による被災状況」(R1.10) (国土交通省)

図 I-2-21 令和元年の台風15号による横浜港の被災状況
(空コンテナ、SOLASフェンス倒壊)

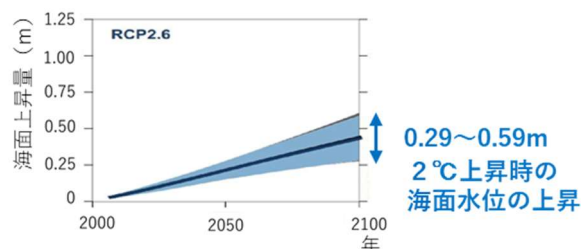


出典：「港湾の堤外地等における高潮リスク低減方策ガイドライン」(H31.1) (国土交通省)

図 I-2-22 平成30年の台風21号による神戸港の被災状況
(ガントリークレーンのケーブルリール落下状況)

(2) 地球温暖化に伴う気候変動への適応

気候変動の影響による平均海面水位の上昇等に対応し都民の安全と安心を確保するため、海岸保全施設の機能強化が求められており、令和5年3月に「東京湾沿岸海岸保全基本計画〔東京都区間〕」を改訂した。



出典：IPCC(SROCC)より東京都作成

図 I-2-23 世界平均海面水位の予測上昇量

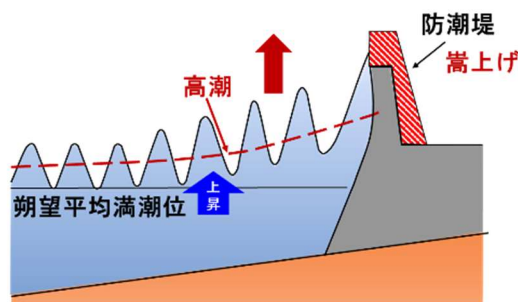


図 I-2-24 平均海面水位の上昇への対応

(3) 港湾施設等の老朽化の進行

将来的に社会インフラの老朽化に伴う更新需要が増加することが確実視される中、既存ストックの有効活用に積極的に取り組んでいくことが求められており、平成29年9月に「東京港港湾施設等予防保全基本計画」、令和3年9月に「東京港橋梁・トンネル長寿命化計画」を策定した。

2-3 環境

2-3-1 現況

(1) 多様な生物の生息環境

東京都は、失われつつあった豊かな環境、人々と海との関わりを取り戻すため、海上公園の整備を進めてきた。現在、40箇所・約878ヘクタール（水域含む）におよぶ海上公園が開園しており、平成30年には葛西海浜公園の干潟が東京都で初めてラムサール条約湿地に登録されている。

こうした自然環境の保全・再生の取組により、臨海部は多様な生物の生息環境となっている。



図 I-2-25 葛西海浜公園



図 I-2-26 海の森公園

(2) 廃棄物等の最終処分場

昭和52年から埋立てを行ってきた中央防波堤外側埋立処分場及び平成9年から埋立てを行ってきた新海面処分場は、区部から発生する廃棄物等の最終処分場としての役割を担っており、都民の生活を支えている。

また、東京港には、建設発生土やリサイクル関連施設等が集積していることから、平成14年に総合静脈物流拠点港（リサイクルポート）に指定され、静脈物流ネットワークの拠点にもなっている。

2-3-2 東京港の課題や情勢変化

(1) 脱炭素社会に向けた港湾における取組

世界的に環境意識が高まる中、荷主等が利用する港湾を選択するに当たっては、環境配慮の視点やCO₂排出量の削減が重要な要素となっている。このため、東京港の脱炭素化に向けた取組を戦略的に推進する「東京港カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画」を令和5年3月に策定した。

(2) 身近な自然環境への関心の高まり

自然環境に対する意識の高まりを受けて、人々に安らぎや恵みをもたらす、豊かな海域環境の保全・再生を一層進め、美しく健全な状態で港湾の環境を将来世代へ継承していくことが求められている。



図 I -2-27 大井ふ頭中央海浜公園の干潟

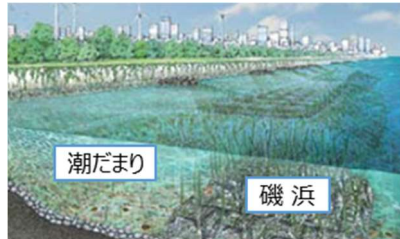


図 I -2-28 緩傾斜護岸を活用した磯浜等の整備

(3) 循環型社会の形成に向けた対応

環境への負荷が少ない経済の発展を図り、社会の持続的発展を実現するため、港湾を核としたリサイクル等の推進による循環型社会の形成がより一層求められている。

2-4 観光・水辺のまちづくり

2-4-1 現状

(1) 東京の海の玄関口

東京港の旅客船埠頭には、東京国際クルーズ埠頭等があり、首都東京の海の玄関口の役割を担っている。

令和2年に開業した「東京国際クルーズターミナル」は、世界最大のクルーズ客船に対応しており、多くの観光客が来訪することによる経済効果などが期待されている。また、臨海副都心地域の新たなランドマークとして、イベント利用など、臨海部のにぎわい創出に貢献できる施設となっている。

また、竹芝埠頭は東京都の島しょ地域への旅客や生活関連物資の輸送拠点となっている。

(2) 水辺のにぎわい拠点

東京臨海部は、都心に近く、東京港と東京国際空港を有しており、人々の移動と交流を支える陸・海・空の交通結節点であるとともに、都心に近接した貴重な水辺空間を形成している。

水上バス等による舟運は、臨海部や隅田川等の観光拠点を結ぶ水上交通としての役割を担うとともに、観光資源の一部ともなっている。

また、都民が水辺に親しめる場である海上公園は、スポーツや釣り、野鳥観察などの多様なニーズに応えるとともに、お台場海浜公園を含む臨海副都心では年間を通じて多彩なイベントが開催されるなど、水辺のにぎわい拠点としての役割を担っている。

2-4-2 東京港の課題や情勢変化

(1) クルーズの本格的な受入れ再開

新型コロナウイルス感染症拡大により、世界的なクルーズ客船の運航中止となりクルーズ市場は停滞していたが、令和5年3月に国内で外国籍船の受入が再開されたところであり、今後の本格的な受入に向けた取組を推進していく必要がある。

(2) 水辺空間の利用ニーズの多様化

クルーズ客船の寄港等による国内外からの観光客の増加や再開発等による新たなまちの整備が進む中、美しく快適な水辺空間を創出することが求められている。

また、観光需要の拡大に向けて、陸上交通では得られない体験を楽しむことができる水上交通の活性化及び経済波及効果が見込まれる大型クルーザー等の受入れも求められている。

2-5 長期構想の策定及び関連計画

こうした東京港を取り巻く情勢変化を踏まえ、東京都は、2040年代を見据えた長期的な視点で東京港を進化させるため、東京都港湾審議会に「東京港第9次改訂港湾計画に向けた長期構想」（以下「長期構想」という。）を諮問し、令和4年1月に答申を受けた。

また、東京都では、目指すべき2040年代の姿を示した「未来の東京」戦略、自然災害等に対する強靱化に向けた2040年代の姿を示した「T O K Y O強靱化プロジェクト」、2050年CO₂排出実質ゼロに向けた「ゼロエミッション東京戦略」、ベイエリアを舞台に50年・100年先までを見据えた都市のあるべき姿を示した「東京ベイe S Gプロジェクト」等も策定している。

これらの計画等と整合を図りながら、長期構想を指針とし、以下の港湾計画の方針に基づき港湾計画を改訂する。

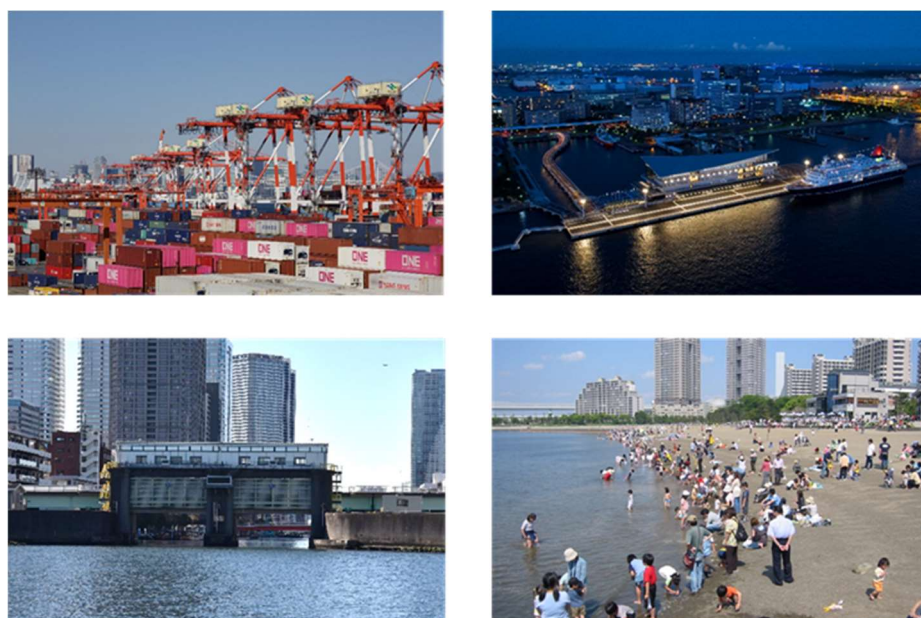


図 I-2-29 多様な役割を担う東京港

3. 港湾計画の方針

令和 10 年代後半を目標年次として以下の方針を定め、港湾計画を改訂する。

【基本理念】

進化し続ける未来創造港湾 東京港 ～ スマートポートの実現 ～

常に港の新陳代謝を進め、新たな価値を創造し、国際競争力が高く進化し続ける港

物 流

世界とつながるリーディングポート

- ユーザーに選ばれ国際競争力が高く使いやすい港
- 国際基幹航路の維持や増加する東南アジア航路への対応、国際フィーダー航路網の充実
- AI 等の最先端技術の活用やターミナルの一体利用などによる処理能力の増大・良好な労働環境の確保
- モーダルシフトの進展等に対応した国内海上輸送拠点

防災・維持管理

信頼をつなぐレジリエントポート

- 災害時にも物流機能を確実に維持できる強靱な港
- 高潮・津波等や気候変動に伴う平均海面水位の上昇等から都民の生命と財産を確実に守る港
- 既存ストックの効果的な維持管理により機能を発揮し続ける港

環 境

未来へつなぐグリーンポート

- 脱炭素社会や循環型社会の実現に貢献する港
- 水と緑のネットワークや豊かな海域環境を創出する港

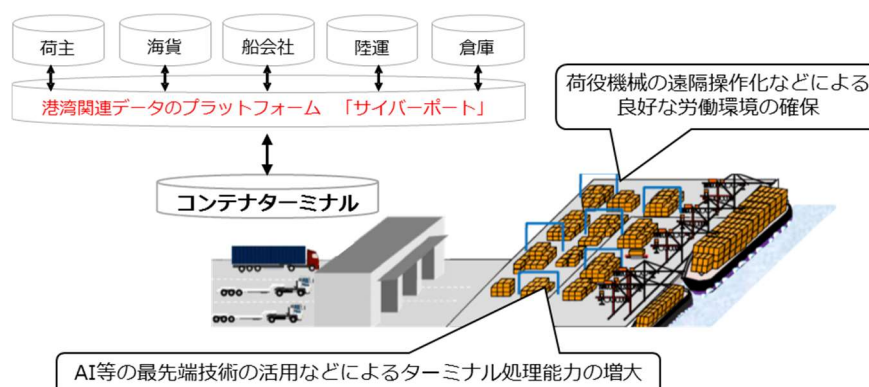
観光・水辺のまちづくり

にぎわいをつなぐゲートウェイ

- クルーズや水上交通等の多様な船舶を受け入れる港
- 水辺のさらなる魅力向上に向けた緑やオープンスペース等の確保

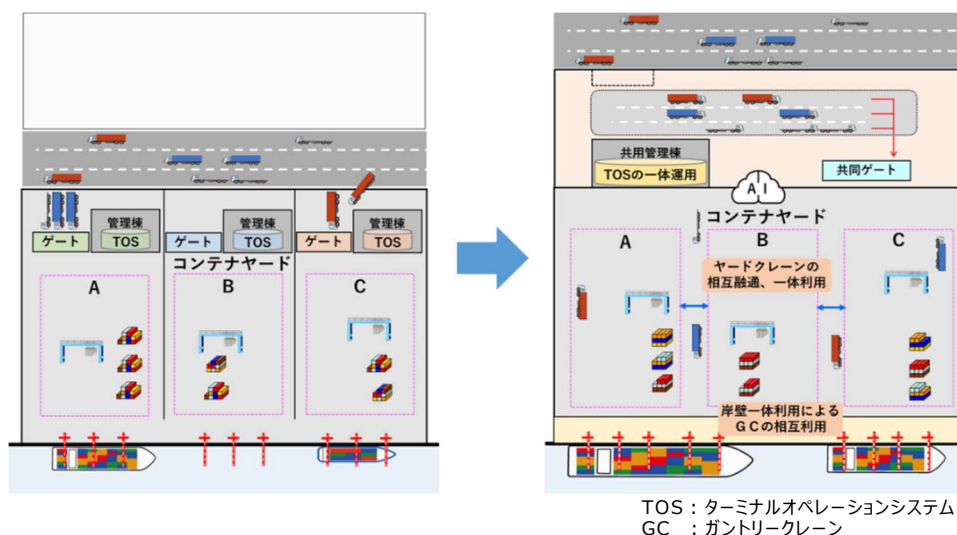
3-1 [物流] 世界とつながるリーディングポート

- ユーザーに選ばれ国際競争力が高く使いやすい港に進化するため、国際基幹航路の維持や増加する東南アジア航路への対応、国際フィーダー航路網の充実・積替機能の強化を図るとともに、増加するコンテナ貨物、船舶の大型化に対応した新たな埠頭を整備し、既存埠頭を再編整備する。
- AI等の最先端技術の積極的な活用や荷役機械の遠隔操作化、コンテナターミナルの一体利用による限られたヤードスペースの最適化などにより、ターミナル処理能力を増大させるとともに良好な労働環境の確保を図る。また、「サイバーポート」による物流の効率化や貨物情報の見える化等に取り組む。



出典：国土交通省 HP より東京都作成

図 I-3-1 コンテナターミナルにおける最先端技術の活用イメージ



TOS：ターミナルオペレーションシステム
GC：ガントリークレーン

図 I-3-2 コンテナターミナルの一体利用イメージ

- 国内海上輸送拠点として、モーダルシフトの進展等により増加する内貿貨物や船舶の大型化に対応した新規ユニットロード埠頭を整備し、既存埠頭を再編整備する。
- 東京港を支える様々な船舶の係留場所の確保など、適切な機能配置と運営により、限られた港湾空間の効率的な運用を図る。

3-2 [防災・維持管理] 信頼をつなぐレジリエントポート

- 大規模地震や台風・高潮等の災害時にも物流機能を確実に維持する強靱な港を実現するため、耐震性の高い港湾施設を整備するとともに、電源設備等の浸水対策に取り組む。また、背後圏への陸上輸送維持のため、臨港道路等や埠頭敷地における無電柱化に取り組む。



図 I-3-3 耐震強化岸壁・免震クレーン



図 I-3-4 臨港道路の無電柱化

- 港湾に隣接する地域において、高潮・津波等から都民の生命と財産を確実に守るとともに物流機能を維持するため、「東京湾沿岸海岸保全基本計画 [東京都区間]」に基づき、海岸保全施設の耐震対策を着実に進める。また、今後の気候変動に伴う平均海面水位の上昇等の影響を踏まえた施設の機能強化に取り組む。

- 港湾・海岸施設や気象海象等の情報を一元化する「東京みなとDX」の推進により、災害対応の迅速化や生産性の向上を図る。また、既存ストックである港湾施設等が将来にわたり機能を発揮し続けるよう、効果的な維持管理や長寿命化対策に取り組む。



図 I -3-5 港湾・海岸の施設情報等を一元化する「東京みなとDX」

3-3 [環境] 未来へつなぐグリーンポート

- 東京港におけるカーボンニュートラルの実現に向けて、「東京港カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画」に基づき、次世代エネルギーや再生可能エネルギーの活用を促進するとともに、陸上電力供給による船舶のアイドリングストップなど、港湾施設の脱炭素化に向けた取組を推進する。

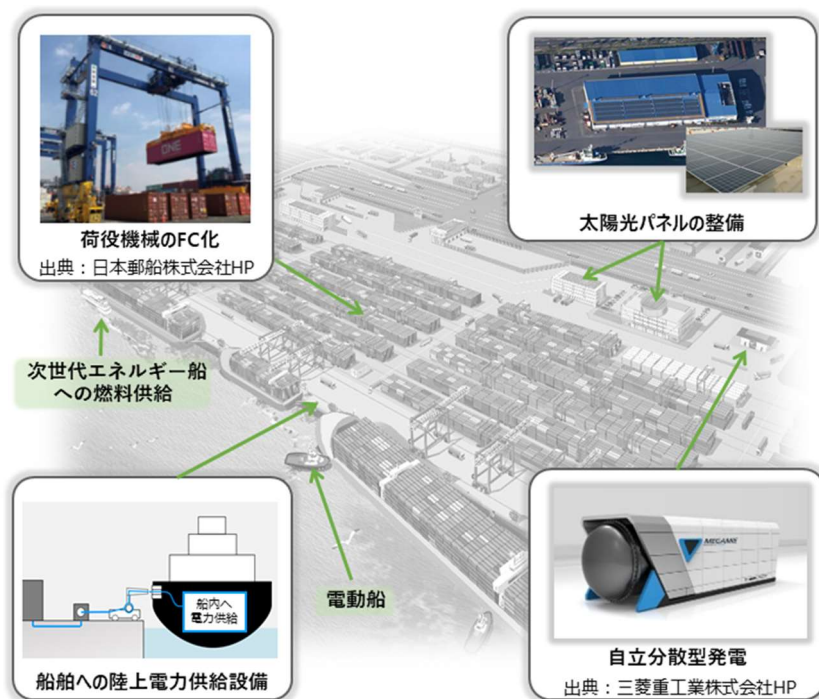


図 I-3-6 カーボンニュートラルポートのイメージ

- 水と緑のネットワークを拡充するとともに、豊かな海域環境の創出に向け、水生生物や水鳥など多様な生物の生息の場であり、ブルーカーボン生態系を構成する干潟や藻場等の保全・再生に取り組む。また、より多くの人々が海の豊かさを実感できるよう、環境学習などの取組を推進する。



図 I-3-7 藻場（ワカメ）



出典：水産庁HP

図 I-3-8 干潟

- 今後も、区部で発生する廃棄物等を適切に処分し持続可能な循環型社会に貢献していくため、引き続き廃棄物処分場の機能を確保するとともに、静脈貨物の取扱機能を確保する。

3-4 [観光・水辺のまちづくり] にぎわいをつなぐゲートウェイ

- クルーズ客船や大型クルーザー、水上交通（舟運）等の多様な船舶の寄港・回遊要請に対応するため、客船等の円滑かつ安全な受入機能の確保や官民連携による船着場の拡充などを図る。



図 I-3-9 東京国際クルーズターミナルに着岸した外航クルーズ客船



図 I-3-10 水上バス



図 I-3-11 水上タクシー

- 水辺のさらなる魅力向上に向けて、緑やオープンスペース等の連続性を確保した公園の整備や海に面した園路・海浜等へのパブリックアクセスの確保、民間開発等と連携したにぎわい創出、水辺レクリエーションを安全に楽しめる環境づくりなどにより人々が海とふれあう場を創出する。また、デジタルテクノロジーを活用したまちの魅力向上やにぎわいの創出に取り組む。

4. 港湾計画の実現に向けて

4-1 世界・国内の港湾、関係機関等との連携

本港湾計画における物流、防災・維持管理、環境、観光・水辺のまちづくりの各分野の施策については、複雑かつ多様化・高度化している。また、世界的に大きな潮流となっているSDGsやESGの理念を踏まえ、環境との共生や脱炭素社会、循環型社会の構築が求められている。施策の展開に際しては、地元自治体、国、事業者等と連携し多角的な視点を持って取り組んでいく。

また、港湾における新たな技術の導入や防災・環境の施策等においては、京浜港をはじめとした国内各港、世界の港湾と連携して取り組んでいく。

4-2 貨物需要等の状況に応じた既存ストックの活用

東京港を取り巻く情勢は刻々と変化しており、様々な要請の中には短い期間での対応が求められる取組もある。一方、埠頭等の港湾施設の整備には長期間を要する。

このため、貨物需要等の状況に応じて既存ストックやヤード、水域を暫定的に活用するなど、柔軟に対応していく。

4-3 港の仕事のPR・快適で働きやすい環境の実現

近年、生産年齢人口の減少などを背景に港で働く人々の担い手不足が急速に顕在化してきている。

未来の東京港の発展のため、東京港における仕事の認知度・イメージの向上に取り組んでいく。

また、港で働く人々にとって快適で働きやすい環境を確保するため、女性の活躍や高齢者雇用の高まりにも配慮し、DXの活用などによる作業環境の向上や福利厚生施設の充実等に取り組んでいく。

4-4 港湾空間のゾーニング

東京港の港湾空間を物流機能、都市機能、旅客・マリーナ機能及び環境機能にゾーニングし、それぞれの機能を高めるとともに、調和と秩序ある空間を形成するため、以下のように利用する。

○ 物流機能ゾーン

内港地区・南部地区・中部地区・東部地区及び中央防波堤地区の航路及び航路・泊地沿いは、港湾荷役など物流にかかる活動の場であり、港湾施設・倉庫などの物流施設の利用に供するゾーンとする。

○ 都市機能ゾーン

内港地区の豊洲・晴海や運河周辺、中部地区の臨海副都心などは、業務・商業・居住機能に加え、観光・交流機能を発揮するゾーンとする。

○ 旅客・マリーナ機能ゾーン

内港地区の竹芝・日の出・晴海、中部地区の青海、東部地区の夢の島・若洲は、旅客船やプレジャーボート・ヨットなど、観光・レクリエーションの船の利用に供するゾーンとする。

○ 環境機能ゾーン

南部地区・中部地区・東部地区の運河沿い、中央防波堤地区東側及び羽田地区東側の水域沿い、葛西沖地区は、人や生物に優しい環境を創出し、人と海・港とをつなぐゾーンとする。

II 港湾の能力に関する資料

目 次

II 港湾の能力に関する資料	II-1
1. 取扱貨物量	II-1
1-1 取扱貨物量の推移.....	II-1
1-2 取扱貨物量の設定.....	II-31
2. 入港船舶隻数	II-62
2-1 入港最大標準船型.....	II-62
2-2 船舶の利用状況.....	II-63
2-3 入港船舶隻数の推計.....	II-65
3. 港湾利用者数	II-74
3-1 港湾利用者数の設定の方針.....	II-74
3-2 港湾利用者数の設定.....	II-75

II 港湾の能力に関する資料

1. 取扱貨物量

港湾取扱貨物量実績の統計は令和3年まで整理されているが、令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の影響等により、一時的に物流が混乱している状況にある。そのため、目標年次における貨物取扱量の設定においては、令和元年までの実績値を用いることとした。

1-1 取扱貨物量の推移

1-1-1 外内別・公専別取扱量の推移

外内別・公専別取扱量の過去10年間の推移は、次のとおりである。

表 II-1-1 外内別・公専別取扱量の推移

外内別	種別	実績値										実績値(参考)	
		H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021
外貨	公共	44,705	46,415	46,924	48,089	48,490	46,317	47,729	49,612	49,349	47,952	45,931	47,201
	コンテナ	42,819	44,695	45,302	46,619	47,066	44,930	46,178	48,152	47,982	46,663	44,663	46,080
	在来	1,886	1,720	1,622	1,471	1,424	1,387	1,551	1,460	1,367	1,289	1,268	1,121
	専用	445	427	475	405	377	382	373	504	477	542	439	442
内貨	公共	22,267	26,042	24,340	26,265	26,725	26,894	27,436	29,384	29,623	28,511	26,316	28,368
	ユニット	8,718	9,762	9,931	10,168	11,115	11,791	11,931	11,622	11,716	11,208	9,881	10,837
	在来	5,369	5,689	5,463	6,378	6,443	5,904	5,337	6,009	5,516	5,089	5,255	5,826
	国際フェリー	1,123	1,100	1,168	1,169	1,123	904	1,043	1,667	1,523	1,479	1,374	1,119
	フェリー	7,057	9,491	7,779	8,550	8,043	8,294	9,126	10,086	10,868	10,735	9,806	10,585
	専用	10,099	10,512	11,047	11,273	11,597	11,740	10,416	11,280	12,095	10,801	8,181	8,714
合計		77,515	83,395	82,786	86,032	87,189	85,333	85,954	90,780	91,543	87,806	80,867	84,725
	外貨	45,150	46,841	47,399	48,494	48,867	46,699	48,102	50,116	49,826	48,494	46,370	47,643
	内貨	32,366	36,553	35,387	37,538	38,322	38,634	37,852	40,664	41,718	39,312	34,497	37,082

1-1-2 外貨貨物取扱量の推移

(1) 外貨貨物の品目別取扱量の推移

外貨貨物の品目別取扱量の過去10年の推移は、次のとおりである。

表Ⅱ-1-2 外貨貨物の品目別取扱量の推移

品目分類	出入別	実績値										実績値(参考)			
		H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021		
農水産品	米穀類	輸出	3	2	2	4	3	3	9	4	4	5	5	7	
		輸入	454	414	386	391	346	347	509	416	454	384	390	308	
	野菜・果物	輸出	24	20	13	23	28	36	36	30	35	42	39	54	
		輸入	1,570	1,641	1,708	1,639	1,595	1,593	1,594	1,808	1,891	1,743	1,603	1,535	
	水産品	輸出	146	130	152	191	179	222	239	290	236	166	196	194	
		輸入	897	946	974	1,027	969	923	903	945	928	917	746	696	
	その他農水産品	輸出	51	40	46	56	47	45	46	47	43	46	53	57	
		輸入	1,178	1,277	1,355	1,344	1,357	1,476	1,720	1,854	1,905	1,908	1,890	1,773	
	林産品	原木	輸出	2	1	1	2	3	3	3	2	3	3	1	1
			輸入	7	8	6	5	2	2	1	2	4	3	3	5
製材		輸出	8	9	7	6	5	5	4	5	6	5	4	6	
		輸入	19	10	9	14	19	13	30	22	20	16	17	22	
その他林産品		輸出	794	908	877	1,005	927	961	991	1,038	973	887	834	831	
		輸入	812	918	886	1,018	947	974	1,021	1,060	993	902	851	853	
鉱産品		石炭	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			輸入	132	127	100	106	149	159	84	132	117	155	142	149
		砂利・砂	輸出	132	127	100	107	149	159	84	132	117	155	142	149
			輸入	2	2	2	2	3	1	1	2	4	7	5	4
	原油	輸出	126	125	128	145	121	123	131	125	123	117	104	97	
		輸入	128	126	130	147	124	124	132	127	127	124	109	101	
	その他鉱産品	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		輸入	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	金属機械工業品	鉄鋼	輸出	8	8	9	9	11	11	13	16	14	17	27	27
			輸入	211	214	210	184	198	157	208	197	207	209	167	147
非鉄金属・金属製品		輸出	219	221	219	194	209	169	221	213	221	226	194	173	
		輸入	297	287	316	311	322	287	277	308	335	283	234	239	
輸送機械		輸出	200	241	218	199	197	156	155	174	171	195	164	188	
		輸入	496	528	534	510	519	444	432	482	506	478	398	427	
その他機械		輸出	366	385	360	425	418	408	377	404	437	406	355	393	
		輸入	1,065	1,168	1,155	1,278	1,380	1,426	1,379	1,462	1,606	1,607	1,319	1,448	
化学工業品		石油類	輸出	1,431	1,553	1,515	1,703	1,798	1,834	1,756	1,866	2,043	2,013	1,674	1,841
			輸入	1,755	1,727	1,778	1,712	1,545	1,418	1,666	1,622	1,770	1,793	1,324	1,442
	セメント	輸出	975	964	1,038	1,086	1,158	1,076	1,176	1,257	1,490	1,332	1,175	1,353	
		輸入	2,680	2,799	2,620	2,542	2,755	2,696	2,614	2,893	2,972	2,790	2,534	3,031	
	その他化学工業品	輸出	4,687	5,091	4,823	5,157	5,755	5,129	4,993	5,111	5,297	5,010	5,426	5,711	
		輸入	7,367	7,890	7,443	7,699	8,510	7,825	7,607	8,005	8,289	8,100	7,960	8,742	
	軽工業品	紙・パルプ	輸出	24	20	20	31	25	23	32	30	39	37	29	50
			輸入	23	24	25	27	27	29	26	31	41	35	51	35
		砂糖	輸出	47	44	45	58	53	52	58	62	80	72	80	85
			輸入	4	5	6	8	8	8	10	9	3	1	1	2
その他軽工業品		輸出	5	7	7	6	6	9	8	13	13	17	16	14	
		輸入	10	12	13	13	14	16	17	21	17	17	17	16	
雑工業品		金属くず	輸出	2,328	1,998	1,819	1,897	1,984	2,123	2,232	2,339	2,372	2,344	2,322	2,584
			輸入	2,974	3,361	3,338	3,367	3,291	3,123	3,162	3,445	3,616	3,444	3,251	3,438
		廃棄物(廃土砂)	輸出	5,303	5,359	5,157	5,264	5,275	5,246	5,395	5,783	5,988	5,788	5,573	6,022
			輸入	1,97	136	177	226	257	246	294	333	263	219	225	297
	取合せ品	輸出	1,039	1,147	1,154	1,097	1,002	930	907	877	719	762	727	711	
		輸入	1,236	1,283	1,331	1,323	1,259	1,176	1,202	1,210	982	981	952	1,007	
	その他特殊品	輸出	1	2	1	0	0	1	1	1	0	1	1	1	
		輸入	41	38	41	43	41	51	44	57	53	45	45	44	
	分類不能のもの	輸出	42	41	42	43	42	52	44	57	54	46	45	46	
		輸入	345	310	289	306	322	324	351	321	383	404	445	552	
特殊品	金属くず	輸出	3,639	4,043	4,163	4,263	4,116	3,924	3,874	4,148	4,056	3,961	3,836	3,798	
		輸入	3,983	4,353	4,452	4,569	4,438	4,247	4,225	4,509	4,439	4,365	4,280	4,350	
	廃棄物(廃土砂)	輸出	1,227	1,265	1,104	1,136	1,170	1,174	1,197	1,189	1,175	1,230	1,108	1,133	
		輸入	8,772	9,216	9,463	9,975	9,944	9,285	9,831	10,342	10,456	10,425	10,280	10,554	
	取合せ品	輸出	9,999	10,481	10,567	11,111	11,114	10,459	11,028	11,531	11,631	11,655	11,388	11,687	
		輸入	630	453	686	594	506	539	660	607	536	639	645	479	
	廃棄物(廃土砂)	輸出	43	43	38	44	48	60	57	66	72	60	60	66	
		輸入	673	495	725	638	554	600	716	673	608	699	705	545	
	取合せ品	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他特殊品	輸出	312	242	324	267	366	401	495	389	236	173	135	169		
	輸入	1,108	1,109	1,107	987	934	865	880	787	77	104	68	61		
分類不能のもの	輸出	1,420	1,351	1,430	1,254	1,300	1,266	1,375	1,175	313	277	204	230		
	輸入	3,154	3,112	3,410	3,388	3,247	2,945	2,780	2,610	2,407	2,114	2,180	1,742		
合計	輸出	1,488	1,642	1,835	1,835	1,939	1,834	1,957	2,170	2,125	2,008	2,069	2,083		
	輸入	4,642	4,754	5,246	5,224	5,186	4,779	4,738	4,779	4,532	4,122	4,249	3,825		

※本資料は、中分類の27品目で記載しており、以下同様とする。

(2) 外貿公共貨物の品目別取扱量の推移

外貿公共貨物の品目別取扱量の過去10年の推移は、次のとおりである。

表Ⅱ-1-3 外貿公共貨物の品目別取扱量の推移

品目分類	出入別	実績値										実績値(参考)		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
農水産品	米穀類	輸出	3	2	2	4	3	3	9	4	4	5	5	7
		輸入	454	414	386	391	346	347	509	416	454	384	390	308
	野菜・果物	輸出	458	416	388	395	349	351	517	419	458	389	395	315
		輸入	24	20	13	23	28	36	36	30	35	42	39	54
	水産品	輸出	1,140	1,223	1,239	1,245	1,223	1,214	1,222	1,307	1,429	1,208	1,169	1,097
		輸入	1,165	1,243	1,252	1,267	1,251	1,250	1,258	1,338	1,463	1,251	1,208	1,151
その他農水産品	輸出	146	130	152	191	179	222	239	290	236	166	196	194	
	輸入	897	946	974	1,027	969	923	903	945	928	917	746	696	
	計	1,042	1,076	1,126	1,218	1,148	1,145	1,142	1,235	1,163	1,083	942	890	
林産品	原木	輸出	51	40	46	56	47	45	46	47	43	46	53	57
		輸入	1,178	1,277	1,335	1,344	1,357	1,476	1,720	1,854	1,905	1,908	1,890	1,773
	製材	輸出	1,229	1,317	1,381	1,400	1,404	1,521	1,766	1,902	1,949	1,954	1,943	1,830
		輸入	2	1	1	2	3	3	3	2	3	3	1	1
	その他林産品	輸出	7	8	6	5	2	2	1	2	4	3	3	5
		輸入	8	9	7	6	5	5	4	5	6	5	4	6
	計	19	10	9	14	19	13	30	22	20	16	17	22	
	計	794	908	877	1,005	927	961	991	1,038	973	887	834	831	
	計	812	918	886	1,018	947	974	1,021	1,060	993	902	851	853	
鉱産品	石炭	輸出	0	1	1	2	4	3	7	2	1	1	1	1
		輸入	145	132	121	136	139	127	141	149	143	130	120	116
	砂利・砂	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	132	127	100	106	149	159	84	132	117	155	142	149
	原油	輸出	132	127	100	107	149	159	84	132	117	156	142	149
		輸入	2	2	2	2	3	1	1	2	4	7	5	4
その他鉱産品	輸出	126	125	128	145	121	123	131	125	123	117	104	97	
	輸入	128	126	130	147	124	124	132	127	127	124	109	101	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	計	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	計	8	8	9	9	11	11	13	16	14	17	27	27	
	計	211	214	210	184	198	157	208	197	207	209	167	147	
	計	219	221	219	194	209	169	221	213	221	226	194	173	
金属機械工業品	鉄鋼	輸出	293	287	316	311	322	287	277	308	335	283	234	239
		輸入	189	234	212	198	195	154	154	174	171	195	164	188
	非鉄金属・金属製品	輸出	483	521	528	509	517	441	430	481	506	478	398	427
		輸入	366	385	360	425	418	408	377	404	437	406	355	393
	輸送機械	輸出	1,064	1,166	1,155	1,268	1,377	1,425	1,379	1,462	1,606	1,607	1,319	1,448
		輸入	1,430	1,551	1,515	1,693	1,795	1,833	1,756	1,866	2,043	2,013	1,674	1,841
その他機械	輸出	1,755	1,727	1,778	1,712	1,545	1,418	1,666	1,622	1,770	1,793	1,324	1,442	
	輸入	975	964	1,038	1,086	1,158	1,076	1,176	1,257	1,490	1,332	1,175	1,353	
	計	2,730	2,690	2,816	2,798	2,703	2,495	2,843	2,879	3,260	3,125	2,499	2,795	
	計	2,680	2,799	2,620	2,542	2,755	2,696	2,614	2,893	2,972	2,790	2,534	3,031	
	計	4,687	5,091	4,823	5,157	5,755	5,129	4,993	5,111	5,297	5,310	5,426	5,711	
	計	7,367	7,890	7,443	7,699	8,510	7,825	7,607	8,005	8,269	8,100	7,960	8,742	
化学工業品	石油類	輸出	24	20	20	31	25	23	32	30	39	37	29	50
		輸入	23	24	25	27	27	29	26	31	41	35	51	35
	セメント	輸出	47	44	45	58	53	52	58	62	80	72	80	85
		輸入	4	5	6	8	8	8	10	9	3	1	1	2
	その他化学工業品	輸出	5	7	7	6	6	9	8	13	13	17	16	14
		輸入	10	12	13	13	14	16	17	21	17	17	17	16
	計	2,328	1,998	1,819	1,897	1,984	2,123	2,232	2,338	2,372	2,344	2,322	2,584	
	計	2,974	3,361	3,338	3,367	3,291	3,123	3,162	3,445	3,616	3,444	3,251	3,438	
	計	5,303	5,359	5,157	5,264	5,275	5,246	5,395	5,783	5,987	5,788	5,573	6,022	
軽工業品	紙・パルプ	輸出	197	136	177	226	257	246	294	333	263	219	225	297
		輸入	1,039	1,147	1,154	1,097	1,002	930	907	877	719	762	727	711
	砂糖	輸出	1,236	1,283	1,331	1,323	1,259	1,176	1,202	1,210	982	981	952	1,007
		輸入	1	2	1	0	0	1	1	1	0	1	1	1
	その他軽工業品	輸出	41	38	41	43	41	51	44	57	53	45	45	44
		輸入	42	41	42	43	42	52	44	57	54	46	45	46
	計	345	310	289	306	322	324	351	361	383	404	444	552	
	計	3,639	4,043	4,163	4,263	4,116	3,924	3,874	4,148	4,056	3,961	3,835	3,798	
	計	3,983	4,353	4,452	4,569	4,438	4,247	4,225	4,509	4,439	4,365	4,280	4,350	
雑工業品	輸出	1,227	1,265	1,104	1,136	1,170	1,174	1,197	1,189	1,175	1,230	1,108	1,133	
	輸入	8,772	9,216	9,463	9,975	9,944	9,285	9,831	10,342	10,456	10,425	10,280	10,554	
	計	9,999	10,481	10,567	11,111	11,114	10,459	11,028	11,531	11,631	11,654	11,387	11,687	
特殊品	金属くず	輸出	630	453	686	594	506	539	660	607	536	639	645	479
		輸入	43	43	38	44	48	60	57	66	72	60	60	66
	廃棄物(廃土砂)	輸出	673	495	725	638	554	600	716	673	608	699	705	545
		輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	取合せ品	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他特殊品	輸出	312	242	324	267	366	401	495	389	236	173	135	169	
	輸入	1,108	1,109	1,107	987	934	865	880	787	77	104	68	61	
	計	1,420	1,351	1,430	1,254	1,300	1,266	1,375	1,175	313	277	204	230	
	計	3,154	3,112	3,410	3,388	3,247	2,945	2,780	2,607	2,393	2,108	2,176	1,738	
	計	1,488	1,642	1,835	1,835	1,939	1,834	1,957	2,170	2,125	2,008	2,069	2,083	
	計	4,642	4,754	5,246	5,224	5,186	4,779	4,738	4,777	4,518	4,116	4,245	3,821	
分類不能のもの	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	輸出	13,572	12,954	13,147	13,147	13,222	12,933	13,368	13,506	13,275	12,728	11,878	12,477	
	輸入	31,133	33,461	33,777	34,943	35,268	33,384	34,361	36,106	36,074	35,224	34,052	34,724	
	計	44,705	46,415	46,924	48,089	48,490	46,317	47,729	49,612	49,349	47,952	45,931	47,201	

(3) 外貿公共コンテナ貨物の取扱量の推移

1) 品目別取扱量の推移

外貿公共コンテナ貨物の品目別取扱量の過去10年の推移は、次のとおりである。

表Ⅱ-1-4 外貿公共コンテナ貨物の品目別取扱量の推移

品目分類	出入別	実績値										実績値(参考)		
		H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	
農水産品	米穀類	輸出	3	2	2	4	3	3	9	4	4	5	5	7
		輸入	151	149	144	173	150	137	140	177	210	194	172	162
	計	155	151	146	178	153	140	149	180	213	199	177	169	
	野菜・果物	輸出	24	20	13	23	28	36	36	30	35	42	39	54
		輸入	910	1,009	1,081	1,088	1,073	1,060	1,100	1,171	1,284	1,099	1,055	982
	計	935	1,029	1,094	1,111	1,101	1,097	1,136	1,201	1,318	1,141	1,141	1,094	1,036
水産品	輸出	146	130	152	190	178	222	239	289	235	166	196	194	
	輸入	881	925	972	1,025	965	922	902	944	924	917	746	691	
計	1,027	1,055	1,124	1,214	1,143	1,144	1,141	1,233	1,158	1,083	942	885		
その他農水産品	輸出	51	40	46	56	47	45	46	47	43	46	53	57	
	輸入	1,178	1,277	1,335	1,344	1,357	1,476	1,720	1,854	1,905	1,908	1,890	1,773	
計	1,229	1,317	1,381	1,400	1,404	1,521	1,766	1,902	1,949	1,954	1,943	1,830		
林産品	原木	輸出	2	1	1	2	3	3	3	2	3	3	1	1
		輸入	7	8	6	5	2	2	1	2	4	3	3	5
	計	8	9	7	6	5	5	4	5	6	5	4	6	
	製材	輸出	13	10	7	11	17	13	30	22	20	15	17	22
		輸入	594	652	681	827	733	788	821	859	857	820	805	759
	計	607	662	688	837	749	801	851	881	877	835	822	781	
その他林産品	輸出	0	1	1	2	4	3	7	2	1	1	1	1	
	輸入	121	126	120	134	139	127	141	148	143	130	120	116	
計	121	127	122	136	144	130	147	149	143	130	121	118		
鉱産品	石炭	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	34	39	37	30	30	28	32	32	42	48	48	54
	計	34	39	37	30	30	28	32	32	42	48	48	54	
	砂利・砂	輸出	2	2	2	2	3	1	1	2	4	7	5	4
		輸入	126	125	128	145	121	123	121	118	123	117	104	97
	計	128	126	130	147	124	124	122	120	127	124	109	101	
原油	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	輸入	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
計	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
その他鉱産品	輸出	8	8	9	9	11	11	13	16	14	17	27	27	
	輸入	101	119	141	127	113	100	106	131	149	136	117	121	
計	109	127	150	137	124	111	119	147	163	153	144	147		
金属機械工業品	鉄鋼	輸出	281	280	316	302	310	287	277	302	317	265	219	218
		輸入	147	185	172	172	158	135	126	145	144	152	129	147
	計	429	465	488	474	469	422	403	446	441	417	348	365	
	非鉄金属・金属製品	輸出	360	385	360	425	417	408	377	404	437	406	355	393
		輸入	1,060	1,161	1,154	1,263	1,366	1,404	1,373	1,459	1,588	1,594	1,304	1,437
	計	1,420	1,546	1,514	1,688	1,782	1,812	1,750	1,864	2,025	1,999	1,659	1,830	
輸送機械	輸出	1,754	1,726	1,777	1,712	1,544	1,418	1,664	1,621	1,769	1,792	1,324	1,441	
	輸入	975	962	1,034	1,083	1,156	1,074	1,168	1,243	1,469	1,320	1,165	1,341	
計	2,729	2,688	2,810	2,795	2,700	2,492	2,832	2,864	3,238	3,112	2,489	2,782		
その他機械	輸出	2,669	2,785	2,619	2,541	2,749	2,692	2,603	2,881	2,953	2,776	2,518	3,008	
	輸入	4,686	5,079	4,823	5,157	5,754	5,127	4,992	5,109	5,292	5,293	5,421	5,699	
計	7,355	7,864	7,443	7,698	8,503	7,819	7,596	7,990	8,245	8,069	7,939	8,708		
化学工業品	石油類	輸出	24	20	20	31	23	23	32	30	39	37	29	50
		輸入	23	23	25	27	27	29	26	30	41	35	34	35
	計	47	43	45	58	53	52	58	61	80	72	63	85	
	セメント	輸出	4	5	6	8	8	8	10	9	3	1	1	2
		輸入	3	6	6	6	6	9	8	13	13	17	16	14
	計	7	11	12	13	14	16	17	21	17	17	17	16	
その他化学工業品	輸出	2,328	1,998	1,819	1,897	1,984	2,123	2,232	2,338	2,372	2,344	2,322	2,584	
	輸入	2,919	3,271	3,275	3,301	3,280	3,105	3,156	3,424	3,577	3,428	3,241	3,428	
計	5,247	5,269	5,094	5,198	5,264	5,228	5,388	5,762	5,948	5,771	5,563	6,013		
軽工業品	紙・パルプ	輸出	197	136	177	226	257	246	294	333	263	219	225	297
		輸入	891	1,006	1,030	983	911	818	827	812	703	761	727	711
	計	1,089	1,142	1,208	1,209	1,168	1,064	1,121	1,145	967	980	952	1,007	
	砂糖	輸出	1	2	1	0	0	1	1	1	0	1	1	1
		輸入	41	38	41	43	41	51	44	57	53	45	45	44
	計	42	41	42	43	42	52	44	57	54	46	45	46	
その他軽工業品	輸出	345	310	289	306	322	324	351	361	383	404	444	552	
	輸入	3,636	4,039	4,162	4,263	4,100	3,924	3,874	4,142	4,056	3,961	3,835	3,797	
計	3,981	4,349	4,451	4,569	4,423	4,247	4,225	4,503	4,439	4,365	4,280	4,350		
雑工業品	金属くず	輸出	1,227	1,265	1,192	1,136	1,170	1,174	1,197	1,189	1,175	1,230	1,108	1,133
		輸入	8,767	9,205	9,463	9,973	9,924	9,282	9,831	10,341	10,456	10,424	10,279	10,552
	計	9,994	10,470	10,564	11,111	11,094	10,456	11,028	11,530	11,630	11,654	11,387	11,684	
	廃棄物(廃土砂)	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
取合せ品	輸出	312	242	324	267	366	401	495	389	236	173	135	169	
	輸入	1,108	1,109	1,107	987	934	865	880	786	77	104	68	61	
計	1,420	1,351	1,430	1,254	1,300	1,266	1,374	1,175	313	277	204	230		
その他特殊品	輸出	3,154	3,112	3,410	3,388	3,246	2,945	2,780	2,607	2,393	2,108	2,176	1,738	
	輸入	1,487	1,641	1,835	1,835	1,939	1,834	1,957	2,137	2,029	1,940	1,989	1,916	
計	4,642	4,753	5,246	5,224	5,185	4,779	4,737	4,744	4,423	4,048	4,165	3,654		
分類不能のもの	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	輸出	12,926	12,504	12,491	12,582	12,735	12,450	12,773	12,950	12,770	12,155	11,288	12,071	
	輸入	29,893	32,191	32,811	34,036	34,331	32,480	33,405	35,202	35,212	34,508	33,375	34,009	
計	42,819	44,695	45,302	46,619	47,066	44,930	46,178	48,152	47,982	46,663	44,663	46,080		

2) コンテナ取扱個数等の推移

外貿公共コンテナ貨物取扱個数等の過去 10 年の推移は、次のとおりである。

表 II-1-5 外貿公共コンテナ貨物取扱個数等の推移

区分	出入	実入・空別	実績値											実績値(参考)	
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
			2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
実入コンテナ トン-TEU換算率 (トン/TEU)	輸出	実入	13.3	13.3	13.3	13.4	13.4	13.7	13.5	13.1	13.1	13.0	12.9	13.0	
	輸入	実入	14.5	14.5	14.4	14.5	14.7	14.6	14.8	14.6	14.4	14.5	14.8	14.6	
	計	実入	14.1	14.2	14.1	14.2	14.3	14.3	14.4	14.2	14.1	14.1	14.3	14.2	
空コンテナ比率 (%)	輸出	空	44.0%	50.8%	51.9%	52.8%	53.5%	52.5%	52.2%	52.3%	54.0%	56.1%	56.0%	52.9%	
	輸入	空	1.0%	0.8%	0.6%	0.4%	0.5%	0.6%	0.4%	0.6%	0.5%	0.4%	0.7%	1.3%	
	計	空	20.6%	23.9%	24.2%	24.4%	25.1%	24.5%	24.5%	24.4%	25.3%	26.7%	26.5%	24.8%	
コンテナ個数 (千TEU)	輸出	実入	974	941	938	941	949	912	948	989	974	934	874	927	
		空	765	971	1,010	1,054	1,091	1,006	1,033	1,085	1,144	1,195	1,111	1,043	
	輸入	実入	2,057	2,213	2,272	2,350	2,340	2,220	2,261	2,411	2,441	2,376	2,258	2,325	
		空	20	18	15	8	11	13	9	14	12	9	16	31	
	計	実入	3,031	3,155	3,210	3,291	3,288	3,131	3,208	3,401	3,414	3,311	3,133	3,252	
		空	785	989	1,025	1,063	1,101	1,018	1,042	1,100	1,156	1,203	1,127	1,074	
コンテナ貨物量 (千トン)	輸出	実入	12,926	12,504	12,491	12,582	12,735	12,450	12,773	12,950	12,770	12,155	11,288	12,071	
	輸入	実入	29,893	32,191	32,811	34,036	34,331	32,480	33,405	35,202	35,212	34,508	33,375	34,009	
	計	実入	42,819	44,695	45,302	46,619	47,066	44,930	46,178	48,152	47,982	46,663	44,663	46,080	

3) 航路方面別取扱個数の推移

外貿公共コンテナ貨物の航路方面別取扱個数の過去10年の推移は、次のとおりである。

表 II-1-6 外貿公共コンテナ貨物の航路方面別取扱個数の推移

単位：千TEU

航路	実績値										実績値(参考)	
	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021
北米	340	771	812	817	725	689	774	829	824	683	576	464
北欧・地中海	374	422	300	271	310	254	228	238	249	357	405	374
南米	18	18	34	57	64	62	65	62	57	54	20	0
オセアニア	21	24	31	28	33	29	23	32	66	26	22	18
東南アジア	1,230	1,285	1,466	1,607	1,578	1,482	1,494	1,459	1,652	1,719	1,627	1,736
韓国	174	209	194	206	224	211	199	196	201	187	164	199
中国	1,576	1,388	1,370	1,358	1,456	1,422	1,379	1,571	1,498	1,488	1,446	1,535
その他	84	27	28	10	0	0	90	113	24	0	0	0
合計	3,816	4,144	4,235	4,353	4,390	4,150	4,251	4,500	4,571	4,514	4,260	4,326

(4) 外貿公共在来貨物の品目別取扱量の推移

外貿公共在来貨物の品目別取扱量の過去 10 年の推移は、次のとおりである。

表 II-1-7 外貿公共在来貨物の品目別取扱量の推移

品目分類	出入別	実績値										実績値(参考)		
		H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	
農水産品	米穀類	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	303	264	242	217	196	211	369	239	244	190	218	146
	野菜・果物	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	230	214	158	157	150	153	122	136	145	109	114	116
	水産品	輸出	0	0	0	1	1	1	0	1	1	0	0	0
		輸入	16	21	2	3	4	1	1	2	4	0	0	5
その他農水産品	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
林産品	原木	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	製材	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	199	256	196	178	195	173	170	179	116	66	29	72
	その他林産品	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	24	6	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0
鉱産品	石炭	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	98	88	63	77	119	130	52	100	75	108	94	95
	砂利・砂	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	0	0	0	0	0	0	10	7	0	0	0	0
	原油	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他鉱産品	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	輸入	110	94	69	57	84	58	102	66	58	73	49	26	
金属機械工業品	鉄鋼	輸出	12	7	0	9	12	0	0	6	18	18	15	21
		輸入	42	49	41	27	37	19	28	29	27	42	35	42
	非鉄金属・金属製品	輸出	7	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	4	5	1	5	11	21	6	3	18	13	15	11
	輸送機械	輸出	1	1	2	0	1	0	2	1	1	1	1	0
		輸入	0	2	5	3	2	3	8	14	21	13	10	12
その他機械	輸出	11	13	1	1	6	4	10	12	19	14	17	23	
	輸入	1	12	0	0	1	2	1	3	5	16	5	12	
化学工業品	石油類	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	17	0
	セメント	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他化学工業品	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	55	90	63	65	11	18	7	21	39	16	10	10
軽工業品	紙・パルプ	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	147	141	124	114	91	113	80	65	16	1	0	0
	砂糖	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他軽工業品	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	2	4	1	0	15	0	0	6	0	0	0	0
雑工業品	紙・パルプ	輸出	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	4	11	0	0	20	3	0	1	0	0	1	2
	金属くず	輸出	608	428	649	550	463	478	583	535	464	539	558	361
		輸入	1	8	1	2	0	0	0	0	0	0	2	0
	廃棄物(廃土砂)	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
取合せ品	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	輸入	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
その他特殊品	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	輸入	1	2	0	0	0	0	0	33	95	68	79	167	
分類不能のもの	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	輸出	645	450	655	564	488	483	595	556	504	573	590	406	
	輸入	1,241	1,270	966	906	936	903	955	904	863	716	678	715	
		1,886	1,720	1,622	1,471	1,424	1,387	1,551	1,460	1,367	1,289	1,268	1,121	

(5) 外貿専用貨物の品目別取扱量の推移

外貿専用貨物の品目別取扱量の過去10年の推移は、次のとおりである。

表 II-1-8 外貿専用貨物の品目別取扱量の推移

品目分類	出入別	実績値										実績値(参考)		
		H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	
農水産品	米穀類	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	野菜・果物	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	430	419	469	394	372	379	372	501	462	534	434	438
		計	430	419	469	394	372	379	372	501	462	534	434	438
水産品	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他農水産品	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
林産品	原木	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	製材	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他林産品	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鉱産品	石炭	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	砂利・砂	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原油	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他鉱産品	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
金属機械工業品	鉄鋼	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非鉄金属・金属製品	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
輸送機械	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他機械	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
化学工業品	石油類	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	セメント	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他化学工業品	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
軽工業品	紙・パルプ	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	砂糖	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他軽工業品	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑工業品	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特殊品	金属くず	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃棄物(廃土砂)	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
取合せ品	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他特殊品	輸出	0	0	0	0	0	0	0	3	14	6	4	4	
	輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	3	14	6	4	4	
分類不能のもの	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	輸出	0	0	0	0	0	0	0	3	14	6	5	4	
	輸入	430	419	469	394	372	379	372	501	463	535	435	438	
	計	430	419	469	394	372	379	372	504	477	542	439	442	

1-1-3 内貿貨物取扱量の推移

(1) 内貿貨物の品目別取扱量の推移

内貿貨物の品目別取扱量の過去10年の推移は、次のとおりである。

なお、内貿貨物は、内貿公共貨物（内貿ユニット貨物、内貿在来貨物、国際フイーダー貨物、内貿フェリー貨物）と内貿専用貨物の合計である。

表Ⅱ-1-9 内貿貨物の品目別取扱量の推移

品目分類	出入別	実績値											実績値(参考)		
		H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021		
農水産品	米穀類	移出	36	49	43	48	36	29	27	33	65	71	62	64	
		移入	45	92	77	127	101	100	51	95	92	99	107	124	
	野菜・果物	移出	82	141	120	175	137	129	78	128	157	170	169	189	
		移入	43	36	50	53	59	70	63	73	85	86	48	43	
	水産品	移出	48	50	44	44	41	41	68	51	54	57	50	49	
		移入	91	86	94	97	100	111	131	123	139	142	99	92	
その他農水産品	移出	28	26	34	26	26	28	32	26	35	28	36	18		
	移入	38	33	33	32	28	27	24	25	25	32	22	23		
林産品	原木	移出	06	59	67	58	54	55	56	51	61	60	58	41	
		移入	41	27	36	34	33	28	22	34	34	22	16	15	
	製材	移出	17	20	18	12	13	16	16	10	14	29	5	6	
		移入	59	47	54	46	47	44	38	44	48	51	21	21	
	その他林産品	移出	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	
		移入	4	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	
鉱産品	石炭	移出	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
		移入	4	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	
	砂利・砂	移出	34	43	62	73	58	44	34	38	74	64	51	61	
		移入	14	21	13	14	11	13	15	17	18	17	11	13	
	原油	移出	47	63	75	87	70	56	49	55	92	82	63	74	
		移入	16	18	18	18	23	18	13	12	14	13	13	14	
金属機械工業品	鉄鋼	移出	7	9	14	13	10	8	13	11	12	14	7	7	
		移入	23	28	31	32	34	26	25	24	26	27	20	21	
	非鉄金属・金属製品	移出	0	3	2	20	10	2	5	14	0	0	10	17	
		移入	1	5	0	18	18	26	16	17	13	3	39	61	
	輸送機械	移出	2	8	2	38	28	27	22	31	13	3	49	28	
		移入	59	68	21	30	16	44	76	33	52	43	39	27	
その他機械	移出	4,577	4,561	4,365	4,614	5,087	5,843	4,721	5,469	5,814	4,752	3,787	3,981		
	移入	4,637	4,629	4,385	4,645	5,103	5,887	4,797	5,502	5,367	4,795	3,815	4,008		
化学工業品	石油類	移出	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
		移入	435	720	1,157	712	496	375	53	0	0	0	0	0	
	セメント	移出	435	720	1,157	715	496	375	53	0	0	0	0	0	
		移入	54	69	31	41	13	37	19	12	19	56	49	68	
	その他化学工業品	移出	63	20	92	155	121	29	178	47	18	110	113	92	
		移入	117	89	123	197	134	66	197	58	37	166	162	161	
軽工業品	紙・パルプ	移出	68	67	55	27	38	20	17	15	15	55	29	30	
		移入	1,113	1,175	1,193	1,178	1,230	1,019	1,044	1,093	1,150	1,094	860	1,060	
	砂糖	移出	1,181	1,242	1,247	1,205	1,268	1,039	1,062	1,108	1,164	1,148	889	1,090	
		移入	62	53	56	50	49	46	48	54	62	51	42	50	
	その他軽工業品	移出	80	96	69	70	74	70	63	87	73	71	50	59	
		移入	142	149	125	121	123	116	111	140	135	122	92	109	
雑工業品	繊維	移出	1,868	1,762	1,978	2,108	2,346	2,371	2,426	2,549	2,457	2,334	2,203	2,222	
		移入	902	891	884	1,017	1,032	1,048	1,013	1,018	1,027	986	1,007	1,083	
	その他雑工業品	移出	2,771	2,653	2,862	3,124	3,378	3,419	3,439	3,567	3,484	3,320	3,211	3,305	
		移入	157	235	262	286	300	365	381	400	307	276	306	284	
	特殊品	金属くず	移出	81	107	118	120	133	145	133	153	121	84	82	72
			移入	238	341	380	406	432	510	515	553	428	361	388	357
廃棄物(廃土砂)		移出	162	170	173	199	189	215	195	214	278	264	228	301	
		移入	3,702	3,668	3,663	3,777	4,171	4,406	4,440	4,584	4,710	4,771	3,124	3,129	
取合せ品		移出	3,865	3,838	3,836	3,977	4,360	4,621	4,635	4,798	4,988	5,035	3,352	3,429	
		移入	51	51	51	46	48	41	41	32	30	33	32	32	
その他特殊品	移出	2,302	2,353	2,420	2,750	2,731	2,559	2,309	2,588	2,821	2,431	2,302	2,315		
	移入	2,353	2,495	2,471	2,796	2,779	2,600	2,350	2,620	2,851	2,484	2,334	2,347		
フェリー貨物	紙・パルプ	移出	177	189	182	187	180	173	184	196	213	193	184	194	
		移入	199	211	198	180	179	145	144	177	182	222	153	159	
	砂糖	移出	376	399	380	366	359	318	328	373	395	415	337	353	
		移入	192	206	236	231	200	173	176	195	231	194	70	85	
	その他軽工業品	移出	1,790	1,756	1,627	1,529	1,519	1,597	1,598	1,564	1,447	1,222	818	951	
		移入	1,982	1,963	1,863	1,760	1,718	1,770	1,774	1,759	1,678	1,416	887	1,036	
雑工業品	移出	13	11	13	11	11	12	10	16	21	13	18	16		
	移入	72	56	59	50	41	48	54	52	68	69	69	58		
特殊品	移出	84	67	72	61	52	60	64	68	90	82	88	73		
	移入	619	573	603	600	584	609	642	682	596	575	535	498		
フェリー貨物	繊維	移出	363	451	427	421	407	453	436	426	444	402	369	369	
		移入	982	1,024	1,030	1,021	991	1,062	1,077	1,107	1,039	977	904	868	
	雑工業品	移出	248	228	224	259	246	203	240	324	359	374	376	374	
		移入	183	164	129	111	108	77	105	90	85	100	103	121	
	特殊品	移出	431	392	353	370	354	280	345	414	444	474	479	495	
		移入	24	7	3	1	1	1	6	12	24	18	21	26	
その他特殊品	移出	25	29	25	18	33	17	19	20	20	16	18	24		
	移入	48	35	27	19	35	18	25	33	44	34	39	49		
フェリー貨物	移出	1,698	1,895	2,006	2,665	2,325	1,852	1,486	1,993	1,638	1,278	1,837	2,327		
	移入	6	5	5	26	85	25	22	12	11	21	16	14		
フェリー貨物	移出	1,704	1,900	2,011	2,690	2,410	1,877	1,508	2,005	1,649	1,299	1,853	2,341		
	移入	1,771	2,294	2,320	2,436	2,790	2,858	2,897	2,943	2,991	3,057	2,727	3,073		
フェリー貨物	移出	1,180	1,754	1,786	1,795	2,267	2,323	2,432	2,329	2,333	2,240	1,910	2,171		
	移入	2,951	4,048	4,106	4,231	5,057	5,181	5,329	5,272	5,324	5,296	4,636	5,244		
フェリー貨物	移出	408	434	438	398	418	374	481	499	474	389	435	406		
	移入	231	303	300	354	342	320	238	247	225	248	311	310		
フェリー貨物	移出	639	737	738	752	760	694	718	746	699	637	746	715		
	移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
フェリー貨物	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	移出	3,604	4,844	3,941	4,397	4,216	4,295	4,775	5,396	5,676	5,567	4,981	5,325		
	移入	3,453	4,647	3,838	4,153	3,826	3,999	4,351	4,690	5,193	5,168	4,825	5,261		
合計	移出	7,057	9,491	7,779	8,550	8,043	8,294	9,126	10,086	10,868	10,735	9,806	10,585		
	移入	11,433	13,359	12,833	14,247	14,216	13,905	14,296	15,792	15,751	15,054	14,339	15,570		
合計	移出	20,932	23,194	22,554	23,291	24,105	24,729	23,556	24,872	25,966	24,258	20,159	21,512		
	移入	32,366	36,553	35,387	37,538	38,322	38,634	37,852	40,664	41,718	39,312	34,497	37,082		
合計	移出	7,829	8,515	8,892	9,851	10,000	9,610	9,521	10,396	10,076	9,488	9,358	10,245		
	移入	17,479	18,547	18,717	19,138	20,279	20,730	19,205	20,183	20,773	19,990	15,333	16,251		
合計	移出	25,308	27,062	27,609	28,988	30,279	30,340								

(2) 内貿公共貨物の品目別取扱量の推移

内貿公共貨物の品目別取扱量の過去10年の推移は、次のとおりである。

表Ⅱ-1-10 内貿公共貨物の品目別取扱量の推移

品目分類	出入別	実績値										実績値(参考)		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
農水産品	米穀類	移出	36	49	43	48	36	29	27	33	65	71	62	64
		移入	45	92	77	127	101	100	51	95	92	99	107	124
		計	82	141	120	175	137	129	78	128	157	170	169	189
	野菜・果物	移出	43	36	50	53	59	70	63	72	85	86	48	43
		移入	48	50	44	44	41	41	68	51	54	57	50	49
		計	91	86	94	97	100	111	131	122	139	142	99	92
	水産品	移出	28	26	34	26	26	28	32	26	35	28	36	18
		移入	38	33	33	32	28	27	24	25	25	32	22	23
		計	66	59	67	58	54	55	56	51	61	60	58	41
	その他農水産品	移出	41	27	36	34	33	28	22	34	34	22	16	15
移入		17	20	18	12	13	16	16	10	14	29	5	6	
計		59	47	54	46	47	44	38	44	48	51	21	21	
林産品	原木	移出	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
		移入	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		計	4	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0
	製材	移出	34	43	62	73	58	44	34	38	74	64	51	61
		移入	14	21	13	14	11	13	15	17	18	17	11	13
		計	47	63	75	87	70	56	49	55	92	82	63	74
	その他林産品	移出	16	18	18	18	23	18	13	12	14	13	13	14
		移入	7	9	14	13	10	8	13	11	12	14	7	7
		計	23	28	31	32	34	26	25	24	26	27	20	21
	鉱産品	石炭	移出	0	3	2	20	10	2	5	14	0	0	10
移入			1	5	0	18	18	26	16	17	13	3	39	61
計			2	8	2	38	28	27	22	31	13	3	49	78
砂利・砂		移出	14	65	21	26	16	42	36	30	47	20	7	7
		移入	1,426	1,286	1,070	1,194	1,558	1,934	1,742	2,014	2,130	1,922	1,626	1,603
		計	1,441	1,351	1,091	1,220	1,574	1,977	1,778	2,044	2,176	1,942	1,633	1,610
原油		移出	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
その他鉱産品		移出	54	69	31	41	13	37	19	12	19	56	49	68
	移入	63	20	92	155	121	29	178	47	18	110	113	92	
	計	117	89	123	197	134	66	197	58	37	166	162	161	
金属機械工業品	鉄鋼	移出	60	67	55	27	38	19	17	15	15	55	29	30
		移入	275	368	373	379	356	346	371	364	392	373	301	326
		計	335	435	427	406	394	366	388	379	406	428	330	355
	非鉄金属・金属製品	移出	62	53	56	50	48	45	48	54	62	51	42	50
		移入	80	94	69	70	71	66	63	87	73	71	50	59
		計	142	148	125	121	118	111	111	140	135	122	92	109
	輸送機械	移出	1,868	1,762	1,978	2,108	2,346	2,371	2,426	2,549	2,457	2,334	2,203	2,222
		移入	902	891	884	1,017	1,030	1,048	1,013	1,018	1,027	986	1,007	1,083
		計	2,771	2,653	2,862	3,124	3,376	3,419	3,439	3,567	3,484	3,320	3,211	3,305
	その他機械	移出	157	235	262	286	300	365	381	400	307	276	306	284
移入		81	106	118	119	133	145	133	153	121	84	82	72	
計		238	340	380	406	432	510	515	553	427	361	388	356	
化学工業品	石油類	移出	39	41	40	33	26	33	29	31	32	31	32	31
		移入	1	5	6	7	5	6	1	1	1	1	1	0
		計	40	46	46	40	31	39	30	32	33	32	33	31
	セメント	移出	51	51	51	46	48	41	41	32	30	33	32	32
		移入	601	588	586	603	637	599	518	548	594	484	502	482
		計	651	639	637	649	685	639	558	579	624	518	534	514
	その他化学工業品	移出	177	189	182	187	180	173	184	195	213	193	184	194
		移入	199	211	198	180	177	145	144	177	182	222	153	149
		計	376	399	380	366	357	318	328	372	395	415	337	343
	軽工業品	紙・パルプ	移出	192	206	236	231	200	173	176	195	231	194	70
移入			1,790	1,756	1,627	1,513	1,515	1,597	1,598	1,564	1,447	1,222	818	951
計			1,982	1,963	1,863	1,744	1,714	1,770	1,774	1,759	1,678	1,416	887	1,036
砂糖		移出	13	11	13	11	11	12	10	16	21	13	18	16
		移入	72	56	59	50	41	48	54	52	68	69	69	58
		計	84	67	72	61	52	60	64	68	80	82	87	73
その他軽工業品		移出	548	506	520	497	481	508	543	573	537	524	501	456
		移入	363	451	427	421	407	453	436	426	444	402	369	369
		計	910	957	947	918	888	961	979	998	981	926	870	825
雑工業品		金属くず	移出	248	228	224	259	246	203	240	324	359	374	376
	移入		183	164	129	111	108	77	105	90	85	100	103	121
	計		431	392	353	370	354	280	345	414	444	474	479	495
	廃棄物(廃土砂)	移出	1,698	1,895	2,006	2,660	2,296	1,814	1,448	1,953	1,377	1,150	1,691	2,155
		移入	6	5	4	19	67	23	17	12	11	9	16	14
		計	1,704	1,900	2,010	2,679	2,363	1,837	1,465	1,964	1,387	1,159	1,708	2,169
	取合せ品	移出	1,770	2,294	2,320	2,436	2,790	2,858	2,897	2,943	2,991	3,057	2,727	3,073
		移入	1,180	1,754	1,786	1,795	2,267	2,323	2,432	2,329	2,333	2,240	1,910	2,171
		計	2,950	4,048	4,106	4,231	5,057	5,181	5,329	5,272	5,324	5,296	4,636	5,244
	その他特殊品	移出	402	432	438	396	413	371	350	363	332	303	296	281
移入		214	225	232	233	234	229	236	247	224	248	309	308	
計		616	657	669	629	647	601	586	610	556	551	605	590	
分類不能のもの	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
フェリー貨物	移出	3,604	4,844	3,941	4,397	4,216	4,295	4,775	5,396	5,676	5,567	4,981	5,325	
	移入	3,453	4,647	3,838	4,153	3,826	3,999	4,351	4,690	5,193	5,168	4,825	5,261	
	計	7,057	9,491	7,779	8,550	8,043	8,294	9,126	10,086	10,868	10,735	9,806	10,585	
合計	移出	11,179	13,157	12,617	13,968	13,916	13,580	13,822	15,319	15,036	14,533	13,803	14,941	
	移入	11,088	12,884	11,723	12,297	12,809	13,314	13,613	14,065	14,587	13,978	12,514	13,427	
	計	22,267	26,042	24,340	26,265	26,725	26,894	27,436	29,384	29,623	28,511	26,316	28,368	
合計 (フェリー除く)	移出	7,575	8,314	8,676	9,571	9,699	9,285	9,047	9,923	9,360	8,967	8,822	9,616	
	移入	7,635	8,237	7,885	8,144	8,983	9,315	9,263	9,375	9,394	8,810	7,688	8,166	
	計	15,210	16,551	16,561	17,715	18,682	18,599	18,310	19,299	18,754	17,776	16,510	17,782	

(3) 内貿公共貨物（国際フィーダー除く）の品目別取扱量の推移

内貿公共貨物（国際フィーダー除く）の品目別取扱量の過去 10 年の推移は、次のとおりである。

表 II-1-11 内貿公共貨物（国際フィーダー除く）の品目別取扱量の推移

品目分類	出入別	実績値											実績値(参考)		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3		
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021		
農水産品	米穀類	移出	34	41	40	34	28	27	25	23	44	48	47	46	
		移入	45	91	77	127	101	100	51	95	92	99	107	124	
		計	80	132	117	161	129	127	76	118	136	147	154	171	
	野菜・果物	移出	32	29	31	27	32	31	34	31	43	40	36	37	
		移入	45	46	41	41	38	38	64	46	49	51	47	45	
		計	77	76	72	68	70	69	98	77	93	91	83	82	
	水産品	移出	24	23	22	11	10	9	9	8	9	9	9	9	
		移入	30	27	27	25	19	17	15	14	14	12	12	12	
		計	53	49	49	37	29	26	24	23	22	21	20	21	
	その他農水産品	移出	10	11	11	9	10	9	9	9	10	10	11	11	
		移入	17	17	18	12	13	15	16	10	9	15	5	5	
		計	28	28	28	21	23	25	26	19	19	25	15	17	
林産品	原木	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		移入	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
		計	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
	製材	移出	23	30	31	30	21	24	22	23	24	20	16	15	
		移入	13	16	13	14	11	12	15	17	17	17	11	13	
		計	36	46	44	44	32	36	37	40	42	37	28	27	
	その他林産品	移出	16	18	18	14	19	17	13	12	14	11	10	13	
		移入	7	9	14	13	10	8	12	11	11	9	7	7	
		計	23	28	31	28	30	25	25	23	25	20	17	21	
	鉱産品	石炭	移出	0	2	0	18	9	0	5	13	0	0	10	17
			移入	1	5	0	18	18	26	16	17	13	3	39	61
			計	1	7	0	36	27	26	21	30	13	3	49	78
砂利・砂		移出	14	65	20	26	15	42	35	30	45	19	7	7	
		移入	1,426	1,286	1,070	1,194	1,558	1,934	1,742	2,014	2,129	1,922	1,626	1,603	
		計	1,441	1,351	1,090	1,220	1,572	1,976	1,777	2,044	2,175	1,941	1,633	1,610	
原油		移出	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他鉱産品		移出	45	68	24	35	12	30	17	6	10	52	47	65	
		移入	63	19	92	155	121	29	178	47	18	110	113	92	
		計	108	86	116	190	132	60	194	53	28	162	160	157	
金属機械工業品	鉄鋼	移出	60	67	54	27	35	19	17	15	14	54	29	30	
		移入	274	366	372	378	354	346	370	358	388	373	301	326	
		計	334	434	426	404	389	365	387	373	402	427	330	355	
	非鉄金属・金属製品	移出	56	51	51	41	40	41	44	45	50	47	40	45	
		移入	79	93	69	67	71	66	54	69	68	68	48	58	
		計	135	144	120	108	110	107	99	115	118	115	88	103	
	輸送機械	移出	1,862	1,758	1,976	2,099	2,339	2,367	2,415	2,537	2,450	2,329	2,201	2,217	
		移入	857	834	857	993	1,007	1,025	986	968	999	980	1,004	1,082	
		計	2,719	2,592	2,833	3,092	3,346	3,391	3,401	3,505	3,449	3,309	3,205	3,299	
	その他機械	移出	149	211	232	262	281	319	320	339	252	207	234	241	
		移入	73	90	87	91	87	87	78	71	72	52	63	55	
		計	221	301	319	353	368	406	397	410	324	260	297	296	
化学工業品	石油類	移出	39	40	40	33	26	33	29	31	31	31	32	30	
		移入	1	5	6	7	5	6	1	1	1	1	1	0	
		計	40	45	46	40	31	39	30	32	32	32	33	31	
	セメント	移出	51	51	51	46	48	41	41	32	30	33	32	32	
		移入	601	588	586	603	637	599	518	548	594	484	502	482	
		計	651	639	637	649	685	639	558	579	624	518	534	514	
	その他化学工業品	移出	159	172	167	171	167	165	171	162	182	178	177	179	
		移入	169	167	167	150	156	137	128	152	156	203	143	149	
		計	328	339	334	321	323	302	300	314	337	381	319	328	
	軽工業品	紙・パルプ	移出	180	193	214	189	170	151	148	143	184	183	49	61
			移入	1,789	1,755	1,625	1,506	1,513	1,597	1,597	1,562	1,445	1,219	816	943
			計	1,969	1,947	1,839	1,695	1,683	1,748	1,745	1,705	1,629	1,402	865	1,004
砂糖		移出	12	11	12	11	9	8	8	9	12	10	12	9	
		移入	54	44	48	36	38	48	49	45	62	58	63	58	
		計	67	55	60	47	47	56	57	54	74	67	75	67	
その他軽工業品		移出	511	478	475	426	428	466	495	480	437	433	426	422	
		移入	337	428	416	406	402	451	425	409	433	394	366	369	
		計	848	906	891	832	830	917	920	889	870	827	792	790	
雑工業品		金属くず	移出	196	185	196	218	216	195	220	271	315	339	341	332
			移入	76	80	71	71	84	75	87	70	75	93	100	113
			計	273	265	266	289	300	271	307	341	390	432	442	445
	廃棄物(廃土砂)	移出	23	7	3	1	1	1	6	12	23	18	20	25	
		移入	24	28	24	17	33	17	18	20	19	15	16	18	
		計	47	34	27	18	34	18	24	32	42	32	36	44	
	取合せ品	移出	1,501	2,016	2,008	2,143	2,514	2,653	2,661	2,569	2,703	2,801	2,397	2,820	
		移入	822	1,402	1,394	1,467	1,892	2,015	2,078	1,772	1,798	1,588	1,315	1,662	
		計	2,323	3,418	3,402	3,610	4,406	4,669	4,739	4,341	4,502	4,389	3,712	4,483	
	その他特殊品	移出	367	409	402	369	364	333	326	305	274	252	232	246	
		移入	212	221	232	232	234	229	235	245	223	248	309	307	
		計	579	630	634	601	598	562	561	550	497	499	541	553	
分類不能のもの	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
フェリ-貨物	移出	3,604	4,844	3,941	4,397	4,216	4,295	4,775	5,396	5,676	5,567	4,981	5,325		
	移入	3,453	4,647	3,838	4,153	3,826	3,999	4,351	4,690	5,193	5,168	4,825	5,261		
	計	7,057	9,491	7,779	8,550	8,043	8,294	9,126	10,086	10,868	10,735	9,806	10,585		
合計	移出	10,666	12,674	12,024	13,300	13,307	13,091	13,292	14,454	14,209	13,841	13,087	14,389		
	移入	10,478	12,267	11,148	11,795	12,295	12,898	13,101	13,263	13,891	13,191	11,855	12,860		
	計	21,144	24,942	23,172	25,096	25,601	25,989	26,393	27,717	28,100	27,032	24,942	27,249		
合計 (フェリ-除く)	移出	7,061	7,830	8,083	8,904	9,091	8,796	8,517	9,058	8,533	8,274	8,106	9,064		
	移入	7,026	7,620	7,310	7,642	8,468	8,899	8,751	8,574	8,699	8,023	7,030	7,599		
	計	14,087	15,451	15,394	16,546	17,559	17,695	17,268	17,632	17,232	16,297	15,136	16,663		

(4) 内貿公共ユニット貨物の品目別取扱量の推移

内貿公共ユニット貨物の品目別取扱量の過去10年の推移は、次のとおりである。

表Ⅱ-1-12 内貿公共ユニット貨物の品目別取扱量の推移

品目分類	出入別	実績値										実績値(参考)		
		H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	
農水産品	米穀類	移出	32	39	36	31	24	27	25	23	44	47	46	46
		移入	16	15	15	15	14	16	19	18	23	22	25	25
		計	48	53	52	46	38	43	43	41	67	69	71	71
	野菜・果物	移出	23	21	22	17	23	26	28	26	38	35	31	32
		移入	39	41	36	36	34	38	64	46	49	51	47	45
		計	62	62	59	54	57	64	93	72	87	86	77	77
	水産品	移出	17	16	15	4	2	2	1	1	1	0	0	0
		移入	11	8	11	10	3	1	1	1	1	1	1	1
		計	28	24	27	15	5	3	2	2	2	1	1	1
	その他農水産品	移出	3	4	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2
移入		17	17	18	12	13	15	16	10	9	15	5	5	
計		20	20	21	14	16	17	18	12	10	17	7	7	
林産品	原木	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	製材	移出	4	3	3	12	4	5	2	5	6	4	5	4
		移入	9	11	9	9	9	10	10	14	16	12	9	10
		計	13	14	12	21	13	15	13	19	21	16	15	14
その他林産品	移出	14	16	16	13	17	16	11	9	11	9	8	10	
	移入	5	9	11	13	8	7	11	10	9	8	5	6	
	計	19	24	27	25	25	23	22	19	21	17	13	16	
鉱産品	石炭	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	砂利・砂	移出	7	7	7	7	6	6	7	7	5	5	4	4
		移入	1	2	1	1	3	3	2	3	4	2	2	2
		計	7	9	8	8	9	8	9	9	10	7	5	5
	原油	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他鉱産品	移出	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	2	2
移入		8	12	15	13	10	8	8	4	4	4	1	0	
計		8	13	16	13	11	8	8	5	5	6	2	2	
金属機械工業品	鉄鋼	移出	20	19	17	17	17	15	14	12	11	43	14	16
		移入	20	15	29	47	44	76	44	41	55	32	18	17
		計	39	34	46	64	61	91	58	53	66	75	32	33
	非鉄金属・金属製品	移出	30	27	32	20	18	20	17	23	27	32	23	26
		移入	14	13	12	13	13	14	13	16	24	29	11	13
		計	43	40	44	32	31	33	30	39	51	61	34	39
	輸送機械	移出	1,808	1,696	1,907	2,045	2,282	2,345	2,394	2,514	2,426	2,307	2,178	2,193
		移入	828	811	833	970	981	1,017	977	955	990	973	994	1,072
		計	2,636	2,507	2,740	3,015	3,263	3,362	3,371	3,469	3,416	3,280	3,172	3,265
	その他機械	移出	133	161	177	206	216	305	303	326	237	189	219	227
移入		66	77	78	82	79	75	63	60	58	36	51	41	
計		199	238	256	287	295	381	366	385	294	226	270	268	
化学工業品	石油類	移出	23	25	24	18	13	15	15	17	17	18	19	17
		移入	1	1	0	3	3	2	1	1	1	1	1	0
		計	24	25	24	21	17	17	15	18	18	18	20	18
	セメント	移出	1	1	1	1	7	5	2	1	2	2	2	2
		移入	1	1	1	1	1	1	0	0	1	4	3	2
		計	2	2	2	2	7	5	2	2	3	6	5	4
その他化学工業品	移出	141	152	148	155	149	147	143	144	151	135	122	116	
	移入	78	105	105	101	103	83	70	80	77	82	84	98	
	計	219	256	253	256	252	230	213	224	228	217	206	214	
軽工業品	紙・パルプ	移出	179	193	214	189	170	148	144	143	184	183	49	61
		移入	1,418	1,386	1,294	1,179	1,140	1,228	1,256	1,245	1,174	977	623	686
		計	1,597	1,579	1,508	1,369	1,310	1,376	1,399	1,387	1,358	1,160	672	747
	砂糖	移出	12	11	12	11	9	8	8	9	12	10	12	9
		移入	54	44	48	36	38	48	49	45	62	58	63	58
		計	67	55	60	47	47	56	57	54	74	67	75	67
その他軽工業品	移出	492	463	462	413	415	459	488	473	430	425	419	416	
	移入	224	270	249	242	244	255	260	253	289	252	228	232	
	計	716	734	712	655	659	714	748	726	719	678	647	648	
雑工業品	移出	165	157	169	191	188	176	201	246	290	315	319	308	
	移入	64	71	65	52	64	63	82	69	72	91	83	99	
	計	229	227	233	242	252	239	282	315	362	406	402	407	
特殊品	金属くず	移出	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	2
		移入	9	10	9	5	10	5	4	5	4	3	4	4
		計	10	11	10	6	11	5	5	6	5	4	5	6
	廃棄物(廃土砂)	移出	4	5	4	4	4	4	4	5	4	4	4	7
		移入	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0
		計	5	5	5	5	4	5	5	5	5	4	4	8
	取合せ品	移出	1,400	1,891	1,878	2,003	2,377	2,596	2,614	2,528	2,663	2,759	2,355	2,771
		移入	788	1,359	1,354	1,428	1,857	2,001	2,055	1,750	1,771	1,566	1,292	1,636
		計	2,187	3,250	3,232	3,431	4,234	4,597	4,669	4,278	4,434	4,325	3,647	4,407
	その他特殊品	移出	356	392	391	358	322	320	297	262	261	240	217	232
移入		180	186	196	184	177	178	205	220	199	222	279	280	
計		537	578	586	543	498	499	502	483	460	462	497	512	
分類不能のもの	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	移出	4,867	5,298	5,542	5,717	6,267	6,648	6,721	6,776	6,823	6,766	6,052	6,503	
	移入	3,850	4,464	4,389	4,451	4,849	5,143	5,210	4,847	4,893	4,442	3,828	4,335	
	計	8,718	9,762	9,931	10,168	11,115	11,791	11,931	11,622	11,716	11,208	9,881	10,837	

内貿公共ユニット貨物のうちコンテナ貨物の品目別取扱量の過去10年の推移は、次のとおりである。

表Ⅱ-1-13 内貿公共ユニット貨物（コンテナ貨物）の品目別取扱量の推移

品目分類	出入別	実績値										実績値(参考)		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
農水産品	米穀類	移出	15	17	18	15	14	13	12	8	8	7	5	4
		移入	7	9	8	7	6	6	8	6	5	4	5	6
	計	23	26	26	23	20	20	19	14	13	11	11	10	
	野菜・果物	移出	6	7	8	8	11	12	11	12	13	6	6	7
		移入	22	26	24	25	20	23	24	27	30	29	23	20
	計	28	33	32	34	31	35	35	40	42	35	29	27	
水産品	移出	9	11	11	4	1	1	0	0	0	0	0	0	
	移入	6	4	8	10	3	1	0	1	1	1	0	0	
計	15	16	19	14	5	2	1	1	1	1	1	1		
その他農水産品	移出	1	1	2	0	1	1	1	1	1	1	1	1	
	移入	10	9	9	6	7	6	7	4	3	2	2	2	
計	11	10	11	7	7	7	7	5	4	2	2	3		
林産品	原木	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	製材	移出	1	1	1	10	2	4	1	2	3	3	3	2
		移入	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	計	2	2	2	11	3	4	2	3	4	4	5	3	
その他林産品	移出	3	5	5	4	3	3	3	3	4	3	3	3	
	移入	4	6	7	10	6	3	2	4	3	2	2	2	
計	7	11	12	14	9	5	5	6	7	5	5	5		
鉱産品	石炭	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	砂利・砂	移出	4	5	5	5	3	3	4	3	2	2	2	2
		移入	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	
	計	4	5	5	5	4	3	5	4	3	2	2	2	
原油	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
その他鉱産品	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	移入	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0		
計	0	0	0	1	1	2	2	0	0	0	0			
金属機械工業品	鉄鋼	移出	2	3	3	2	2	1	1	1	1	1	1	
		移入	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0	
	計	4	5	4	3	2	2	2	2	2	2	2		
	非鉄金属・金属製品	移出	17	12	16	7	5	7	4	9	11	9	8	
		移入	5	5	5	5	5	5	4	5	8	6	6	
	計	22	16	21	11	10	13	8	14	19	15	14		
輸送機械	移出	13	14	14	25	26	28	26	23	24	18	14		
	移入	26	30	37	43	51	29	25	22	22	16	15		
計	39	44	51	68	76	57	51	46	46	35	30			
その他機械	移出	19	93	102	100	115	115	115	119	64	45	45		
	移入	3	1	1	1	3	4	4	7	5	5	3		
計	21	94	103	101	118	119	118	126	69	50	49			
化学工業品	石油類	移出	11	12	13	7	6	7	6	7	7	7		
		移入	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0		
	計	11	12	13	7	7	8	6	7	8	7			
	セメント	移出	0	0	0	0	1	4	1	1	1	1		
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0	1	4	1	1	1	1			
その他化学工業品	移出	36	40	38	42	42	42	42	42	43	44			
	移入	16	23	29	33	32	16	6	8	10	9			
計	52	63	67	75	73	58	48	50	53	53				
軽工業品	紙・パルプ	移出	63	53	58	43	36	31	31	32	21	20		
		移入	105	99	92	76	64	85	101	107	107	108		
	計	168	152	150	118	100	116	133	139	127	128			
	砂糖	移出	8	10	10	9	9	8	7	8	8	7		
		移入	48	36	36	29	31	39	34	29	38	37		
	計	56	47	46	38	39	46	41	37	46	45			
その他軽工業品	移出	274	252	245	199	199	200	202	171	165	176			
	移入	72	91	77	67	64	59	54	50	71	65			
計	345	343	322	266	262	259	256	221	236	241				
雑工業品	移出	88	83	92	107	101	87	91	95	103	107			
	移入	29	30	22	15	16	18	15	12	13	13			
計	117	113	114	122	117	105	106	107	116	120				
特殊品	金属くず	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		移入	2	2	2	2	2	3	2	2	2			
	計	2	2	2	2	2	3	2	2	2				
	廃棄物(廃土砂)	移出	4	4	4	4	4	4	4	5	4			
		移入	0	0	0	0	0	1	1	1	0			
	計	5	5	4	4	4	5	5	5	5				
取合せ品	移出	226	272	270	367	367	374	362	361	396	398			
	移入	152	158	155	156	162	140	118	81	87	85			
計	378	430	425	523	530	514	480	442	483	483				
その他特殊品	移出	97	99	106	97	90	81	68	53	51	44			
	移入	127	142	138	131	130	130	143	143	115	123			
計	224	241	244	228	220	211	210	196	166	167				
分類不能のもの	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
合計	移出	897	998	1,021	1,055	1,039	1,026	991	955	931	903			
	移入	636	674	653	618	603	570	553	512	523	510			
	計	1,534	1,672	1,674	1,673	1,642	1,597	1,544	1,467	1,454	1,413			

内貿公共ユニット貨物のうちコンテナ貨物以外の品目別取扱量の過去10年の推移は、次のとおりである。

表Ⅱ-1-14 内貿公共ユニット貨物（コンテナ貨物以外）の品目別取扱量の推移

品目分類	出入別	実績値										実績値(参考)		
		H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	
農水産品	米穀類	移出	17	21	18	16	10	14	13	16	36	40	41	42
		移入	8	6	8	8	8	10	11	12	17	18	20	19
		計	25	27	26	23	18	23	24	27	53	58	60	61
	野菜・果物	移出	16	14	15	9	11	13	17	14	25	28	24	25
		移入	17	16	12	11	14	15	40	18	20	23	24	25
		計	33	30	27	20	26	28	57	32	45	51	48	50
水産品	移出	8	5	4	1	1	1	1	1	0	0	0	0	
	移入	5	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	13	8	7	1	1	1	1	1	0	0	0	0	
その他農水産品	移出	2	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	
	移入	8	8	9	6	6	9	10	6	6	13	3	4	
	計	9	10	11	7	8	10	11	7	6	14	4	5	
林産品	原木	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	製材	移出	3	2	2	1	2	2	2	3	2	2	2	2
		移入	8	10	8	8	9	9	10	13	15	11	8	10
		計	11	12	10	10	10	10	11	16	17	12	10	11
その他林産品	移出	11	11	11	9	14	13	9	6	8	5	5	7	
	移入	1	3	4	3	2	4	9	6	6	6	3	4	
	計	12	13	15	12	16	17	18	12	14	11	8	11	
鉱産品	石炭	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	砂利・砂	移出	3	2	2	2	2	3	3	4	3	3	2	2
		移入	1	2	1	1	3	2	1	2	4	1	1	1
		計	4	4	3	3	5	5	4	5	6	4	3	3
原油	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他鉱産品	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	
	移入	8	12	15	13	10	7	6	4	4	4	1	0	
	計	8	12	15	13	10	7	6	5	5	5	2	2	
金属機械工業品	鉄鋼	移出	17	16	14	15	15	14	13	11	10	41	13	15
		移入	18	13	28	46	44	75	43	40	54	31	17	17
		計	35	29	42	61	59	89	56	51	64	73	30	32
	非鉄金属・金属製品	移出	13	16	16	13	13	12	13	14	16	23	15	17
		移入	9	9	7	8	9	9	9	11	16	23	6	7
		計	22	24	23	21	22	21	22	25	32	46	21	24
輸送機械	移出	1,795	1,681	1,893	2,020	2,256	2,317	2,368	2,491	2,402	2,288	2,164	2,177	
	移入	803	781	796	927	931	988	951	932	968	957	979	1,057	
	計	2,598	2,463	2,689	2,947	3,187	3,305	3,320	3,423	3,370	3,245	3,143	3,234	
その他機械	移出	115	68	76	106	100	190	188	207	173	144	174	170	
	移入	63	76	77	80	77	72	59	53	52	31	47	38	
	計	178	144	153	186	177	262	247	260	225	175	222	207	
化学工業品	石油類	移出	13	13	11	10	7	8	9	10	10	11	13	15
		移入	0	0	0	3	2	1	1	1	1	1	0	0
		計	13	13	12	13	9	9	9	11	11	11	13	15
	セメント	移出	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	1
		移入	1	1	1	1	1	1	0	0	1	4	3	2
		計	2	2	2	2	7	2	1	1	2	5	4	4
その他化学工業品	移出	105	112	110	113	107	105	101	102	108	91	83	76	
	移入	62	81	75	68	72	67	63	72	67	73	75	90	
	計	167	193	186	181	179	172	164	174	176	164	158	166	
軽工業品	紙・パルプ	移出	117	139	156	147	135	117	113	111	163	163	37	49
		移入	1,312	1,287	1,202	1,104	1,075	1,143	1,154	1,138	1,067	869	559	633
		計	1,429	1,426	1,358	1,250	1,210	1,260	1,267	1,249	1,230	1,033	596	683
	砂糖	移出	4	1	3	2	1	1	1	1	4	2	3	1
		移入	7	8	12	8	7	9	15	16	24	20	22	16
		計	11	8	15	10	8	9	16	17	28	23	25	18
その他軽工業品	移出	218	211	217	215	216	259	286	302	265	250	238	244	
	移入	153	180	172	175	181	197	206	202	219	187	166	173	
	計	371	391	389	389	397	455	492	505	484	437	404	417	
雑工業品	移出	78	73	77	83	87	89	109	151	187	208	214	217	
	移入	35	41	43	37	48	45	67	57	59	78	71	87	
	計	113	115	119	120	136	135	176	207	246	286	285	304	
特殊品	金属くず	移出	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1
		移入	7	7	7	3	7	2	2	3	2	2	2	2
		計	8	8	8	3	8	2	2	4	3	3	3	3
	廃棄物(廃土砂)	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
取合せ品	移出	1,174	1,618	1,608	1,637	2,010	2,221	2,252	2,167	2,267	2,361	1,976	2,378	
	移入	636	1,201	1,199	1,272	1,694	1,861	1,937	1,670	1,683	1,481	1,210	1,532	
	計	1,810	2,820	2,807	2,908	3,704	4,083	4,189	3,837	3,951	3,842	3,186	3,910	
その他特殊品	移出	260	293	285	261	231	240	230	209	209	197	176	188	
	移入	53	44	57	54	47	48	62	77	85	99	104	102	
	計	313	337	342	314	278	288	292	287	294	295	280	290	
分類不能のもの	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	移出	3,970	4,301	4,521	4,662	5,228	5,622	5,730	5,820	5,893	5,863	5,185	5,633	
	移入	3,214	3,789	3,736	3,833	4,246	4,572	4,657	4,335	4,370	3,932	3,321	3,819	
	計	7,184	8,090	8,257	8,495	9,473	10,194	10,387	10,155	10,262	9,795	8,506	9,452	

(5) 内貿公共在来貨物の品目別取扱量の推移

内貿公共在来貨物の品目別取扱量の過去 10 年の推移は、次のとおりである。
 (内貿公共在来貨物とは、内貿公共貨物から内貿公共ユニット貨物、国際フィーダー貨物、内貿公共フェリー貨物を除いたものである。)

表 II-1-15 内貿公共在来貨物の品目別取扱量の推移

品目分類	出入別	実績値										実績値(参考)		
		H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	
農水産品	米穀類	移出	2	2	4	3	4	0	1	0	0	1	1	0
		移入	30	77	62	112	87	84	32	77	69	77	82	100
		計	32	79	66	116	91	84	32	77	69	77	83	100
	野菜・果物	移出	10	9	9	10	9	6	5	5	5	5	5	5
		移入	6	5	5	4	3	0	0	0	0	0	0	0
		計	16	14	14	14	13	6	5	5	5	5	5	5
水産品	移出	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	
	移入	18	19	15	15	16	15	14	13	12	11	11	11	
	計	25	26	23	22	24	23	22	21	20	20	20	20	
その他農水産品	移出	7	7	7	7	8	8	8	8	9	8	9	9	
	移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	7	7	7	7	8	8	8	8	9	8	9	9	
林産品	原木	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	製材	移出	19	27	28	19	17	18	19	18	19	16	11	11
		移入	4	5	5	5	2	3	5	3	2	6	2	2
		計	23	32	32	24	19	21	24	21	20	22	13	13
その他林産品	移出	2	2	2	2	2	1	1	3	3	2	3	3	
	移入	2	1	2	1	3	1	1	1	2	1	2	1	
	計	3	3	4	2	5	3	3	5	5	3	5	4	
鉱産品	石炭	移出	0	2	0	18	9	0	5	13	0	0	10	17
		移入	1	5	0	18	18	26	16	17	13	3	39	61
		計	1	6	0	36	27	26	21	30	13	3	49	78
	砂利・砂	移出	8	58	13	20	9	36	29	23	40	15	3	3
		移入	1,426	1,284	1,069	1,192	1,555	1,932	1,740	2,012	2,125	1,920	1,625	1,602
		計	1,433	1,342	1,083	1,212	1,564	1,968	1,768	2,035	2,165	1,934	1,628	1,605
原油	移出	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
	移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他鉱産品	移出	44	67	24	35	11	30	17	6	9	51	46	63	
	移入	56	6	77	143	110	21	170	42	15	106	112	92	
	計	100	74	101	177	122	51	187	48	23	157	157	155	
金属機械工業品	鉄鋼	移出	40	48	37	10	18	4	3	2	12	4	15	13
		移入	255	351	343	331	310	270	326	317	333	341	283	308
		計	295	400	380	341	328	274	329	319	335	353	298	322
	非鉄金属・金属製品	移出	26	24	20	21	22	22	27	23	23	15	17	19
		移入	65	79	56	54	57	52	41	53	45	39	37	46
		計	92	103	76	75	79	74	69	76	67	54	54	64
輸送機械	移出	54	62	69	54	57	21	21	23	24	23	23	24	
	移入	29	23	24	24	26	8	9	14	9	7	10	9	
	計	82	85	93	78	83	29	31	36	34	30	33	33	
その他機械	移出	15	50	54	57	65	13	17	13	15	18	14	15	
	移入	7	13	9	9	8	12	15	11	15	16	12	13	
	計	22	62	64	66	73	25	32	25	30	34	26	28	
化学工業品	石油類	移出	15	16	16	15	12	18	15	14	14	13	12	13
		移入	1	4	6	4	2	4	0	0	0	0	0	0
		計	16	20	22	19	14	22	15	14	14	13	13	13
	セメント	移出	50	50	50	45	41	36	39	30	28	32	30	30
		移入	600	587	585	603	637	598	517	547	593	480	499	479
		計	649	637	635	648	678	634	556	578	621	512	529	509
その他化学工業品	移出	18	20	19	16	18	18	28	19	31	43	54	63	
	移入	91	62	63	49	52	55	59	72	78	121	59	51	
	計	109	82	81	65	71	72	87	91	109	164	114	114	
軽工業品	紙・パルプ	移出	0	0	0	0	0	3	4	0	0	0	0	0
		移入	371	369	331	326	373	369	341	317	272	241	193	257
		計	371	369	331	326	373	372	345	317	272	241	193	257
	砂糖	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他軽工業品	移出	18	15	12	13	13	7	7	7	7	7	7	6	
	移入	113	158	167	164	157	196	165	156	144	142	138	137	
	計	131	172	179	177	171	203	172	163	151	149	144	143	
雑工業品	移出	31	29	27	28	27	19	19	25	25	24	22	24	
	移入	13	9	6	19	20	12	5	2	2	3	17	14	
	計	43	37	33	47	47	31	25	26	28	26	39	38	
特殊品	金属くず	移出	22	5	2	0	0	0	5	11	22	17	19	24
		移入	15	18	15	13	23	13	14	14	16	11	12	14
		計	37	23	16	13	23	13	19	26	38	28	31	38
	廃棄物(廃土砂)	移出	1,694	1,890	2,001	2,656	2,292	1,810	1,444	1,948	1,373	1,146	1,688	2,148
		移入	5	4	4	18	67	22	16	11	10	9	16	13
		計	1,699	1,895	2,005	2,674	2,359	1,832	1,460	1,959	1,383	1,155	1,703	2,161
取合せ品	移出	101	126	130	139	137	58	47	41	40	41	42	49	
	移入	34	42	40	39	36	14	23	22	28	22	23	27	
	計	135	168	171	179	172	72	70	63	68	63	65	76	
その他特殊品	移出	11	17	11	11	43	13	28	43	13	12	14	14	
	移入	32	35	36	47	57	50	31	25	24	26	30	28	
	計	42	52	47	58	100	63	59	68	37	37	44	41	
分類不能のもの	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	移出	2,194	2,532	2,542	3,187	2,824	2,147	1,796	2,282	1,710	1,508	2,054	2,562	
	移入	3,175	3,157	2,921	3,191	3,619	3,757	3,541	3,727	3,806	3,580	3,202	3,264	
	計	5,369	5,689	5,463	6,378	6,443	5,904	5,337	6,009	5,516	5,089	5,255	5,826	

(6) 国際フィーダー貨物（コンテナ）の品目別取扱量の推移

国際フィーダー貨物（コンテナ）の品目別取扱量の過去10年の推移は、次のとおりである。

表 II-1-16 国際フィーダー貨物（コンテナ）の品目別取扱量の推移

品目分類	出入別	実績値										実績値(参考)		
		H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	
農水産品	米穀類	移出	2	8	3	14	8	2	2	9	20	23	15	18
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	2	9	3	14	8	2	2	9	21	24	15	18
	野菜・果物	移出	10	7	18	26	27	39	29	40	42	46	13	6
		移入	3	4	4	4	4	3	4	5	4	5	4	4
		計	14	10	22	30	31	42	33	46	46	51	16	10
	水産品	移出	5	3	11	15	16	19	23	18	27	19	27	9
		移入	8	6	6	7	9	10	9	10	11	20	10	11
		計	13	9	17	21	25	29	32	28	38	40	37	20
	その他農水産品	移出	31	17	25	25	23	18	12	25	24	11	6	4
移入		0	3	0	0	0	1	0	0	5	15	0	1	
計		31	20	26	25	23	19	12	25	29	26	6	5	
林産品	原木	移出	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
	製材	移出	11	13	31	43	37	20	12	15	50	44	35	47
		移入	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	11	17	31	43	37	21	12	15	50	44	35	47
	その他林産品	移出	0	0	0	4	4	1	0	0	0	3	2	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0
		計	0	0	0	4	4	1	0	0	0	8	2	0
	鉱産品	石炭	移出	0	1	2	2	2	2	1	1	0	0	0
移入			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計			1	1	2	2	2	2	1	1	0	0	0	0
砂利・砂		移出	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0
原油		移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他鉱産品		移出	9	1	7	6	1	6	3	5	9	4	2	3
	移入	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	9	3	7	6	2	6	3	5	9	4	2	3	
金属機械工業品	鉄鋼	移出	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0
		移入	1	2	1	1	2	1	1	6	4	0	0	0
		計	1	2	1	1	5	1	2	7	5	0	0	0
	非鉄金属・金属製品	移出	6	2	4	10	8	4	4	8	12	4	2	6
		移入	1	2	1	4	0	0	9	18	5	3	2	0
		計	7	4	5	13	8	4	13	26	17	7	4	6
	輸送機械	移出	6	4	2	9	7	4	10	12	7	4	2	6
		移入	46	57	27	24	23	24	27	50	27	6	3	1
		計	52	61	29	32	30	28	38	62	35	10	5	7
	その他機械	移出	8	24	30	24	19	46	62	61	55	69	72	43
移入		9	16	30	28	46	57	56	82	48	32	19	18	
計		17	39	61	52	64	104	117	143	103	101	91	60	
化学工業品	石油類	移出	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0
	セメント	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他化学工業品	移出	18	17	15	16	13	8	13	33	32	15	8	15	
	移入	30	44	31	30	21	7	15	25	26	19	10	0	
	計	48	61	46	46	34	16	29	58	57	34	17	16	
軽工業品	紙・パルプ	移出	12	14	22	42	29	22	28	52	47	11	21	24
		移入	1	2	2	8	2	0	1	2	1	3	2	8
		計	13	15	24	49	31	22	29	54	49	14	23	33
	砂糖	移出	0	0	1	0	1	4	1	7	10	4	6	6
		移入	17	12	11	13	3	0	5	7	6	11	7	0
		計	17	12	12	14	4	4	7	14	16	15	12	7
その他軽工業品	移出	37	28	45	71	53	42	48	93	100	92	75	34	
	移入	26	23	11	15	5	2	11	17	11	8	3	0	
	計	63	51	56	86	58	45	58	109	110	100	78	35	
雑工業品	移出	52	43	28	41	30	7	20	53	43	35	35	42	
	移入	107	84	59	40	24	2	18	20	10	6	3	8	
	計	159	128	87	81	54	9	38	73	54	41	37	50	
特殊品	金属くず	移出	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	5
		計	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	5
	廃棄物(廃土砂)	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	取合せ品	移出	269	278	312	293	276	205	236	374	287	256	330	252
		移入	358	352	392	328	375	308	354	557	535	652	595	509
		計	627	630	704	621	651	512	590	931	822	908	924	761
	その他特殊品	移出	35	23	36	27	48	38	24	58	58	51	64	36
移入		2	4	0	1	0	1	1	2	1	0	0	1	
計		37	27	36	28	49	39	25	60	59	51	64	37	
分類不能のもの	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	移出	513	483	593	668	609	489	531	866	827	693	716	552	
	移入	609	617	575	502	515	416	512	801	696	787	658	567	
	計	1,123	1,100	1,168	1,169	1,123	904	1,043	1,667	1,523	1,479	1,374	1,119	

(7) 内貿専用貨物の品目別取扱量の推移

内貿専用貨物の品目別取扱量の過去10年の推移は、次のとおりである。

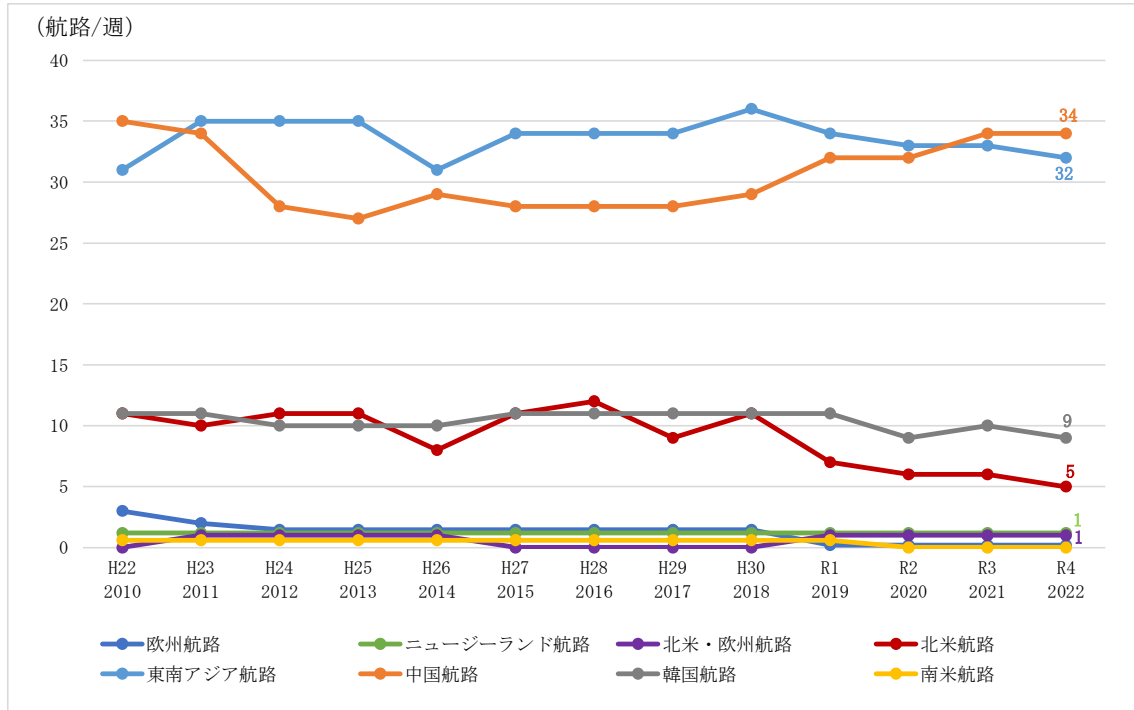
表Ⅱ-1-17 内貿専用貨物の品目別取扱量の推移

品目分類	出入別	実績値										実績値(参考)			
		H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021		
農水産品	米穀類	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	野菜・果物	移出	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	水産品	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他農水産品	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
林産品	原木	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	製材	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他林産品	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鉱産品	石炭	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	砂利・砂	移出	45	3	0	4	0	2	40	3	6	23	22	20	0
		移入	3,151	3,275	3,294	3,421	3,529	3,909	2,979	3,455	3,685	2,831	2,160	2,378	0
	計	3,196	3,278	3,294	3,425	3,529	3,911	3,018	3,458	3,691	2,854	2,182	2,398	0	
	原油	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	435	720	1,157	712	496	375	53	0	0	0	0	0	0
計	435	720	1,157	712	496	375	53	0	0	0	0	0	0		
その他鉱産品	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
金属機械工業品	鉄鋼	移出	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	838	807	820	800	874	673	673	729	758	720	559	734	0
	計	846	807	820	800	874	673	673	729	758	720	559	734	0	
	非鉄金属・金属製品	移出	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
		移入	0	1	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	1	0	0	4	5	0	0	0	0	0	0	0	
	輸送機械	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他機械	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	移入	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
化学工業品	石油類	移出	123	129	133	166	163	181	166	183	247	233	196	270	0
		移入	3,701	3,663	3,657	3,770	4,166	4,401	4,439	4,583	4,708	4,770	3,123	3,128	0
	計	3,824	3,792	3,790	3,936	4,329	4,582	4,605	4,765	4,955	5,003	3,319	3,398	0	
	セメント	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	1,702	1,765	1,833	2,146	2,094	1,960	1,792	2,041	2,227	1,946	1,800	1,834	0
	計	1,702	1,765	1,833	2,146	2,094	1,960	1,792	2,041	2,227	1,946	1,800	1,834	0	
その他化学工業品	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	移入	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	9	0	
計	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	9	0		
軽工業品	紙・パルプ	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	0	0	0	16	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	16	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
	砂糖	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他軽工業品	移出	71	67	83	103	103	101	99	109	59	50	34	42	0	
	移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	71	67	83	103	103	101	99	109	59	50	34	42	0		
雑工業品	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
特殊品	金属くず	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0
	計	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	
	廃棄物(廃土砂)	移出	0	0	0	5	29	38	38	41	262	128	145	172	0
		移入	0	0	1	7	18	2	5	0	0	12	0	0	0
	計	0	0	1	12	47	40	43	41	262	140	145	172	0	
	取合せ品	移出	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他特殊品	移出	6	2	0	2	5	2	131	136	143	86	139	124	0	
	移入	17	77	68	121	108	91	1	0	0	0	1	1	0	
計	24	80	68	123	113	93	132	136	143	87	141	125	0		
分類不能のもの	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	移出	254	202	216	279	301	325	473	472	716	521	536	629	0	
	移入	9,845	10,310	10,832	10,994	11,296	11,415	9,943	10,807	11,379	10,280	7,645	8,086	0	
計	10,099	10,512	11,047	11,273	11,597	11,740	10,416	11,280	12,095	10,801	8,181	8,714	0		

1-1-4 定期航路の現況等

(1) 外貿コンテナ定期航路

東京港に寄港する主要な外貿コンテナ定期航路数のこれまでの推移は、次のとおりである。



出典：「東京港ハンドブック」より作成

図 II-1-1 東京港の外貿コンテナ定期航路数の推移

2) 北米航路

表Ⅱ-1-19 (1) 外貿コンテナ定期航路 (北米航路) の概要

運航社 [スペースチャーター]	寄 港 地	配船数 [配船間隔]	投 入 船			利用ターミナル
			船 名	TEU	DWT	
WESTWOOD (Senwa Maritime)	大阪/名古屋/清水/東京/横浜/エバレット/シアトル/バンクーバー/ (a) / 清水/横浜/東京/伊予三島/平瀬/釜山/大阪/ (b) / 苫小牧/釜山/大阪 (a)(b) を交互に運航	7 隻 49 日ラウンド (木、ウィークリー)	WESTWOOD COLUMBIA	2,048	45,000	青森公共(住友倉庫)
			WESTWOOD OLYMPIA	2,048	48,000	
			WESTWOOD RAINIER	2,048	48,000	
			WESTWOOD VICTORIA	2,048	45,851	
			GSL MAREN	2,546	34,086	
			ETOILE	2,556	34,251	
			KALAMOTI TRADER	—	25,000	
CMA CGM COSCO Evergreen OOCL	青島/上海/寧波/高雄/塩田/タコマ/バンクーバー/東京/大阪/青島	6 隻 42 日ラウンド (金/土、ウィークリー)	EVER EAGLE	6,332	75,873	青森 A4
			EVER ENVOY	6,332	75,898	
			EVER ETHIC	6,332	75,898	
			EVER SAFETY	7,024	78,618	
			EVER SUMMIT	7,024	78,612	
			A VESSEL	—	—	
Hapag Yang Ming ONE HMM	廈門/高雄/寧波/名古屋/東京/タコマ/バンクーバー/東京/神戸/名古屋/廈門	6 隻 42 日ラウンド (水、月/火、ウィークリー)	RDO CONCERT	6,966	85,622	大井 06/7
			GOOD PROSPECT	6,350	72,968	
			SAN FRANCISCO BRIDGE	6,350	72,890	
			MOL PREMIUM	6,350	72,912	
			SEATTLE BRIDGE	6,350	72,890	
Hapag ONE Yang Ming HMM	シンガポール/レムチャパン/カイメツブ/塩田/タコマ/バンクーバー/東京/神戸/シンガポール	8 隻 56 日ラウンド (火、ウィークリー)	SEASPAN GANGES	10,100	115,177	大井 01/2
			SEASPAN ZAMBEZI	10,100	115,086	
			SEASPAN AMAZON	10,100	115,260	
			NAVIOS UNISON	9,954	118,800	
			ATHOS	9,954	118,888	
			ONE ARCADIA	9,592	95,660	
			YM TRIUMPH	12,726	132,550	
			YM TRUTH	12,726	132,550	

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成 (令和 4 年 7 月 1 日時点)

表 II-1-19 (2) 外貿コンテナ定期航路（北米航路）の概要

運航社 [スペースチャーター]	寄 港 地	配船数 [配船間隔]	投 入 船			利用ターミナル
			船 名	TEU	DWT	
Hapag Yang Ming ONE HMM	上海/寧波/ロサンゼルス/オークランド/東京/上海	6隻 42日ラウンド (火、ウィークリー)	ARIES	6,492	81,171	大井 03/4
			ARGUS	6,492	81,171	
			ONE TRITON	6,661	80,246	
			NYK THEMIS	6,661	80,227	
			ONE THESEUS	6,661	80,220	

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成（令和4年7月1日時点）

3) ニュージーランド航路

表 II-1-20 外貿コンテナ定期航路（ニュージーランド航路）の概要

運航社 [スペースチャーター]	寄 港 地	配船数 [配船間隔]	投 入 船			利用ターミナル
			船 名	TEU	DWT	
COSCO Hamburg Sud (Seven Seas) ONE Maersk [OOCL Sealand Asia]	東京/神戸/釜山/上海/塩田/香港/ブリスベン/オークランド (NZ) /リッテルトン/ネピア/タウランガ/東京	7隻 49ラウンド (木/金、ウィークリー)	NYK FURANO	4,538	52,190	大井 03/4
			NYK FUTAGO	4,538	52,190	
			MAERSK GARONNE	4,544	61,636	大井 06/7
			SAFMARINE MULANJE	4,154	50,415	
			GRASMERE MAERSK	4,658	62,007	
			NEOKASTRO	4,178	52,788	中防外側 Y2
			NAVIOS MIAMI	4,255	51,738	

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成（令和4年7月1日時点）

4) 東南アジア航路

表 II-1-21 (1) 外貿コンテナ定期航路 (東南アジア航路) の概要

運航社 [スペースチャーター]	寄 港 地	配船数 [配船間隔]	投 入 船			利用ターミナル
			船 名	TEU	DWT	
Cheng Lie (CMA CGM)	東京/横浜/名古屋/神戸/釜山/露台 /大連/上海/寧波/レムチャパン/バン コク/レムチャパン/マニラ/上海 /蛇口/レムチャパン/ホーチミンシ ティ/東京	7隻 49日ラウンド (月/火、 ウィークリー)	CNC MARS	1,952	22,081	中防外側 Y2
			KUO LONG	1,756	23,483	
			APL SAIPAN	1,641	20,979	
			MOUNT BUTLER	1,730	23,504	
			CNC SATURN	1,952	22,081	
			A VESSEL	—	—	
			A VESSEL	—	—	
Cheng Lie (CMA CGM) COSCO KMTC Nam Sung	東京/横浜/御前崎/名古屋/神戸/シ ンガポール/ポートケラン/マニラ/東 京	4隻 28日ラウンド (月 ウィーク リー)	SPIL NIKEN	2,532	33,836	大井 O3/4
			TR ARAMIS	2,782	36,923	
			GH TRAMONTANE	3,651	47,028	
			CAPE QUEST	2,202	25,250	
Interasia Wan Hai ASL (Sankyū) ONE Cheng Lie (CMA CGM)	東京/横浜/上海/香港/カトライ/ダ ナン/香港/蛇口/廈門/東京	3隻 21日ラウンド (木/金、 ウィークリー)	INTERASIA FORWARD	1,708	21,980	大井 O5
			WAN HAI 175	1,805	22,171	
			WAN HAI 290	2,038	23,400	
Cheng Lie (CMA CGM) Yang Ming Evergreen	東京/横浜/名古屋/大阪/神戸/基隆 /高雄/香港/レムチャパン/バンコク /レムチャパン/ホーチミンシティ/香 港/高雄/台中/基隆/東京	4隻 28日ラウンド (木、ウィーク リー)	YM IMAGE	1,799	22,033	青海公共(日本通運)
			YM INCEPTION	1,799	22,027	
			YM INSTRUCTION	1,805	22,033	
			YM IMMENSE	1,799	22,027	
Cheng Lie (CMA CGM) Yang Ming Evergreen Sealand Asia Interasia	東京/横浜/清水/名古屋/大阪/神戸 /基隆/台中/高雄/香港/レムチャパン /バンコク/レムチャパン/香港/高 雄/台中/基隆/東京	4隻 28日ラウンド (火、ウィーク リー)	GUANGZHOU TRADER	1,707	21,785	品川公共(第一港運)
			GREEN PACIFIC	1,060	15,210	
			KUO LIN	1,756	23,483	
			NORDLEOPARD	1,756	23,575	
Evergreen	東京/横浜/清水/四日市/名古屋/台 北/高雄/ダナン/ホーチミンシティ /香港/蛇口/東京	3隻 21日ラウンド (木/金、 ウィークリー)	EVER CROWN	1,984	22,363	青海 A4
			EVER COMMAND	1,984	21,500	
			EVER CONNECT	1,984	21,500	
Evergreen Yang Ming	東京/横浜/名古屋/四日市/台北/台 中/高雄/シンガポール/ポートケラン /ベナン/タンジュンペラパス/香港/ 高雄/台中/台北/東京	4隻 28日ラウンド (月/火、 ウィークリー)	EVER BEAMY	2,926	37,500	青海 A4
			EVER BIRTH	2,926	37,872	
			EVER BRAVE	2,910	37,259	
			EVER BURLY	2,867	37,259	
Evergreen Yang Ming	東京/横浜/清水/名古屋/神戸/蔚山 /台北/台中/高雄/スラバヤ/ジャカ ルタ/タンジュンペラパス/パシールグ ダン/高雄/香港/蛇口/ジャカルタ/ スマラン/スラバヤ/高雄/台北/東京	7隻 49日ラウンド (土/日、 ウィークリー)	EVER BASIS	2,926	37,561	青海 A4
			EVER BRACE	2,910	39,000	
			EVER BLESS	2,800	36,972	
			EVER BLINK	2,867	37,259	
			EVER BREED	2,910	37,259	
			EVER BOARD	2,910	36,972	
			EVER BLOOM	2,881	37,301	
			EVER CERTAIN	1,984	22,383	
Evergreen Wan Hai COSCO	大阪/神戸/清水/横浜/東京/台北/ 高雄/香港/蛇口/ハイフォン/蛇口/ 廈門/大阪	3隻 21日ラウンド (土/日、 ウィークリー)	WAN HAI 266	1,662	23,648	大井 O5
			WAN HAI 267	1,662	23,623	
			EVER CERTAIN	1,984	22,383	
KMTC T.S.Lines Yang Ming Cheng Lie (CMA CGM)	大阪/神戸/名古屋/横浜/東京/香港 /シンガポール/ポートケラン北/ポ ートケラン西/シンガポール/香港/蛇口 /高雄/大阪	4隻 28日ラウンド (金、ウィーク リー)	VASI MOON	1,679	21,614	中防外側 Y2
			KMTC GWANGYANG	1,809	22,397	
			HANSA DUBURG	1,740	23,452	
			YM CONTINENT	2,940	37,222	

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成 (令和 4 年 7 月 1 日時点)

表 II-1-21 (2) 外貿コンテナ定期航路（東南アジア航路）の概要

運航社 [スペースチャーター]	寄 港 地	配船数 [配船間隔]	投 入 船			利用ターミナル
			船 名	TEU	DWT	
Hapag ONE	東京/川崎/横浜/四日市/名古屋/神戸/シンガポール/ジャカルタ/シンガポール/東京	4隻 28日ラウンド (土/日、 ウィークリー)	ALLEGORIA	5,527	68,228	大井 01/2
			BAI CHAY BRIDGE	4,432	52,452	
			BAY BRIDGE	4,432	52,118	
			BUDAPEST BRIDGE	4,520	58,200	
Interasia Wan Hai	東京/横浜/川崎/千葉/幕僚/台中/香港/カトライ/ポートケラン北/ペナン/カトライ/香港/蛇口/東京	4隻 28日ラウンド (月、ウィークリー)	INTERASIA ADVANCE	1,708	21,916	中防外側 Y2
			WAN HAI 231	1,660	21,052	大井 05
			WAN HAI 261	1,675	23,671	
			WAN HAI 287	2,038	23,400	
Interasia Wan Hai	東京/横浜/名古屋/大阪/神戸/台北/香港/蛇口/ポートケラン北/ポートケラン西/パシールグダン/シンガポール/香港/東京	4隻 28日ラウンド (火/水、 ウィークリー)	INTERASIA PROGRESS	2,732	39,008	大井 05
			WAN HAI 326	3,055	37,126	
			WAN HAI 327	3,055	37,133	
			WAN HAI 328	3,055	37,160	
Interasia Wan Hai OOCL [ONE COSCO]	大阪/神戸/名古屋/横浜/東京/香港/シンガポール/ポートケラン北/ポートケラン西/カイメツ/蛇口/香港/大阪	4隻 28日ラウンド (土/日、 ウィークリー)	OOCL DALIAN	4,578	50,554	大井 05
			WAN HAI 501	4,252	52,249	
			INTERASIA HORIZON	4,250	50,638	
			WAN HAI 510	4,250	51,300	
MSC	東京/横浜/四日市/名古屋/廈門/タンジュンペラバス/シンガポール/東京	3隻 21日ラウンド (日/月、 ウィークリー)	MSC REBECCA	3,424	42,954	中防外側 Y2
			MSC IMMA	2,811	35,980	
			NORTHER DECISION	3,534	42,011	
ONE [Cheng Lie (CMA CGM)]	東京/横浜/清水/名古屋/神戸/博多/釜山/幕僚/高雄/ハイフォン/高雄/東京	3隻 21日ラウンド (水、ウィークリー)	PENANG BRIDGE	1,708	21,927	大井 03/4
			GREEN WAVE	1,809	22,354	
			CONCERTO	1,091	13,684	
ONE [Sealand Asia HMM]	名古屋/四日市/清水/東京/横浜/大阪/神戸/釜山/マニラ/釜山/名古屋	3隻 21日ラウンド (月/火、 ウィークリー)	BUXLINK	2,470	33,817	大井 06/7
			NYK DANIELLA	2,846	34,536	
			CALIDRIS	2,796	41,108	
ONE Interasia OOCL Wan Hai [T.S. Lines]	東京/横浜/清水/名古屋/神戸/幕僚/香港/ポートケラン/シンガポール/カイメツ/東京	4隻 28日ラウンド (土/日、 ウィークリー)	GSL ELIZABETH	2,742	37,822	大井 03/4
			MOL ENDOWMENT	4,803	62,949	
			MOL GENEROSITY	5,605	71,416	
			NYK CONSTELLATION	4,888	65,919	
ONE [SITC KMTC Interasia]	清水/東京/横浜/レムチャパン/カイメツ/清水	3隻 21日ラウンド (金/土、 ウィークリー)	ACX DIAMOND	2,858	39,598	大井 03/4
			ACX PEARL	2,858	39,580	
			ACX CRYSTAL	2,858	39,565	
OOCL [COSCO]	東京/横浜/名古屋/神戸/大阪/台中/高雄/ホーチミンシティ/シンガポール/ホーチミンシティ/蛇口/香港/廈門/東京	4隻 28日ラウンド (木、ウィークリー)	CAPE ORIENT	2,190	25,351	青海公共 (山九)
			OREA	2,192	25,044	
			MANET	2,262	30,442	
			AKITETA	2,226	30,453	
OOCL [COSCO]	大阪/神戸/東京/横浜/名古屋/香港/レムチャパン/蛇口/香港/大阪	3隻 21日ラウンド (木/金、 ウィークリー)	OOCL NAGOYA	4,578	50,501	青海公共 (山九)
			SINGAPORE	3,314	38,694	
			OOCL SAVANNAH	4,578	50,490	
OOCL [COSCO]	東京/名古屋/四日市/神戸/高雄/ダーチャンベイ/シンガポール/ジャカルタ/シンガポール/蛇口/香港/高雄/東京	4隻 28日ラウンド (月/火、 ウィークリー)	OOCL NEW ZEALAND	4,578	50,554	青海公共 (山九)
			VELA	4,258	50,420	
			OOCL ZHOUSHAN	4,583	52,214	
			OOCL JAKARTA	4,578	50,560	

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成（令和 4 年 7 月 1 日時点）

表 II-1-21 (3) 外貿コンテナ定期航路（東南アジア航路）の概要

運航社 [スペースチャーター]	寄 港 地	配船数 [配船間隔]	投 入 船			利用ターミナル
			船 名	TEU	DWT	
SITC	ハイフォン/欽州/上海/東京/川崎/ 横浜/清水/釜山/上海/廈門/ハイ フォン	3隻 21日ラウンド (火、ウィーク リー)	SITC KAOHSIUNG	906	11,936	大井 O1/2
			SITC LIANYUNGANG	1,042	12,716	
			SITC YANTAI	1,042	12,692	
SITC	ダナン/蛇口/廈門/東京/横浜/川崎 /名古屋/上海/香港/ハイフォン/ダ ナン	3隻 21日ラウンド (木、ウィーク リー)	SITC FANGCHENG	1,042	12,698	大井 O1/2
			SITC YOKKAICHI	1,103	11,874	
			SITC SHIDAO	1,011	12,331	
SITC [HASCO Ningbo Ocean Sinotrans]	レムチャパン/ホーチミンシティ/寧波 /上海/名古屋/東京/横浜/上海/ 寧波/廈門/ホーチミンシティ/バン コク/レムチャパン	9隻 63日ラウンド (土、ウィーク リー)	SITC LIAONING	1,808	21,355	中防外側 Y2
			SITC GUANGXI	1,808	21,355	
			SITC BANGKOK	1,620	22,078	
			SITC JAKARTA	1,620	22,052	
			SITC LEAM CHABANG	1,620	22,077	
			SITC JIANGSU	1,808	21,355	
			SITC SHANDONG	1,808	21,355	
			SITC FUJIAN	1,808	21,196	
			INTEGRA	1,808	21,512	
KMTC SITC [Sinotrans]	バンコク/レムチャパン/ホーチミンシ ティ/蛇口/名古屋/東京/川崎/横浜 /上海/寧波/温州/レムチャパン/バ ンコク	4隻 28日ラウンド (火、ウィーク リー)	SITC KANTO	1,808	21,355	中防外側 Y2
			SITC KAWASAKI	1,708	21,992	
			SUNSHINE BANDAMA	1,700	21,470	
			SITC HANSHIN	1,808	21,355	
T.S.Lines	東京/横浜/名古屋/大阪/神戸/基隆 /高雄/香港/蛇口/東京	2隻 14日ラウンド (月/火、 ウィークリー)	ULTIMA	1,103	11,855	青海公共(住友倉庫)
			MITRA BHUM	1,118	13,844	
T.S.Lines	東京/横浜/名古屋/大阪/神戸/基隆 /台中/高雄/香港/蛇口/東京	2隻 14日ラウンド (水/木、 ウィークリー)	TS SHANGHAI	1,096	11,833	大井 O6/7
			TS KOBE	1,096	11,673	
T.S.Lines	大阪/神戸/横浜/東京/基隆/台中/ 高雄/香港/南沙/蛇口/香港/大阪	2隻 14日ラウンド (土/日、 ウィークリー)	MARCLIFE	1,049	12,780	青海公共(住友倉庫)
			CONSHIP UNO	1,118	13,835	
Yang Ming Cheng Lie (CMA CGM) Evergreen COSCO [Sealand Asia]	名古屋/東京/千葉/横浜/基隆/高雄 /香港/蛇口/ポートケラン/シンガ ポール/マニラ/高雄/香港/蛇口/廈 門/名古屋	4隻 28日ラウンド (木/金、 ウィークリー)	YM CENTENNIAL	2,940	37,222	青海公共(日本通運)
			YM CAPACITY	2,940	37,435	
			YM CONSTANCY	2,940	37,435	
			YM CONTINUITY	2,940	37,435	
Wan Hai [Interasia]	東京/横浜/清水/名古屋/四日市/基 隆/台中/高雄/香港/南沙/シンガ ポール/ポートケラン/シンガポール/ 香港/蛇口/台中/台北/東京	4隻 28日ラウンド (月/火、 ウィークリー)	WAN HAI 306	2,434	34,026	大井 O5
			WAN HAI 307	2,434	34,026	
			WAN HAI 317	2,646	33,055	
			WAN HAI 323	3,055	36,798	
Wan Hai	東京/横浜/名古屋/四日市/基隆/台 中/高雄/香港/レムチャパン/バンコ ク/レムチャパン/高雄/台中/台北/ 東京	4隻 28日ラウンド (水/木、 ウィークリー)	WAN HAI 172	1,809	22,177	大井 O5
			WAN HAI 271	1,805	21,650	
			WAN HAI 272	1,805	21,650	
			WAN HAI 275	1,805	21,650	

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成（令和 4 年 7 月 1 日時点）

5) 中国航路

表 II-1-22 (1) 外貿コンテナ定期航路 (中国航路) の概要

運航社 [スペースチャーター]	寄 港 地	配船数 [配船間隔]	投 入 船			利用ターミナル
			船 名	TEU	DWT	
ASL (Sankyu) EAS (Ben) [DCL]	青島/横浜/東京/名古屋/大阪/神戸 /新港/青島	2隻 14日ラウンド (水、ウィークリー)	EASLINE LIANYUNGANG	1,177	17,704	青海公共(住友倉庫)
			STRAITS CITY	1,096	11,650	青海公共(山九)
CCL Zuiyo Zim [T.S.Lines]	上海/大阪/神戸/上海/横浜/東京/ 上海	2隻 14日ラウンド (火/水、ウィークリー)	PACIFIC QINGDAO	698	8,157	青海公共(山九)
			JRS CARINA	698	8,203	
COSCO Evergreen Cheng Lie (CMA CGM) OOCL	東京/横浜/名古屋/門司/釜田/南沙 /香港/ハイフォン/欽州/香港/廈門 /東京	3隻 21日ラウンド (水/木、ウィークリー)	FENG YUN HE	1,432	24,251	中防外側Y1(上船)
			MI YUN HE	1,432	24,259	
			CAPE FORBY	1,440	20,308	
CCL JJSCO (Jin Jiang Shipping) [Zuiyo]	青島/東京/横浜/青島/大阪/神戸/ 青島	2隻 14日ラウンド (火、ウィークリー)	ACACIA LIBRA	1,019	13,658	青海公共(山九)
			MILD WALTZ	1,098	13,273	青海公共(住友倉庫)
COSCO Sinotrans SITC [Ningbo Ocean]	寧波/東京/横浜/寧波	1隻 7日ラウンド (火/水、ウィークリー)	QING YUN HE	1,702	25,645	中防外側Y1(上船)
COSCO [Sinotrans]	上海/東京/横浜/上海/大阪/神戸/ 上海	2隻 14日ラウンド (木/金、ウィークリー)	A VESSEL	—	—	中防外側Y1(上船)
			XIN BEI LUN	4,250	52,223	
COSCO [Sinotrans]	上海/東京/横浜/上海	1隻 7日ラウンド (月、ウィークリー)	CONTESSA	1,091	13,687	中防外側Y1(上船)
COSCO Sinotrans [DCL]	東京/横浜/寧波/青島/東京	2隻 14日ラウンド (火/水、ウィークリー)	XIN HAI KOU	4,250	52,212	青海 A4 品川公共(東海運)
			SINOTRANS KAOHSIUNG	1,946	24,753	
Dong Young (Nam Sung) Dongjin HEUNG A (Sinokor) [Nam Sung]	釜山/横浜/東京/濟水/名古屋/釜山 /蔚山/仁川/大連/煙台/蔚山/釜山	2隻 14日ラウンド (火、ウィークリー)	PEGASUS PETA	1,009	12,217	品川公共(第一港運)
			PEGASUS UNIX	962	13,002	
Zuiyo	大連/大阪/神戸/東京/横浜/名古屋 /新港/大連	2隻 14日ラウンド (金、ウィークリー)	KANWAY GALAXY	1,613	24,386	中防外側Y2
			A ROKU	1,708	21,935	
HASCO JJSCO (Jin Jiang Shipping) Emirates Ship.(HASCO)/ SITC/OOCL/Sealand Asia	ハイフォン/南沙/香港/台中/上海/ 東京/横浜/台中/上海/廈門/香港/ ハイフォン	3隻 21日ラウンド (水、ウィークリー)	MILD CHORUS	1,098	13,294	青海公共(山九)
			MILD SONATA	1,098	13,238	
			MILD JAZZ	1,098	13,276	
Sinotrans [COSCO]	上海/東京/横浜/上海	1隻 7日ラウンド (水、ウィークリー)	SINOTRANS SHANGHAI	1,040	12,968	品川公共(東海運)
HASCO Emirates Ship. (HASCO) SITC [Sealand Asia]	上海/横浜/東京/太倉/上海	2隻 14日ラウンド (月/火、ウィークリー)	GLORY GUANDONG	1,020	12,343	青海公共(山九)
			GLORY ZHENDONG	1,020	12,337	
Hede (Nittsu)	門司/東京/横浜/名古屋/大阪/神戸 /京橋/灘坊/門司	2隻 14日ラウンド (水、ウィークリー)	TANG SHAN GANG JI 2	—	8,173	中防外側Y2 青海公共(日本通運)
			TANG SHAN GANG JI 1	694	8,394	
Ji Zhou Shipping (Koyo)	福州/水島/大阪/横浜/東京/名古屋 /廈門/江陰/福州	2隻 14日ラウンド (木、ウィークリー)	Ji YUAN	585	8,703	青海公共(第一港運)
			Ji RUN	585	8,732	

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成 (令和4年7月1日時点)

表 II-1-22 (2) 外貿コンテナ定期航路（中国航路）の概要

運航社 【スペースチャーター】	寄 港 地	配船数 【配船間隔】	投 入 船			利用ターミナル
			船 名	TEU	DWT	
JJSCO 【Jin Jiang Shipping】	上海/東京/横浜/上海	1隻 7日ラウンド (月、ウィークリー)	GLORY GUANGZHOU	1,098	12,330	青島公共(住友倉庫)
JJSCO 【Jin Jiang Shipping】	上海/東京/横浜/上海	1隻 7日ラウンド (木、ウィークリー)	MILD TEMPO	1,098	13,255	品川公共(住友倉庫)
Ningbo Ocean (Nitto) 【COSCO/SITC/Zim】	寧波/大阪/神戸/名古屋/横浜/東京 /乍浦鎮/寧波/名古屋/東京/横浜/ 乍浦鎮/寧波	3隻 21日ラウンド (月、水、ウィークリー)	NEW MINGZHOU 16	1,042	12,560	大井 O1/2
			NEW MINGZHOU 28	1,098	13,281	
			NEW MINGZHOU 68	1,098	13,266	
COSCO 【Sinotrans】	大連/東京/横浜/名古屋/營口/威海 /大連	2隻 14日ラウンド (水/木、ウィークリー)	IBN AL ABBAR	1,560	24,376	中防外側 Y1(上船)
			GREEN HORIZON	1,736	21,957	
COSCO 【CCL Sinotrans】	上海/東京/横浜/上海/名古屋/上海	2隻 14日ラウンド (火、ウィークリー)	A VESSEL	—	—	中防外側 Y1(上船)
			WES SINA	1,049	12,829	
Sinotrans 【COSCO】	煙台/東京/横浜/名古屋/新港/煙台	2隻 14日ラウンド (木、ウィークリー)	ZHONG GU NAN HAI	—	24,123	中防外側 Y2
			SINOTRANS KEELUNG	—	24,700	
Sinotrans 【SKT4】COSCO/SITC 【SNG5】COSCO/SITC/CCL】	上海/横浜/東京/上海/名古屋/上海	2隻 14日ラウンド (日/月、ウィークリー)	ISARA BHUM	1,088	12,475	青島公共(伊勢湾)
			SINOTRANS DALIAN	1,106	13,481	
Sinotrans Jiangsu Company (Sinotrans Japan)	南通/大阪/神戸/名古屋/横浜/東京 /南京/張家港/南通	2隻 14日ラウンド (金、ウィークリー)	SINOTRANS HONG KONG	1,049	12,829	品川公共(東海運)
			SINOTRANS QINGDAO	1,106	13,474	
Sinotrans Jiangsu Company (Sinotrans Japan)	南通/東京/横浜/名古屋/神戸/南京 /張家港/南通	2隻 14日ラウンド (月/火、ウィークリー)	DONG HAI	602	7,990	品川公共(東海運)
			YI SHENG	385	6,816	
SITC 【HASCO】	上海/太倉/博多/東京/川崎/横浜/ 上海	3隻 21日ラウンド (水/木、日、ウィークリー)	HF FORTUNE	1,049	12,782	大井 O1/2 中防外側 Y2
			SITC SUBIC	1,011	12,323	
			SITC TAICANG	1,011	12,337	
SITC	大連/名古屋/四日市/東京/横浜/川 崎/神戸/大連/秦皇島/新港/大連	2隻 14日ラウンド (木/金、ウィークリー)	HF LUCKY	1,049	12,793	大井 O1/2
			HF WEALTH	1,049	12,790	
SITC	大連/新港/煙台/東京/横浜/名古屋 /太倉/上海/横浜/東京/瀋水/名古屋 /大連/新港/煙台	3隻 21日ラウンド (火、木、ウィークリー)	SITC SENDAI	1,011	12,346	大井 O1/2
			SITC SHENZHEN	1,042	12,692	
			SITC BUSAN	1,040	13,009	
SITC	煙台/大阪/東京/名古屋/大連/新港 /煙台	2隻 14日ラウンド (水、ウィークリー)	SITC KWANGYANG	953	12,868	大井 O1/2
			A VESSEL	—	—	
78	青島/東京/横浜/青島	2隻 14日ラウンド (火/水、ウィークリー)	SITC SHIMIZU	1,042	12,694	大井 O1/2
			SITC MOJI	1,042	12,738	
T.S Lines 【CCL Zuiyo】	上海/大阪/神戸/上海/横浜/東京/ 上海	2隻 14日ラウンド (木、ウィークリー)	A VESSEL	—	—	大井 O6/7
			HALCYON	1,102	12,480	

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成（令和 4 年 7 月 1 日時点）

表 II-1-22 (3) 外貿コンテナ定期航路（中国航路）の概要

運航社 [スペースチャーター]	寄 港 地	配船数 [配船間隔]	投 入 船			利用ターミナル
			船 名	TEU	DWT	
TCLC (Sankyu)	南京/太倉/名古屋/東京/横浜/太倉 /横浜/東京/名古屋/太倉/南京	3隻 21日ラウンド (日/月、水/ 木、ウィーク リー)	JOSCO DIANA	1,049	12,812	中防外側 Y2
			JOSCO BELLE	1,049	12,820	
			A VESSEL	—	—	
TCLC (Sankyu)	舟山/大阪/神戸/東京/横浜/川崎/ 名古屋/南京/常州/太倉/舟山	2隻 14日ラウンド (土/日、 ウィークリー)	BF CARP	990	12,083	中防外側 Y2
			JOSCO XINGFU	1,049	12,830	
SITC	上海/名古屋/東京/仙台/上海/太倉	3隻 21日ラウンド (水、ウィーク リー)	HF FORTUNE	1,049	12,782	大井 O1/2
			SITC SUBIC	1,011	12,323	
			SITC TAICANG	1,011	12,337	
SITC	青島/東京/川崎/横浜/横浜/連雲港 /日照/青島	2隻 14日ラウンド (水/木、 ウィークリー)	A VESSEL	—	—	大井 O1/2
			SITC HOCHIMINH	1,042	12,696	

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成（令和 4 年 7 月 1 日時点）

6) 韓国航路

表 II-1-23 外貿コンテナ定期航路（韓国航路）の概要

運航社 【スペースチャーター】	寄 港 地	配船数 【配船間隔】	投 入 船			利用ターミナル
			船 名	TEU	DWT	
CK Line (CKM) Tai Young (Daei Shipping) 【KMTC PanCon (Asia Cargo)】	釜山/清水/東京/横浜/名古屋/釜山 /仁川/木浦/釜山/和歌山/横浜/東 京/千葉/釜山/仁川/釜山	3隻 21日ラウンド (月、金、ウィーク リー)	CONMAR MOON	704	8,544	品川公共(東海運)
			KOTA TAMPAN	764	10,683	
			TY INCHEON	756	10,683	
Dongjin 【DongYoung HEUNG A (Sinokor)】	釜山/清水/横浜/東京/名古屋/釜山	1隻 7日ラウンド (金、ウィーク リー)	DONGJIN VENUS	953	12,844	品川公共(第一港運)
HEUNG A (Sinokor) 【Dongjin DongYoung】	釜山/東京/横浜/名古屋/豊橋/蔚山 /釜山	1隻 7日ラウンド (月、ウィーク リー)	HEUNG-A YOUNG	1,103	11,806	品川公共(住友倉庫)
KMTC 【CK Line (CKM) / PanCon (Asia Cargo) / Tai Young (Daei Shipping)】	釜山/東京/千葉/横浜/蔚山/釜山	1隻 7日ラウンド (火、ウィーク リー)	RELIANCE	932	10,004	品川公共(東海運)
Nam Sung 【Sinokor/Pan Ocean】	釜山/東京/横浜/名古屋/伊予三島/ 釜山	1隻 7日ラウンド (金、ウィーク リー)	STAR SKIPPER	962	12,980	品川公共(第一港運)
ONE 【Sealand Asia HMM】	東京/清水/名古屋/釜山/東京	1隻 7日ラウンド (土/日ウィーク リー)	CONSILIA	—	—	大井 03/4
Pan Ocean 【HEUNG A (Sinokor) / Nam Sung/ Sinokor】	釜山/東京/横浜/名古屋/四日市/光 陽/釜山	1隻 7日ラウンド (水、ウィーク リー)	POS YOKOHAMA	702	10,298	品川公共(住友倉庫)
PanCon (Asia Cargo) 【CK Line (CKM) /Dongjin/ HEUNG A (Sinokor) /KMTC/ TaiYoung (Daei Shipping)】	釜山/清水/東京/豊橋/四日市/名古 屋/蔚山/釜山	1隻 7日ラウンド (水、ウィーク リー)	PANCON SUCCESS	1,009	11,892	品川公共(住友倉庫)
Panstar (Sanstar)	釜山/東京/釜山/石島/釜山	1隻 7日ラウンド (月、ウィーク リー)	Panstar Genie NO.2	—	4,000	品川公共(住友倉庫)
Sinokor 【Nam Sung/Pan Ocean/ Pan Con (Asia Cargo)】	釜山/東京/横浜/名古屋/光陽/釜山	1隻 7日ラウンド (月、ウィーク リー)	SINKOR AKITA	834	11,031	品川公共(住友倉庫)

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成（令和4年7月1日時点）

(2) 内貿航路

内航RORO、フェリー、国際フィーダー航路の主要寄港地、寄港頻度等の現況は、次のとおりである。

表Ⅱ-1-24 内貿航路（RORO）の概要

航路	主な寄港地	便数	運航社	船名	総トン数	主たる利用ふ頭	船種	
北海道	苫小牧 釧路	東京/苫小牧/釧路	週5便 NX海運株	ひまわり7	10,497	中防内側	RORO	
				ひまわり8	10,626			
				ひまわり9	10,626			
	苫小牧	東京/苫小牧/八戸	週6便	栗林商船株	神王丸	13,620		品川
				オーシャントランス株	海王丸	13,633		
	苫小牧 釧路	東京/名古屋/大阪/苫小牧/釧路/ 仙台/清水	週10便	栗林商船株	天王丸	13,624		
					神永丸	14,054		
					神北丸	12,430		
					神加丸	16,726		
					神珠丸	14,052		
沖縄	那覇	東京/名古屋/志布志/那覇	週3便	マルエーフェリー株	琉球エキスプレス3 琉球エキスプレス5	10,034 10,034	若洲	
		東京/大阪/那覇・本部・中城	週3便	琉球海運株	にらいかないⅡ しゅれいⅡ	11,687 11,687		
	日南	東京/油津/細島	週2便	川崎近海汽船株	南王丸	9,832	10号地	
		那覇	週6便	商船三井フェリー株	むさし丸 ぶぜん すおう	13,927 11,674 11,675		
博多	東京/御前崎/博多/大分/岩国/松山	週6便	商船三井フェリー株	さんふらわあはかた さんふらわあとうきょう	10,507 10,503			
				NX海運株	ひまわり5 ひまわり6	10,470 10,471		
			伊豆諸島 小笠原	東京/大島/利島/新島/式根島/神津島	毎日 週末多客時	東海汽船株		セブアイランド(4隻)
東京/三宅島/御蔵島/八丈島	毎日	さるびあ丸		6,099				
東京/父島	月5便	小笠原海運株		橋丸 おがさわら丸	5,681 11,035	貨客		

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成（令和4年7月1日時点）

表Ⅱ-1-25 内貿航路（フェリー）の概要

航路	便数	所要時間 (下り)	運航社	船名	総トン数	旅客定員数	輸送能力		船社名
							乗用車	トレーラー等	
東京-徳島-北九州	週7便	33:50	オーシャントランス(株)	フェリーびざん フェリーしまんと フェリーどうご フェリーりつりん	12,636 12,636 12,636 12,636	266 266 266 266	80台 80 80 80	188台 188 188 188	オーシャントランス(株) 東京港事務所 ☎3528-1011

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成（令和4年7月1日時点）

表 II-1-26 内貿航路（国際フィーダー航路）の概要

主な寄港地	航海数	運航社	就航船		主たる利用埠頭
			船名	総トン数	
東京 / 横浜 / 仙台	週4便	鈴与海運/近海郵船	はるかぜ しんせと	749 749	大井
東京 / 横浜 / 鹿島 / 常陸那珂 / 清水 / 御前崎 (OOCL)	週1便		清浜丸 第一鐵運丸	499	
東京 / 横浜 / 仙台	週1便		鈴与海運(株)		佑佳 すざく
東京 / 清水	週4便	こはく はるかぜ			
東京 / 大船渡	週1便	しんせと			
東京 / 神戸 / 門司 / 博多	週2便	ながら のがみ		7,432 7,658	大井6/7号 大井2号
東京 / 苫小牧	不定期	井本商運(株)	なとり	7,390	コンテナ
東京 / 八戸	週1便		ひよどり まいこ 等	749	大井 / 青海
東京 / 釜石	週1便				
東京 / 仙台	週2便				
東京 / 小名浜	不定期				
東京 / 常陸那珂	週1便				
東京 / 鹿島	週1便				
東京 / 名古屋	不定期				
東京 / 清水	不定期				
東京 / 四日市	不定期				
東京 / 御前崎	不定期				
東京 / 豊橋	不定期				

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成（令和4年7月1日時点）

1-2 取扱貨物量の設定

1-2-1 取扱貨物量の設定の方針

(1) 基準年次、及び目標年次

東京港第9次改訂港湾計画では、基準年次を令和元年（2019年）とし、目標年次を令和10年代後半（貨物量推計目標年次：令和17年（2035年））とする。

なお、令和2年（2020年）、令和3年（2021年）実績は参考として記載した。

※貨物量推計の基準年次を令和元年とする理由

- ・令和2年、令和3年においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、物流が一時的に混乱し、取扱貨物も減少している。そのため、新型コロナウイルス感染症の影響を排除するため、基準年次を令和元年とした。

※貨物量推計の目標年次を令和17年とする理由

- ・目標年次は通常、10～15年程度将来の年次である。
- ・港湾計画の改訂作業がとりまとまる年度は令和5年度と想定。
- ・令和5年から12年後である令和17年を目標年次とした。

表 II-1-27 基準年と目標年

名称	実績										基準年 (参考) (参考)			目標年
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3		
和暦	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R17	
西暦	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2035	

(2) 目標年次貨物量の考え方

東京港における、目標年次貨物量は、ベース貨物量、貿易促進等貨物量、モーダルシフト促進貨物量に分類して推計を行う。

① ベース貨物量推計

東京港のベース貨物については、82品目について近年の取扱実績の推移や関連する社会経済指標（首都圏GDP、首都圏所得等）との相関に基づき、将来貨物量を算出した。

② 貿易促進等貨物量推計

東京港の貿易促進等貨物については、経済連携協定の締結による関税の撤廃や農林水産省の打ち出す「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」（令和4年12月）による輸出促進など、社会情勢の変化や国策に合わせ積極的に創貨を図る。

また、国際フィーダー航路の拡大や現在日本国内から釜山トランシップによって海外港へ輸出されている貨物等についても、東京港で戦略的に集貨することを想定している。

③ モーダルシフト促進貨物量推計

東京港のモーダルシフト促進貨物については、脱炭素社会の実現や2024年問題への対応などにより、陸上輸送から海上輸送へ積極的に転換を図る。

①、②、③の推計方法から算出した貨物量を合算し、東京港の将来貨物量とした。

表 II-1-28 推計値内訳

種別		推計値		
		千トン	千TEU	
外貿公共	コンテナ	ベース貨物	57,014	5,550
		貿易促進等貨物	4,497	379
		小計	61,511	5,928
	在来	ベース貨物	1,257	
		貿易促進等貨物		
		小計	1,257	
外貿計		62,768	5,928	
内貿公共	ユニット	ベース貨物	12,186	151
		モーダルシフト促進貨物	1,409	3
		小計	13,595	154
	フィーダー	ベース貨物	1,601	361
		貿易促進等貨物	321	72
		小計	1,922	433
	在来	ベース貨物	5,553	
		貿易促進等貨物		
		小計	5,553	
	フェリー	ベース貨物	11,308	
		モーダルシフト促進貨物	1,256	
		小計	12,564	
内貿計		33,635	587	
合計		96,402	6,516	

(3) 推計に用いる社会・経済フレーム

推計に用いる社会・経済フレームは次のとおりである。

表Ⅱ-1-29 (1) 推計に用いる社会経済フレーム

項目	推計方法	R1 実績	R17 推計値
首都圏人口	「日本の地域別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所推計値(平成30年10月)）」	44,275 (千人)	41,981 (千人)
首都圏GDP	「経済財政の中長期試算（令和4年1月14日）（内閣府）」のベースラインケースの成長率を用いて推計したGDPより、「国民経済計算（内閣府）」（平成22年～令和元年）の首都圏（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県）のGDPを近似式で推計。	229,502 (十億円)	280,964 (十億円)
首都圏所得	「経済財政の中長期試算（令和4年1月14日）（内閣府）」のベースラインケースの成長率を用いて推計したGDPより、「国民経済計算（内閣府）」（平成22年～令和元年）の首都圏（首都圏GDPと同様）を近似式で推計。	174,575 (十億円)	218,666 (十億円)
世界GDP	「World Economic Outlook Database（2022.4）（国際通貨基金（IMF）」における基本シナリオを用いて世界将来GDPを設定。	83,554 (十億米ドル)	109,105 (十億米ドル)
アメリカGDP	「World Economic Outlook Database（2022.4）（国際通貨基金（IMF）」における基本シナリオを用いてアメリカの将来GDPを設定。	19,925 (十億米ドル)	23,579 (十億米ドル)
アジアGDP	「World Economic Outlook Database（2022.4）（国際通貨基金（IMF）」における基本シナリオを用いてアジアの将来GDPを設定。	19,272 (十億米ドル)	30,998 (十億米ドル)

表 II-1-29 (2) 推計に用いる社会経済フレーム

項目	推計方法	R1 実績	R17 推計値
民間企業 設備	首都圏 GDP を基に「計数表(固定資本ストック)(平成 22 年～令和元年)(内閣府)」における民間企業設備を推計。	736,849 (十億円)	779,226 (十億円)
越境 EC	「令和 2 年度産業経済研究委託事業(電子商取引に関する市場調査)」(経済産業省(令和 3 年 7 月))における世界の越境 EC 市場の伸びを採用。	7,800 (億米ドル)	48,200 (億米ドル)

(4) 貨物量推計全体フロー

目標年次（令和 17 年）における取扱貨物量は、東京港の取扱貨物量の推移、貿易促進等貨物及びモーダルシフト促進貨物を基に、以下のフローに従い設定した。

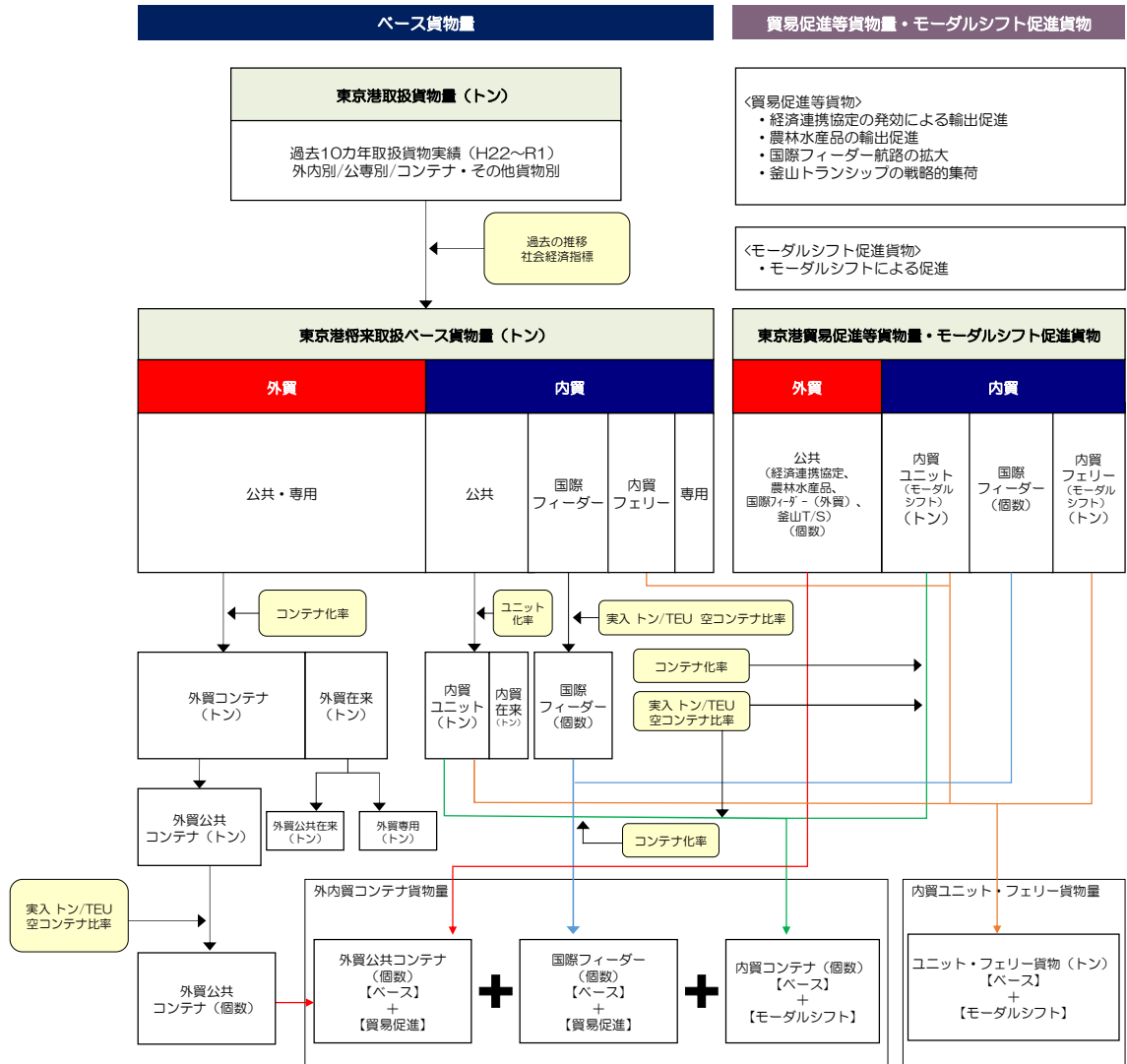


図 II-1-2 東京港貨物量推計の全体フロー

表Ⅱ-1-30 推計結果（まとめ）

単位：千トン、千TEU

外内	種別	実績値										実績値（参考）		推計値	増減量	年平均伸び率		
		H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021			R17 2035	R1~R17	H22~R1
外内	コンテナ (千トン)	42,819	44,695	45,302	46,619	47,066	44,930	46,178	48,152	47,982	46,663	44,663	46,080	61,511	14,848	1%	2%	
		(千TEU)	3,816	4,144	4,235	4,353	4,390	4,150	4,251	4,500	4,571	4,514	4,260	4,326	5,928	1,415	2%	2%
		輸出 (千トン)	12,926	12,504	12,491	12,582	12,735	12,450	12,773	12,950	12,770	12,155	11,288	12,071	17,840	5,685	-1%	2%
	輸入 (千トン)	1,739	1,913	1,948	1,995	2,039	1,917	1,981	2,075	2,117	2,129	1,985	1,970	2,878	750	2%	2%	
	在来 (千トン)	29,893	32,191	32,811	34,036	34,331	32,480	33,405	35,202	35,212	34,508	33,375	34,009	43,671	9,163	2%	1%	
	輸出 (千トン)	2,078	2,231	2,287	2,358	2,350	2,232	2,270	2,426	2,453	2,385	2,275	2,356	3,050	665	2%	2%	
	輸入 (千トン)	1,896	1,720	1,622	1,471	1,424	1,387	1,551	1,460	1,367	1,289	1,268	1,121	1,257	-33	-4%	0%	
	専用 (千トン)	645	450	655	564	488	483	595	556	504	573	590	406	535	-38	-1%	0%	
	輸出 (千トン)	1,241	1,270	966	906	936	903	955	904	863	716	678	715	722	6	-6%	0%	
	輸入 (千トン)	445	427	475	405	377	382	373	504	477	542	439	442	498	-43	2%	-1%	
	内内	ユニット うちコンテナ (千トン)	8,718	9,762	9,931	10,168	11,115	11,791	11,931	11,622	11,716	11,208	9,881	10,837	13,595	2,387	3%	1%
			(千TEU)	163	177	174	171	166	157	156	152	151	152	144	155	154	3	-1%
移出 (千トン)			4,867	5,298	5,542	5,717	6,267	6,648	6,721	6,776	6,823	6,766	6,052	6,503	8,529	1,763	4%	1%
うちコンテナ (千TEU)		87	99	97	97	93	87	84	85	82	79	76	79	83	4	-1%	0%	
移入 (千トン)		3,850	4,464	4,389	4,451	4,849	5,143	5,210	4,847	4,893	4,442	3,828	4,335	5,066	624	2%	1%	
うちコンテナ (千TEU)		76	78	77	74	73	70	72	68	70	73	69	76	71	-1	-1%	0%	
フィーダー (千トン)		1,123	1,100	1,168	1,169	1,123	904	1,043	1,667	1,523	1,479	1,374	1,119	1,922	443	3%	2%	
		(千TEU)	305	319	342	336	339	323	328	395	386	342	342	382	433	91	1%	1%
		移出 (千トン)	513	483	593	668	609	489	531	866	827	693	716	552	921	229	3%	2%
移入 (千トン)		245	254	284	283	283	278	272	309	301	247	258	302	320	73	0%	2%	
移入 (千トン)		609	617	575	502	515	416	512	801	696	787	658	567	1,001	214	3%	2%	
(千TEU)		61	65	58	53	56	45	56	86	84	95	85	80	113	18	5%	1%	
在来 (千トン)	5,399	5,689	5,463	6,378	6,443	5,904	5,337	6,009	5,516	5,089	5,255	5,826	5,553	464	-1%	1%		
	(千トン)	2,194	2,532	2,542	3,187	2,824	2,147	1,796	2,282	1,710	1,508	2,054	2,562	1,897	389	-4%	1%	
	移入 (千トン)	3,175	3,157	2,921	3,191	3,619	3,757	3,541	3,727	3,806	3,580	3,202	3,264	3,656	76	1%	0%	
フェリー (千トン)	7,067	9,491	7,779	8,550	8,043	8,294	9,126	10,086	10,868	10,735	9,806	10,585	12,564	1,829	5%	1%		
	(千トン)	3,604	4,844	3,941	4,397	4,216	4,295	4,775	5,396	5,676	5,567	4,981	5,325	6,282	715	5%	1%	
	移入 (千トン)	3,453	4,647	3,838	4,153	3,826	3,999	4,351	4,690	5,193	5,168	4,825	5,261	6,282	1,114	5%	1%	
専用 (千トン)	10,099	10,512	11,047	11,273	11,597	11,740	10,416	11,280	12,096	10,801	8,181	8,714	12,094	1,293	1%	1%		
	(千トン)	254	202	216	279	301	325	473	472	716	521	536	629	497	-24	0%	0%	
	移入 (千トン)	9,845	10,310	10,832	10,994	11,296	11,415	9,943	10,807	11,379	10,280	7,645	8,086	11,597	1,317	0%	1%	
合計	外内 (千トン)	77,515	83,395	82,786	86,032	87,189	85,333	85,954	90,780	91,543	87,806	80,867	84,725	108,995	21,188	1%	1%	
	内内 (千トン)	45,150	46,841	47,399	48,494	48,867	46,699	48,102	50,116	49,826	48,494	46,370	47,643	63,266	14,772	1%	2%	

種別	実績値										実績値（参考）		推計値	増減量	年平均伸び率	
	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021			R17 2035	R1~R17
外内貨コンテナ貨物量 (千トン)	45,475	47,467	48,144	49,461	49,832	47,431	48,765	51,286	50,958	49,556	47,411	48,584	64,873	15,317	1%	2%
(千TEU)	4,285	4,640	4,752	4,861	4,895	4,629	4,735	5,048	5,108	5,007	4,747	4,863	6,516	1,509	2%	2%
外内貨コンテナ (千トン)	42,819	44,695	45,302	46,619	47,066	44,930	46,178	48,152	47,982	46,663	44,663	46,080	61,511	14,848	1%	2%
(千TEU)	3,816	4,144	4,235	4,353	4,390	4,150	4,251	4,500	4,571	4,514	4,260	4,326	5,928	1,415	2%	2%
内内貨コンテナ (千トン)	2,656	2,772	2,842	2,842	2,765	2,501	2,586	3,134	2,976	2,893	2,748	2,504	3,362	469	1%	1%
(千TEU)	469	496	516	507	505	480	484	548	537	493	487	537	587	94	1%	1%

外内貨物量				単位：千トン			外内貨コンテナ個数				単位：千TEU				
外内別	種別	基準年 R1	推計値 R17	増減量 R1~R17	外内別	種別	基準年 R1	推計値 R17	増減量 R1~R17	外内別	種別	基準年 R1	推計値 R17	増減量 R1~R17	
外内	コンテナ 計	46,663	61,511	14,848	外内	コンテナ 計	4,514	5,928	1,415	外内	コンテナ 計	451	593	141	
	輸出	12,155	17,840	5,685		輸出	2,129	2,878	750		輸出	213	288	75	
	輸入	34,508	43,671	9,163		輸入	2,385	3,050	665		輸入	238	305	67	
	内内	在来 計	1,289	1,257	-33	内内	ユニット 計	152	154	3	内内	ユニット 計	15	15	0
		輸出	573	535	-38		移出	79	83	4		移出	8	8	0
		輸入	716	722	6		移入	73	71	-1		移入	7	7	0
専用		計	542	498	-43	専用	フィーダー 計	342	433	91	専用	フィーダー 計	34	43	9
		輸出	6	8	2		移出	247	320	73		移出	25	32	7
		輸入	535	491	-45		移入	95	113	18		移入	9	11	2
	合計	ユニット 計	11,208	13,595	2,387	合計	外内	5,007	6,516	1,509	合計	外内	501	652	151
		移出	6,766	8,529	1,763	外内	4,514	5,928	1,415	外内	451	593	141		
		移入	4,442	5,066	624	内内	493	587	94	内内	49	59	9		
フィーダー 計		1,479	1,922	443	外内貨コンテナ個数										
移出		693	921	229	単位：万TEU										
移入		787	1,001	214											

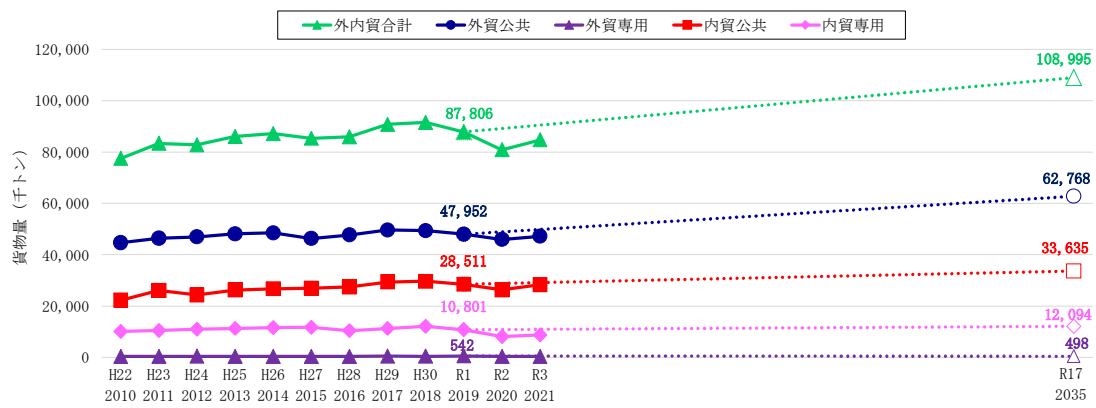


図 II-1-3 取扱貨物量の推移

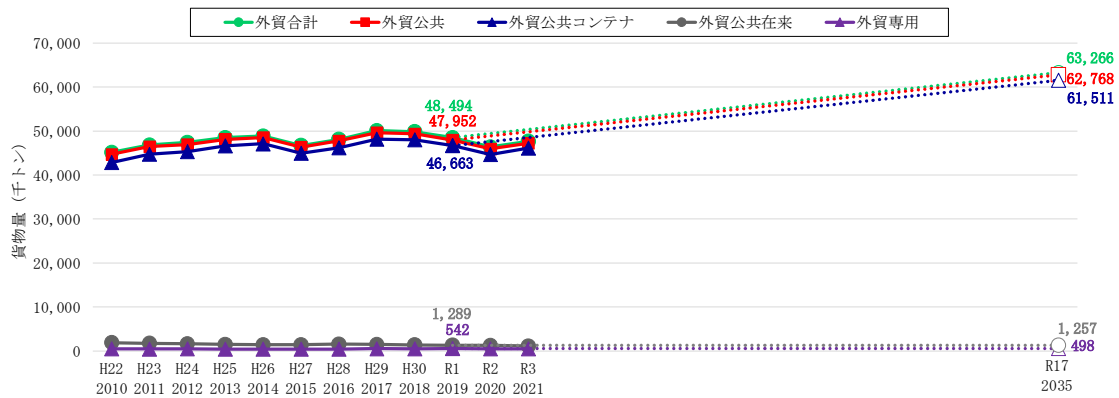


図 II-1-4 取扱貨物量の推移 (外貿)

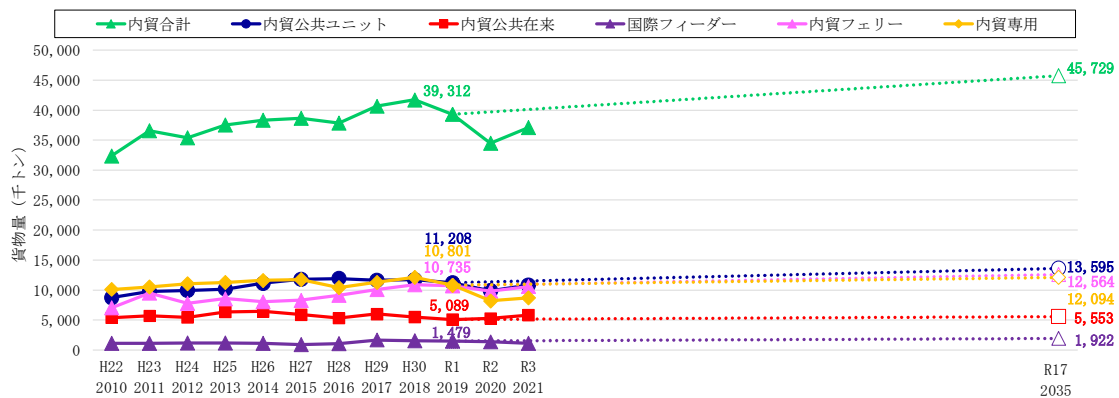


図 II-1-5 取扱貨物量の推移 (内貿)

1-2-2 外貨貨物取扱量の設定（ベース貨物量）

(1) 外貨貨物取扱量の設定

1) 設定の考え方

目標年次における外貨貨物の取扱量の設定の考え方は、それぞれ次のとおりであり、82品目について輸出入別で取扱量を設定した。

表 II-1-31 外貨貨物取扱量の設定の考え方

推計の種類	取扱貨物量の状況	推計方法
増加傾向 品目	<ul style="list-style-type: none"> 近年の実績値（過去10年間）が社会経済指標と正の強い相関※¹を持ち、推移している。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会経済指標と実績値（過去10年間）の相関を示した近似式により推計
	<ul style="list-style-type: none"> 社会経済指標とは強い相関がないものの、直近の実績値（過去5年間）が、経過年と正の強い相関を持ち、推移している。 	<ul style="list-style-type: none"> 最新年維持（基準年実績値）
減少傾向 品目	<ul style="list-style-type: none"> 近年の実績値（過去10年間）が社会経済指標と負の強い相関を持ち、推移している。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会経済指標と実績値（過去10年間）の相関を示した近似式により推計
	<ul style="list-style-type: none"> 社会経済指標とは強い相関がないものの、直近の実績値（過去5年間）が、経過年と負の強い相関を持ち推移し、基準年が著しく※²減少している。 	<ul style="list-style-type: none"> 時系列回帰（過去5年間）を用いて推計
	<ul style="list-style-type: none"> 社会経済指標とは強い相関がないものの、直近の実績値（過去5年間）が、経過年と負の強い相関を持ち、推移している。 	<ul style="list-style-type: none"> 最新年維持（基準年実績値）
増減傾向 品目	<ul style="list-style-type: none"> 直近の実績値（過去5年間）が、経過年と強い相関を持たず、増減を繰り返して推移している。 	<ul style="list-style-type: none"> 過去5カ年の平均値
取扱なし 品目	<ul style="list-style-type: none"> 過去5カ年のうち、3年以上取扱実績がない貨物 	<ul style="list-style-type: none"> 取扱なし

※1 強い相関とは、以下のとおり相関係数の絶対値が0.7以上1.0以下を指す。

相関係数及び決定係数の解釈

相関係数の絶対値	決定係数の絶対値	解釈
$0.0 \leq R \leq 0.2$	$0.0 \leq R^2 \leq 0.04$	ほとんど相関関係がない
$0.2 \leq R \leq 0.4$	$0.04 \leq R^2 \leq 0.16$	やや相関関係がある
$0.4 \leq R \leq 0.7$	$0.16 \leq R^2 \leq 0.49$	かなり相関関係がある
$0.7 \leq R \leq 1.0$	$0.49 \leq R^2 \leq 1.0$	強い相関関係がある

※2 基準年の実績値が、直近の実績（5年間）の平均値の2/3以下まで減少したことを指す。

※3 現在取扱われている外貨専用コンテナ貨物は取扱規模及び施設を考慮し、将来的に外貨公共コンテナ貨物として取扱うこととする。そのため、将来推計は外貨公共貨物と外貨専用貨物を合わせて推計した後に、それぞれの種別に分けることとした。

2) 外貨貨物取扱量の設定

目標年次における外貨貨物の取扱量の設定値は、それぞれ次のとおりである。

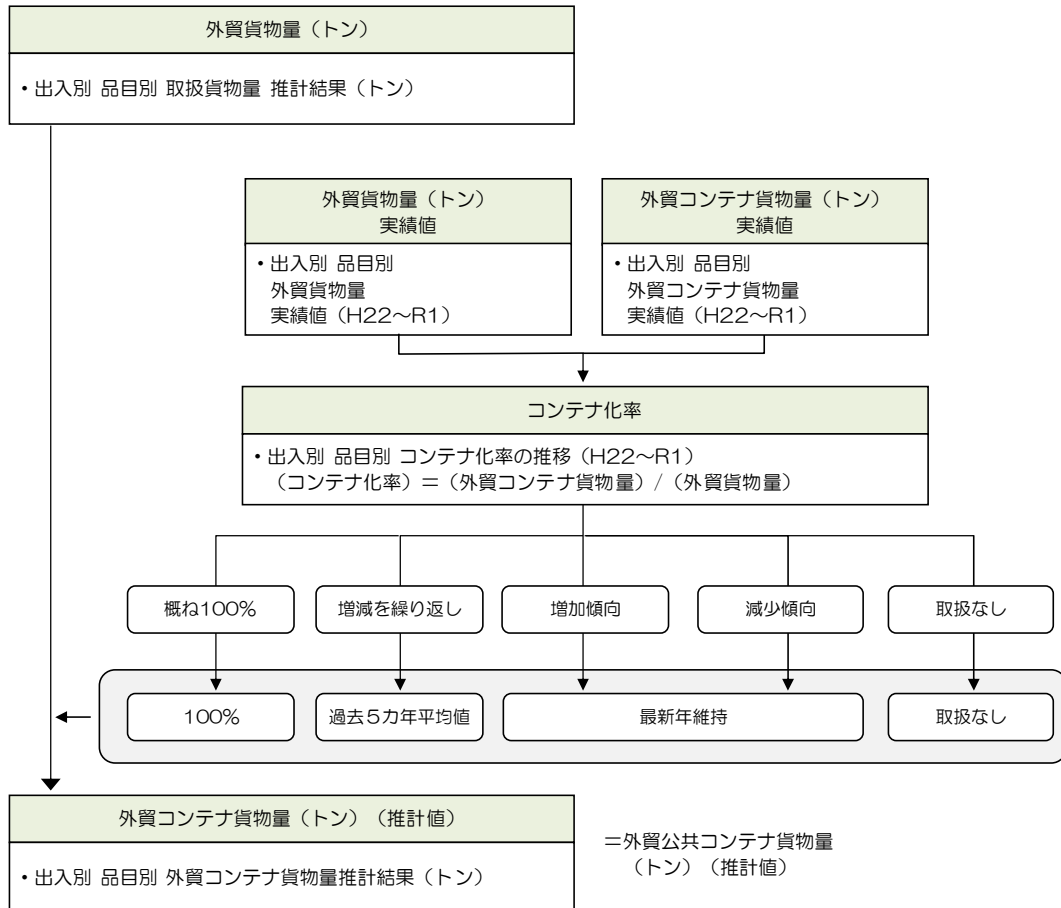
表 II-1-32 外貨貨物取扱量の設定

品目分類	出入別	実績値													実績値(参考)			推計値
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R17	R2	R3	R17	
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2035	2020	2021	2035	
農水産品	米穀類	輸出	3	2	2	2	3	3	9	4	4	5	7	6	5	7	6	
		輸入	454	414	386	391	346	347	509	416	454	384	390	308	390	308	440	
	計	458	416	388	395	349	351	517	419	458	389	395	315	446	315	446		
	野菜・果物	輸出	24	20	13	23	28	36	36	30	35	42	39	54	42	39	54	
		輸入	1,570	1,641	1,708	1,639	1,595	1,593	1,594	1,808	1,891	1,743	1,603	1,535	1,743	1,603	1,535	
	水産品	輸出	1,595	1,662	1,721	1,662	1,623	1,629	1,630	1,838	1,925	1,785	1,642	1,589	1,729	1,642	1,589	
		輸入	146	130	152	191	179	222	239	290	296	186	196	194	231	196	194	
	その他農水産品	輸出	897	946	974	1,027	969	923	903	945	928	917	746	696	923	746	696	
		輸入	1,042	1,076	1,126	1,218	1,148	1,145	1,142	1,235	1,163	1,083	942	890	1,154	942	890	
	林産品	原木	輸出	51	40	46	56	47	45	46	47	43	46	53	57	45	53	57
輸入			1,178	1,277	1,335	1,344	1,357	1,476	1,720	1,854	1,905	1,908	1,890	1,773	3,289	1,890	1,773	
製材		輸出	1,229	1,317	1,381	1,400	1,404	1,521	1,766	1,902	1,948	1,954	1,943	1,830	3,331	1,943	1,830	
		輸入	2	1	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
その他林産品		輸出	7	8	6	5	2	2	1	2	4	3	3	5	3	3	5	
		輸入	8	9	7	6	5	5	4	5	6	5	4	6	6	4	6	
鉱産品		石炭	輸出	19	10	9	14	19	13	30	22	20	16	17	22	20	17	22
			輸入	794	908	877	1,005	927	961	991	1,038	973	887	834	831	970	834	831
		砂利・砂	輸出	812	918	886	1,018	947	974	1,021	1,060	993	922	851	853	990	851	853
			輸入	0	1	1	2	4	3	7	2	4	1	1	1	2	1	1
	原油	輸出	145	132	121	136	139	127	141	149	143	130	120	116	134	120	116	
		輸入	145	133	122	138	144	130	147	150	143	130	121	118	136	121	118	
	金属機械工業品	鉄鋼	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			輸入	132	127	100	106	149	159	84	132	117	155	142	149	129	142	149
		非鉄金属・金属製品	輸出	975	964	1,038	1,086	1,158	1,076	1,176	1,257	1,490	1,332	1,175	1,353	2,285	1,175	1,353
			輸入	2,730	2,690	2,816	2,798	2,703	2,495	2,843	2,879	3,260	3,125	2,499	2,795	4,283	2,499	2,795
輸送機械		輸出	2,680	2,799	2,620	2,542	2,755	2,696	2,614	2,893	2,972	2,990	2,534	3,031	3,023	2,534	3,031	
		輸入	4,687	5,091	4,823	5,157	5,755	5,129	4,993	5,111	5,297	5,310	5,426	5,711	5,400	5,426	5,711	
化学工業品		石油類	輸出	7,367	7,890	7,443	7,699	8,510	7,825	7,607	8,005	8,269	8,100	7,960	8,742	8,424	7,960	8,742
			輸入	211	214	210	184	198	157	208	197	207	209	167	147	203	167	147
		セメント	輸出	219	221	219	194	209	169	221	213	221	226	194	173	232	194	173
			輸入	297	287	316	311	322	287	277	308	335	283	234	239	309	234	239
	その他化学工業品	輸出	200	241	218	199	197	156	155	174	171	195	164	188	201	164	188	
		輸入	496	528	534	510	519	444	432	482	506	478	398	427	509	398	427	
	軽工業品	紙・パルプ	輸出	366	385	360	425	418	408	377	404	437	406	355	393	396	355	393
			輸入	1,065	1,168	1,155	1,278	1,380	1,426	1,379	1,462	1,606	1,607	1,319	1,448	2,210	1,319	1,448
		砂糖	輸出	1,431	1,553	1,515	1,703	1,798	1,834	1,756	1,866	2,043	2,013	1,674	1,841	2,605	1,674	1,841
			輸入	1,755	1,727	1,778	1,712	1,545	1,418	1,666	1,622	1,770	1,793	1,324	1,442	1,998	1,324	1,442
その他軽工業品		輸出	975	964	1,038	1,086	1,158	1,076	1,176	1,257	1,490	1,332	1,175	1,353	2,285	1,175	1,353	
		輸入	2,730	2,690	2,816	2,798	2,703	2,495	2,843	2,879	3,260	3,125	2,499	2,795	4,283	2,499	2,795	
雑工業品		金属くず	輸出	2,328	1,998	1,819	1,897	1,984	2,123	2,232	2,339	2,372	2,344	2,322	2,584	4,603	2,322	2,584
			輸入	2,974	3,361	3,338	3,367	3,291	3,123	3,162	3,445	3,616	3,444	3,251	3,438	3,997	3,251	3,438
		廃棄物(廃土砂)	輸出	5,303	5,359	5,157	5,264	5,275	5,246	5,395	5,783	5,988	5,788	5,573	6,022	8,600	5,573	6,022
			輸入	1,236	1,283	1,331	1,323	1,259	1,176	1,202	1,210	982	981	952	1,011	1,033	952	1,011
	取合せ品	輸出	1	2	1	0	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	
		輸入	41	38	41	43	41	51	44	57	53	45	45	44	20	45	44	
	その他特殊品	輸出	42	41	42	43	42	52	44	57	54	46	45	46	20	45	46	
		輸入	345	310	289	306	322	324	351	361	383	404	445	552	406	445	552	
	分類不能のもの	輸出	3,639	4,043	4,163	4,263	4,116	3,924	3,874	4,148	4,056	3,961	3,836	3,798	4,341	3,836	3,798	
		輸入	3,983	4,353	4,452	4,569	4,438	4,247	4,225	4,509	4,439	4,365	4,280	4,350	4,746	4,280	4,350	
合計	輸出	1,227	1,265	1,104	1,136	1,170	1,174	1,197	1,189	1,175	1,230	1,108	1,133	1,680	1,108	1,133		
	輸入	8,772	9,216	9,483	9,975	9,944	9,285	9,831	10,342	10,456	10,425	10,280	10,554	12,480	10,280	10,554		
合計	輸出	9,999	10,481	10,567	11,111	11,114	10,459	11,028	11,531	11,631	11,655	11,388	11,687	14,160	11,388	11,687		
	輸入	630	453	686	594	506	539	660	607	636	639	645	479	596	645	479		
合計	輸出	43	43	38	44	48	60	57	66	72	60	60	66	126	60	66		
	輸入	673	495	725	638	554	600	716	673	608	699	705	545	722	705	545		
合計	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	輸出	1,108	1,109	1,107	987	934	865	880	787	77	104	68	61	0	68	61		
	輸入	1,420	1,351	1,430	1,254	1,300	1,266	1,375	1,175	313	277	204	230	0	204	230		
合計	輸出	3,154	3,112	3,410	3,388	3,247	2,945	2,780	2,610	2,407	2,114	2,180	1,742	2,114	2,180	1,742		
	輸入	1,488	1,642	1,835	1,835	1,939	1,834	1,957	2,170	2,125	2,008	2,069	2,083	3,103	2,069	2,083		
合計	輸出	4,642	4,754	5,246	5,224	5,186	4,779	4,738	4,779	4,532	4,122	4,249	3,825	5,217	4,249	3,825		
	輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	輸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	輸出	13,575	12,954	13,147	13,147	13,222	12,933	13,368	13,509	13,289	12,735	11,883	12,481	15,816	11,883	12,481		
	輸入	31,575	33,888	34,253	35,348	35,645	33,766	34,734	36,608	36,537	35,759	34,487	35,162	42,953	34,487	35,162		
合計	輸出	45,150	46,841	47,399	48,494	48,867	46,699	48,102	50,116	49,826	48,494	46,370	47,643	58,769	46,370	47,643		
	輸入																	

(2) 外貿公共コンテナ貨物取扱量の設定

1) 設定の考え方

目標年次における外貿公共コンテナ貨物の取扱量の設定の考え方は次のとおりである。



- ※ 「概ね 100%」は直近 5 カ年中の 3 年以上が 100% のコンテナ化率
- ※ 現在取扱われている外貿専用コンテナ貨物は、取扱規模及び施設を考慮し、将来的に外貿公共コンテナ貨物として取扱うものとする。

図 II-1-6 外貿公共コンテナ貨物取扱量の設定の考え方

2) 品目別コンテナ化率の設定

目標年次における外貿公共コンテナ貨物の品目別コンテナ化率の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表 II-1-33 品目別コンテナ化率の設定

品目分類	出入別	実績値		実績値(参考)		推計値	推計方法
		R1 2019	R2 2020	R3 2021	R17 2035		
農水産品	米穀類	輸出	100%	100%	100%	100%	外貿貨物に占める外 貿コンテナ貨物の比 率を算出
		輸入	51%	44%	53%	46%	
		計	51%	45%	54%	46%	
	野菜・果物	輸出	100%	100%	100%	100%	
		輸入	63%	66%	64%	66%	
		計	64%	67%	65%	67%	
	水産品	輸出	100%	100%	100%	100%	
		輸入	100%	100%	99%	100%	
		計	100%	100%	99%	100%	
	その他農水産品	輸出	100%	100%	100%	100%	
		輸入	100%	100%	100%	100%	
		計	100%	100%	100%	100%	
林産品	原木	輸出	100%	100%	100%	100%	
		輸入	100%	100%	100%	100%	
		計	100%	100%	100%	100%	
	製材	輸出	96%	100%	100%	96%	
		計	93%	97%	91%	93%	
	その他林産品	輸出	93%	97%	92%	93%	
鉱産品	石炭	輸出	100%			100%	
		輸入	31%	34%	36%	30%	
		計	31%	34%	36%	30%	
	砂利・砂	輸出	100%	100%	100%	100%	
		輸入	100%	100%	100%	100%	
		計	100%	100%	100%	100%	
	原油	輸出		100%			
		輸入	100%	100%	100%	100%	
		計	100%	100%	100%	100%	
	その他鉱産品	輸出	100%	100%	100%	100%	
		輸入	65%	70%	82%	66%	
		計	68%	74%	85%	70%	
金属機械工業品	鉄鋼	輸出	94%	94%	91%	94%	
		輸入	78%	79%	78%	83%	
		計	87%	87%	85%	89%	
	非鉄金属・金属製品	輸出	100%	100%	100%	100%	
		輸入	99%	99%	99%	99%	
		計	99%	99%	99%	99%	
	輸送機械	輸出	100%	100%	100%	100%	
		輸入	99%	99%	99%	100%	
		計	100%	100%	100%	100%	
	その他機械	輸出	99%	99%	99%	100%	
		輸入	100%	100%	100%	100%	
		計	100%	100%	100%	100%	
化学工業品	石油類	輸出	100%	100%	100%	100%	
		輸入	100%	66%	100%	100%	
		計	100%	78%	100%	100%	
	セメント	輸出	100%	100%	100%		
		計	100%	100%	100%		
	その他化学工業品	輸出	100%	100%	100%	100%	
軽工業品	紙・パルプ	輸出	100%	100%	100%	100%	
		輸入	100%	100%	100%	100%	
		計	100%	100%	100%	100%	
	砂糖	輸出	100%	100%	100%	100%	
		計	100%	100%	100%	100%	
	その他軽工業品	輸出	100%	100%	100%	100%	
雑工業品	輸出	100%	100%	100%	100%		
	輸入	100%	100%	100%	100%		
	計	100%	100%	100%	100%		
特殊品	金属くず	輸出	16%	14%	25%	16%	
		輸入	100%	97%	100%	100%	
		計	23%	21%	34%	30%	
	廃棄物(廃土砂)	輸出					
		輸入					
		計					
	取合せ品	輸出	100%	100%	100%		
		輸入	100%	100%	100%		
		計	100%	100%	100%		
	その他特殊品	輸出	100%	100%	100%	100%	
		輸入	97%	96%	92%	98%	
		計	98%	98%	96%	99%	
分類不能のもの	輸出						
	輸入						
	計						
合計	輸出	95%	95%	97%	97%		
	輸入	97%	97%	97%	97%		
	計	96%	96%	97%	97%		

※1 実際のコンテナ貨物量算定時には、82品目別にコンテナ化率を推計

※2 貨物の取扱がなくコンテナ化率が算定できない箇所、または将来貨物量が0となる箇所は空欄としている

3) 外貿公共コンテナ貨物取扱量の設定

目標年次における外貿公共コンテナ貨物の取扱量の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ-1-34 外貿公共コンテナ貨物量の設定

品目分類		出入別	実績値			推計値	推計方法
			R1 2019	R2 2020	R3 2021	R17 2035	
単位：千トン							
農水産品	米穀類	輸出	5	5	7	6	
		輸入	194	172	162	200	
		計	199	177	169	207	
	野菜・果物	輸出	42	39	54	36	
		輸入	1,099	1,055	982	1,156	
		計	1,141	1,094	1,036	1,191	
	水産品	輸出	166	196	194	231	
		輸入	917	746	691	923	
		計	1,083	942	885	1,154	
	その他農水産品	輸出	46	53	57	45	
輸入		1,908	1,890	1,773	3,289		
計		1,954	1,943	1,830	3,334		
林産品	原木	輸出	3	1	1	3	
		輸入	3	3	5	3	
		計	5	4	6	6	
	製材	輸出	15	17	22	19	
		輸入	820	805	759	898	
		計	835	822	781	917	
	その他林産品	輸出	1	1	1	2	
		輸入	130	120	116	134	
計		130	121	118	136		
鉱産品	石炭	輸出	0	0	0	0	
		輸入	48	48	54	38	
		計	48	48	54	38	
	砂利・砂	輸出	7	5	4	7	
		輸入	117	104	97	158	
		計	124	109	101	165	
	原油	輸出	0	0	0	0	
		輸入	2	2	2	2	
		計	2	2	2	2	
	その他鉱産品	輸出	17	27	27	29	
輸入		136	117	121	134		
計		153	144	147	163		
金属機械工業品	鉄鋼	輸出	265	219	218	289	
		輸入	152	129	147	166	
		計	417	348	365	455	
	非鉄金属・金属製品	輸出	406	355	393	396	
		輸入	1,594	1,304	1,437	2,192	
		計	1,999	1,659	1,830	2,587	
	輸送機械	輸出	1,792	1,324	1,441	1,997	
		輸入	1,320	1,165	1,341	2,279	
		計	3,112	2,489	2,782	4,276	
	その他機械	輸出	2,776	2,518	3,008	3,009	
輸入		5,293	5,421	5,699	5,381		
計		8,069	7,939	8,708	8,390		
化学工業品	石油類	輸出	37	29	50	40	
		輸入	35	34	35	36	
		計	72	63	85	76	
	セメント	輸出	1	1	2	0	
		輸入	17	16	14	0	
		計	17	17	16	0	
	その他化学工業品	輸出	2,344	2,322	2,584	4,603	
		輸入	3,428	3,241	3,428	3,980	
		計	5,771	5,563	6,013	8,583	
	軽工業品	紙・パルプ	輸出	219	225	297	271
輸入			761	727	711	761	
計			980	952	1,007	1,032	
砂糖		輸出	1	1	1	1	
		輸入	45	45	44	20	
		計	46	45	46	20	
その他軽工業品	輸出	404	444	552	405		
	輸入	3,961	3,835	3,797	4,341		
	計	4,365	4,280	4,350	4,746		
雑工業品	雑工業品	輸出	1,230	1,108	1,133	1,680	
		輸入	10,424	10,279	10,552	12,480	
		計	11,654	11,387	11,684	14,160	
	特殊品	輸出	99	87	118	93	
		輸入	60	58	66	126	
特殊品	金属くず	輸出	99	87	118	93	
		輸入	60	58	66	126	
		計	160	145	183	219	
	廃棄物(廃土砂)	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	取合せ品	輸出	173	135	169	0	
		輸入	104	68	61	0	
		計	277	204	230	0	
	その他特殊品	輸出	2,108	2,176	1,738	2,110	
輸入		1,940	1,989	1,916	3,046		
計		4,048	4,165	3,654	5,156		
分類不能のもの	輸出	0	0	0	0		
	輸入	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0		
合計	輸出	12,155	11,288	12,071	15,273		
	輸入	34,508	33,375	34,009	41,741		
	計	46,663	44,663	46,080	57,014		

82品目別外貿貨物に
各品目別輸出入別コ
ンテナ化率を乗じて
算出

4) 取扱個数（TEU）の設定

以下の方法により外貿公共コンテナ取扱個数（TEU）を推計した。

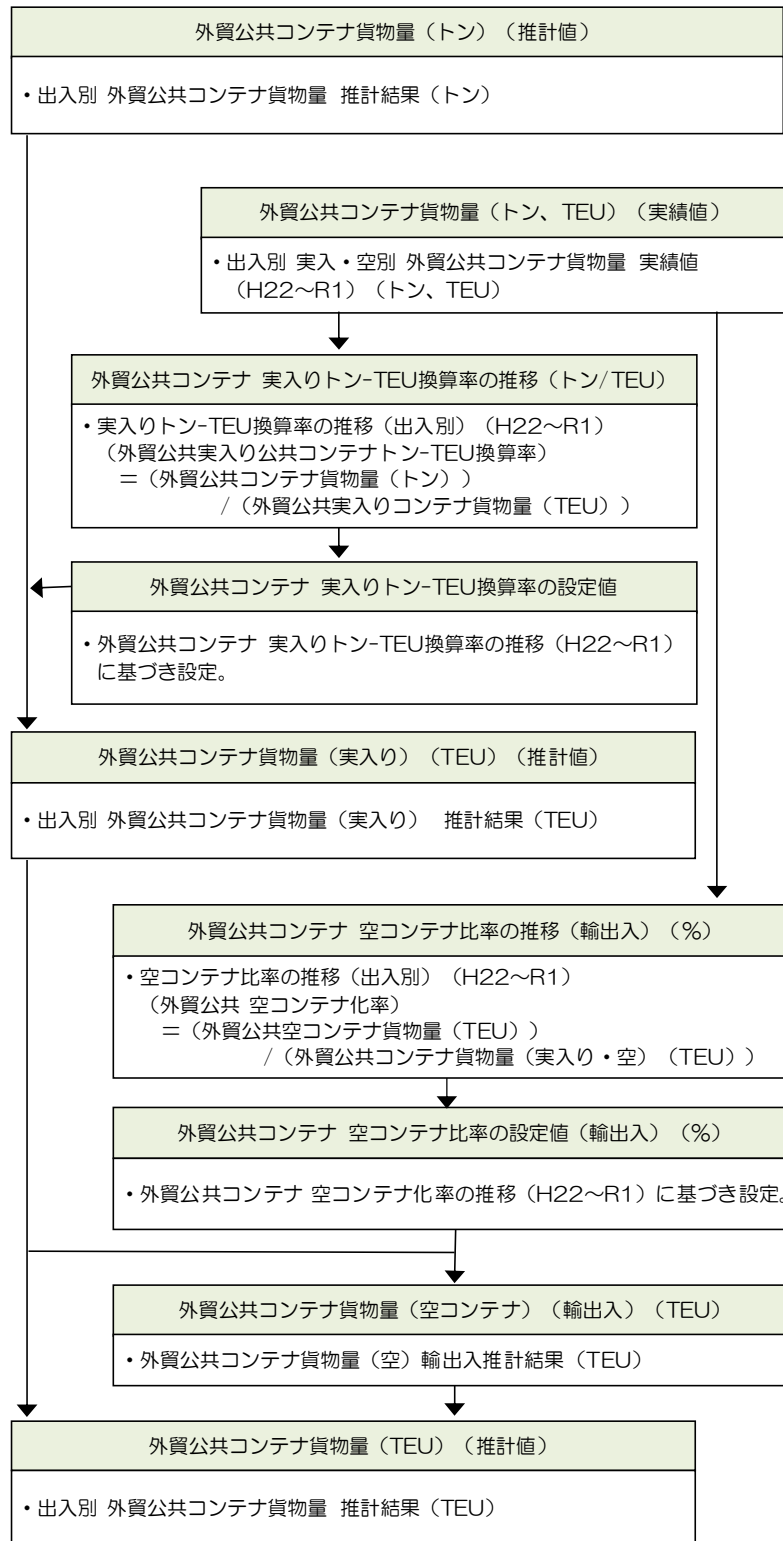


図 II-1-7 取扱個数（TEU）の推計フロー

目標年次における外貿公共コンテナ取扱個数等の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ-1-35 外貿公共コンテナ取扱個数等の推計結果

区分	出入	実入・空別	実績値											実績値(参考)			推計値
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R17		
			2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2035		
実入コンテナ トン-TEU換算率 (トン/TEU)	輸出	実入	13.3	13.3	13.3	13.4	13.4	13.7	13.5	13.1	13.1	13.0	12.9	13.0	13.0		
	輸入	実入	14.5	14.5	14.4	14.5	14.7	14.6	14.8	14.6	14.4	14.5	14.8	14.6	14.6		
	計	実入	14.1	14.2	14.1	14.2	14.3	14.3	14.4	14.2	14.1	14.1	14.3	14.2	14.1		
空コンテナ比率 (%)	輸出	空	44.0%	50.8%	51.9%	52.8%	53.5%	52.5%	52.2%	52.3%	54.0%	56.1%	56.0%	52.9%	56.1%		
	輸入	空	1.0%	0.8%	0.6%	0.4%	0.5%	0.6%	0.4%	0.6%	0.5%	0.4%	0.7%	1.3%	0.5%		
	計	空	20.6%	23.9%	24.2%	24.4%	25.1%	24.5%	24.5%	24.4%	25.3%	26.7%	26.5%	24.8%	27.0%		
コンテナ個数 (千TEU)	輸出	実入	974	941	938	941	949	912	948	989	974	934	874	927	1,174		
		空	765	971	1,010	1,054	1,091	1,006	1,033	1,085	1,144	1,195	1,111	1,043	1,501		
		計	1,739	1,913	1,948	1,995	2,039	1,917	1,981	2,075	2,117	2,129	1,985	1,970	2,675		
	輸入	実入	2,057	2,213	2,272	2,350	2,340	2,220	2,261	2,411	2,441	2,376	2,258	2,325	2,861		
		空	20	18	15	8	11	13	9	14	12	9	16	31	14		
		計	2,078	2,231	2,287	2,358	2,350	2,232	2,270	2,426	2,453	2,385	2,275	2,356	2,875		
計	実入	3,031	3,155	3,210	3,291	3,288	3,131	3,208	3,401	3,414	3,311	3,133	3,252	4,035			
空	785	989	1,025	1,063	1,101	1,018	1,042	1,100	1,156	1,203	1,127	1,074	1,515				
計	3,816	4,144	4,235	4,353	4,390	4,150	4,251	4,500	4,571	4,514	4,260	4,326	5,550				
コンテナ貨物量 (千トン)	輸出	実入	12,926	12,504	12,491	12,582	12,735	12,450	12,773	12,950	12,770	12,155	11,288	12,071	15,273		
	輸入	実入	29,893	32,191	32,811	34,036	34,331	32,480	33,405	35,202	35,212	34,508	33,375	34,009	41,741		
	計	実入	42,819	44,695	45,302	46,619	47,066	44,930	46,178	48,152	47,982	46,663	44,663	46,080	57,014		

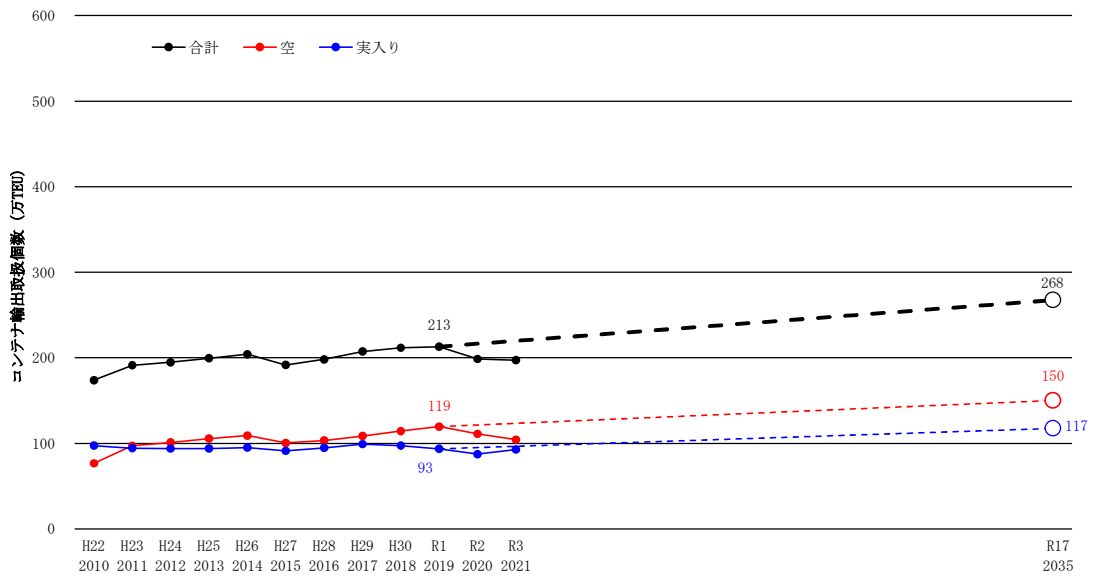


図 II-1-8 外貿公共コンテナ輸出取扱個数の推移

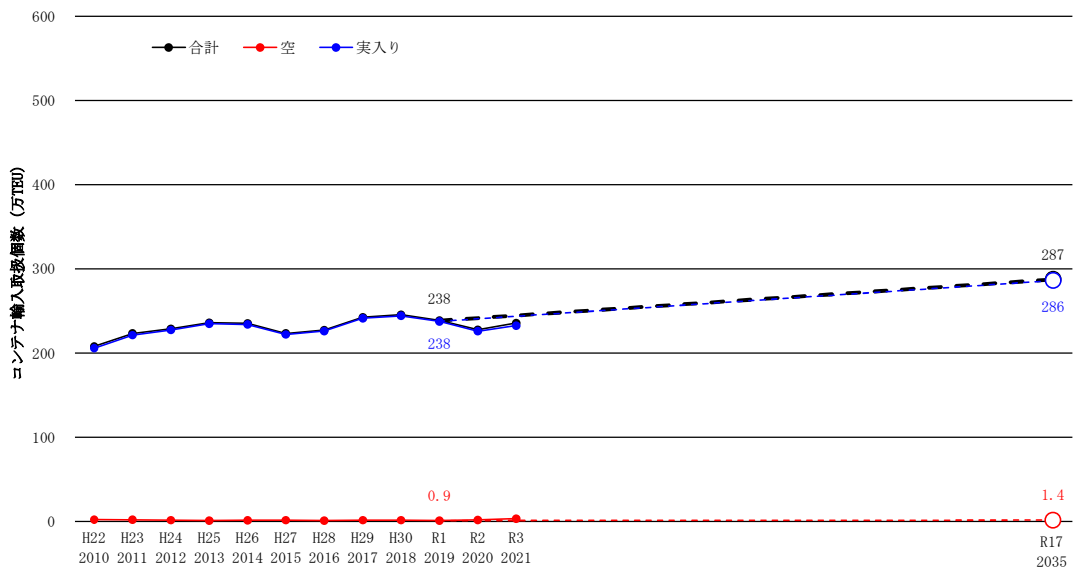


図 II-1-9 外貿公共コンテナ輸入取扱個数の推移

(3) 外貿公共在来貨物取扱量の設定

目標年次における外貿公共在来貨物の取扱量の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ-1-36 外貿公共在来貨物取扱量の設定

品目分類	出入別	実績値 (参考)				推計値 R17 2035	推計方法
		R1 2019	R2 2020	R3 2021	R17 2035		
農水産品	米穀類	輸出	0	0	0	0	82品目別外貿在来貨物を実績値に基づき、比率で按分
		輸入	190	218	146	239	
		計	190	218	146	239	
	野菜・果物	輸出	0	0	0	0	
		輸入	109	114	116	100	
		計	109	114	116	100	
	水産品	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	5	0	
		計	0	0	5	0	
	その他農水産品	輸出	0	0	0	0	
輸入		0	0	0	0		
計		0	0	0	0		
林産品	原木	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	製材	輸出	1	0	0	1	
		輸入	66	29	72	72	
		計	67	29	72	73	
	その他林産品	輸出	0	0	0	0	
輸入		0	0	0	0		
計		0	0	0	0		
鉱産品	石炭	輸出	0	0	0	0	
		輸入	108	94	95	91	
		計	108	94	95	91	
	砂利・砂	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	原油	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	その他鉱産品	輸出	0	0	0	0	
輸入		73	49	26	69		
計		73	49	26	69		
金属機械工業品	鉄鋼	輸出	18	15	21	19	
		輸入	42	35	42	34	
		計	61	50	63	53	
	非鉄金属・金属製品	輸出	0	0	0	0	
		輸入	13	15	11	18	
		計	13	15	11	18	
	輸送機械	輸出	1	1	0	1	
		輸入	13	10	12	5	
		計	13	10	13	6	
	その他機械	輸出	14	17	23	11	
輸入		16	5	12	19		
計		31	22	35	31		
化学工業品	石油類	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	17	0	0	
		計	0	17	0	0	
	セメント	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
その他化学工業品	輸出	0	0	0	0		
	輸入	16	10	10	18		
	計	16	10	10	18		
軽工業品	紙・パルプ	輸出	0	0	0	0	
		輸入	1	0	0	1	
		計	1	0	0	1	
	砂糖	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
その他軽工業品	輸出	0	0	0	0		
	輸入	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0		
雑工業品	輸出	0	0	0	0		
	輸入	0	1	2	0		
	計	0	1	2	0		
特殊品	金属くず	輸出	539	558	361	503	
		輸入	0	2	0	0	
		計	539	560	361	503	
	廃棄物(廃土砂)	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	取合せ品	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	その他特殊品	輸出	0	0	0	0	
輸入		68	79	167	57		
計		68	80	167	57		
分類不能のもの	輸出	0	0	0	0		
	輸入	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0		
合計	輸出	573	590	406	535		
	輸入	716	678	715	722		
	計	1,289	1,268	1,121	1,257		

(4) 外貿専用貨物取扱量の設定

目標年次における外貿専用貨物の取扱量の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表 II-1-37 外貿専用貨物取扱量の設定

品目分類		出入別	実績値 (参考)				推計方法
			実績値 R1 2019	R2 2020	R3 2021	推計値 R17 2035	
農水産品	米穀類	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	野菜・果物	輸出	0	0	0	0	
		輸入	534	434	438	488	
		計	535	434	438	488	
	水産品	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	その他農水産品	輸出	0	0	0	0	
輸入		0	0	0	0		
計		0	0	0	0		
林産品	原木	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	製材	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	その他林産品	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
鉱産品	石炭	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	砂利・砂	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	原油	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	その他鉱産品	輸出	0	0	0	0	
輸入		0	0	0	0		
計		0	0	0	0		
金属機械工業品	鉄鋼	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	1	
		計	0	0	0	1	
	非鉄金属・金属製品	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	1	
		計	0	0	0	1	
	輸送機械	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	1	
		計	0	0	0	1	
	その他機械	輸出	0	0	0	3	
輸入		0	0	0	0		
計		0	0	0	3		
化学工業品	石油類	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	セメント	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	その他化学工業品	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
軽工業品	紙・パルプ	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	砂糖	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	その他軽工業品	輸出	0	0	0	0	
輸入		0	0	0	0		
雑工業品	輸出	0	0	0	0		
	輸入	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0		
特殊品	金属くず	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	廃棄物(廃土砂)	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	取合せ品	輸出	0	0	0	0	
		輸入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	その他特殊品	輸出	6	4	4	4	
輸入		0	0	0	0		
計		6	5	4	5		
分類不能のもの	輸出	0	0	0	0		
	輸入	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0		
合計	輸出	6	5	4	8		
	輸入	535	435	438	491		
	計	542	439	442	498		

82品目別外貿在来貨物を実績値に基づき、比率で按分

1-2-3 内貿貨物取扱量の設定（ベース貨物量）

(1) 内貿公共貨物取扱量の設定

1) 設定の考え方

目標年次における内貿公共貨物の取扱量（国際フィーダー、内貿公共フェリー除く）の設定の考え方は、それぞれ次のとおりであり、82品目について取扱量を設定した。

表 II-1-38 内貿公共貨物取扱量の設定の考え方

推計の種類	取扱貨物量の状況	推計方法
増加傾向 品目	<ul style="list-style-type: none"> 近年の実績値（過去10年間）が社会経済指標と正の強い相関※1を持ち、推移している。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会経済指標と実績値（過去10年間）の相関を示した近似式により推計
	<ul style="list-style-type: none"> 社会経済指標とは強い相関がないものの、直近の実績値（過去5年間）が、経過年と正の強い相関を持ち、推移している。 	<ul style="list-style-type: none"> 最新年維持（基準年実績値）
減少傾向 品目	<ul style="list-style-type: none"> 近年の実績値（過去10年間）が社会経済指標と負の強い相関を持ち、推移している。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会経済指標と実績値（過去10年間）の相関を示した近似式により推計 （該当品目なし）
	<ul style="list-style-type: none"> 社会経済指標とは強い相関がないものの、直近の実績値（過去5年間）が、経過年と負の強い相関を持ち、推移している。 	<ul style="list-style-type: none"> 最新年維持（基準年実績値）
増減傾向 品目	<ul style="list-style-type: none"> 直近の実績値（過去5年間）が、経過年と強い相関を持たず、増減を繰り返して推移している。 	<ul style="list-style-type: none"> 過去5カ年の平均値
取扱なし 品目	<ul style="list-style-type: none"> 過去5カ年のうち、3年以上取扱実績がない貨物 	<ul style="list-style-type: none"> 取扱なし

※1 強い相関とは、以下のとおり相関係数の絶対値が0.7以上1.0以下を指す。

相関係数及び決定係数の解釈

相関係数の絶対値	→	決定係数の絶対値	解釈
$0.0 \leq R \leq 0.2$	→	$0.0 \leq R^2 \leq 0.04$	ほとんど相関関係がない
$0.2 \leq R \leq 0.4$	→	$0.04 \leq R^2 \leq 0.16$	やや相関関係がある
$0.4 \leq R \leq 0.7$	→	$0.16 \leq R^2 \leq 0.49$	かなり相関関係がある
$0.7 \leq R \leq 1.0$	→	$0.49 \leq R^2 \leq 1.0$	強い相関関係がある

2) 内貿公共貨物取扱量の設定

目標年次における内貿公共貨物の取扱量（国際フィーダー、内貿公共フェリーを除く）の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ-1-39 内貿公共貨物取扱量の設定

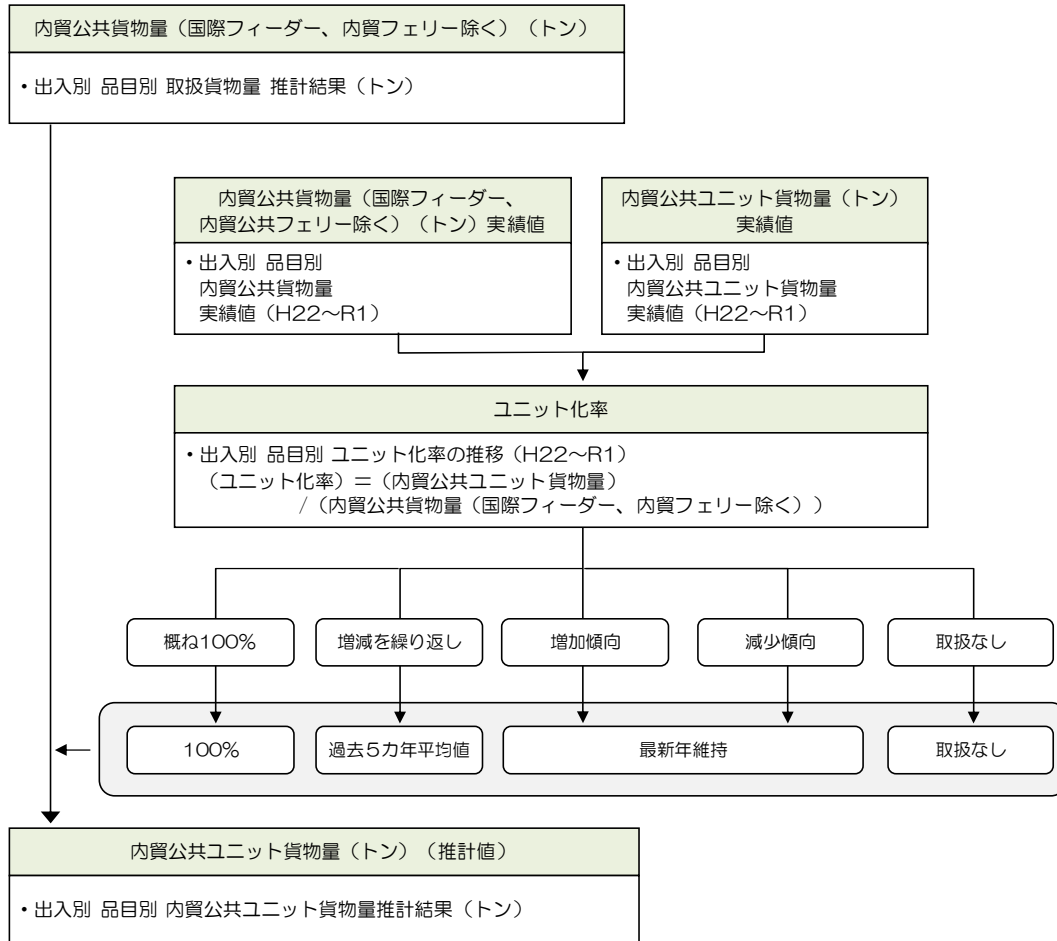
品目分類	出入別	実績値											実績値（参考）			推計値
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R17		
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2035		
農水産品	米穀類	移出	34	41	40	34	28	27	25	23	44	48	47	46	48	
		移入	45	91	77	127	101	100	51	95	92	99	107	124	92	
		計	80	132	117	161	129	127	76	118	136	147	154	171	139	
	野菜・果物	移出	32	29	31	27	32	31	34	31	43	40	36	37	40	
		移入	45	46	41	41	38	38	64	46	49	51	47	45	50	
		計	77	76	72	68	70	69	98	77	93	91	83	82	90	
	水産品	移出	24	23	22	11	10	9	9	8	9	9	9	9	9	
		移入	30	27	27	25	19	17	15	14	14	12	12	12	12	
		計	53	49	49	37	29	26	24	23	22	21	20	21	21	
	その他農水産品	移出	10	11	11	9	10	9	9	9	10	10	11	11	10	
移入		17	17	18	12	13	15	16	10	9	15	5	5	9		
計		28	28	28	21	23	25	26	19	19	25	15	17	19		
林産品	原木	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		移入	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
		計	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	製材	移出	23	30	31	30	21	24	22	23	24	20	16	15	22	
		移入	13	16	13	14	11	12	15	17	17	17	11	13	17	
		計	36	46	44	44	32	36	37	40	42	37	28	27	40	
	その他林産品	移出	16	18	18	14	19	17	13	12	14	11	10	13	11	
		移入	7	9	14	13	10	8	12	11	11	9	7	7	12	
		計	23	28	31	28	30	25	25	23	25	20	17	21	23	
	鉱産品	石炭	移出	0	2	0	18	9	0	5	13	0	0	10	17	4
移入			1	5	0	18	18	26	16	17	13	3	39	61	3	
計			1	7	0	36	27	26	21	30	13	3	49	78	6	
砂利・砂		移出	14	65	20	26	15	42	35	30	45	19	7	7	26	
		移入	1,426	1,286	1,070	1,194	1,558	1,934	1,742	2,014	2,129	1,922	1,626	1,603	1,972	
		計	1,441	1,351	1,090	1,220	1,572	1,976	1,777	2,044	2,175	1,941	1,633	1,610	1,998	
原油		移出	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他鉱産品		移出	45	68	24	35	12	30	17	6	10	52	47	65	23	
	移入	63	19	92	155	121	29	178	47	18	110	113	92	75		
	計	108	86	116	190	132	60	194	53	28	162	160	157	98		
金属機械工業品	鉄鋼	移出	60	67	54	27	35	19	17	15	14	54	29	30	25	
		移入	274	366	372	378	354	346	370	358	388	373	301	326	376	
		計	334	434	426	404	389	365	387	373	402	427	330	355	401	
	非鉄金属・金属製品	移出	56	51	51	41	40	41	44	45	50	47	40	45	46	
		移入	79	93	69	67	71	66	54	69	68	68	48	58	71	
		計	135	144	120	108	110	107	99	115	118	115	88	103	116	
	輸送機械	移出	1,862	1,758	1,976	2,099	2,339	2,367	2,415	2,537	2,450	2,329	2,201	2,217	3,434	
		移入	857	834	857	993	1,007	1,025	986	968	999	980	1,004	1,082	974	
		計	2,719	2,592	2,833	3,092	3,346	3,391	3,401	3,505	3,449	3,309	3,205	3,298	4,408	
	その他機械	移出	149	211	232	262	281	319	320	339	252	207	234	241	240	
移入		73	90	87	91	87	87	78	71	72	52	63	55	53		
計		221	301	319	353	368	406	397	410	324	260	297	296	293		
化学工業品	石油類	移出	39	40	40	33	26	33	29	31	31	31	32	30	30	
		移入	1	5	6	7	5	6	1	1	1	1	1	0	1	
		計	40	45	46	40	31	39	30	32	32	32	33	31	31	
	セメント	移出	51	51	51	46	48	41	41	32	30	33	32	32	33	
		移入	601	588	586	603	637	599	518	548	594	484	502	482	548	
		計	651	639	637	649	685	639	558	579	624	518	534	514	582	
	その他化学工業品	移出	159	172	167	171	167	165	171	162	182	178	177	179	182	
		移入	169	167	167	150	156	137	128	152	156	203	143	149	191	
		計	328	339	334	321	323	302	300	314	337	381	319	328	374	
	軽工業品	紙・パルプ	移出	180	193	214	189	170	151	148	143	184	183	49	61	183
移入			1,789	1,755	1,625	1,506	1,513	1,597	1,597	1,562	1,445	1,219	816	943	1,219	
計			1,969	1,947	1,839	1,695	1,683	1,748	1,745	1,705	1,629	1,402	865	1,004	1,402	
砂糖		移出	12	11	12	11	9	8	8	9	12	10	12	9	9	
		移入	54	44	48	36	38	48	49	45	62	58	63	58	58	
		計	67	55	60	47	47	56	57	54	74	67	75	67	67	
その他軽工業品		移出	511	478	475	426	428	466	495	480	437	433	426	422	445	
		移入	337	428	416	406	402	451	425	409	433	394	366	369	402	
		計	848	906	891	832	830	917	920	889	870	827	792	790	847	
雑工業品		移出	移出	196	185	196	218	216	195	220	271	315	339	341	332	344
	移入		76	80	71	71	84	75	87	70	75	93	100	113	93	
	計		272	265	266	289	300	271	307	341	390	432	442	445	436	
	金属くず	移出	23	7	3	1	1	1	6	12	23	18	20	25	18	
		移入	24	28	24	17	33	17	18	20	19	15	16	18	18	
		計	47	34	27	18	34	18	24	32	42	32	36	44	36	
	廃棄物(廃土砂)	移出	1,698	1,895	2,006	2,660	2,296	1,814	1,448	1,953	1,377	1,150	1,691	2,155	1,548	
		移入	6	5	4	19	67	23	17	12	11	9	16	14	10	
		計	1,704	1,900	2,010	2,679	2,363	1,837	1,465	1,964	1,387	1,159	1,708	2,169	1,558	
	取合せ品	移出	1,501	2,016	2,008	2,143	2,514	2,653	2,661	2,569	2,703	2,801	2,397	2,820	2,678	
移入		822	1,402	1,394	1,467	1,892	2,015	2,078	1,772	1,798	1,588	1,315	1,662	1,588		
計		2,323	3,418	3,402	3,610	4,406	4,669	4,739	4,341	4,502	4,389	3,712	4,483	4,265		
その他特殊品	移出	367	409	402	369	364	333	326	305	274	252	232	246	252		
	移入	212	221	232	232	234	229	235	245	223	248	309	307	238		
	計	579	630	634	601	598	562	561	550	497	499	541	553	490		
分類不能のもの	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	移出	7,061	7,830	8,083	8,904	9,091	8,796	8,517	9,058	8,533	8,274	8,106	9,064	9,659		
	移入	7,026	7,620	7,310	7,642	8,468	8,899	8,751	8,574	8,699	8,023	7,030	7,599	8,080		
	計	14,087	15,451	15,394	16,546	17,559	17,695	17,268	17,632	17,232	16,297	15,136	16,663	17,739		

(2) 内貿公共ユニット貨物取扱量の設定

1) 設定の考え方

ユニット化率の設定の考え方は、次のとおりである。

$$(\text{ユニット化率}) = (\text{内貿公共ユニット貨物量}) / (\text{内貿公共貨物量})$$



※ 「概ね 100%」は直近 5 カ年中の 3 年以上が 100%のユニット化率

図 II-1-10 内貿公共ユニット貨物取扱量の設定の考え方

2) 品目別ユニット化率の設定

目標年次における内貿公共ユニット貨物の品目別ユニット化率の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ-1-40 品目別ユニット化率の設定

品目分類	出入別	実績値		実績値(参考)		推計値	推計方法
		R1 2019	R2 2020	R3 2021	R17 2035		
農水産品	米穀類	移出	99%	98%	100%	100%	内貿公共貨物(国際 フィーダー、内貿公 共フェリー除く)に 占める内貿公共ユ ニット貨物の比率を 算出
		移入	22%	24%	20%	28%	
		計	47%	46%	42%	52%	
	野菜・果物	移出	87%	86%	87%	87%	
		移入	100%	100%	100%	100%	
		計	94%	94%	94%	94%	
	水産品	移出	5%	1%	4%	5%	
		移入	5%	5%	5%	6%	
		計	5%	3%	5%	6%	
	その他農水産品	移出	18%	17%	18%	17%	
移入		100%	100%	100%	100%		
計		66%	43%	45%	57%		
林産品	原木	移出	100%	100%	100%	100%	
		移入	100%	100%	100%	100%	
		計	100%	100%	100%	100%	
	製材	移出	21%	34%	27%	20%	
		移入	67%	80%	81%	78%	
	計	42%	53%	52%	45%		
その他林産品	移出	81%	74%	77%	79%		
	移入	87%	73%	84%	84%		
計	84%	74%	79%	82%			
鉱産品	石炭	移出		0%	0%	0%	
		移入	1%	0%	0%	1%	
		計	1%	0%	0%	0%	
	砂利・砂	移出	25%	57%	53%	19%	
		移入	0%	0%	0%	0%	
	計	0%	0%	0%	0%		
	原油	移出					
		移入					
計							
その他鉱産品	移出	3%	3%	3%	5%		
	移入	4%	1%	1%	7%		
	計	4%	1%	2%	7%		
金属機械工業品	鉄鋼	移出	79%	50%	55%	83%	
		移入	9%	6%	5%	9%	
		計	18%	10%	9%	14%	
	非鉄金属・金属製品	移出	68%	57%	58%	64%	
		移入	43%	23%	22%	42%	
		計	53%	39%	38%	51%	
	輸送機械	移出	99%	99%	99%	99%	
		移入	99%	99%	99%	99%	
		計	99%	99%	99%	99%	
	その他機械	移出	91%	94%	94%	91%	
移入		69%	81%	76%	70%		
計		87%	91%	91%	87%		
化学工業品	石油類	移出	57%	61%	57%	57%	
		移入	100%	62%	97%	99%	
		計	58%	61%	58%	58%	
	セメント	移出	5%	6%	6%	6%	
		移入	1%	1%	1%	1%	
	計	1%	1%	1%	1%		
	その他化学工業品	移出	76%	69%	65%	78%	
移入		40%	59%	66%	35%		
計	57%	64%	65%	56%			
軽工業品	紙・パルプ	移出	100%	100%	100%	100%	
		移入	80%	76%	73%	80%	
		計	83%	78%	74%	83%	
	砂糖	移出	100%	100%	100%	100%	
		移入	100%	100%	100%	100%	
	計	100%	100%	100%	100%		
その他軽工業品	移出	98%	98%	99%	98%		
	移入	64%	62%	63%	65%		
	計	82%	82%	82%	82%		
雑工業品	移出	93%	94%	93%	93%		
	移入	97%	83%	88%	97%		
	計	94%	91%	91%	94%		
特殊品	金属くず	移出	5%	6%	7%	5%	
		移入	23%	24%	22%	23%	
		計	13%	14%	13%	14%	
	廃棄物(廃土砂)	移出	0%	0%	0%	0%	
		移入	5%	4%	4%	5%	
	計	0%	0%	0%	0%		
	取合せ品	移出	99%	98%	98%	99%	
		移入	99%	98%	98%	99%	
		計	99%	98%	98%	99%	
	その他特殊品	移出	95%	94%	94%	93%	
移入		90%	90%	91%	89%		
計		93%	92%	93%	91%		
分類不能のもの	移出						
	移入						
合計	移出	49%	46%	45%	51%		
	移入	34%	32%	34%	32%		
	計	41%	40%	40%	42%		

※1 実際のユニット貨物量算定時には、82品目別にユニット化率を推計

※2 貨物の取扱がなくユニット化率が算定できない箇所は空欄としている

3) 内貿公共ユニット貨物取扱量の設定

目標年次における内貿公共ユニット貨物の取扱量の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表 II-1-41 内貿公共ユニット貨物量の設定

			単位：千トン				推計方法
品目分類	出入別	実績値	実績値(参考)			推計値	
		R1 2019	R2 2020	R3 2021	R17 2035		
農水産品	米穀類	移出	47	46	46	48	
		移入	22	25	25	25	
		計	69	71	71	73	
	野菜・果物	移出	35	31	32	35	
		移入	51	47	45	50	
		計	86	77	77	84	
	水産品	移出	0	0	0	0	
		移入	1	1	1	1	
		計	1	1	1	1	
	その他農水産品	移出	2	2	2	2	
移入		15	5	5	9		
計		17	7	7	11		
林産品	原木	移出	0	0	0	0	
		移入	1	0	0	0	
		計	1	0	0	0	
	製材	移出	4	5	4	4	
		移入	12	9	10	13	
		計	16	15	14	18	
	その他林産品	移出	9	8	10	9	
移入		8	5	6	10		
計		17	13	16	18		
鉱産品	石炭	移出	0	0	0	0	
		移入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	砂利・砂	移出	5	4	4	5	
		移入	2	2	2	3	
		計	7	5	5	7	
	原油	移出	0	0	0	0	
		移入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	その他鉱産品	移出	1	2	2	1	
移入		4	1	0	5		
計		6	2	2	6		
金属機械工業品	鉄鋼	移出	43	14	16	21	内貿公共貨物(国際 フィーダー、内貿公 共フェリー除く)に 内貿公共ユニット化 率を乗じて算出
		移入	32	18	17	35	
		計	75	32	33	56	
	非鉄金属・金属製品	移出	32	23	26	29	
		移入	29	11	13	30	
		計	61	34	39	59	
	輸送機械	移出	2,307	2,178	2,193	3,404	
		移入	973	994	1,072	964	
		計	3,280	3,172	3,265	4,368	
	その他機械	移出	189	219	227	217	
移入		36	51	41	37		
計		226	270	268	254		
化学工業品	石油類	移出	18	19	17	17	
		移入	1	1	0	1	
		計	18	20	18	18	
	セメント	移出	2	2	2	2	
		移入	4	3	2	5	
		計	6	5	4	7	
	その他化学工業品	移出	135	122	116	142	
		移入	82	84	98	67	
計		217	206	214	209		
軽工業品	紙・パルプ	移出	183	49	61	183	
		移入	977	623	686	977	
		計	1,160	672	747	1,160	
	砂糖	移出	10	12	9	9	
		移入	58	63	58	58	
		計	67	75	67	67	
	その他軽工業品	移出	425	419	416	438	
移入		252	228	232	260		
計		678	647	648	698		
雑工業品	移出	315	319	308	320		
	移入	91	83	99	90		
	計	406	402	407	410		
特殊品	金属くず	移出	1	1	2	1	
		移入	3	4	4	4	
		計	4	5	6	5	
	廃棄物(廃土砂)	移出	4	4	7	4	
		移入	1	1	0	1	
		計	4	4	8	5	
	取合せ品	移出	2,759	2,355	2,771	2,638	
		移入	1,566	1,292	1,636	1,566	
		計	4,325	3,647	4,407	4,204	
	その他特殊品	移出	240	217	232	233	
移入		222	279	280	213		
計		462	497	512	446		
分類不能のもの	移出	0	0	0	0		
	移入	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0		
合計	移出	6,766	6,052	6,503	7,762		
	移入	4,442	3,828	4,335	4,424		
	計	11,208	9,881	10,837	12,186		

4) 内貿公共ユニット貨物における品目別コンテナ化率の設定

目標年次における内貿公共ユニット貨物（コンテナ）の品目別コンテナ化率の設定値は、それぞれ次のとおりである。設定の考え方は、ユニット化率と同様の考え方とする。

表Ⅱ-1-42 内貿公共ユニット貨物量における品目別コンテナ化率の設定

品目分類	出入別	実績値			推計値	推計方法
		R1 2019	R2 2020	R3 2021	R17 2035	
農水産品	米穀類	移出	15%	12%	9%	15%
		移入	20%	21%	24%	23%
		計	16%	15%	14%	18%
	野菜・果物	移出	18%	20%	21%	18%
		移入	56%	49%	45%	55%
		計	41%	38%	35%	40%
	水産品	移出	22%	79%	65%	34%
		移入	89%	83%	76%	71%
		計	61%	83%	71%	58%
	その他農水産品	移出	38%	50%	59%	50%
移入		12%	31%	30%	23%	
計		15%	37%	38%	27%	
林産品	原木	移出	0%	0%	0%	0%
		移入	0%	0%	0%	0%
	製材	移出	62%	63%	61%	55%
		移入	9%	14%	7%	8%
	その他林産品	移出	23%	32%	21%	19%
		移入	37%	37%	32%	37%
鉱産品	石炭	移出		0%		0%
		移入	0%	0%		0%
		計				
	砂利・砂	移出	36%	44%	47%	37%
		移入	39%	34%	43%	27%
		計	37%	41%	45%	33%
	原油	移出				
		移入				
		計				
		その他鉱産品	移出	22%	21%	30%
金属機械工業品	鉄鋼	移出	3%	8%	5%	8%
		移入	3%	2%	4%	1%
		計	3%	5%	4%	4%
	非鉄金属・金属製品	移出	28%	34%	33%	34%
		移入	22%	50%	49%	32%
		計	25%	39%	38%	33%
	輸送機械	移出	1%	1%	1%	1%
		移入	2%	2%	1%	2%
		計	1%	1%	1%	1%
	その他機械	移出	24%	21%	25%	21%
移入		13%	7%	9%	13%	
計		22%	18%	23%	20%	
化学工業品	石油類	移出	39%	35%	13%	40%
		移入	29%	53%	5%	35%
		計	39%	36%	13%	40%
	セメント	移出	47%	46%	40%	45%
		移入	2%	6%	3%	0%
	その他化学工業品	移出	14%	21%	20%	14%
移入		33%	32%	34%	31%	
軽工業品	紙・パルプ	移出	11%	23%	19%	11%
		移入	11%	10%	8%	11%
		計	11%	11%	9%	11%
	砂糖	移出	74%	78%	85%	74%
		移入	65%	64%	72%	65%
		計	66%	67%	73%	66%
その他軽工業品	移出	41%	43%	41%	40%	
	移入	26%	27%	25%	26%	
	計	36%	38%	36%	35%	
雑工業品	移出	34%	33%	29%	34%	
	移入	14%	15%	12%	18%	
	計	30%	29%	25%	30%	
特殊品	金属くず	移出	6%	27%	51%	6%
		移入	47%	44%	43%	47%
		計	38%	40%	46%	40%
	廃棄物(廃土砂)	移出	81%	69%	59%	94%
		移入	98%	100%	100%	100%
		計	83%	73%	62%	95%
	取合せ品	移出	14%	16%	14%	14%
		移入	5%	6%	6%	6%
		計	11%	13%	11%	11%
	その他特殊品	移出	18%	19%	19%	19%
移入		55%	63%	64%	56%	
計		36%	44%	43%	36%	
分類不能のもの	移出					
合計	移出	13%	14%	13%	11%	
	移入	11%	13%	12%	12%	
	計	13%	14%	13%	12%	

内貿公共ユニット貨物に占める内貿公共コンテナ貨物の比率を算出

※1 実際のユニット貨物におけるコンテナ貨物量算定時には、82品目別にユニット貨物のコンテナ化率を推計

※2 貨物の取扱がなくコンテナ化率が算定できない箇所は空欄としている

5) 内貿公共ユニット貨物（コンテナ）取扱量の設定

目標年次における内貿公共ユニット貨物（コンテナ）の取扱量の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ-1-43 内貿公共ユニット貨物量（コンテナ）の設定

品目分類		出入別	単位：千トン				推計方法
			実績値 R1 2019	実績値（参考） R2 2020 R3 2021		推計値 R17 2035	
農水産品	米穀類	移出	7	5	4	7	
		移入	4	5	6	6	
		計	11	11	10	13	
	野菜・果物	移出	6	6	7	6	
		移入	29	23	20	27	
		計	35	29	27	33	
	水産品	移出	0	0	0	0	
		移入	1	0	0	1	
		計	1	1	1	1	
	その他農水産品	移出	1	1	1	1	
移入		2	2	2	2		
計		2	2	3	3		
林産品	原木	移出	0	0	0	0	
		移入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	製材	移出	3	3	2	2	
		移入	1	1	1	1	
		計	4	5	3	3	
	その他林産品	移出	3	3	3	3	
移入		2	2	2	3		
計		5	5	5	6		
鉱産品	石炭	移出	0	0	0	0	
		移入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	砂利・砂	移出	2	2	2	2	
		移入	1	1	1	1	
		計	2	2	2	2	
	原油	移出	0	0	0	0	
		移入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	その他鉱産品	移出	0	0	1	0	
移入		0	0	0	0		
計		0	0	1	1		
金属機械工業品	鉄鋼	移出	1	1	1	2	
		移入	1	0	1	1	
		計	2	2	1	2	
	非鉄金属・金属製品	移出	9	8	9	10	
		移入	6	6	6	9	
		計	15	14	15	19	
	輸送機械	移出	18	14	16	20	
		移入	16	15	15	19	
		計	35	30	31	39	
	その他機械	移出	45	45	57	47	
移入		5	3	4	5		
計		50	49	61	51		
化学工業品	石油類	移出	7	7	2	7	
		移入	0	0	0	0	
		計	7	7	2	7	
	セメント	移出	1	1	1	1	
		移入	0	0	0	0	
		計	1	1	1	1	
	その他化学工業品	移出	44	39	40	45	
移入		9	9	8	9		
計		53	48	48	53		
軽工業品	紙・パルプ	移出	20	11	11	20	
		移入	108	64	53	108	
		計	128	76	64	128	
	砂糖	移出	7	10	8	7	
		移入	37	40	41	37	
		計	45	50	49	44	
	その他軽工業品	移出	176	181	172	176	
移入		65	63	59	68		
計		241	243	231	244		
雑工業品	移出	107	105	90	108		
	移入	13	12	12	16		
	計	120	118	103	124		
特殊品	金属くず	移出	0	0	1	0	
		移入	2	2	2	2	
		計	2	2	3	2	
	廃棄物(廃土砂)	移出	3	3	4	4	
		移入	0	1	0	1	
		計	3	3	5	5	
	取合せ品	移出	398	379	394	379	
		移入	85	82	104	87	
		計	483	462	497	466	
	その他特殊品	移出	44	41	44	44	
移入		123	175	178	118		
計		167	216	222	162		
分類不能のもの	移出	0	0	0	0		
	移入	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0		
合計	移出	903	867	870	890		
	移入	510	508	515	521		
	計	1,413	1,374	1,385	1,411		

内貿公共ユニット貨物に対してコンテナ化率を乗じて算出

(3) 内貿公共在来貨物取扱量の設定

目標年次における内貿公共在来貨物量の取扱量の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表 II-1-44 内貿公共在来貨物量の設定

単位：千トン

品目分類	出入別	実績値			推計値	推計方法
		R1 2019	R2 2020	R3 2021	R17 2035	
農水産品	米穀類	移出	1	1	0	0
		移入	77	82	100	66
		計	77	83	100	67
	野菜・果物	移出	5	5	5	5
		移入	0	0	0	0
		計	5	5	5	5
	水産品	移出	8	8	9	8
		移入	11	11	11	11
		計	20	20	20	19
	その他農水産品	移出	8	9	9	8
移入		0	0	0	0	
計		8	9	9	8	
林産品	原木	移出	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0
		計	0	0	0	0
	製材	移出	16	11	11	18
		移入	6	2	2	4
		計	22	13	13	22
その他林産品	移出	2	3	3	2	
	移入	1	2	1	2	
	計	3	5	4	4	
鉱産品	石炭	移出	0	10	17	4
		移入	3	39	61	3
		計	3	49	78	6
	砂利・砂	移出	15	3	3	21
		移入	1,920	1,625	1,602	1,969
		計	1,934	1,628	1,605	1,990
	原油	移出	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0
		計	0	0	0	0
	その他鉱産品	移出	51	46	63	22
移入		106	112	92	70	
計		157	157	155	92	
金属機械工業品	鉄鋼	移出	12	15	13	4
		移入	341	283	308	341
		計	353	298	322	345
	非鉄金属・金属製品	移出	15	17	19	16
		移入	39	37	46	41
		計	54	54	64	57
	輸送機械	移出	23	23	24	30
		移入	7	10	9	10
		計	30	33	33	40
	その他機械	移出	18	14	15	22
移入		16	12	13	16	
計		34	26	28	38	
化学工業品	石油類	移出	13	12	13	13
		移入	0	0	0	0
		計	13	13	13	13
	セメント	移出	32	30	30	31
		移入	480	499	479	544
		計	512	529	509	575
その他化学工業品	移出	43	54	63	40	
	移入	121	59	51	125	
	計	164	114	114	165	
軽工業品	紙・パルプ	移出	0	0	0	0
		移入	241	193	257	241
		計	241	193	257	241
	砂糖	移出	0	0	0	0
		移入	0	0	0	0
		計	0	0	0	0
その他軽工業品	移出	7	7	6	7	
	移入	142	138	137	142	
	計	149	144	143	149	
雑工業品	移出	24	22	24	24	
	移入	3	17	14	2	
	計	26	39	38	27	
特殊品	金属くず	移出	17	19	24	17
		移入	11	12	14	14
		計	28	31	38	31
	廃棄物(廃土砂)	移出	1,146	1,688	2,148	1,544
		移入	9	16	13	9
		計	1,155	1,703	2,161	1,553
	取合せ品	移出	41	42	49	40
		移入	22	23	27	22
		計	63	65	76	61
	その他特殊品	移出	12	14	14	19
移入		26	30	28	25	
計		37	44	41	44	
分類不能のもの	移出	0	0	0	0	
	移入	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	
合計	移出	1,508	2,054	2,562	1,897	
	移入	3,580	3,202	3,264	3,656	
	計	5,089	5,255	5,826	5,553	

内貿公共貨物（国際
フィーダー、内貿公
共フェリーを除く）
から内貿公共ユニッ
ト貨物を差し引き算
出

(4) 内貿公共フェリー貨物取扱量の設定

目標年次における内貿公共フェリー貨物量は、現在東京港に就航しているフェリー航路（1航路）が維持されるものとする。

表Ⅱ-1-45 内貿公共フェリー貨物量の設定

品目分類	出入別	実績値										実績値（参考）			推計値
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R17	
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2035	
フェリー貨物	移出	3,604	4,844	3,941	4,397	4,216	4,295	4,775	5,396	5,676	5,567	4,981	5,325	5,654	
	移入	3,453	4,647	3,838	4,153	3,826	3,999	4,351	4,690	5,193	5,168	4,825	5,261	5,654	
	計	7,057	9,491	7,779	8,550	8,043	8,294	9,126	10,086	10,868	10,735	9,806	10,585	11,308	

単位：千トン

(5) 国際フィーダー貨物取扱量の設定

1) 設定の考え方

国際フィーダー貨物は、大井コンテナ、青海コンテナ、品川コンテナ、中央防波堤外側の各埠頭で取り扱われている内貿コンテナ貨物とする。

また、目標年次における国際フィーダー貨物の取扱量の設定の考え方は、それぞれ次のとおりであり、82品目について取扱量を設定した。

表 II-1-46 国際フィーダー貨物取扱量の設定の考え方

取扱貨物量の状況	推計方法
<ul style="list-style-type: none"> 直近の実績値（過去5年間）が、経過年と強い相関^{※1}がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 最新年維持（基準年実績値）
<ul style="list-style-type: none"> 直近の実績値（過去5年間）が、経過年と強い相関^{※1}がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 過去5カ年の取扱の平均値
<ul style="list-style-type: none"> 過去5カ年のうち、3年以上取扱実績がない貨物、または外貿コンテナ貨物として将来的に取扱がないと設定する品目 	<ul style="list-style-type: none"> 取扱なし

※1 強い相関とは、以下のとおり相関係数の絶対値が0.7以上1.0以下を指す。

相関係数及び決定係数の解釈

相関係数の絶対値	→	決定係数の絶対値	解釈
$0.0 \leq R \leq 0.2$	→	$0.0 \leq R^2 \leq 0.04$	ほとんど相関関係がない
$0.2 \leq R \leq 0.4$	→	$0.04 \leq R^2 \leq 0.16$	やや相関関係がある
$0.4 \leq R \leq 0.7$	→	$0.16 \leq R^2 \leq 0.49$	かなり相関関係がある
$0.7 \leq R \leq 1.0$	→	$0.49 \leq R^2 \leq 1.0$	強い相関関係がある

2) 国際フィーダー貨物取扱量の設定

目標年次における国際フィーダー貨物の取扱量の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ-1-47 国際フィーダー貨物量の設定

品目分類			実績値											実績値(参考)			推計値
			H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R17 2035		
農水産品	米穀類	移出	2	8	3	14	8	2	2	9	20	23	15	18	24		
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		計	2	8	3	14	8	2	2	9	20	23	15	18	24		
	野菜・果物	移出	10	7	18	26	27	39	29	40	42	46	13	6	39		
		移入	3	4	4	4	4	3	4	5	4	5	4	4	5		
		計	14	10	22	30	31	42	33	46	46	51	16	10	44		
	水産品	移出	5	3	11	15	16	19	23	18	27	19	27	9	21		
		移入	8	6	6	7	9	10	9	10	11	20	10	11	20		
		計	13	9	17	21	25	29	32	28	38	40	37	20	42		
	その他農水産品	移出	31	17	25	25	23	18	12	25	24	11	6	4	18		
移入		0	3	0	0	0	1	0	0	5	15	0	1	15			
計		31	20	26	25	23	19	12	25	29	26	6	5	33			
林産品	原木	移出	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0		
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		計	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0		
	製材	移出	11	13	31	43	37	20	12	15	50	44	35	47	44		
		移入	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		計	11	17	31	43	37	21	12	15	50	44	35	47	44		
	その他林産品	移出	0	0	0	4	4	1	0	0	0	3	2	0	3		
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0		
		計	0	0	0	4	4	1	0	0	0	8	2	0	3		
	鉱産品	石炭	移出	0	1	2	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	
移入			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計			1	1	2	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0		
砂利・砂		移出	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1		
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		計	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1		
原油		移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他鉱産品		移出	9	1	7	6	1	6	3	5	9	4	2	3	5		
	移入	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	9	3	7	6	2	6	3	5	9	4	2	3	5			
金属機械工業品	鉄鋼	移出	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0		
		移入	1	2	1	1	2	1	1	6	4	0	0	0	2		
		計	1	2	1	1	5	1	2	7	5	0	0	0	3		
	非鉄金属・金属製品	移出	6	2	4	10	8	4	4	8	12	4	2	6	7		
		移入	1	2	1	4	0	0	9	18	5	3	2	0	7		
		計	7	4	5	13	8	4	13	26	17	7	4	6	14		
	輸送機械	移出	6	4	2	9	7	4	10	12	7	4	2	6	8		
		移入	46	57	27	24	23	24	27	50	27	6	3	1	27		
		計	52	61	29	32	30	28	38	62	35	10	5	7	34		
	その他機械	移出	8	24	30	24	19	46	62	61	55	69	72	43	73		
移入		9	16	30	28	46	57	56	82	48	32	19	18	49			
計		17	39	61	52	64	104	117	143	103	101	91	60	123			
化学工業品	石油類	移出	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0		
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		計	0	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0		
	セメント	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	その他化学工業品	移出	18	17	15	16	13	8	13	33	32	15	8	15	20		
		移入	30	44	31	30	21	7	15	25	26	19	10	0	21		
		計	48	61	46	46	34	16	29	58	57	34	17	16	42		
	軽工業品	紙・パルプ	移出	12	14	22	42	29	22	28	52	47	11	21	24	32	
移入			1	2	2	8	2	0	1	2	1	3	2	8	3		
計			13	15	24	49	31	22	29	54	49	14	23	33	35		
砂糖		移出	0	0	1	0	1	4	1	7	10	4	6	6	5		
		移入	17	12	11	13	3	0	5	7	6	11	7	0	11		
		計	17	12	12	14	4	4	7	14	16	15	12	7	16		
その他軽工業品		移出	37	28	45	71	53	42	48	93	100	92	75	34	107		
		移入	26	23	11	15	5	2	11	17	11	8	3	0	8		
		計	63	51	56	86	58	45	58	109	110	100	78	35	115		
雑工業品		金属くず	移出	52	43	28	41	30	7	20	53	43	35	35	42	39	
	移入		107	84	59	40	24	2	18	20	10	6	3	8	11		
	計		159	128	87	81	54	9	38	73	54	41	37	50	51		
	廃棄物(塵土砂)	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	取合せ品	移出	269	278	312	293	276	205	236	374	287	256	330	252	271		
		移入	358	352	392	328	375	308	354	557	535	652	595	509	652		
		計	627	630	704	621	651	512	590	931	822	908	924	761	923		
	その他特殊品	移出	35	23	36	27	48	38	24	58	58	51	64	36	47		
移入		2	4	0	1	0	1	1	2	1	0	0	1	1			
計		37	27	36	28	49	39	25	60	59	51	64	37	47			
分類不能のもの	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	移入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
合計	移出	513	483	593	668	609	489	531	866	827	693	716	552	767			
	移入	609	617	575	502	515	416	512	801	696	787	658	567	835			
	計	1,123	1,100	1,168	1,169	1,123	904	1,043	1,667	1,523	1,479	1,374	1,119	1,601			

単位：千トン

3) 取扱個数（TEU）の設定

目標年次における国際フィーダー取扱個数等の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ-1-48 国際フィーダー取扱個数等の推計結果

区分	出入	実入・空別	実績値										実績値（参考）		推計値	推計方法
			H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021		
実入コンテナ トン-TEU換算率 (トン/TEU)	移出	実入	11.7	11.3	10.8	11.2	10.3	10.5	9.6	10.6	12.6	13.5	11.5	11.2	13.5	現状維持
	移入	実入	10.5	10.1	10.1	9.9	9.3	9.4	9.3	10.3	9.0	8.6	8.4	7.6	9.3	
	計	実入	11.0	10.6	10.5	10.6	9.8	9.9	9.5	10.4	10.7	10.3	9.8	9.0	10.9	
空コンテナ比率 (%)	移出	空	82.1%	83.1%	80.7%	79.0%	79.1%	83.2%	79.7%	73.5%	78.2%	79.3%	76.0%	83.6%	78.8%	過去5年平均
	移入	空	4.3%	6.4%	2.1%	3.8%	1.8%	2.2%	2.3%	9.0%	8.7%	3.0%	7.8%	6.8%	5.0%	
	計	空	66.7%	67.5%	67.3%	67.2%	66.3%	71.8%	66.4%	59.5%	63.0%	58.1%	59.1%	67.4%	59.4%	
コンテナ個数 (千TEU)	移出	実入	44	43	55	59	59	47	55	82	66	51	62	49	57	
		空	201	211	229	224	224	231	217	227	236	196	196	252	210	
	移入	実入	58	61	57	51	55	44	55	78	77	92	78	75	90	
		空	3	4	1	2	1	1	1	8	7	3	7	5	4	
	計	実入	102	104	112	110	114	91	110	160	143	143	140	124	146	
		空	204	215	230	226	225	232	218	235	243	199	202	258	215	
コンテナ貨物量 (千トン)	移出	実入	513	483	593	668	609	489	531	866	827	693	716	552	767	
	移入	実入	609	617	575	502	515	416	512	801	696	787	658	567	835	
	計	実入	1,123	1,100	1,168	1,169	1,123	904	1,043	1,667	1,523	1,479	1,374	1,119	1,601	

(6) 内貿専用貨物取扱量の設定

目標年次における内貿専用貨物の取扱量の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ-1-49 内貿専用貨物量の設定

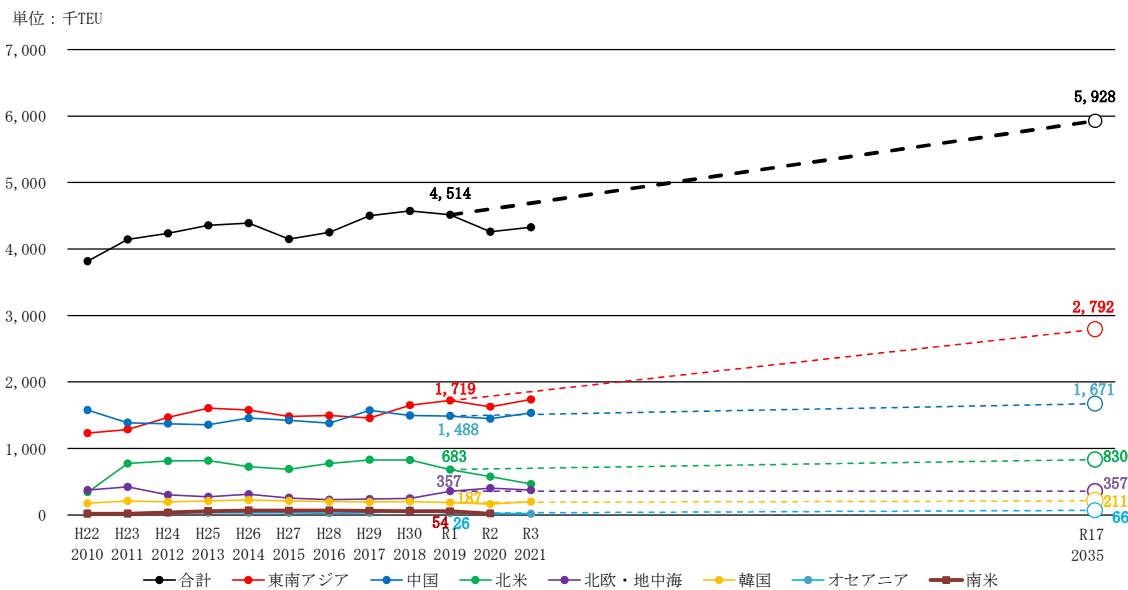
品目分類		出入別	実績値			推計値	推計方法
			R1 2019	R2 2020	R3 2021		
農水産品	米穀類	移出	0	0	0	0	内貿公共貨物と同様に、近年の貨物量推移を確認の上、最新年維持、平均値で算出
		移入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	野菜・果物	移出	0	0	0	0	
		移入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	水産品	移出	0	0	0	0	
		移入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	その他農水産品	移出	0	0	0	0	
		移入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
林産品	原木	移出	0	0	0	0	
		移入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	製材	移出	0	0	0	0	
		移入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
その他林産品	移出	0	0	0	0		
	移入	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0		
鉱産品	石炭	移出	0	0	0	0	
		移入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	砂利・砂	移出	23	22	20	13	
		移入	2,831	2,160	2,378	3,672	
		計	2,854	2,182	2,398	3,684	
	原油	移出	0	0	0	0	
		移入	0	0	0	0	
その他鉱産品	移出	0	0	0	0		
	移入	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0		
金属機械工業品	鉄鋼	移出	0	0	0	0	
		移入	720	559	734	720	
		計	720	559	734	720	
	非鉄金属・金属製品	移出	0	0	0	0	
		移入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	輸送機械	移出	0	0	0	0	
		移入	0	0	0	0	
	その他機械	移出	0	0	0	0	
		移入	0	0	0	0	
計		0	0	0	0		
化学工業品	石油類	移出	233	196	270	233	
		移入	4,770	3,123	3,128	4,737	
		計	5,003	3,319	3,398	4,971	
	セメント	移出	0	0	0	0	
		移入	1,946	1,800	1,834	2,463	
		計	1,946	1,800	1,834	2,463	
その他化学工業品	移出	0	0	0	0		
	移入	0	0	9	9		
	計	0	0	9	9		
軽工業品	紙・パルプ	移出	0	0	0	0	
		移入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	砂糖	移出	0	0	0	0	
		移入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
その他軽工業品	移出	50	34	42	50		
	移入	0	0	0	0		
	計	50	34	42	50		
雑工業品	移出	0	0	0	0		
	移入	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0		
特殊品	金属くず	移出	0	0	0	0	
		移入	0	1	1	0	
		計	0	1	1	0	
	廃棄物(廃土砂)	移出	128	145	172	101	
		移入	12	0	0	4	
		計	140	145	172	105	
	取合せ品	移出	0	0	0	0	
		移入	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	その他特殊品	移出	86	139	124	99	
移入		0	1	1	0		
計		87	141	125	100		
分類不能のもの	移出	0	0	0	0		
	移入	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0		
合計	移出	521	536	629	497		
	移入	10,280	7,645	8,086	11,597		
	計	10,801	8,181	8,714	12,094		

1-2-4 航路別外貿コンテナ取扱個数（TEU）の設定

目標年次における航路別外貿コンテナ取扱個数の設定値と設定の考え方は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ-1-50 航路別外貿コンテナ取扱個数の設定

航路	実績値										実績値(参考)			推計方法
	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R17 2035	
北米	340	771	812	817	725	689	774	829	824	683	576	464	830	ベース貨物683千TEU (R1実績値) +貿易促進等貨物(147千TEU)
北欧・地中海	374	422	300	271	310	254	228	238	249	357	405	374	357	ベース貨物357千TEU (R1実績値)
南米	18	18	34	57	64	62	65	62	57	54	20	0	0	取扱いなし (R3取扱いなし)
オセアニア	21	24	31	28	33	29	23	32	66	26	22	18	66	ベース貨物66千TEU (過去5年の最大値)
東南アジア	1,230	1,285	1,466	1,607	1,578	1,482	1,494	1,459	1,652	1,719	1,627	1,736	2,792	ベース貨物2,661千TEU (過去5年の最大値×約1.6倍) +貿易促進等貨物(131千TEU)
韓国	174	209	194	206	224	211	199	196	201	187	164	199	211	ベース貨物211千TEU (過去5年の最大値)
中国	1,576	1,388	1,370	1,358	1,456	1,422	1,379	1,571	1,498	1,488	1,446	1,535	1,671	ベース貨物1,571千TEU (過去5年の最大値) +貿易促進等貨物(100千TEU)
その他	84	27	28	10	0	0	90	113	24	0	0	0	0	取扱いなし
合計	3,816	4,144	4,235	4,353	4,390	4,150	4,251	4,500	4,571	4,514	4,260	4,326	5,928	



図Ⅱ-1-11 航路別外貿コンテナ取扱個数の設定

2. 入港船舶隻数

2-1 入港最大標準船型

東京港における最大の水深・延長を有する施設の水深・延長に対応する標準的な船舶のトン数（DWT）を入港最大標準船型として設定する。

表 II-2-1 入港最大標準船型

当港の最大の水深・延長を有する施設	水深	延長	利用船舶の種類	対応する標準的な船舶のトン数
外貿コンテナバース (大井埠頭・青海埠頭・ 中央防波堤外側埠頭・新海面処分場埠頭)	-15.0～ -16.5m	400m	コンテナ船	150,000DWT

2-2 船舶の利用状況

船舶の種類別、トン階級（GT）別の過去10年間の利用状況は、次のとおりである。

表Ⅱ-2-2 外航船舶の利用状況

外内別	種別	トン階級	実績値										実績値(参考)						
			H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021					
外航船	合計	5~99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		100~499	3	4	4	6	2	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-		
		500~999	4	3	5	1	2	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
		1,000~2,999	458	369	423	327	195	82	74	51	55	43	42	53	-	-	-	-	
		3,000~5,999	280	149	176	205	150	184	165	126	107	70	69	76	-	-	-	-	
		6,000~9,999	2,472	2,640	2,595	2,411	2,427	2,343	2,354	2,338	2,482	2,439	2,373	2,271	-	-	-	-	
		10,000~19,999	1,142	1,264	931	901	793	878	832	862	866	782	788	819	-	-	-	-	
		20,000~29,999	516	513	551	519	488	535	656	687	557	587	491	429	-	-	-	-	
		30,000~39,999	158	178	270	329	221	216	240	197	298	288	301	277	-	-	-	-	
		40,000~49,999	189	161	195	253	343	349	333	361	362	347	285	230	-	-	-	-	
		50,000~59,999	450	465	429	408	389	267	269	238	263	175	97	73	-	-	-	-	
		60,000~69,999	135	156	153	151	134	154	148	118	97	29	30	26	-	-	-	-	
		70,000~79,999	231	150	116	109	89	78	133	233	197	146	95	127	-	-	-	-	
		80,000~89,999	5	-	19	25	22	19	12	34	40	41	26	13	-	-	-	-	
		90,000~99,999	79	90	82	79	74	104	123	84	131	236	281	135	-	-	-	-	
		100,000~109,999	6	15	7	4	5	5	2	16	20	19	19	10	-	-	-	-	
		110,000~119,999	-	-	-	-	-	6	21	10	8	12	38	34	-	-	-	-	
		120,000~	-	-	-	3	3	2	2	-	20	32	10	-	-	-	-	-	
		合計		6,128	6,157	5,956	5,731	5,343	5,240	5,366	5,355	5,504	5,247	4,945	4,573	-	-	-	-
		外航	うちコンテナ船	5~99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
100~499	-			-	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
500~999	-			-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1,000~2,999	1			-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3,000~5,999	200			106	135	171	101	98	75	41	60	22	54	45	-	-	-	-	
6,000~9,999	2,219			2,395	2,384	2,211	2,219	2,140	2,158	2,213	2,340	2,374	2,278	2,177	-	-	-	-	
10,000~19,999	1,075			1,192	892	849	726	840	778	799	774	703	697	738	-	-	-	-	
20,000~29,999	498			485	527	488	454	497	610	652	518	557	465	411	-	-	-	-	
30,000~39,999	152			159	261	318	208	201	204	156	258	252	290	267	-	-	-	-	
40,000~49,999	183			155	188	245	336	344	332	358	361	331	274	210	-	-	-	-	
50,000~59,999	450			465	428	404	388	266	267	224	220	160	91	60	-	-	-	-	
60,000~69,999	132			154	153	151	134	152	146	117	96	28	30	26	-	-	-	-	
70,000~79,999	231			150	116	109	89	78	131	231	197	146	95	127	-	-	-	-	
80,000~89,999	5			-	19	25	22	19	12	34	40	41	26	13	-	-	-	-	
90,000~99,999	79			90	82	79	73	104	122	84	131	235	281	135	-	-	-	-	
100,000~109,999	6			15	7	4	5	5	2	16	20	19	19	10	-	-	-	-	
110,000~119,999	-			-	-	-	-	6	21	10	8	12	38	34	-	-	-	-	
120,000~	-			-	-	-	-	-	-	-	20	30	10	-	-	-	-	-	
小計				5,231	5,366	5,194	5,058	4,764	4,767	4,858	4,935	5,043	4,910	4,648	4,253	-	-	-	-
	うち客船			5~99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100~499	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		500~999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		1,000~2,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		3,000~5,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		6,000~9,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		10,000~19,999	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
		20,000~29,999	1	-	4	5	4	3	6	4	6	3	1	-	-	-	-	-	
		30,000~39,999	1	-	1	1	4	2	1	-	-	4	-	-	-	-	-	-	
		40,000~49,999	-	-	-	-	1	2	1	1	-	13	-	-	-	-	-	-	
		50,000~59,999	-	-	-	-	1	1	2	9	24	9	-	-	-	-	-	-	
		60,000~69,999	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		70,000~79,999	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
		80,000~89,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		90,000~99,999	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
		100,000~109,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		110,000~119,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		120,000~	-	-	-	3	3	2	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
		小計		2	-	5	9	15	11	18	16	32	33	1	-	-	-	-	
			その他貨物船等	5~99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
100~499	3			4	2	3	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
500~999	4			3	5	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
1,000~2,999	457			369	423	327	194	81	74	51	55	43	42	53	-	-	-	-	
3,000~5,999	80			43	41	34	49	86	90	85	47	48	15	31	-	-	-	-	
6,000~9,999	253			245	211	200	208	203	196	125	140	64	95	94	-	-	-	-	
10,000~19,999	67			72	39	52	66	38	52	63	92	79	91	81	-	-	-	-	
20,000~29,999	17			28	20	26	30	35	40	31	33	27	25	18	-	-	-	-	
30,000~39,999	5			19	8	10	9	13	35	41	40	32	11	10	-	-	-	-	
40,000~49,999	6			6	7	8	6	3	-	2	1	3	11	20	-	-	-	-	
50,000~59,999	-			-	1	4	-	-	-	5	19	6	6	13	-	-	-	-	
60,000~69,999	3			2	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	
70,000~79,999	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
80,000~89,999	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
90,000~99,999	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
100,000~109,999	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
110,000~119,999	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
120,000~	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
小計				895	791	757	664	564	462	490	404	429	304	296	320	-	-	-	-

※1 コンテナ船：フルコンテナ船、セミコンテナ船の合計

※2 その他貨物船等：コンテナ船、客船を除く船舶の合計

表 II-2-3 内航船舶の利用状況

単位:隻

外内別	種別	トン階級	実績値										実績値(参考)		
			H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	
内航船 合計		5~99	1,128	890	753	488	285	457	348	168	235	291	162	233	
		100~499	12,328	12,086	11,539	11,733	11,704	10,375	9,363	9,729	9,813	9,248	8,449	9,257	
		500~999	2,309	2,363	2,435	2,919	2,676	2,672	2,463	2,924	3,172	3,009	2,719	2,529	
		1,000~2,999	1,222	1,316	1,388	1,539	1,507	1,488	1,308	1,623	1,778	1,722	1,172	1,162	
		3,000~5,999	1,206	1,299	1,479	1,446	1,438	1,373	1,299	1,242	1,276	1,241	932	832	
		6,000~9,999	866	865	893	851	884	835	848	769	609	458	469	629	
		10,000~19,999	1,204	1,369	1,278	1,354	1,412	1,544	1,658	1,777	1,979	2,161	2,300	2,357	
		20,000~29,999	19	13	20	31	8	13	11	12	8	3	6	3	
		30,000~39,999	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
		40,000~49,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		50,000~59,999	-	-	2	2	2	-	1	5	-	2	-	-	
		60,000~	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		合計		20,283	20,201	19,787	20,364	19,916	18,757	17,299	18,249	18,870	18,135	16,209	17,002
		内航	うちフィーダー船	5~99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
100~499	622			606	709	570	122	100	231	32	337	366	372	406	
500~999	391			347	441	556	600	417	523	735	975	1,158	1,036	869	
1,000~2,999	-			-	-	-	-	-	2	45	128	135	98	95	
3,000~5,999	-			4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6,000~9,999	145			144	36	-	-	-	51	51	80	75	73	93	
10,000~19,999	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20,000~29,999	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
30,000~39,999	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
40,000~49,999	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
50,000~59,999	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
60,000~	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
小計				1,158	1,101	1,187	1,126	722	517	807	863	1,523	1,734	1,579	1,463
うちRORO船	5~99			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100~499	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	500~999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	1,000~2,999	51	46	34	21	10	14	11	7	5	8	10	18		
	3,000~5,999	203	193	182	192	143	113	50	25	-	-	-	-		
	6,000~9,999	491	494	625	612	645	685	696	630	432	303	144	142		
	10,000~19,999	811	915	890	959	1,028	1,140	1,215	1,305	1,509	1,688	1,835	1,891		
	20,000~29,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	30,000~39,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	40,000~49,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	50,000~59,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	60,000~	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	小計		1,556	1,649	1,731	1,784	1,826	1,952	1,972	1,967	1,946	1,999	1,989	2,051	
	うち客船(クルーズ)	5~99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
100~499		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
500~999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
1,000~2,999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
3,000~5,999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
6,000~9,999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
10,000~19,999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
20,000~29,999		19	13	20	31	8	13	11	12	8	2	6	3		
30,000~39,999		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-		
40,000~49,999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
50,000~59,999		-	-	2	2	2	-	1	5	-	2	-	-		
60,000~		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
小計			20	13	22	34	10	13	12	17	8	4	6	3	
うち内航フェリー		5~99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100~499	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	500~999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	1,000~2,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	3,000~5,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	6,000~9,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	10,000~19,999	333	400	334	333	319	332	346	352	347	349	345	348		
	20,000~29,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	30,000~39,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	40,000~49,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	50,000~59,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	60,000~	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	小計		333	400	334	333	319	332	346	352	347	349	345	348	
	その他貨物船等	5~99	1,128	890	753	488	285	457	348	168	235	291	162	233	
100~499		11,706	11,479	10,830	11,163	11,582	10,275	9,132	9,697	9,476	8,882	8,077	8,851		
500~999		1,918	2,016	1,994	2,363	2,076	2,255	1,940	2,189	2,194	1,851	1,683	1,660		
1,000~2,999		1,171	1,270	1,354	1,518	1,497	1,474	1,295	1,571	1,645	1,579	1,064	1,049		
3,000~5,999		1,003	1,102	1,296	1,254	1,295	1,260	1,249	1,217	1,276	1,241	932	832		
6,000~9,999		230	227	232	239	239	150	101	88	97	80	252	394		
10,000~19,999		60	54	54	62	65	72	97	120	123	124	120	118		
20,000~29,999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
30,000~39,999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
40,000~49,999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
50,000~59,999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
60,000~		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
小計			17,216	17,038	16,513	17,087	17,039	15,943	14,162	15,050	15,046	14,049	12,290	13,137	

※1 フィーダー船：フルコンテナ船、セミコンテナ船の合計

※2 その他貨物船等：フィーダー船、RORO船、フェリー、客船を除く船舶の合計

2-3 入港船舶隻数の推計

2-3-1 外航船舶

(1) コンテナ船

1) 北米航路、欧州航路

北米航路、欧州航路は、東京港以外の他国の港で積卸する貨物の割合が高いため、1隻当たりの取扱貨物量を算出し、将来入港隻数を設定する。

次のフローに従い、入港船舶隻数を推計する。

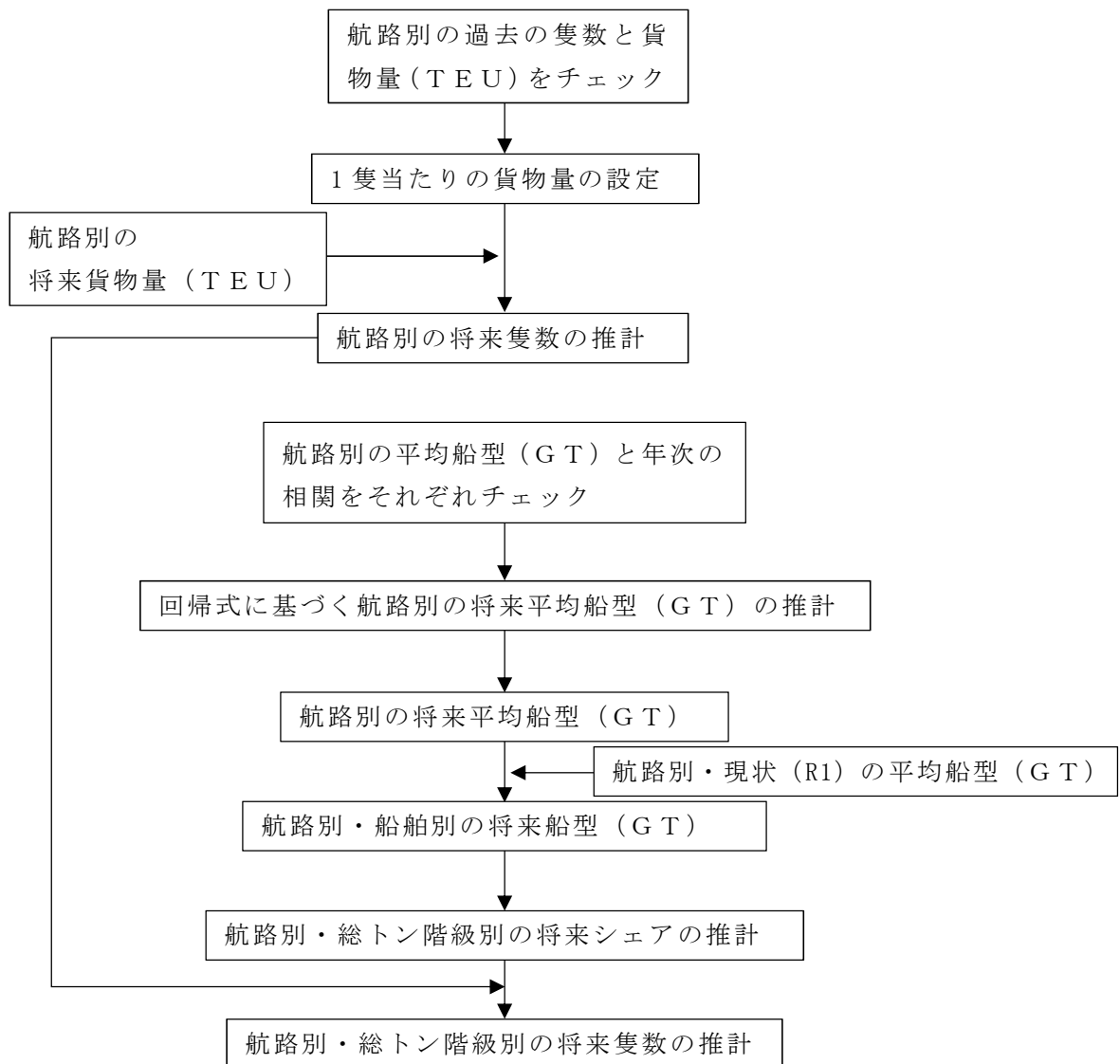


図 II-2-1 隻数の推計フロー

2) 東南アジア航路、中国航路

東南アジア航路、中国航路は、東京港で積卸する貨物の割合が高いため、貨物量と相関を確認し将来入港隻数を設定する

次のフローに従い、入港船舶隻数を推計する。

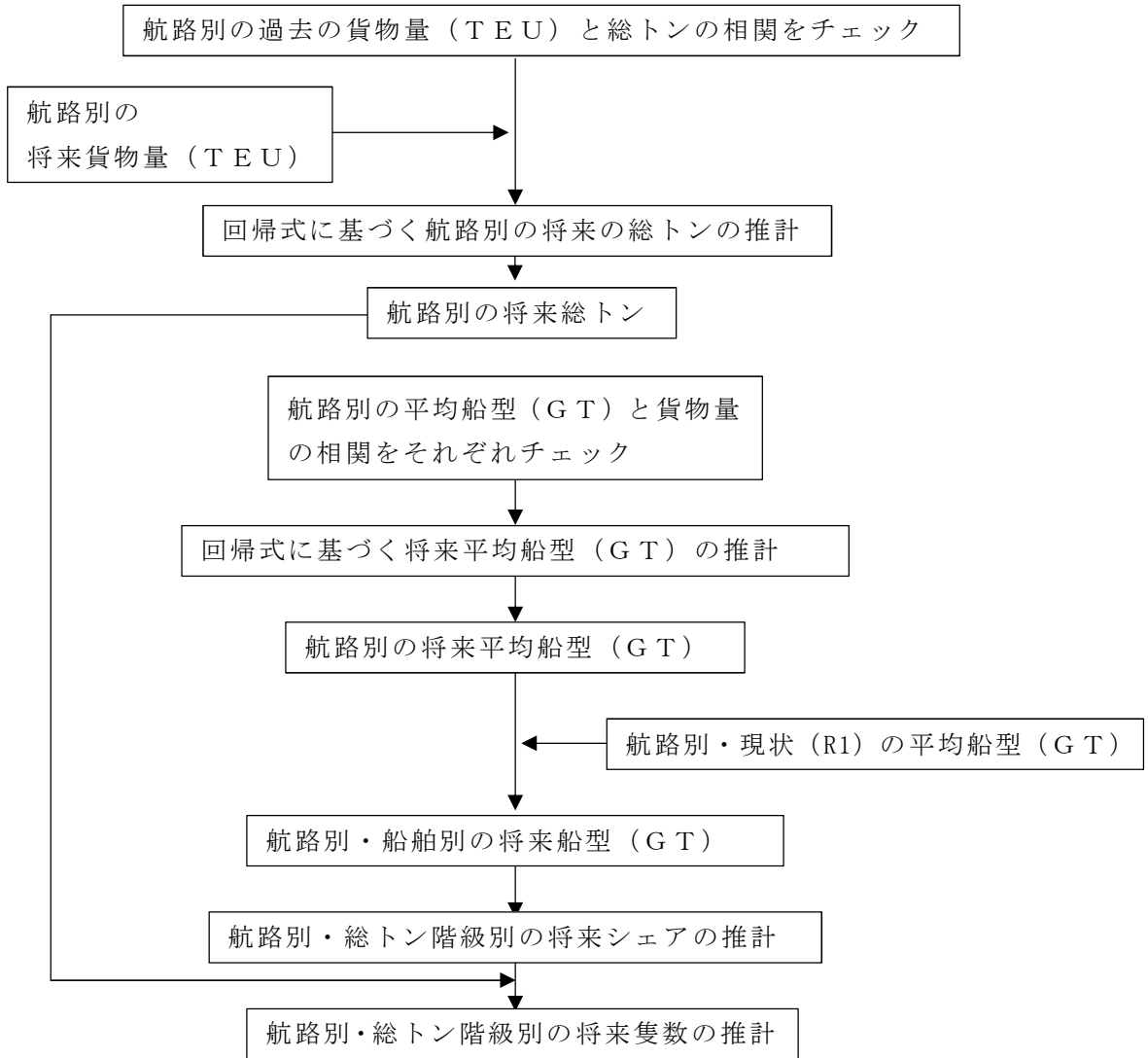


図 II-2-2 隻数の推計フロー

3) オセアニア航路

オセアニア航路は、現状維持とする。

4) 韓国航路

韓国航路は、現状維持とする。

5) 推計結果

表 II -2-4 外航コンテナ船の入港船舶隻数の推計結果

トン階級	実績値										実績値(参考)		単位:隻
	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R17 2035
5~99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
100~499	-	-	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
500~999	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
1,000~2,999	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
3,000~5,999	200	106	135	171	101	98	75	41	60	22	54	45	-
6,000~9,999	2,219	2,395	2,384	2,211	2,219	2,140	2,158	2,213	2,340	2,374	2,278	2,177	517
10,000~19,999	1,075	1,192	892	849	726	840	778	799	774	703	697	738	1,955
20,000~29,999	498	485	527	488	454	497	610	652	518	557	465	411	941
30,000~39,999	152	159	261	318	208	201	204	156	258	252	290	267	642
40,000~49,999	183	155	188	245	336	344	332	358	361	331	274	210	562
50,000~59,999	450	465	428	404	388	266	267	224	220	160	91	60	165
60,000~69,999	132	154	153	151	134	152	146	117	96	28	30	26	49
70,000~79,999	231	150	116	109	89	78	131	231	197	146	95	127	58
80,000~89,999	5	-	19	25	22	19	12	34	40	41	26	13	55
90,000~99,999	79	90	82	79	73	104	122	84	131	235	281	135	152
100,000~109,999	6	15	7	4	5	5	2	16	20	19	19	10	55
110,000~119,999	-	-	-	-	6	21	21	10	8	12	38	34	186
120,000~	-	-	-	-	-	-	-	-	20	30	10	-	127
合計	5,231	5,366	5,194	5,058	4,764	4,767	4,858	4,935	5,043	4,910	4,648	4,253	5,464

(2) 客船

東京クルーズビジョンに基づき設定する。

表 II-2-5 外航客船の入港船舶隻数の推計結果

トン階級	実績値										実績値(参考)			単位:隻	推計方法
	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R17 2035	推計値	
5~99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
100~499	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
500~999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1,000~2,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3,000~5,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6,000~9,999	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-
10,000~19,999	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
20,000~29,999	1	-	4	5	4	3	6	4	6	3	1	-	-	23	-
30,000~39,999	1	-	1	1	4	2	1	-	-	4	-	-	-	20	-
40,000~49,999	-	-	-	-	1	2	1	1	-	13	-	-	-	-	-
50,000~59,999	-	-	-	-	1	1	2	9	24	9	-	-	-	-	-
60,000~69,999	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	25	-
70,000~79,999	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-
80,000~89,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
90,000~99,999	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
100,000~109,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
110,000~119,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-
120,000~	-	-	-	3	3	2	2	-	-	2	-	-	-	54	-
合計	2	-	5	9	15	11	18	16	32	33	1	-	-	142	-

(3) その他貨物船等

各トン階級で現状維持、または時系列対数回帰により設定する。

表 II-2-6 外航その他貨物船等の入港船舶隻数の推計結果

トン階級	実績値										実績値(参考)			単位:隻	推計方法
	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R17 2035	推計値	
5~99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	現状維持(R1)
100~499	3	4	2	3	1	1	1	-	-	1	-	-	-	1	現状維持(R1)
500~999	4	3	5	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	現状維持(R1)
1,000~2,999	457	369	423	327	194	81	74	51	55	43	42	53	3	3	H27-R1時系列対数回帰
3,000~5,999	80	43	41	34	49	86	90	85	47	48	15	31	3	3	H27-R1時系列対数回帰
6,000~9,999	253	245	211	200	208	203	196	125	140	64	95	94	4	4	H27-R1時系列対数回帰
10,000~19,999	67	72	39	52	66	38	52	63	92	79	91	81	129	129	H27-R1時系列対数回帰
20,000~29,999	17	28	20	26	30	35	40	31	33	27	25	18	27	27	現状維持(R1)
30,000~39,999	5	19	8	10	9	13	35	41	40	32	11	10	61	61	H27-R1時系列対数回帰
40,000~49,999	6	6	7	8	6	3	-	2	1	3	11	20	3	3	現状維持(R1)
50,000~59,999	-	-	1	4	-	-	-	5	19	6	6	13	6	6	現状維持(R1)
60,000~69,999	3	2	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	1	1	現状維持(R1)
70,000~79,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	現状維持(R1)
80,000~89,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	現状維持(R1)
90,000~99,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	現状維持(R1)
100,000~109,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	現状維持(R1)
110,000~119,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	現状維持(R1)
120,000~	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	現状維持(R1)
合計	895	791	757	664	564	462	490	404	429	304	296	320	237	237	-

2-3-2 内航船舶

(1) フィーダー船

インセンティブ制度や国際フィーダーの停泊バースの確保などの集貨促進策の展開により、国際フィーダー航路を拡大する。推計では、令和元年（平成 31 年）の 1.2 倍の入港隻数を設定する。

表 II-2-7 内航フィーダー船の入港船舶隻数の推計結果

トン階級	実績値											実績値(参考)			推計方法		
	実績値											実績値(参考)					
	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R17 2035				
5~99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
100~499	622	606	709	570	122	100	231	32	337	366	372	406	439	現状(R1)×1.2倍			
500~999	391	347	441	556	600	417	523	735	978	1,158	1,036	869	1,390	現状(R1)×1.2倍			
1,000~2,999	-	-	-	-	-	-	2	45	128	135	98	95	162	現状(R1)×1.2倍			
3,000~5,999	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
6,000~9,999	145	144	36	-	-	-	51	51	80	74	73	93	89	現状(R1)×1.2倍			
10,000~19,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
20,000~29,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
30,000~39,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
40,000~49,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
50,000~59,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
60,000~	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
合計	1,158	1,101	1,187	1,126	722	517	807	863	1,523	1,733	1,579	1,463	2,080				

(2) RORO船

1) 推計方針

次のフローに従い、入港船舶隻数を設定する。

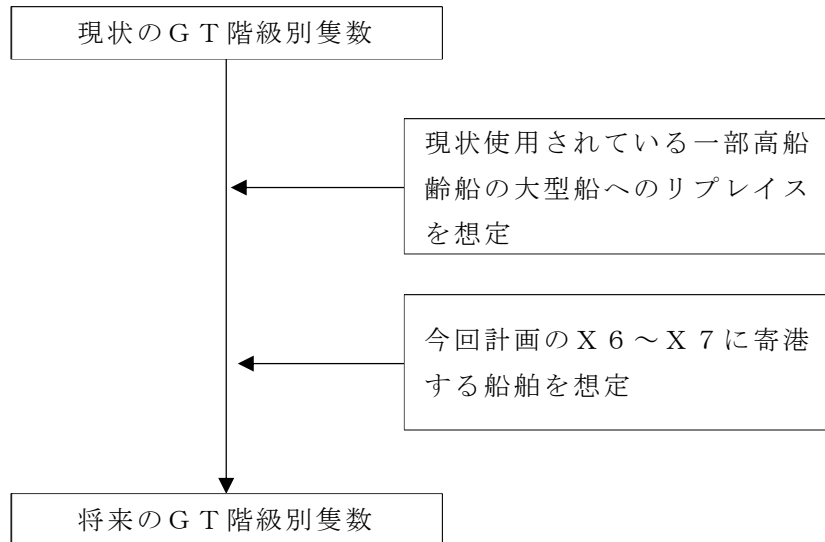


図 II-2-3 RORO船隻数の設定フロー

2) 推計結果

表 II-2-8 内航RORO船の入港船舶隻数の推計結果

トン階級	実績値										実績値(参考)			推計方法				
	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R7 2035					
5～99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
100～499	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
500～999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1,000～2,999	51	46	34	21	10	14	11	7	5	8	10	18	-	-	-	-	大型化及び新規バースを考慮	
3,000～5,999	203	193	182	192	143	113	50	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	大型化及び新規バースを考慮
6,000～9,999	491	494	625	612	645	685	696	630	432	303	144	142	-	-	-	-	-	大型化及び新規バースを考慮
10,000～19,999	811	915	890	959	1,028	1,140	1,215	1,305	1,509	1,688	1,835	1,891	2,415	-	-	-	-	大型化及び新規バースを考慮
20,000～29,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30,000～39,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40,000～49,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50,000～59,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60,000～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1,556	1,649	1,731	1,784	1,826	1,952	1,972	1,967	1,946	1,999	1,989	2,051	2,415	-	-	-	-	-

(3) 客船

東京クルーズビジョンに基づき設定する。

表Ⅱ-2-9 内航客船の入港船舶隻数の推計結果

トン階級	実績値										実績値(参考)			推計値	推計方法
	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R17 2035		
5~99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	東京クルーズビジョンによる
100~499	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
500~999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1,000~2,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3,000~5,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6,000~9,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10,000~19,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20,000~29,999	19	13	20	31	8	13	11	12	8	2	6	3	56		
30,000~39,999	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
40,000~49,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
50,000~59,999	-	-	2	2	2	-	1	5	-	2	-	-	15	-	
60,000~	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	20	13	22	34	10	13	12	17	8	4	6	3	71	-	

(4) フェリー

各トン階級で現状維持として設定する。

表Ⅱ-2-10 フェリーの入港船舶隻数の推計結果

トン階級	実績値										実績値(参考)			推計値	推計方法
	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R17 2035		
5~99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	現状維持(R1)
100~499	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
500~999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1,000~2,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3,000~5,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6,000~9,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10,000~19,999	333	400	334	333	319	332	346	352	347	349	345	348	349	-	
20,000~29,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
30,000~39,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
40,000~49,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
50,000~59,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
60,000~	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	333	400	334	333	319	332	346	352	347	349	345	348	349	-	

(5) その他貨物船等

各トン階級で現状維持、または時系列対数回帰により設定する。

表Ⅱ-2-11 内航その他貨物船等の入港船舶隻数の推計結果

トン階級	実績値										実績値(参考)			推計値	推計方法
	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R17 2035		
5~99	1,128	890	753	488	285	457	348	168	235	291	162	233	260	H27-R1時系列対数回帰	
100~499	11,706	11,479	10,830	11,163	11,582	10,275	9,132	9,697	9,476	8,882	8,077	8,851	7,923	H27-R1時系列対数回帰	
500~999	1,918	2,016	1,994	2,363	2,076	2,255	1,940	2,189	2,194	1,851	1,683	1,660	1,851	現状維持(R1)	
1,000~2,999	1,171	1,270	1,354	1,518	1,497	1,474	1,295	1,571	1,645	1,579	1,064	1,049	1,579	現状維持(R1)	
3,000~5,999	1,003	1,102	1,296	1,254	1,295	1,260	1,249	1,217	1,276	1,241	932	832	1,241	現状維持(R1)	
6,000~9,999	230	227	232	239	239	150	101	88	97	80	252	394	20	H27-R1時系列対数回帰	
10,000~19,999	60	54	54	62	65	72	97	120	123	124	120	118	179	H27-R1時系列対数回帰	
20,000~29,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	現状維持(R1)	
30,000~39,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	現状維持(R1)	
40,000~49,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	現状維持(R1)	
50,000~59,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	現状維持(R1)	
60,000~	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	現状維持(R1)	
合計	17,216	17,038	16,513	17,087	17,039	15,943	14,162	15,050	15,046	14,049	12,290	13,137	13,054	-	

2-3-3 推計結果のまとめ

(1) 外航船

表 II-2-12 外航船舶の入港船舶隻数の設定

外内別	種別	トン階級	実績値											実績値(参考)			単位:隻			
			H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R17 2035	推計値				
外航船	合計	5~99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		100~499	3	4	4	6	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
		500~999	4	3	5	1	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1,000~2,999	458	369	423	327	195	82	74	51	55	43	42	53	3	-	-	-	-	3
		3,000~5,999	280	149	176	205	150	184	165	126	107	70	69	76	3	-	-	-	-	3
		6,000~9,999	2,472	2,640	2,595	2,411	2,427	2,343	2,354	2,338	2,482	2,439	2,373	2,271	521	-	-	-	-	521
		10,000~19,999	1,142	1,264	931	901	793	878	832	862	866	782	788	819	2,084	-	-	-	-	2,084
		20,000~29,999	516	513	551	519	488	535	656	687	557	587	491	429	991	-	-	-	-	991
		30,000~39,999	158	178	270	329	221	216	240	197	298	288	301	277	723	-	-	-	-	723
		40,000~49,999	189	161	195	253	343	349	333	361	362	347	285	230	565	-	-	-	-	565
		50,000~59,999	450	465	429	408	389	267	269	238	263	175	97	73	171	-	-	-	-	171
		60,000~69,999	135	156	153	151	134	154	148	118	97	29	30	26	75	-	-	-	-	75
		70,000~79,999	231	150	116	109	89	78	133	233	197	146	95	127	58	-	-	-	-	58
		80,000~89,999	5	-	19	25	22	19	12	34	40	41	26	13	55	-	-	-	-	55
		90,000~99,999	79	90	82	79	74	104	123	84	131	236	281	135	152	-	-	-	-	152
		100,000~109,999	6	15	7	4	5	5	2	16	20	19	19	10	55	-	-	-	-	55
		110,000~119,999	-	-	-	-	6	21	21	10	8	12	38	34	186	-	-	-	-	186
120,000~	-	-	-	3	3	2	2	2	20	32	10	10	206	-	-	-	-	206		
合計		6,128	6,157	5,956	5,731	5,343	5,240	5,366	5,355	5,504	5,247	4,945	4,573	5,843	-	-	-	-	5,843	
外航	うちコンテナ船	5~99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		100~499	-	-	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		500~999	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1,000~2,999	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		3,000~5,999	200	106	135	171	101	98	75	41	60	22	54	45	-	-	-	-	-	-
		6,000~9,999	2,219	2,395	2,384	2,211	2,219	2,140	2,158	2,213	2,340	2,374	2,278	2,177	517	-	-	-	-	517
		10,000~19,999	1,075	1,192	892	849	726	840	778	799	774	703	697	738	1,955	-	-	-	-	1,955
		20,000~29,999	498	485	527	488	454	497	610	652	518	557	465	411	941	-	-	-	-	941
		30,000~39,999	152	159	261	318	208	201	204	156	258	252	290	267	642	-	-	-	-	642
		40,000~49,999	183	155	188	245	336	344	332	358	361	331	274	210	562	-	-	-	-	562
		50,000~59,999	450	465	428	404	388	266	267	224	220	160	91	60	165	-	-	-	-	165
		60,000~69,999	132	154	153	151	134	152	146	117	96	28	30	26	49	-	-	-	-	49
		70,000~79,999	231	150	116	109	89	78	131	231	197	146	95	127	58	-	-	-	-	58
		80,000~89,999	5	-	19	25	22	19	12	34	40	41	26	13	55	-	-	-	-	55
		90,000~99,999	79	90	82	79	73	104	122	84	131	235	281	135	152	-	-	-	-	152
		100,000~109,999	6	15	7	4	5	5	2	16	20	19	19	10	55	-	-	-	-	55
		110,000~119,999	-	-	-	-	6	21	21	10	8	12	38	34	186	-	-	-	-	186
120,000~	-	-	-	-	3	2	2	2	20	30	10	10	127	-	-	-	-	127		
小計		5,231	5,366	5,194	5,058	4,764	4,767	4,858	4,935	5,043	4,910	4,648	4,253	5,464	-	-	-	-	5,464	
うち客船	うち客船	5~99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		100~499	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		500~999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1,000~2,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		3,000~5,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		6,000~9,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-
		10,000~19,999	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		20,000~29,999	1	-	4	5	4	3	6	4	6	3	1	-	23	-	-	-	-	23
		30,000~39,999	1	-	1	1	4	2	1	-	-	4	-	-	20	-	-	-	-	20
		40,000~49,999	-	-	-	-	1	2	1	1	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-
		50,000~59,999	-	-	-	-	1	1	2	9	24	9	-	-	-	-	-	-	-	-
		60,000~69,999	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	25
		70,000~79,999	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		80,000~89,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		90,000~99,999	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		100,000~109,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		110,000~119,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	20
120,000~	-	-	-	3	3	2	2	-	-	2	-	-	54	-	-	-	-	54		
小計		2	-	5	9	15	11	18	16	32	33	1	142	-	-	-	-	142		
その他貨物船等	その他貨物船等	5~99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		100~499	3	4	2	3	1	1	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	1
		500~999	4	3	5	-	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		1,000~2,999	457	369	423	327	194	81	74	51	55	43	42	53	3	-	-	-	-	3
		3,000~5,999	80	43	41	34	49	86	90	85	47	48	15	31	3	-	-	-	-	3
		6,000~9,999	253	245	211	200	208	203	196	125	140	64	95	94	4	-	-	-	-	4
		10,000~19,999	67	72	39	52	66	38	52	63	92	79	91	81	129	-	-	-	-	129
		20,000~29,999	17	28	20	26	30	35	40	31	33	27	25	18	27	-	-	-	-	27
		30,000~39,999	5	19	8	10	9	13	35	41	40	32	11	10	61	-	-	-	-	61
		40,000~49,999	6	6	7	8	6	3	-	2	1	3	11	20	3	-	-	-	-	3
		50,000~59,999	-	-	1	4	-	-	-	5	19	6	6	13	6	-	-	-	-	6
		60,000~69,999	3	2	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	1
		70,000~79,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		80,000~89,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		90,000~99,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100,000~109,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		110,000~119,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
120,000~	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
小計		895	791	757	664	564	462	490	404	429	304	296	320	237	-	-	-	-	237	

(2) 内航船

表Ⅱ-2-13 内航船舶の入港船舶隻数の設定

外内別	種別	トン階級	実績値											実績値(参考)			単位:隻
			H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R17 2035	推計値	
内航船 合計		5~99	1,128	890	753	488	285	457	348	168	235	291	162	233	260	-	
		100~499	12,328	12,086	11,539	11,733	11,704	10,375	9,363	9,729	9,813	9,248	8,449	9,257	8,362	-	
		500~999	2,309	2,363	2,435	2,919	2,676	2,672	2,463	2,924	3,172	3,009	2,719	2,529	3,241	-	
		1,000~2,999	1,222	1,316	1,388	1,539	1,507	1,488	1,308	1,623	1,778	1,722	1,172	1,162	1,741	-	
		3,000~5,999	1,206	1,299	1,479	1,446	1,438	1,373	1,299	1,242	1,276	1,241	932	832	1,241	-	
		6,000~9,999	866	865	893	851	884	835	848	769	609	458	469	629	109	-	
		10,000~19,999	1,204	1,369	1,278	1,354	1,412	1,544	1,658	1,777	1,979	2,161	2,300	2,357	2,943	-	
		20,000~29,999	19	13	20	31	8	13	11	12	8	3	6	3	57	-	
		30,000~39,999	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		40,000~49,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		50,000~59,999	-	-	2	2	2	-	1	5	-	2	-	-	15	-	
		60,000~	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		合計		20,283	20,201	19,787	20,364	19,916	18,757	17,299	18,249	18,870	18,135	16,209	17,002	17,969	
		内航	うちフィーダー船	5~99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
100~499	622			606	709	570	122	100	231	32	337	366	372	406	439		
500~999	391			347	441	556	600	417	523	735	978	1,158	1,036	869	1,390		
1,000~2,999	-			-	-	-	-	-	2	45	128	135	98	95	162		
3,000~5,999	-			4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
6,000~9,999	145			144	36	-	-	-	51	51	80	75	73	93	89		
10,000~19,999	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
20,000~29,999	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
30,000~39,999	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
40,000~49,999	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
50,000~59,999	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
60,000~	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
小計				1,158	1,101	1,187	1,126	722	517	807	863	1,523	1,734	1,579	1,463	2,080	
うちRORO船	5~99			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100~499		-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	500~999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	1,000~2,999		51	46	34	21	10	14	11	7	5	8	10	18	-		
	3,000~5,999		203	193	182	192	143	113	50	25	-	-	-	-	-		
	6,000~9,999		491	494	625	612	645	685	696	630	432	303	144	142	-		
	10,000~19,999		811	915	890	959	1,028	1,140	1,215	1,305	1,509	1,688	1,835	1,891	2,415		
	20,000~29,999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	30,000~39,999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	40,000~49,999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	50,000~59,999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	60,000~		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	小計			1,556	1,649	1,731	1,784	1,826	1,952	1,972	1,967	1,946	1,999	1,989	2,051	2,415	
	うち客船(クルーズ)		5~99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
100~499			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
500~999			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
1,000~2,999			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
3,000~5,999			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
6,000~9,999			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
10,000~19,999			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
20,000~29,999			19	13	20	31	8	13	11	12	8	2	6	3	56		
30,000~39,999		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
40,000~49,999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
50,000~59,999		-	-	2	2	2	-	1	5	-	2	-	-	15			
60,000~		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
小計			20	13	22	34	10	13	12	17	8	4	6	3	71		
うち内航フェリー		5~99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	100~499	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	500~999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	1,000~2,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	3,000~5,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	6,000~9,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	10,000~19,999	333	400	334	333	319	332	346	352	347	349	345	348	349			
	20,000~29,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	30,000~39,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	40,000~49,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	50,000~59,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	60,000~	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	小計		333	400	334	333	319	332	346	352	347	349	345	348	349		
	その他貨物船等	5~99	1,128	890	753	488	285	457	348	168	235	291	162	233	260		
100~499		11,706	11,479	10,830	11,163	11,582	10,275	9,132	9,697	9,476	8,882	8,077	8,851	7,923			
500~999		1,918	2,016	1,994	2,363	2,076	2,255	1,940	2,189	2,194	1,851	1,683	1,660	1,851			
1,000~2,999		1,171	1,270	1,354	1,518	1,497	1,474	1,295	1,571	1,645	1,579	1,064	1,049	1,579			
3,000~5,999		1,003	1,102	1,296	1,254	1,295	1,260	1,249	1,217	1,276	1,241	932	832	1,241			
6,000~9,999		230	227	232	239	239	150	101	88	97	80	252	394	20			
10,000~19,999		60	54	54	62	65	72	97	120	123	124	120	118	179			
20,000~29,999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1			
30,000~39,999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
40,000~49,999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
50,000~59,999		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
60,000~		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
小計			17,216	17,038	16,513	17,087	17,039	15,943	14,162	15,050	15,046	14,049	12,290	13,137	13,054		

3. 港湾利用者数

3-1 港湾利用者数の設定の方針

以下のフローに従い、港湾利用者数を設定する。

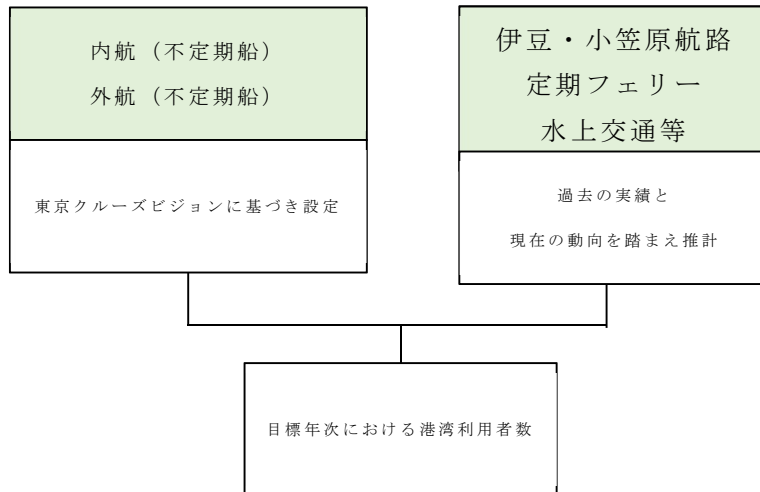


図 II-3-1 港湾利用者数の設定フロー

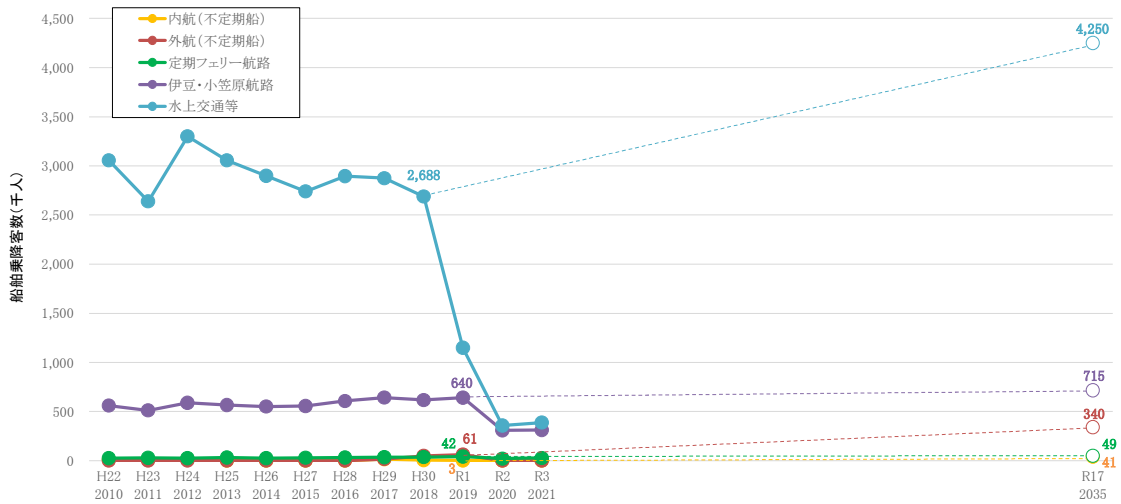
3-2 港湾利用者数の設定

港湾利用者数の推計方法及び推計結果は、次のとおりである。

表Ⅱ-3-1 港湾利用者数の推計方法

種類	実績値										実績値(参考)			推計値	推計方法
	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R17 2035		
内航(不定期船)	8	11	13						16	5	3	1	1	41	東京クルーズビジョン(H26)による
外航(不定期船)	1	1	2						17	48	61	0	0	340	東京クルーズビジョン(H26)による
定期フェリー航路	26	29	26	32	26	30	32	35	36	42	21	27		49	過去5年間の対数近似にて推計(相関係数R=0.897)
伊豆・小笠原航路	560	512	589	565	551	556	607	642	617	640	310	313		715	過去5年間の対数近似にて推計(相関係数R=0.908)
水上交通等	3,056	2,639	3,300	3,055	2,899	2,740	2,895	2,875	2,688	1,148	357	388		4,250	過去の最大値(H24:330万人)に新規船着場の運用等を考慮し推計
合計	3,652	3,192	3,930	3,652	3,476	3,326	3,534	3,584	3,394	1,894	689	729		5,395	

※ 内航(不定期航路)、外航(不定期航路)の平成25年～平成28年はデータが不足しているため、空欄とする。
 ※ 水上交通等の令和元年のデータは、新型コロナウイルス感染症の影響により一部データが集計できていないため、平成30を基準年とする。



図Ⅱ-3-2 港湾利用者数の推計結果

Ⅲ 港湾施設の規模及び配置

目次

III 港湾施設の規模及び配置	III-1
1. 公共埠頭計画	III-1
1-1 公共埠頭計画	III-1
1-2 外内貿コンテナ埠頭計画	III-16
1-3 内貿ユニットロード埠頭計画	III-25
1-4 外貿埠頭計画	III-30
1-5 内貿埠頭計画	III-34
2. 旅客船埠頭計画	III-39
2-1 旅客船埠頭の現況	III-39
2-2 旅客船埠頭計画の必要性	III-39
2-3 旅客船埠頭の規模及び配置	III-40
3. 旅客船埠頭（小型棧橋）計画	III-42
3-1 旅客船埠頭（小型棧橋等）の現況	III-42
3-2 旅客船埠頭（小型棧橋等）計画の必要性	III-43
3-3 旅客船埠頭（小型棧橋等）の規模及び配置	III-44
4. 木材取扱施設計画	III-47
4-1 木材取扱施設の現況	III-47
4-2 木材取扱施設の規模及び配置	III-47
5. 専用埠頭計画	III-49
5-1 専用埠頭の現況	III-49
5-2 専用埠頭計画の必要性	III-50
5-3 専用埠頭の規模及び配置	III-50
6. 水域施設計画	III-52
6-1 航路計画	III-52
6-2 泊地計画	III-54
6-3 操船例図	III-57

7. 外郭施設計画	III-70
7-1 防波堤計画.....	III-70
8. 小型船だまり計画	III-77
8-1 小型船だまりの現況.....	III-77
8-2 小型船だまり計画.....	III-78
9. 臨港交通施設計画	III-79
9-1 臨港道路の現況.....	III-79
9-2 臨港道路計画の必要性.....	III-79
9-3 臨港道路計画の変更.....	III-79
9-4 交通対策.....	III-79
10. マリーナ計画	III-81
10-1 マリーナの現況.....	III-81
10-2 マリーナ計画.....	III-82

III 港湾施設の規模及び配置

1. 公共埠頭計画

1-1 公共埠頭計画

1-1-1 公共埠頭の現況

(1) 公共埠頭の現況

公共埠頭の現況は、次のとおりである。

表III-1-1 (1) 公共埠頭の現況 (令和元年)

地区	施設諸元	主要取扱貨物	主要航路
内 港 地 区	竹芝埠頭 【旅客船】 竹芝貨客船 ^{※1} -7.5m×465m (3B)	取合せ品：42千トン 水産品：20千トン その他畜産品：8千トン その他：13千トン 合計：83千トン	【離島航路】 伊豆諸島・ 小笠原航路
	日の出埠頭 【旅客船】 日の出貨客船 ^{※1} -6.7m×564m (6B)	非鉄金属：35千トン 化学薬品：2千トン 合計：37千トン	
	芝浦埠頭 【内貿】 芝浦内貿雑貨 -5.5m×90m (1B) 芝浦内貿雑貨 -7.5m×780m (6B) 芝浦物揚場 -2.7m×711m (1B)	セメント：454千トン その他食料工業品： 142千トン 紙・パルプ：84千トン その他：143千トン 合計：823千トン	
	月島埠頭 【内貿】 月島物揚場 -3.0m×730m (2B)	金属くず：3千トン 再利用資材：3千トン 金属製品：2千トン その他：9千トン 合計：17千トン	
	品川埠頭 【内貿ユニットロード】 品川 -8.5m×856m (4B) 一部工事中 ^{※2} 【外貿】 品川多目的 -10.0m×190m (1B) 【外内貿コンテナ】 品川 -10.0m×555m (2B)	完成自動車：1,185千トン 取合せ品：952千トン 紙・パルプ：751千トン その他：4,174千トン 合計：7,062千トン	【外貿コンテナ】 東南アジア航路、 中国航路、 韓国航路 【内貿RORO】 北海道航路

※1 「竹芝貨客船」及び「日の出貨客船」は、2.旅客船埠頭計画で計画

※2 令和4年時点一部工事中

表Ⅲ-1-1 (2) 公共埠頭の現況 (令和元年)

地区	施設諸元	主要取扱貨物	主要航路	
南部地区	大井埠頭 その1	【外内貿コンテナ】 大井 -15.0m×2,354m (7B) 【外貿】 大井水産 -12.0m×450m (2B) 大井食品 -12.0m×225m (1B)、 -11.0m×380m (2B)	その他化学工業品： 2,310千トン 産業機械：2,134千トン 衣服・身廻品・はきもの： 2,073千トン その他：20,066千トン 合計：26,582千トン	【外貿コンテナ】 北米航路、 欧州航路、 オセアニア航路、 東南アジア航路、 中国航路、 韓国航路
	大井埠頭 その2	【内貿】 大井その2建材 -5.0m×280m (4B) ^{※1} 大井その2建設発生土 -7.5m×130m (1B)	廃土砂：874千トン 石材：622千トン 砂利・砂：588千トン その他：155千トン 合計：2,239千トン	
中部地区	13号地 (青海)	【外内貿コンテナ】 13号地 -13.0m×520m (2B)、 -15.0m×1,050m (3B) 【外貿】 お台場ライナー -10.0m×1,800m (9B)	衣服・身廻品・はきもの： 2,004千トン 電気機械：1,623千トン その他化学工業品： 1,162千トン その他：11,772千トン 合計：16,561千トン	【外貿コンテナ】 北米航路、 オセアニア航路、 東南アジア航路、 中国航路、 韓国航路
	10号地 その1	【内貿】 10号地その1西側多目的 -7.5m×180m (1B)	産業機械：0.1千トン 合計：0.1千トン	
	10号地 その2	【内貿ユニットロード】 10号地その2(西) -7.5m×1,500m (11B) 【内貿】 10号地その2(東)内貿雑貨 -5.0m×920m (13B) 10号地その2多目的 (フェリー) -7.5~8.5m×681m (3B) 一部工事中 ^{※2}	完成自動車： 12,391千トン 取合せ品： 3,074千トン 紙・パルプ：480千トン その他：1,559千トン 合計：17,504千トン	【内貿RORO】 九州航路、 沖縄航路

※1 令和4年時点工事中

※2 令和4年時点一部工事中

表Ⅲ-1-1 (3) 公共埠頭の現況 (令和元年)

地区	施設諸元	主要取扱貨物	主要航路	
東 部 地 区	辰巳埠頭	【内貿】 辰巳内貿雑貨 -5.0m×1,040m (13B)	鋼材：178千トン 取合せ品：35千トン 産業機械：22千トン その他：151千トン 合計：386千トン	
	15号地	【外貿】 15号地木材 -12.0m×720m (3B) 【内貿ユニットロード】 15号地 (暫定) -9.0m×190m (1B) 【内貿】 若洲建材・製材 -5.5m×370m (4B)	砂利・砂：419千トン 取合せ品：222千トン 非金属鉱物：151千トン その他：634千トン 合計：1,426千トン	【内貿RORO】 沖縄航路
中 央 防 波 堤 地 区	中央防波堤内側	【外貿】 中防内ばらもの -12.0m×240m (1B) 【内貿ユニットロード】 中防内 -9.0m×460m (2B) 【内貿】 中防内建設発生土 -7.5m×160m (1B)	廃土砂：183千トン 輸送用容器：174千トン その他日用品：120千トン その他：994千トン 合計：1,471千トン	【内貿RORO】 北海道航路
	中央防波堤外側	【外内貿コンテナ】※1 中防外 -11.0m×230m (1B)、 -16.0m×400m (1B) 工事中※2	衣服・身廻品・はきもの： 361千トン 電気機械：223千トン 再利用資材：207千トン その他：1,385千トン 合計：2,176千トン	【外貿コンテナ】 中国航路

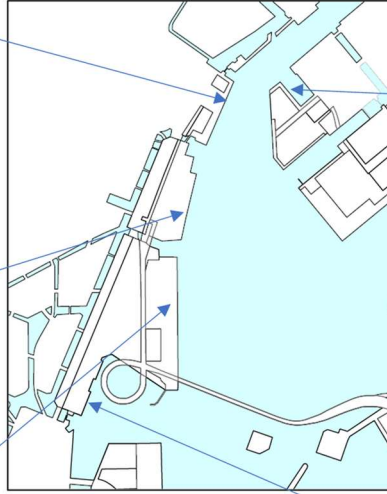
※1 令和4年時点工事中 (新規バースY3 (-16.0~16.5m×400m (1B)))

※2 令和2年工事完了Y2 (-16.0m×400m (1B))

施設名	竹芝貨客船 ※1				
	規模		465 m		
品目	輸出	輸入	移出	移入	
野菜・果物	-	-	5	-	-
その他畜産品	-	-	8	-	-
水産品	-	-	8	11	-
製材	-	-	0	-	-
金属製品	-	-	0	0	-
完成自動車	-	-	0	-	-
二輪自動車	-	-	0	0	-
産業機械	-	-	0	-	-
セメント	-	-	0	-	-
医薬品	-	-	0	-	-
製造食品	-	-	0	-	-
飲料	-	-	2	-	-
その他日用品	-	-	3	1	-
再利用資材	-	-	-	0	-
動植物性製造飼料	-	-	0	-	-
輸送用容器	-	-	1	-	-
取合せ品	-	-	29	14	-
小計	-	-	57	26	-
合計	-	-	83	-	-
利用水準(t/m)	-	-	179	-	-

施設名	日の出賃客船 ※1				
	規模		564 m		
品目	輸出	輸入	移出	移入	
非鉄金属	-	-	-	35	-
化学薬品	-	-	-	2	-
小計	-	-	-	37	-
合計	-	-	37	-	-
利用水準(t/m)	-	-	66	-	-

施設名	芝浦内貨雑貨				
	規模		870 m		
品目	輸出	輸入	移出	移入	
砂利・砂	-	-	-	3	-
石材	-	-	-	9	-
完成自動車	-	-	2	1	-
産業機械	-	-	2	0	-
セメント	-	-	-	444	-
化学薬品	-	-	-	35	-
紙・パルプ	-	-	2	82	-
その他食料工業品	-	-	-	142	-
取合せ品	-	-	13	2	-
小計	-	-	19	718	-
合計	-	-	738	-	-
利用水準(t/m)	-	-	848	-	-



(貨物量の単位:千トン)

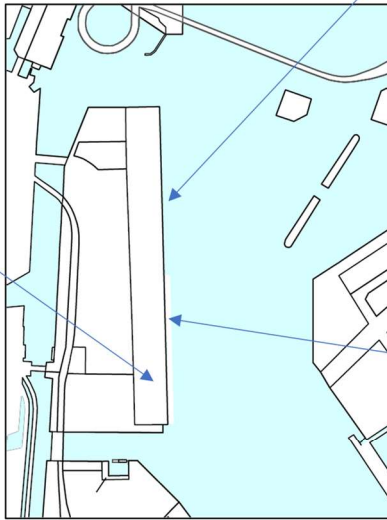
施設名	月島物揚場				
	規模		730 m		
品目	輸出	輸入	移出	移入	
野菜・果物	-	-	0	-	-
製材	-	-	0	-	-
木材チップ	-	-	-	1	-
砂利・砂	-	-	0	-	-
鋼材	-	-	1	-	-
金属製品	-	-	2	1	-
完成自動車	-	-	1	1	-
二輪自動車	-	-	0	0	-
産業機械	-	-	0	0	-
セメント	-	-	1	-	-
ガラス類	-	-	0	-	-
医薬品	-	-	1	0	-
化学薬品	-	-	0	-	-
その他石油製品	-	-	0	-	-
化学薬品	-	-	0	-	-
その他化学工業品	-	-	1	0	-
砂糖	-	-	0	-	-
製造食品	-	-	0	-	-
飲料	-	-	0	-	-
その他日用品	-	-	0	-	-
ゴム製品	-	-	0	-	-
木製品	-	-	0	0	-
金属くず	-	-	-	3	-
再利用資材	-	-	-	3	-
廃棄物	-	-	-	0	-
塵土砂	-	-	-	0	1
輸送用容器	-	-	0	1	-
取合せ品	-	-	0	-	-
小計	-	-	7	9	-
合計	-	-	17	-	-
利用水準(t/m)	-	-	23	-	-

施設名	芝浦物揚場				
	規模		711 m		
品目	輸出	輸入	移出	移入	
野菜・果物	-	-	0	-	-
製材	-	-	9	1	-
木材チップ	-	-	-	0	-
その他林産品	-	-	-	0	-
金属製品	-	-	9	1	-
完成自動車	-	-	7	2	-
産業機械	-	-	2	1	-
セメント	-	-	10	-	-
医薬品	-	-	3	-	-
化学薬品	-	-	3	-	-
その他の石油	-	-	4	-	-
LPG/液化石油ガス	-	-	4	-	-
製造食品	-	-	1	-	-
飲料	-	-	1	-	-
がん具	-	-	-	0	-
その他日用品	-	-	2	1	-
再利用資材	-	-	-	7	-
動植物性製造飼料	-	-	1	-	-
輸送用容器	-	-	7	4	-
取合せ品	-	-	3	6	-
小計	-	-	62	23	-
合計	-	-	85	-	-
利用水準(t/m)	-	-	120	-	-

※1 「竹芝貨客船」及び「日の出賃客船」は、2.旅客船埠頭計画で計画

図III-1-1 公共埠頭取扱状況図(内港地区(1):品川埠頭除く)(令和元年)

施設名 品目	品川(外内賃コンテナ)			
	-10.0m × 2B		555 m	
	輸出	輸入	移出	移入
麦	-	0	-	-
米	-	0	-	-
豆類	-	1	-	-
野菜・果物	1	93	-	0
棉花	0	-	-	-
その他農産品	0	20	-	0
羊毛	-	0	-	-
その他畜産品	3	20	-	-
水産品	8	73	-	-
原木	0	0	-	-
製材	1	37	-	-
樹脂類	0	0	-	-
木材チップ	-	0	-	5
その他林産品	-	0	-	-
精炭	-	10	-	-
石炭	0	3	-	-
鉄鉱石	-	0	-	-
金属鉱	-	0	-	-
砂・土・砂	0	2	-	-
石材	1	5	-	-
原塩	-	0	-	-
非金属鉱物	4	16	-	-
鉄鋼	1	2	-	-
銅材	13	41	-	-
非鉄金属	5	30	-	-
金属製品	18	149	-	-
製造車両	0	-	-	-
完成自動車	0	1	-	-
二輪自動車	0	9	-	-
自動車部品	19	64	-	-
その他輸送機械	1	9	-	-
産業機械	81	145	1	1
電気機械	44	368	-	-
測量・光学・医療用機械	10	29	-	-
事務用機器	1	18	-	-
その他機械	1	1	-	-
陶磁器	0	4	-	-
セメント	0	1	-	0
ガラス類	8	31	-	0
窯業品	10	23	-	-
その他の石油	2	2	-	-
LNG/液化天然ガス	-	0	-	-
LPG/液化石油ガス	-	2	-	-
その他石油製品	0	1	-	-
コークス	-	0	-	-
石炭製品	0	0	-	-
化学製品	27	83	-	0
化学肥料	0	12	-	-
その他化学工業品	172	316	-	0
紙・パルプ	15	66	-	-
糸及び紡績半製品	0	9	-	-
その他繊維工業品	6	54	-	-
砂糖	0	2	-	-
製造食品	11	295	-	-
飲料	1	76	-	-
次	1	17	-	-
たばこ	-	8	-	-
その他食料工業品	0	2	-	-
がん昆	3	22	-	-
衣服・身用品・はきもの	29	447	-	-
文房具・運動用品・楽器	12	58	-	-
家具装飾品	5	170	-	0
その他日用品	7	38	-	-
ゴム製品	13	44	-	-
木製品	4	138	-	-
その他製造工業品	25	39	-	-
金属くず	35	3	-	-
再利用資材	143	2	-	-
動植物性製造飼料	1	12	-	-
輸送用容器	19	87	-	-
取合せ品	5	7	-	-
小計	766	3,217	1	6
合計		3,990		
利用率(t/m)		7,189		



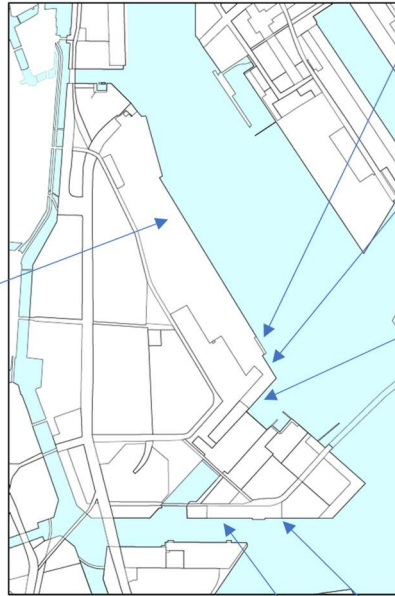
(貨物量の単位：千トン)

施設名 品目	品川(内賃ユニットロード)			
	-8.5m × 4B		856 m	
	輸出	輸入	移出	移入
完成自動車	-	-	815	368
その他輸送機械	-	-	35	24
紙・パルプ	-	-	104	563
再利用資材	-	-	144	-
取合せ品	-	-	677	264
小計	-	-	1,775	1,217
合計			2,992	
利用率(t/m)			3,495	

施設名 品目	品川多目的			
	-10.0m × 1B		190 m	
	輸出	輸入	移出	移入
野菜・果物	-	2	-	-
その他農産品	-	0	-	-
水産品	-	0	-	-
製材	-	3	-	-
石材	-	0	-	-
非金属鉱物	-	0	-	-
鋼材	0	2	-	-
非鉄金属	0	0	-	-
金属製品	0	3	-	-
完成自動車	1	1	-	-
その他輸送用車両	-	1	-	-
二輪自動車	0	-	-	-
自動車部品	-	1	-	-
産業機械	7	1	-	-
電気機械	1	5	-	-
測量・光学・医療用機械	0	0	-	-
事務用機器	-	0	-	-
その他機械	-	0	-	-
陶磁器	0	0	-	-
ガラス類	0	0	-	-
窯業品	0	0	-	-
その他の石油	0	-	-	-
化学製品	0	0	-	-
その他化学工業品	1	5	-	-
紙・パルプ	0	2	-	-
その他繊維工業品	0	0	-	-
砂糖	-	0	-	-
製造食品	-	7	-	-
飲料	0	0	-	-
たばこ	-	13	-	-
がん昆	-	0	-	-
衣服・身用品・はきもの	0	14	-	-
文房具・運動用品・楽器	0	1	-	-
家具装飾品	-	0	-	-
その他日用品	0	0	-	-
ゴム製品	0	0	-	-
木製品	0	1	-	-
その他製造工業品	-	0	-	-
動植物性製造飼料	-	0	-	-
輸送用容器	0	5	-	-
小計	9	70	-	-
合計		80		
利用率(t/m)		420		

図Ⅲ-1-2 公共埠頭取扱状況図(内港地区(2):品川埠頭)(令和元年)

施設名 規模	大井			
	-15.0m × 7B		2,354 m	
品目	輸出	輸入	移出	移入
麦	-	19	7	-
米	3	10	0	-
とうもろこし	0	9	0	-
豆類	0	105	11	0
その他雑穀	-	4	0	-
野菜・果物	17	658	44	4
棉花	0	0	-	0
その他農産品	6	154	5	-
羊毛	-	0	0	-
その他畜産品	8	1,341	6	0
水産品	112	583	9	7
原木	0	1	0	-
木材	3	317	2	-
樹脂類	0	28	0	-
木材チップ	0	3	-	-
その他林産品	0	0	-	-
煤炭	0	21	-	-
石炭	0	27	-	-
鉄鉱石	-	0	-	-
金属鉱物	0	5	2	-
砂利・砂	0	8	0	-
石材	1	38	0	-
原油	-	2	-	-
石灰石	0	0	-	-
原塩	0	7	-	-
非金属鉱物	5	40	0	-
鉄鋼	14	21	0	-
鋼材	128	38	0	0
非鉄金属	60	80	4	-
金属製品	196	645	1	1
鉄道車両	0	3	-	-
完成自動車	51	17	0	0
その他輸送用車両	1	31	0	-
二輪自動車	24	47	-	-
自動車部品	1,284	495	4	1
その他輸送機械	56	117	0	-
産業機械	1,379	747	3	4
電気機械	510	1,230	1	1
測量・光学・医療用機械	164	167	0	0
事務用機器	24	73	-	0
その他機械	6	14	-	-
陶磁器	6	90	-	-
セメント	0	11	-	-
ガラス類	34	78	0	0
産業品	76	98	2	1
揮発油	-	0	-	-
その他の石油	16	12	-	-
LNG/液化天然ガス	-	0	-	-
その他石油製品	4	9	0	-
コークス	-	1	-	-
石炭製品	6	0	-	-
化学製品	187	293	2	1
化学肥料	2	19	0	0
その他化学工業品	1,042	1,282	4	1
紙・パルプ	152	404	7	-
糸及び紡績半製品	5	22	0	0
その他繊維工業品	34	122	0	0
砂糖	0	33	2	-
製造食品	191	1,344	11	0
飲料	40	482	7	0
水	6	111	-	-
たばこ	0	67	0	-
その他食料工業品	0	111	2	-
がん具	17	247	-	-
衣服・身用品・はきもの	60	2,011	2	0
文房具・筆記具・文具・美術	73	300	0	0
家具装飾品	53	859	0	0
その他日用品	92	162	2	0
ゴム製品	324	245	0	0
木製品	5	434	1	-
その他製造工業品	135	128	0	0
金属くず	32	37	0	-
再利用資材	865	21	-	-
動植物性製造飼料	8	699	19	-
輸送用容器	119	467	2	-
取合せ品	117	73	250	652
小計	7,758	17,357	415	675
合計		26,205		
利用水準(t/m)		11,132		



(貨物量の単位：千トン)

施設名 大井水産				
規模	-12.0m × 2B		450 m	
品目	輸出	輸入	移出	移入
動物性製造飼料	0	-	0	-
小計	0	-	0	-
合計		0		
利用水準(t/m)		0		

施設名 大井食品				
規模	-12.0m × 1B		225 m	
品目	輸出	輸入	移出	移入
麦	-	190	-	76
小計	-	190	-	76
合計		266		
利用水準(t/m)		1,184		

施設名 大井食品				
規模	-11.0m × 2B		380 m	
品目	輸出	輸入	移出	移入
麦	-	-	1	1
野菜・果物	-	109	-	-
小計	-	109	1	1
合計		110		
利用水準(t/m)		291		

施設名 大井その2建設発生土				
規模	-7.5m × 1B		130 m	
品目	輸出	輸入	移出	移入
廃土砂	-	-	874	-
小計	-	-	874	-
合計			874	
利用水準(t/m)			6,723	

施設名 大井その2建材				
規模	-5.0m × 4B		280 m	
品目	輸出	輸入	移出	移入
砂利・砂	-	-	1	587
石材	-	-	-	622
石灰石	-	-	-	155
小計	-	-	1	1,364
合計			1,365	
利用水準(t/m)			4,874	

図 III-1-3 公共埠頭取扱状況図(南部地区)(令和元年)

施設名 品目	13号地(公共)			
	-15.0m		870 m	
規模	輸出	輸入	移出	移入
麦	0	1	-	-
米	1	2	-	-
とうもろこし	-	0	-	-
豆類	0	5	-	-
その他雑穀	-	0	-	-
野菜・果物	13	161	-	-
雑草	0	-	-	-
その他農産品	1	33	-	-
羊毛	-	0	-	-
その他畜産品	12	142	-	-
水産品	23	133	10	6
原木	1	1	-	-
製材	8	122	-	-
樹脂類	0	28	-	-
木材チップ	0	1	-	-
その他林産品	0	0	-	-
薪炭	0	7	-	-
石炭	0	10	-	-
鉄鉱石	-	0	-	-
金属鉱	-	0	-	-
砂利・砂	0	5	-	-
石材	0	10	-	-
原油	-	0	-	-
石灰石	-	1	-	-
原塩	-	4	-	-
非金属鉱物	4	28	-	-
鉄鋼	6	3	-	-
鋼材	34	29	-	-
非鉄金属	18	30	-	-
金属製品	45	367	-	4
鉄道車両	0	0	-	2
完成自動車	38	2	-	-
その他輸送用車両	0	30	-	0
二輪自動車	0	4	-	-
自動車部品	126	106	-	5
その他輸送機械	9	123	-	-
産業機械	105	279	-	-
電気機械	67	973	30	9
測量・光学・医療用機械	14	73	27	13
事務用機器	1	40	1	-
その他機械	2	5	7	4
陶磁器	2	25	-	-
セメント	0	1	-	-
ガラス類	10	34	-	-
窯業品	16	38	-	-
揮発油	-	0	-	-
その他の石油	9	2	-	-
LNG/液化天然ガス	-	0	-	-
その他石油製品	1	1	-	-
コークス	-	3	-	-
石炭製品	-	0	-	-
化学製品	39	109	-	-
化学原料	1	14	-	-
その他化学工業品	256	334	6	16
紙・パルプ	24	96	-	3
糸及び紡績半製品	0	9	-	-
その他繊維工業品	7	57	1	-
砂糖	0	2	1	11
製造食品	27	361	19	7
飲料	5	31	0	-
水	0	4	-	-
たばこ	-	4	-	-
その他食料工業品	0	4	-	0
がん具	5	181	-	-
衣服・身用品・はきもの	16	1,397	10	2
文房具・運動・娯楽用品・美術	19	164	4	1
家具装飾品	14	499	8	-
その他日用品	8	131	4	0
ゴム製品	21	74	-	2
木製品	2	336	-	-
その他製造工業品	78	64	-	0
金属くず	16	7	-	1
再利用資材	406	3	-	0
動植物性製造飼料	2	39	-	-
輸送用容器	25	212	-	-
取合せ品	17	12	-	-
小計	1,618	7,015	127	86
合計		8,946		
利用水準(t/m)		10,168		



(貨物量の単位：千トン)

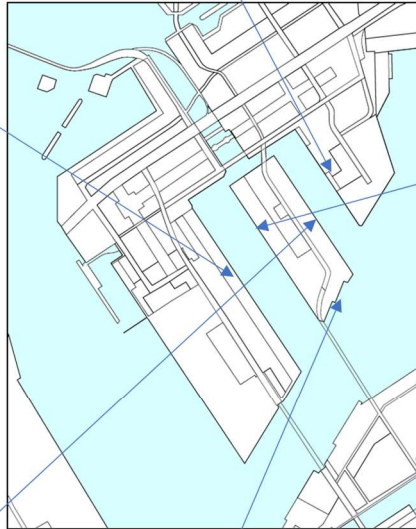
施設名 品目	13号地			
	-15.0m		700 m	
規模	輸出	輸入	移出	移入
麦	-	3	0	-
米	1	8	1	-
とうもろこし	-	1	-	-
豆類	0	22	3	-
その他雑穀	-	2	1	-
野菜・果物	11	136	1	1
雑草	-	0	-	-
その他農産品	3	29	-	-
羊毛	-	0	-	-
その他畜産品	12	129	0	14
水産品	22	111	0	7
原木	1	1	-	-
製材	1	303	43	-
樹脂類	0	17	-	-
木材チップ	-	2	-	-
その他林産品	0	1	3	-
薪炭	-	10	-	-
石炭	0	7	-	-
鉄鉱石	-	0	-	-
金属鉱	0	0	-	-
砂利・砂	0	5	-	-
石材	0	8	-	-
原油	-	0	-	-
石灰石	-	0	-	-
原塩	-	2	-	-
非金属鉱物	2	33	2	-
鉄鋼	4	5	-	-
鋼材	64	12	-	-
非鉄金属	14	11	-	-
金属製品	42	202	0	0
鉄道車両	0	0	-	-
完成自動車	24	3	-	-
その他輸送用車両	1	10	-	-
二輪自動車	0	3	-	-
自動車部品	122	90	-	0
その他輸送機械	1	82	-	-
産業機械	141	164	-	0
電気機械	65	478	0	0
測量・光学・医療用機械	25	55	-	-
事務用機器	3	20	-	-
その他機械	3	3	-	-
陶磁器	1	16	-	-
セメント	0	1	-	-
ガラス類	31	15	-	-
窯業品	15	40	-	-
揮発油	4	3	-	-
その他の石油	-	0	-	-
LNG/液化天然ガス	-	0	-	-
その他石油製品	1	3	-	-
コークス	-	4	-	-
石炭製品	-	0	-	-
化学製品	36	86	-	-
化学原料	0	9	-	-
その他化学工業品	262	287	1	0
紙・パルプ	27	138	4	-
糸及び紡績半製品	1	8	-	-
その他繊維工業品	7	47	-	-
砂糖	0	6	-	-
製造食品	44	451	1	0
飲料	8	55	1	0
水	1	61	-	-
たばこ	0	4	-	-
その他食料工業品	0	16	51	-
がん具	4	131	-	0
衣服・身用品・はきもの	60	519	-	0
文房具・運動・娯楽用品・美術	17	81	-	-
家具装飾品	18	384	-	0
その他日用品	11	68	-	0
ゴム製品	25	51	-	-
木製品	1	267	4	-
その他製造工業品	46	35	-	-
金属くず	15	11	0	-
再利用資材	269	15	-	-
動植物性製造飼料	7	223	26	-
輸送用容器	30	115	-	-
取合せ品	28	9	6	0
小計	1,529	5,142	148	23
合計		6,942		
利用水準(t/m)		9,774		

図Ⅲ-1-4 公共埠頭取扱状況図(中部地区(1))(令和元年)

施設名	お台場ライナー			
	-10.0m × 9B		1,800 m	
品目	輸出	輸入	移出	移入
麦	-	1	-	-
豆類	-	0	-	-
野菜・果物	-	0	-	-
その他農産品	-	0	-	-
製材	-	39	-	-
非金属鉱物	-	-	-	0
鉄鋼	18	-	-	-
銅材	0	33	-	1
金属製品	0	6	-	-
完成自動車	-	-	-	0
その他輸送用車両	-	9	-	-
自動車部品	1	-	-	-
その他輸送機械	0	-	1	3
産業機械	0	0	-	-
電気機械	0	1	-	-
測量・光学・医療用機械	6	14	-	-
医薬品	0	1	-	-
その他の石油	0	3	-	5
化学製品	0	-	-	-
その他化学工業品	0	-	-	-
紙・パルプ	-	3	-	62
製造食品	0	0	-	-
その他食料工業品	-	0	-	-
家具・寝具・運動機用品・楽器	0	0	-	-
家庭用品	0	-	-	-
その他日用品	0	-	-	-
ゴム製品	0	-	-	-
木製品	-	1	-	-
その他製造工業品	-	0	-	-
金属くず	539	-	16	-
動植物性製造副産物	-	6	-	-
輸送用容器	0	68	-	-
取合せ品	0	0	13	22
小計	566	188	29	92
合計			873	
利用率(%)			485	

施設名	10号地その2(東)内貨雑貨			
	-5.0m × 13B		920 m	
品目	輸出	輸入	移出	移入
砂利・砂	-	-	-	1
鋼材	-	-	-	173
セメント	-	-	-	36
揮発油	-	-	1	-
その他の石油	-	-	0	-
LPG/液化石油ガス	-	-	0	-
その他石油製品	-	-	0	-
化学製品	-	-	-	1
紙・パルプ	-	-	-	153
小計	-	-	1	365
合計			366	
利用率(%)			398	

施設名	10号地その1西側多目的			
	-7.5m × 1B		180 m	
品目	輸出	輸入	移出	移入
産業機械	-	-	0	0
小計	-	-	0	0
合計			0	
利用率(%)			1	



(貨物量の単位：千トン)

施設名	10号地その2多目的(フェリー)			
	-7.5~8.5m × 3B		681 m	
品目	輸出	輸入	移出	移入
完成自動車	-	-	5,967	5,168
小計	-	-	5,967	5,168
合計			10,735	
利用率(%)			15,763	

施設名	10号地その2(西)			
	-7.5m × 11B		1,500 m	
品目	輸出	輸入	移出	移入
麦	-	-	1	0
豆類	-	-	11	1
その他雑穀	-	-	0	0
野菜・果物	-	-	10	7
その他農産品	-	-	0	0
その他畜産品	-	-	1	11
水産品	-	-	0	-
原木	-	-	-	1
炭粉	-	-	1	6
樹脂類	-	-	4	4
木材チップ	-	-	-	1
その他林産品	-	-	0	0
薪炭	-	-	-	0
石炭	-	-	-	0
砂利・砂	-	-	0	1
石灰	-	-	2	0
石灰石	-	-	0	1
原塩	-	-	0	4
非金属鉱物	-	-	0	0
鉄鋼	-	-	2	2
銅材	-	-	38	23
非鉄金属	-	-	6	1
金属製品	-	-	10	22
完成自動車	-	-	1,265	392
その他輸送用車両	-	-	9	2
二輪自動車	-	-	0	0
自動車部品	-	-	12	13
その他輸送機械	-	-	43	90
産業機械	-	-	117	21
電気機械	-	-	13	3
測量・光学・医療用機械	-	-	2	0
事務用機械	-	-	2	0
その他機械	-	-	7	6
セメント	-	-	1	4
ガラス類	-	-	1	-
医薬品	-	-	6	6
その他の石油	-	-	4	0
LPG/液化石油ガス	-	-	-	0
その他石油製品	-	-	1	0
石油製品	-	-	-	0
化学製品	-	-	4	9
化学肥料	-	-	2	2
その他化学工業品	-	-	67	57
紙・パルプ	-	-	59	268
その他繊維工業品	-	-	0	0
砂糖	-	-	6	2
製造食品	-	-	111	62
飲料	-	-	121	90
水	-	-	0	16
たばこ	-	-	3	7
その他食料工業品	-	-	1	0
がん具	-	-	0	0
衣服・多目的・はきもの	-	-	0	0
家具・寝具・運動機用品・楽器	-	-	0	0
家具装飾品	-	-	2	7
その他日用品	-	-	47	12
ゴム製品	-	-	10	11
木製品	-	-	1	0
その他製造工業品	-	-	29	9
金属くず	-	-	0	1
再利用資材	-	-	7	2
動植物性製造副産物	-	-	1	0
医薬品	-	-	1	0
炭土砂	-	-	0	0
輸送用容器	-	-	31	66
取合せ品	-	-	1,865	1,209
小計	-	-	3,945	2,458
合計			6,403	
利用率(%)			4,269	

図Ⅲ-1-5 公共埠頭取扱状況図(中部地区(2))(令和元年)

施設名 品目	辰巳内貨運賃			
	規模 -5.0m	×13B		1,040 m
	輸出	輸入	移出	移入
野菜・果物	-	-	1	-
その他農産品	-	-	0	0
水産品	-	-	-	0
製材	-	-	7	1
その他林産品	-	-	2	2
砂利・砂	-	-	0	0
石材	-	-	-	0
非金属鉱物	-	-	-	1
銅材	-	-	11	167
金属製品	-	-	9	3
完成自動車	-	-	5	2
その他輸送機械	-	-	9	1
産業機械	-	-	11	11
電気機械	-	-	0	0
セメント	-	-	20	0
ガラス類	-	-	0	0
農薬品	-	-	14	0
その他の石油	-	-	5	-
LPG/液化石油ガス	-	-	2	-
化学製品	-	-	0	0
その他化学工業品	-	-	0	-
製造食品	-	-	5	-
飲料	-	-	4	-
その他日用品	-	-	3	0
ゴム製品	-	-	-	0
不製品	-	-	19	1
金属くず	-	-	1	8
再利用資材	-	-	-	2
動植物性製造副産物	-	-	2	-
廃棄物	-	-	-	8
輸送用容器	-	-	2	9
取合せ品	-	-	23	12
小計	-	-	155	230
合計	-	-	386	-
利用水準(t/m)	-	-	371	-



(貨物量の単位：千トン)

施設名 品目	15号地(暫定)			
	規模 -9.0m	×1B		190 m
	輸出	輸入	移出	移入
米	-	-	27	-
野菜・果物	-	-	21	11
完成自動車	-	-	117	33
その他輸送機械	-	-	-	30
事務用機器	-	-	39	-
製造食品	-	-	-	11
飲料	-	-	23	24
その他日用品	-	-	57	11
輸送用容器	-	-	-	1
取合せ品	-	-	172	49
小計	-	-	458	170
合計	-	-	628	-
利用水準(t/m)	-	-	3,305	-

施設名 品目	香洲建材・製材			
	規模 -5.5m	×4B		370 m
	輸出	輸入	移出	移入
砂利・砂	-	-	14	405
石材	-	-	-	136
非金属鉱物	-	-	46	105
農薬品	-	-	8	44
小計	-	-	68	690
合計	-	-	758	-
利用水準(t/m)	-	-	2,048	-

施設名 品目	15号地木材			
	規模 -12.0m	×3B		720 m
	輸出	輸入	移出	移入
製材	1	34	2	4
小計	1	34	2	4
合計	-	-	40	-
利用水準(t/m)	-	-	56	-

図III-1-6 公共埠頭取扱状況図(東部地区) (令和元年)

施設名 規模	中防外			
	-110m	×1B	230 m	
品目	輸出	輸入	移出	移入
米	-	0	-	-
とうもろこし	-	0	-	-
豆類	0	1	-	-
野菜・果物	0	49	-	-
その他畜産品	0	11	-	-
その他畜産品	0	29	-	-
水産品	1	18	-	-
原木	-	0	-	-
製材	3	33	-	-
木材チップ	-	0	-	-
その他林産品	0	-	-	-
薪炭	-	1	-	-
石灰	-	0	-	-
砕石	-	0	-	-
砂利・砂	-	0	-	-
石材	5	27	-	-
原塩	-	0	-	-
非金属鉱物	2	1	-	-
鉄鋼	0	0	-	-
銅材	2	2	-	-
非鉄金属	1	7	-	-
金属製品	7	73	-	-
完成自動車	0	0	-	-
その他輸送用車両	0	10	-	-
二輪自動車	0	0	-	-
自動車部品	31	53	-	-
その他輸送機械	0	8	-	-
産業機械	40	144	-	-
電気機械	14	208	-	-
測量・光学・医療用機械	15	17	-	-
事務用機器	0	15	-	-
その他機械	0	1	-	-
陶磁器	0	6	-	-
セメント	0	2	-	-
ガラス類	2	24	-	-
窯業品	2	3	-	-
その他の石油	0	1	-	-
その他石油製品	0	1	-	-
コークス	-	0	-	-
石炭製品	-	0	-	-
化学製品	6	20	-	-
化学肥料	-	1	-	-
その他化学工業品	91	44	-	-
紙・パルプ	2	52	-	-
糸及び紡績半製品	0	0	-	-
その他繊維工業品	2	16	-	-
砂糖	-	2	-	-
製造食品	4	86	-	-
飲料	1	3	-	-
水	0	1	-	-
たばこ	-	0	-	-
その他食料工業品	-	0	-	-
がん具	1	35	-	-
衣服・身用品・はきもの	3	359	-	-
文房具・運動娯楽用品・書籍	6	66	-	-
家具装飾品	2	127	-	-
その他日用品	2	22	-	-
ゴム製品	4	14	-	-
木製品	0	41	-	-
その他製造工業品	6	19	-	-
金属くず	2	3	-	-
再利用資材	201	1	5	-
動植物性製造飼料	0	6	-	-
輸送用容器	9	27	-	-
取合せ品	6	4	-	-
小計	476	1,896	5	-
合計		2,176		
利用水準(t/m)		9,462		

施設名 規模	中防内建設発生土			
	-7.5m	×1B	160 m	
品目	輸出	輸入	移出	移入
廃土砂	-	-	183	-
小計	-	-	183	-
合計			183	
利用水準(t/m)			1,149	



(貨物量の単位：千トン)

施設名 規模	中防内はらもの			
	-120m	×1B	240 m	
品目	輸出	輸入	移出	移入
石炭	-	108	-	3
砂利・砂	-	-	-	2
非金属鉱物	-	73	5	-
鉄鋼	-	7	-	-
非鉄金属	-	3	-	-
金属製品	-	2	-	-
産業機械	-	-	0	0
コークス	-	13	16	34
廃棄物	-	-	-	0
小計	-	206	20	38
合計		264		
利用水準(t/m)		1,101		

施設名 規模	中防内			
	-9.0m	×2B	460 m	
品目	輸出	輸入	移出	移入
米	-	-	5	2
米	-	-	0	15
豆類	-	-	2	2
その他穀類	-	-	0	0
野菜・果物	-	-	2	34
その他畜産品	-	-	1	2
その他畜産品	-	-	0	2
水産品	-	-	0	1
製材	-	-	1	5
樹脂類	-	-	4	0
木材チップ	-	-	0	-
その他林産品	-	-	0	1
薪炭	-	-	0	0
金属鉱	-	-	0	0
砂利・砂	-	-	1	0
石材	-	-	1	0
石灰石	-	-	1	0
非金属鉱物	-	-	1	0
鉄鋼	-	-	1	7
銅材	-	-	3	1
非鉄金属	-	-	0	0
金属製品	-	-	11	4
完成自動車	-	-	2	0
その他輸送用車両	-	-	0	0
二輪自動車	-	-	-	0
自動車部品	-	-	7	18
その他輸送機械	-	-	0	0
産業機械	-	-	3	2
電気機械	-	-	2	11
測量・光学・医療用機械	-	-	0	0
事務用機器	-	-	2	1
その他機械	-	-	2	3
陶磁器	-	-	-	0
セメント	-	-	1	0
ガラス類	-	-	11	0
窯業品	-	-	1	0
その他の石油	-	-	8	0
LNG/液化天然ガス	-	-	-	0
LPG/液化石油ガス	-	-	0	0
その他石油製品	-	-	2	0
化学製品	-	-	38	5
化学肥料	-	-	2	2
その他化学工業品	-	-	4	0
紙・パルプ	-	-	19	99
糸及び紡績半製品	-	-	0	-
その他繊維工業品	-	-	1	-
砂糖	-	-	3	56
製造食品	-	-	41	30
飲料	-	-	109	8
水	-	-	0	3
たばこ	-	-	0	0
その他食料工業品	-	-	2	1
がん具	-	-	0	-
衣服・身用品・はきもの	-	-	1	0
文房具・運動娯楽用品・書籍	-	-	0	0
家具装飾品	-	-	11	0
その他日用品	-	-	114	5
ゴム製品	-	-	3	0
木製品	-	-	0	0
その他製造工業品	-	-	36	34
金属くず	-	-	1	2
再利用資材	-	-	2	10
動植物性製造飼料	-	-	10	4
廃棄物	-	-	3	-
輸送用容器	-	-	38	136
取合せ品	-	-	5	10
小計			524	499
合計		1,023		
利用水準(t/m)		2,224		

図Ⅲ-1-7 公共埠頭取扱状況図(中央防波堤地区)(令和元年)

(2) 水深別公共埠頭の現況

水深別の公共埠頭の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-1-2 水深別の公共埠頭の現況（令和元年）

水深	既設		工事中	
	バース数	延長	バース数	延長
15m～	10	3,404	1	400
13m～	2	520		
12m～	6	1,435		
11m～	4	810		
10m～	12	2,545		
7.5m～	31	4,902	2	500
5m～	41	3,264		
5m未満	3	1,441		
合計	109	18,321	3	900

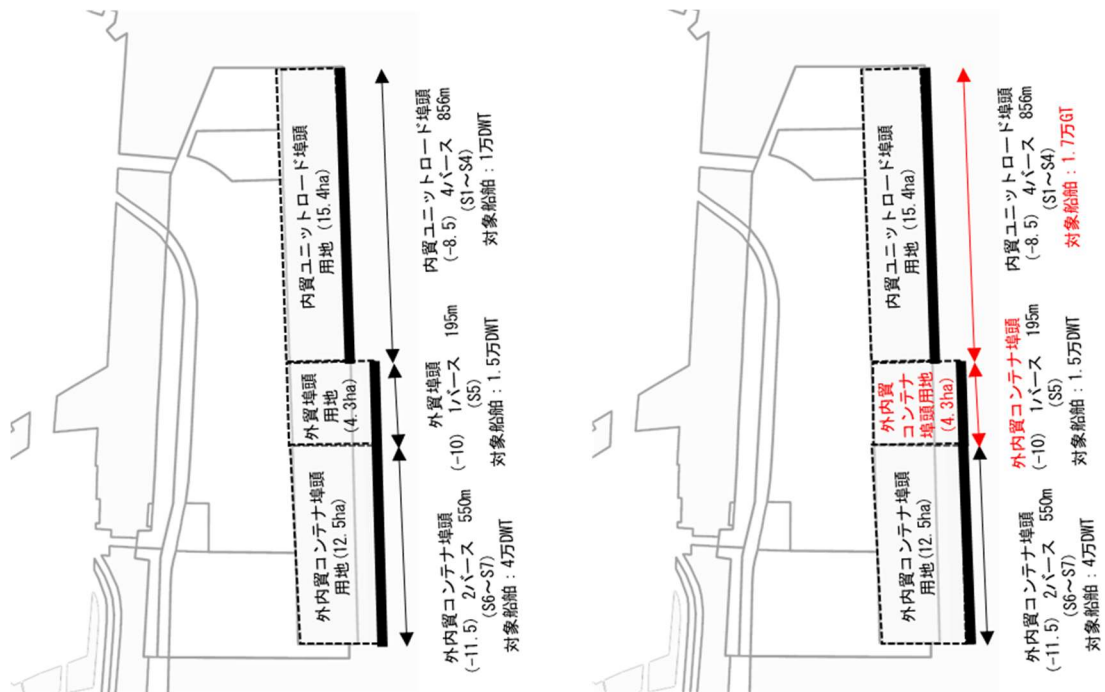
※ 工事中1バース（「中防外」のY2（-16.0m×400m（1B））は令和2年工事完了

1-1-2 公共埠頭計画の必要性

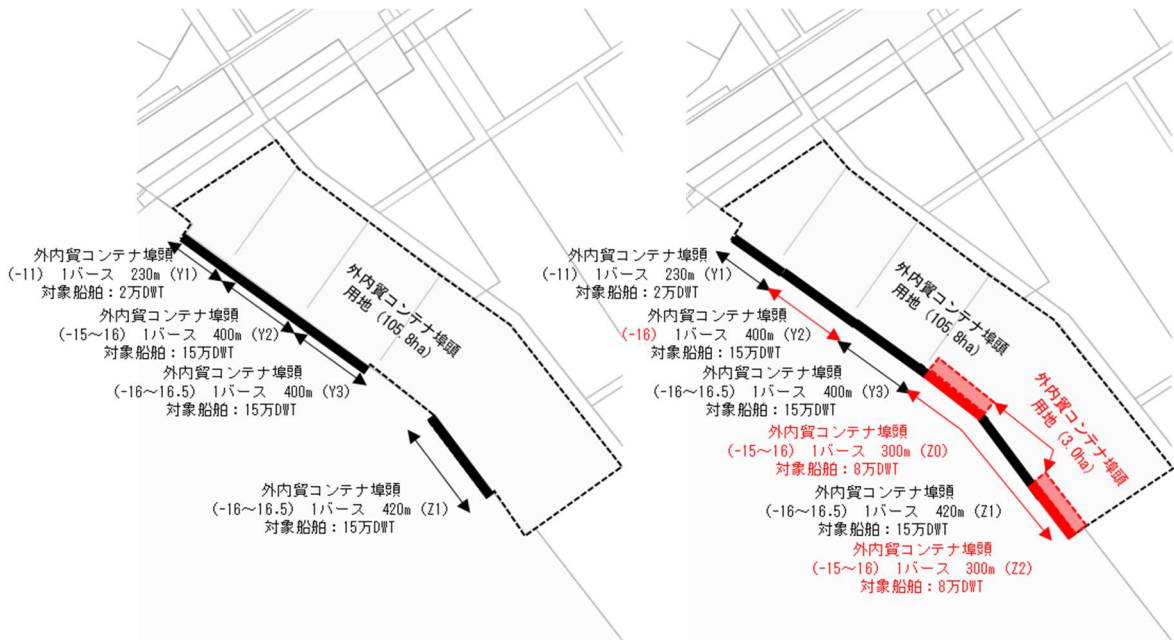
【東京港の状況・施設計画（改訂）の視点】

- ・ 東南アジア貨物等による外貿コンテナ貨物量増加への対応
- ・ コンテナ船の大型化への対応
- ・ 物流の2024年問題等によるモーダルシフトへの対応
- ・ RORO船の大型化への対応

1-1-3 公共埠頭計画の新旧対象図



図Ⅲ-1-8 品川埠頭新旧対照図 (左: 既定計画、右: 今回計画)



図Ⅲ-1-9 中央防波堤外側・新海面処分場埠頭新旧対照図 (左: 既定計画、右: 今回計画)



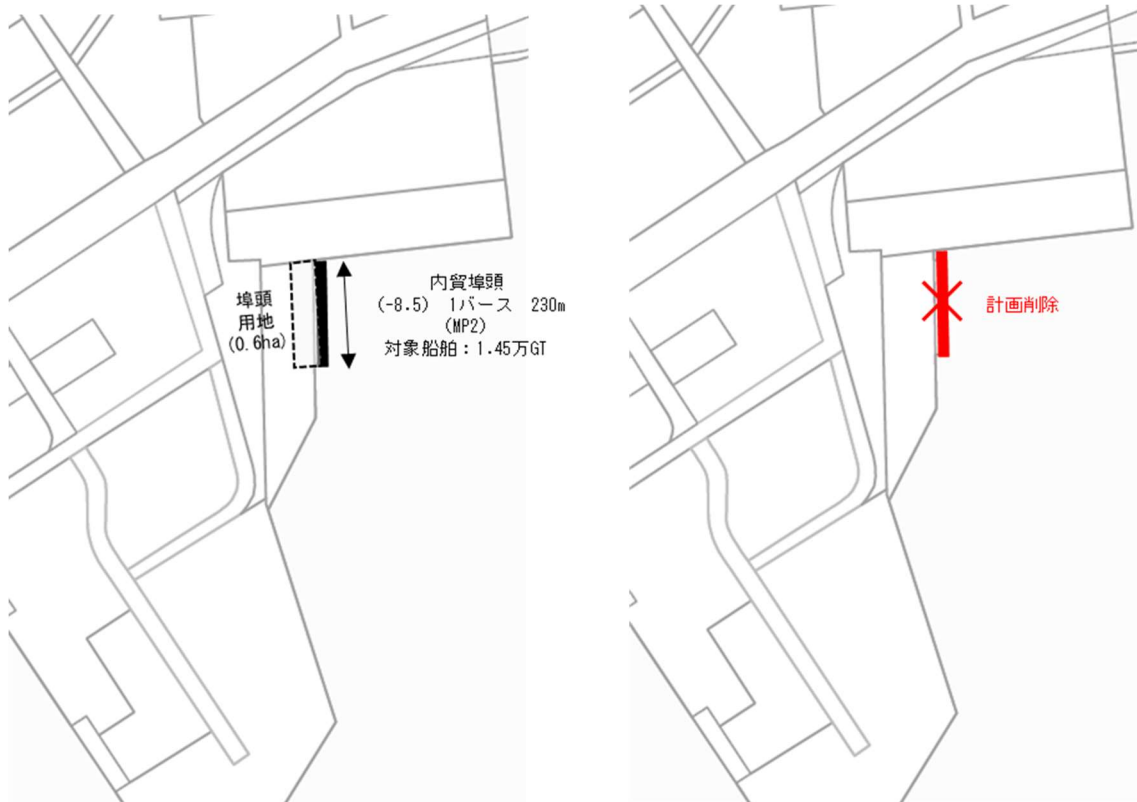
図Ⅲ-1-10 中央防波堤内側埠頭新旧対照図 (左: 既定計画、右: 今回計画)



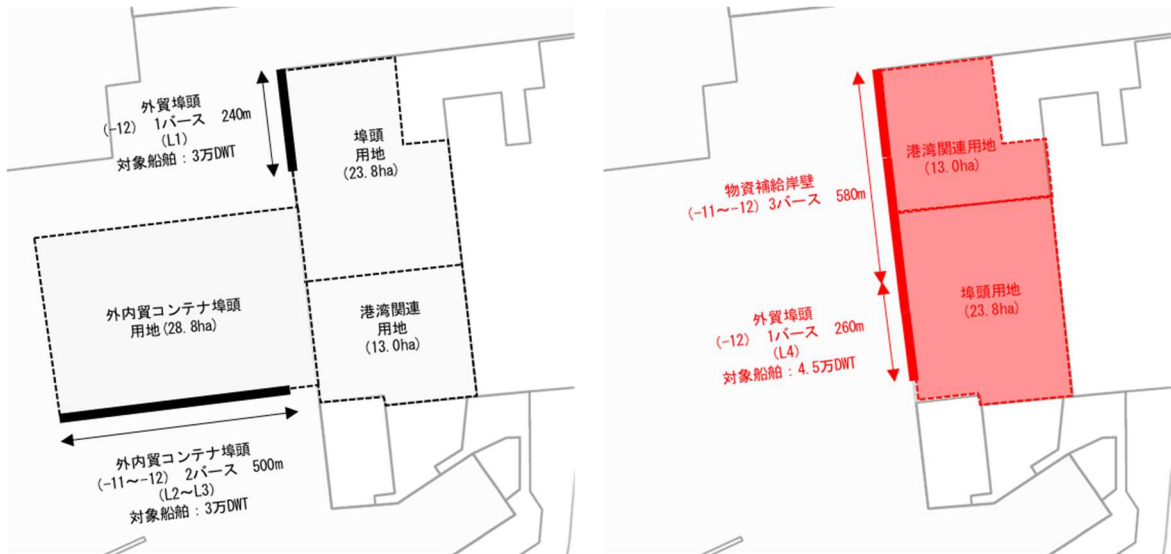
図Ⅲ-1-11 中央防波堤内側埠頭新旧対照図 (左: 既定計画、右: 今回計画)



図III-1-12 10号地その2埠頭新旧対照図（左：既定計画、右：今回計画）



図III-1-13 10号地その1埠頭新旧対照図（左：既定計画、右：今回計画）



図III-1-14 15号地埠頭新旧対照図 (左：既定計画、右：今回計画)

1-2 外内貿コンテナ埠頭計画

1-2-1 外内貿コンテナ埠頭の現況

(1) 外内貿コンテナ埠頭の利用状況

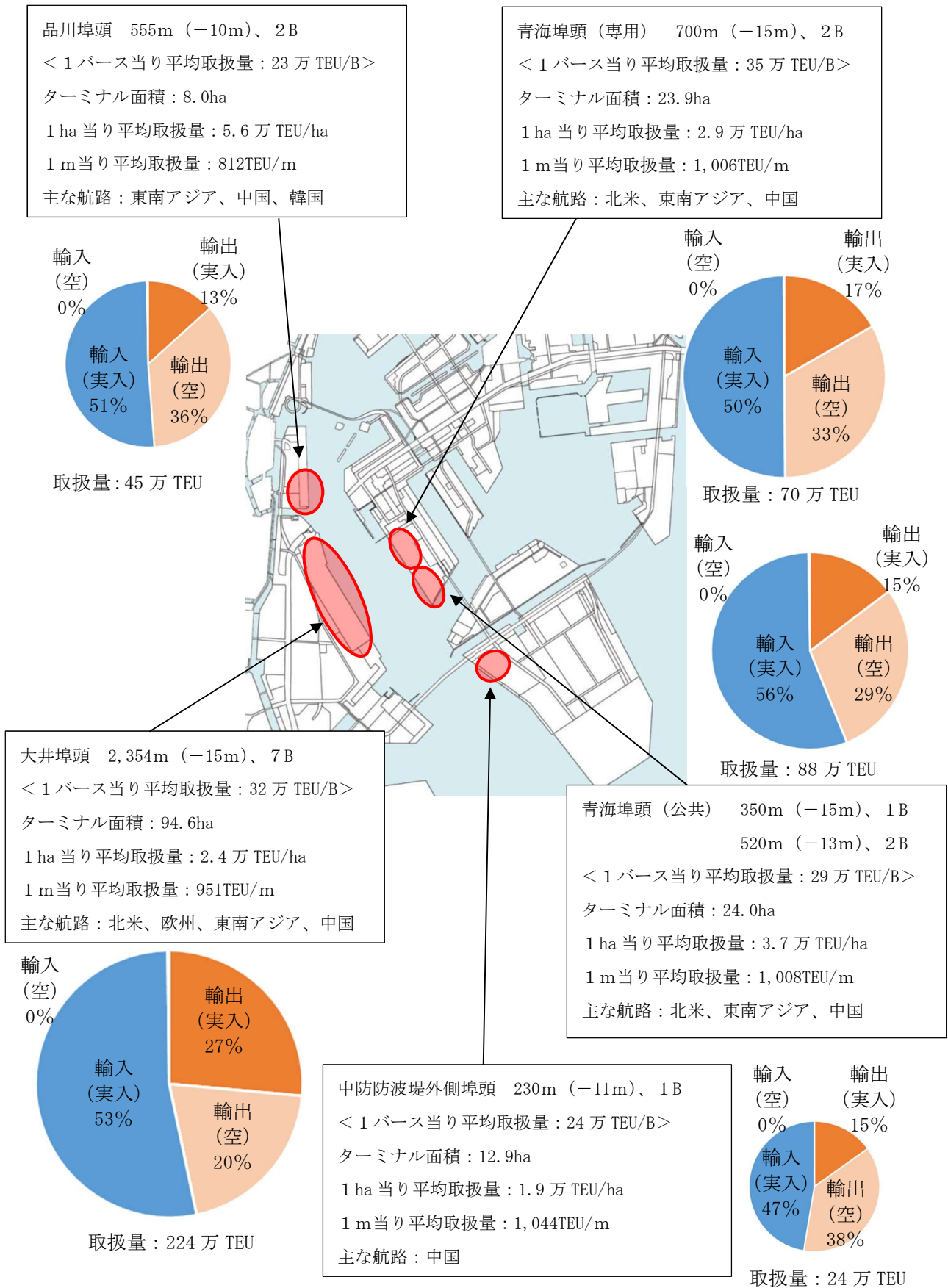
外内貿コンテナ埠頭の取扱貨物等の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-1-3 外内貿コンテナ埠頭の現況（令和元年）

地区名・埠頭名		施設諸元	主要取扱貨物	航路
内港地区	品川	-10.0m×555m (2B)	その他化学工業品、衣類・身廻品・はきもの、電気機械	東南アジア航路、中国航路、韓国航路
南部地区	大井	-15.0m×2,354m (7B)	その他化学工業品、産業機械、衣服・身廻品・はきもの	北米航路、欧州航路、南米航路、オセアニア航路、東南アジア航路、中国航路、韓国航路
中部地区	13号地(青海)	-13.0m×520m (2B)、 -15.0m×1,050m (3B)	衣服・身廻品・はきもの、電気機械、その他化学工業品	北米航路、オセアニア航路、東南アジア航路、中国航路、韓国航路
中央防波堤地区	中央防波堤外側 ^{※1}	-11.0m×230m (1B)、 -16.0m×400m (1B) 工事中 ^{※2}	衣服・身廻品・はきもの、電気機械、再利用資材	中国航路

※1 令和4年時点工事中（新規バースY3（-16.0～16.5m×400m（1B））

※2 令和2年工事完了Y2（-16.0m×400m（1B））



図III-1-15 外内貿コンテナ埠頭別取扱状況 (令和元年)

(2) 水深別外内貿コンテナ埠頭延長の現況

水深別の外内貿コンテナ埠頭延長の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-1-4 水深別外内貿コンテナ埠頭延長の現況（令和元年）

水深	既設		工事中	
	バース数	延長	バース数	延長
15m～	10	3,404	1	400
13m～	2	520		
12m～				
11m～	1	230		
10m～	2	555		
7.5m～				
5m～				
5m未満				
合計	15	4,709	1	400

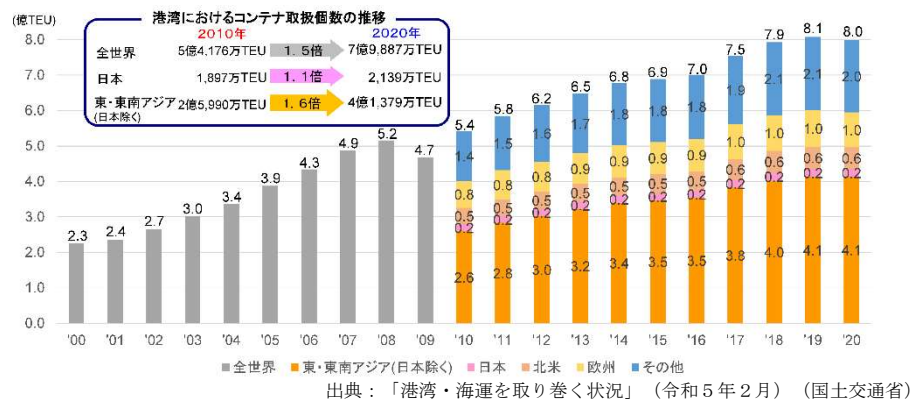
※工事中1バース（「中防外」のY2（-16.0m×400m（1B））は令和2年工事完了

1-2-2 外内貿コンテナ埠頭計画の必要性

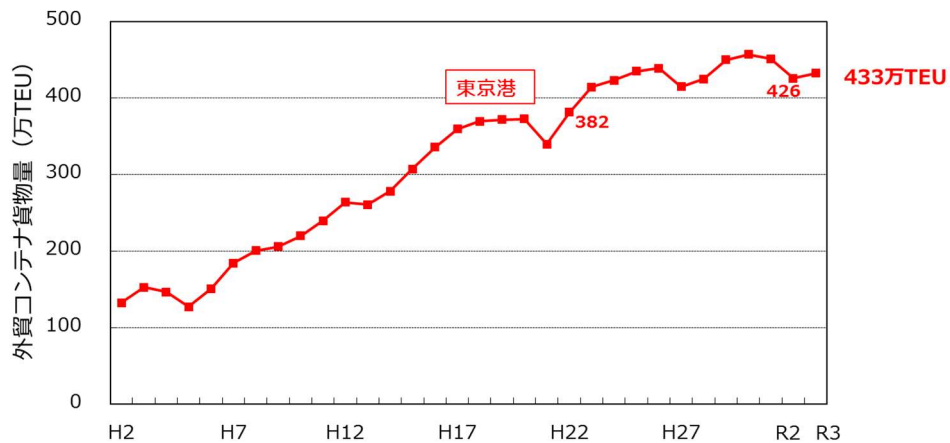
<課題>

○ コンテナ貨物量の増加

- ・ アジア諸国の経済成長等に伴い、世界の港湾におけるコンテナ貨物量は2010年から2020年の11年間で1.5倍に増加している。日本全体でも増加傾向にあるが、伸び率は1.1倍であり、東京港の伸び率も1.1倍になっている。
- ・ 東京港のコンテナ貨物は、新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に減少しているものの、これまで堅調に増加しており、今後の経済成長を踏まえるとさらに増加することが見込まれる。



図Ⅲ-1-16 世界の港湾におけるコンテナ貨物量の推移



図Ⅲ-1-17 東京港の外貿コンテナ貨物量の推移

- 近年、環太平洋パートナーシップ（TPP）協定や地域的な包括的経済連携（RCEP）協定など、世界各国との経済連携協定が締結されており、今後は関税撤廃等により自由貿易が拡大し、国際貨物の輸送量が増加することが見込まれている。また、国内では2019年に1兆円弱であった農林水産品・食品の輸出額を、2030年までに5兆円とすることを目指しており、輸出貨物の取り込みによる貨物量の増加も期待されている。

○ ゲート前の交通混雑

- 東京港ではこれまで、新規埠頭の整備や道路ネットワークの拡充に加え、早朝ゲートオープンの実施、車両待機場やストックヤードの整備・運用など、ハード・ソフト一体となった取組を進めてきた。しかし、取扱貨物量が一時的に増大する時期や、コンテナの搬出入車両が集中する朝・夕の時間帯によっては、コンテナターミナルの施設能力を超えた貨物の取扱いにより、ゲート前において交通混雑が発生している。
- 今後増加が見込まれる貨物を円滑に取り扱い、交通混雑を解消するためには、東京港の施設能力の向上が必要である。

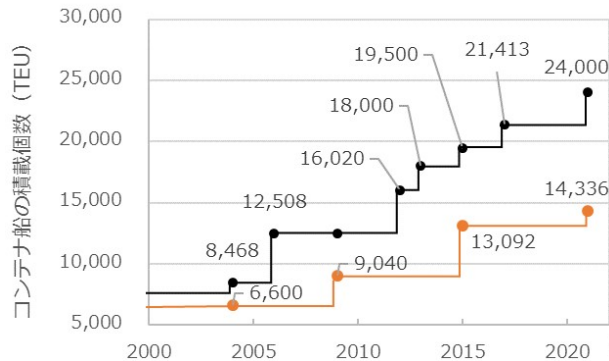


出典：物流ウィークリー記事（令和3年8月20日）

図Ⅲ-1-18 東京港におけるゲート前混雑状況

○ コンテナ船の大型化

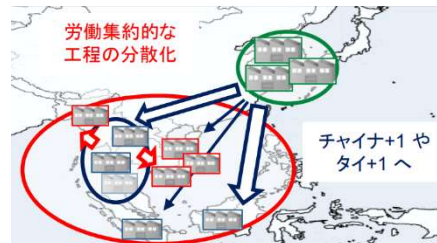
- ・ スケールメリットによる輸送コスト低減に加え、CO₂の排出抑制などのため、世界のコンテナ船の大型化が急激に進展している。2000年頃は世界最大のコンテナ船は7,000TEU 級であったが、現在、欧州-アジア航路に投入されている最大のコンテナ船は24,000TEU 級まで大型化している。



出典：港湾の中長期政策「PORT2030」（平成 30 年 7 月）（国土交通省）及び「国際輸送ハンドブック」（㈱オーシャンコマース）より東京都作成

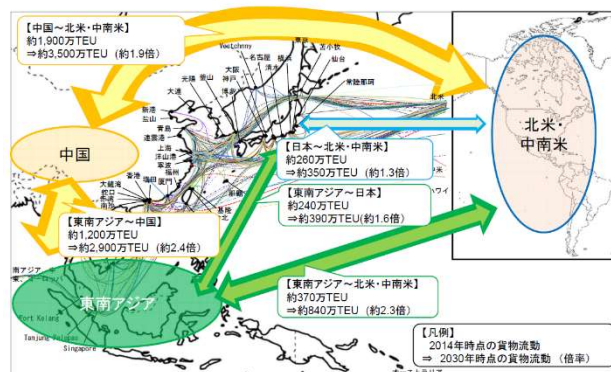
図Ⅲ-1-19 世界のコンテナ船の大型化動向

- ・ これまで経済成長の著しかった中国から、近年ではタイやベトナム等の東南アジアに生産拠点の南下が進んでおり、将来的にはインド等を含む南アジアまで生産拠点が拡大するものと予想されている。このため、東南アジア航路においても取扱貨物量が増加しており、加えて急速な東南アジア諸港の港湾機能の拡充もあり、船舶の大型化がより一層進むことが見込まれている。



出典：港湾の中長期政策「PORT2030」（平成 30 年 7 月）（国土交通省）

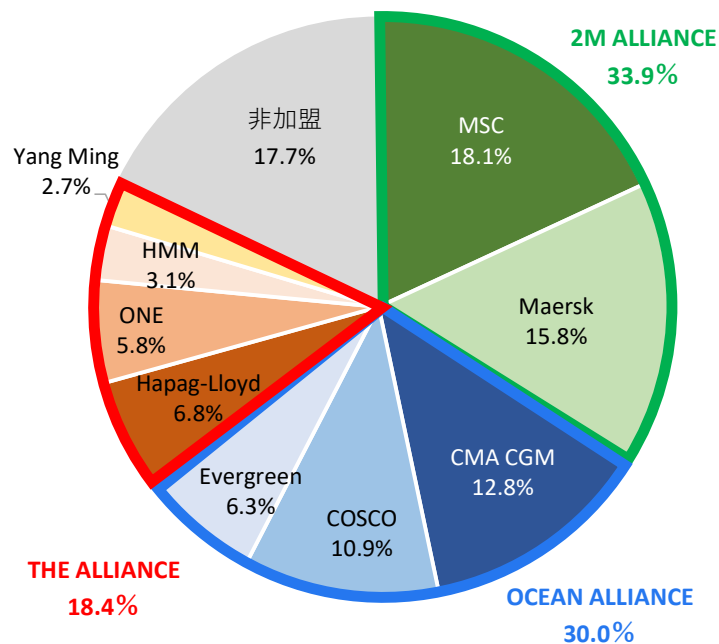
図Ⅲ-1-20 アジアにおける生産拠点の南下



出典：「交通政策審議会第 66 回港湾分科会資料」（国土交通省）

図Ⅲ-1-21 東南アジアと日本の貨物流動の見通し

- コンテナ船社間のアライアンス再編により、世界の船腹量の約8割を3大アライアンスが占めている。これらのアライアンス内において大型船舶を活用した航路サービスの集約化が行われるなど、基幹航路における寄港地の絞り込みが進んでおり、港湾間の競争が厳しさを増している。東京港への基幹航路の寄港を維持するためには、貨物量の確保とともに、船舶大型化への施設対応がより一層求められている。



出典：「Alpha liner TOP 100」より東京都作成

図III-1-22 船社別・アライアンス別の船腹量シェア(令和5年3月時点)

<対応>

- ユーザーに選ばれ国際競争力が高く使いやすい港に進化するため、国際基幹航路の維持や増加する東南アジア航路への対応、国際フィーダー航路網の充実・積替機能の強化を図るとともに、増加するコンテナ貨物、船舶の大型化に対応した新たな埠頭を整備し、既存埠頭を再編整備する。
- A I 等の最先端技術の積極的な活用や荷役機械の遠隔操作化、コンテナターミナルの一体利用による限られたヤードスペースの最適化などにより、ターミナル処理能力を増大させるとともに良好な労働環境の確保を図る。また、「サイバーポート」による物流の効率化や貨物情報の見える化等に取り組む。

1-2-3 外内貿コンテナ埠頭の規模及び配置

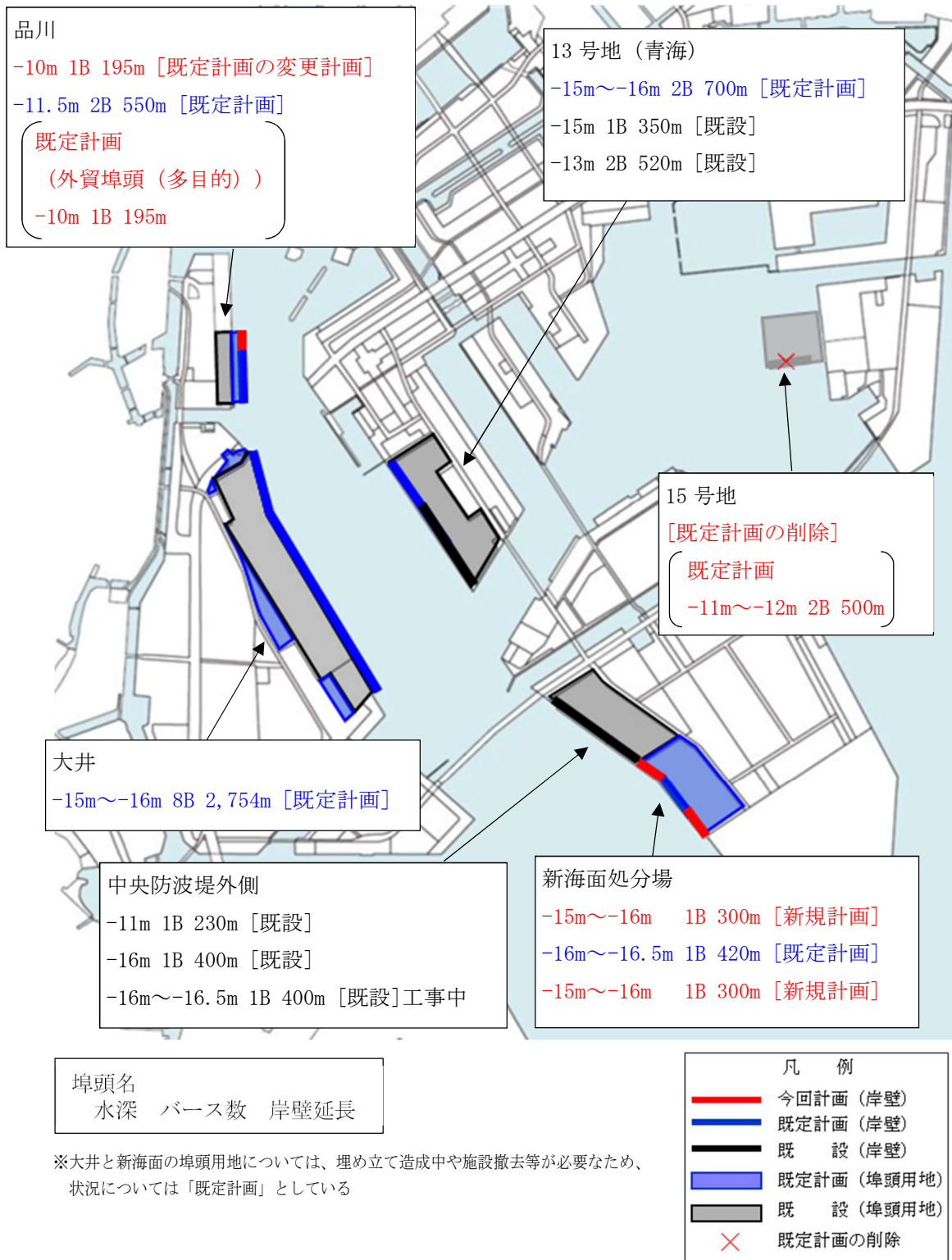
外内貿コンテナ埠頭の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ-1-5 外内貿コンテナ埠頭計画

地区名・埠頭名		種別	今回計画				既定計画			
			水深 (m)	バース数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)	水深 (m)	バース数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)
内港 地区	品川	既定計画の 変更計画※1	-10.0	1	195	15,000	-	-	-	-
		既定計画	-11.5	2	550	40,000	-11.5	2	550	40,000
南部 地区	大井	既定計画	-15.0～ -16.0	8	2,754	150,000	-15.0～ -16.0	8	2,754	150,000
中部 地区	13号地 (青海)	既定計画	-15.0～ -16.0	2	700	150,000	-15.0～ -16.0	2	700	150,000
		既設	-15.0	1	350	100,000	-15.0	1	350	100,000
		既設	-13.0	2	520	40,000	-13.0	2	520	40,000
東部 地区	15号地	既定計画の 削除	-	-	-	-	-	-	-	
中央 防波堤 地区	中央 防波堤 外側	既設	-11.0	1	230	20,000	-11.0	1	230	20,000
		既設※2	-16.0	1	400	150,000	-15.0～ -16.0	1	400	150,000
		既設 (工事中)	-16.0～ -16.5	1	400	150,000	-16.0～ -16.5	1	400	150,000
	新海面 処分場	新規計画	-15.0～ -16.0	1	300	80,000	-	-	-	-
		既定計画	-16.0～ -16.5	1	420	150,000	-16.0～ -16.5	1	420	150,000
		新規計画	-15.0～ -16.0	1	300	80,000	-	-	-	-

※1 外貿埠頭から外内貿コンテナ埠頭に変更

※2 水深を変更



図III-1-23 外内貿コンテナ埠頭計画

<施設配置・計画の考え方>

- 品川コンテナ埠頭S5（名称の変更，外貿埠頭→外内貿コンテナ埠頭）
 - ・ 品川コンテナ埠頭は、主に中国・韓国等の近海航路の船舶に利用されている。
 - ・ 増大する外内貿コンテナ貨物に対応するため、外貿多目的埠頭ではなく外内貿コンテナ埠頭へと計画変更する。なお、近海航路等の現計画の水深や岸壁延長等については、引き続き同規模の計画とし、コンテナ船を受け入れていく。

- 15号地コンテナ埠頭（計画削除）
 - ・ 基幹航路の維持や東南アジア航路の船舶大型化への対応を踏まえると、今後整備する15号地コンテナ埠頭については、岸壁増深を検討する必要があるが、第二航路・第三航路は水深-12mであり、水深-12mを超える増深は困難であることから計画を削除し、大水深岸壁かつ連続バースの整備が可能な新海面コンテナ埠頭（Z1機能拡充）を新規に計画する。

【参考】

<8次改訂港湾計画（H26.11）での位置付け>

- ・ 増大する中国等の近海航路コンテナ貨物に対応するため、15号地に外内貿コンテナ埠頭（水深-11m～-12m、岸壁2バース、延長500m、対象船舶3万DWT級、埠頭用地29ha（新規埋立））を計画

<情勢>

- ・ コンテナ船社間のアライアンス再編等による船舶の寄港地の絞り込みが進んでおり、東京港への基幹航路の寄港を維持するためには、貨物量の確保とともに、基幹航路の大型船舶への施設対応が一層求められている。
- ・ 増大するアジア貨物の中で、近年大きく増加しているのは東南アジア航路の貨物であり、貨物量の増加にあわせて、船舶も急速に大型化している。

- 中防外・新海面コンテナ埠頭（対象船舶の大型化、連続バース化）
 - ① 水深の変更（Y2:-15m～-16m ⇒ -16m）
 - ・ 現況に合わせて水深を変更する。
 - ② 連続バース化（Z1:機能拡充:-16m～-16.5m 1B 420m ⇒ -15m～-16.5m 3B 1,020m）
 - ・ 15号地コンテナ埠頭計画を削除し、大水深岸壁かつ連続バースの整備が可能な新海面コンテナ埠頭（Z1機能拡充）を新規に計画する。
 - ・ 基幹航路の船舶に対応可能で、東南アジア航路等の多様な船舶が複数同時接岸できるバース延長を有する埠頭として計画する。

1-3 内貿ユニットロード埠頭計画

1-3-1 内貿ユニットロード埠頭の現況

内貿ユニットロード埠頭の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-1-6 内貿ユニットロード埠頭の現況（令和元年）

地区名・埠頭名		施設諸元 ^{※1}	主要取扱貨物
内港地区	品川	-8.5m×856m（4B） 一部工事中	完成自動車、取合せ品、 紙・パルプ
中部地区	10号地その2 （西）	-7.5m×1,500m（11B）	取合せ品、完成自動車、 紙・パルプ
中央防波堤 地区	中央防波堤内側	-9.0m×460m（2B）	輸送用容器、 その他日用品、飲料

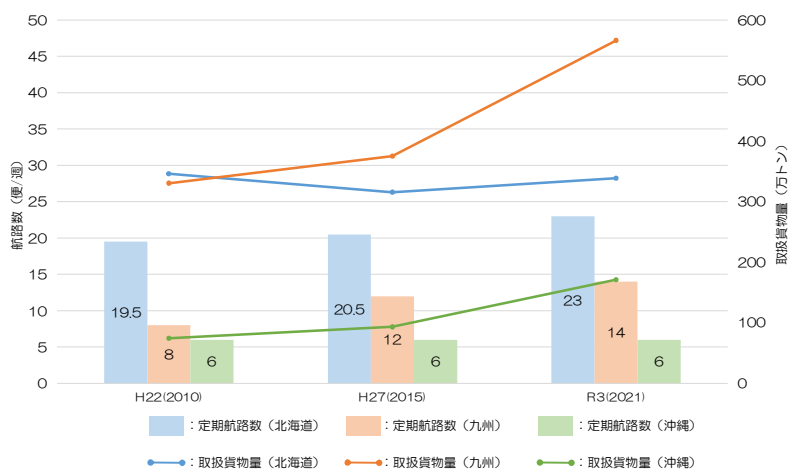
※1 15号地 -9.0m×190m（1B）は暫定利用中

1-3-2 内貿ユニットロード埠頭計画の必要性

近年の東京港における内貿ユニット貨物量は増加傾向にある。また、東京港に寄港しているRORO船は大型化している。

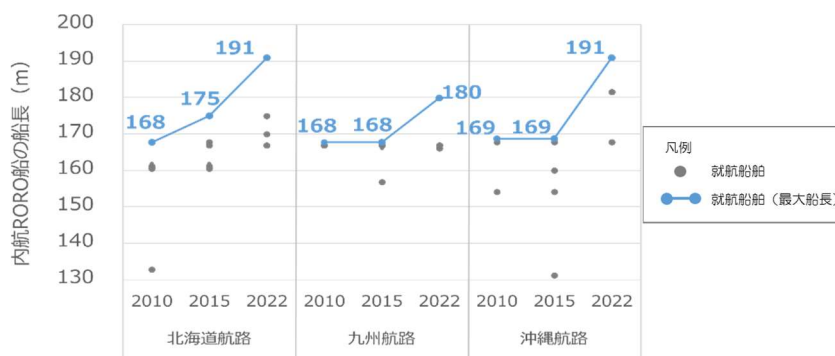
加えて、近年はトラックドライバー不足や2024年問題（働き方改革関連法によって自動車運転業務の年間時間外労働時間の上限が960時間に制限されることによって発生する問題）を受けて、貨物の陸上輸送から海上輸送への転換（モーダルシフト）の重要性が高まっている。

こうしたことを受け、東京港においては増加する内貿貨物や船舶の大型化に対応した新たな施設の整備、およびヤードの拡充が必要である。



出典：「東京港ハンドブック」より作成

図 III-1-24 東京港における内貿ユニット貨物量・RORO船定期航路数の推移



出典：「内航船舶明細書」（一般社団法人日本海運集会所）及び「東京港ハンドブック」より東京都作成

図 III-1-25 東京港寄港のRORO船の大型化動向

1-3-3 内貿ユニットロード埠頭の規模及び配置

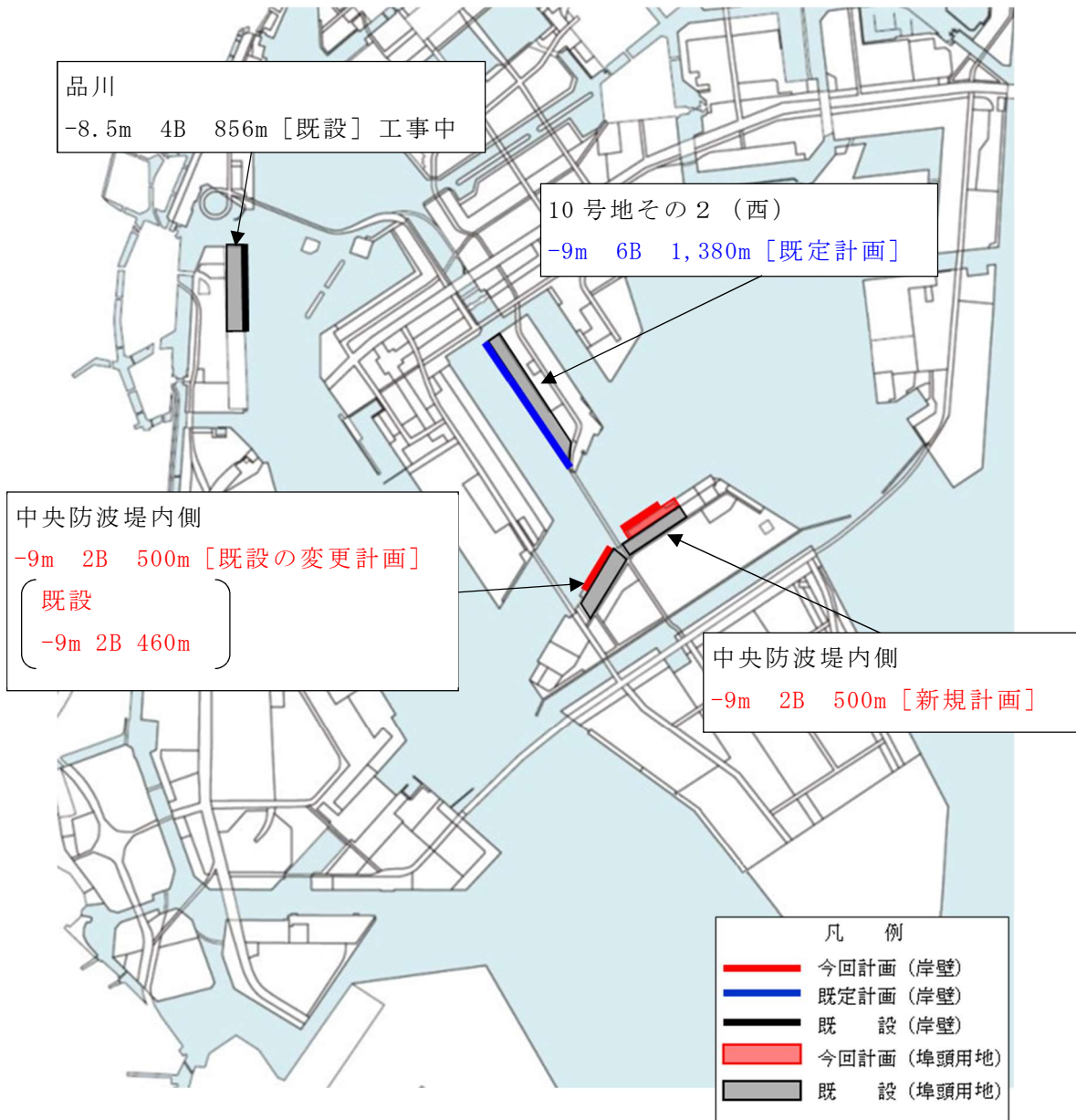
内貿ユニットロード埠頭の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ-1-7 内貿ユニットロード埠頭計画

地区名・埠頭名		種別	今回計画				既定計画			
			水深 (m)	バ ー ス 数	延長 (m)	対象船舶 (GT)	水深 (m)	バ ー ス 数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)
内港 地区	品川	既設 (工事中)	-8.5	4	856	17,000 ^{※1}	-8.5	4	856	10,000
中部 地区	10号地 その2 (西)	既定計画	-9.0	6	1,380	17,000 ^{※1}	-9.0	6	1,380	12,000(GT)
中央 防波堤 地区	中央 防波堤 内側	既設の 変更計画 ^{※2}	-9.0	2	500	17,000 ^{※1}	-9.0	2	460	12,000(GT)
		新規計画	-9.0	2	500	17,000	-	-	-	-

※1 対象船舶を令和4年時点において東京港に寄港している最大船型に変更（対象船舶大型化）

※2 対象船舶、延長を変更



図Ⅲ-1-26 内貿ユニットロード埠頭計画

<施設配置・計画の考え方>

- 中央防波堤内側内貿ユニットロード埠頭（既設の変更計画：-9 m, 2 B, 460m→-9 m, 2 B, 500m、新規計画：-9 m, 2 B, 500m）
 - ・ 今後の貨物量の増加、船舶大型化に対応するため、新たにユニットロード埠頭を計画し、既存のX 4、X 5との連携による航路の接続等も視野に入れ、対応していく。
 - ・ 加えて、既存のX 4、X 5についても船舶大型化への対応を考慮し、岸壁延長を460mから500mに変更する。

1-4 外貨埠頭計画

1-4-1 外貨埠頭の現況

外貨埠頭の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-1-8 外貨埠頭の現況（令和元年）

地区名・埠頭名		施設諸元	主要取扱貨物
内港 地区	品川 多目的	-10.0m×190m（1B）	衣服・身廻品・はきもの、 たばこ、産業機械
南部 地区	大井水産	-12.0m×450m（2B）	麦、野菜・果実、 動植物性製造飼肥料
	大井食品	-12.0m×225m（1B）、 -11.0m×380m（2B）	
中部 地区	お台場 ライナー	-10.0m×1,800m（9B）	金属くず、輸送用容器、 紙・パルプ
東部 地区	15号地 木材	-12.0m×720m（3B）	製材
中央 防波堤 地区	中防内 ばらもの	-12.0m×240m（1B）	石炭、非金属鉱物、 コークス

1-4-2 外貨埠頭計画の必要性

15号地コンテナ埠頭の削除に伴い、15号地木材埠頭の利用実態を踏まえ、配置箇所や対象船舶を変更する。

1-4-3 外貿埠頭の規模及び配置

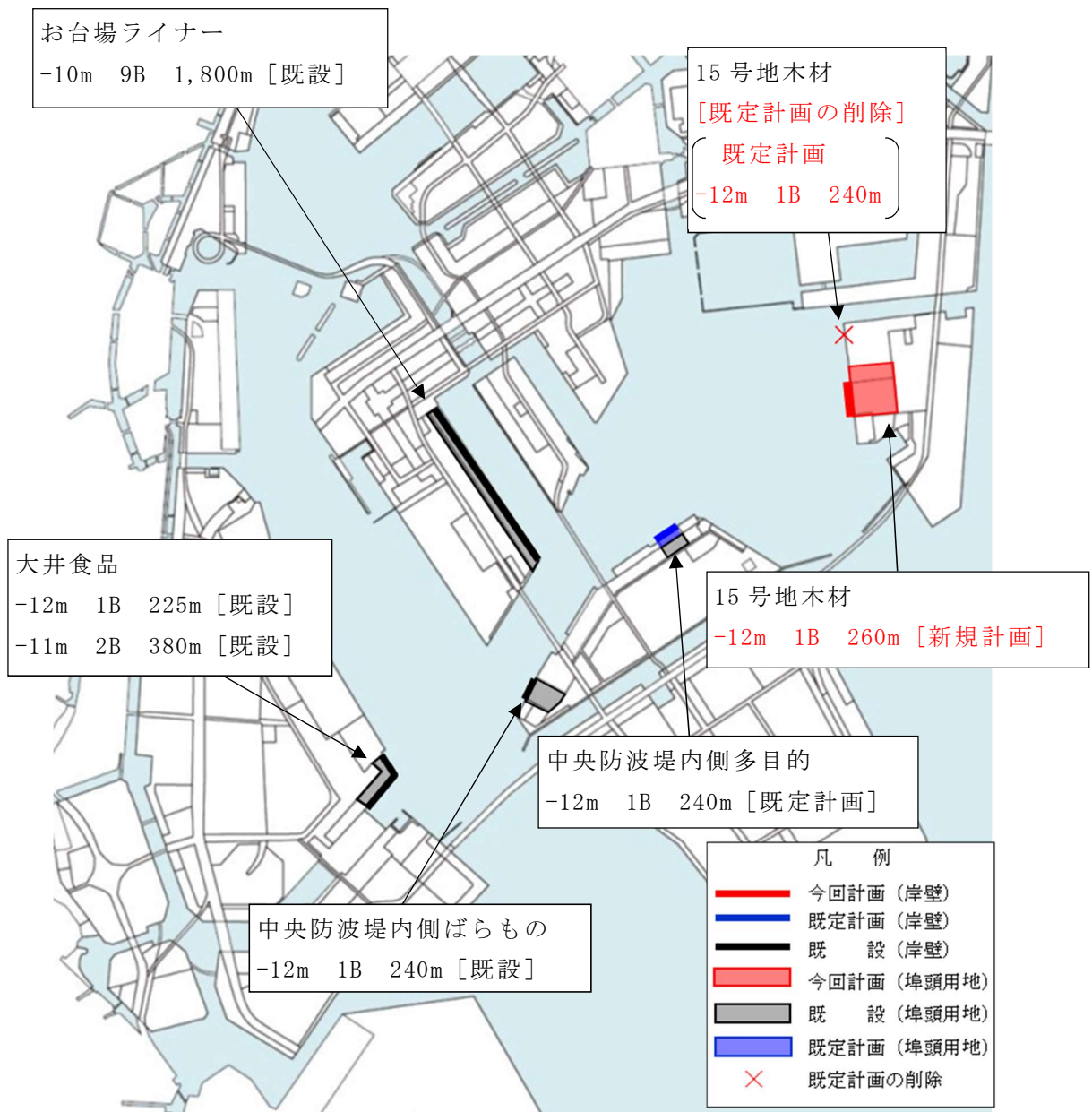
外貿埠頭の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ-1-9 外貿埠頭計画

地区名・埠頭名		種別	今回計画				既定計画			
			水深 (m)	バース 数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)	水深 (m)	バース 数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)
内港 地区	品川 多目的	既定計画の 変更計画 ^{※1}	-	-	-	-	-10.0	1	195	15,000
南部 地区	大井 食品	既設	-12.0	1	225	30,000	-12.0	1	225	30,000
		既設	-11.0	2	380	15,000	-11.0	2	380	15,000
中部 地区	お台場 ライナー	既設	-10.0	9	1,800	15,000	-10.0	9	1,800	15,000
東部 地区	15号地 木材	既定計画の 削除	-	-	-	-	-12.0	1	240	30,000
		新規計画 ^{※2}	-12.0	1	260	45,000	-	-	-	-
中央 防波堤 地区	中防内 ばら もの	既設	-12.0	1	240	30,000	-12.0	1	240	30,000
	中防内 多目的	既定 計画	-12.0	1	240	30,000	-12.0	1	240	30,000

※1 外貿埠頭から外内貿コンテナ埠頭に変更

※2 15号地コンテナ埠頭の既定計画の削除に伴い、外貿埠頭を計画



図Ⅲ-1-27 外貨埠頭計画

<施設配置・計画の考え方>

○ 15号地木材埠頭（新規計画、既定計画の削除）

- ・ 15号地コンテナ埠頭計画の削除に伴い、木材埠頭については、利用状況に合わせ配置計画を変更する。（既定計画の削除、利用実態にあわせた新規計画）

1-5 内貿埠頭計画

1-5-1 内貿埠頭の現況

内貿埠頭の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-1-10 内貿埠頭の現況（令和元年）

地区名・埠頭名		施設諸元	主要取扱貨物
内港地区	芝浦 内貿雑貨	-5.5m×90m（1B）、 -7.5m×780m（6B）	セメント、 その他食料工業品、 紙・パルプ
	芝浦 物揚場	-2.7m×711m（1B）	
	月島物揚場	-3.0m×730m（2B）	金属くず、再利用資材、 金属製品
南部地区	大井その2 建材	-5.0m×280m（4B）	廃土砂、石材、砂利・砂
	大井その2 建設発生土	-7.5m×130m（1B）	
中部地区	10号地 その1 西側多目的	-7.5m×180m（1B）	産業機械
	10号地 その2（東） 内貿雑貨	-5.0m×920m（13B）、	鋼材、紙・パルプ、セメント
	10号地 その2 多目的 （フェリー）	-7.5～-8.5m×681m（3B） 一部工事中	
東部地区	辰巳 内貿雑貨	-5.0m×1,040m（13B）	鋼材、取合せ品、産業機械
	若洲 建材・製材	-5.5m×370m（4B）	砂利・砂、非金属鉱物、石材
中央防波堤 地区	中防内 建設発生土	-7.5m×160m（1B）	廃土砂

1-5-2 内貿埠頭計画の必要性

10号地その1東側多目的については係留需要が見込まれないことから計画を削除する。

1-5-3 内貿埠頭の規模及び配置

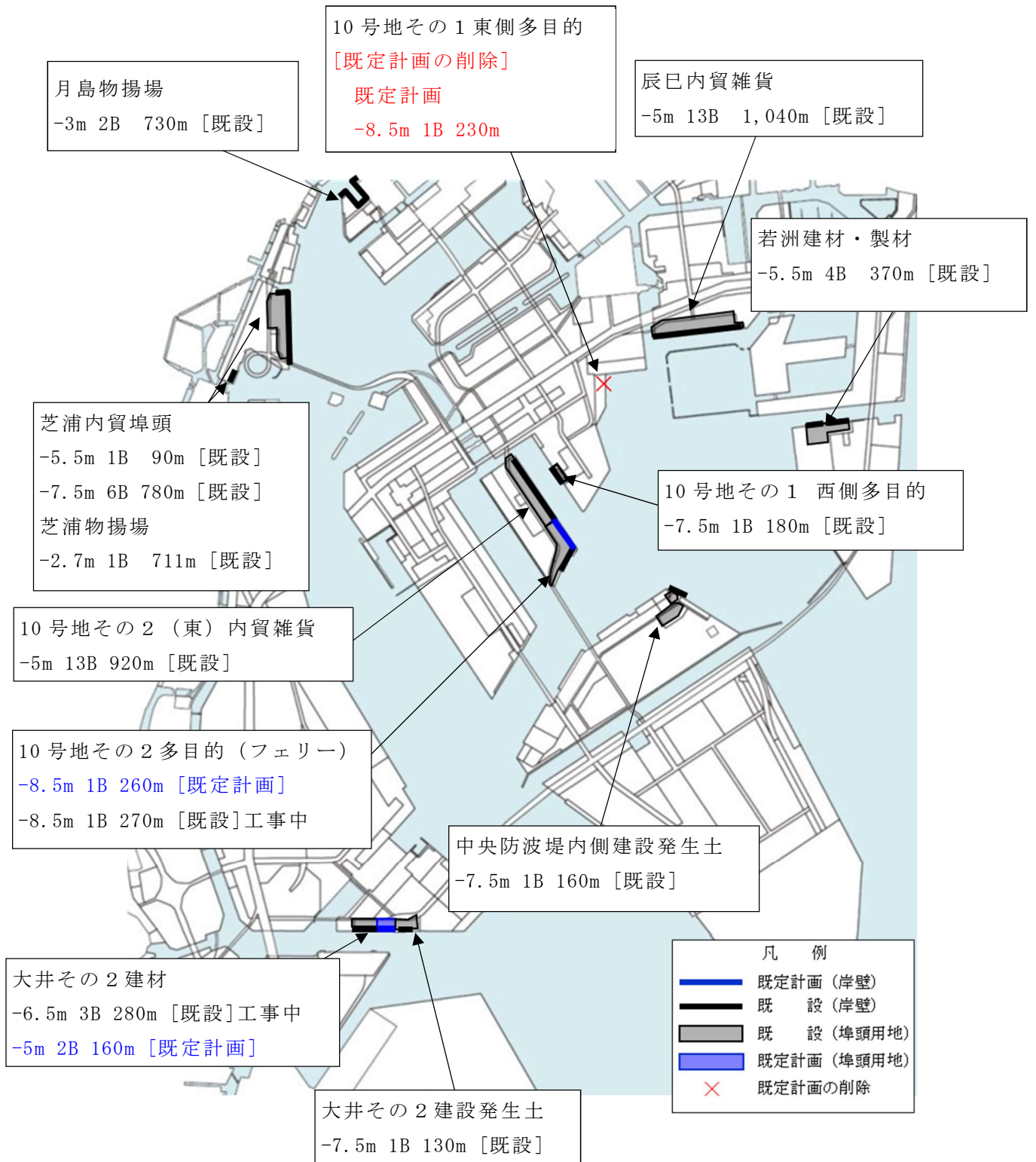
内貿埠頭計画の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ-1-11 (1) 内貿埠頭計画

地区名・埠頭名		種別	今回計画				既定計画			
			水深 (m)	バース数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)	水深 (m)	バース数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)
内港地区	芝浦 内貿雑貨	既設	-5.5	1	90	2,000	-5.5	1	90	2,000
		既設	-7.5	6	780	10,600(GT)	-7.5	6	780	10,600(GT)
	芝浦 物揚場	既設	-2.7	1	711	-	-2.7	1	711	-
	月島 物揚場	既設	-3.0	2	730	-	-3.0	2	730	-
南部地区	大井 その2 建材	既設 (工事中)	-6.5	3	280	2,500	-6.5	3	280	2,500
	大井 その2 建材	既定 計画	-5.0	2	160	1,000	-5.0	2	160	1,000
	大井 その2 建設 発生土	既設	-7.5	1	130	5,000	-7.5	1	130	5,000
中部地区	10号地 その1 東側 多目的	既定 計画 の 削除	-	-	-	-	-8.5	1	230	14,500
	10号地 その1 西側 多目的	既設	-7.5	1	180	5,000(GT)	-7.5	1	180	5,000(GT)
	10号地 その2 (東) 内貿雑貨	既設	-5.0	13	920	1,000	-5.0	13	920	1,000

表Ⅲ-1-11 (2) 内貿埠頭計画

地区名・埠頭名		種別	今回計画				既定計画			
			水深 (m)	バ ー ス 数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)	水深 (m)	バ ー ス 数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)
中部 地区	10号地 その2 多目的 (フェリー)	既定 計画	-8.5	1	260	23,000(GT)	-8.5	1	260	23,000(GT)
		既設 (工事中)	-8.5	1	270	16,000(GT)	-8.5	1	270	16,000(GT)
東部 地区	辰巳内貿 雑貨	既設	-5.0	13	1,040	1,000	-5.0	13	1,040	1,000
	若洲 建材・製材	既設	-5.5	4	370	2,000	-5.5	4	370	2,000
中央 防波堤 地区	中央防波堤 内側 建設発生土	既設	-7.5	1	160	5,000	-7.5	1	160	5,000



図Ⅲ-1-28 内貨埠頭計画

<施設配置・計画の考え方>

○ 内貿埠頭（10号地その1）（計画削除）

- ・ 国際展示場等と連携したイベント船の係留など多目的な利用を図るために計画されたが、現在は当該地におけるイベント船等の係留需要がないことから、計画を削除する。

2. 旅客船埠頭計画

2-1 旅客船埠頭の現況

旅客船埠頭の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-2-1 旅客船埠頭の現況（令和元年）

地区名・埠頭名		水深 (m)	バース数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)
内港 地区	竹芝貨客船	-7.5	3	465	10,600(GT)
	日の出貨客船	-6.7	6	564	3,000
	東京国際クルーズ (工事中) ※1	-11.5	1	430	230,000(GT)

※1 令和2年工事完了

2-2 旅客船埠頭計画の必要性

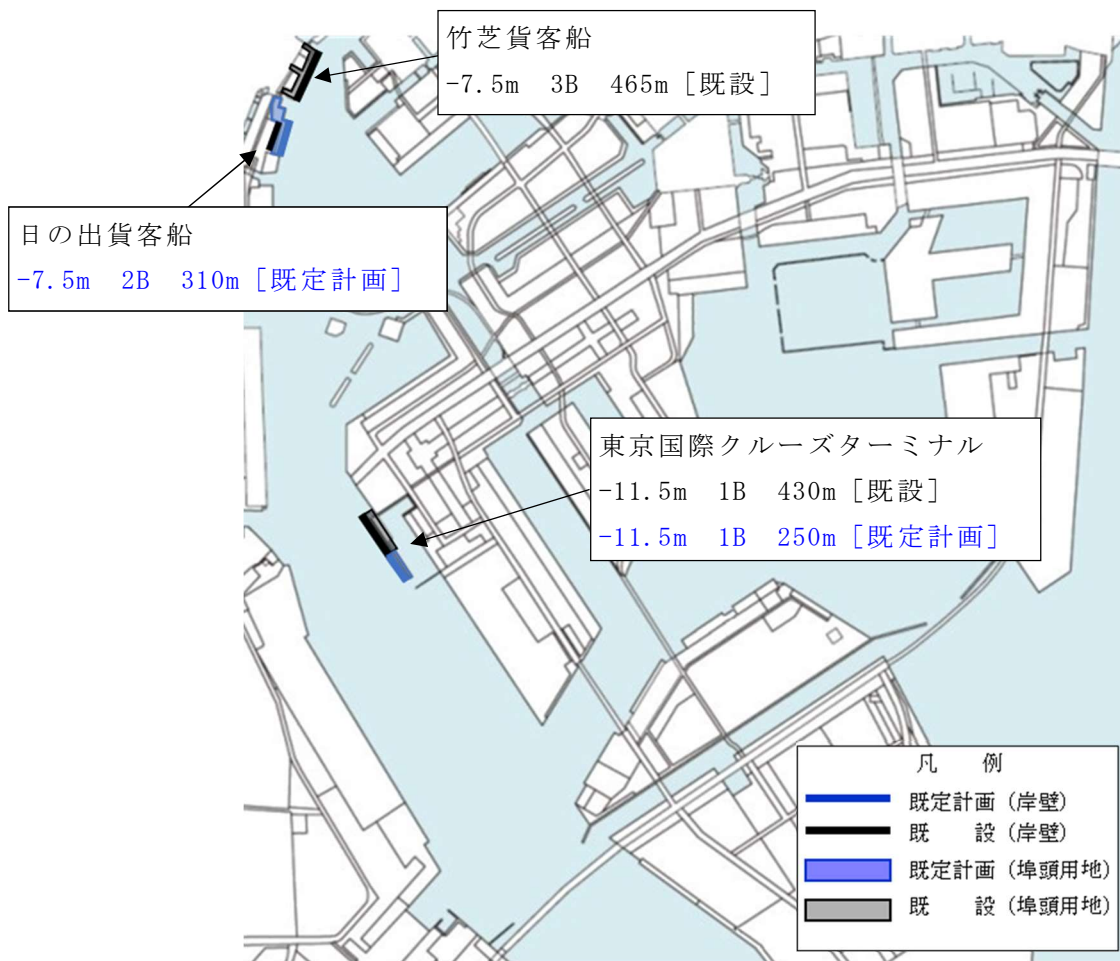
今後のクルーズ客船の寄港ニーズ対応するため、中部地区・東京国際クルーズ埠頭において2バース体制を確保する。

2-3 旅客船埠頭の規模及び配置

旅客船埠頭の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ-2-2 旅客船埠頭計画

地区名・埠頭名		種別	今回計画				既定計画			
			水深 (m)	バ ー ス 数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)	水深 (m)	バ ー ス 数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)
内 港 地 区	竹芝貨客船	既設	-7.5	3	465	10,600 (GT)	-7.5	3	465	10,600 (GT)
	日の出賃客船	既定 計画	-7.5	2	310	5,000	-7.5	2	310	5,000
中 部 地 区	東京国際クルーズ	既設	-11.5	1	430	230,000 (GT)	-11.5	2	680	230,000 (GT)
		既定 計画	-11.5	1	250	230,000 (GT)				



図Ⅲ-2-1 旅客船埠頭計画

3. 旅客船埠頭（小型栈橋）計画

3-1 旅客船埠頭（小型栈橋等）の現況

旅客船埠頭（小型栈橋等）の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-3-1 旅客船埠頭（小型栈橋）の現況（令和元年）

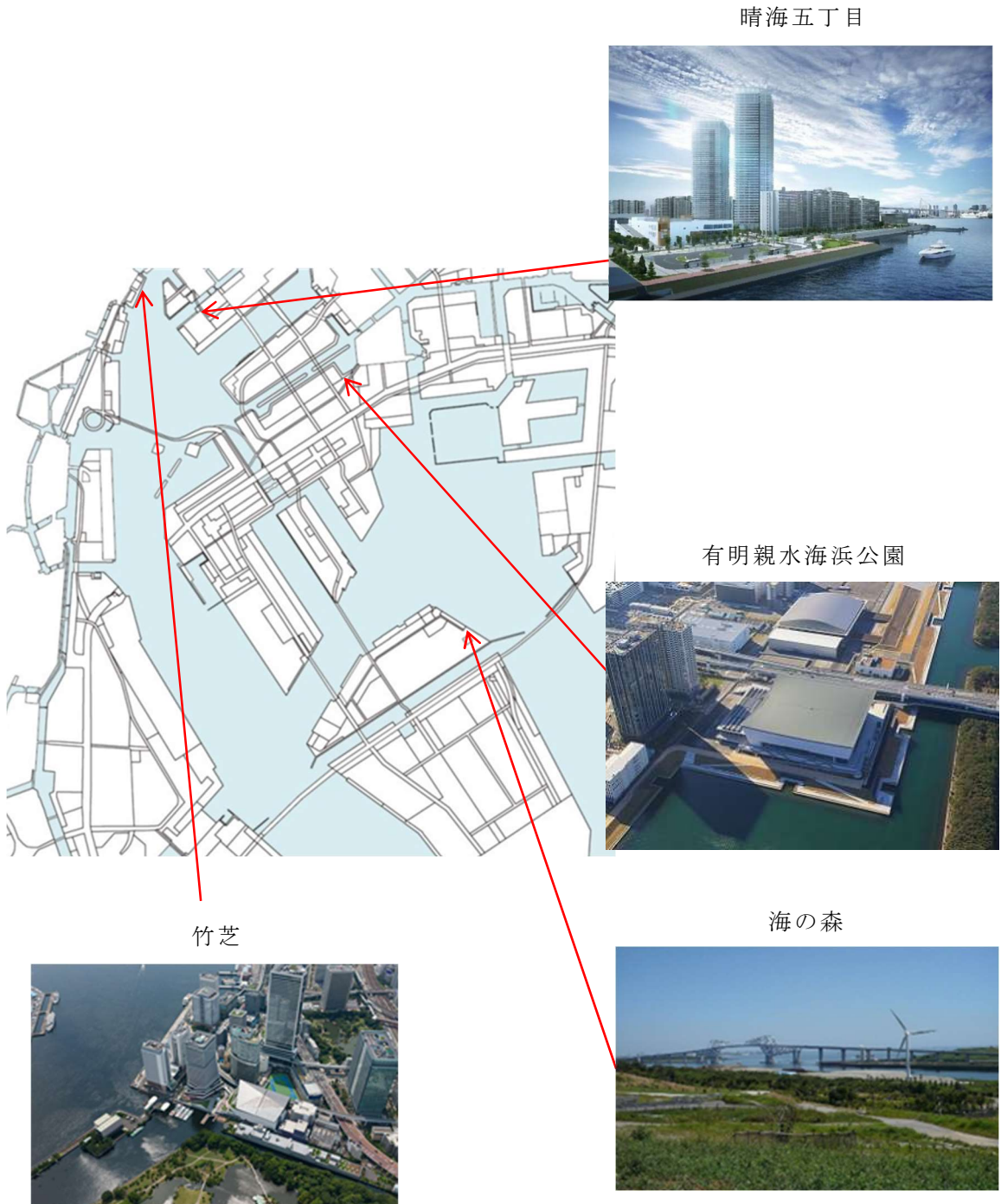
地区名・埠頭名		基数 (基)	対象船舶
内港 地区	竹芝埠頭	1	小型船
	日の出	3	
	浜離宮	1	
南部 地区	大井埠頭中央海浜公園	1	
	しながわ水族館	1	
中部 地区	13号地	1	
	有明	1	
	お台場海浜公園	2	
	青海	1	
東部 地区	若洲	1	
葛西沖 地区	葛西	1	

表Ⅲ-3-2 旅客船埠頭（船揚場）の現況

地区名・埠頭名		延長 (m)	対象船舶
内港 地区	豊洲（船揚場）	10.0	小型船
中部 地区	お台場海浜公園（船揚場）	10.0	

3-2 旅客船埠頭（小型栈橋等）計画の必要性

水辺のにぎわい創出と臨海部の回遊性の向上を図るため、水辺周辺のまちづくり（再開発）や海上公園と連携した水上交通（舟運）等の小型栈橋を計画する。



図Ⅲ-3-1 船着場整備の進展

3-3 旅客船埠頭（小型栈橋等）の規模及び配置

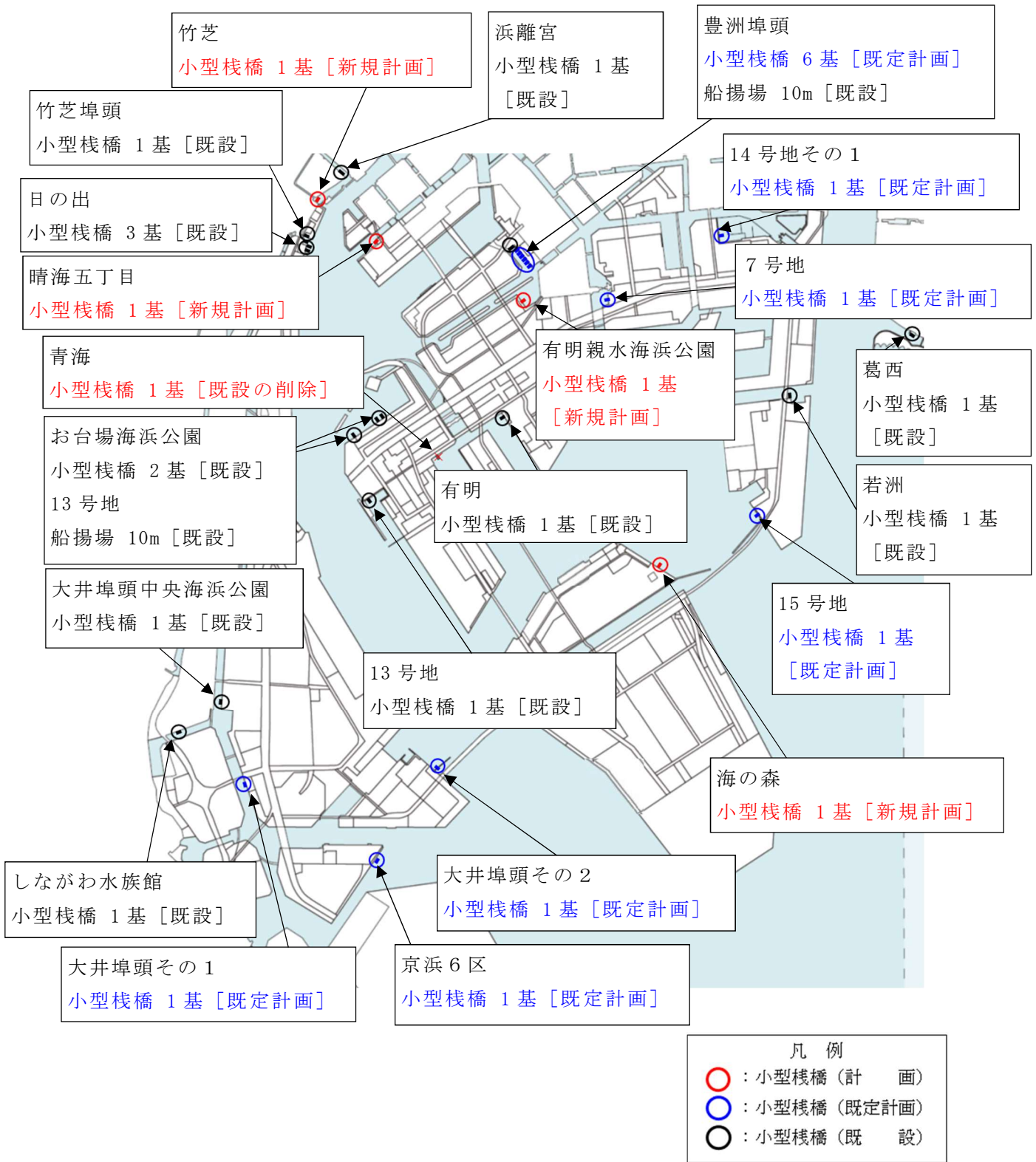
旅客船埠頭（小型栈橋等）の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ-3-3 旅客船埠頭（小型栈橋）計画

地区名・埠頭名		種別	今回計画	既定計画	対象船舶
			基数	基数	
内港 地区	竹芝埠頭	既設	1基	1基	小型船
	竹芝	新規計画	1基	-	
	日の出	既設	3基	3基	
	浜離宮	既設	1基	1基	
	晴海五丁目	新規計画	1基	-	
	豊洲埠頭	既定計画	6基	6基	
南部 地区	大井埠頭中央海浜公園	既設	1基	1基	
	大井埠頭その1 （東海埠頭公園）	既定計画	1基	1基	
	しながわ水族館	既設	1基	1基	
	京浜6区（京浜島つばさ公園）	既定計画	1基	1基	
	大井埠頭その2 （城南島海浜公園）	既定計画	1基	1基	
中部 地区	13号地	既設	1基	1基	
	お台場海浜公園	既設	2基	2基	
	有明	既設	1基	1基	
	青海	既設の 削除	-	1基	
	有明親水海浜公園	新規計画	1基	-	
東部 地区	若洲	既設	1基	1基	
	15号地（若洲海浜公園）	既定計画	1基	1基	
	7号地（辰巳の森海浜公園）	既定計画	1基	1基	
	14号地その1 （夢の島マリーナ）	既定計画	1基	1基	
葛西沖 地区	葛西	既設	1基	1基	
中央 防波堤 地区	海の森	新規計画	1基	-	

表Ⅲ-3-4 旅客船埠頭（船揚場）計画

地区名・埠頭名		種別	今回計画	既定計画	対象船舶
			延長(m)	延長(m)	
内港地区	豊洲埠頭（船揚場）	既設	10.0	10.0	小型船
中部地区	13号地（船揚場）	既設	10.0	10.0	



図III-3-2 旅客船埠頭（小型栈橋等）計画

4. 木材取扱施設計画

4-1 木材取扱施設の現況

木材取扱施設の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-4-1 木材取扱施設の現況（令和元年）

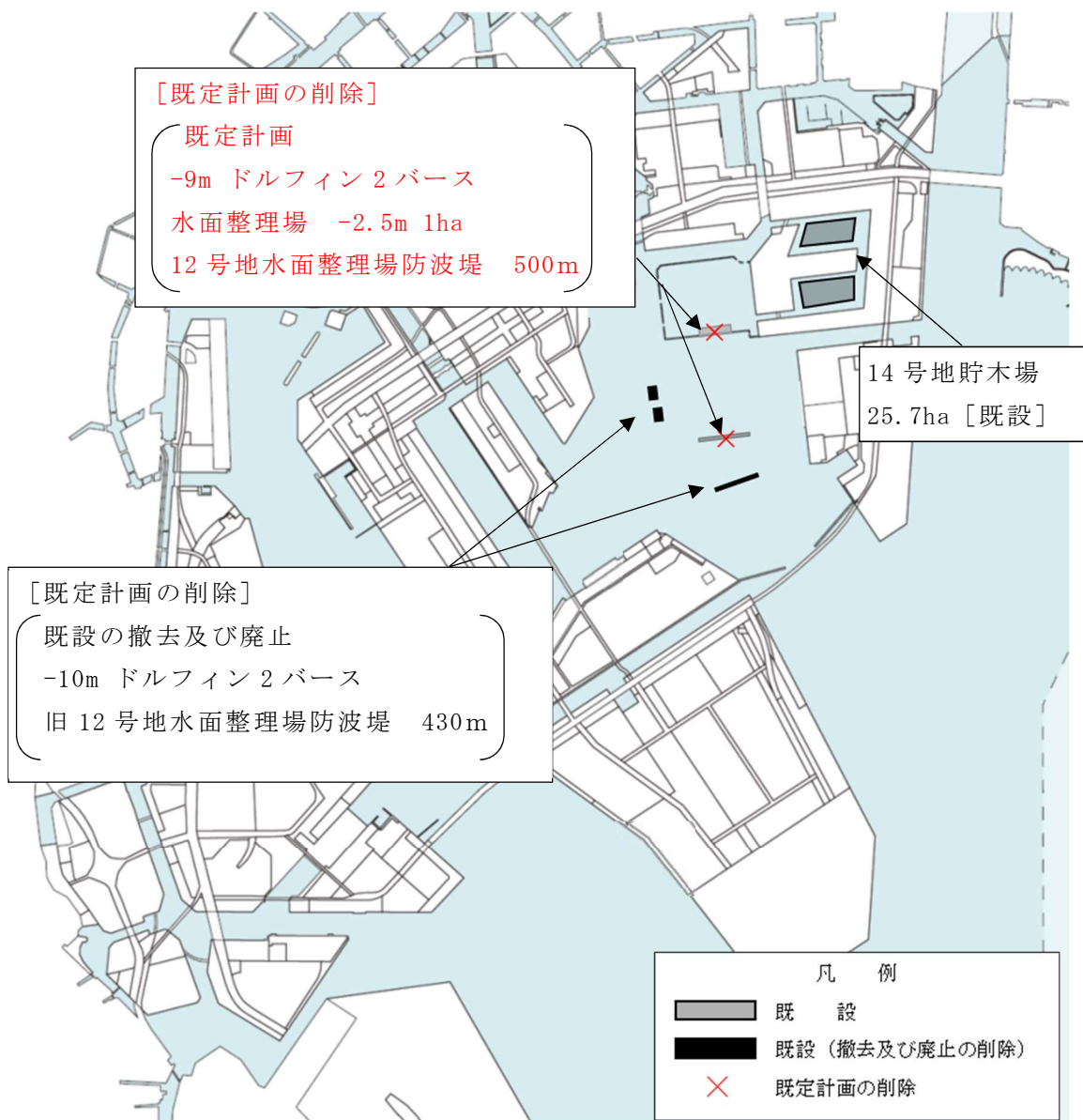
地区名	施設名	規模
東部地区	14号地貯木場	25.7 ha
	12号地ドルフィン	2 バース
	旧12号地 水面整理場防波堤	430m

4-2 木材取扱施設の規模及び配置

15号地外内貿コンテナ埠頭（埋立含む）の計画削除に伴い、既設の12号地木材取扱施設（ドルフィン・2バース、旧12号地水面整理場防波堤）について、計画廃止の削除により再度位置付ける。

表Ⅲ-4-2 係留施設等計画

施設名	種別	今回計画		既定計画	
		水深 (m)	規模	水深 (m)	規模
14号地貯木場	既設	-	25.7ha	-	25.7ha
ドルフィン	既設の撤去及び 廃止の削除	-10.0	2 バース	-	-
旧12号地 水面整理場防波堤	既設の撤去及び 廃止の削除	-	430m	-	-
ドルフィン	既定計画の削除	-	-	-9.0	2 バース
水面整理場	既定計画の削除	-	-	-2.5	1ha
12号地 水面整理場防波堤	既定計画の削除	-	-	-	500m



図Ⅲ-4-1 木材取扱施設設計画位置図

5. 専用埠頭計画

5-1 専用埠頭の現況

専用埠頭の取扱貨物等の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-5-1 専用埠頭の現況（令和元年）

地区名・埠頭名		水深 (m)	バース 数	延長 (m)	対象船型 (DWT)	主要 取扱貨物	企業名
内港 地区	晴海(官庁船)	-8.0	3	—	1,500～ 3,200(GT)	—	水産庁 他
	品川(セメント)	-4.5 ～ -8.0	4	—	699～ 8,400	砂利・砂、 セメント	アサノコンクリート (株) 他
	品川(電力)	-7.5	1	—	—	—	(株)JERA
	豊洲埠頭(新市場)	-8.0	1	200	6,000	—	—
中部 地区	10号地(民間)	-7.5	11	1,563	1,500～ 5,000	鋼材	住金物流(株) 他
	台場(官庁船)	-6.0	2	200	460～ 2,950	—	海上保安庁
南部 地区	大井その1(電力)	-8.5	1	—	2,926	原油、鋼 材、石油類	東電大井火力発電所
	大井その2(建材)	-5.0	3	210	1,000	砂利・砂、 石灰石	関東宇部コンクリー ト工業(株) 他
	京浜(民間)	-5.0	—	836	—	砂利・砂、 再利用資 材、廃土砂	(株)土岐 他
東部 地区	11号地 (セメント)	-8.0	1	—	7,000	—	太平洋セメント(株)
	15号地(民間) (建材)	-5.0	2	140	1,000	—	吉田建材(株) 他
	15号地(民間) (セメント、危険 物)	-4.0 ～ -12.0	6	670	500～ 30,000	—	出光興産(株) 他
	15号地(民間) (特殊品)	-4.5	2	160	1,000	—	有明興業(株)
中央 防波堤 地区	中央防波堤内側 外貿雑貨埠頭 (民間)	-10.0	1	260	15,000	野菜・果物	(株)上組

5-2 専用埠頭計画の必要性

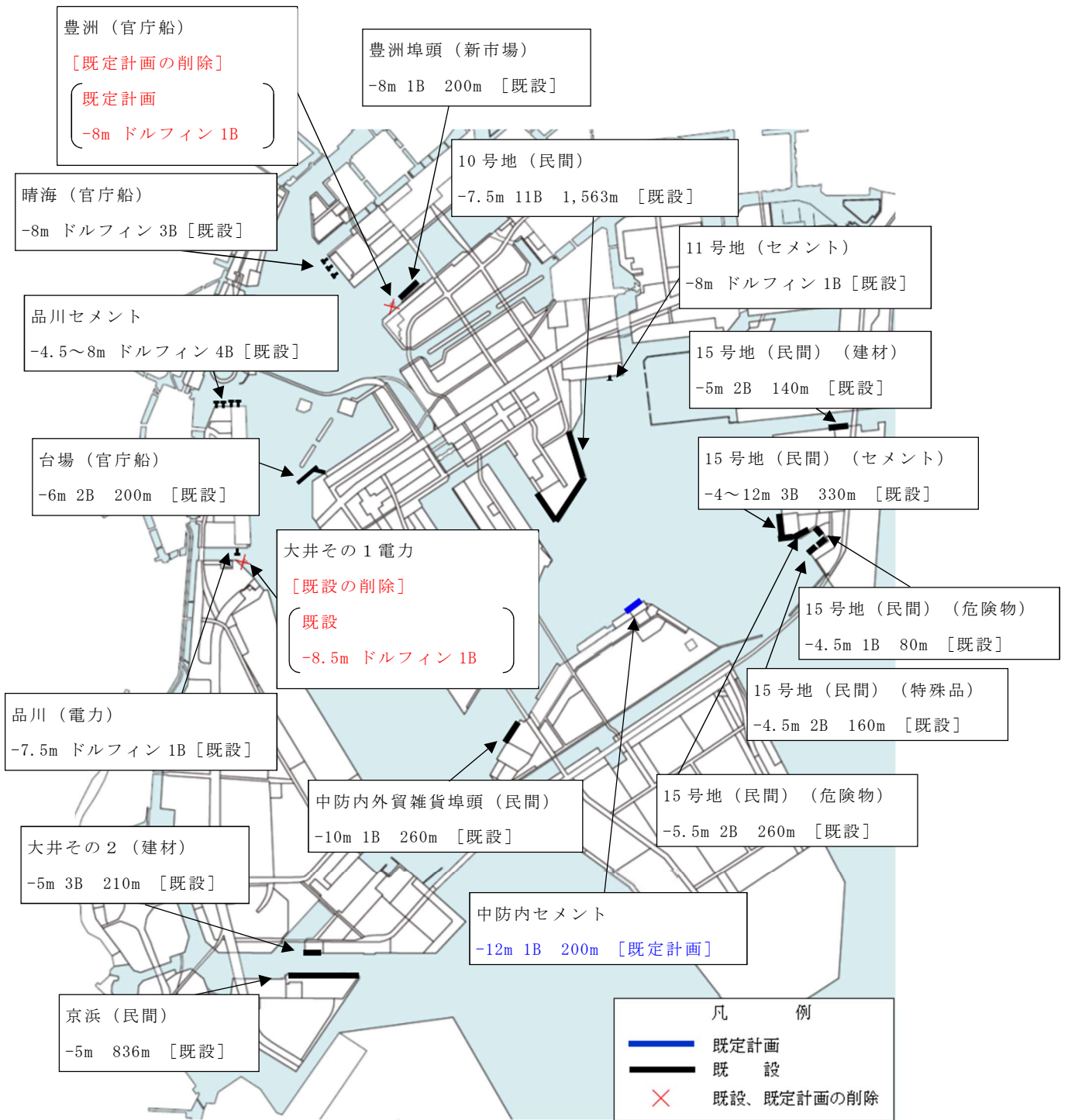
引き続き、事業者の需要に対応するため、既定計画のとおりとする。

5-3 専用埠頭の規模及び配置

専用埠頭の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ-5-2 専用埠頭計画

地区名・埠頭名		水深 (m)	バース数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)	規模及び 配置の考え方
内港 地区	豊洲 (官庁船)	-8.0	1	—	3,000	既定計画の 削除
南部 地区	大井その1 電力	-8.5	1	—	2,926	既設の削除
中央 防波堤 地区	中央防波堤 内側セメント	-12.0	1	200	30,000	既定計画



図Ⅲ-5-1 専用埠頭計画

6. 水域施設計画

6-1 航路計画

6-1-1 主な航路の現況

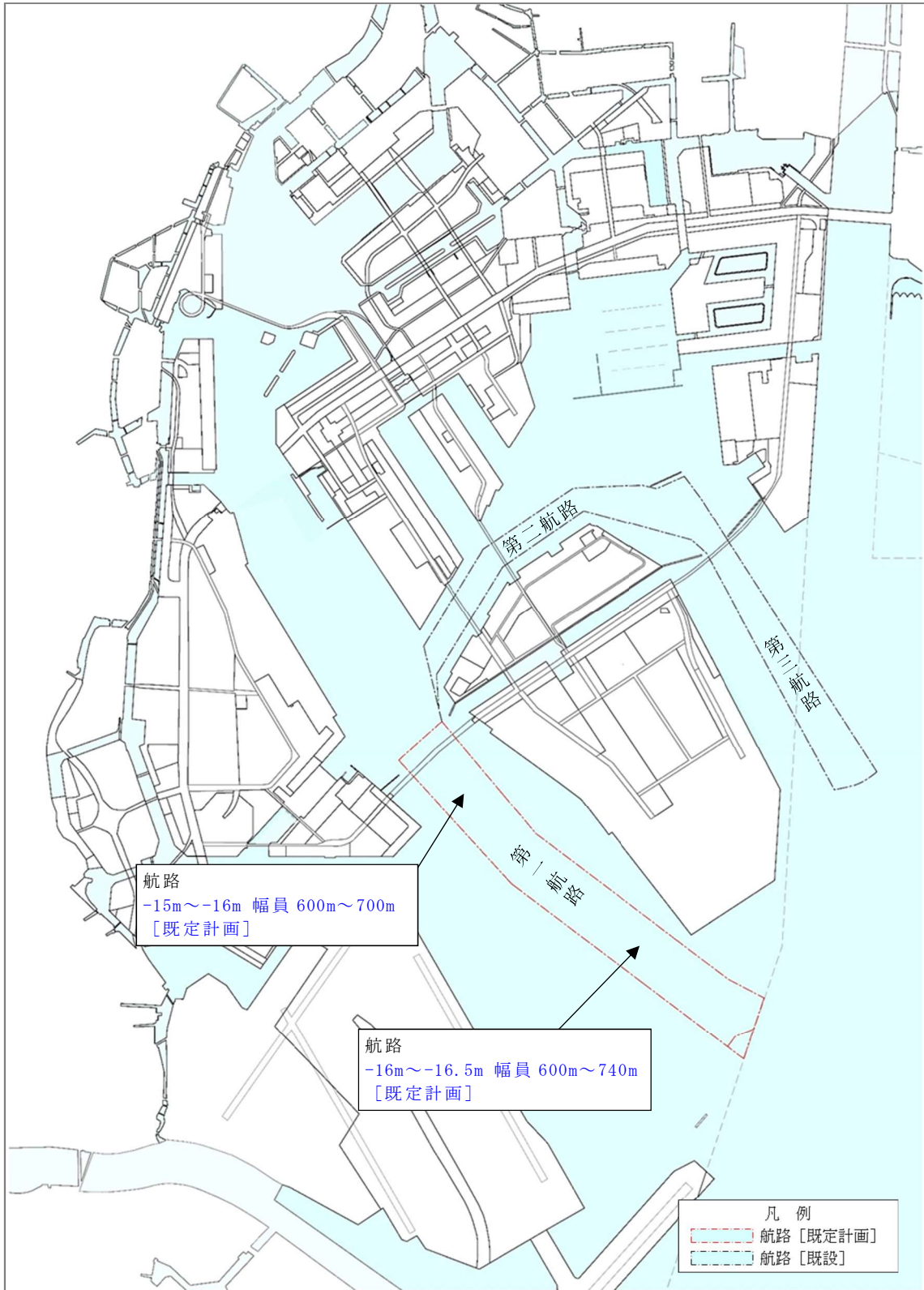
主な航路の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-6-1 主な航路の現況

航路名	水深(m)	航路幅(m)	状況
第一航路	-15.0～-16.0	600～700	既定計画
	-16.0～-16.5	600～740	
第二航路	-12.0	300	既設
第三航路	-12.0	300～550	既設

6-1-2 航路計画

今回計画では、新たな航路計画は無い。



図Ⅲ-6-1 航路計画

6-2 泊地計画

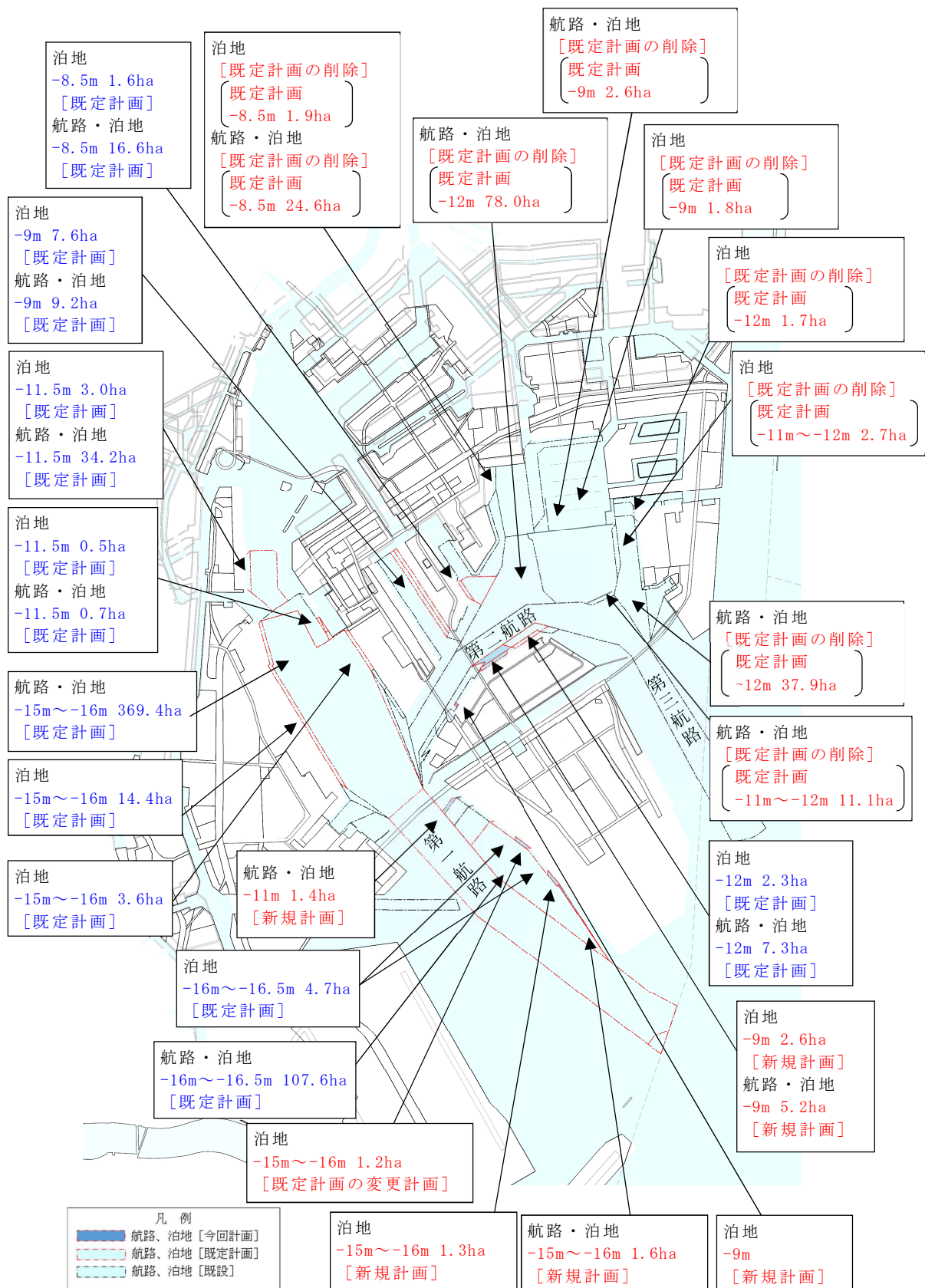
泊地及び航路・泊地計画は、次に示すとおりである。

表Ⅲ-6-2 泊地計画

地区名	埠頭名	種別	今回計画			既定計画		
			対象船型 (DWT)	水深 (m)	面積 (ha)	対象船型 (DWT)	水深 (m)	面積 (ha)
内港地区	品川コンテナ	既定計画	40,000	-11.5	3.0	40,000	-11.5	3.0
南部地区	大井コンテナ	既定計画	150,000	-15.0~ -16.0	14.4	150,000	-15.0~ -16.0	14.4
中部地区	東京国際クルーズ	既定計画	230,000 (GT)	-11.5	0.5	230,000 (GT)	-11.5	0.5
	青海コンテナ	既定計画	150,000	-15.0~ -16.0	3.6	150,000	-15.0~ -16.0	3.6
	10号地その1 東側多目的	既定計画の 削除	—	—	—	14,500 (GT)	-8.5	1.9
	10号地その2(東) 多目的	既定計画	23,000 (GT)	-8.5	1.6	23,000 (GT)	-8.5	1.6
	10号地その2(西) ユニットロード	既定計画	17,000 (GT)	-9.0	7.6	12,000 (GT)	-9.0	7.6
東部地区	水面整理場	既定計画の 削除	—	—	—	—	-9.0	1.8
	15号地 木材	既定計画の 削除	—	—	—	30,000	-12.0	1.7
	15号地 コンテナ	既定計画の 削除	—	—	—	30,000	-11.0~ -12.0	2.7
中央 防波堤地区	中央防波堤内側 多目的	既定計画	30,000	-12.0	2.3	30,000	-12.0	2.3
	中央防波堤内側 内貿ユニットロード	新規計画	17,000 (GT)	-9.0	2.6	—	—	—
	中央防波堤内側 内貿ユニットロード	新規計画	17,000 (GT)	-9.0	—	—	—	—
	中央防波堤外側・ 新海面処分場 コンテナ	既定計画の 変更計画	80,000	-15.0~ -16.0	1.2	150,000	-16.0~ -16.5	5.7
		既定計画	150,000	-16.0~ -16.5	4.7			
		新規計画	80,000	-15.0~ -16.0	1.3	—	—	—

表Ⅲ-6-3 航路・泊地計画

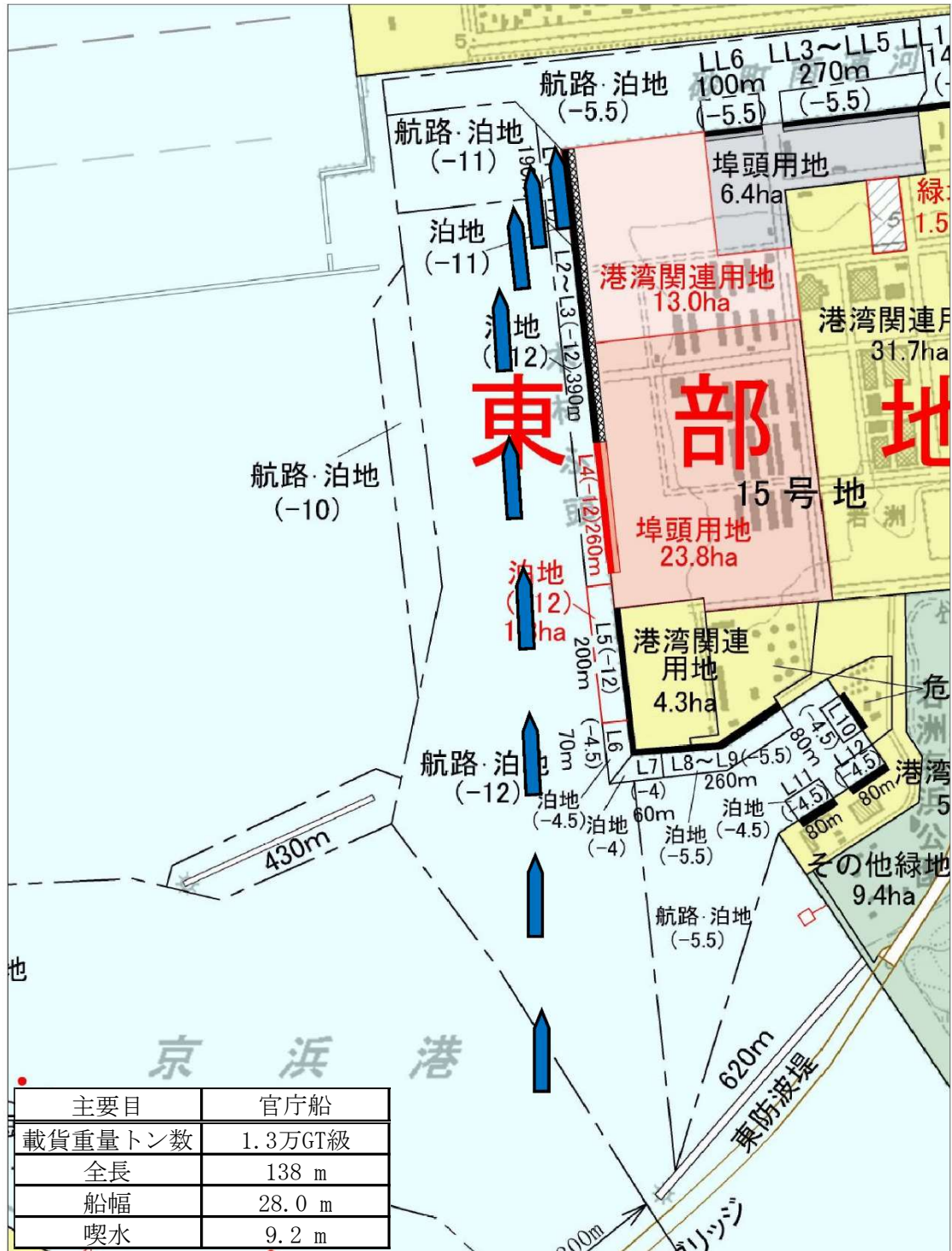
地区名	対象施設名	種別	今回計画			既定計画		
			対象船型 (DWT)	水深 (m)	面積 (ha)	対象船型 (DWT)	水深 (m)	面積 (ha)
内港地区	品川コンテナ	既定計画	40,000	-11.5	34.2	40,000	-11.5	34.2
南部地区 中部地区	大井コンテナ 青海コンテナ	既定計画	150,000	-15.0~ -16.0	369.4	150,000	-15.0~ -16.0	369.4
中部地区	東京国際クルーズ	既定計画	230,000 (GT)	-11.5	0.7	230,000 (GT)	-11.5	0.7
	10号地その1	既定計画の 削除	—	—	—	14,500 (GT)	-8.5	24.6
	10号地その2(東) 多目的	既定計画	23,000 (GT)	-8.5	16.6	23,000 (GT)	-8.5	16.6
	10号地その2(西) ユニットロード	既定計画	17,000 (GT)	-9.0	9.2	12,000 (GT)	-9.0	9.2
東部地区	15号地	既定計画の 削除	—	—	—	—	-9.0	2.6
	15号地	既定計画の 削除	—	—	—	30,000	-12.0	78.0
	15号地	既定計画の 削除	—	—	—	30,000	-11.0~ -12.0	11.1
	15号地	既定計画の 削除	—	—	—	30,000	-12.0	37.9
中央 防波堤地区	中央防波堤内側 多目的	既定計画	30,000	-12.0	7.3	30,000	-12.0	14.7
	中央防波堤内側 内貿ユニットロード	新規計画	17,000 (GT)	-9.0	5.2	—	—	—
	中央防波堤外側・ 新海面処分場 コンテナ	新規計画	20,000	-11.0	1.4	—	—	—
		既定計画	150,000	-16.0~ -16.5	107.6	150,000	-16.0~ -16.5	109.3
		新規計画	80,000	-15.0~ -16.0	1.6	—	—	—



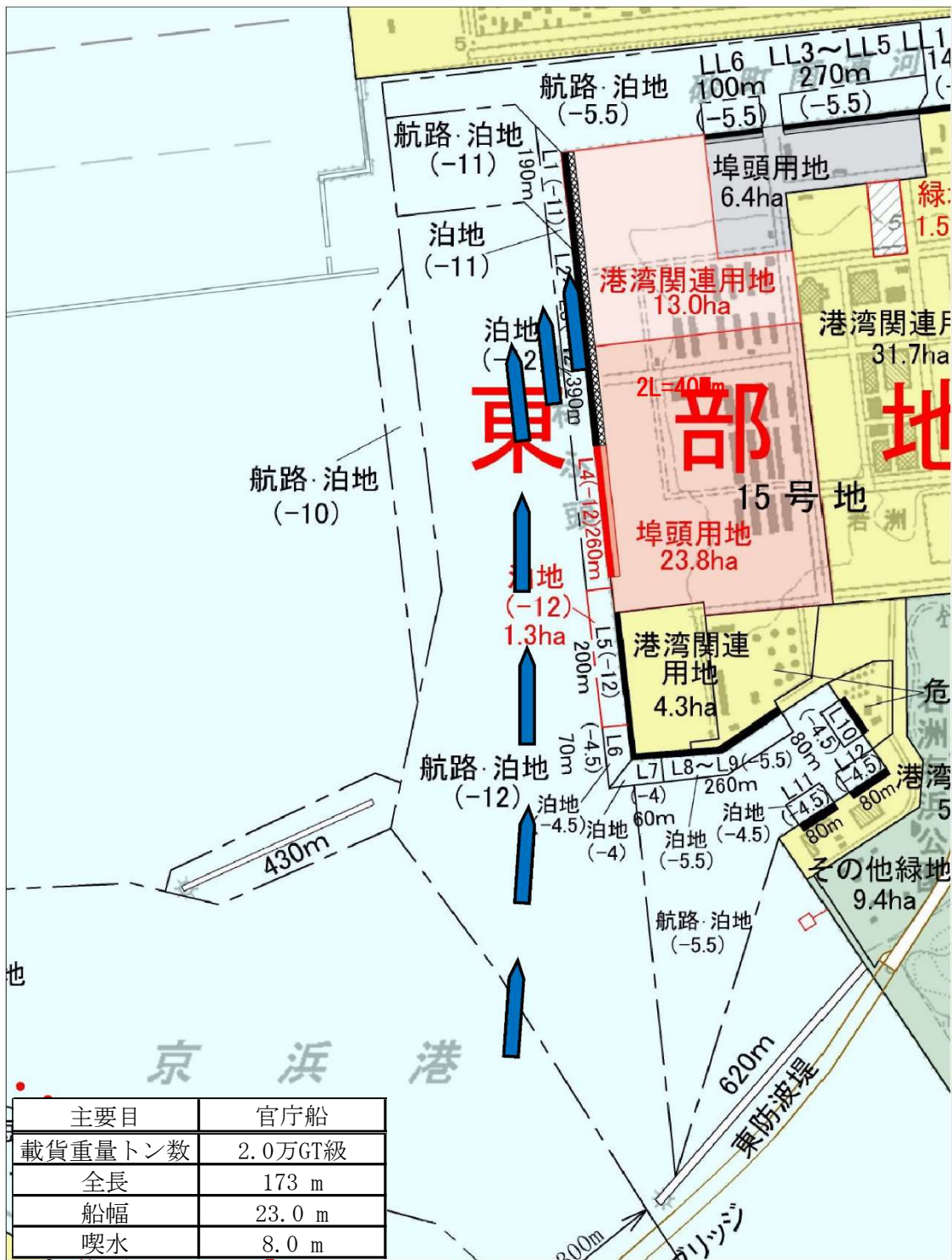
図Ⅲ-6-2 泊地及び航路・泊地計画

6-3 操船例図

対象船舶の大型化及び新規に計画する泊地に係る操船例図は、それぞれ次のとおりである。



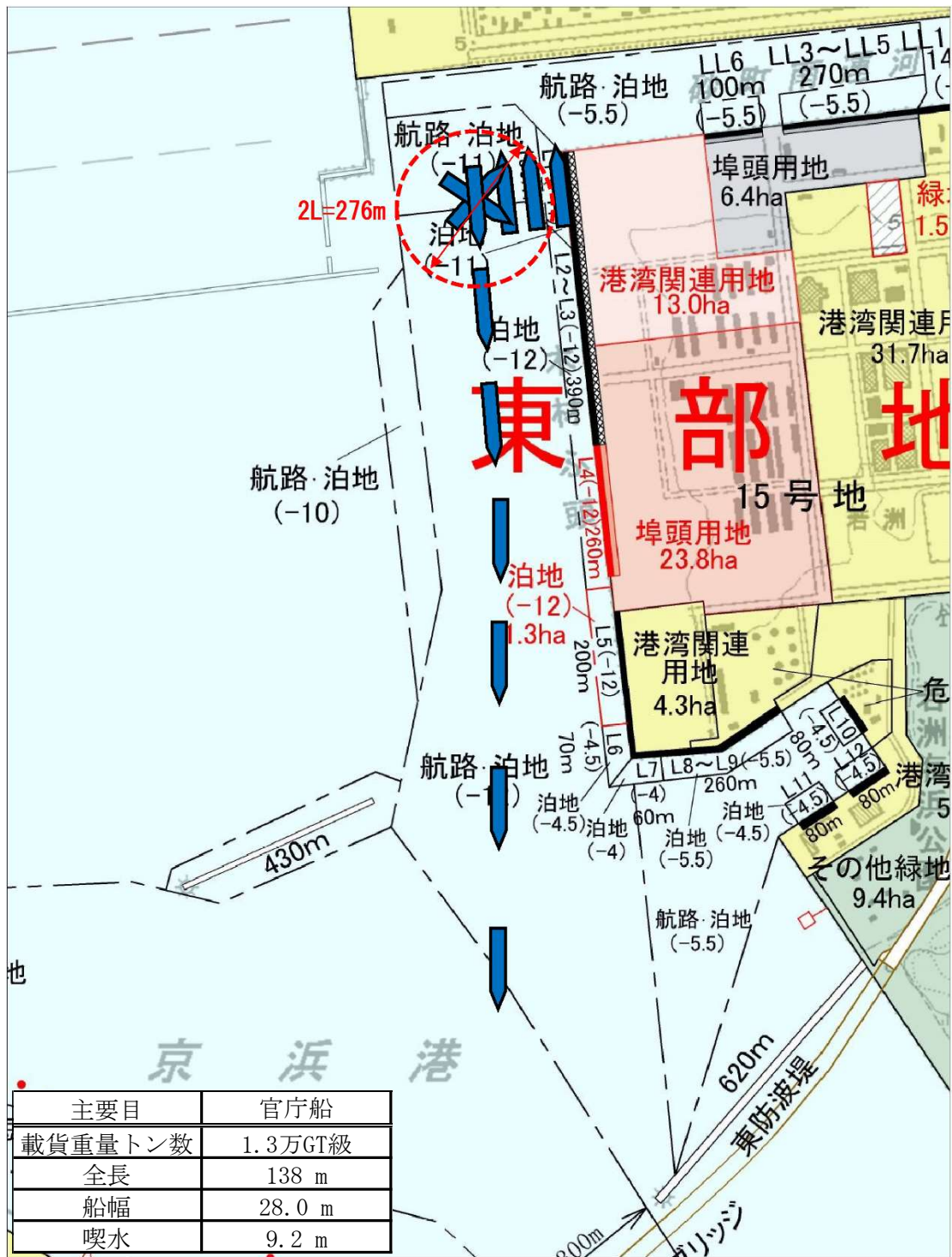
図Ⅲ-6-3 15号地木材埠頭の回頭水域・操船例図（L1入港時）



図Ⅲ-6-4 15号地木材埠頭の回頭水域・操船例図 (L2～L3入港時)



図 III-6-5 15号地木材埠頭の回頭水域・操船例図 (L4入港時)



図Ⅲ-6-6 15号地木材埠頭の回頭水域・操船例図（L1出港時）

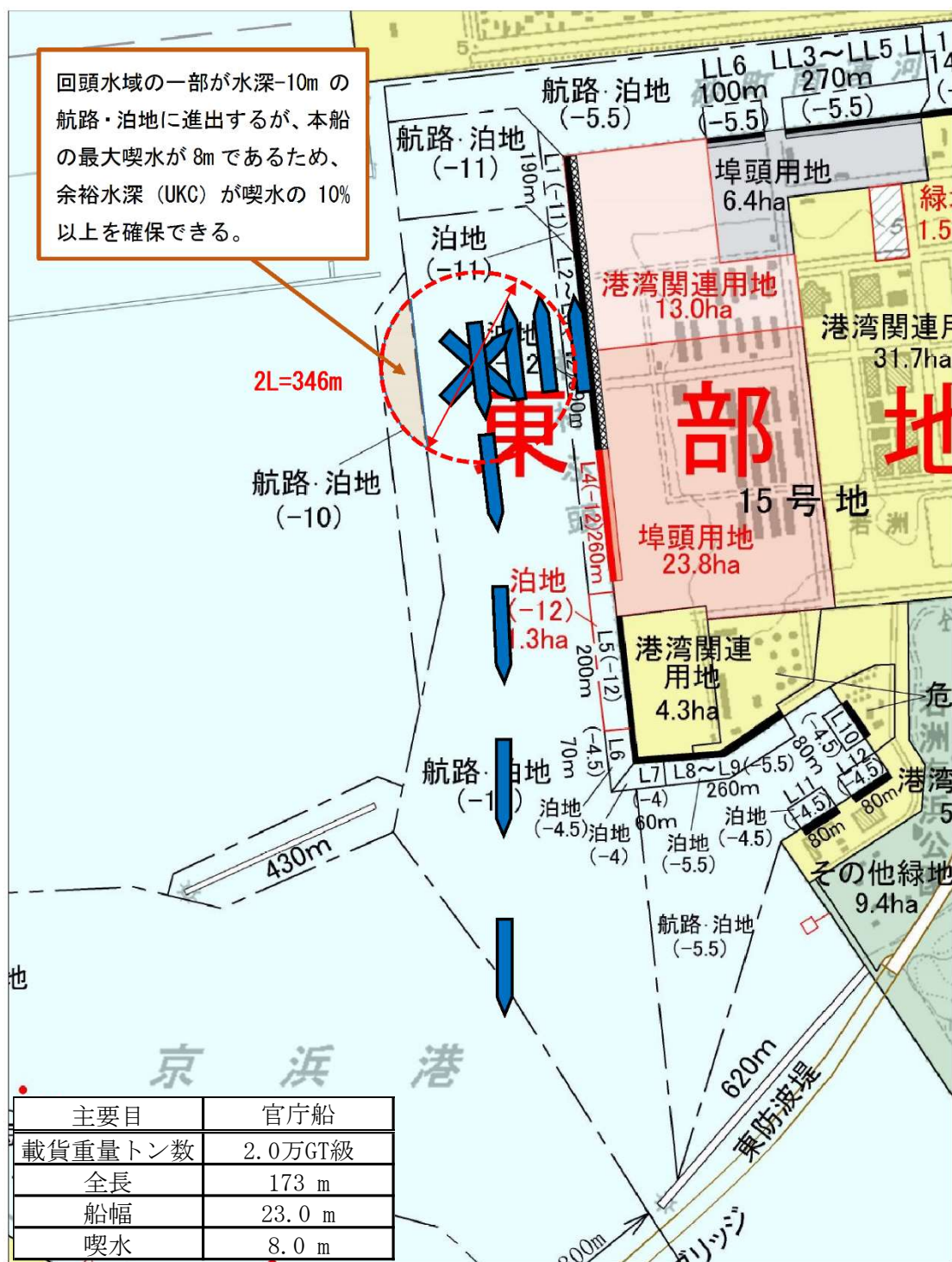


図 III-6-7 15号地木材埠頭の回頭水域・操船例図（L2～L3出港時）



図Ⅲ-6-8 15号地木材埠頭の回頭水域・操船例図（L4出港時）



図 III-6-9 中央防波堤内側内貿ユニットロード埠頭の回頭水域・操船例図（入港時）

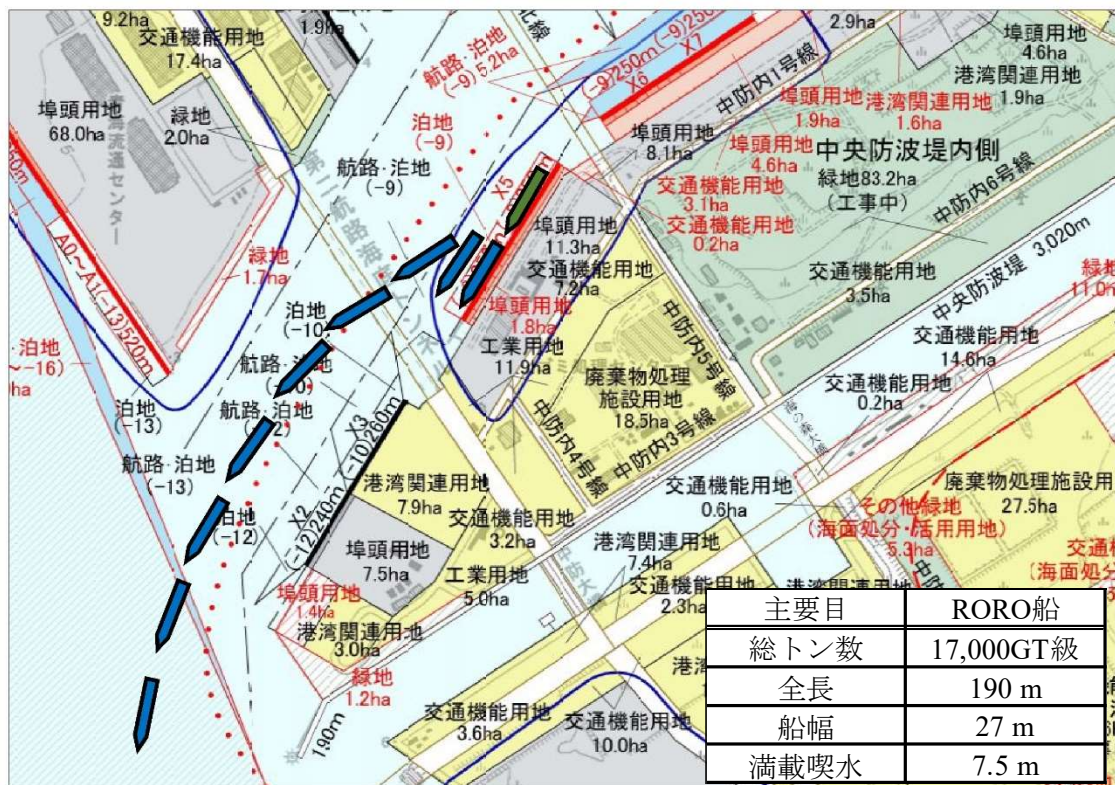


図 III-6-10 中央防波堤内側内貿ユニットロード埠頭の回頭水域・操船例図（出港時）

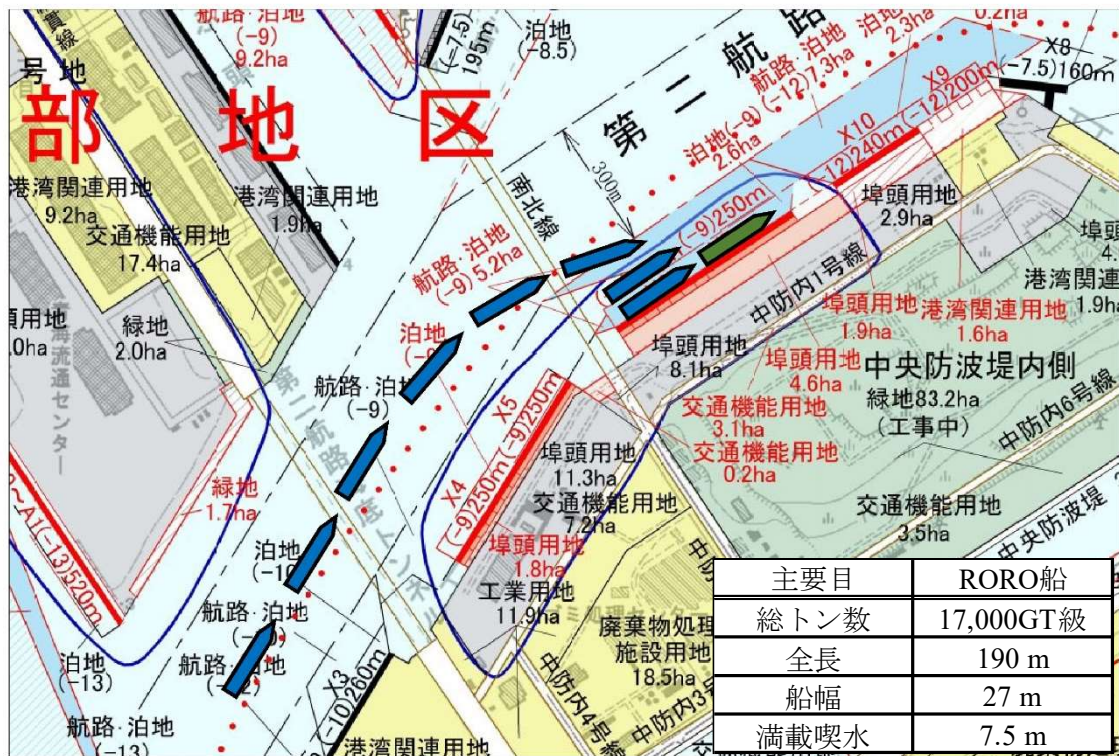


図 III-6-11 中央防波堤内側内貿ユニットロード埠頭の回頭水域・操船例図（入船右舷入港時）

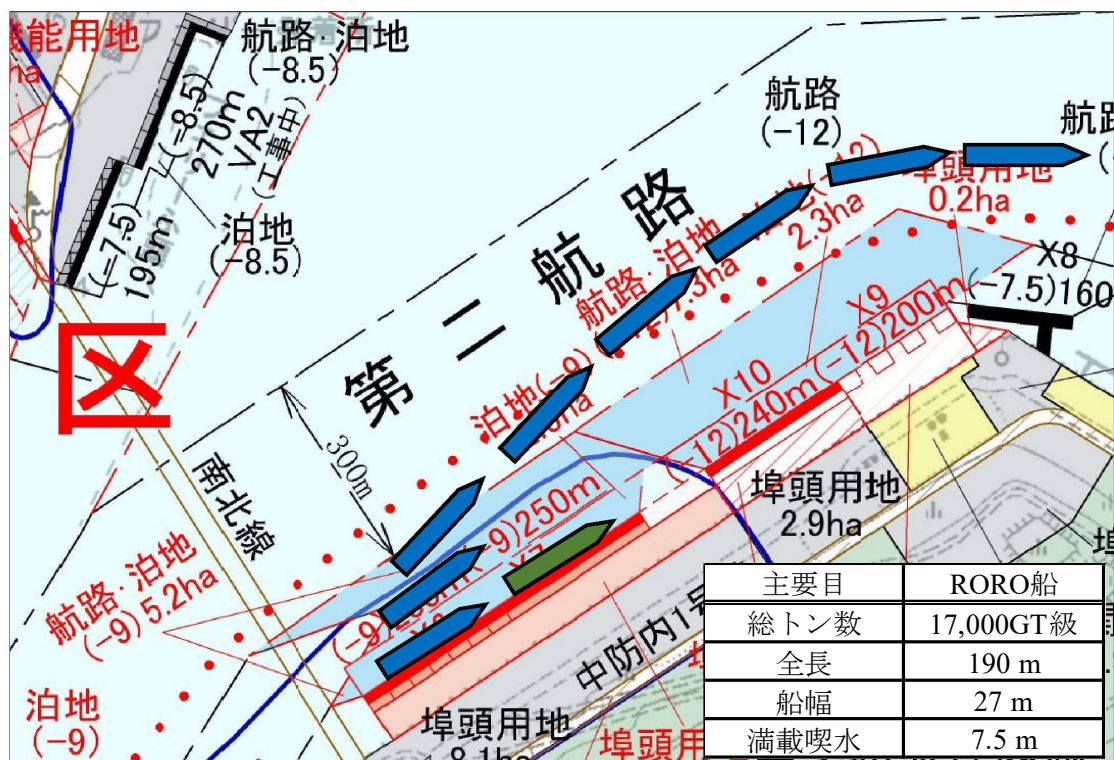


図 III-6-12 中央防波堤内側内貿ユニットロード埠頭の回頭水域・操船例図（入船右舷出港時）

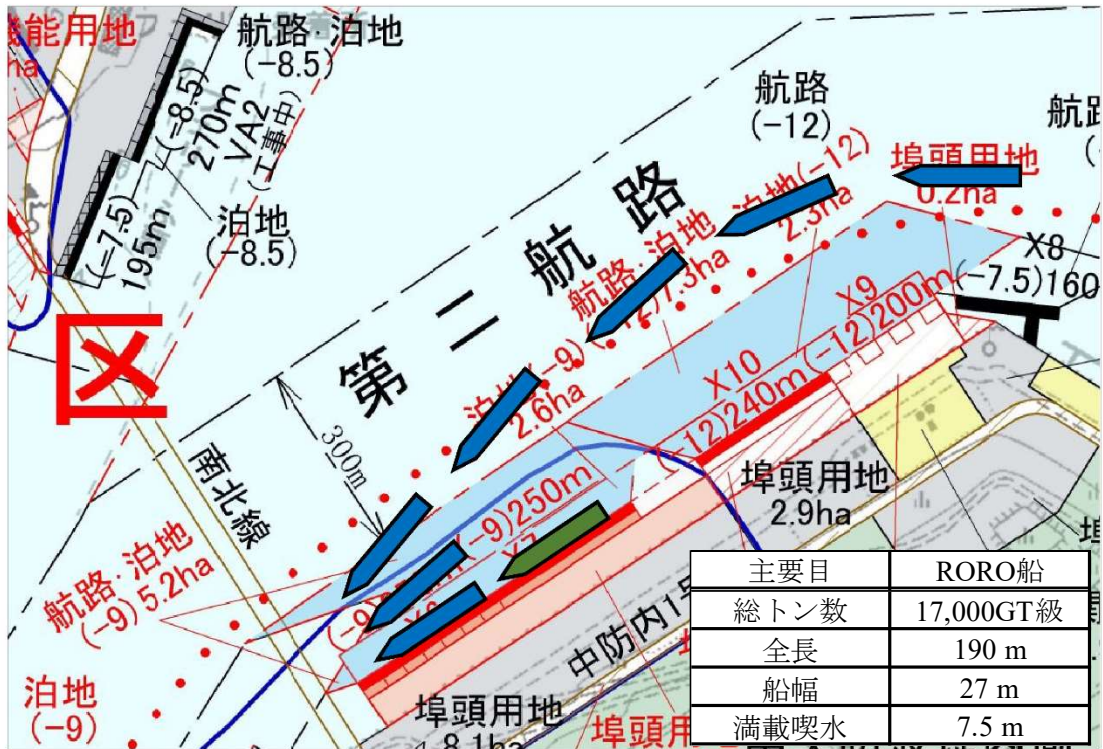


図 III-6-13 中央防波堤内側内貿ユニットロード埠頭の回頭水域・操船例図（入船左舷入港時）

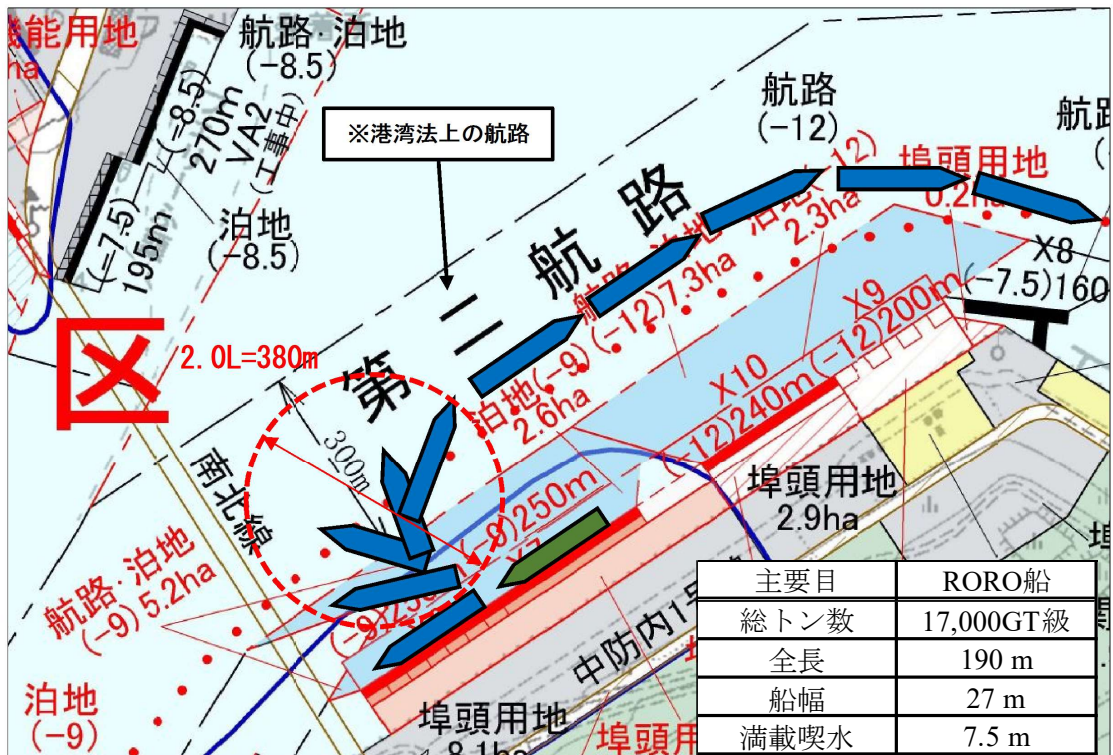
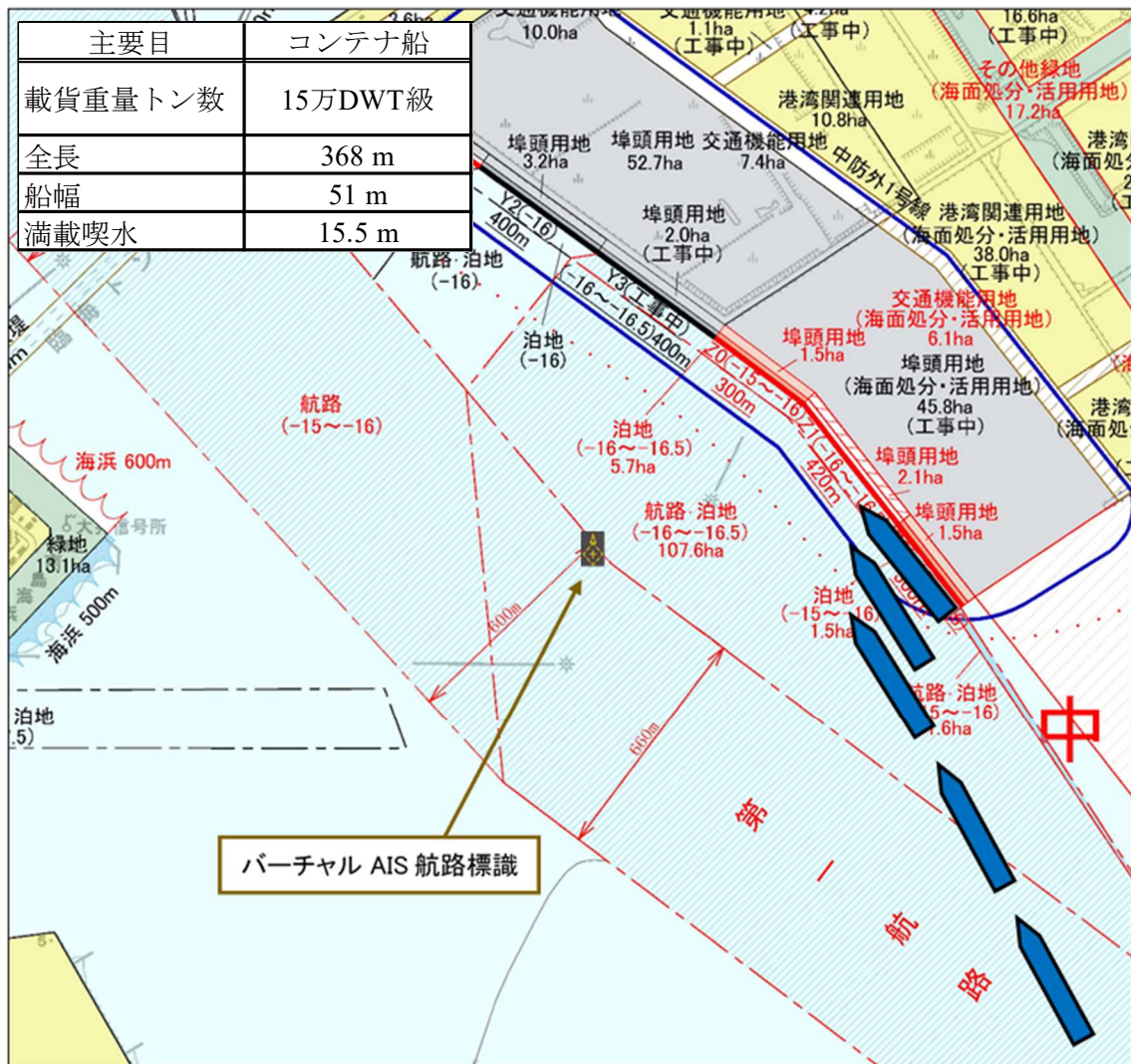


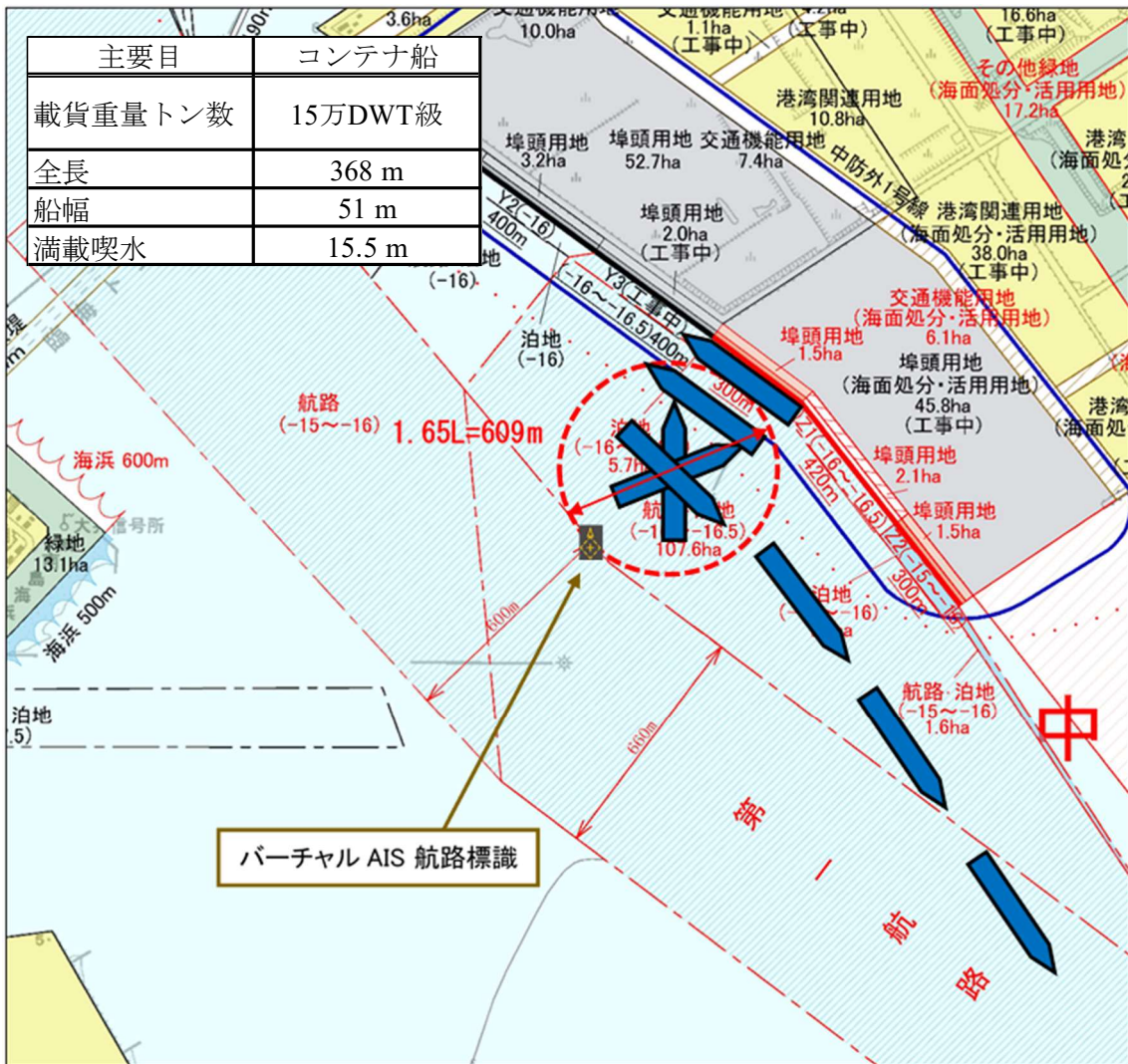
図 III-6-14 中央防波堤内側内貿ユニットロード埠頭の回頭水域・操船例図（入船左舷出港時）



※対象船舶は東南アジア航路だが、Y3 との一体利用を見据え 15 万 DWT で検討
 図Ⅲ-6-15 新海面処分場コンテナ埠頭の回頭水域・操船例図（Z0入港時）

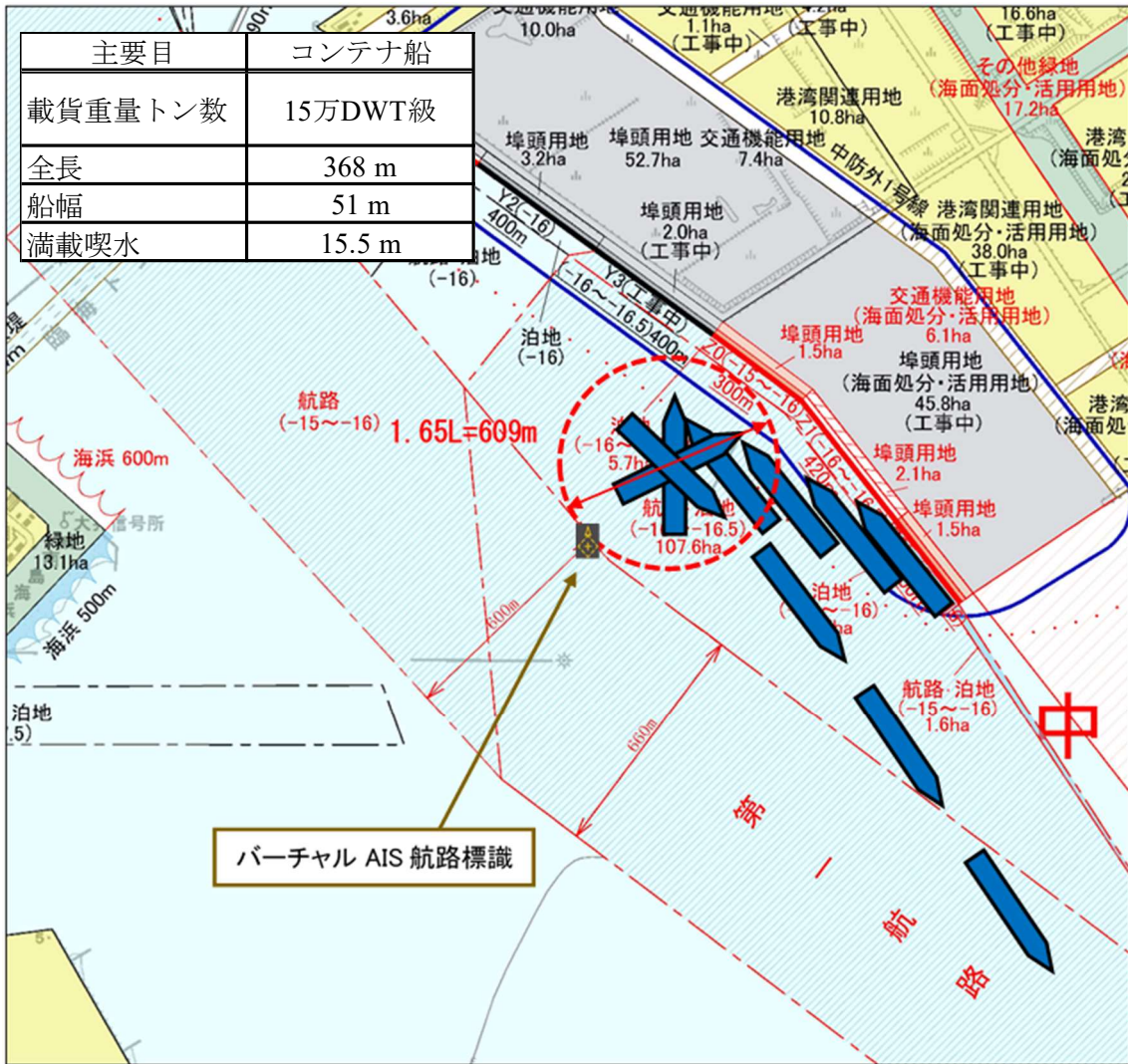


※対象船舶は東南アジア航路だが、Z1 との一体利用を見据え 15 万 DWT で検討
 図 III-6-16 新海面処分場コンテナ埠頭の回頭水域・操船例図 (Z 2 入港時)



※対象船舶は東南アジア航路だが、Y3 との一体利用を見据え 15 万 DWT で検討

図 III-6-17 新海面処分場コンテナ埠頭の回頭水域・操船例図 (Z O 出港時)



※対象船舶は東南アジア航路だが、Z1 との一体利用を見据え 15 万 DWT で検討

図 III-6-18 新海面処分場コンテナ埠頭の回頭水域・操船例図 (Z2 出港時)

7. 外郭施設計画

7-1 防波堤計画

7-1-1 主要な防波堤の現況

主要な防波堤の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-7-1 主要な防波堤の現況

名 称	延長 (m)
防波堤	5,024
中央防波堤	3,690
東防波堤	620
西防波堤	284

7-1-2 防波堤の規模及び配置

防波堤の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ-7-2 防波堤計画

施設名	計画種類	延長
沖防波堤	既定計画	200m

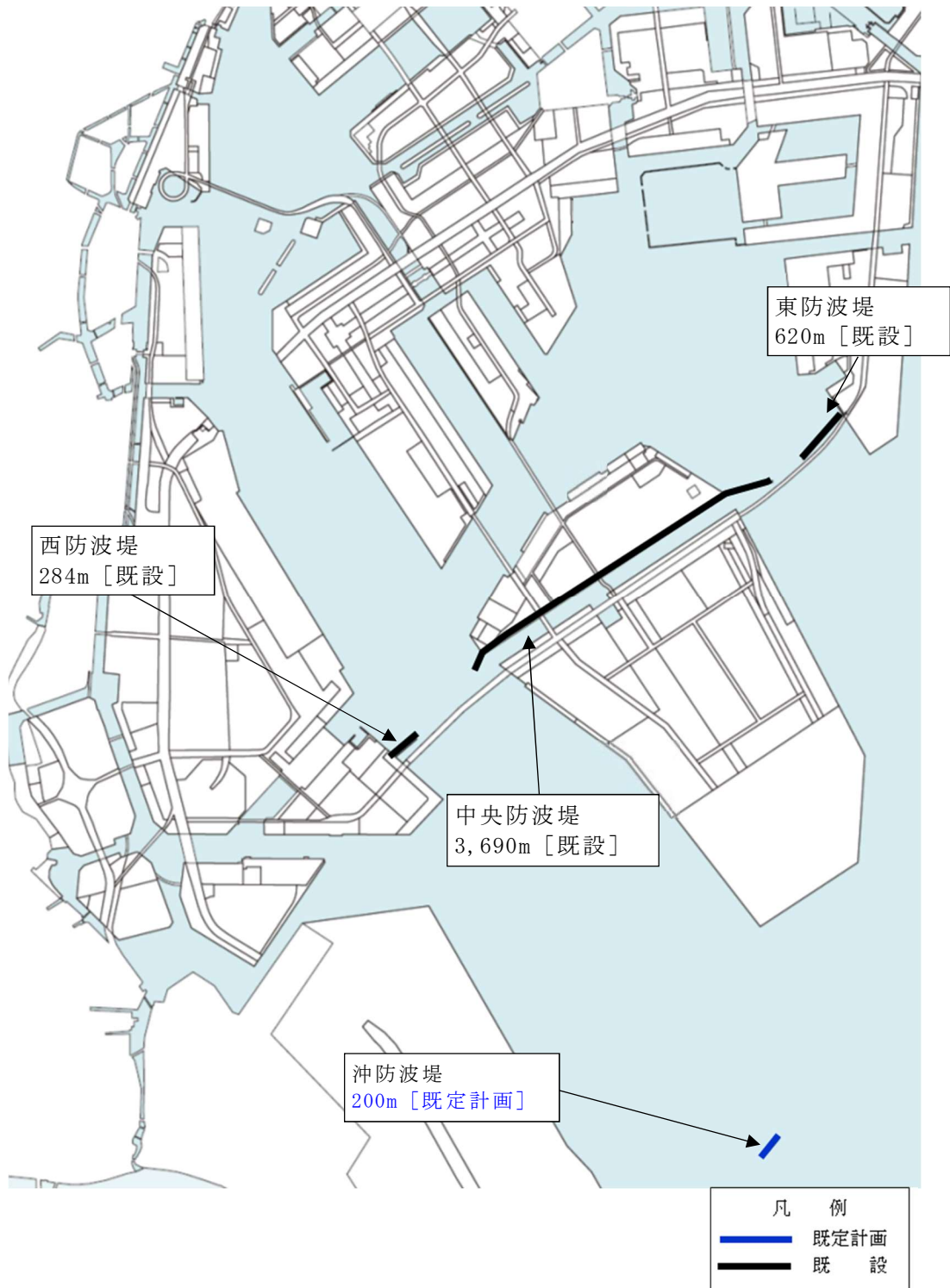


図 III-7-1 防波堤計画

7-1-3 静穏度の検討

(1) 静穏度の目標

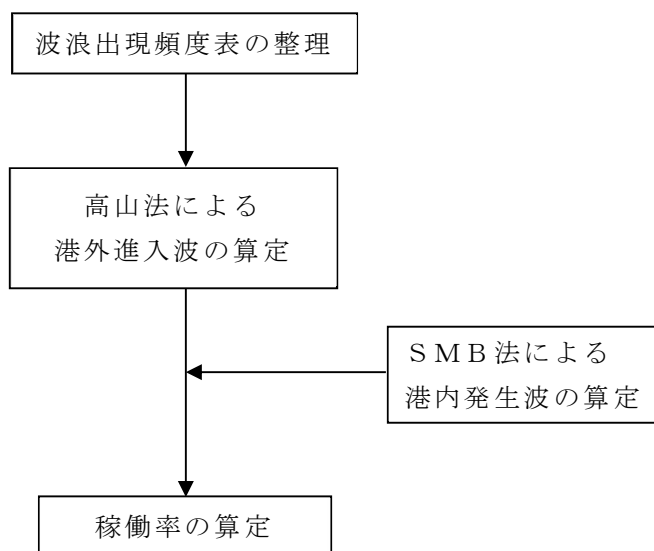
通常時の静穏度の目標は、次のとおりである。なお、異常時は港外避泊及び作業中止で対応するため、岸壁及びドルフィンの異常時については考慮しない。

表Ⅲ-7-3 静穏度の目標値

通常時	
荷役限界波高	0.3m以下（小型船だまり）
	0.5m以下（その他埠頭）
稼働率	通年：97.5%以上

※ 荷役限界波高は「港湾の施設の技術上の基準・同解説、平成30年」（公社日本港湾協会）

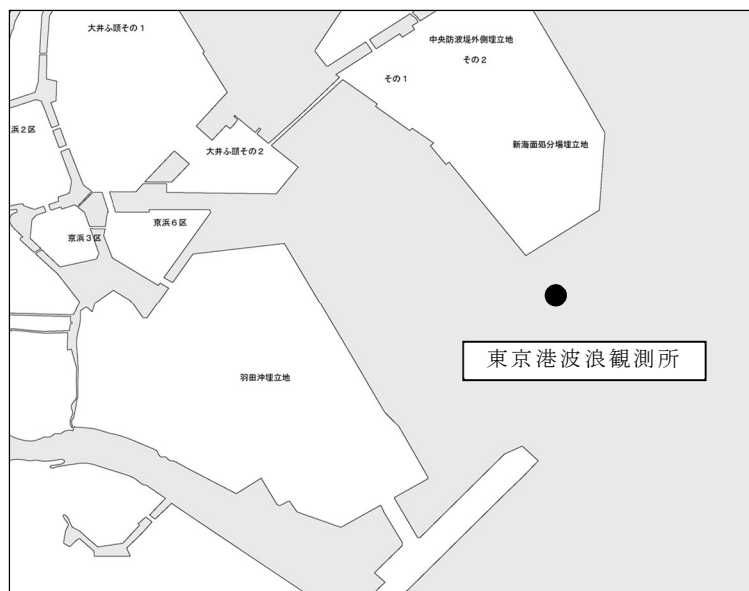
通常時の稼働率算定方法を以下に示す。



図Ⅲ-7-2 稼働率算定フロー

(2) 波浪条件

通常時の検討には、東京港波浪観測所で観測された波浪出現頻度表を使用する。また、静穏度の検討にあたっては、東京港波浪観測所で観測された風速を用いて港内発生波を算出し、稼働率を算定する。



図Ⅲ-7-3 東京港波浪観測所位置図

表Ⅲ-7-4 波向別波高出現頻度表

観測地点		東京港																規定回数:	
統計期間		2012年6月1日1時~2022年5月31日24時(通年)																観測回数:	
波高階級		波向																欠測回数:	
		N	NNE	NE	ESE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WSW	NW	NNW	合計	累計
0.00	~ 0.24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.25	~ 0.40	917	1096	1408	1808	2196	2046	1921	1581	1188	928	810	741	739	786	792	812	19769	19769
0.41	~ 0.49	78	130	250	361	569	596	567	365	213	141	73	79	81	58	76	74	3711	23480
0.50	~ 0.60	28	37	83	153	325	444	428	290	148	51	18	23	15	25	23	19	2110	25590
0.61	~ 0.80	2	7	35	54	131	203	343	223	75	18	9	1	4	4	7	4	1120	51600
0.81	~ 1.00	0	1	2	7	16	23	73	64	27	9	3	1	1	1	2	0	230	24830
1.01	~ 1.20	0	0	0	3	5	4	21	16	7	1	1	1	1	0	0	0	60	24890
1.21	~ 1.40	0	1	0	0	3	2	8	11	0	0	0	0	0	0	0	0	25	24915
1.41	~ 1.60	0	0	0	0	1	2	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8	24923
1.61	~ 1.80	0	0	1	1	1	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8	24931
1.81	~ 2.00	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	24932
2.01	~ 2.50	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	24934
2.51	~ 3.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24934
3.01	~ 3.50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24934
3.51	~	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24934
合計(0.50m以上のみ)		1025	1267	1779	2383	3247	3316	3366	2548	1656	1147	914	844	841	873	898	909	27011	27044
合計		(3.8)	(4.7)	(6.6)	(8.8)	(12.0)	(12.3)	(12.5)	(9.4)	(6.1)	(4.2)	(3.4)	(3.1)	(3.1)	(3.2)	(3.3)	(3.4)	(100.0)	

表Ⅲ-7-5 波向別周期出現頻度表

観測地点		東京港																規定回数:	
統計期間		2012年6月1日1時~2022年5月31日24時(通年)																観測回数:	
周期階級		波向																欠測回数:	
		N	NNE	NL	ESE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	合計	累計
0.00	~ 1.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1.10	~ 2.00	4	5	1	13	7	10	11	11	10	6	8	8	6	8	7	7	123	123
2.10	~ 3.00	940	1178	1596	2079	2793	2828	2779	1498	1063	854	776	813	827	833	23830	23953	23830	23953
3.10	~ 4.00	78	85	176	282	427	475	562	332	146	74	53	60	57	54	63	69	2993	26946
4.10	~ 5.00	1	1	3	9	19	6	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	62	27008
5.10	~ 6.00	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	27010
6.10	~ 7.00	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	27011
7.10	~ 8.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27011
8.10	以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27011
合計		1023	1267	1779	2383	3247	3316	3366	2548	1656	1147	914	844	841	873	898	909	27011	(32.0)
		(1.2)	(1.5)	(2.1)	(2.8)	(3.8)	(3.9)	(4.0)	(3.0)	(2.0)	(1.4)	(1.1)	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(1.1)	(1.1)	(32.0)	

(3) 稼働率の算定

荷役稼働率の算定位置は、次のとおりである。次ページに算定結果一覧を示す。



図Ⅲ-7-4 稼働率算定地点

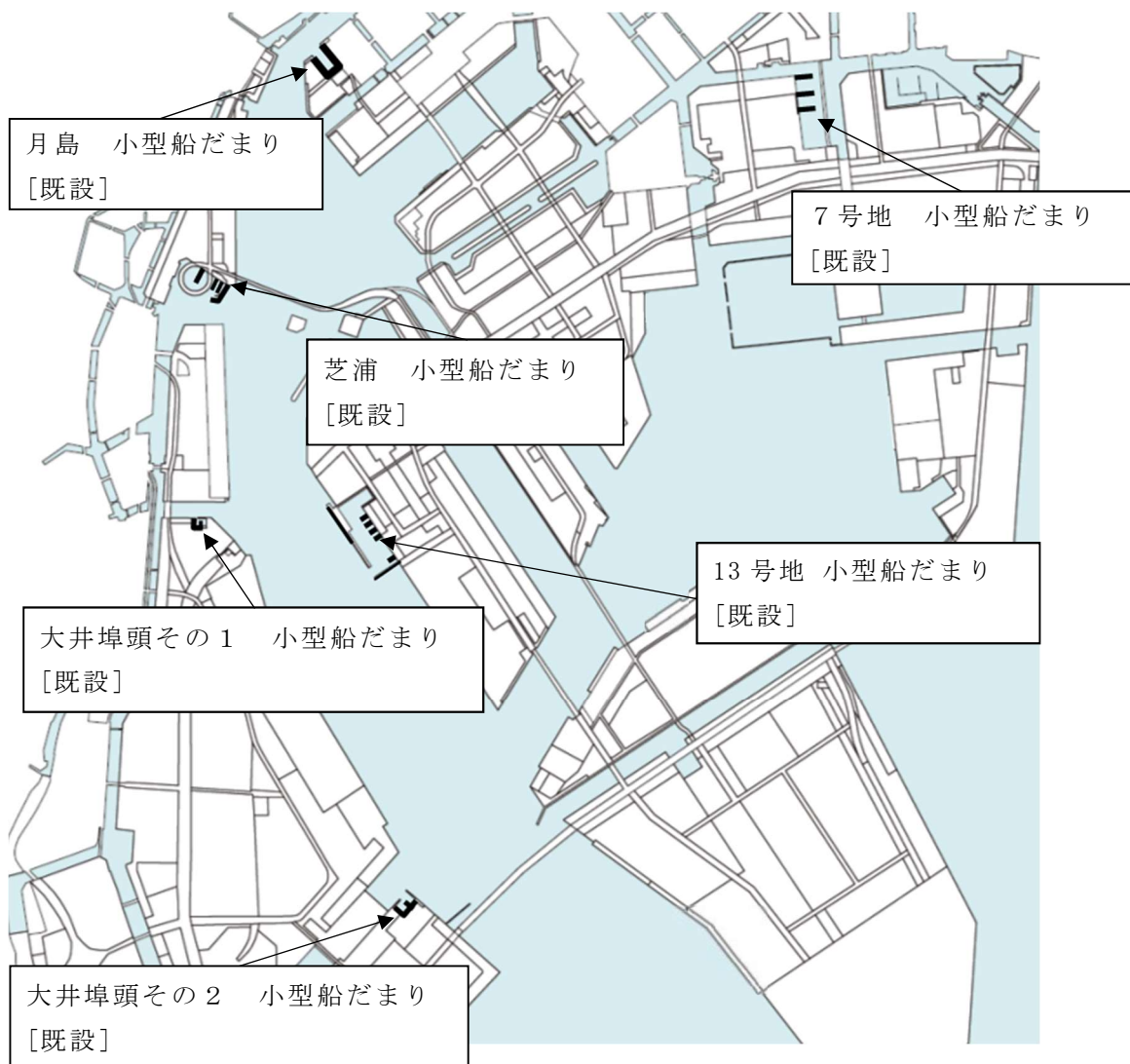
表 III-7-6 稼働率算定結果

稼働率一覧		超過(上段：確率、下段：波数)																稼働率(%)
		風向																
		N	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	
1	ふ頭Y1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.05	1.12	0.60	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	98.13	
2	ふ頭Y2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.05	0.98	0.59	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	98.27	
3	ふ頭Y3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.06	1.28	0.77	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	97.73	
4	ふ頭Z1(北)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.05	1.14	0.73	0.15	0.00	0.00	0.00	0.00	97.90	
5	ふ頭Z1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.05	1.18	0.78	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	97.80	
6	ふ頭Z1(南)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.05	1.18	0.78	0.18	0.01	0.00	0.00	0.00	97.78	
7	月島小型船だまり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	
8	芝浦小型船だまり	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.01	0.05	0.94	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	98.67	
9	大井ふ頭その1小型船だまり	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.01	0.04	0.19	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.73	
10	13号地小型船だまり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.96	
11	大井ふ頭その2小型船だまり	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.01	0.03	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.91	
12	竹芝貨客船	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.97	
13	日の出貨客船	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.98	
14	芝浦内貿雑貨	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.99	
15	品川内貿ユニット	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.06	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.91	
16	品川コンテナ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.06	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.90	
17	大井コンテナ1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.97	
18	大井コンテナ2	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.02	0.01	0.04	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.89	
19	大井水産物	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.03	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.93	
20	大井その1食品	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	
21	月島物揚場	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.97	
22	晴海客船	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.98	
23	晴海	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.34	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.65	
24	中央市場ふ頭	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	
25	客船	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14	0.13	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.68	
26	青海コンテナ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.12	0.09	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	99.77	
27	青海外貿多目的	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.05	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.90	
28	お台場ライナー	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	
29	10号地その2(西)内貿ユニット	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	
30	10号地その2フェリー	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.03	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.93	
31	10号地その2(東)内貿雑貨	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.97	
32	10号地その2(西)多目的ふ頭	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	
33	10号地鉄鋼(専用)	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.01	0.02	0.22	0.12	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	99.59	
34	10号地その2(東)多目的ふ頭	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.97	
35	11号地セメント(専用)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.97	
36	12号地内貿雑貨	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.05	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.90	
37	木材ドルフィン	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.01	0.02	0.13	0.15	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	99.63	
38	15号地内貿ユニット	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.03	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	99.96	
39	15号地建材	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	
40	15号地セメント(専用)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.98	
41	15号地危険物(専用)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	
42	中防内小型機橋	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.98	
43	中防内建設発生土	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.95	
44	中防内東セメント(専用)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.99	
45	中防内内貿ユニット	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	
46	中防内ばらもの	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	
47	12号地	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.01	0.06	0.31	0.33	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	99.20	
48	中防内RORO	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	

8. 小型船だまり計画

8-1 小型船だまりの現況

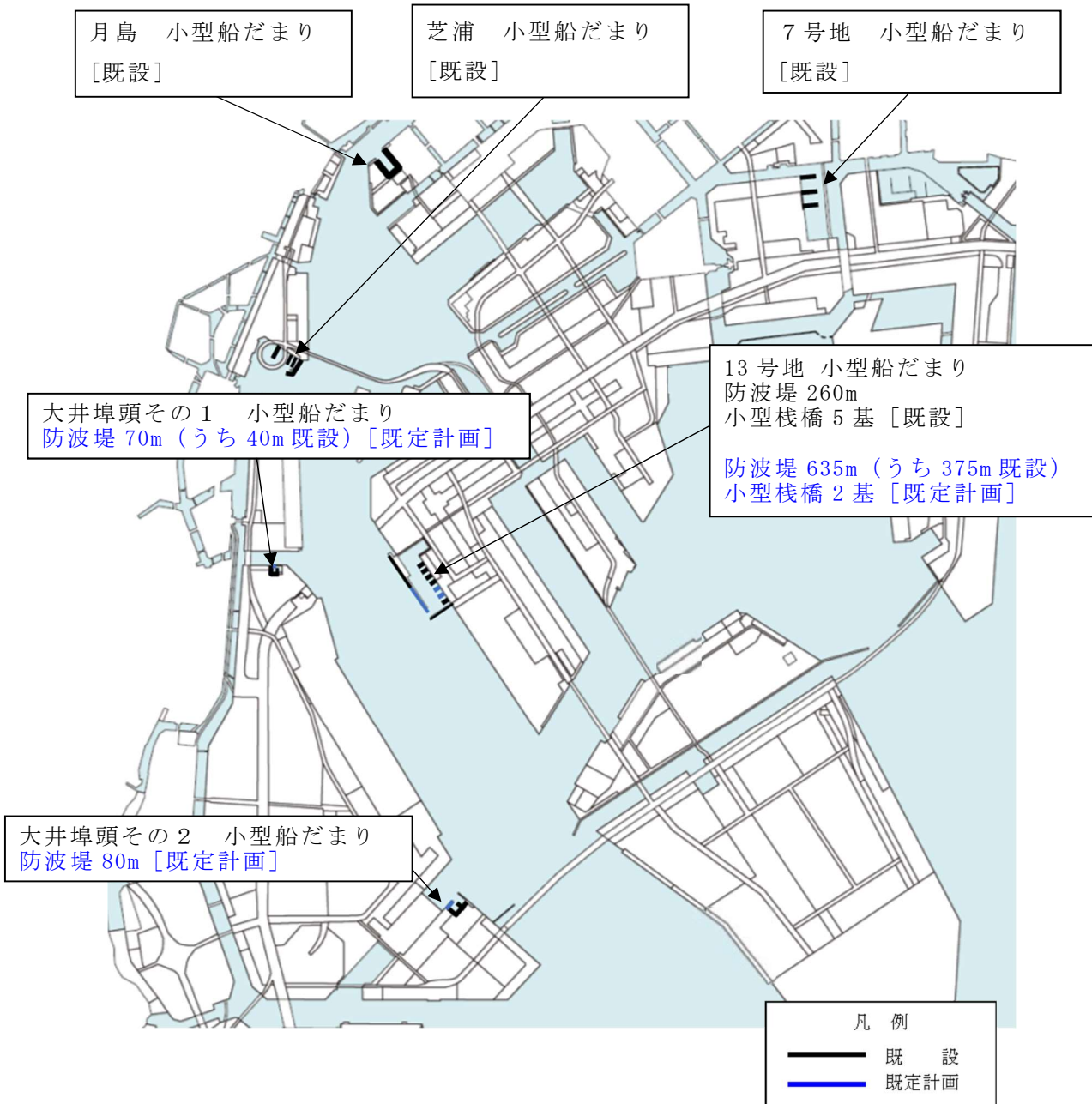
小型船だまりの現況と位置は、次のとおりである。



図Ⅲ-8-1 小型船だまりの現況と位置

8-2 小型船だまり計画

小型船だまり計画は、次のとおりである。



図Ⅲ-8-2 小型船だまり計画

9. 臨港交通施設計画

9-1 臨港道路の現況

主要な臨港道路の交通量等の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-9-1 主要な臨港道路の現況等

図番	施設名	起点	終点	車線数	現況交通量(R3.10月時点)			計画交通量 (百台/日)	規模及び配置 の考え方	備考
					交通量 (百台/日)	大型車 混入率	計測地点			
①	海岸青海線	海岸通り	青海・有明南 連絡線	4	229	33.9	レインボー ブリッジ	280	計画交通量より既定計画どおりと する。	既設
②	東京港臨海道路 (Ⅰ期区間)	城南島	中防外埋立地	4	310	58.4	中防大橋南詰 交差点	475		既設
③	東京港臨海道路 (Ⅱ期区間)	中防外埋立地	新木場・若洲線	4	237	51.1	東京ゲート ブリッジ	355		既設
④	新木場・若洲線	国道357号	東京港臨海道路	6	347	44.5	新木場交差点	411		既設
⑤	青海縦貫線	国道357号	中防外埋立地	4~6	136	74.0	中防大橋北詰 交差点	291		既設
⑥	大井ふ頭その1線	大井北部陸橋	環状七号線	6~10	175	80.6	大井税関前 交差点	277		既設
⑦	南北線	有明ふ頭連絡線	中防内5号線	4	56	74.4	東京港フェリー ターミナル前	215		既設
⑧	中防外1号線	東京港臨海道路	新海面処分場	6	69	87.4	中防大橋南詰 交差点	215		既定計画 (工事中を含む)
⑨	中防内1号線	中防内5号線	中防内埋立地	2	—	—	—	18		今後の交通需要を踏まえ車線数を 4車線から2車線に変更する。

9-2 臨港道路計画の必要性

東京港の国際競争力の強化を図っていくため、港湾と背後地を円滑に結ぶ道路網が不可欠である。このため、各埠頭間を連絡する幹線道路や、埠頭と幹線道路を連絡する道路を臨港道路として整備を進め、既定計画に基づく道路ネットワークの充実を図っていく。

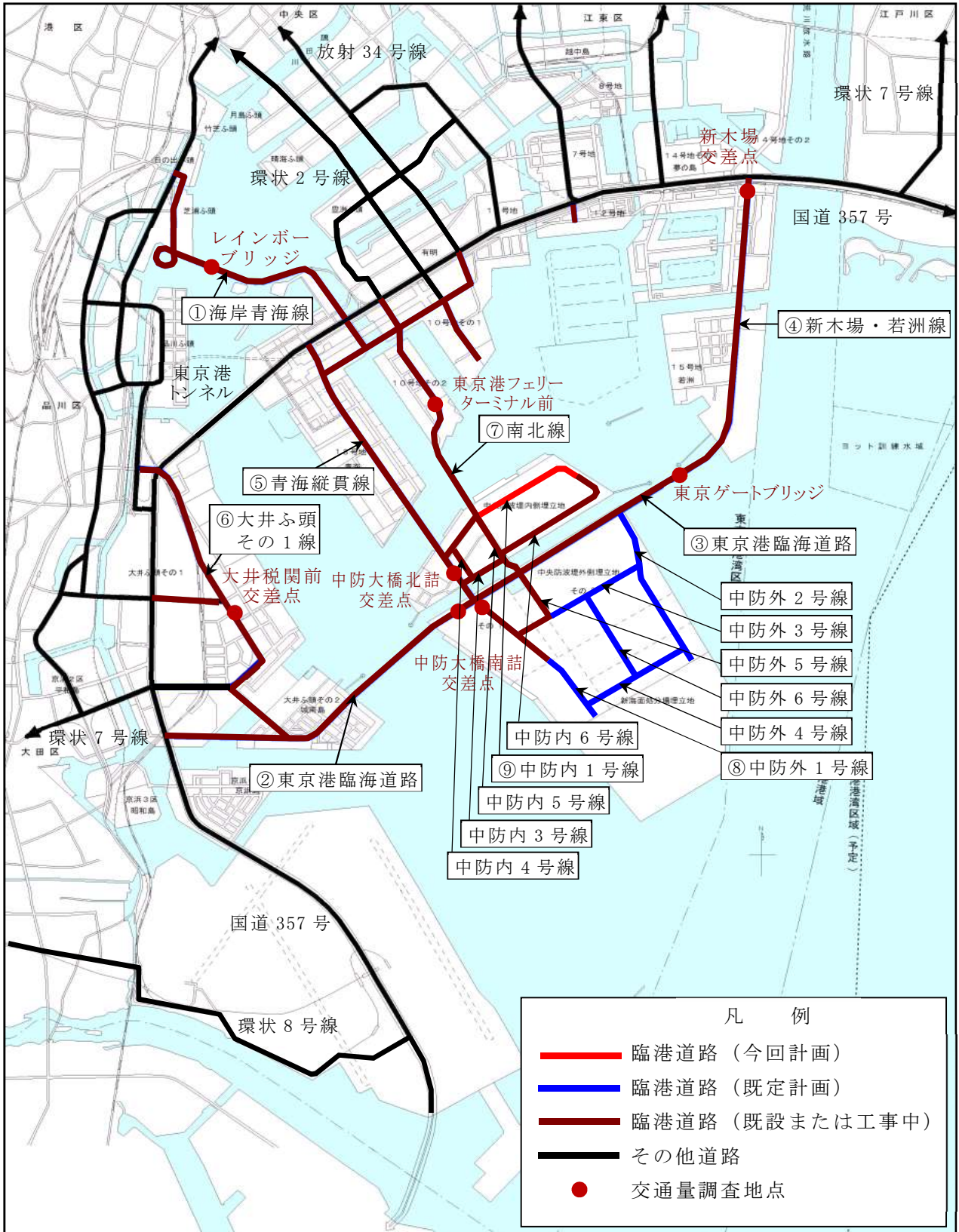
9-3 臨港道路計画の変更

中防内1号線の一部区間について、今後の交通需要を踏まえ車線数を4車線から2車線に変更する。交通量、規模及び配置の考え方は、表Ⅲ-9-1のとおりである。

9-4 交通対策

将来の東京港周辺部においては、慢性的な交通渋滞は概ね発生しないと考えられる。しかし、一部の交差点においては、ピーク時に交通混雑のおそれがあるため、交通対策を検討する必要がある。

このため、交差点付近の車線構成の見直し等の対策を検討・実施する。また、荷待ちトラックによるコンテナターミナルゲート前の渋滞に対しては、CONPAS等を活用した搬出入予約制の導入によるコンテナ搬出入車両の分散化や混雑状況の見える化等の取組も推進する。



図III-9-1 臨港交通施設計画

10. マリーナ計画

10-1 マリーナの現況

10-1-1 係留区画利用状況

(1) 艇長・種類別係留状況

艇長・種類別係留状況は、次のとおりである。

表Ⅲ-10-1 艇長・種類別係留状況

バース 区画	係留可能 隻数	契約 隻数	種類別割合		係留 割合
			ボート	ヨット	
			77%	23%	
1 0 m 以下	413	383	280	103	92.7%
(6 m以下)			30	6	
(6~7 m)			52	6	
(7~8 m)			65	22	
(8~10 m)			133	69	
1 0 ~ 1 3 m	168	159	130	9	94.6%
1 3 ~ 1 5 m	67	63	56	7	94.0%
1 5 ~ 1 8 m	8	8	7	7	100.0%
1 8 ~ 2 0 m	4	4	4	0	100.0%
合計	660	617	477	140	93.50%

(2) バース・種類別係留状況

バース・種類別の係留状況は、次のとおりである。

表Ⅲ-10-2 バース・種類別の係留状況

バース 区画	係留可能 隻数	契約 隻数	種類別割合		係留 割合
			ボート	ヨット	
A	18	18	16	2	100.0%
B	32	31	29	2	96.9%
C	36	35	29	6	97.2%
D (10m以下)	12	12	11	1	100.0%
D (10~13m)	4	4	4	0	100.0%
E	20	17	8	9	85.0%
F	20	19	14	5	95.0%
G	20	20	0	20	100.0%
H	24	24	22	2	100.0%
I	28	28	28	0	100.0%
J	28	24	21	3	85.7%
K	22	21	11	10	95.5%
L	18	17	15	2	94.4%
M	20	20	0	20	100.0%
N	24	22	21	1	91.7%
O	24	22	17	5	91.7%
P	25	21	20	1	84.0%
Q	26	25	22	3	96.2%
R	32	26	26	0	81.3%
S	32	29	22	7	90.6%
T	32	29	0	29	90.6%
U	25	23	22	1	92.0%
V	26	25	25	0	96.2%
W	32	29	26	3	90.6%
X (10m以下)	1	1	1	0	100.0%
X (13~15m)	12	11	11	0	91.7%
Y (13~15m)	7	5	5	0	71.4%
Y (15~18m)	4	4	4	0	100.0%
Z (13~15m)	48	47	40	7	97.9%
Z (15~18m)	4	4	3	1	100.0%
大型 (18~20m)	4	4	4	0	100.0%
合計	660	617	477	140	93.5%

10-2 マリーナ計画

マリーナ計画については、現況のままとする。

IV 港湾の環境の整備及び保全

目 次

IV 港湾の環境の整備及び保全	IV-1
1. 自然的環境を整備又は保全する区域	IV-1
1-1 良好な景観を形成する区域.....	IV-1
2. 廃棄物処理計画	IV-3
2-1 港湾における廃棄物処理場の現況.....	IV-3
2-2 港湾における廃棄物処理の必要性.....	IV-3
2-3 港湾において処分する廃棄物の種類及び量.....	IV-4
2-4 海面処分用地の規模及び配置.....	IV-5
3. 港湾環境整備施設計画	IV-7
3-1 緑地・海浜の現況.....	IV-7
3-2 緑地・海浜計画の必要性.....	IV-9
3-3 緑地・海浜の確保の考え方.....	IV-10
3-4 緑地計画・海浜計画.....	IV-11
4. 東京港におけるカーボンニュートラルポートの実現	IV-14

IV 港湾の環境の整備及び保全

1. 自然的環境を整備又は保全する区域

1-1 良好な景観を形成する区域

東京港と東京国際空港が位置している東京臨海部は、多くのコンテナ船や旅客船が入出港するとともに、国内外の航空機が多数離発着する首都圏のゲートウェイ（玄関口）となっており、景観への配慮が必要である。大井・青海コンテナ埠頭では、東京の都市景観を背景にコンテナクレーンなどの港湾施設と大型船とのダイナミックな港湾景観が形成されている。今後さらに沖合では、新たな港湾施設が整備されるため、それらを活かした美しいみなとづくりが求められる。

このため、引き続き、東京港の港口に位置し今後新たに開発される中央防波堤地区（海面処分用地を除く）を、「良好な景観を形成する区域」に設定し、建築物の色彩や海の森との調和、さらには船舶をはじめ航空機からの視点場にも配慮した先駆的な景観形成を進めていく。

なお、再開発が進む内港地区等については、既存の良好な景観を保全するとともに、老朽化した施設の再整備の際には、景観に十分配慮する。



図IV-1-1 良好な景観を形成する区域

東京都は、東京港第7次改訂港湾計画において「良好な景観を形成する区域」として定めた中央防波堤地区の景観形成の考え方について、港湾関係者との検討をふまえ、「東京港〈中央防波堤地区〉景観ガイドライン」を2013年5月に策定し、8月1日から運用を開始した。

2. 廃棄物処理計画

2-1 港湾における廃棄物処理場の現況

港湾における廃棄物処理場の現況は、次のとおりである。

表IV-2-1 港湾における廃棄物処理の現況

地区名	面積 (ha)	状況	種類別処分容量 (万m ³)		種類別処分実績 (万m ³)		種類別残余容量 (万m ³)	
			廃棄物系	しゅんせつ土 建設発生土	廃棄物系	しゅんせつ土 建設発生土	廃棄物系	しゅんせつ土 建設発生土
中央防波堤外側地区 (その2未竣功部)	119.8	工事中	一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥	5,781	一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥	5,585	一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥	196
新海面処分場地区 (A~Gブロック 未竣功部)	233.8 A:192 B:72.1 C:69.5 G:73.0	工事中	一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥	2,135	一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥	1,144	一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥	991
			しゅんせつ土 建設発生土	3,803	しゅんせつ土 建設発生土	3,075	しゅんせつ土 建設発生土	728
中央防波堤地区 (合計)	353.6	工事中	一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥	7,916	一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥	6,729	一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥	1,187
			しゅんせつ土 建設発生土	3,803	しゅんせつ土 建設発生土	3,075	しゅんせつ土 建設発生土	728

※ 現在、中央防波堤外側埋立地（その2）及び新海面処分場埋立地（A、B、C、Gブロック）において、廃棄物等の処分を行っている。

2-2 港湾における廃棄物処理の必要性

過密した東京23区の内陸部では、廃棄物最終処分場の確保が困難であることから、循環利用のできない廃棄物等を適正に処分する廃棄物海面処分場を引き続き整備する。

廃棄物海面処分場の整備は、港湾にとって貴重な水面の埋立てであることから、埋立処分量にあわせた段階的な整備を行うとともに受入容量の増大策や良質なしゅんせつ土の有効活用、廃棄物の減量化を行い、処分場の延命化に努めていく。

表IV-2-2 港湾における廃棄物処理の考え方

①一般廃棄物	東京23区から発生する一般廃棄物
②産業廃棄物	都内の中小企業から排出される産業廃棄物
③都市施設 廃棄物	都内の上・下水道施設等から排出される都市施設廃棄物 (上水スラッジ、下水汚泥及び道路・河川・港湾清掃ごみ)
④しゅんせつ土	都内の河川及び東京港内から発生するしゅんせつ土
⑤建設発生土	都内の公共事業から発生するものを優先

※ 廃棄物等の埋立処分量は、社会経済状況の変化、中間処理・リサイクルの技術革新等に応じて変化することが予測されるため「廃棄物等の埋立処分計画（東京都）」や受入基準などにより、適切に対応していく。

2-3 港湾において処分する廃棄物の種類及び量

港湾において処分することが必要な種類別の廃棄物の量及び新規に対応することが必要な廃棄物の処分量は、次のとおりである。

表IV-2-3 港湾において処分する廃棄物の種類及び量

(令和3年度末現在)

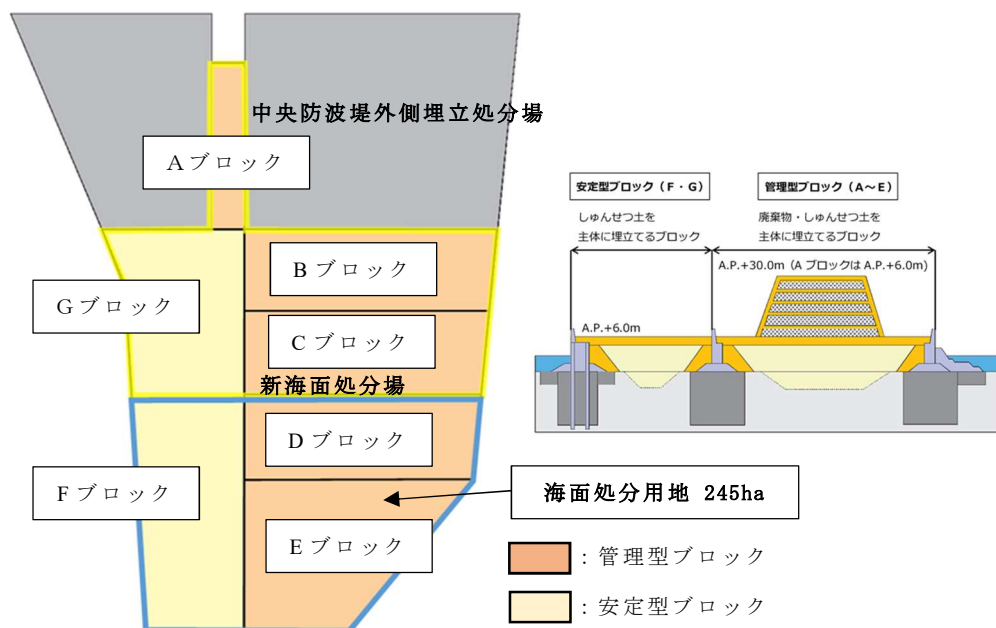
地区名	種類	種別	処分必要量 (万m ³)	既存の処分地 の容量(万m ³)	新規対応必要量 (万m ³)	備考
中央防波堤 外側地区	廃棄物系 一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥	管理型	196	196	0	
		安定型	0	0	0	
	合計	安定型	0	0	0	
		管理型	196	196	0	
		計	196	196	0	
新海面 処分場地区	廃棄物系 一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥	管理型	3,433	991	2,442	廃棄物系(管理型)処分必要量 4,577(全体量)-1,144(処分実績) =3,433 土砂系(安定型)処分必要量 2,293(全体量)-616(処分実績) =1,677 土砂系(管理型)処分必要量 5,167(全体量)-2,459(処分実績) =2,708
		安定型	1,677	688	989	
	土砂系 しゅんせつ土 建設発生土	管理型	2,708	40	2,668	
		安定型	1,677	688	989	
	合計	管理型	6,141	1,031	5,110	
		計	7,818	1,719	6,099	
中央防波堤 地区 (合計)	廃棄物系 一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥	管理型	3,629	1,187	2,442	
		安定型	1,677	688	989	
	土砂系 しゅんせつ土 建設発生土	管理型	2,708	40	2,668	
		安定型	1,677	688	989	
	合計	管理型	6,337	1,227	5,110	
		計	8,014	1,915	6,099	

※ 港湾において処分が必要となる量の考え方は以下のとおりとする。

- ①一般廃棄物：中間処理を行うことを前提に、減量・資源化を最大限図った上で全量受け入れる。
- ②産業廃棄物：都内中小企業の産業廃棄物は、中間処理を行ったもののうち、都の最終処分場の受入基準を満たすものに限り、一定量を受け入れる。また、都内から発生する廃石綿等（飛散性アスベスト廃棄物）については、セメント固化し、プラスチック袋で二重に梱包したものを受け入れる。
- ③都市施設廃棄物：中間処理を行うことを前提に受け入れる。
- ④しゅんせつ土：有効利用できるものを除いて受け入れる。
- ⑤建設発生土：埋立処分場の基盤整備に必要な量を受け入れる。

2-4 海面処分用地の規模及び配置

海面処分用地の規模及び配置は、次のとおりである。



図IV-2-1 海面処分用地の規模及び配置

表IV-2-4 廃棄物等の発生予測量 (参考)

年 度		4～8						9～13 (5年間)	14～18 (5年間)	合計(4～18) (15年間)
		4	5	6	7	8	(小計)			
廃棄物	一般廃棄物*1	279	280	280	281	281	1,401	1,398	1,378	4,177
	産業廃棄物*2	632	634	636	638	639	3,179	3,206	3,208	9,593
	都市施設廃棄物	172	174	177	177	177	877	885	885	2,647
	上水スラッジ	8	8	8	8	8	40	40	40	120
	下水汚泥	164	166	169	169	169	837	845	845	2,527
計		1,083	1,088	1,093	1,096	1,097	5,457	5,489	5,471	16,417

(廃棄物系) (単位：万t)

土砂系	4～8						9～13 (5年間)	14～18 (5年間)	合計(4～18) (15年間)
	4	5	6	7	8	(小計)			
しゅんせつ土	166	166	166	194	194	886	796	737	2,419
河川しゅんせつ土	28	28	28	56	56	196	241	182	619
港湾しゅんせつ土	138	138	138	138	138	690	555	555	1,800
建設発生土等	540	540	540	540	540	2,700	2,700	2,700	8,100
計	706	706	706	734	734	3,586	3,496	3,437	10,519

(土砂系) (単位：万m³)

*1 一般廃棄物の数値については、23区が扱うごみ量(資源ごみ収集を除く。)の予測量とする。

*2 産業廃棄物の数値については、中小企業が排出する産業廃棄物の排出量の予測量とする。

出典：「廃棄物等の埋立処分計画」(令和4年2月)(東京都)

表IV-2-5 廃棄物等の埋立処分計画（参考）

[単位：左側万m³、右側()内万t]

年 度	4~8						9~13 (5年間)	14~18 (5年間)	合計(4~18) (15年間)
	4	5	6	7	8	(小 計)			
廃 棄 物	38 (53)	36 (51)	35 (49)	34 (48)	33 (47)	175 (250)	162 (226)	156 (215)	493 (691)
一般廃棄物	14 (27)	13 (25)	13 (24)	12 (23)	11 (22)	63 (121)	52 (99)	46 (88)	161 (308)
産業廃棄物	8 (8)	8 (8)	8 (8)	8 (8)	8 (8)	40 (40)	40 (40)	40 (40)	120 (120)
都市施設廃棄物	16 (18)	15 (18)	14 (17)	14 (17)	14 (17)	72 (89)	70 (87)	70 (87)	212 (263)
上水スラッジ	4 (4)	3 (3)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	12 (15)	10 (12)	10 (12)	32 (39)
下水汚泥	12 (14)	12 (15)	12 (15)	12 (15)	12 (15)	60 (74)	60 (75)	60 (75)	180 (224)
覆 土 材 等	8 (14)	7 (13)	7 (13)	7 (13)	7 (13)	36 (66)	32 (58)	31 (56)	99 (180)
小 計	46 (67)	43 (64)	42 (62)	41 (61)	40 (60)	211 (316)	194 (284)	187 (271)	592 (871)
しゅんせつ土	89 (125)	89 (125)	89 (125)	89 (125)	89 (125)	445 (623)	435 (609)	435 (609)	1,315 (1,841)
河川しゅんせつ土	27 (38)	27 (38)	27 (38)	27 (38)	27 (38)	135 (189)	135 (189)	135 (189)	405 (567)
港湾しゅんせつ土	62 (87)	62 (87)	62 (87)	62 (87)	62 (87)	310 (434)	300 (420)	300 (420)	910 (1,274)
建設発生土等	30 (54)	30 (54)	30 (54)	30 (54)	30 (54)	150 (270)	150 (270)	150 (270)	450 (810)
小 計	119 (179)	119 (179)	119 (179)	119 (179)	119 (179)	595 (893)	585 (879)	585 (879)	1,765 (2,651)
合 計	165 (246)	162 (243)	161 (241)	160 (240)	159 (239)	806 (1,209)	779 (1,163)	772 (1,150)	2,357 (3,522)

※ 覆土材等の量は、一般・産業・都市施設廃棄物の容積の総量に対して20%とした。

※ 四捨五入しているため、合計値が合わない場合がある。

出典：「廃棄物等の埋立処分計画」（令和4年2月）（東京都）

3. 港湾環境整備施設計画

3-1 緑地・海浜の現況

緑地・海浜の現況は、次のとおりである。

表IV-3-1 緑地の現況

地区名	名称	緑地面積 (ha)	状況	主な用途
内港地区	竹芝ふ頭ターミナル	0.8	既設	ターミナル緑地
	日の出ふ頭公園	2.2	既定計画	ふ頭公園
	芝浦北ふ頭公園	0.5	既定計画	ふ頭公園
	芝浦南ふ頭公園	1.0	既設	ふ頭公園
	芝浦南ふ頭公園	1.0	既定計画	ふ頭公園
	品川北ふ頭公園	0.7	既設	ふ頭公園
	晴海ふ頭公園	3.6	既設	ふ頭公園
	晴海ふ頭公園	3.0	既定計画	ふ頭公園
	晴海緑道公園	3.6	既設	緑道公園
	晴海臨海公園(区管理)	3.0	既設	
	春海橋公園	2.0	既設	ふ頭公園
	春海橋公園	0.1	既設(工事中)	ふ頭公園
	豊洲ぐるり公園(区管理)	14.5	既設	
	地区計	36.0		
南部地区	みなとが丘ふ頭公園	5.0	既設	ふ頭公園
	大井ふ頭中央海浜公園	47.5	既設	海浜公園
	東海ふ頭公園	5.1	既設(工事中)	ふ頭公園
	東海ふ頭公園	2.4	既定計画	ふ頭公園
	東京港野鳥公園	21.4	既設	海浜公園
	東京港野鳥公園	0.3	既設(工事中)	海浜公園
	昭和島南緑道公園	3.9	既定計画	緑道公園
	京浜島ふ頭公園	1.4	既設	ふ頭公園
	京浜島つばさ公園	3.5	既設	ふ頭公園
	城南島ふ頭公園	1.4	既設	ふ頭公園
	城南島海浜公園	13.1	既設	海浜公園
	城南島海浜公園	1.8	既定計画	海浜公園
	地区計	106.8		
中部地区	お台場海浜公園	10.0	既設	海浜公園
	青海中央ふ頭公園	1.7	既設	ふ頭公園
	青海中央ふ頭公園	1.2	既定計画	ふ頭公園
	青海南ふ頭公園	2.8	既設	ふ頭公園
	曉ふ頭公園	2.0	既設	ふ頭公園
	曉ふ頭公園	1.7	既定計画	ふ頭公園
	有明北緑道公園	1.2	既設	緑道公園
	有明親水海浜公園	5.2	既設	海浜公園
	有明親水海浜公園	13.1	既設(工事中)	海浜公園
	有明テニスの森公園	15.8	既設	緑道公園
	地区計	54.7		
東部地区	辰巳の森海浜公園	24.6	既設(工事中)	海浜公園
	辰巳の森緑道公園	14.2	既設	海浜公園
	夢の島緑道公園	12.1	既設	緑道公園
	新木場公園	0.9	既設	ふ頭公園
	新木場緑道公園	5.3	既設	緑道公園
	若洲ふ頭公園	1.5	既定計画	ふ頭公園
	若洲海浜公園	68.5	既設	海浜公園
地区計	127.1			
中央防波堤地区	海の森公園	83.2	既設(工事中)	海浜公園
	海の森公園	11.0	既定計画	海浜公園
	中央防波堤内側ふ頭公園	1.2	既定計画	ふ頭公園
	中央防波堤外側海浜公園	85.7	既定計画	海浜公園
	地区計	181.1		
合計	505.7			

※ 「海浜公園」「ふ頭公園」「緑道公園」とは、東京都海上公園条例に基づき計画・整備する緑地である。

- ①海浜公園：水域における自然環境の保全及び回復を図り、水に親しむ場所。
- ②ふ頭公園：埠頭内の環境の整備を図り、みなとの景観に親しむ場所。
- ③緑道公園：臨海地域における自然環境の回復を図り、緑に親しめる場所。

表IV-3-2 海浜の現況

地区名	名称	海浜延長 (m)	主要な 用途
南部 地区	京浜運河緑道公園	850 [既設]	海浜
	大井ふ頭中央海浜公園	1,500 [既設]	海浜
	東海ふ頭公園	900 [既定計画]	海浜
	東京港野鳥公園	850 [既設]	海浜 (干潟)
	城南島海浜公園	600 [既定計画]	海浜
	城南島海浜公園	500 [既設]	海浜
中部 地区	お台場海浜公園	1,400 [既設]	海浜
	有明親水海浜公園	500 [既定計画]	海浜
東部 地区	辰巳の森海浜公園	520 [既設]	海浜
中央 防波堤 地区	海の森公園	400 [既定計画]	海浜
	中央防波堤沖	1,000 [既設]	海浜 (磯浜)
葛西沖 地区	葛西海浜公園	1,600 [既設]	海浜 (干潟)

3-2 緑地・海浜計画の必要性

東京都は、失われつつあった豊かな環境、人々と海との関わりを取り戻すため、海上公園の整備を進めてきた。現在は、40箇所・約878ヘクタール（水域含む）におよぶ海上公園が開園している。平成30年には葛西海浜公園の干潟が東京都で初めてラムサール条約湿地に登録されるなど、自然環境の保全・再生の取組により、臨海部には多様な生物の生息環境も創出されている。

また、身近な自然環境に対する関心は、これまで以上に高まっており、人々に安らぎや恵みをもたらす豊かな海域環境の保全・再生を一層進め、美しく健全な状態で港湾の環境を将来世代へ継承していくことが求められている。

一方、海上公園は、都民が水辺に親しめる場として、釣り、野鳥観察などに加え、スポーツなどの多様なニーズに応える空間となっている。臨海副都心に位置するお台場海浜公園などでは年間を通じて多彩なイベントも開催され、水辺のにぎわい拠点としての役割を担っている。

近年は、港湾エリアの再開発の進展により、多くの人々が住み・訪れる場所として、緑地の重要性が高まっている。東京2020大会選手村跡地で新たなまちづくりを進めている晴海地区にある晴海ふ頭公園は、大会を契機に公園の再整備を行うとともに、にぎわい創出のため、官民連携施設事業によりカフェ・レストランをオープンするなどの取組みを進めている。



図IV-3-1 葛西海浜公園（平成30年10月 ラムサール条約湿地登録）



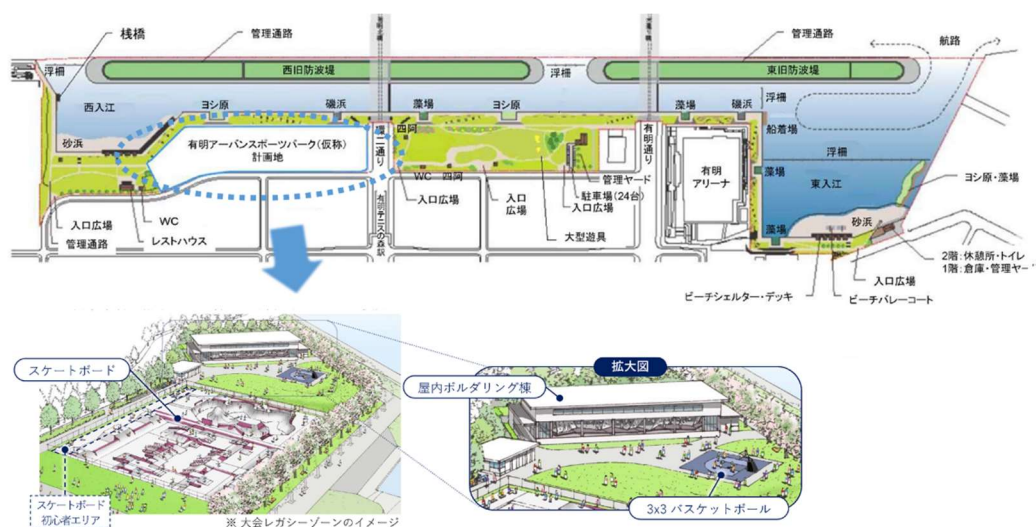
図IV-3-2 晴海ふ頭公園及び園内の官民連携施設（令和4年10月開業）

3-3 緑地・海浜の確保の考え方

水辺のさらなる魅力向上に向けて、緑やオープンスペース等の連続性を確保した公園の整備や海に面した園路・海浜等へのパブリックアクセスの確保、水辺レクリエーションを安全に楽しめる環境づくりなどにより人々が海とふれあう場を創出する。

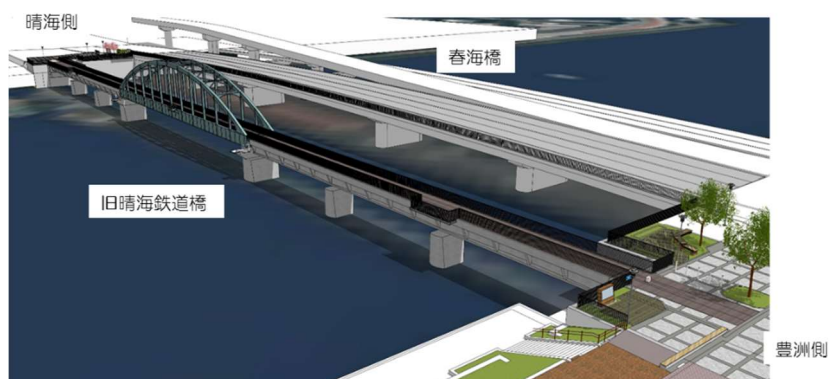
また、豊かな海域環境の創出に向け、水生生物や水鳥など多様な生物の生息の場であり、ブルーカーボン生態系を構成する干潟や藻場等の保全・再生に取り組む。

臨海副都心地区において、既に海上公園として供用している水の広場公園を計画に追加する。



出典：「TOKYOスポーツレガシービジョン」（東京都）より作成

図IV-3-3 有明親水海浜公園（緑地・海浜計画）



図IV-3-4 春海橋公園（緑地計画）

（旧晴海鉄道橋を活用した水辺の歩行者ネットワークの形成）

3-4 緑地計画・海浜計画

今回計画する緑地計画・海浜計画の規模及び配置は次のとおりである。

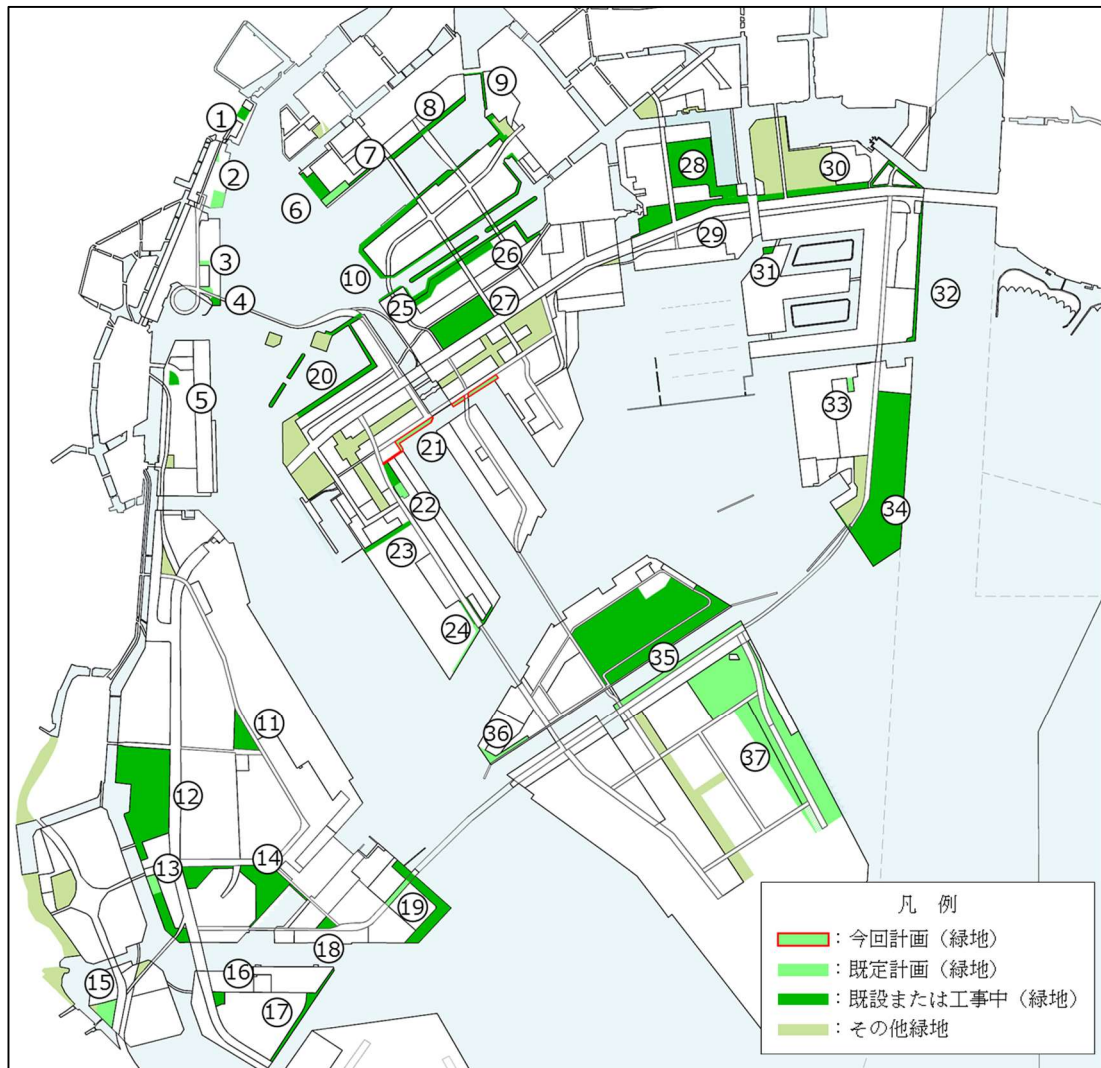
表IV-3-3 緑地計画

地区名	位置	名称	緑地面積 (ha)	状況	主な用途
内港地区	①	竹芝ふ頭ターミナル	0.8	既設	ターミナル緑地
	②	日の出ふ頭公園	2.2	既定計画	ふ頭公園
	③	芝浦北ふ頭公園	0.5	既定計画	ふ頭公園
	④	芝浦南ふ頭公園	1.0	既設	ふ頭公園
	④	芝浦南ふ頭公園	1.0	既定計画	ふ頭公園
	⑤	品川北ふ頭公園	0.7	既設	ふ頭公園
	⑥	晴海ふ頭公園	3.6	既設	ふ頭公園
	⑥	晴海ふ頭公園	3.0	既定計画	ふ頭公園
	⑦	晴海緑道公園	3.6	既設	緑道公園
	⑧	晴海臨海公園(区管理)	3.0	既設	
南部地区	⑨	春海橋公園	2.0	既設	ふ頭公園
	⑨	春海橋公園	0.1	既設(工事中)	ふ頭公園
	⑩	豊洲ぐるり公園(区管理)	14.5	既設	
		地区計	36.0		
	⑪	みなとが丘ふ頭公園	5.0	既設	ふ頭公園
	⑫	大井ふ頭中央海浜公園	47.5	既設	海浜公園
	⑬	東海ふ頭公園	5.1	既設(工事中)	ふ頭公園
	⑬	東海ふ頭公園	2.4	既定計画	ふ頭公園
	⑭	東京港野鳥公園	21.4	既設	海浜公園
	⑭	東京港野鳥公園	0.3	既設(工事中)	海浜公園
中部地区	⑮	昭和島南緑道公園	3.9	既定計画	緑道公園
	⑯	京浜島ふ頭公園	1.4	既設	ふ頭公園
	⑰	京浜島つばき公園	3.5	既設	ふ頭公園
	⑱	城南島ふ頭公園	1.4	既設	ふ頭公園
	⑱	城南島海浜公園	13.1	既設	海浜公園
	⑱	城南島海浜公園	1.8	既定計画	海浜公園
		地区計	106.8		
	⑳	お台場海浜公園	10.0	既設	海浜公園
	㉑	水の広場公園	4.6	新規計画	ふ頭公園
	東部地区	㉒	青海中央ふ頭公園	1.7	既設
㉒		青海中央ふ頭公園	1.2	既定計画	ふ頭公園
㉓		青海南ふ頭公園	2.8	既設	ふ頭公園
㉔		曉ふ頭公園	2.0	既設	ふ頭公園
㉔		曉ふ頭公園	1.7	既定計画	ふ頭公園
㉕		有明北緑道公園	1.2	既設	緑道公園
㉖		有明親水海浜公園	5.2	既設	海浜公園
㉖		有明親水海浜公園	13.1	既設(工事中)	海浜公園
㉗		有明テニスの森公園	15.8	既設	緑道公園
		地区計	59.3		
中央防波堤地区	㉘	辰巳の森海浜公園	24.6	既設(工事中)	海浜公園
	㉘	辰巳の森緑道公園	14.2	既設	海浜公園
	㉙	夢の島緑道公園	12.1	既設	緑道公園
	㉚	新木場公園	0.9	既設	ふ頭公園
	㉚	新木場緑道公園	5.3	既設	緑道公園
	㉛	若洲ふ頭公園	1.5	既定計画	ふ頭公園
	㉛	若洲海浜公園	68.5	既設	海浜公園
		地区計	127.1		
合計	㉜	海の森公園	83.2	既設(工事中)	海浜公園
	㉜	海の森公園	11.0	既定計画	海浜公園
	㉝	中央防波堤内側ふ頭公園	1.2	既定計画	ふ頭公園
	㉝	中央防波堤外側海浜公園	85.7	既定計画	海浜公園
	地区計	181.1			
	合計	510.3			

■ : 新規計画

※ 「海浜公園」「ふ頭公園」「緑道公園」とは、東京都海上公園条例に基づき計画・整備する緑地である。

- ①海浜公園：水域における自然環境の保全及び回復を図り、水に親しむ場所。
- ②ふ頭公園：埠頭内の環境の整備を図り、みなとの景観に親しむ場所。
- ③緑道公園：臨海地域における自然環境の回復を図り、緑に親しめる場所。



図IV-3-5 緑地計画位置図

表IV-3-4 海浜計画

地区名	No	名称	海浜延長 (m)	主要な用途	配置の考え方
南部地区	A	京浜運河緑道公園	850 [既設]	海浜	
	B	大井ふ頭中央海浜公園	1,500 [既設]	海浜	
	C	東海ふ頭公園	900 [既定計画]	海浜	京浜運河における連続した海浜として配置
	D	東京港野鳥公園	850 [既設]	海浜 (干潟)	
	E	城南島海浜公園	600 [既定計画]	海浜	城南島海浜公園と一体的に配置
	E	城南島海浜公園	500 [既設]	海浜	
中部地区	F	お台場海浜公園	1,400 [既設]	海浜	
	G	有明親水海浜公園	500 [既定計画]	海浜	有明親水海浜公園と一体的に配置
東部地区	H	辰巳の森海浜公園	520 [既設]	海浜	
中央防波堤地区	I	海の森公園	400 [既定計画の削除]	海浜	
	J	中央防波堤沖	1,000 [既設]	海浜 (磯浜)	
葛西沖地区	K	葛西海浜公園	1,600 [既設]	海浜 (干潟)	



図IV-3-6 海浜計画位置図

4. 東京港におけるカーボンニュートラルポートの実現

世界的に環境意識が高まる中、荷主等が利用する港湾を選択するに当たっては、環境配慮の視点やCO₂排出量の削減が重要な要素となっている。

このため、「東京港カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画（令和5年3月）」に基づき、次世代エネルギーや再生可能エネルギーの活用を促進するとともに、陸上電力供給による船舶のアイドリングストップなど、港湾施設の脱炭素化に向けた取組を推進する。

HTT
【概要版】東京港カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画

1 計画策定の目的

- ・ 都は、2050年のカーボンニュートラルに向け、2030年カーボンハーフ実現という目標を掲げ、都全体でCO₂排出量削減を推進
- ・ 世界的に環境意識が高まる中、荷主等が利用する港湾を選択するに当たっては、**環境配慮の視点や脱炭素化の取組の有無が重要な要素**

▶ 東京港の脱炭素化に向けた取組を戦略的に推進していくため、「東京港カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画」を策定

2 基本的な事項

(1) 計画の位置づけ

- 東京港CNP検討会における構成員の企業・団体からの意見・取組状況等を踏まえ、**港湾管理者である東京都が策定**
- 東京港を利用する港運事業者、船会社など民間事業者等を含む**港湾地域全体を**対象として、**具体的な取組やロードマップ**等を定めるもの
- **CNP形成に向けた方針として、**
 - ✓ 背後地も含めた**港湾地域における面的・効率的な脱炭素化**を官民一体で推進
 - ✓ 東京港で使用する**水素・燃料アンモニア等の最適な供給**に向け、周辺の自治体やエネルギー事業者等と**供給体制を構築**

(2) 対象範囲

- **右図の対象地域**における以下の事業活動が対象
 - ① 港湾管理者等が管理運営する外貨コンテナふ頭や内貿ユニットロードふ頭、在来ふ頭などの**ふ頭における荷役作業などの物流活動**
 - ② ふ頭に停泊する**船舶（海上輸送）**、東京港内を走行する**車両（トラック輸送）**
 - ③ ふ頭背後の臨海部に立地する**倉庫、冷蔵倉庫、工場などの事業活動**

【図】東京港CNP形成計画の対象範囲

図IV-4-1 (1) 【概要版】東京港カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画

IV-14

3 温室効果ガス排出量の推計

東京港を利用する 港運事業者、船会社、トラック事業者 など民間事業者を含む港湾地域全体を対象にCO₂排出量を推計

【東京港のCO₂排出量】

区 分		CO ₂ 排出量	
		2020年度	2000年度
東京港全体		58.6万トン	57.1万トン
内 訳	ふ頭	15.9万トン	16.4万トン
	倉庫、工場等	32.4万トン	30.4万トン
	船舶・トラック	10.3万トン	10.3万トン

5 CNP形成に向けた主な取組

(1) 円滑な物流の実現やグリーン物流の促進により、トラック輸送等に伴うCO₂排出量を削減

- 埠頭の新規整備や再編整備の推進
 - ✓ 中央防波堤外側コンテナターミナルY3の整備や青海コンテナ埠頭など既存コンテナ埠頭の再編整備を推進し、コンテナ埠頭を機能強化
- 荷役や物流におけるICT技術の活用
 - ✓ CONPASを活用したコンテナ搬出入予約制を全てのコンテナターミナルに導入
 - ✓ コンテナ埠頭における荷役機械の遠隔操作化を促進
- モーダルシフト等の推進
 - ✓ トラック輸送を船舶や鉄道による輸送へ転換することで、トラックの入場台数を削減



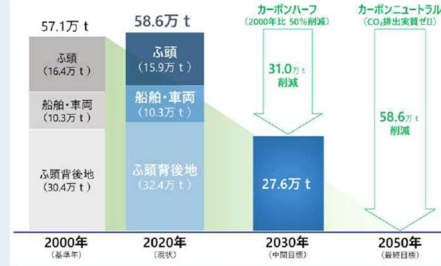
ICT技術の活用

モーダルシフトの促進
(船舶・鉄道輸送への転換)

2

4 温室効果ガスの削減目標及び削減計画

最終目標 2050年カーボンニュートラル 実現 (CO₂排出実質ゼロ)
中間目標 2030年カーボンハーフ 達成 (2000年比で50%削減)



※ CO₂の削減目標に加え、再生電力の利用割合について、2026年までに30%、2030年までに50%とする目標を設定

図IV-4-1 (2) 【概要版】東京港カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画

(2) 使用エネルギーのグリーン化や省エネ化を促進

- 使用エネルギーのグリーン化
 - ✓ 令和6年4月に東京港の全てのコンテナ埠頭に再生可能エネルギー由来のグリーン電力を導入
※ 品川・中央防波堤外側コンテナ埠頭においては、令和4年7月から再生エネルギー由来のグリーン電力を先行導入
 - ✓ 港湾エリアにおける上屋(屋上部)や臨港道路(トンネル上部空間)を活用し、太陽光発電設備を増設
 - ✓ 停泊中の船舶からのCO₂排出を削減するため、公共埠頭等において陸上電気供給設備を整備
- 環境負荷軽減に向けた事業活動の見直し
 - ✓ 港湾施設、倉庫等の省エネ化、脱炭素化に向けた車両・設備の更新や業務の見直しを促進
- CO₂吸収対策
 - ✓ 港湾におけるCO₂吸収源として期待されているブルーカーボン生態系を構成する藻場等を造成・保全



上屋等を活用した太陽光発電



FC自動車やEVトラック等の活用

(3) 化石燃料から水素エネルギー等へ転換し脱炭素化を推進

- 次世代エネルギーを活用した荷役機械等の導入促進
 - ✓ 東京港のコンテナ埠頭の全てのRTG※(約140台)をFC換装型RTG等へ転換
 - ✓ FC換装型RTGを活用し、FC化の先行プロジェクトを実施
 - 水素等を活用した自立分散型発電施設の整備
 - ✓ 電力ひっ迫時に必要な電力を安定的に確保するため、水素等を活用した自立分散型発電設備を整備
 - 次世代エネルギー船舶の利用促進
 - ✓ 港湾局保有船の更新を機会に、順次、次世代エネルギー船へ転換
- ▶ 本計画において、東京港における2050年時点の水素需要量を「約1.3万t/年」と推計

水素で発電する分散型発電設備



FC換装型RTG※



※ 国際海上コンテナを扱う荷役機械であるタイヤ式トランスファークレーン(Rubber Tyred GantryCrane)の略称

6 計画の推進体制及び進捗管理

- 関係者間で会議を定期的開催し、計画の推進を図るとともに、進捗状況を確認・評価
- 政府や都の温室効果ガス削減目標、関連技術の進展、各事業者の取組状況等を踏まえ、今後も必要に応じて、計画を見直し

3

図IV-4-1 (3) 【概要版】東京港カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画

V 土地造成及び土地利用計画

目 次

V 土地造成及び土地利用計画	V-1
1. 土地造成計画	V-1
1-1 土地造成の必要性.....	V-1
1-2 土地造成に係る土地利用計画.....	V-2
2. 土地利用計画	V-4
2-1 土地利用計画の変更内容.....	V-4
3. 海浜計画	V-13
4. 臨港地区の範囲	V-14
5. 地盤高	V-15
5-1 浸水想定.....	V-15
5-2 地盤高.....	V-16

V 土地造成及び土地利用計画

1. 土地造成計画

1-1 土地造成の必要性

東南アジア航路におけるコンテナ貨物量の増加やコンテナ船の大型化に対応するため、土地造成により新たなコンテナ埠頭（Z0、Z2）を計画する。

また、モーダルシフトの進展等により増加する内貿貨物やRORO船の船舶大型化に対応するため、土地造成により新たなユニットロード埠頭（X6～X7）と既存埠頭（X4～X5）の岸壁延伸を計画する。

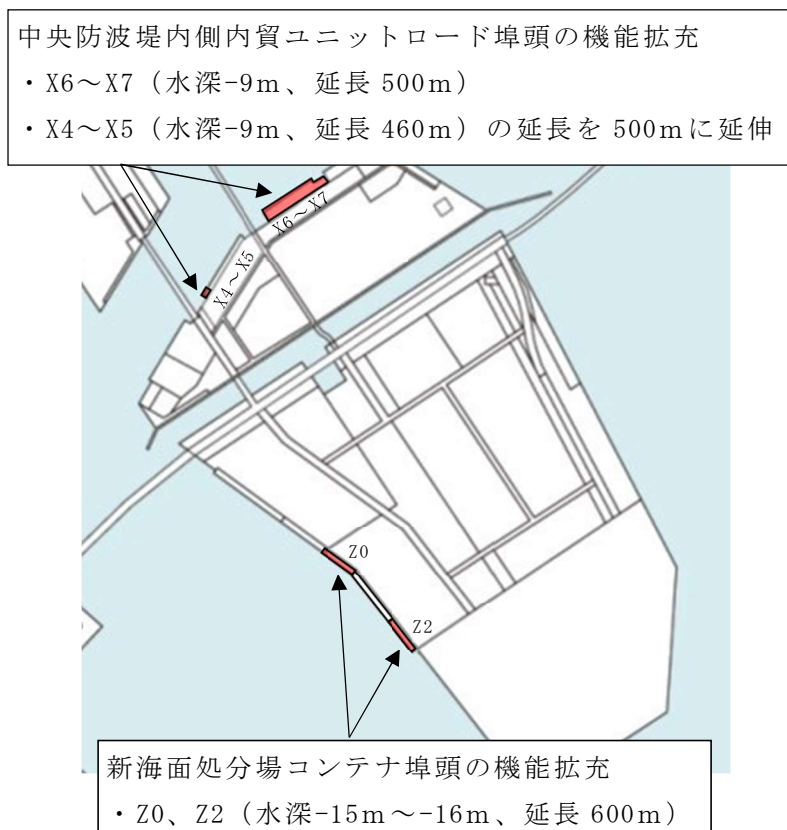


図 V-1-1 土地造成計画に関する新規埠頭計画

1-2 土地造成に係る土地利用計画

今回計画による土地造成に係る土地利用計画の概要は表V-1-1、地区別・土地利用区分面積とその主な内容等は表V-1-2に示すとおりである。

今回計画で削除する土地造成に係る土地利用計画の概要は表V-1-3に示すとおりである。

今回計画における地区別・場所別土地利用面積の位置図は図V-2-1～図V-2-5に示すとおりである。

表V-1-1 土地造成に係る土地利用計画の概要

用途 地区名	埠頭用地	港湾関連用地	交流厚生用地	工業用地	都市機能用地	交通機能用地	危険物取扱 施設用地	緑地	施設用地 廃棄物処理	海面処分用地	合計
内港 地区	(6) 6		(3) 3					(2) 2			(10) 10
南部 地区											
中部 地区	(1) 1										(1) 1
東部 地区											
中央 防波堤 地区	(12) 12	(2) 2								(245) 245	(259) 259
羽田 地区											
合計	(18) 18	(2) 2	(3) 3					(2) 2		(245) 245	(270) 270

※ () は、港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する地域の保全に、特に密接に関連する土地造成計画の内数である。

※ 端数整理のため、内訳の和は必ずしも合計とならない。

表 V-1-2 土地造成に係る土地利用計画の区分別面積

地区名	埠頭名	番号	土地利用の区分	面積 (ha)	前出幅 (m)	主な内容	面積の考え方
内港地区	日の出	①	埠頭用地	2.6	—	荷捌き地	日の出再開発 ※既定計画
		②	交流厚生用地	2.8	—	業務・商業施設、宿泊施設等	日の出再開発 ※既定計画
		③	緑地	1.9	—	埠頭公園	日の出再開発 ※既定計画
	品川	④	埠頭用地	3.0	40	エプロン	品川埠頭前出し ※既定計画
中部地区	10号 その2	⑤	埠頭用地	0.5	—	荷捌き地	VA1 背後埠頭用地 ※既定計画
中央防波堤地区	中央防波堤 内側	⑥	埠頭用地	1.9	80	エプロン・野積み場等	X10 の背後用地 ※既定計画
		⑦	港湾関連用地	1.6	80	エプロン・野積み場等	X9 の背後用地 ※既定計画
		⑧	埠頭用地	4.6	80	エプロン・野積み場等	X6・7 の背後用地
		⑨	埠頭用地	0.1	30	エプロン	X4・5 の背後用地
	中央防波堤 外側	⑩	埠頭用地	1.5	50	エプロン	Z0 の背後用地
		⑪	埠頭用地	2.1	50	エプロン	Z1 の背後用地 ※既定計画
		⑫	埠頭用地	1.5	50	エプロン	Z2 の背後用地
	新海面 処分場	⑬	海面処分用地	245.4	—	—	廃棄物海面処分場 ※既定計画

表 V-1-3 削除する土地造成に係る土地利用計画の区分別面積

地区名	埠頭名	土地利用区分	面積 (ha)	主な内容
中部地区	10号地	埠頭用地	0.6	内貿埠頭計画の削除
東部地区	15号地	埠頭用地	28.8	コンテナ埠頭計画の削除

2. 土地利用計画

2-1 土地利用計画の変更内容

今回計画による土地利用計画の変更の概要は表V-2-1に、地区別・土地利用区分面積とその主な内容等は表V-2-2に示すとおりである。

また、今回計画における地区別・場所別土地利用面積の位置図は図V-2-1～図V-2-5に示すとおりである。

表V-2-1 土地利用計画の変更の概要

用途 地区名	埠頭用地	港湾関連用地	交流厚生用地	工業用地	都市機能用地	交通機能用地	危険物取扱 施設用地	緑地	廃棄物処理 施設用地	海面処分用地	合計
内港 地区	(56) 56	(74) 74	(12) 12	(11) 11	153	(5) 29		(36) 41	(3) 3		(196) 378
南部 地区	(156) 156	(232) 232		(126) 126	151	(38) 287		(107) 150	(37) 37		(697) 1,140
中部 地区	(147) 147	(93) 93	(6) 6	(29) 29	226	(45) 137		(59) 124			(379) 761
東部 地区	(43) 43	(229) 229	(16) 16	(44) 44	68	(16) 92	(6) 6	(127) 185	(17) 17		(497) 698
中央 防波堤 地区	(154) 154	(212) 212		(17) 17	17	(79) 105		(181) 208	(46) 46	(245) 245	(935) 1,004
羽田 地区						977					977
合計	(556) 556	(840) 840	(33) 33	(227) 227	613	(183) 1,626	(6) 6	(510) 707	(103) 103	(245) 245	(2,703) 4,956

※ () は、港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する地域の保全に、特に密接に関連する土地造成計画の内数である。

※ 端数整理のため、内訳の和は必ずしも合計とにならない。

表 V-2-2 土地造成に係らない土地利用計画

地区名	埠頭名	番号	変更前		変更後		変更理由
			土地利用	面積 (ha)	土地利用	面積 (ha)	
南部地区	—	(1)	—	—	その他緑地	1.2	大田区の区立公園拡張に合わせて変更
中部地区	—	(2)	交流厚生用地	38.0	都市機能用地	38.0	臨海副都心の現状の開発状況に合わせて変更
		(3)	交流厚生用地	4.6	緑地用地	4.6	
		(4)	埠頭用地	0.3	交通機能用地	0.3	臨港道路南北線の管理棟設置に合わせて変更
東部地区	15号地	(5)	埠頭用地	23.8	港湾関連用地	13.0	15号地埠頭計画に合わせて変更
		(6)	港湾関連用地	13.0	埠頭用地	23.8	
中央防波堤地区	—	(7)	埠頭用地	0.2	交通機能用地	0.2	臨港道路南北線の管理棟設置に合わせて変更

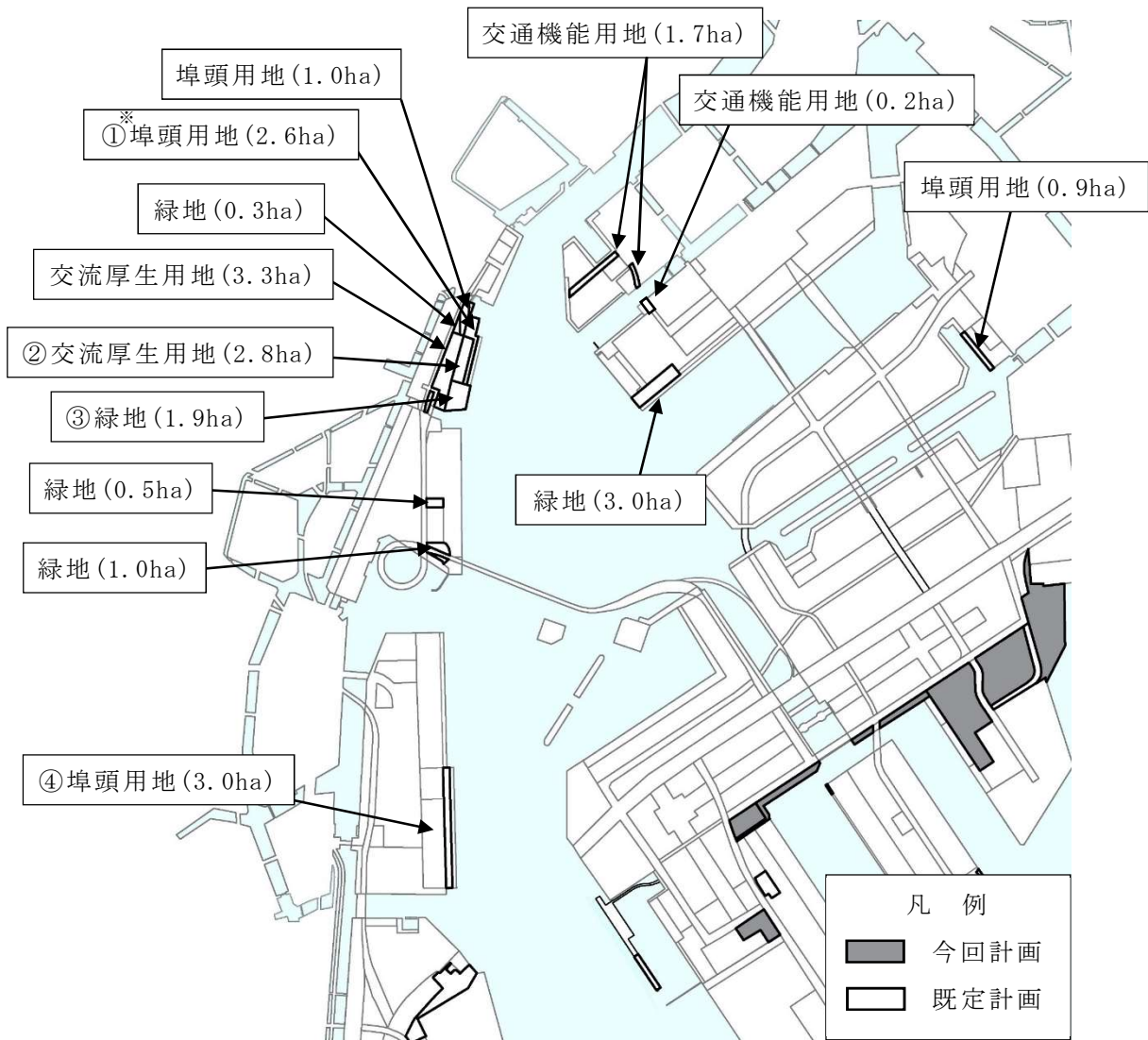
表 V-2-3 地区別土地利用計画総括表

地区名	用途	埠頭用地	港湾関連用地	交流厚生用地	工業用地	都市機能用地	交通機能用地	危険物取扱施設用地	緑地	廃棄物処理施設用地	海面処分用地	合計
内港地区	竹芝ふ頭	(3) 3		(3) 3			1		(1) 1			(7) 7
	日の出ふ頭	(4) 4		(6) 6		6	(2) 2		(2) 2			(14) 20
	月島ふ頭	(1) 1	(11) 11			1	2		1			(12) 16
	芝浦ふ頭	(14) 14	(27) 27			8	(3) 3		(3) 3			(45) 54
	晴海ふ頭	(2) 2	(1) 1			46	4		(13) 13			(16) 66
	豊洲ふ頭	(1) 1	(1) 1	(3) 3		91	13		(17) 19			(21) 127
	品川ふ頭	(32) 32	(35) 35		(11) 11			5	(1) 2	(3) 3		(82) 87
	小計	(56) 56	(74) 74	(12) 12	(11) 11	153	29		(36) 41	(3) 3		(196) 378
南部地区	京浜3区				(17) 17	27	12		(4) 7			(20) 62
	京浜6区		(10) 10		(58) 58		14		(5) 5	(18) 18		(90) 104
	平和島		(84) 84			7	21		26			(84) 138
	大井ふ頭その1	(146) 146	(113) 113		(19) 19	109	(31) 233		(82) 84	(6) 6		(397) 710
	大井ふ頭その2	(10) 10	(25) 25		(33) 33	8	(8) 8		(16) 16	(14) 14		(106) 114
	勝島運河埋立地								13			13
	小計	(156) 156	(232) 232		(126) 126	151	(38) 287		(107) 150	(37) 37		(697) 1,140
中部地区	10号その1	(1) 1	(28) 28	(1) 1		57	(14) 27		(2) 24			(47) 139
	10号その2	(52) 52	(14) 14				(6) 6					(72) 72
	11号地		(9) 9		(29) 29	6	11		1			(38) 56
	13号地	93.2 93.2	42.1 42.1	(5) 5		88	(24) 50		(22) 64			(186) 342
	有明					75	42		(35) 35			(35) 153
	小計	(147) 147	(93) 93	(6) 6	(29) 29	226	(45) 137		(59) 124			(379) 761
東部地区	7号地		(8) 8			43	20		(39) 39			(47) 110
	8号地		(4) 4		(30) 30	6	2		5	(4) 4		(38) 50
	12号地	(13) 13	(25) 25				(1) 3					(39) 41
	14号地その1		(137) 137	(7) 7	(14) 14	4	(8) 57		(18) 62	(13) 13		(196) 293
	14号地その2					14	2					16
	15号地	(30) 30	(55) 55	(9) 9			(8) 8		(70) 79			(178) 187
	小計	(43) 43	(229) 229	(16) 16	(44) 44	68	(16) 92		(127) 185	(17) 17		(497) 698
中央防波堤地区	内側	(45) 45	(17) 17		(17) 17		(17) 17		(84) 84	(19) 19		(199) 199
	外側	(109) 109	(195) 195			17	(62) 88		(97) 123	(28) 28	(245) 245	(736) 804
	小計	(154) 154	(212) 212		(17) 17	17	(79) 105		(181) 208	(46) 46	(245) 245	(935) 1,004
羽田地区	羽田埋立					977					977	
合計		(556) 556	(840) 840	(33) 33	(227) 227	613	(183) 1,626	(6) 6	(510) 707	(103) 103	(245) 245	(2703) 4,956

表 V-2-4 港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する地域の
保全に特に密接に関連する交通機能用地の集計

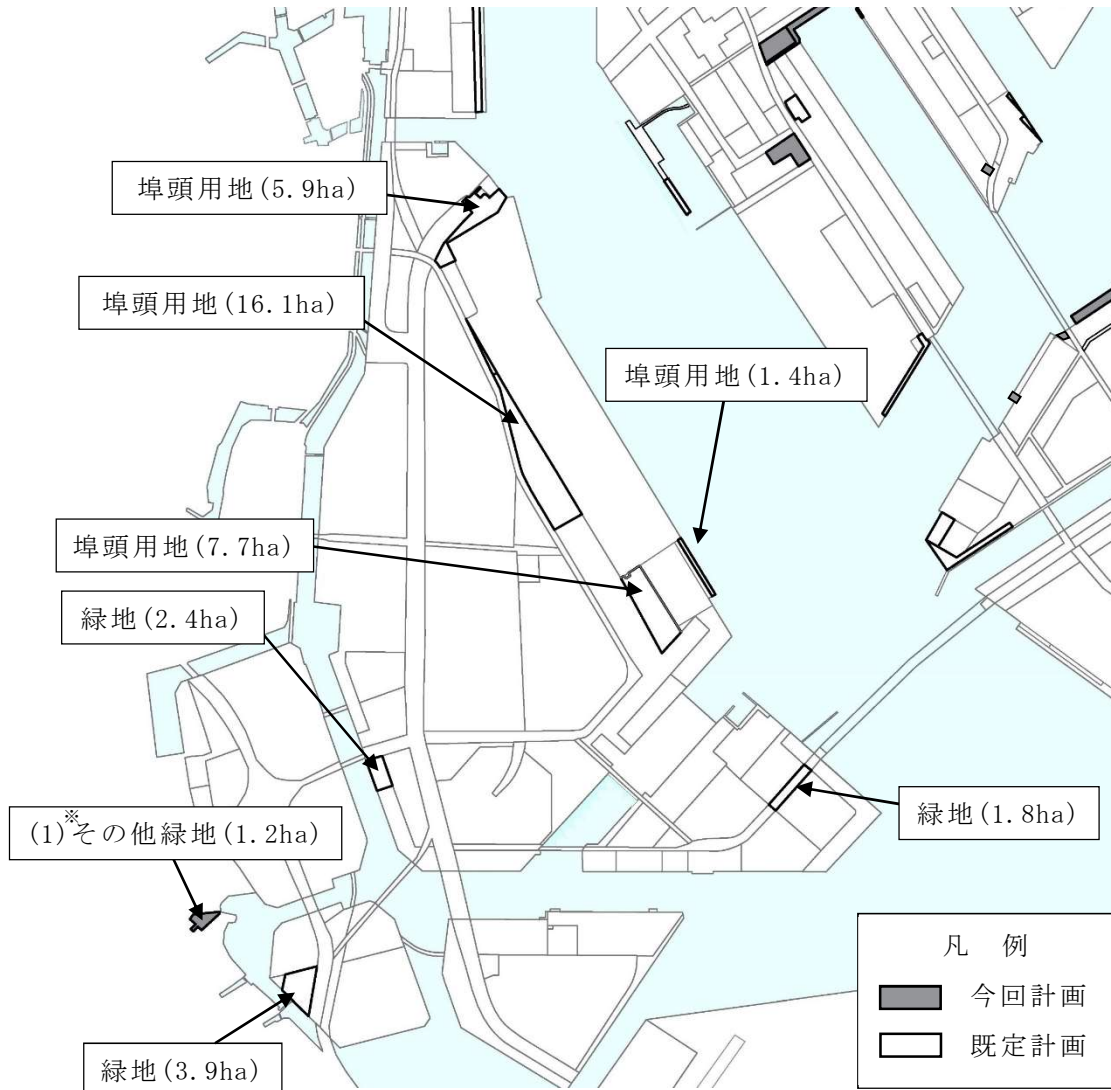
単位：ha

	内港 地区	南部 地区	中部 地区	東部 地区	中央防波堤 地区		合計	
					内側	外側		
臨 港 道 路	新木場・若洲線			15.6			15.5	
	東京港臨海道路					13.9	13.9	
	城南島・大井 1 号線		6.7				6.7	
	中防内 1・3・4・5・6 号					13.8	0.2	14.0
	中防外 1 号線					3.2	13.5	16.7
	中防外 2 号線						13.3	13.3
	中防外 3・4・5・6 号						21.2	21.2
	青海縦貫線			17.4				17.4
	南北線（管理棟）			0.3		0.2		0.5
	有明埠頭連絡線			5.9				5.9
	有明 2 号線			1.9				1.9
	有明南縦貫線			2.1				2.1
	青海・有明南連絡線			13.7				13.7
	海岸青海線	4.6		3.0				7.6
	辰巳 21 号線				0.5			0.5
	大井埠頭その 1 号線		25.0					25.0
	大井 2 号線		3.8					3.8
城南島・大井 2 号線		2.9					2.9	
小計	4.6	38.4	44.3	16.0	17.2	62.1	182.6	
その他港湾管理道路			0.4				0.4	
合計	4.6	38.4	44.7	16.0	17.2	62.1	183.0	



※ (数字) は土地造成に係る土地利用 (表 V-1-2)

図 V-2-1 内港地区



※ (数字) は土地造成に係らない土地利用 (表V-2-2)

図V-2-2 南部地区

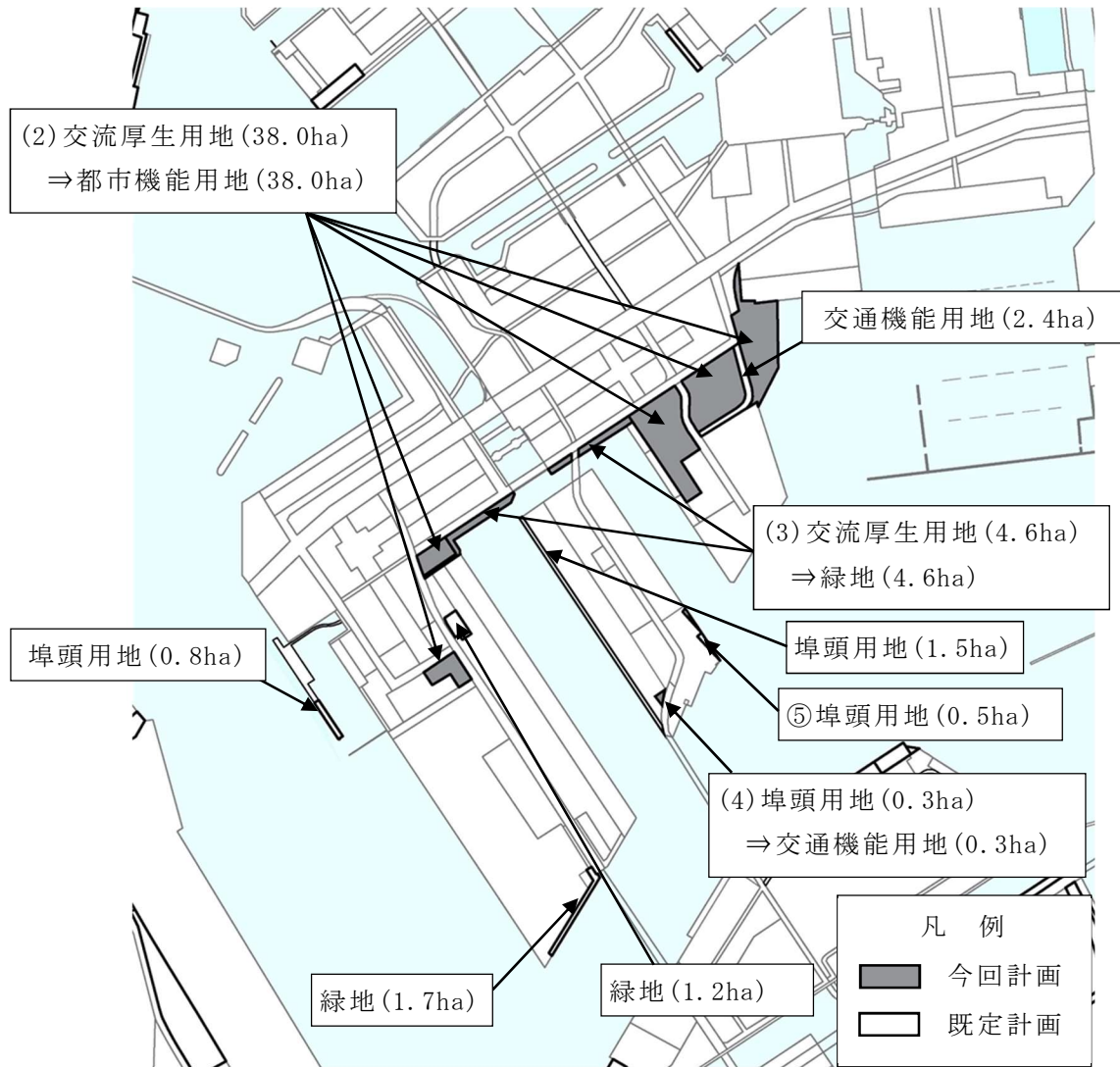


図 V-2-3 中部地区

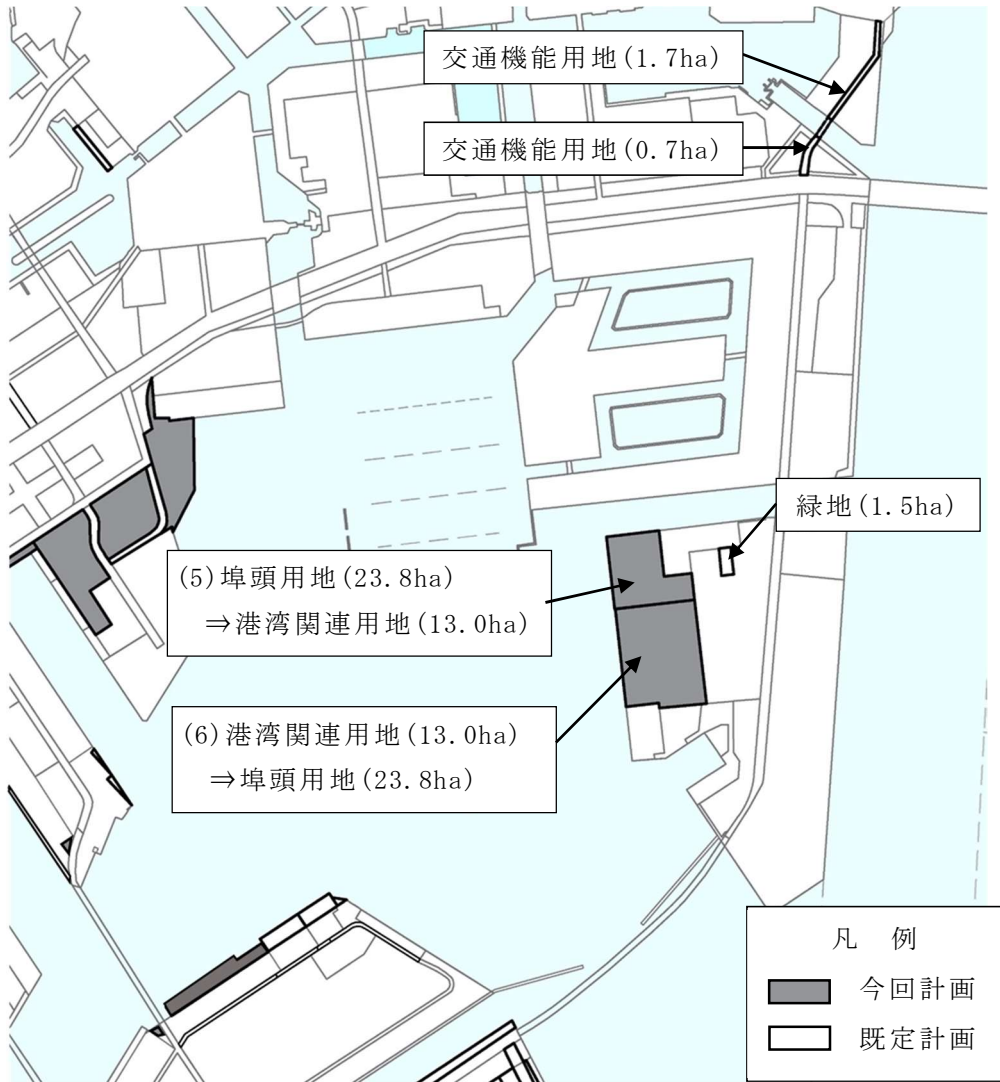


図 V-2-4 東部地区

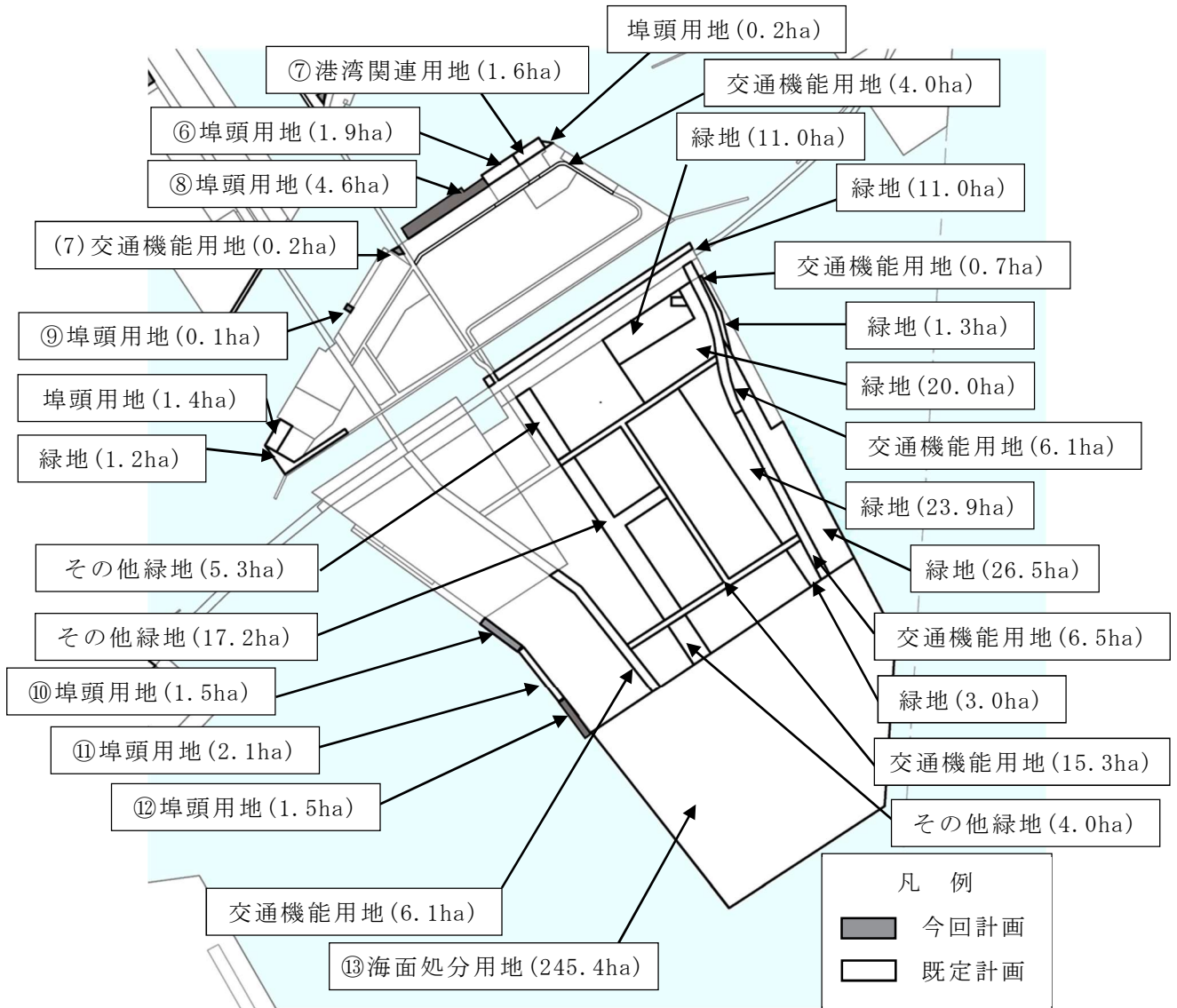


図 V-2-5 中央防波堤地区

3. 海浜計画

海浜の規模及び配置は次のとおりである。

表 V-3-1 海浜計画

地区名	No	名称	海浜延長 (m)	主要な 用途	配置の 考え方
南部地区	A	京浜運河緑道公園	850 [既設]	海浜	
	B	大井ふ頭中央 海浜公園	1,500 [既設]	海浜	
	C	東海ふ頭公園	900 [既定計画]	海浜	京浜運河を中心とする 生物生息環境ネット ワークとして配置
	D	東京港野鳥公園	850 [既設]	海浜 (干潟)	
	E	城南島海浜公園	600 [既定計画]	海浜	城南島海浜公園と一 体的に配置
	E	城南島海浜公園	500 [既設]	海浜	
中部地区	F	お台場海浜公園	1,400 [既設]	海浜	
	G	有明親水海浜公園	500 [既定計画]	海浜	有明親水海浜公園と 一体的に配置
東部地区	H	辰巳の森海浜公園	520 [既設]	海浜	
中央 防波堤 地区	I	海の森公園	400 [既定計画の削除]	海浜	
	J	中央防波堤沖	1,000 [既設]	海浜 (磯浜)	
葛西沖 地区	K	葛西海浜公園	1,600 [既設]	海浜 (干潟)	



図 V-3-1 海浜計画位置図

4. 臨港地区の範囲

東京港の臨港地区の面積は、令和5年8月時点で約1,049haである。

今後、港湾計画の遂行に伴い、港湾の管理運営を円滑に行うために必要と考えられる臨港地区（管理者の案）は、次のとおりである。

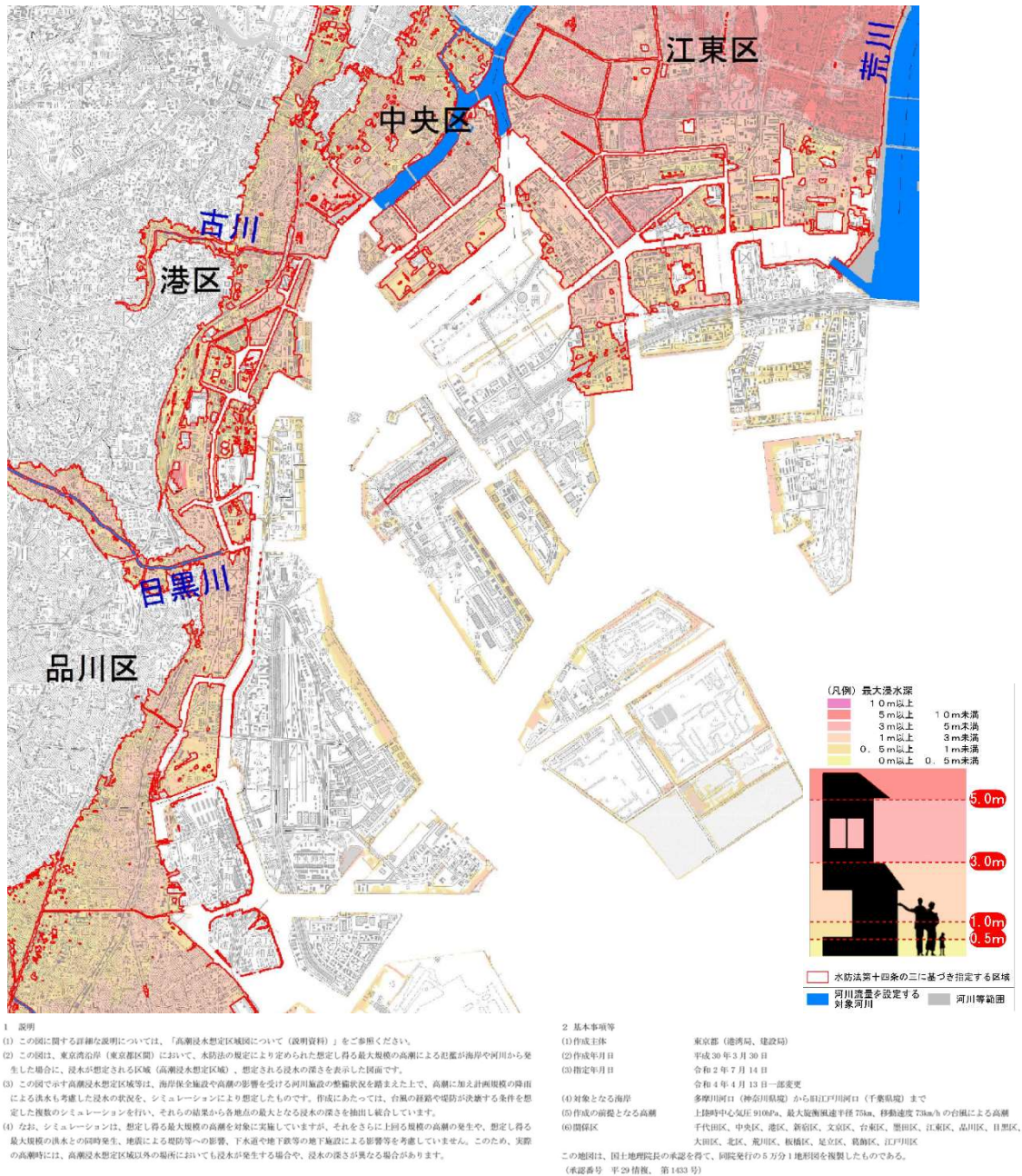


図 V-4-1 臨港地区の範囲

5. 地盤高

5-1 浸水想定

東京都は、水防法の規定に基づき、国内既往最大規模の台風（室戸台風級：910hPa）により想定される高潮浸水想定区域図を平成30年3月に作成した。
東京港周辺における浸水想定は、図V-5-1に示すとおりである。

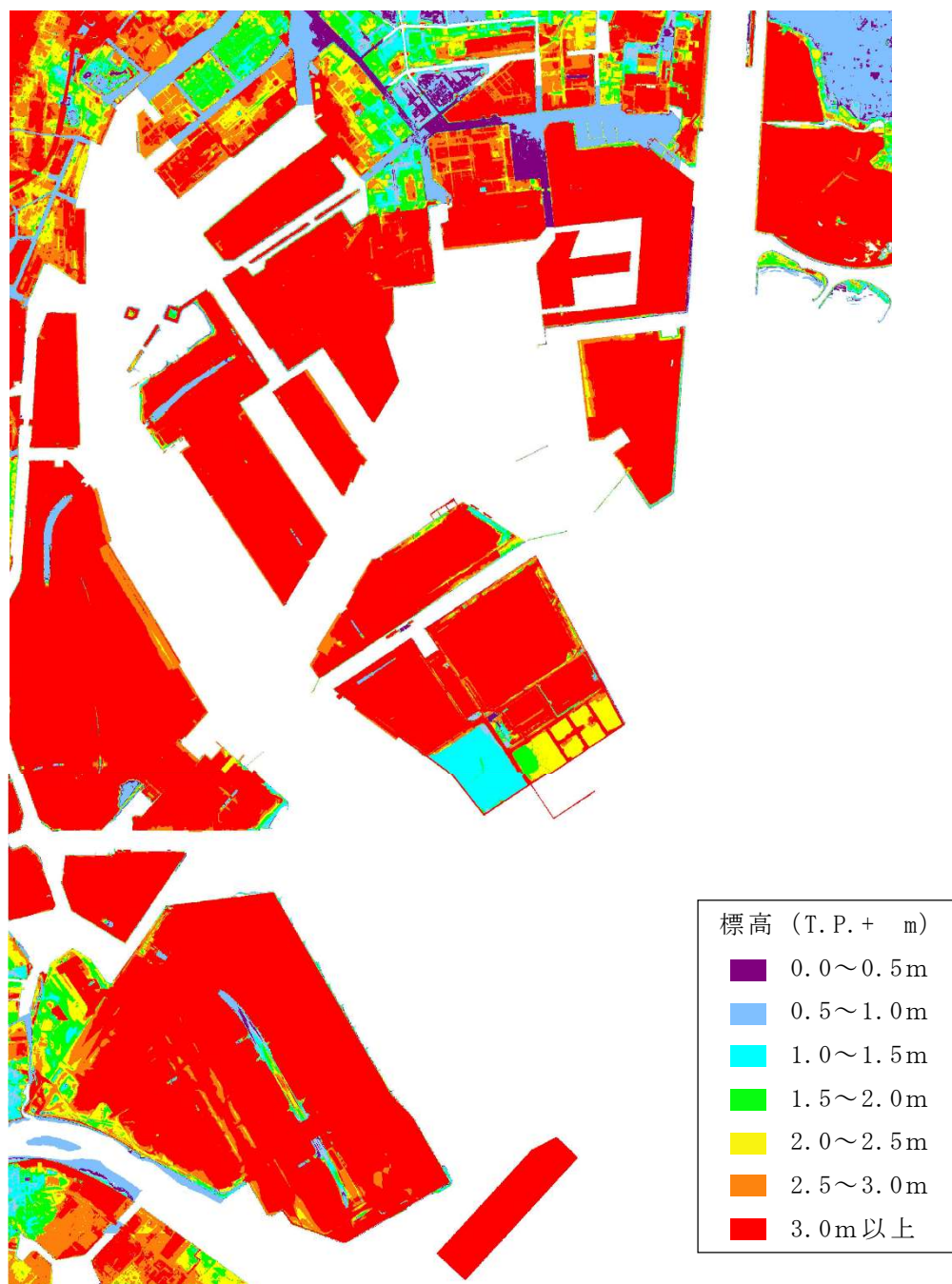


備考：上記の浸水想定は、高潮による浸水の危険性について都民に周知し、対策を講じることを目的としており、河川での洪水を見込むとともに、最悪の事態を想定し、堤防等の決壊を設定したものである。

図V-5-1 高潮浸水想定区域図〔想定最大規模〕（浸水深）

5-2 地盤高

東京港周辺の地盤高は、図V-5-2に示すとおりである。



出典：「基盤地図情報」（国土地理院）

図V-5-2 東京港周辺の地盤高

VI 港湾の効率的な運営に関する事項

目 次

VI 港湾の効率的な運営に関する事項.....	VI-1
1. 港湾の効率的な運営に関する事項.....	VI-1

VI 港湾の効率的な運営に関する事項

1. 港湾の効率的な運営に関する事項

コンテナ船及びRORO船により運送される貨物を取り扱う以下の埠頭について、効率的な運営を特に促進するよう措置することを計画する。(法第43条の11第1項の規定に基づく港湾運営会社によるものを含む。)

内港地区

(品川埠頭)

水深 8.5m	岸壁 2 バース	延長 460m (RORO 船用) [既設]	S1～S2
水深 8.5m	岸壁 1 バース	延長 230m (RORO 船用) [既設] (工事中)	S3
水深 8.5m	岸壁 1 バース	延長 166m (RORO 船用) [既設]	S4
水深 10 m	岸壁 1 バース	延長 195m (コンテナ船用) [既定計画の変更計画]	S5
水深 11.5m	岸壁 2 バース	延長 550m (コンテナ船用) [既定計画]	S6～S7
埠頭用地 32ha	(荷さばき施設用地及び保管施設用地) (うち 29ha 既設) [既定計画]		

南部地区

(大井埠頭その 1)

水深 15～16m	岸壁 8 バース	延長 2,754m (コンテナ船用) [既定計画]	o1～o8
埠頭用地 139ha	(荷さばき施設用地及び保管施設用地) (うち 108ha 既設) [既定計画]		

中部地区

(10号地その 2)

水深 9m	岸壁 6 バース	延長 1,380m (RORO 船用) [既定計画]	V1～V6
埠頭用地 25ha	(荷さばき施設用地及び保管施設用地) (うち 23ha 既設) [既定計画]		

(13号地)

水深 15～16m	岸壁 2 バース	延長 700m (コンテナ船用) [既定計画]	A3～A4
水深 15m	岸壁 1 バース	延長 350m (コンテナ船用) [既設]	A2
水深 13m	岸壁 2 バース	延長 520m (コンテナ船用) [既設]	A0～A1
埠頭用地 68ha	(荷さばき施設用地及び保管施設用地) [既設]		

東部地区

次の既定計画を削除する。

(15号地)

既定計画				
水深 11~12m	岸壁 2 バース	延長 500m	(コンテナ船用)	L2~L3
埠頭用地 29ha	(荷さばき施設用地及び保管施設用地)			

中央防波堤地区

(中央防波堤内側)

水深 9m	岸壁 2 バース	延長 500m	(RORO 船用) [既設の変更計画]	X4~X5
-------	----------	---------	---------------------	-------

埠頭用地 13ha	(荷さばき施設用地及び保管施設用地) (うち 13ha 既設) [既設の変更計画]			
-----------	--	--	--	--

水深 9m	岸壁 2 バース	延長 500m	(RORO 船用) [新規計画]	X6~X7
-------	----------	---------	------------------	-------

埠頭用地 12ha	(荷さばき施設用地及び保管施設用地) (うち 8ha 既設) [既設の変更計画]			
-----------	---	--	--	--

(中央防波堤外側)

水深 11m	岸壁 1 バース	延長 230m	(コンテナ船用) [既設]	Y1
--------	----------	---------	---------------	----

水深 16m	岸壁 1 バース	延長 400m	(コンテナ船用) [既設]	Y2
--------	----------	---------	---------------	----

水深 16~16.5m	岸壁 1 バース	延長 400m	(コンテナ船用) [既設] (工事中)	Y3
-------------	----------	---------	---------------------	----

埠頭用地 58ha	(荷さばき施設用地及び保管施設用地) (うち 2ha 工事中) [既設]			
-----------	---	--	--	--

(新海面処分場)

水深 15~16m	岸壁 1 バース	延長 300m	(コンテナ船用) [新規計画]	Z0
-----------	----------	---------	-----------------	----

水深 16~16.5m	岸壁 1 バース	延長 420m	(コンテナ船用) [既定計画]	Z1
-------------	----------	---------	-----------------	----

水深 15~16m	岸壁 1 バース	延長 300m	(コンテナ船用) [新規計画]	Z2
-----------	----------	---------	-----------------	----

埠頭用地 51ha	(荷さばき施設用地及び保管施設用地) (うち 46ha 工事中) [既定計画の変更計画]			
-----------	---	--	--	--

VII その他重要事項

目 次

VII	その他重要事項	VII-1
1.	国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設	VII-1
2.	港湾及び港湾に隣接する地域の保全	VII-2
2-1	海岸保全施設等	VII-2
2-2	東京港海岸保全施設整備計画（令和5年3月）	VII-4
3.	大規模地震対策施設	VII-7
3-1	耐震強化岸壁整備の基本的な考え方	VII-7
3-2	緊急物資輸送対応施設	VII-7
3-3	幹線貨物輸送対応施設	VII-9
4.	港湾施設の利用	VII-11
4-1	物資補給等のための施設	VII-11
5.	その他港湾の開発、利用及び保全に関する事項	VII-12
5-1	橋梁の桁下空間の確保	VII-12
5-2	放置等禁止区域	VII-15
5-3	利用形態の検討が必要な区域及び将来構想	VII-18

VII その他重要事項

1. 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設

今回計画している施設及び既に計画されている施設のうち、国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設は次のとおりである。

[国際海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設]

南部地区

(大井埠頭その1)

水深 15～16m	岸壁 1 バース	延長 400m		
		(コンテナ船用)	[既定計画]	o8

東部地区

(15号地)

水深 12m	岸壁 1 バース	延長 240m		
			[既定計画の削除]	L1

中央防波堤地区

(新海面処分場)

水深 15～16m	岸壁 1 バース	延長 300m		
		(コンテナ船用)	[新規計画]	Z0
水深 16～16.5m	岸壁 1 バース	延長 420m		
		(コンテナ船用)	[既定計画]	Z1
水深 15～16m	岸壁 1 バース	延長 300m		
		(コンテナ船用)	[新規計画]	Z2

[国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設]

中央防波堤地区

(中央防波堤内側)

水深 9m	岸壁 2 バース	延長 500m		
		(RORO 船用)	[既設の変更計画]	X4～X5
水深 9m	岸壁 2 バース	延長 500m		
		(RORO 船用)	[新規計画]	X6～X7

2. 港湾及び港湾に隣接する地域の保全

2-1 海岸保全施設等

東京の区部東部には、地盤高の低い土地が広がっており、高潮が発生しなくても通常の満潮時に海面以下となる、いわゆるゼロメートル地帯が23区の約2割に相当する面積に及び、約150万人が生活している。また、東京港の背後には首都機能をはじめ、商業、交通インフラなどの都市機能が高度に集積している。こうした地域が高潮や津波により、ひとたび浸水すれば甚大な被害に見舞われるおそれがある。都民の生命、財産を守り、首都としての中核機能を確保するためには、防潮堤、水門、排水機場等の海岸保全施設の整備が極めて重要である。

都はこれまで、平成24年度に策定した整備計画に基づき、大規模地震を対象として、防潮堤等の耐震性を強化するとともに、水門や排水機場の電気・機械設備が浸水しないよう、耐水対策に取り組んできた。

一方、気候変動の影響により平均海面水位は上昇しつつあり、今後、さらなる平均海面水位の上昇や台風の強大化等による沿岸地域への影響が懸念されるため、国が令和2年11月に変更した「海岸保全基本方針」に基づき、東京都は令和5年3月に「東京湾沿岸海岸保全基本計画〔東京都区間〕」を改定し、「東京港海岸保全施設整備計画」を策定した。

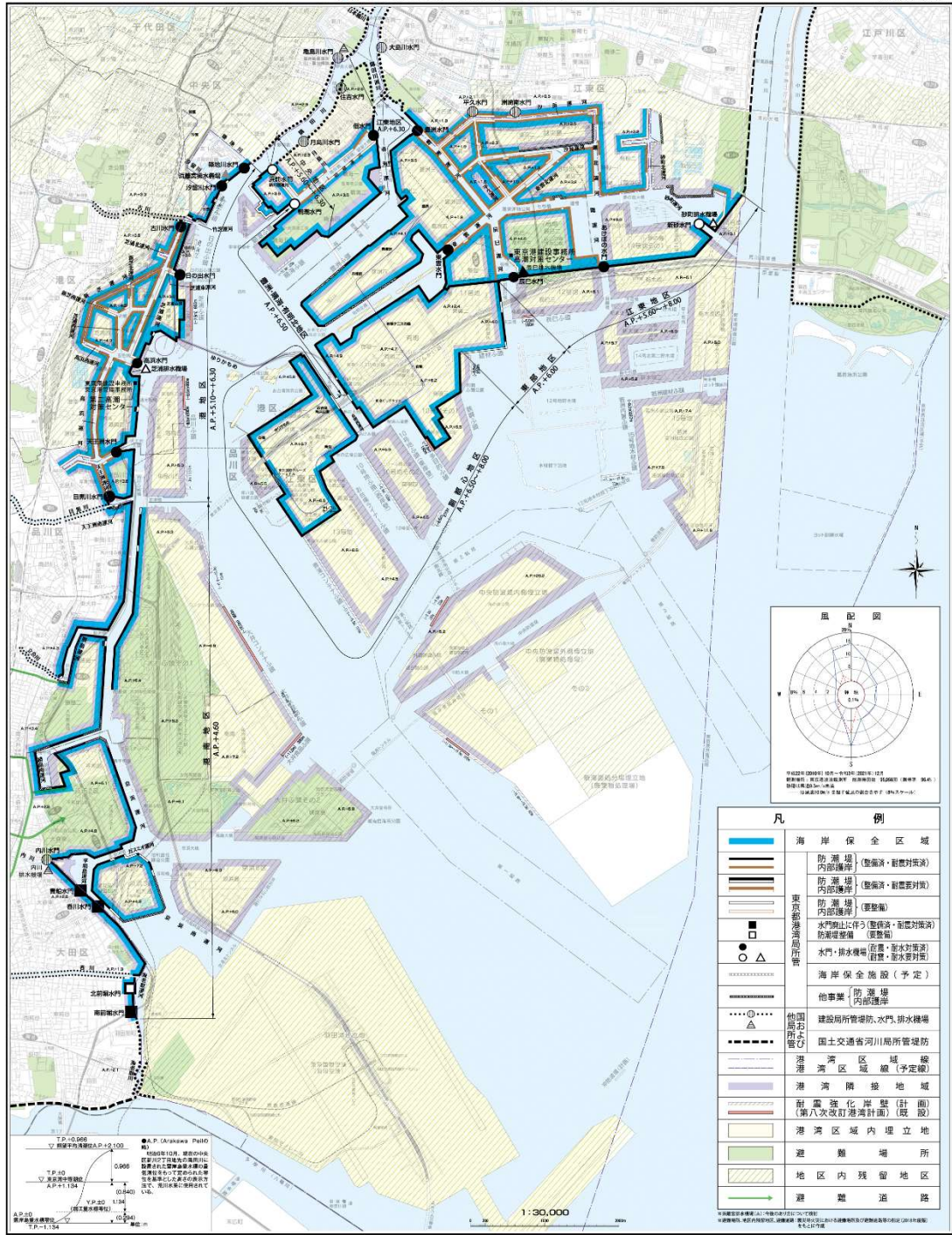
今後は、上記の計画に基づき、防潮堤、内部護岸等の耐震対策を推進するとともに、気候変動対策として新たに防潮堤の嵩上げや排水機場の増設を実施していく。

表VII-2-1 海岸保全施設の整備状況（令和4年3月末現在）

施設種別	海岸保全区域 延長等 ①	整備延長等 ②	整備状況 ②/①
外郭防潮堤	39.8km	39.3km	99%
堤外地防潮堤	20.6km	18.6km	90%
内部護岸	45.6km	36.9km	81%
水門	15箇所	15箇所	-
排水機場	4箇所	4箇所	-

東京港防災計画図

令和4年3月末現在



図VII-2-1 海岸保全区域の防災計画図 (令和4年)

2-2 東京港海岸保全施設整備計画（令和5年3月）

2-2-1 計画期間

10年間（令和4年度～令和13年度）

2-2-2 対象施設

(1) 防潮堤、内部護岸等

表VII-2-2 海岸保全施設の整備概要

施設	対策	実施内容	整備対象
防潮堤	気候変動	海面上昇により2030年代までに整備が必要となる区間について、嵩上げを実施	約24km
	耐震	護岸本体工の整備や前面の地盤改良等により耐震性を確保	約4km ^{※1}
内部護岸	耐震	護岸本体工の整備や前面の地盤改良等により耐震性を確保 ^{※2}	約15km
水門	耐震	最大級の地震に対応した施設の整備を実施	1施設
	耐水	高潮による浸水を想定し、電気・機械設備を計画高潮位より高い位置に設置	
排水機場	気候変動	降雨量増大に対応するよう、排水機場の増設を実施	2施設
	耐震	最大級の地震に対応した施設の整備を実施	
	耐水	高潮による浸水を想定し、電気・機械設備を計画高潮位より高い位置に設置	

※1 気候変動対策と重複あり

※2 内部護岸の前出し幅は、運河幅員や運河利用等を考慮し設定するものとする

(2) その他

【高潮対策センターの増築】

陸こうの遠隔制御システムの拡張に伴う操作卓の増設等のため、高潮対策センターの増築を行う。

【水門等の遠隔操作に係る通信網の多重化】

既存の通信網に加え、下水道施設の通信網を活用し多重化させることにより、水門等遠隔制御システムのバックアップ機能の強化を図り、遠隔操作の信頼性を向上させる。

【陸こうの廃止及び遠隔制御化】

陸こうの廃止を推進するとともに、廃止できない陸こうについて、順次遠隔制御システムの導入を図る。

【計画的な維持保全】

水門の門扉改修など、予防保全を取り入れた計画的な施設の維持保全を図る。

【ソフト対策の推進】

高潮防災総合情報システムによるリアルタイムの防災情報の発信、水防法に基づく高潮浸水想定区域図の公表、高潮特別警戒水位の運用を行うなど、情報提供の充実化を図る。

また、A I 技術を活用した水位予測による水門等の操作支援、ドローンを活用した災害時の施設点検を行うなど、デジタルを活用した防災機能の向上を図る。



※ 江東地区における排水機場の整備内容・位置については検討中

図 VII-2-2 東京港海岸保全施設整備計画図 (令和 5 年 3 月)

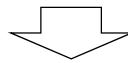
3. 大規模地震対策施設

3-1 耐震強化岸壁整備の基本的な考え方

耐震強化岸壁整備の基本的な考え方は、次のとおりである。

<既定計画>

用途	既定計画
幹線貨物輸送用 (コンテナ・RORO)	22バース
緊急物資輸送用 (RORO・在来)	26バース



<既定計画の変更>

用途	今回計画	
幹線貨物輸送用 (コンテナ・RORO)	23バース	既定計画の削除及び 新規埠頭の増加
緊急物資輸送用 (RORO・在来)	26バース	既定計画の削除及び 幹線貨物輸送用 からの配置変更

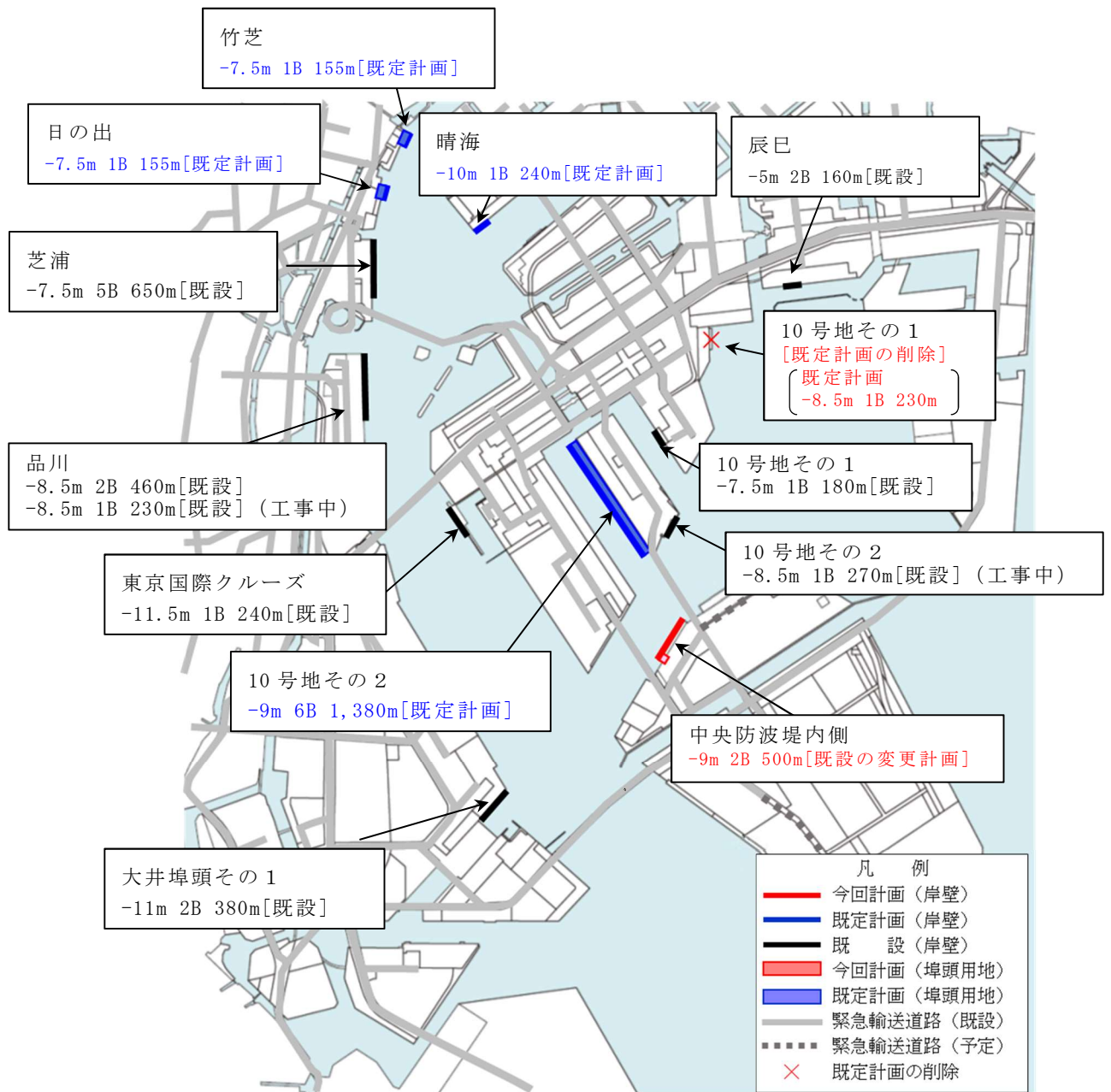
図VII-3-1 耐震強化岸壁整備の基本的な考え方

3-2 緊急物資輸送対応施設

緊急物資輸送対応施設計画は、次のとおりである。

表VII-3-1 緊急物資輸送対応施設計画一覧

整備・計画状況	施設名	水深 (m)	バース 数	延長 (m)	備考
既定計画	竹芝貨客船	-7.5	1	155	
既定計画	日の出貨客船	-7.5	1	155	
既定計画	晴海物資補給岸壁	-10.0	1	240	
既設	芝浦内貿雑貨	-7.5	5	650	
既設(工事中)	品川内貿ユニットロード	-8.5	3	690	S3:工事中
既設	東京国際クルーズ	-11.5	1	240	全長430mのうち耐震強化部分
既設	大井食品	-11.0	2	380	
既定計画	10号地その2(西)内貿ユニットロード	-9.0	6	1,380	
既設(工事中)	10号地その2多目的	-8.5	1	270	
既設	10号地その1西側多目的	-7.5	1	180	
既設	辰巳内貿雑貨	-5.0	2	160	
既設の変更計画	中央防波堤内側内貿ユニットロード	-9.0	2	500	X4、X5
合計		-	26	5,000	



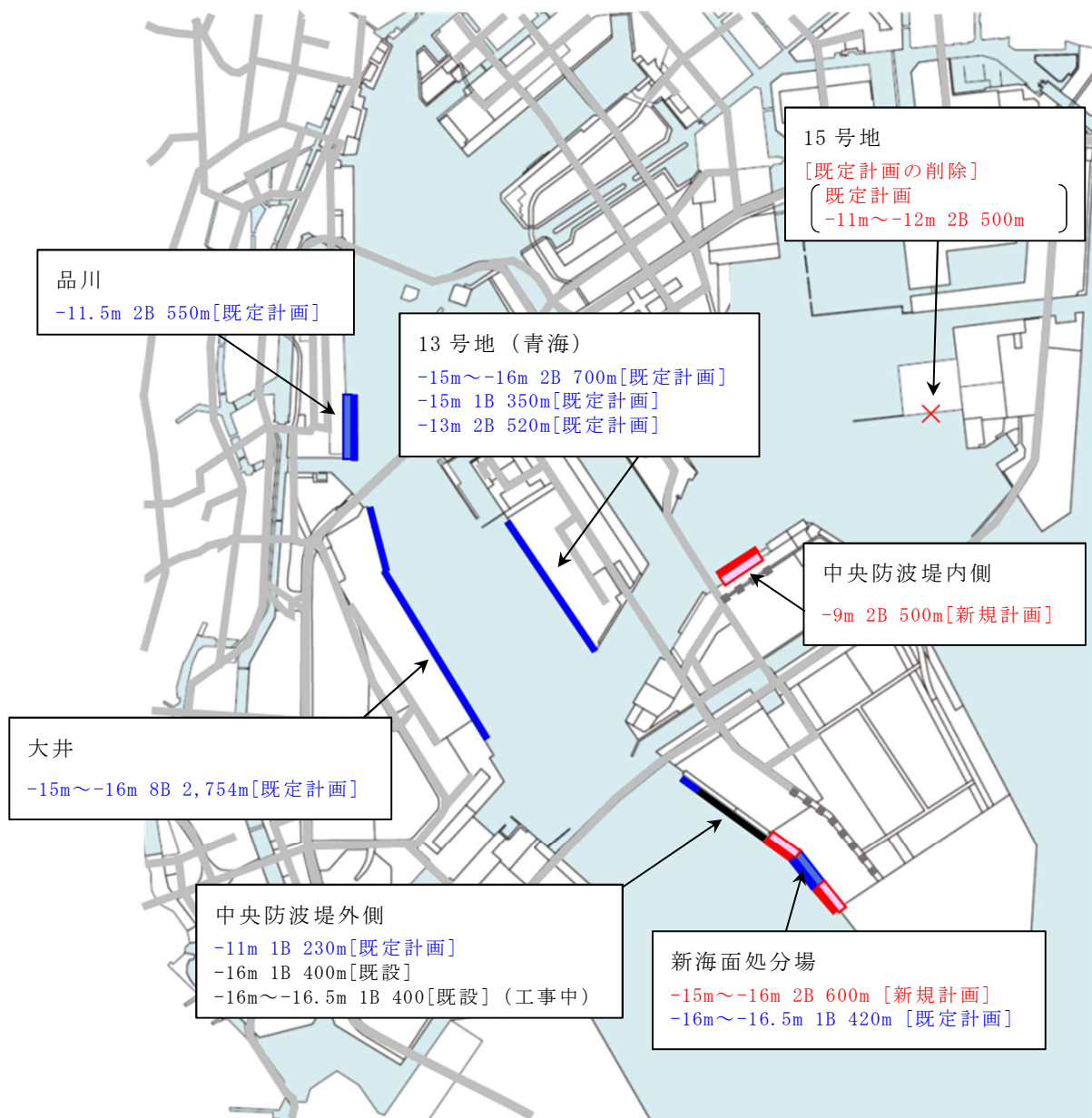
図VII-3-2 緊急物資輸送対応施設計画

3-3 幹線貨物輸送対応施設

国土交通省通知（平成 25 年 4 月 16 日（国港計第 4 号・国港海第 15 号）に基づき、コンテナ・RORO の幹線貨物埠頭（3-2-1 緊急物資輸送対応施設に記載されているものを除く）を「幹線貨物輸送ターミナル」の耐震強化岸壁として計画する。幹線貨物輸送対応施設計画は、次のとおりである。

表 VII-3-2 幹線貨物輸送対応施設一覧

整備・計画状況	施設名	貨物属性	水深 (m)	バース数	延長 (m)	備考
既定計画	品川	コンテナ	-11.5	2	550	
既定計画	大井	コンテナ	-15.0~-16.0	8	2,754	o8は現在水産ふ頭として利用
既定計画	13号地(青海)	コンテナ	-13.0	2	520	
既定計画	13号地(青海)	コンテナ	-15.0	1	350	
既定計画	13号地(青海)	コンテナ	-15.0~-16.0	2	700	
新規計画	中央防波堤内側	RORO	-9.0	2	500	X6、X7
既定計画	中央防波堤外側	コンテナ	-11.0	1	230	
既設	中央防波堤外側	コンテナ	-16.0	1	400	
既設(工事中)	中央防波堤外側	コンテナ	-16.0~-16.5	1	400	
新規計画	新海面処分場	コンテナ	-15.0~-16.0	2	600	
既定計画	新海面処分場	コンテナ	-16.0~-16.5	1	420	
合計			-	23	7,424	



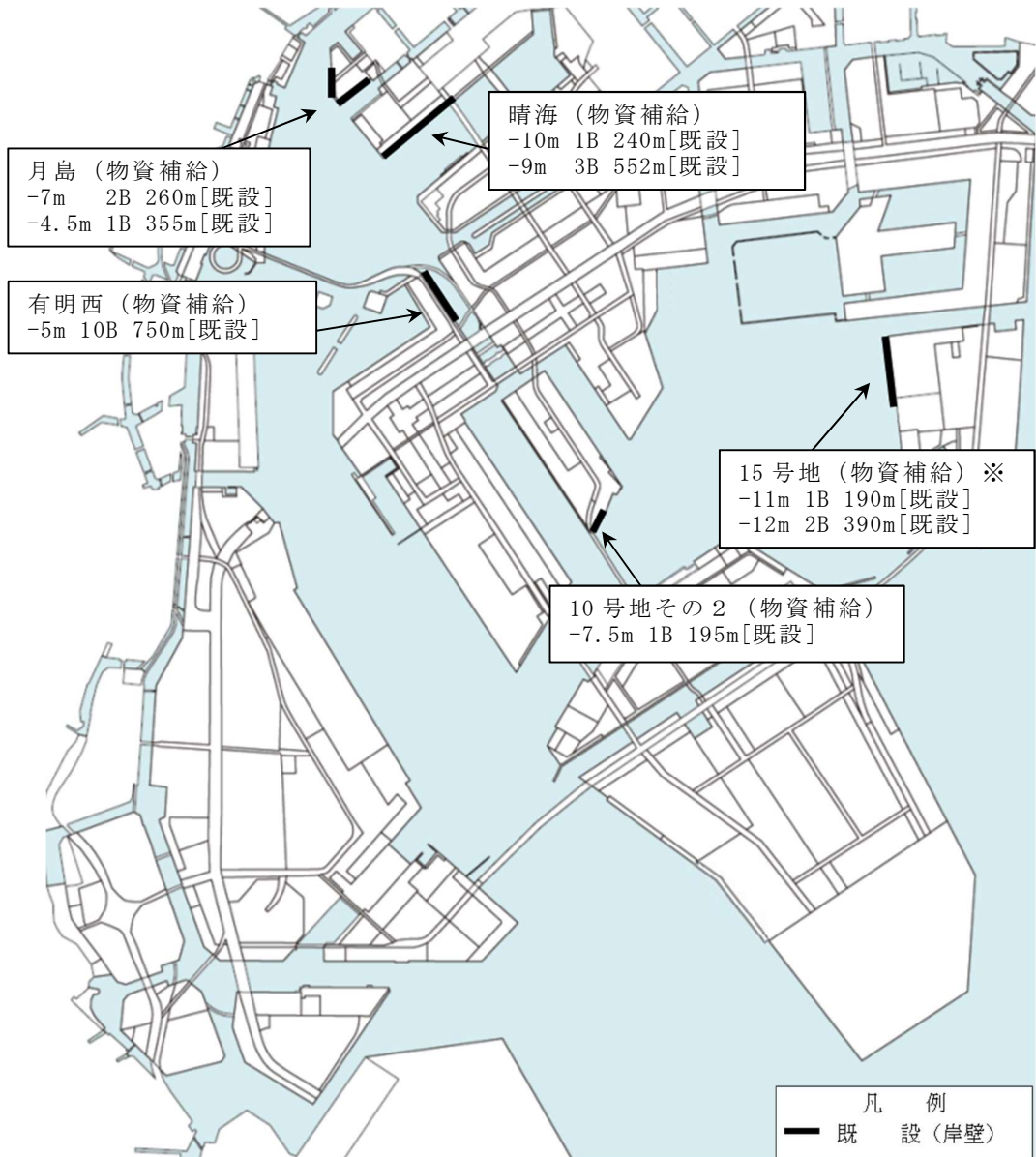
凡 例	
—	今回計画 (岸壁)
—	既定計画 (岸壁)
—	既 設 (岸壁)
■	今回計画 (埠頭用地)
■	既定計画 (埠頭用地)
—	緊急輸送道路 (既設)
- - -	緊急輸送道路 (予定)
×	既定計画の削除

図VII-3-3 幹線貨物輸送対応施設計画

4. 港湾施設の利用

4-1 物資補給等のための施設

東京港には、海技教育機構や水産庁、海洋研究開発機構をはじめ、官公庁の所有する船舶等が多数寄港・係留しており、燃料や飲料水など物資補給のための係留場所の確保が求められている。こうした要請への対応として、既存施設を有効活用し、物資補給岸壁を次のとおり配置する。



※15号地コンテナ埠頭計画の廃止に伴い、現況の施設を本改訂で既設として位置づける

図VII-4-1 物資補給等のための施設

5. その他港湾の開発、利用及び保全に関する事項

5-1 橋梁の桁下空間の確保

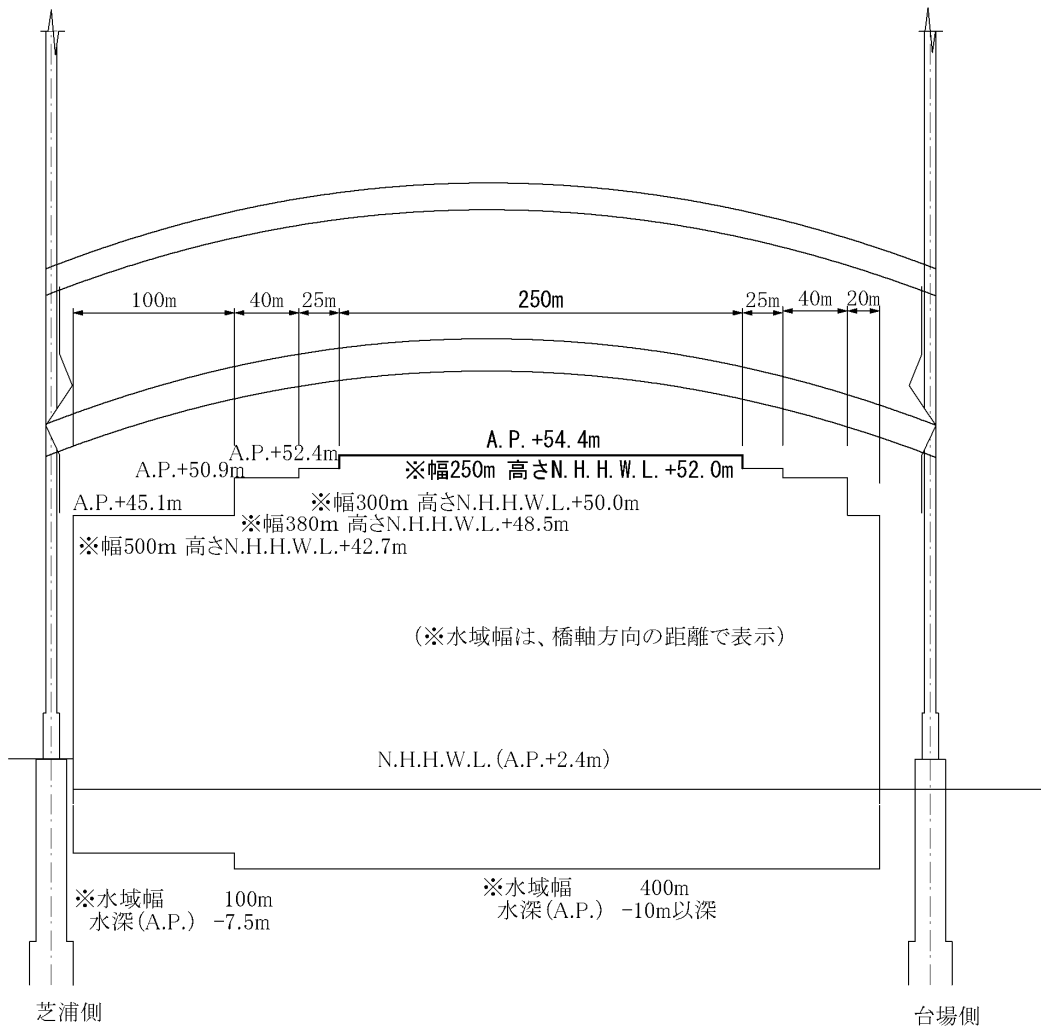
5-1-1 橋梁の桁下空間

港湾を利用する船舶に航行上支障がないよう、橋梁の桁下空間を次のとおりとする。

表Ⅶ-5-1 橋梁の桁下空間

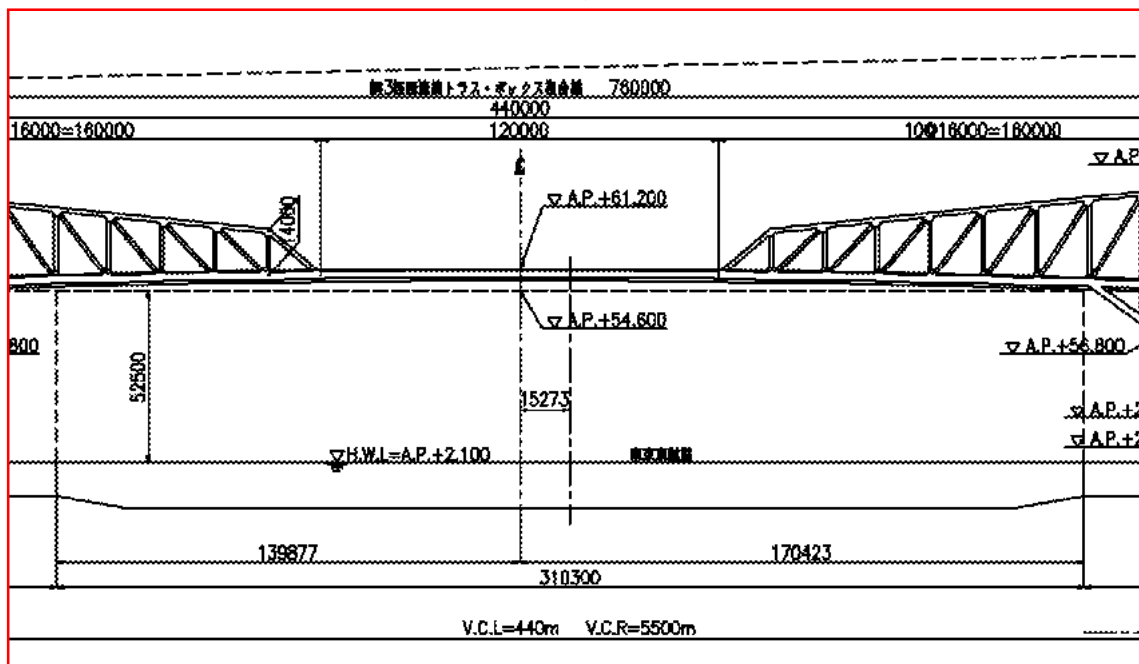
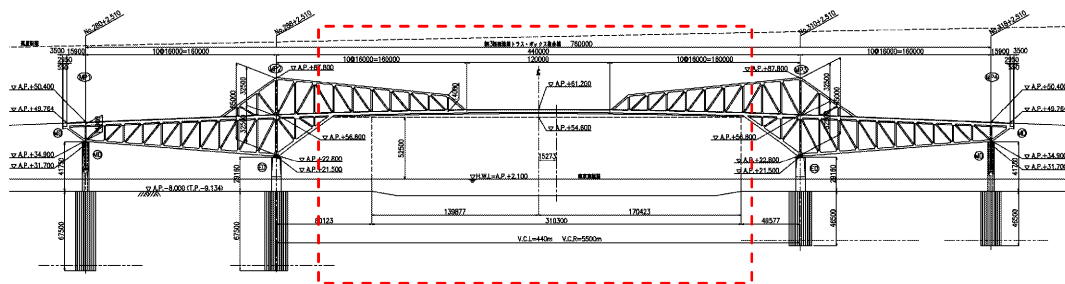
橋 梁 名	桁 下 空 間
東京港連絡橋 (レインボーブリッジ) (臨港道路)	中央部幅員 250m 高さ N.H.H.W.L. +52.0m 中央部幅員 300m 高さ N.H.H.W.L. +50.0m 中央部幅員 380m 高さ N.H.H.W.L. +48.5m 中央部幅員 500m 高さ N.H.H.W.L. +42.7m
東京港臨海道路 II 期区間 (ゲートブリッジ) (臨港道路)	中央部幅員 310m 高さ N.H.H.W.L. +52.2m

※N.H.H.W.L. (略最高高潮面) は A.P. +2.398m ≒ A.P. +2.4m である。



※N.H.H.W.L. (略最高高潮面) は A.P. +2.398m ≒ A.P. +2.4m である。

図VII-5-1 東京港連絡橋 (レインボーブリッジ) の桁下空間図

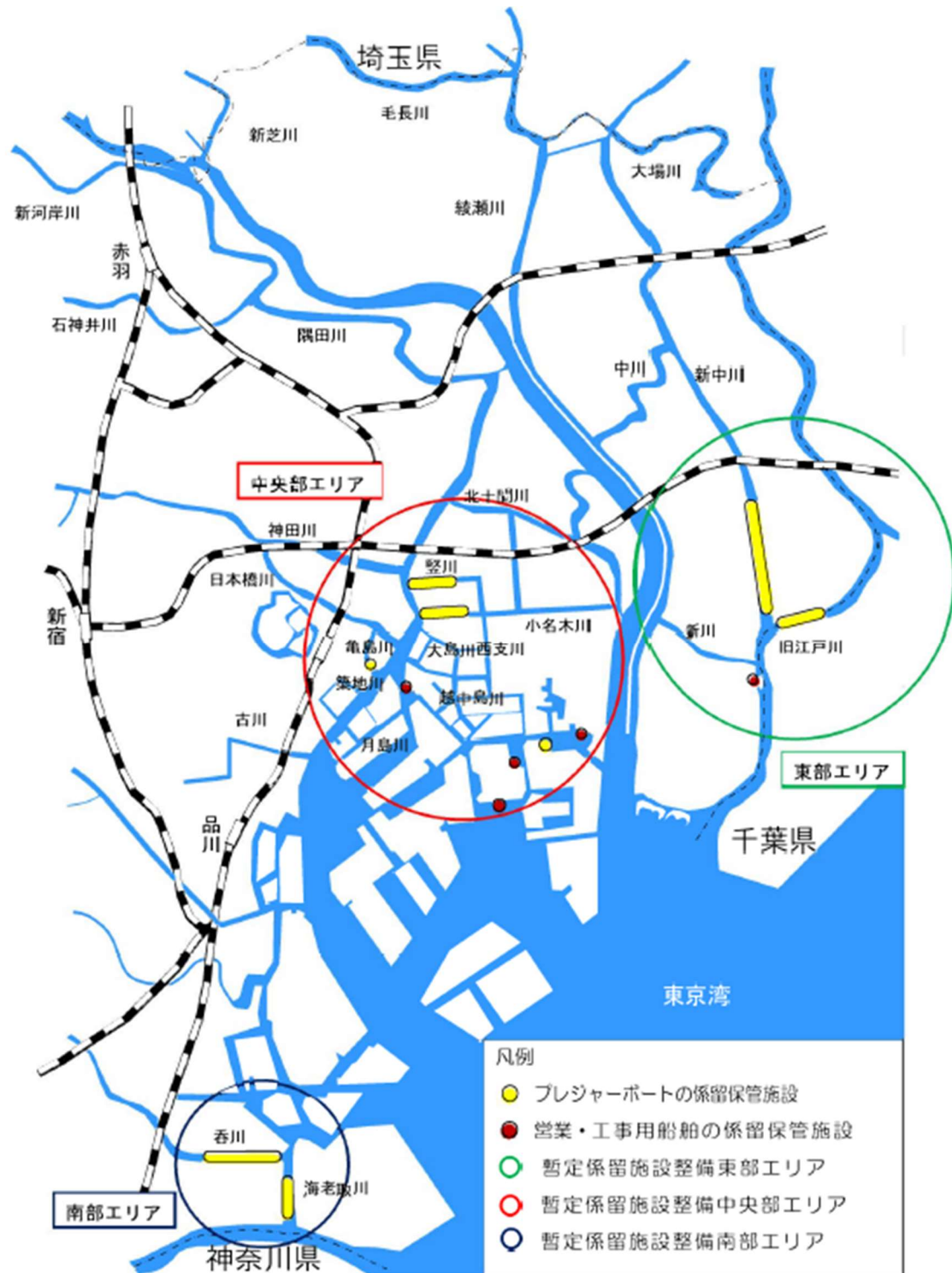


出典：「東京ゲートブリッジ 主橋梁部側面図」（国土交通省関東地方整備局 東京港湾事務所企画調整課）

図VII-5-2 ゲートブリッジの桁下空間図

5-2 放置等禁止区域

東京都では、船舶の係留保管の秩序を確立することにより、都市景観の回復及び創出を図るとともに、都民の暮らしの安全性の保持並びに公共水域を利用した経済活動及び公共水域周辺の良い生活環境の確保に資することを目的として、以下に示す「東京都船舶の係留保管の適正化に関する条例」を公布している。



出典：「東京都船舶の係留保管適正化計画【改定版】」（平成 31 年 3 月）（東京都建設局・港湾局）

図 VII-5-3 係留保管施設整備位置図



出典：「東京都船舶の係留保管適正化計画【改定版】」（平成 31 年 3 月）（東京都建設局・港湾局）

図 VII-5-4 適正化区域・重点適正化区域指定図

5-3 利用形態の検討が必要な区域及び将来構想

5-3-1 利用形態の検討が必要な区域

中央防波堤地区は、将来の技術開発や社会情勢の変化、利用状況等に対応するため、利用形態の検討が必要な区域として設定する。

5-3-2 将来構想

内貿貨物の需要動向等を踏まえ、引き続き埠頭計画の拡張について検討が必要であると想定されるため、次の施設を将来構想とする。

中央防波堤地区

(中央防波堤内側) 内貿埠頭岸壁

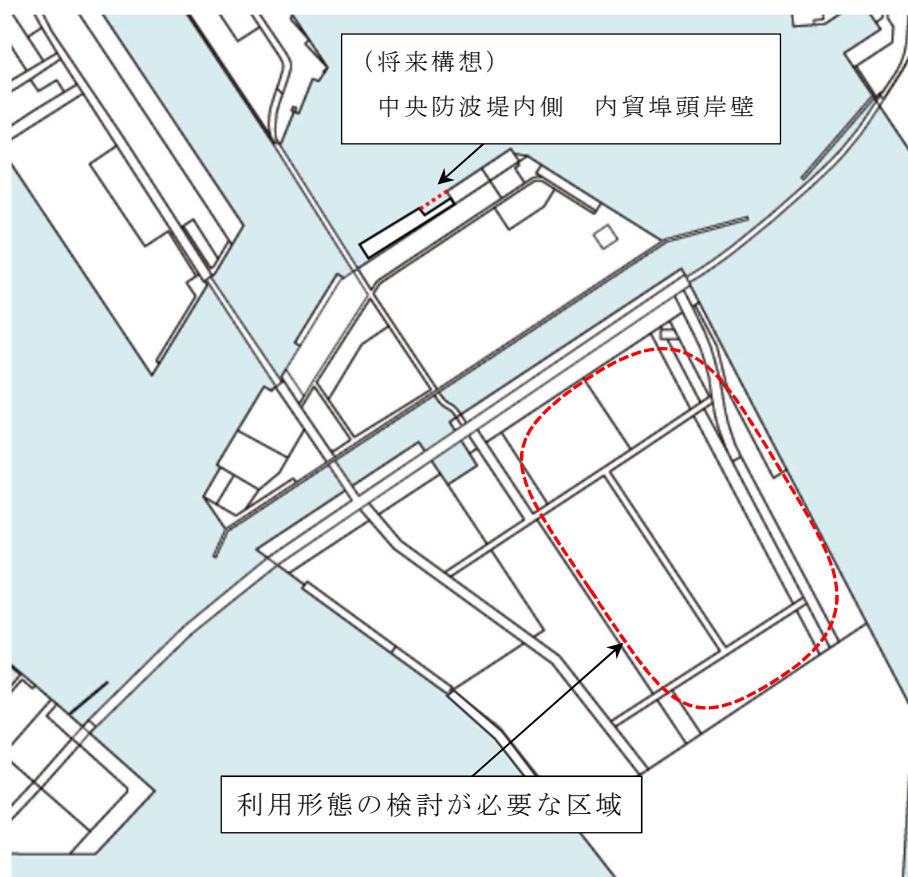


図 VII-5-5 利用形態の検討が必要な区域及び将来構想

VIII その他

目 次

VIII その他	VIII-1
1. 港湾区域の範囲	VIII-1
2. 港湾の周辺条件	VIII-3
2-1 経済的・社会的条件	VIII-3
2-2 自然条件	VIII-6
3. 港湾の沿革	VIII-19
4. 港湾施設の現況	VIII-25
4-1 水域施設	VIII-25
4-2 外郭施設	VIII-25
4-3 係留施設	VIII-26
4-4 荷捌施設	VIII-28
4-5 保管施設	VIII-31
4-6 旅客施設	VIII-31
4-7 マリーナ施設	VIII-32
4-8 その他の施設	VIII-33
5. 過去の計画一覧	VIII-34
6. 新旧法線対象図	VIII-52
7. 東京都港湾審議会委員名簿	VIII-54
8. 将来イメージ	VIII-55

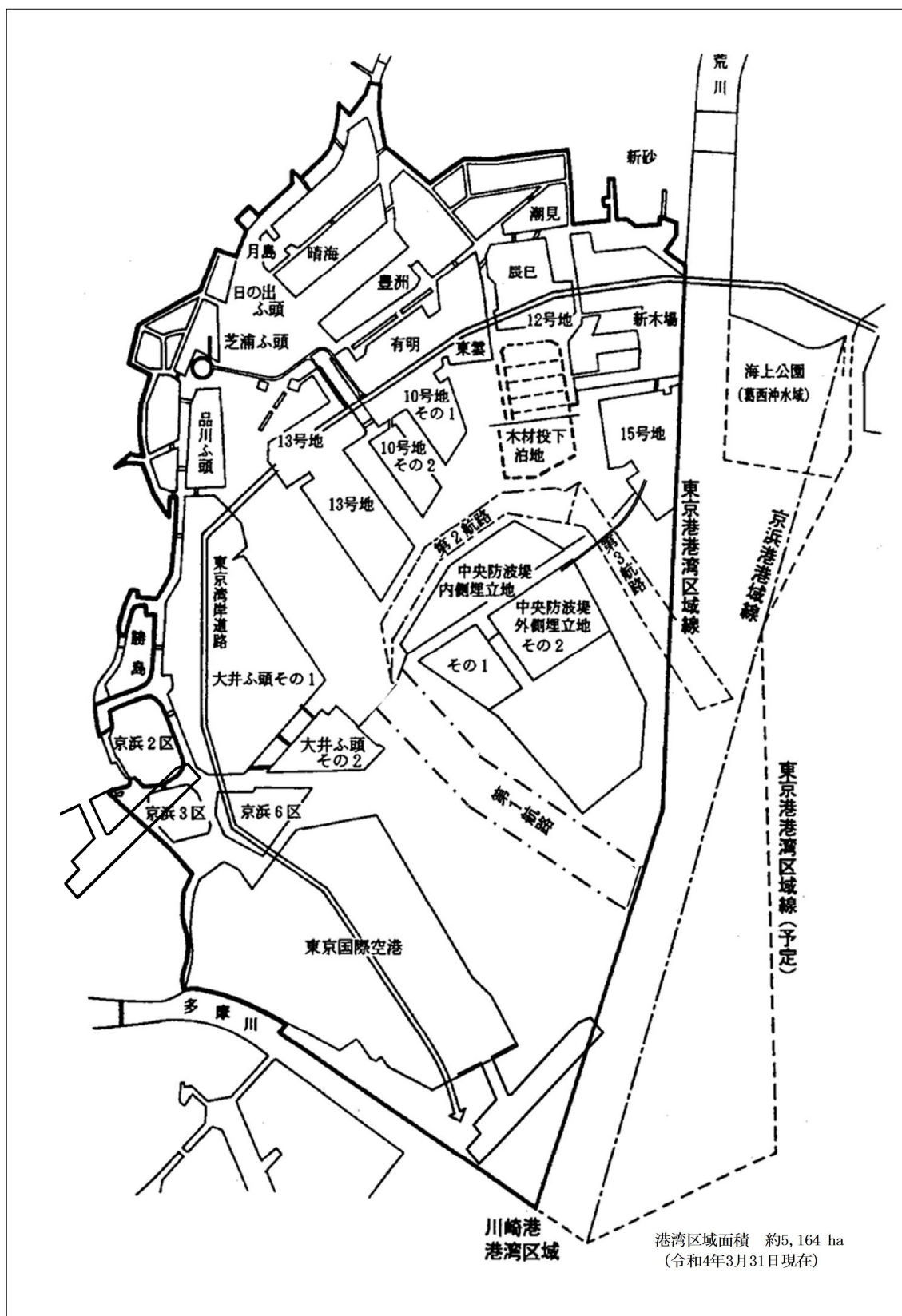
VIII その他

1. 港湾区域の範囲

港湾管理者である東京都が管理する港湾区域は、次のとおりである。

荒川右岸突端 [旧堀江三角点(北緯 35 度 38 分 30 秒 東経 139 度 52 分 20 秒)から 298 度 51 分 36 秒 3,118.47 メートルの地点]、同点より、183 度 58 分 45 秒 9,752 メートルの地点、多摩川口旧羽田燈標より 143 度 30 分 2,950 メートルの地点、多摩川口における行政区画境界線の終点及び多摩川左岸下流端を順次結んだ線、多摩川左岸下流端より左岸沿いに海老取川左岸上流端に至る線及び陸岸により囲まれた海面並びに海老取川、汐留川、築地川(2級)、月島川、佃川の河川水面及び隅田川永代橋、築地川(1級)明石橋、築地川東支流海幸橋、亀島川南高橋、越前堀栄橋、洲崎川延長九重橋各下流の河川水面。

(水域面積 約 5,164ha)



図VIII-1-1 港湾区域の範囲

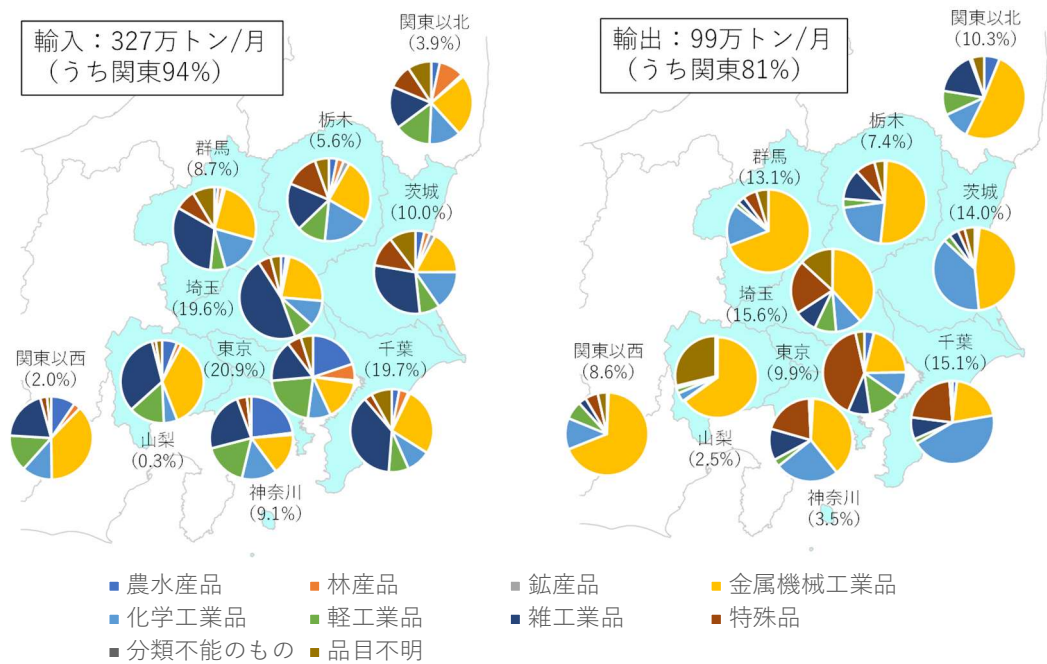
2. 港湾の周辺条件

2-1 経済的・社会的条件

2-1-1 背後圏

東京港における港湾取扱貨物量の半数近くを占めている外貨コンテナ貨物の約9割は関東地域発着の貨物である。

輸入コンテナ貨物はその9割以上が東京都を中心とした関東圏で消費されており、輸出コンテナ貨物についても8割以上が関東圏内で生産されている。



※ 図中%は、東京港輸出入貨物量に占める各県・地域生産・消費量の割合
 出典：「平成30年度全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(1か月値)(国土交通省)より東京都作成

図VIII-2-1 東京港コンテナ貨物の背後圏(平成30年)

2-1-2 背後圏の人口

(1) 人口

背後圏の人口は、平成 22 年～令和元年の 10 年間で 2%程度増加しており、全国的には減少傾向にある中、増加傾向を示している。特に東京港を擁する東京都の人口は、過去 10 年間で 6%程度増加しており、背後圏で最も増加傾向にある。

表Ⅷ-2-1 背後圏の人口の推移

都県名	平成22年 2010	平成23年 2011	平成24年 2012	平成25年 2013	平成26年 2014	平成27年 2015	平成28年 2016	平成29年 2017	平成30年 2018	令和元年 2019	変化率 R1/H22	年平均 伸び率 %
東京都	13,159	13,198	13,234	13,307	13,399	13,515	13,646	13,768	13,887	14,007	1.06	0.70%
埼玉県	7,195	7,209	7,216	7,228	7,247	7,267	7,288	7,307	7,325	7,342	1.02	0.22%
神奈川県	9,048	9,060	9,070	9,084	9,103	9,126	9,152	9,173	9,197	9,224	1.02	0.21%
千葉県	6,216	6,217	6,200	6,201	6,209	6,223	6,242	6,258	6,273	6,283	1.01	0.12%
小計	35,618	35,684	35,720	35,820	35,958	36,131	36,328	36,506	36,682	36,856	1.03	0.38%
茨城県	2,970	2,960	2,947	2,937	2,927	2,917	2,910	2,902	2,892	2,879	0.97	-0.35%
栃木県	2,008	2,000	1,992	1,986	1,980	1,974	1,969	1,962	1,953	1,943	0.97	-0.36%
群馬県	2,008	2,001	1,994	1,986	1,979	1,973	1,969	1,963	1,957	1,949	0.97	-0.33%
山梨県	863	857	852	847	841	835	831	826	821	815	0.94	-0.63%
小計	7,849	7,818	7,785	7,756	7,727	7,699	7,679	7,653	7,623	7,586	0.97	-0.38%
合計	43,467	43,502	43,505	43,576	43,685	43,830	44,007	44,159	44,305	44,442	1.02	0.25%
全国	128057	127,834	127,593	127,414	127,237	127,095	127,042	126,919	126,749	126,555	0.99	-0.13%

出典：「国勢調査」（総務省統計局）より東京都作成

(2) 就業人口

平成 22 年に約 2,030 万人であった背後圏の就業人口は、その後減少傾向で推移し、令和 2 年時点では、約 2,000 万人となっている。

産業別に見ると、平成 22 年以降、第一次産業は年平均約 1.4%、第二次産業は年平均約 0.6%の減少傾向が続いている。逆に第三次産業については、年平均 0.7%の増加傾向となっており就業人口は平成 22 年時点で 1,399 万人、令和 2 年時点で 1,494 万人である。

表Ⅷ-2-2 背後圏の産業別就業人口の推移

県名	平成22年(2010)				
	総数	第一次産業	第二次産業	第三次産業	分類不能
東京都	6,013	22	912	4,256	822
埼玉県	3,482	58	817	2,352	255
神奈川県	4,147	35	893	3,015	204
千葉県	2,899	83	557	2,075	185
小計	16,541	199	3,179	11,699	1,465
茨城県	1,420	83	401	863	73
栃木県	977	55	300	583	39
群馬県	965	52	298	586	30
山梨県	415	30	118	258	9
小計	3,777	219	1,117	2,289	151
合計	20,318	418	4,296	13,988	1,617
全国	59,611	2,381	1,168	39,646	3,460

県名	平成27年(2015)				
	総数	第一次産業	第二次産業	第三次産業	分類不能
東京都	5,859	23	898	4,226	712
埼玉県	3,485	55	804	2,367	258
神奈川県	4,122	34	867	2,970	250
千葉県	2,880	80	560	2,082	157
小計	16,345	193	3,129	11,646	1,377
茨城県	1,401	79	400	865	57
栃木県	964	53	296	579	36
群馬県	966	48	298	592	28
山梨県	409	29	114	257	9
小計	3,740	209	1,107	2,293	130
合計	20,085	402	4,237	13,939	1,507
全国	58,919	2,222	1,392	39,615	3,162

県名	令和2年(2020)				
	総数	第一次産業	第二次産業	第三次産業	分類不能
東京都	5,962	22	873	4,834	233
埼玉県	3,387	50	752	2,471	113
神奈川県	4,153	32	811	3,176	135
千葉県	2,862	69	527	2,167	99
小計	16,364	174	2,964	12,647	580
茨城県	1,363	69	380	872	41
栃木県	927	48	282	571	25
群馬県	950	42	288	593	26
山梨県	399	26	110	256	7
小計	3,638	186	1,060	2,292	100
合計	20,002	360	4,024	14,939	680
全国	57,643	1,963	13,259	40,679	1,742

出典：「国勢調査」（総務省統計局）より東京都作成

2-1-3 産業

(1) 背後圏の製造品出荷額等

背後圏の製造品出荷額等は、平成22年以降、80兆円前後で推移しており、令和元年には約84兆円となっている。

表Ⅷ-2-3 背後圏の製造品出荷額等の推移

都県名	(単位:百万円)									
	平成22年 2010	平成23年 2011	平成24年 2012	平成25年 2013	平成26年 2014	平成27年 2015	平成28年 2016	平成29年 2017	平成30年 2018	令和元年 2019
東京都	8,242,176	8,699,292	8,198,209	7,851,824	8,159,351	8,374,172	7,784,885	7,628,318	7,577,669	7,160,755
埼玉県	12,853,155	12,143,721	12,139,338	11,787,702	12,390,803	12,760,252	12,682,801	13,507,456	14,147,008	13,758,165
神奈川県	17,246,683	17,850,594	17,461,302	17,226,142	17,721,051	17,477,226	16,288,163	17,956,427	18,443,058	17,746,139
千葉県	12,380,529	11,886,718	12,388,483	13,003,297	13,874,330	12,668,824	11,401,976	12,126,270	13,143,167	12,518,316
小計	50,722,543	50,580,325	50,187,332	49,868,965	52,145,535	51,280,474	48,157,825	51,218,471	53,310,902	51,183,375
茨城県	10,845,754	10,536,767	11,097,744	10,901,331	11,408,497	12,037,605	11,208,758	12,279,488	13,036,042	12,581,236
栃木県	8,459,108	7,601,984	7,434,120	8,179,507	8,293,780	8,802,168	8,946,775	9,233,280	9,211,118	8,966,422
群馬県	7,526,827	7,383,256	7,452,663	7,722,701	8,363,510	9,050,380	8,699,262	9,029,035	9,136,037	8,981,948
山梨県	2,320,960	2,215,910	2,014,287	1,985,155	2,133,133	2,442,647	2,250,682	2,532,665	2,588,144	2,481,979
小計	29,152,649	27,737,917	27,998,814	28,788,694	30,198,920	32,332,800	31,105,477	33,074,468	33,971,341	33,011,585
合計	79,875,192	78,318,242	78,186,146	78,657,659	82,344,455	83,613,274	79,263,302	84,292,939	87,282,243	84,194,960
全国	289,107,683	284,968,753	288,727,639	292,092,130	305,139,989	313,128,563	302,035,590	319,166,725	331,809,377	322,533,418

出典：「工業統計」（経済産業省）より東京都作成

(2) 背後圏の小売業年間販売額

背後圏の小売業年間販売額は、平成19年時点では45兆円程度であったが、その後は減少傾向で推移し、平成24年には40兆円を割込んでいる。その後増加に転じ、令和2年時点では50兆円程度となっている。

表Ⅷ-2-4 背後圏の小売業年間販売額の推移

県名	(単位:百万円)			
	平成19年 2007	平成24年 2012	平成28年 2016	令和2年 2020
東京都	17,082,489	14,443,552	19,086,829	19,973,998
埼玉県	6,272,675	5,529,402	6,871,613	6,833,381
神奈川県	8,474,672	6,969,920	8,883,704	9,090,337
千葉県	5,696,433	4,778,886	6,010,050	6,182,618
小計	37,526,269	31,721,760	40,852,196	42,080,334
茨城県	2,905,110	2,450,294	3,056,437	2,973,287
栃木県	2,100,814	1,781,766	2,205,029	2,249,051
群馬県	2,097,550	1,799,049	2,152,032	2,151,652
山梨県	859,197	732,420	896,104	795,327
小計	7,962,671	6,763,529	8,309,602	8,169,317
合計	45,488,940	38,485,289	49,161,798	50,249,651
全国	132,844,087	110,489,863	138,015,622	139,001,184

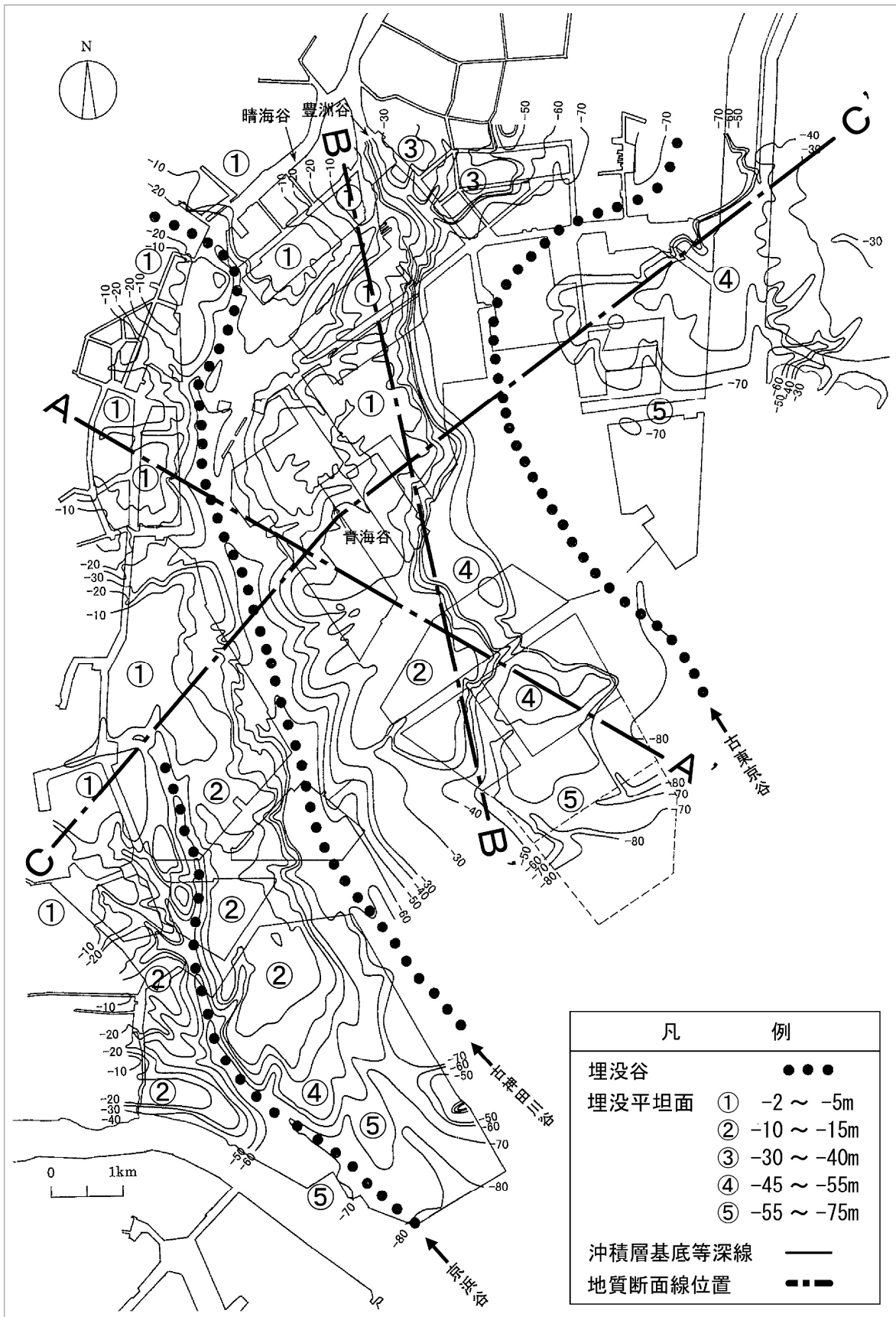
出典：「商業統計」（経済産業省）、「経済センサス」（総務省）、「経済構造実態調査」（総務省）より東京都作成

沖積層下には、最終氷河期前後に形成された埋没谷、最終氷期前に河川沿いに発達した段丘面や波浪浸食によって形成された波食台等の埋没平坦面が認められる（図Ⅷ-2-2 参照）。

埋没谷としては、荒川河口から第三航路付近に至る古東京谷（谷幅 2 km 前後、深さ -70~-80m）、浜離宮から第一航路付近に至る古神田川谷（谷幅 0.6km 前後、深さ -40~-60m 以深）、大井埠頭その 1 の南西部から東京国際空港西側に至る古多摩川水系の京浜谷等がある。

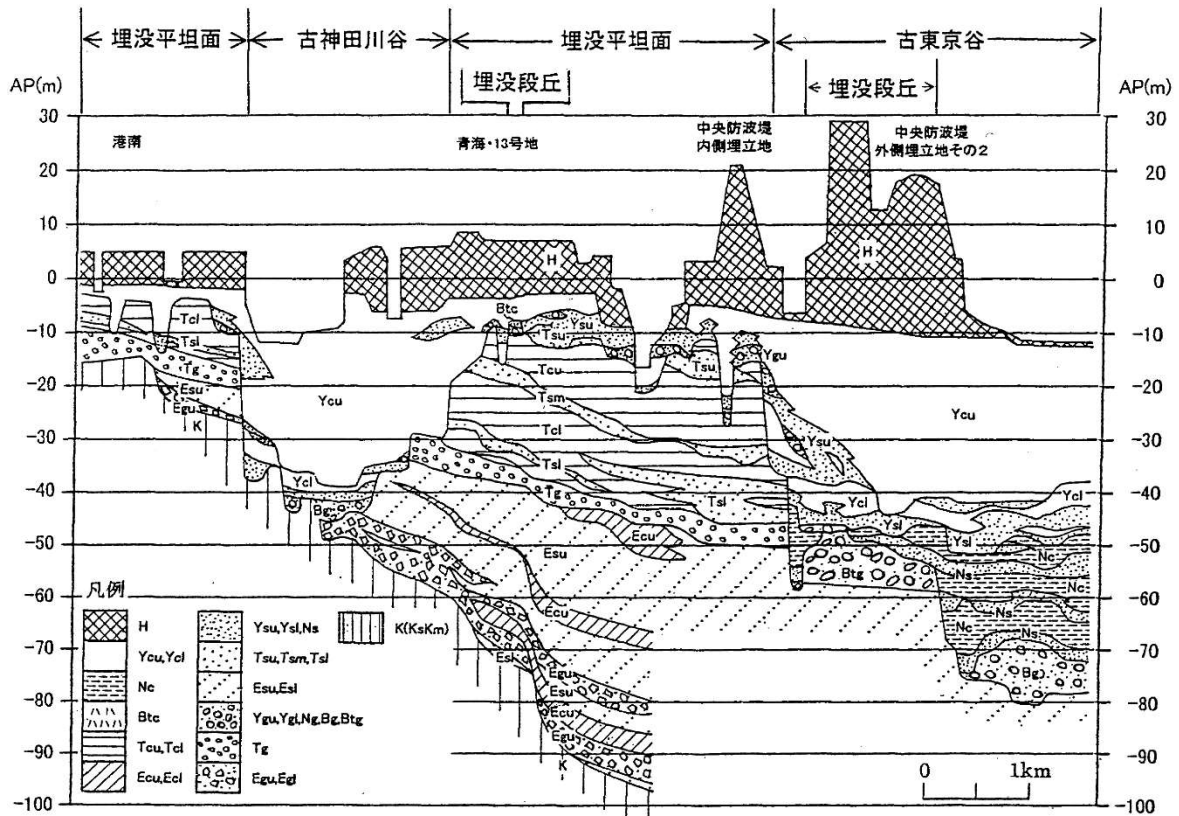
また、埋没平坦面は 5 面に細分されるが、段丘面は -10~-15m、-30~-40m、-45~-55m 付近に形成され、波食台等の浸食面は -2~-5 m、-10~-15m、-30~-40m、-45~-55m 付近に認められる。

なお、図Ⅷ-2-2 に記載した東京港中央部を北西-南東に横断する断面（A-A'）、南北に横断する断面（B-B'）及び南西-北東に横断する断面（C-C'）、それぞれの地質断面図は、図Ⅷ-2-3～図Ⅷ-2-5 に示すとおりである。



出典：「新版 東京港地盤図」（平成 13 年 6 月）（東京都港湾局）

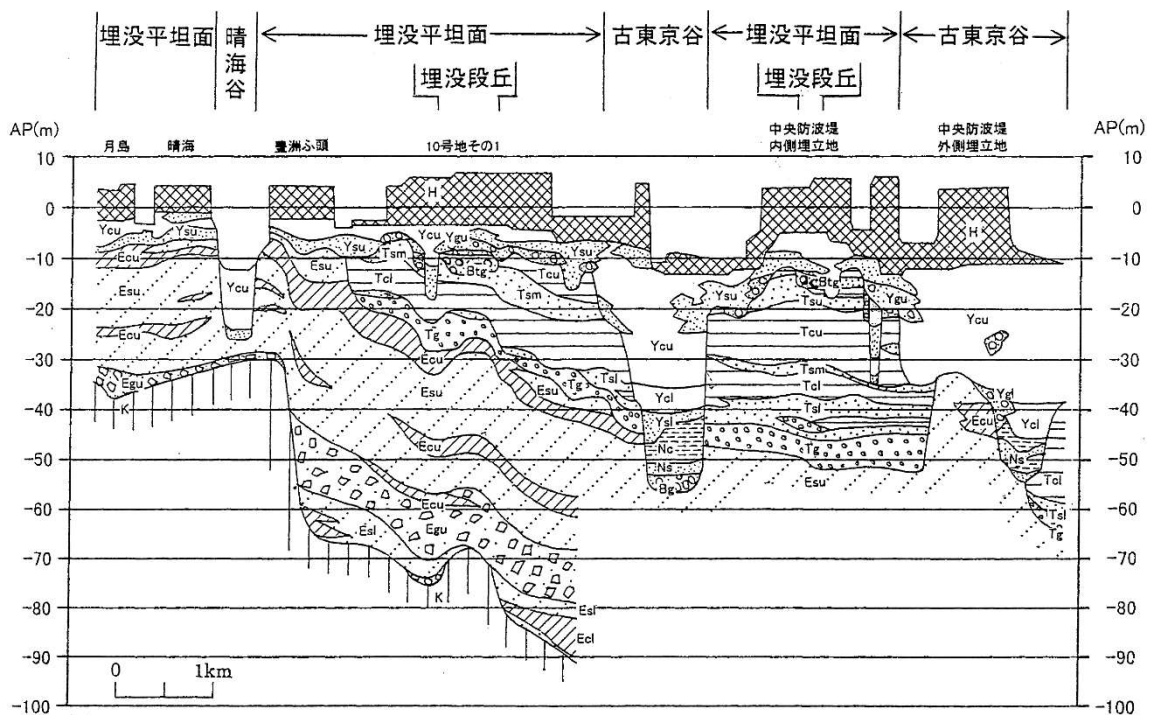
図 VIII-2-2 東京港の埋没地形



出典：「新版 東京港地盤図」(平成 13 年 6 月) (東京都港湾局)

図 VIII-2-3 東京港中央部を北西-南東に横断する模式断面図 (A-A' 断面)

(断面線は、図 VIII-2-2 に示す)



出典：「新版 東京港地盤図」(平成 13 年 6 月) (東京都港湾局)

図 VIII-2-4 東京港中央部を南北に横断する模式断面図 (B-B' 断面)

(断面線は図 VIII-2-2 に、図中の記号は図 VIII-2-3 に示す)

2-2-3 気象

気象庁東京管区気象台における観測結果の概要は、表Ⅷ-2-6 に示すとおりである。

(1) 気温

過去30年間（1991～2020年）の年平均気温は15.8℃である。

また、観測史上の最高気温は、2004年7月20日の39.5℃、最低気温は1876年1月13日の-9.2℃である。

(2) 降水量

過去30年間（1991～2020年）の年平均降水量は1,598.2mmで、60%弱が梅雨、台風時期の6月から10月に集中している。

また、観測史上の最大日降水量は、1958年9月26日に371.9mmが記録されている。

(3) 風況

過去30年間（1991～2020年）の年平均風速は2.9mであり、季節的な変動も大きくはない。なお、1938年9月1日には46.7mの最大瞬間風速が記録されている。

また、東京港付近における風向・風速は東京港波浪観測所で計測されている。その測定結果は表Ⅷ-2-7及び図Ⅷ-2-6に示すとおりである（2010～2021年）。

年間を通じてNNW～NNE、Sの風がそれぞれ39.9%、15.5%と卓越し、W系の風（WSW～WNW）の頻度は3.8%となっている。

表Ⅷ-2-6 東京における気象

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全年
平均気温 ℃	5.4	6.1	9.4	14.3	18.8	21.9	25.7	26.9	23.3	18.0	12.5	7.7	15.8
最高気温 ℃	9.8	10.9	14.2	19.4	23.6	26.1	29.9	31.3	27.5	22.0	16.7	12.0	20.3
最低気温 ℃	1.2	2.1	5.0	9.8	14.6	18.5	22.4	23.5	20.3	14.8	8.8	3.8	12.1
平均風速 m/s	2.7	3.0	3.1	3.2	3.1	2.8	3.2	2.9	2.7	2.6	2.5	2.6	2.9
日照時間 時間	192.6	170.4	175.3	178.8	179.6	124.2	151.4	174.2	126.7	129.4	149.8	174.4	1926.7
降水量 mm	59.7	56.5	116.0	133.7	139.7	167.8	156.2	154.7	224.9	234.8	96.3	57.9	1598.2

注1) 観測地点：東京気象台（緯度：北緯35度41.4分／経度：統計139度45.6分）

注2) 統計期間：1991～2020（30年）

出典：「気象統計情報」（気象庁）

表VIII-2-7 東京港波浪観測所における風向・風速階級別出現頻度表

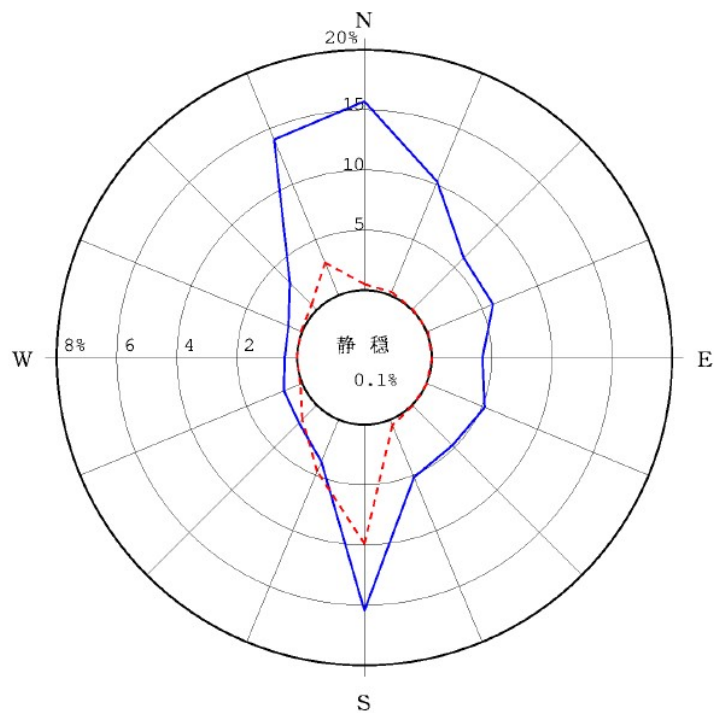
風速階級 (m/s)	観測回数																合計
	N	NNE	NE	ESE	E	SSE	S	SSW	S	WSW	W	WNW	NW	NNW	合計		
0.3~1.0	245 (0.3)	222 (0.2)	176 (0.2)	178 (0.2)	164 (0.2)	183 (0.2)	115 (0.1)	95 (0.1)	70 (0.1)	74 (0.1)	85 (0.1)	93 (0.1)	129 (0.1)	119 (0.1)	161 (0.2)	2285 (2.4)	
1.0~2.0	1207 (1.3)	1179 (1.2)	701 (0.8)	767 (0.8)	891 (0.9)	608 (0.6)	316 (0.3)	191 (0.2)	141 (0.1)	134 (0.1)	206 (0.2)	257 (0.3)	256 (0.3)	370 (0.4)	735 (0.8)	8753 (9.2)	
2.0~3.0	2545 (2.7)	2197 (2.3)	1086 (1.1)	1087 (1.1)	1277 (1.3)	1127 (1.2)	552 (0.6)	341 (0.4)	136 (0.1)	156 (0.2)	311 (0.3)	268 (0.3)	261 (0.3)	379 (0.4)	1182 (1.2)	13985 (14.7)	
3.0~4.0	3094 (3.3)	2162 (2.3)	1077 (1.1)	878 (0.9)	744 (0.8)	958 (1.0)	848 (0.9)	529 (0.6)	93 (0.1)	116 (0.1)	269 (0.3)	184 (0.2)	230 (0.2)	397 (0.4)	1538 (1.6)	14221 (15.0)	
4.0~5.0	2758 (2.9)	1693 (1.8)	918 (1.0)	813 (0.9)	582 (0.6)	612 (0.6)	731 (0.8)	914 (1.0)	156 (0.2)	123 (0.1)	192 (0.2)	77 (0.1)	105 (0.1)	330 (0.3)	1880 (1.8)	12641 (13.3)	
5.0~6.0	2112 (2.2)	1089 (1.1)	785 (0.8)	731 (0.8)	366 (0.4)	474 (0.5)	758 (0.8)	1383 (1.5)	153 (0.2)	118 (0.1)	162 (0.2)	35 (0.0)	48 (0.1)	237 (0.3)	1873 (1.8)	10566 (11.1)	
6.0~7.0	1319 (1.4)	638 (0.7)	532 (0.6)	615 (0.6)	186 (0.2)	348 (0.4)	208 (0.2)	1853 (1.9)	230 (0.2)	166 (0.2)	107 (0.1)	23 (0.0)	34 (0.0)	274 (0.3)	1324 (1.3)	8603 (9.1)	
7.0~8.0	834 (0.9)	316 (0.3)	315 (0.3)	323 (0.3)	66 (0.1)	182 (0.2)	80 (0.1)	1996 (2.1)	246 (0.2)	147 (0.2)	80 (0.1)	17 (0.0)	23 (0.0)	262 (0.3)	1498 (1.6)	8726 (9.1)	
8.0~9.0	409 (0.4)	139 (0.1)	127 (0.1)	178 (0.2)	24 (0.0)	44 (0.0)	37 (0.0)	1902 (2.0)	270 (0.3)	154 (0.2)	51 (0.1)	8 (0.0)	18 (0.0)	1251 (0.2)	1251 (1.3)	5022 (5.3)	
9.0~10.0	217 (0.2)	46 (0.0)	46 (0.0)	73 (0.1)	14 (0.0)	15 (0.0)	19 (0.0)	1685 (1.8)	316 (0.3)	157 (0.2)	37 (0.0)	5 (0.0)	14 (0.0)	150 (0.2)	978 (1.0)	85714 (91.2)	
10.0~11.0	107 (0.1)	21 (0.0)	21 (0.0)	25 (0.0)	5 (0.0)	4 (0.0)	13 (0.0)	1256 (1.3)	382 (0.4)	152 (0.2)	27 (0.0)	3 (0.0)	12 (0.0)	105 (0.1)	530 (0.6)	2735 (2.9)	
11.0~12.0	51 (0.1)	18 (0.0)	9 (0.0)	11 (0.0)	3 (0.0)	3 (0.0)	6 (0.0)	935 (1.0)	296 (0.3)	148 (0.2)	15 (0.0)		12 (0.0)	58 (0.1)	281 (0.3)	1893 (2.0)	
12.0~13.0	15 (0.0)	3 (0.0)	2 (0.0)	2 (0.0)	1 (0.0)	1 (0.0)	1 (0.0)	653 (0.7)	298 (0.3)	104 (0.1)	11 (0.0)	1 (0.0)	9 (0.0)	47 (0.0)	153 (0.2)	92675 (97.2)	
13.0~14.0	15 (0.0)	3 (0.0)	1 (0.0)	1 (0.0)	1 (0.0)	3 (0.0)	3 (0.0)	363 (0.4)	264 (0.3)	91 (0.1)	6 (0.0)		4 (0.0)	13 (0.0)	70 (0.1)	849 (0.9)	
14.0~15.0	2 (0.0)	1 (0.0)		2 (0.0)		2 (0.0)	9 (0.0)	235 (0.2)	202 (0.2)	57 (0.1)	3 (0.0)	2 (0.0)	2 (0.0)	8 (0.0)	47 (0.0)	570 (0.6)	
15.0~20.0	2 (0.0)		1 (0.0)	6 (0.0)	4 (0.0)	5 (0.0)	19 (0.0)	304 (0.3)	309 (0.3)	93 (0.1)	2 (0.0)	1 (0.0)		4 (0.0)	28 (0.0)	778 (0.8)	
20.0~30.0	1 (0.0)	1 (0.0)	1 (0.0)	1 (0.0)	1 (0.0)	7 (0.0)	19 (0.0)	18 (0.0)	18 (0.0)	2 (0.0)		1 (0.0)	1 (0.0)		1 (0.0)	52 (0.1)	
30.0m/s以上						1 (0.0)		2 (0.0)								4 (0.0)	
合計	14932 (15.7)	9728 (10.2)	5797 (6.1)	5692 (6.0)	4013 (4.2)	4977 (5.2)	4510 (4.7)	14699 (15.5)	3580 (3.8)	1992 (2.1)	1564 (1.6)	983 (1.0)	1178 (1.2)	3010 (3.2)	13340 (14.0)	94928 (99.9)	
累計	14932 (15.7)	24660 (25.9)	30457 (32.0)	36149 (38.0)	40162 (42.3)	45139 (47.5)	48649 (52.2)	63281 (67.4)	72861 (76.7)	74853 (78.7)	76417 (80.4)	77400 (81.4)	78578 (82.7)	81588 (85.8)	94928 (99.9)	94928 (99.9)	
風速が0.3m/s以上の風向別出現回数																128 (0.1)	
風速が0.3m/s未満の回数																94928 (100.0)	

地点：東京港波浪観測所

期間：平成22年(2010年)10月～令和3年(2021年)12月

注) 風速が0.3m/s以上の風向別出現頻度の分布を示す。
上段は出現回数、下段()内は出現率(%)を示す。

出典：「東京港波浪観測年報 令和3年版」(東京都港湾局)



平成22年(2010年)10月～令和3年(2021年)12月

観測場所：東京港波浪観測所 総測得回数：95,056回 (測得率 96.4%)

静穏は風速0.3m/s未満

----- は風速10.0m/sを越す強風の割合を示す(8%スケール)

出典：「東京港波浪観測年報 令和3年版」(東京都港湾局)

図VIII-2-6 東京港風配図

2-2-4 台風

東京都は、本州のほぼ中央部、太平洋に南面する東京湾の湾奥部に位置している。このため、台風が本州南岸、東京都の東南方面をかすめて通過する場合は、関東北西部の山岳部に豪雨をもたらし、利根川、荒川、多摩川等に洪水が発生するケースが多く、一方、東京都の西側に上陸した場合には、東京湾に高潮が発生し、江戸川から大田区に至る臨海部や低地では水害を受けることがある。

過去 10 年間に東京都に来襲した台風を表 VIII-2-8 に示す。

最近では、令和元年 9 月に関東地方に上陸した台風 15 号の影響により、強風等による人的被害や建物等の被害、鉄道の運休や航空機・船舶の欠航、広域の停電などの交通障害やライフラインへの影響があったほか、土砂災害、浸水害等、大きな影響をおよぼしている。

表 VIII-2-8 東京都に来襲した主な台風

年次	災害種別	気圧 hPa	最大風速 m/s	瞬間最大 m/s
平成25年10月 (2013)	26号台風	976	NNW 14.1	NW 26.8
平成25年10月 (2013)	27号台風	998	NNW 6.0	N 12.0
平成26年10月 (2014)	18号台風	935	SSW 29.5	SSW 42.6
平成27年7月 (2015)	11号台風	925	SSW 19.6	S 26.7
平成27年9月 (2015)	18号台風	985	SE 22.3	SE 30.9
平成28年8月 (2016)	9号台風	975	W 30.4	ENE 50.9
平成29年10月 (2017)	21号台風	925	SSW 35.5	SSW 47.3
平成30年7月 (2018)	12号台風	965	NE 30.5	NE 39.0
平成30年9月 (2018)	21号台風	915	SSE 21.4	S 31.5
平成30年9月 (2018)	24号台風	915	SSW 33.3	SSE 45.6
令和元年9月 (2019)	15号台風	955	ESE 43.4	ESE 58.1
令和元年10月 (2019)	19号台風	915	不明 34.8	不明 44.8
令和2年10月 (2020)	14号台風	965	NE 23.6	NE 30.9
令和3年9月 (2021)	16号台風	920	不明 29.3	不明 41.7

出典：東京管区気象台 HP（気象庁）より東京都作成

2-2-5 波浪

東京港の波浪は、2010年10月以降は東京港波浪観測所で観測されている。東京港波浪観測所における観測結果の概要は、表Ⅷ-2-9に示すとおりである。

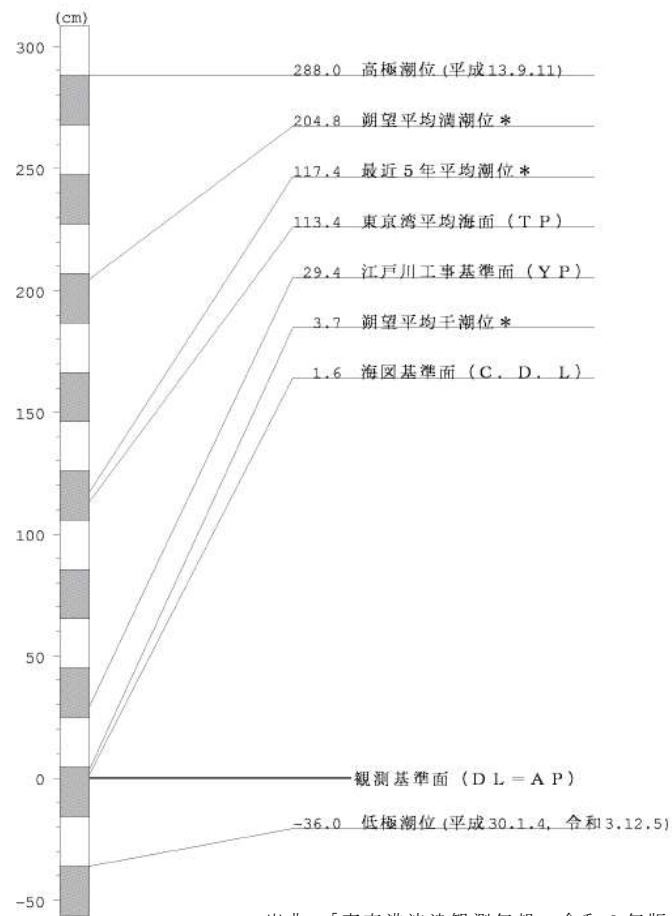
表Ⅷ-2-9 年次別・有義波高階級別 波浪出現回数及び出現率 (H22.10～R3.12)

波高(cm)	平22年	平23年	平24年	平25年	平26年	平27年	平28年	平29年	平30年	令元年	令2年	令3年	累年
25cm未満	1537 (72.3)	5104 (59.4)	5563 (63.9)	5457 (62.4)	5883 (67.2)	5894 (68.2)	6108 (70.9)	5992 (68.4)	4031 (61.2)	6106 (69.9)	6067 (69.9)	6002 (68.6)	63744 (66.6)
25～50	526 (24.7)	3012 (35.0)	2716 (31.2)	2778 (31.7)	2488 (28.4)	2429 (28.1)	2209 (25.7)	2450 (28.0)	2060 (31.3)	2344 (26.8)	2258 (26.0)	2386 (27.3)	27656 (28.9)
50～75	60 (2.8)	420 (4.9)	363 (4.2)	453 (5.2)	326 (3.7)	285 (3.3)	237 (2.8)	256 (2.9)	402 (6.1)	234 (2.7)	315 (3.6)	303 (3.5)	3654 (3.8)
75～100	4 (0.2)	51 (0.6)	37 (0.4)	50 (0.6)	46 (0.5)	26 (0.3)	36 (0.4)	44 (0.5)	82 (1.2)	39 (0.4)	32 (0.4)	45 (0.5)	492 (0.5)
100～125		5 (0.1)	10 (0.1)	3 (0.0)	7 (0.1)	5 (0.1)	14 (0.2)	9 (0.1)	9 (0.1)	6 (0.1)	2 (0.0)	15 (0.2)	85 (0.1)
125～150		2 (0.0)	5 (0.1)	7 (0.1)	7 (0.1)	1 (0.0)	5 (0.1)	3 (0.0)		3 (0.0)		1 (0.0)	34 (0.0)
150～175		1 (0.0)	5 (0.1)	4 (0.0)		1 (0.0)		2 (0.0)		2 (0.0)			15 (0.0)
175～200		2 (0.0)	2 (0.0)							2 (0.0)			6 (0.0)
200～225		1 (0.0)								1 (0.0)			2 (0.0)
225～250										3 (0.0)			3 (0.0)
250～275													0 (0.0)
275～300													0 (0.0)
300cm以上										1 (0.0)			1 (0.0)
合計	2127	8598	8701	8752	8757	8641	8609	8756	6584	8741	8674	8752	95692
規定数	2208	8760	8784	8760	8760	8760	8784	8760	8760	8760	8784	8760	98640
測得率	96.3	98.2	99.1	99.9	100.0	98.6	98.0	100.0	75.2	99.8	98.7	99.9	97.0

出典：「東京港波浪観測年報 令和3年版」(東京都港湾局)

2-2-6 潮位

東京港波浪観測所における潮位実況図は、図Ⅷ-2-7 に示すとおりである。



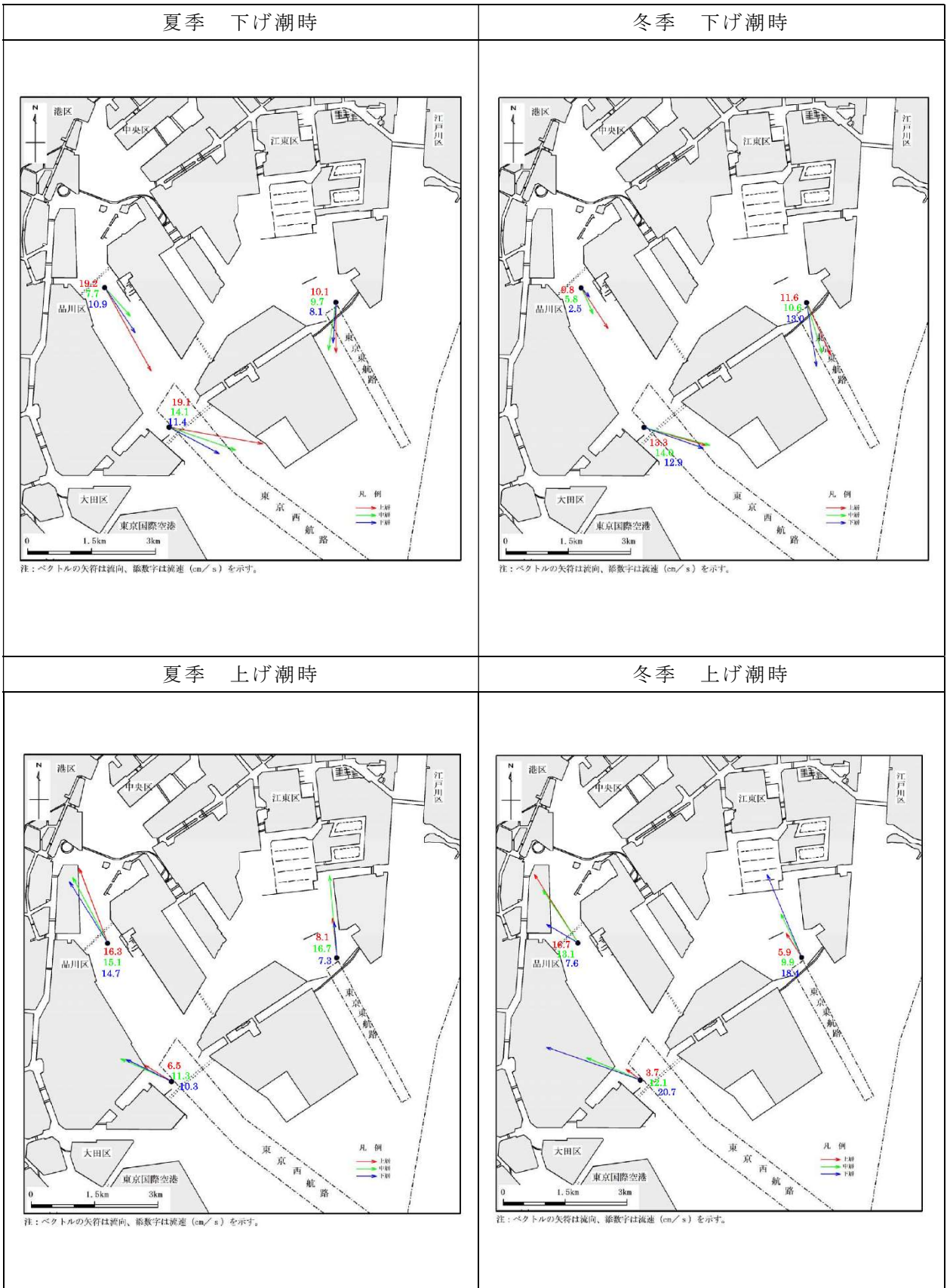
出典：「東京港波浪観測年報 令和3年版」(東京都港湾局)

図Ⅷ-2-7 潮位図

2-2-7 潮流

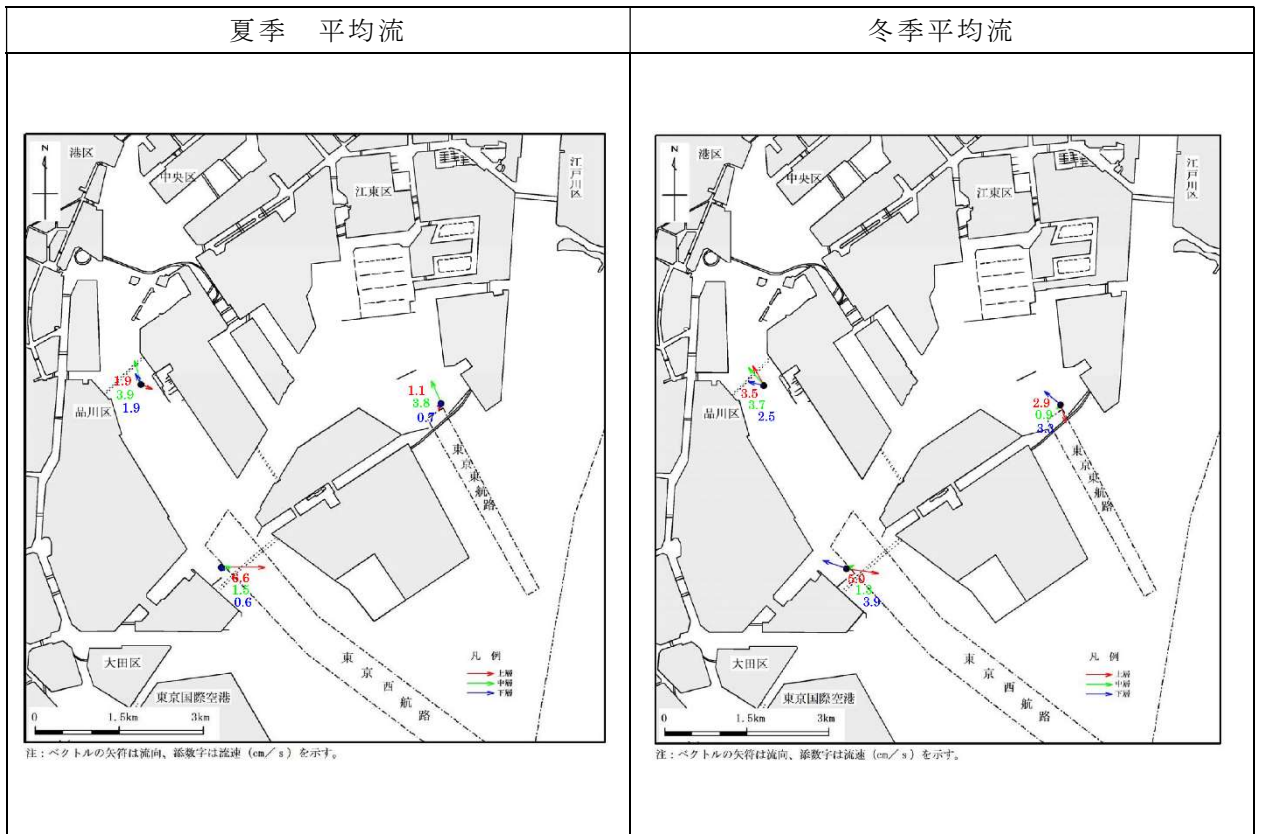
東京港における潮流については、2019年8月8～8月23日、2020年2月1日～2月16日に連続観測を実施している。

観測結果に基づく東京港の平均的な流況は、図Ⅷ-2-8～図Ⅷ-2-9 に示すとおりである。



出典：「令和4年度東京港環境影響予測調査委託」（東京都港湾局）

図Ⅷ-2-8 平均大潮期 潮流分布



出典：「令和4年度東京港環境影響予測調査委託」（東京都港湾局）

図VIII-2-9 調査期間平均 潮流分布

3. 港湾の沿革

年号	西暦	記事
長祿元年	1457年	太田道灌が江戸城を築城し、江戸湊繁栄
慶長17年	1612年	徳川幕府江戸湊の改築に着手
安政元年	1854年	第一、第二、第三、第五、第六台場及び品川獵師町地砲台完成
明治元年	1868年	東京遷都、東京府設置
明治13年	1880年	東京府知事はじめて東京港築港論を提案 市区取調委員局を設け築港調査を実施
明治20年	1887年	東京湾浚渫(みおさらい)工事開始500トン以下の小型船舶が入港可能となる
明治31年	1898年	自治制がしかかれ東京市役所開庁(10月)
明治39年	1906年	第1期隅田川口改良工事を明治44年まで実施、400～500トン級小型船舶が航行できるように航路及び泊地をしゅんせつし、その土で埋立地を造成
明治40年	1907年	第二種重要港湾に指定される
明治44年	1911年	第2期隅田川口改良工事を大正5年まで実施し、1,000トン級船舶が航行できるように航路及び泊地をしゅんせつし、その土で埋立地を造成
大正11年	1922年	第3期隅田川口改良工事を昭和10年まで実施し、3,000トン級船舶を対象(関東大震災後5,000トン級に変更)に岸壁、泊地の造成工事を行う
大正12年	1923年	関東大震災により陸上交通機能が麻ひ、東京港の重要性が認識される
大正13年	1924年	芝浦水陸連絡施設事業(関東大震災応急工事)を起工し、大正14年、日の出棧橋が完成、同15年使用開始
昭和3年	1928年	芝浦臨港鉄道敷設工事を昭和5年まで実施
昭和6年	1931年	東京港修築工事を昭和20年まで実施
昭和7年	1932年	芝浦岸壁竣工
昭和9年	1934年	竹芝棧橋竣工
昭和15年	1940年	東京港拡充工事を昭和18年まで実施
昭和16年	1941年	5月20日開港(京浜港として当時の満州国、中華民国、関東州のみを対象とする制限付開港)
昭和18年	1943年	東京都制公布府・市合併、東京都発足
昭和20年	1945年	終戦とともに、主要港湾施設(芝浦岸壁、日の出・竹芝棧橋及び上屋等)は、ほとんど駐留軍により接収、昭和28年から順次返還、昭和34年には東京港における接収は全面的に解除
昭和21年	1946年	東京港応急整備工事の実施、豊洲石炭ふ頭工事等が行われる
昭和22年	1947年	東京港修築5年計画立案
昭和23年	1948年	港則法、港域法の施行により京浜港域が決定、また、東京港修築5年計画は港湾復興計画として決定(昭和24年度から昭和28年度まで実施)
昭和25年	1950年	港湾法の制定(5月) 豊洲石炭ふ頭の一部完成、操業開始(11月)
昭和26年	1951年	港湾法に基づき、京浜港として重要港湾に指定(1月) 同じく特定重要港湾に指定(9月) 東京都が東京港の港湾管理者となると同時に、東京港の港湾区域が認可(11月)
昭和28年	1953年	深川線・深川石炭ふ頭構内線の専用線開通(臨港鉄道)(7月)
昭和29年	1954年	東京港修築第二次5年計画立案実施(昭和30年度で工事打切) 東京都港湾設備条例施行(4月)
昭和30年	1955年	晴海ふ頭の一部供用開始(3月)
昭和31年	1956年	東京港港湾計画(10年計画)を決定、昭和31年度から昭和35年度まで実施
昭和32年	1957年	鉄鋼ふ頭の建設を決定、昭和34年に業務開始 晴海線臨港鉄道開通(専用線)(12月)
昭和36年	1961年	東京港改訂港湾計画(10年計画)を決定、昭和36年度から昭和40年度まで実施 日の出・芝浦線臨港鉄道開通(専用線)、芝浦線(4月)、日の出線(昭和40年5月)
昭和37年	1962年	東京都営空港条例施行(4月)

年号	西暦	記事
昭和38年	1963年	月島ふ頭(漁業基地の物揚場、ドルフィン)供用開始(4月)
		晴海ふ頭(貨客船棧橋)供用開始(6月)
		品川ふ頭(内貿岸壁)供用開始(9月)
昭和39年	1964年	東京都東京ヘリポート供用開始(6月)
昭和40年	1965年	東京港の港湾区域の変更(11月)
昭和41年	1966年	東京港第二次改訂港湾計画(目標年次昭和50年)決定
		品川ふ頭(外貿岸壁・棧橋)供用開始
昭和42年	1967年	品川ふ頭(外貿棧橋-コンテナ)供用開始
		北米西岸定期航路の第一船、コンテナ船「ハワイアン・プランター号」品川ふ頭に入港(9月)
		京浜外貿埠頭公団設立(10月)
昭和43年	1968年	13号地岸壁供用開始(7月)
		10号地西岸壁供用開始(9月)
昭和46年	1971年	10号地東岸壁の一部供用開始(7月)
		大井コンテナふ頭の一部供用開始(11月)
		欧州定期航路の第一船、コンテナ船「鎌倉丸」が大井ふ頭に入港(12月)
昭和47年	1972年	(財)東京港フェリー埠頭公社設立(1月)
		東京-釧路間、東京-苫小牧間にフェリー定期航路開設(4月)
		日本-太平洋運賃同盟(TPFC)及び日本-ウエストカナダ運賃同盟(JWCFC)が東京港をベースポートに指定(6月)
		東京ヘリポートが14号地に移転、供用開始(6月)
		北欧定期コンテナ航路大井ふ頭に開設(6月)
		北米東岸定期航路の第一船、コンテナ船「東米丸」が大井ふ頭に入港(8月)
		日本-大西洋運賃同盟(JAAGFC)が東京港をベースポートに指定(8月)
		10号地東岸壁7バース供用開始(8月)
		12号地木材専用ドルフィンの一部供用開始(9月)
		日本-イーストカナダ運賃同盟(JECFC)が東京港をベースポートに指定(12月)
		地中海定期航路の第一船、コンテナ船「メダリアナ号」が大井ふ頭に入港(12月)
		ナホカ定期航路コンテナ船就航(12月)
昭和48年	1973年	東京-高知間にカーフェリー定期航路開設(3月)
		13号地ふ頭一般外貿貨物定期船ふ頭一部供用開始(3月)
		台湾定期航路コンテナ船就航(4月)
		油とゴミを同時に収集する日本最初の新鋭清掃船「第五清海丸」が就航(4月)
		韓国定期航路コンテナ船就航(8月)
		ホンコン定期航路コンテナ船就航(11月)
		東京-小倉間にカーフェリー定期航路開設(12月)
昭和49年	1974年	東京東防波堤燈台点灯(3月)
		10号地カーフェリー専用バース一部供用開始(5月)
		東京-徳島間にカーフェリー定期航路開設(5月)
		一般外貿貨物定期船ふ頭供用開始(7月)
		大井水産物ふ頭棧橋、15号地木材ふ頭岸壁並びに15号地木材用荷役設備の一部供用開始(10月)
		東京港外貿定期船誘致使節団派遣(10月)

年号	西暦	記事
昭和50年	1975年	東京中央防波堤西燈台点灯(3月)
		大井コンテナふ頭全バース供用開始(10月)
		貨物専用フェリーが東京-北海道間に就航(10月)
		東京都海上公園条例施行(12月)
昭和51年	1976年	東京港第三次改訂港湾計画(目標年次昭和55年)を決定(3月)
		大井水産物専門ふ頭1号上屋供用開始(5月)
		小笠原父島・母島間に定期航路就航(5月)
		東京中央防波堤東燈台点灯(10月)
		ニュージーランド定期航路の第一船、コンテナ船「ゴットウイト号」が大井ふ頭に入港(10月)
昭和52年	1977年	東京都入港料条例施行(1月)
		大井水産物専門ふ頭2号上屋供用開始(4月)
		10号地カーフェリー専用バース供用開始(4月)
昭和53年	1978年	大井水産物専門ふ頭3号上屋供用開始(5月)
昭和54年	1979年	東京-博多間にコンテナ船定期航路開設(10月)
		東京港における年間取扱貨物量が開港以来初めて6千万トンに達する(1月～12月)
昭和55年	1980年	東京港とニューヨーク・ニュージャージー港の姉妹港提携がニューヨーク市において調印(5月)
		(財)東京港サービス公社設立(12月)
昭和56年	1981年	東京西防波堤燈台点灯(3月)
		東京港と天津港との友好港提携が天津市において調印(6月)
		東京港第四次改訂港湾計画(目標年次昭和65年)を決定(10月)
		(財)東京港フェリー埠頭公社改組、(財)東京港埠頭公社設立(12月)
昭和57年	1982年	京浜外貿埠頭公団解散、(財)東京港埠頭公社が業務継承(3月)
昭和58年	1983年	視察船「新東京丸」(197トン)就航(5月)
		大井海貨上屋1号棟供用開始(6月)
		東京港大井サービスセンター供用開始(12月)
		東京木材投下泊地防波堤西燈台点灯(12月)
昭和59年	1984年	世界一周航路(コンテナ定期航路)開設(7月)
		芝浦、竹芝ふ頭再開発事業着手(芝浦10月、竹芝11月)
		東京-四国(松山)-和歌山間にコンテナ定期航路開設(10月)
昭和60年	1985年	日の出・芝浦線(臨港鉄道)供用廃止(3月)
		豪華客船「オイローバ」晴海ふ頭に初入港(4月)
		大井海貨上屋2号棟供用開始(4月)
		青海コンテナふ頭一部供用開始(11月)
昭和61年	1986年	深川線一部、深川石炭ふ頭構内線全線(臨港鉄道)供用廃止(1月)
		豪華客船「ロイヤル・バイキングスター」晴海ふ頭に初入港(9月)
		芝浦、竹芝ふ頭一部供用開始(ふ頭再開発事業)(11月)
昭和62年	1987年	東京港連絡橋着工(1月)
		大井海貨上屋3号棟供用開始(4月)
		有明コロシアム供用開始(4月)
		豪華客船「ゴールデン・オデッセイ」晴海ふ頭に初入港(6月)
		青海流通センター供用開始(10月)
		東京港とロサンゼルス港の姉妹港提携が東京で調印(11月)

年号	西暦	記事
昭和63年	1988年	東京港連絡橋の景観検討委員会報告「東京港連絡橋の景観について」(3月)
		大井海貨上屋4号棟供用開始(4月)
		(財)東京港埠頭公社と(財)東京港サービス公社の合併(4月)
		東京港中国雑貨輸出入センター開始(品川ふ頭)(5月)
		東京港第五次改訂港湾計画(目標年次平成7年)策定(5月)
平成元年	1989年	深川線・晴海線(臨港鉄道)全線廃止(2月)
		若洲建材ふ頭供用開始(4月)
		東京港・ロッテルダム港姉妹港提携(4月)
		芝浦内貿1号上屋供用開始(6月)
		豪華客船「クイーンエリザベスⅡ」晴海ふ頭に初入港(12月)
平成2年	1990年	東京港・ニューヨーク/ニュージャージー港姉妹港提携10周年記念「共同宣言」調印(6月)
		東京ヘリポート拡張、全面供用開始(7月)
		竹芝棧橋全面供用開始(8月)
平成3年	1991年	東京港開港50周年記念式典(5月)
		晴海客船ターミナル供用開始(5月)
		東京港・天津港友好港提携10周年(7月)
		芝浦内貿2号上屋供用開始(8月)
		竹芝客船ターミナル供用開始(12月)
平成4年	1992年	東京夢の島マリーナ一部供用開始(3月)
		竹芝ふ頭通船ターミナル、東京港芝浦サービスセンター供用開始(7月)
		青海コンテナふ頭第一バース公共化(11月)
平成5年	1993年	東京夢の島マリーナ全面供用開始(5月)
		大井ふ頭青果上屋1号棟供用開始(6月)
		大井食品ふ頭第二バース供用開始(6月)
		レインボーブリッジ(東京港連絡橋)供用開始(8月)
		青海コンテナふ頭第二バース供用開始(8月)
平成6年	1994年	南米定期航路の第一船「デイトレブローリツェン」青海コンテナふ頭に入港(2月)
		10号ふ頭自動車上屋供用開始(5月)
		青海コンテナふ頭第三バース共用開始(5月)
		港湾審議会「東京港の長期構想及び東京港第六次改訂港湾計画の基本方針」答申(7月)
		「東京港中国会」設立(10月)
		東京港で初の6万トン級貨物船「アルテア(60,117総トン)大井コンテナふ頭に入港(12月)
平成7年	1995年	「阪神・淡路大震災」に港湾局現地調査団派遣(1月)
		城南島に建設発生土の受入基地(暫定)完成(2月)
		東京港、ニューヨーク/ニュージャージー港姉妹港提携15周年(6月)
		竹芝客船ターミナル(南ゾーン)供用開始(9月)
		大井海貨上屋(第5号)供用開始(9月)
		東京臨海新交通臨海線・ゆりかもめ(新橋～有明)開通(11月)
		芝浦内貿3号上屋供用開始(12月)
平成8年	1996年	海上輸送システム運航開始(4月)
		青海コンテナふ頭第四バース供用開始(5月)
平成9年	1997年	東京港フェリー新ターミナルビル供用開始(2月)
		「東京港第6次改定港湾計画」策定(4月告示)
		「東京港振興促進協議会」発足(7月)

年号	西暦	記事
平成10年	1998年	大井コンテナふ頭新第七バース供用開始(10月)
		「東京港振興促進協議会」が全体のまとめ(9月)
平成11年	1999年	大井食品上屋第2号棟供用開始(2月)
		大井コンテナふ頭新第三バース供用開始(4月)
		東京港振興促進協議会が「アクションプラン」を決定(4月)
		東京港「港湾EDI」運用開始〔電子データによる申請可能化〕(10月)
		大井コンテナふ頭新第二バース全面供用開始(11月)
平成12年	2000年	中央防波堤内側ばら物ふ頭供用開始(5月)
		東京港・ニューヨーク/ニュージャージー港姉妹港提携20周年記念「共同宣言」調印(6月)
		大井コンテナふ頭新第六バース供用開始(9月)
平成13年	2001年	東京港開港60周年(5月)
		大井コンテナふ頭新第四バース供用開始(10月)
		青海コンテナふ頭第0バース供用開始(12月)
平成14年	2002年	東京港・天津港友好港提携20周年記念「交流事業覚書」調印(1月)
平成15年	2003年	大井コンテナふ頭新第五バース供用開始(3月)
		東京港フェリーふ頭公共化(10月)
平成16年	2004年	大井コンテナふ頭新第一バース供用開始(1月)〔大井コンテナふ頭新7バース全面供用開始〕
		東京港振興促進協議会「新アクションプラン」策定(3月)
		東京都港湾管理条例施行(東京都港湾設備条例の全部改正)(4月)
		スーパー中樞港湾の指定(京浜港:東京港・横浜港)(7月)
平成17年	2005年	指定特定重要港湾の指定(京浜港)(7月)
平成18年	2006年	「東京港第7次改定港湾計画」策定(3月告示)
		ゆりかもめ豊洲延伸区間(有明～豊洲)開業(3月)
		指定管理者制度導入(船舶給水施設、客船ターミナル施設、海上公園)(4月)
		「財団法人東京港埠頭公社の民営化」の発表(5月)
平成19年	2007年	東京夢の島マリーナ借受者募集要項公表(7月)
		東京夢の島マリーナ借受者決定(12月)
平成20年	2008年	「東京港、川崎港、横浜港の広域連携強化に係る基本合意書」締結(3月)
		東京港埠頭株式会社 業務開始(4月)
		港湾審議会「東京港の今後の港湾経営戦略」答申(7月)
		東京港・川崎港・横浜港が初合同セミナー「京浜港利用促進セミナー」を開催(9月)
		京浜港広域連携推進会議設置(11月)
		はしけ輸送の拡大による環境対策(はしけ入港料の全額免除)(11月)
平成21年	2009年	東京港埠頭(株)等を株式会社東京臨海ホールディングスに経営統合 グループ5社体制発足(1月)
		東京港振興促進協議会「第3次アクションプラン」策定(2月)
		東京都・川崎市・横浜市3首長による初のトップセールス(2月)
		東京港埠頭(株)による外貿コンテナふ頭の一元管理がスタート(4月)
		京浜港へのコンテナ船入港料の一元化(4月)
		東京港・ロッテルダム港姉妹提携20周年記念「共同声明」、「共同覚書」調印(5月)
		京浜三港と八戸港の連携に関する協定を締結(6月)
		「京浜港連携協議会(法定協議会)」、「京浜港事業提携委員会」設置(12月)

年号	西暦	記事
平成22年	2010年	東京都・川崎市・横浜市「京浜港共同ビジョン」策定(2月)
		品川内貿ふ頭上屋Ⅰ期供用開始(4月)
		国際コンテナ戦略港湾の指定(京浜港:東京港、川崎港、横浜港)(8月)
		東京ゲートブリッジの名称決定(11月)
平成23年	2011年	東京港開港70周年記念事業を展開
		「東北地方太平洋沖地震」が発生(3月)し、被災地支援事業等を実施
		港湾法改正に伴う港格見直しにより、京浜港が「国際戦略港湾」に規定(4月)
		「京浜港の総合的な計画」を策定(9月)
		品川内貿ふ頭上屋全面供用開始(11月)
平成24年	2012年	東京ゲートブリッジを含む臨港道路供用開始(2月)
		「東京クルーズセミナー」を初開催(3月)
		大井ふ頭その1・その2間埋立事業の免許取得(5月)
平成25年	2013年	2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の東京開催が決定(9月)
		レインボーブリッジの外側の臨海副都心に大型クルーズ客船対応の新客船埠頭を港湾計画に位置づけ(11月)
平成26年	2014年	「東京クルーズビジョン」を策定(1月)
		東京港第8次改訂港湾計画を策定(11月)
平成27年	2015年	東京港コンテナふ頭周辺を「放置等禁止区域」に、台切りシャシーを「放置等禁止物件」に指定(1月)
		外航船の国際的な環境対策プログラムであるESI(Environmental Ship Index)に参加(3月)
平成28年	2016年	「マリナー・オブ・ザ・シーズ」(138,279総トン・当時)が、大井水産物ふ頭へ初入港(4月)
		東京港や臨海副都心の多様な魅力を伝える都民向けセミナーを開催(12月)
平成29年	2017年	東京港や臨海副都心の歴史、現在の姿、未来を紹介する広報展示室をオープン(4月)
		「東京港ホームポート認定」を開始(11月)
平成30年	2018年	過去最大規模の「MSC PERLE」(141,754総トン、13,102TEU)が入港(7月)
令和元年	2019年	小型船用の新たな栈橋の整備や人道橋を改修。また新たな小型船ターミナル「Hi-NODE(ハイノード)」が、開業(8月)
		バルセロナ港と東京港の友好関係を深めるため、協定書を締結(11月)
令和2年	2020年	港の機能強化、混雑解消を目指すため整備された中央防波堤外側ふ頭Y2ターミナルが供用開始(3月)
		新たな南北軸となる「臨海道路南北線及び接続道路」(「東京港海の森トンネル」、「海の森大橋」)が開通(6月)
		臨海副都心の新たなランドマーク「東京国際クルーズターミナル」が開業(9月)
令和3年	2021年	東京港開港80周年(5月)
		東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催(7月)

4. 港湾施設の現況

4-1 水域施設

水域施設（航路）

名 称	幅員 (m)	水深(m)	位 置
第一航路	600~700	-15.0~-16.0	中央防波堤西側
第二航路	300	-12.0	中央防波堤北側 第1と第3を結ぶ
第三航路	300~550	-12.0	中央防波堤東側

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

4-2 外郭施設

防波堤・波除堤

名 称		延長(m)	名 称		延長 (m)
防 波 堤		5,386.44	波 除 堤		3,013.59
防	中 央 防 波 堤	3,690.00	12号地貯木場波除堤	2,615.40	
	東 防 波 堤	615.00	城南島小型油槽船だまり波除堤	100.00	
	西 防 波 堤	284.50	芝浦小型船だまり波除堤	171.20	
	12号地木材投下泊地防波堤	430.00	13号地小型船だまり波除堤	126.99	
	13号地小型船だまり防波堤	106.94	合 計		8,400.03
	13号地防波堤	260.00			

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

4-3 係留施設

係留施設（公共）

名称	バース名	延長(m)	水深(m)	対象船型(D/W)	船席数	備考
ブ (係船浮標)	No.1, 2, 3	3基	-7.5	9,000~12,000	2	12号地木材投下泊地
ドルフィン (係船くい)	M1~M5 M10, M11	14基	-10.0	15,000	7	12号地木材投下泊地
芝浦ふ頭	計	1,250.84			7	
芝浦岸壁	B~G	780.00	-7.5	5,000	6	
"	G'	165.00	-5.5	2,000	1	
芝浦物揚場	S2, S3	161.27	-2.7	300	-	東海汽船
芝浦1丁目物揚場		135.57	-2.7	200	-	
芝浦通船棧橋		9.00	-3.0	50	-	通船発着所
日の出ふ頭	計	739.20			6	
日の出棧橋	H~M	564.00	-6.7	3,000	6	
日の出小型船発着所		175.20	-4.0	-	-	
竹芝ふ頭	計	505.80			3	
竹芝ふ頭棧橋	N~P	465.00	-7.5	5,000	3	伊豆、小笠原定航
竹芝小型船発着所		40.80	-4.0	-	-	
品川ふ頭	計 (ドルフィン) (1基)	1,644.52			9	
品川岸壁・棧橋	SC~SE(エナ)	554.60	-10.0	15,000	3	
"	(ドルフィン) (1基)	189.50	-10.0	15,000	1	SCと併用
"	SF(外貿)	856.42	-10.0	6,000~15,000	5	北海道定期航路 (一部供用中止 R3.11.1からR4.6.30まで)
品川物揚場	SK'	44.00	-3.0	-	-	
晴海ふ頭	計	769.68			4	
晴海棧橋	HI	123.68	-9.0	10,000	1	
"	HJ	190.00	-10.0	15,000	1	
"	HK, HL(客船)	456.00	-10.0	20,000(G/T)	2	客船ターミナル
朝潮・月島	計	1,411.00			2	
朝潮物揚場	G7	60.00	-5.0	700	-	
月島物揚場	F0, F1	630.00	-3.0~-3.5	300	-	
"	F2	100.00	-3.0~-4.5	300	-	
"	F6	355.00	-4.5	500	-	
月島ドルフィン棧橋	F4, F5	266.00	-7.5	5,000	2	ドルフィン式 4基
豊洲物揚場	T2	283.13	-4.0	500	-	
10号地その1	計	238.40			1	
有明小型船発着所		58.40	-4.0	-	-	
多目的ふ頭岸壁	MP	180.00	-7.5	5,000(G/T)	1	
10号地その2	計	3,296.00			28	
10号地西岸壁	VA~VK	1,500.00	-7.5	5,000	11	沖縄定期航路 3ハース
10号地東岸壁	VL~VX	920.00	-5.0	1,000	13	
フェリーふ頭	VAA~VAD	876.00	-7.5~-8.5	6,000~ 16,000(G/T)	4	(VAA, VAB供用中止 R3.4.1からR5.3.31まで)
青海コンテナふ頭	A0~A2	870.00	-13.0~ -15.0	35,000~ 50,000	3	
東京国際クルーズふ頭棧橋	API	427.50	-11.5	230,000(G/T)	1	
辰巳ふ頭	NA~NM	1,040.00	-5.0	1,000	13	
中央防波堤	計	1,460.00			6	
内側ばら物ふ頭	X2	240.00	-12.0	30,000	1	
内側建設発生土ふ頭	X8	130.00	-7.5	5,000	1	
内側内貿ふ頭	X4~X5	460.00	-9.0	12,000(G/T)	2	
中央防波堤外側ふ頭	Y1~Y2	630.00	-11.0~ -16.0	20,000~ 150,000	2	
13号地ふ頭(有明)	RA~RJ	750.00	-5.0	1,000	10	一部休止中
青海小型船発着所		58.40	-4.0	-	-	
大井その1	計	2,049.50			8	
大井コンテナふ頭	O4~O6	990.00	-15.0	50,000	3	
大井水産物	OJ~OK	450.00	-12.0	30,000	2	
大井食品	OL	229.50	-12.0	30,000	1	
"	OM~ON	380.00	-11.0	15,000	2	
城南島	計	877.20			5	
大井建材ふ頭	OOD~OOG	280.00	-5.0	1,000	4	
小型油槽船	OOT 岸壁	387.20	-4.0	200(G/T)	-	
建設発生土ふ頭	OOI 棧橋	50.00	-4.0	-	-	渡り棧橋
若洲	計	1,280.00			8	
若洲内貿	LA	190.00	-11.0	15,000	1	H18.6名称変更
15号地木材	LB~LD	720.00	-12.0	25,000	3	
若洲建材	LLC~LLF	370.00	-5.5	2,000	4	

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

係留施設（東京港埠頭株式会社）

名称	バース名	延長(m)	水深(m)	対象船型(D/W)	船席数	備考
大井コンテナふ頭	O1~O3,O7	1,364.00	-15.0	50,000	4	
青海コンテナふ頭	A3~A4	700.00	-15.0	50,000	2	
お台場ライナーふ頭	AA~AI	1,800.00	-10.0	15,000	9	

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

係留施設（官庁）

名称	バース名	延長(m)	水深(m)	対象船型(D/W)	船席数	備考
晴海官庁船	H2	50.00	-8.0	3,000	1	海技教育機構
	H3	60.00	-8.0	1,500	1	水産庁
	H4	60.00	-8.0	3,200	1	海洋研究開発機構
台場官庁船	RK'	100.00	-6.0	460	1	海上保安庁
築地五丁目	-	490.00	-4.5	700	9	中央卸売市場

※ 主な施設のみ記載

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

係留施設（民間）

名称	バース名	延長(m)	水深(m)	対象船型(D/W)	船席数	備考	
大井建材ふ頭	OOA~OOC	210.00	-5.0	500~1,500	3	関東宇部コンクリート工業、徳木生コンクリート、豊田商店	
大井ふ頭その一	OA(ドルフィン)	(3基)	-8.5	2,926	1	JERA	
品川ふ頭	SB	106.00	-7.5	2,075	1	JERA	
		SL(ドルフィン)	(2基)	-8.0	8,400	1	宇部三菱セメント
		SM(ドルフィン)	(3基)	-5.0	699	1	宇部三菱セメント
		SN(ドルフィン)	(2基)	-5.5	1,000	1	東京エスオーシー
		SO(ドルフィン)	(1基)	-4.5	800	1	アサノコンクリート
10号地その1	KK	618.00	-7.5	5,000	2	住金物流	
		KN	390.00	-7.5	2,000	3	新日本製鉄
		#	420.00	-7.5	499	6	JFE物流
11号地	C1(ドルフィン)	(3基)	-8.0	7,000	1	太平洋セメント	
砂町北運河	U2	60.00	-3.0	900	1	吉田建材	
		U3	60.00	-4.0	499	1	日本産業
		U4	67.49	-4.0	499	1	上隅レミコン
東雲運河筋	U8(ドルフィン)	(1基)	-3.5	499	4	関東宇部コンクリート工業	
砂町運河筋	U11(ドルフィン)	(2基)	-2.0	450	1	昭石化工	
晴海ふ頭	HA	160.00	-5.6	2,000	1	太平洋セメント	
		(ドルフィン)	(1基)				
若洲建材ふ頭	LLA, LLB	140.00	-5.0	1,000	2	吉田建材、岩本建材	
15号地危険物	LOA, LOB	260.00	-5.5	1,999~4,234	2	出光興産	
		LOD	130.00	-5.5	1,000	1	朝田商会
中防内側外貨雑貨ふ頭	X3	260.00	-10.0	13,000	1	上組	
若洲内貨特殊品ふ頭	LM1, LM2	160.00	-4.5	1,000	2	有明興業	

※ 主な施設のみ記載

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

4-4 荷捌施設

上屋

名 称	級別	面 積 (㎡)	構 造	主要取扱品種
小 計	35棟	205,363.31	管理者:東京都	
品 川 ふ 頭	1棟	23,651.00		
品 川 ふ 頭 内 貨 上 屋	1級	14,974.00	鉄筋コンクリート造	紙・パルプ ⁺
品 川 ふ 頭 内 貨 自 動 車 上 屋	自動車	8,677.00	" (屋上部)	商用車
芝 浦 ふ 頭	3棟	22,004.38		
芝 浦 内 貨 1 号 上 屋	1級	8,600.72	鉄筋コンクリート造3階建のうち1階	紙・パルプ ⁺ 、食料品
芝 浦 内 貨 2 号 上 屋	"	8,317.25	"	紙・パルプ ⁺
芝 浦 内 貨 3 号 上 屋	"	5,086.41	"	紙・パルプ ⁺
竹 芝 内 貨 上 屋	3級	2,097.50	鉄筋コンクリート造平屋建	日用品
日 の 出 ふ 頭	4棟	8,333.97		
日 の 出 2 号 上 屋	3級	2,160.00	鉄筋造平屋建	化学薬品
日 の 出 3 号 上 屋	"	2,160.00	"	"
日 の 出 4 号 上 屋	"	2,124.00	"	"
日 の 出 南 上 屋	2級	1,889.97	鉄筋コンクリート造	塩
10 号 地 ふ 頭	8棟	61,857.29		
10 号 地 ふ 頭 西 上 屋	1級	17,307.00	鉄筋コンクリート造	日用品・飲料
10 号 地 ふ 頭 4 号 上 屋	2級	14,250.00	鉄骨造一部2階建	紙・パルプ ⁺
10 号 地 ふ 頭 5 号 上 屋	"	6,767.69	鉄骨造	"
10 号 地 ふ 頭 6 号 上 屋	"	6,818.10	鉄骨造平屋建一部2階建	"
10 号 地 ふ 頭 自 動 車 上 屋	自動車	16,714.50	軽量鉄骨造平屋建 3棟	商品車
大 井 海 貨	5棟	29,481.05		
大 井 海 貨 1 号 上 屋	1級	7,626.91	鉄筋コンクリート造3階建のうち1階	日用品
大 井 海 貨 2 号 上 屋	"	5,484.50	"	"
大 井 海 貨 3 号 上 屋	"	5,102.18	"	"
大 井 海 貨 4 号 上 屋	"	5,138.82	"	"
大 井 海 貨 5 号 上 屋	"	6,128.64	鉄筋コンクリート造5階建のうち1階	"
大 井 冷 蔵	3棟	21,098.56	(水産物用荷役施設)	
大 井 冷 蔵 1 号 上 屋	冷蔵	7,044.40	鉄筋コンクリート造5階建のうち1階	水産物
大 井 冷 蔵 2 号 上 屋	"	7,044.40	"	"
大 井 冷 蔵 3 号 上 屋	"	7,009.76	"	"
大 井 食 品	2棟	10,778.84		
大 井 青 果 1 号 上 屋	食品	3,478.00	鉄筋コンクリート造4階建のうち1階	果物、野菜
大 井 食 品 2 号 上 屋	"	7,300.84	鉄筋コンクリート造5階建のうち1階	
青 海 流 通 セ ン タ ー	2棟	19,046.72		
青 海 流 通 1 号 上 屋	特級	9,523.36	鉄筋コンクリート造4階建のうち1階	事務用機器
青 海 流 通 2 号 上 屋	"	9,523.36	"	"
中 央 防 波 堤 内 側 ば ら 物	5棟	3,414.00		
ば ら 物 1 号 上 屋	ばら物	960.00	鉄骨造	
ば ら 物 2 号 上 屋	"	960.00	"	
ば ら 物 3 号 上 屋	"	498.00	鉄骨造 ホリエステル布張	コークス、金属鋳
ば ら 物 4 号 上 屋	"	498.00	"	
ば ら 物 5 号 上 屋	"	498.00	"	
辰 巳 内 貨 雑 貨 上 屋	1級	3,600.00	鉄骨造	雑貨

名 称	級別	面 積 (㎡)	構 造	主要取扱品種
小 計	9棟	68,220.00	管理者:東京港埠頭株式会社	
お 台 場 ラ イ ナ ー	9棟	68,220.00	借受者	
お 台 場 1 号 上 屋		6,892.00	東京国際埠頭、富士港運、東海運	
お 台 場 2 号 上 屋		19,109.00	ダイトコーポレーション、東海海運	
お 台 場 3 号 上 屋		6,432.00	山九、相模運輸倉庫	紙、木材、鋼材
お 台 場 4 号 上 屋		6,846.00	鈴江コーポレーション、三協、栗林運輸	
お 台 場 5 号 上 屋		6,864.00	栗林運輸、ケイヒン	農水産品
お 台 場 6 号 上 屋		5,622.00	三協、三菱倉庫	
お 台 場 7 号 上 屋		6,328.00	日本通運、望月海運	
お 台 場 8 号 上 屋		4,687.00	三井倉庫、住友倉庫	
お 台 場 9 号 上 屋		5,440.00	宇徳、アサガミ	

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

野積場

名称	級別	面積(m ²)	主要品種	名称	級別	面積(m ²)	主要品種
合計		785,780.51		フェリーふ頭		60,252.66	
品川ふ頭		83,770.03		A 野積場	1級	10,996.67	シャーシ
C 野積場	1級	14,222.00	シャーシ	B 野積場	"	19,168.67	"
D 野積場	"	14,079.00	"	C 野積場	"	10,704.92	"
G 野積場	"	18,756.88	"	D 野積場	"	7,517.07	"
H 野積場	"	19,907.75	"	E 野積場	"	11,865.33	"
I 野積場	"	13,654.40	"	辰巴ふ頭		54,136.20	
SK 野積場	"	3,150.00	"	A 野積場	1級	8,934.60	鉄鋼、雑貨
芝浦ふ頭		29,546.06		B 野積場	"	7,984.60	"
K 野積場	1級	9,523.89	コンテナ	C 野積場	"	19,584.00	"
L 野積場	"	1,768.75	"	D 野積場	"	13,582.00	"
M 野積場	"	1,181.82	取合せ品	E 野積場	"	4,051.00	"
N 野積場	"	4,519.00	シャーシ	大井建材ふ頭		21,147.50	
J 野積場	2級	12,552.60	"	A 野積場	特級	10,857.50	砂利・砂
日の出ふ頭		1,794.94		B 野積場	"	4,830.00	"
H 野積場	1級	1,794.94	シャーシ	C 野積場	"	5,460.00	"
月島ふ頭		970.46	(供用中止中)	若洲内貿ふ頭	1級	43,606.00	シャーシ
野積場	1級	970.46		15号地木材ふ頭		258,125.00	
10号地ふ頭		153,109.66		(木材用荷役施設)		258,125.00	製材、紙
3号上屋背面野積場	1級	4,474.00	シャーシ	若洲建材ふ頭		37,093.00	
4号上屋背面野積場	"	10,529.00	"	A 野積場	特級	6,885.00	砂利・砂
5号上屋背面野積場	"	3,957.64	"	B 野積場	"	7,290.00	"
6号上屋背面野積場	"	3,946.53	"	C 野積場	"	6,885.00	"
A 野積場	"	13,825.12	コンテナ	D 野積場	1級	16,033.00	製材
C 野積場	"	13,506.00	シャーシ	中央防波堤内側ばら物		29,338.00	
D 野積場	"	12,864.00	"	A 野積場	ばら物	11,147.00	珪砂
E 野積場	"	12,874.00	"	B 野積場	"	7,791.00	石炭
G 野積場	"	13,506.00	"	C 野積場	"	5,600.00	"
H 野積場	"	13,506.00	コンテナ	D 野積場	"	4,800.00	コークス
I 野積場	"	6,710.80	"	中央防波堤内側内貿ふ頭		12,891.00	
J 野積場	"	12,432.98	"	野積場	1級	12,891.00	シャーシ
L 野積場	"	14,640.50	鉄鋼				
N 野積場	"	13,379.09	"				
自動車上屋付属	"	2,958.00	商品車				

出典：「東京港港勢」(令和3年)(東京都港湾局)

4-5 保管施設

貯木場

名称	総面積(m ²)	許可面積(m ²)	名称	総面積(m ²)	許可面積(m ²)
合計	904,747	0	14号地第2	131,747	0
豊洲	29,243	0	12号地	561,283	0
14号地第1	124,860	0	新砂	57,614	0

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

4-6 旅客施設

客船ターミナル

名称	所在地	延床面積(m ²)	構造
晴海客船ターミナル	中央区晴海五丁目	17,422.46	鉄骨鉄筋コンクリート造9階建
竹芝客船ターミナル	港区海岸一丁目	39,141.07	鉄骨鉄筋コンクリート造2階建 展望デッキ、広場を含む
芝浦ふ頭通船ターミナル	港区海岸三丁目	218.49	鉄骨鉄筋コンクリート造3階建 芝浦港湾総合施設内
有明客船ターミナル	江東区有明三丁目	2,098.60	鉄筋コンクリート造地上3階地下1階建
青海客船ターミナル	江東区青海二丁目	802.22	鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建
東京国際クルーズターミナル	江東区青海二丁目ほか	19,111.91	鉄骨造4階建

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

船客待合所

名称	所在地	延床面積(m ²)	構造
日の出ふ頭1号船客待合所	港区海岸二丁目	361.00	鉄骨鉄筋コンクリート
日の出ふ頭2号船客待合所	港区海岸二丁目	1,064.66	鉄骨鉄筋コンクリート

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

その他

名称	所在地	延床面積(m ²)	構造
東京港フェリーターミナルビル	江東区有明四丁目	7,795.03	鉄筋コンクリート造4階建

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

4-7 マリーナ施設

夢の島マリーナ

名称	所在地	面積	収容能力	設置者	運営者
東京夢の島マリーナ	江東区夢の島三丁目2番1号	水域 19.6ha 陸域 5.5ha	専用バース 660隻 多目的バース等 33隻	東京都	スバル興業(株)
係留対象艇	主要施設				
クルーザーヨット モーターボート	水上オートバイ用リフター 1基 上下架施設 1基 マリンセンター 1棟 駐車場 480台 修理ヤード 15艘分 給油施設 4基				

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

4-8 その他の施設

荷役機械

ふ 頭	名 称	定格荷重 (能力)	数量 (基)	取扱品種
品 川 ふ 頭	ガントリークレーン	35.6t	2	コンテナ
	"	40.6t	2	"
青 海 ふ 頭	ガントリークレーン	30.5t	4	コンテナ
	"	40.6t	5	"
大 井 ふ 頭	ガントリークレーン	40.6t	3	コンテナ
	"	43.8t	6	"
	"	50.0t	1	"
	"	61.0t	10	"
中央防波堤内側ばら物ふ頭	アンローダー(走行式) ベルトコンベヤー	500t/h 1,200t/h	2 1	石炭、コークス、珪砂
中央防波堤外側外貿コンテナふ頭	ガントリークレーン	65.0t	6	コンテナ

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

岸壁給水施設

所 在	給水栓箇所数	給水能力(m ³ /h)	所 在	給水栓箇所数	給水能力(m ³ /h)
合 計	59		竹 芝 棧 橋	6	35
芝 浦 岸 壁	16	40	晴 海 棧 橋	15	50
芝 浦 物 揚 場	2	15	月 島 物 揚 場	6	20
日 の 出 棧 橋	3	20	辰 巳 岸 壁	2	20
			東京国際クルーズふ頭	9	23

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

運搬給水施設

	名称	総トン数	材 質	積載量(m ³)	給水能力(m ³ /h)
給 水 船	すいれん	61	鋼	200	100

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

5. 過去の計画一覧

第7次改訂港湾計画以降の港湾計画の経緯及び第8次改訂港湾計画以降の港湾計画図を以下に示す。

表 VIII-5-1 (1) 東京港港湾計画経緯一覧表

計画変更区分	策定年月	公示年月	計画内容	改訂・変更理由
第7次改訂港湾計画	平成17年12月 第76回東京都港湾審議会	平成18年3月	<p>(1) 外貨コンテナ埠頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央防波堤外側に800m・水深15～16mの岸壁2バースを計画する(変更) 新海面処分場に400m・水深15～16mの岸壁1バースを計画する(変更) 中央防波堤外側に230m・水深11mの岸壁1バースを計画する(新規) 品川ふ頭に435m・水深10mの岸壁2バースを計画する(変更) <p>(2) 内貨ユニットロード埠頭・フェリー埠頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 品川ふ頭に1,150m・水深8.5mの岸壁5バースを計画する(変更) 10号地その2に1,380m・水深8.5mの岸壁6バースを計画する(変更) 15号地に430m・水深8.5mの岸壁2バースを計画する(変更) 中央防波堤内側に460m・水深8.5mの岸壁2バースを計画する(変更) 10号地その2(フェリー埠頭)に260m・水深8.5mの岸壁1バースを計画する(変更) <p>(3) 外貨埠頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 大井ふ頭その1・大井ふ頭その2の380m・水深11mの岸壁2バースの既定計画を削除する <p>(3) 専用埠頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊洲ふ頭に200m・水深8mの岸壁1バースを計画する(新規) 豊洲ふ頭に、水深8mのトドヅ1バースを計画する(変更) 13号地の水深7mのドルフィン2バースの既定計画(廃止)を削除する 15号地の80m・水深4.5mの岸壁1バースの既定計画を削除する 中防内側に200m・水深12mの岸壁1バースを計画する(変更) <p>(4) 木材取扱施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊洲貯木場の6ha・水深1.5mを廃止する 12号地貯木場に水深10mのトドヅ5バース、56ha・水深2.5mの水面貯木場、17ha・水深2.5mの水面整理場を計画する(変更) 新砂貯木場の8ha・水深2.5mを廃止する <p>(5) 水域施設・外郭施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一航路の移設・拡幅(幅員450～600m→600m～700m) 内港地区に9ha・水深8.5m、南部地区に3ha・水深12m、中部地区に35ha1・水深8.5m、中央防波堤地区に8ha・水深11m、中央防波堤地区に14ha・水深8.5m、8ha・水深15～16mの泊地を計画する(変更) 南部地区に12ha・水深15m、中部地区に2ha・水深13m、4ha・水深15mの航路・泊地を計画する(新規) 中央防波堤地区に126ha・水深15～16mの航路・泊地を計画する(変更) 第一航路の移設に伴う沖防波堤の配置計画の変更(延長200m) <p>(6) 臨港交通施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央防波堤地区及び南部地区における臨港道路を計画する <p>(7) 旅客船埠頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 晴海ふ頭に小型さん橋5基を計画する(変更) 竹芝ふ頭の小型さん橋1基を削除する <p>(8) 港湾環境整備施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央防波堤地区に緑地を計149ha計画する(変更) 内港地区、南部地区に緑地を計41ha計画する(変更) 南部地区、東部地区、中央防波堤地区に海浜を3箇所計画する(新規) <p>(9) 良好な景観を形成する区域</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央防波堤地区において良好な景観を形成する区域を定める <p>(10) 大規模地震対策施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 品川埠頭、晴海埠頭、10号地その2、15号地、中央防波堤内側に耐震強化岸壁を13バース計画する(変更) 耐震強化岸壁を中央防波堤外側に2バース計画する(変更) <p>(10) 小型船だまり計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 南部地区大井ふ頭その1の物揚場400mを削除する 南部地区大井ふ頭その2に防波堤80mを計画する(新規) 中部地区13号地に防波堤300mを計画する(変更) 	<ul style="list-style-type: none"> 増加が著しい外貨コンテナ貨物に対応し、国際基幹航路の維持・拡大を図るとともに、コンテナ船の大型化に対応するため 増加するアジア貨物に対応するため 内航海運における貨物のユニット化の進展に適切に対応するとともに、RORO船の大型化やモーダルシフトの促進に対応するため 水産物を取扱うため セメントを取扱うため 水面貯木場の需要が低下したため 東京国際空港再拡張事業の滑走路の新設に伴い、船舶及び航空機双方の運航の安全性の確保とコンテナ船の大型化や大型船舶の対面航行に対応するため 港内の静穏度及び船舶航行の安全を図るため 交通の円滑化を図るため 海の森の整備及び自然環境の保全・再生に寄与する連続的な緑地空間を確保するため 首都直下地震等の大規模地震発生時に緊急救援物資等の輸送を行う海上輸送機能を確保するため 大規模地震発生後、首都圏の経済活動を停滞させないため 小型船だまりの静穏度を確保するため

表Ⅷ-5-1 (2) 東京港港湾計画経緯一覧表

計画 変更区分	策定年月	公示年月	計 画 内 容	改訂・変更理由
第7次 改訂 港湾計画	平成17年12月 第76回東京都 港湾審議会	平成18年3月	<p>(11) 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 品川ふ頭に1,150m・水深8.5mの岸壁5バース、10号その2に1,380m・水深8.5mの岸壁6バース及び260m・水深8.5mの岸壁1バース及び238m・水深8.5mの岸壁1バース、15号地に430m・水深8.5mの岸壁2バース、中央防波堤内側に460m・水深8.5mの岸壁2バース、中央防波堤外側・新海面処分場に1,200m・水深15～16mの岸壁3バースを計画する(変更) <p>(12) 船舶の物資補給需要等への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 月島ふ頭に260m・水深7mの岸壁2バース、355m・水深4.5mの物揚場を計画する(変更) 晴海ふ頭に90m・水深9mの岸壁1バース、190m・水深10mの岸壁1バースを計画する(変更) 13号地に750m・水深5mの岸壁10バースを計画する(変更) 10号地その2に253m・水深7.5mの岸壁1バースを計画する(変更) <p>(13) 土地造成計画・土地利用計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 大井・青海コンテナ埠頭背後の港湾関連用地等を計30ha埠頭用地に変更する 大井埠頭その1・その2間の水域に22ha土地造成し、41haの港湾関連用地を計画する 羽田地区南東沖に交通機能用地159haを造成 	<ul style="list-style-type: none"> 東京国際空港の新たな滑走路
軽易な 変更	平成18年12月 第77回東京都 港湾審議会	平成19年1月	<p>(1) 港湾環境整備施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 内港地区の緑1.0haを廃止する <p>(2) 土地利用計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 南部地区の緑地0.8haを廃止する 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺状況変化に対応するため
一部変更	平成18年12月 第77回東京都 港湾審議会	平成19年4月	<p>(1) 公共ふ頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 10号地その2に1,380m・水深9mの岸壁6バース、15号地に440m・水深9mの岸壁2バース、中央防波堤内側に460m・水深9mの岸壁2バースの内質ユニットロード埠頭を計画する(変更) <p>(2) 水域施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 中部地区に17ha・水深9mの泊地を計画する(変更) 中央防波堤地区に14ha・水深9mの泊地を計画する(変更) <p>(3) 大規模地震対策施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 10号地その2に4バース、15号地に1バース、中央防波堤内側に2バースの施設を計画する(変更) <p>(4) 国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 10号地その2に1,380m・水深9mの岸壁6バース、15号地に440m・水深9mの岸壁2バース、中央防波堤内側に460m・水深9mの岸壁2バースを計画する(変更) 	<ul style="list-style-type: none"> 内航RORO船の大型化に対応するため 首都直下地震等の大規模地震発生時に緊急救援物資等の輸送を行う海上輸送機能を確保するため 国内海上輸送網の拠点として機能するため
一部変更	平成19年12月 第78回東京都 港湾審議会	平成20年4月	<p>(1) フェリー埠頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 10号地その2に270m・水深8.5mの岸壁1バースを計画する(変更) <p>(2) 水域施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 中部地区に2ha・水深8.5m、8ha・水深9.0mの泊地を計画する(変更) 中部地区に17ha・水深8.5m、9ha・水深9.0mの航路・泊地を計画する(変更) <p>(3) 大規模地震対策施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 10号地その2に1バースを計画する(変更) <p>(4) 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 10号地その2に270m・水深8.5mの岸壁1バースを計画する(変更) <p>(5) 船舶の物資補給等への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 10号地その2に195m・水深7.5mの岸壁1バースを計画する(変更) <p>(6) 土地造成及び土地利用計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 中部地区に埠頭用地0.2haを計画する 	<ul style="list-style-type: none"> フェリー大型化に対応するため 首都直下地震等の大規模地震発生時に緊急救援物資等の輸送を行う海上輸送機能を確保するため 官庁船、貨物船等の待機、物資補給等に対応するため
軽易な 変更	平成20年12月 第80回東京都 港湾審議会	平成21年2月	<p>(1) 専用埠頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 羽田地区に水深8mのトドフィン2バースを計画する(新規) 	<ul style="list-style-type: none"> 立地企業の要請に対処するため
軽易な 変更	平成21年5月 第81回東京都 港湾審議会	平成21年5月	<p>(1) 土地利用計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 内港地区の土地利用計画を変更する 交流厚生用地1.5ha→都市機能用地1.5ha 	<ul style="list-style-type: none"> 地元区誘致予定の地域病院の建設の用に供するため

表Ⅷ-5-1 (3) 東京港港湾計画経緯一覧表

計画変更区分	策定年月	公示年月	計画内容	改訂・変更理由
一部変更	平成21年5月 第81回東京都 港湾審議会	平成21年8月	(1) 外資コンテナ埠頭計画 ・大井ふ頭その1に2,354m・水深15～16mの岸壁7バースを計画する(変更) ・13号地に700m・水深15～16mの岸壁2バースを計画する(変更) ・中央防波堤外側に400m・水深16～16.5mの岸壁1バースを計画する(変更) ・新海面処分場に420m・水深16～16.5mの岸壁1バースを計画する(変更) (2) 内外資埠頭計画 ・大井ふ頭その1に200m・水深11mの岸壁1バースを計画する(新規) (3) 内資埠頭計画 ・10号その2に530m・水深8.5mの岸壁2バースを多目的埠頭として計画する(変更) (4) 水域施設計画 ・第1航路を水深16～16.5m・幅員600～740m、水深15～16m・幅員600～700mに計画する(変更) (5) 臨港交通施設計画 ・臨港道路有明ふ頭連絡線と臨港道路中防内5号線を結ぶ道路として、南北線を計画する(新規) (6) 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設 ・臨港道路有明ふ頭連絡線と臨港道路中防内5号線を結ぶ道路として、南北線を計画する(新規) (7) 土地造成及び土地利用計画 ・南部地区に埠頭用地0.7ha、中央防波堤地区に埠頭用地0.1haを計画する	・外資コンテナ貨物需要の増大、外資コンテナ船の大型化に対応するため ・水産品等の外資貨物及び増大する内航フィーダー需要等に対応するため ・化学工業品等の内資貨物及びフェリーに対応するため ・交通の円滑化を図るため
軽易な変更	平成22年2月 第82回東京都 港湾審議会	平成22年3月	(1) 港湾環境整備施設計画 ・南部地区の緑地0.2haの既定計画を削除する (2) 土地利用計画 ・南部地区の土地利用計画を変更する 緑地0.2ha→都市機能用地0.2ha	・立地公益企業の要請に対処するため
軽易な変更	平成23年11月 第84回東京都 港湾審議会	平成23年12月	(1) 港湾環境整備施設計画 ・南部地区の緑地1haを廃止する (2) 土地利用計画 ・南部地区の緑地0.4haを廃止する	・周辺状況変化に対応するため
一部変更	平成23年11月 第84回東京都 港湾審議会	平成23年12月	(1) 港湾の効率的な運営に関する事項 ・品川ふ頭に555m・水深10mの岸壁3バースを計画する(新規) ・大井ふ頭その1に990m・水深15mの岸壁3バースを計画する(新規) ・13号地に520m・水深13mの岸壁2バース、350m・水深15mの岸壁1バースを計画する(新規)	・民間の能力を活用し、港湾の効率的な運営を行うため
軽易な変更	平成24年11月 第85回東京都 港湾審議会	平成24年12月	(1) 港湾環境整備施設計画 ・東部地区に緑地69haを計画する(変更) (2) 土地利用計画 ・中部地区の土地利用計画を変更する 交流厚生用地1.0ha→都市機能用地1.0ha ・東部地区の土地利用計画を変更する 緑地0.1ha→交通機能用地0.1ha ・内港地区に港湾関連用地0.2haを計画する	・周辺状況変化に対応するため ・臨海副都心のまちづくり計画に対応するため ・周辺状況変化に対応するため ・専用ふ頭の整備計画に対応するため
軽易な変更	平成25年11月 第86回東京都 港湾審議会	平成25年12月	(1) 旅客船埠頭計画 ・13号地に430m・水深11.5mの岸壁1バースを計画する(新規) ・晴海ふ頭の350m・水深11mの岸壁1バースの既定計画を削除する (2) 専用埠頭計画 ・晴海ふ頭のドルフィン3バースの既定計画(廃止)を削除する ・13号地の水深7mのドルフィン2バースを撤去する (3) 水域施設計画 ・中部地区に2ha、水深11.5mの泊地を計画する(新規) ・内港地区の2ha、水深11mの泊地の既定計画を削除する ・中部地区に24ha、水深11.5mの航路・泊地を計画する(新規) ・内港地区の140ha、水深11mの航路・泊地の既定計画を削除する	・船舶の大型化に対応するため

表Ⅷ-5-1 (4) 東京港港湾計画経緯一覧表

計画変更区分	策定年月	公示年月	計画内容	改訂・変更理由
軽易な変更	平成25年11月 第86回東京都港湾審議会	平成25年12月	(4) 小型船だまり計画 ・13号地に小型栈橋2基を計画する(変更) ・13号地に防波堤(1)260m、防波堤(2)635mを計画する(新規) ・13号地の小型栈橋1基、防波堤(1)215m、防波堤(2)300m(うち210m既設)の既定計画を削除する (5) 土地造成及び土地利用計画 ・内港地区の埠頭用地1.4haの土地造成計画の既定計画を削除する ・中部地区の土地利用(埠頭用地、交流厚生用地)を変更する (6) 大規模地震対策施設計画 ・竹芝ふ頭に1バースを計画する(新規) ・日の出埠頭の1バースの既定計画を削除する ・13号地に1バースを計画する(新規) ・晴海ふ頭の1バースの既定計画を削除する	・大規模地震災害時における緊急物資の輸送等に対応するため
軽易な変更	平成26年4月 第87回東京都港湾審議会	平成26年5月	(1) 旅客船埠頭計画 ・晴海ふ頭に225m・水深10mの岸壁1バースを計画する(変更) ・晴海ふ頭に小型さん橋5基を計画する(変更) (2) 土地利用計画 ・内港地区の土地利用計画を変更する 埠頭用地0.2ha→都市機能用地0.2ha 埠頭用地2.2ha→都市機能用地2.2ha 港湾関連用地0.1ha→都市機能用地0.1ha 交流厚生用地10.6ha→都市機能用地10.6ha (3) 大規模地震対策施設計画 ・晴海ふ頭に1バースを計画する(変更) (4) 港湾施設の利用計画 ・晴海ふ頭に135m・水深10mの岸壁1バース、225m・水深10mの岸壁1バースを計画する(変更)	・豊洲・晴海開発整備計画の一部改定に対応するため
第8次改訂港湾計画	平成26年9月 第88回東京都港湾審議会	平成26年12月	(1) 公共埠頭計画 1) 外内貿コンテナ埠頭計画 ・品川ふ頭に550m・水深11mの岸壁2バースを計画する(変更) ・大井ふ頭その1に400m・水深15～16mの岸壁1バースを計画する(変更) ・15号地に500m・水深11～12mの岸壁2バースを計画する(新規) 2) 内貿ユニットロード埠頭計画 ・品川ふ頭に166m・水深8.5mの岸壁1バースを計画する(変更) 3) 外貿埠頭計画 ・品川ふ頭に195m・水深10mの岸壁1バースを計画する(変更) ・15号地に240m・水深12mの岸壁1バースを計画する(変更) (2) 旅客船埠頭計画 ・豊洲ふ頭に延長10mの船揚場を計画する(新規) ・13号地に延長10mの船揚場を計画する(新規) (3) 木材取扱施設計画 ・東部地区に水深9mのドルフィン2バース、1ha・水深2.5mの水面貯木場、防波堤500mを計画する(新規) (4) 水域施設 ・内港地区に3ha・水深11m、東部地区に2ha・水深9mの泊地を計画する(新規) ・南部地区に2ha・水深15～16m、2ha・水深12m、東部地区に3ha・水深12m、3ha・水深11～12mの泊地を計画する(変更) ・内港地区に27ha・水深11m、東部地区に3ha・水深9mの航路・泊地を計画する(新規) ・南部地区に4ha・水深15～16m、6ha・水深12m、東部地区に116ha・水深12m、11ha・水深11～12m、中央防波堤地区に13ha・水深9mの航路・泊地を計画する(変更) (5) 小型船だまり計画 ・13号地に小型栈橋3基を計画する (6) 港湾環境整備施設計画 ・南部地区に14ha、中部地区に9ha、中央防波堤地区に184haの緑地を計画する(変更) ・南部地区に海浜4箇所を計画する(変更) ・中央防波堤地区に海浜1箇所を計画する(新規)	・増加するアジア貨物に対応するため ・コンテナ船の大型化に対応する高規格コンテナターミナルを形成するとともに、国際フィーダー航路による集貨を図るため ・内港海運における貨物動向に対応するため ・将来的な貨物動向や利用者ニーズに迅速に対応するため ・東京港内の海上交通ネットワーク形成のため ・原木の輸入量が減少し、水面貯木場や係留施設の需要が低下したため ・自然環境の保全・再生に寄与する連続的な緑地空間を確保するため ・水域環境の保全・再生を図るとともに、水生生物をはじめとした多様な生物の生息環境を創出するため

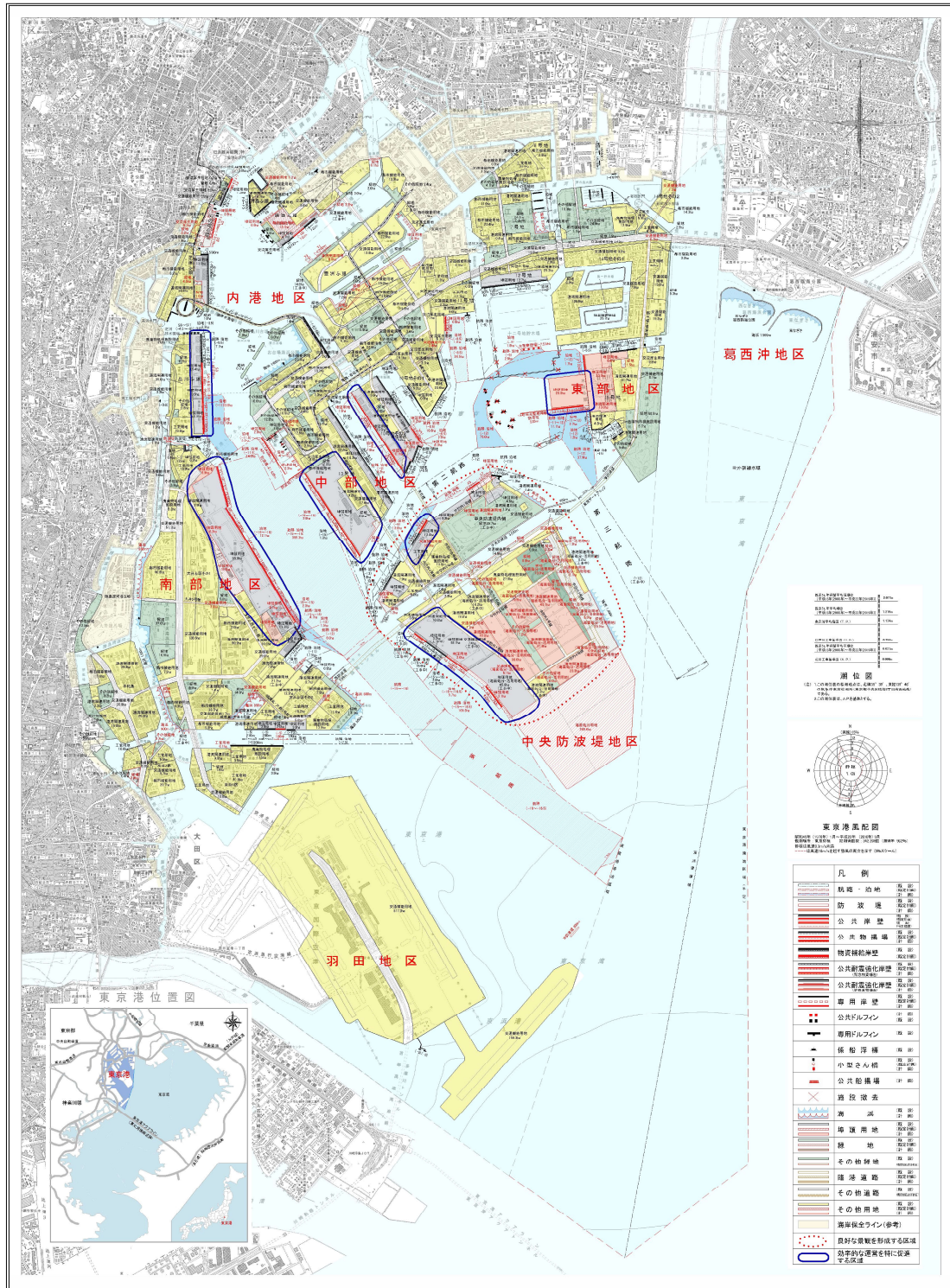
表Ⅷ-5-1 (5) 東京港港湾計画経緯一覧表

計画変更区分	策定年月	公示年月	計画内容	改訂・変更理由
第8次改訂港湾計画	平成26年9月 第88回東京都港湾審議会	平成26年12月	<p>(7) 土地造成計画・土地利用計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東部地区に埠頭用地29haを計画する(新規) <p>(8) 港湾の効率的な運営に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 品川ふ頭に166m・水深8.5mの岸壁1バース、195m・水深10mの岸壁1バース、550m・水深11mの岸壁2バースを計画する(変更) ・ 大井ふ頭その1に400m・水深15～16mの岸壁1バースを計画する(変更) ・ 15号地に500m・水深11～12mの岸壁2バースを計画する(新規) ・ 15号地の440m・水深9mの岸壁2バースを廃止する <p>(9) 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大井ふ頭その1に400m・水深15～16mの岸壁1バースを計画する(新規) ・ 15号地に240m・水深12mの岸壁1バースを計画する(変更) ・ 15号地の220m・水深9mの岸壁1バースを廃止する ・ 15号地に岸壁1バースを計画する(変更) <p>(10) 大規模地震対策施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10号地その2に2バースを計画する(新規) ・ 品川ふ頭、大井ふ頭その1、13号地、15号地、中央防波堤外側、新海面処分場に16バース計画する(新規) ・ 中央防波堤内側に1バース計画する(変更) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 港湾施設の計画に対応するとともに、多様な機能が調和し、連携する質の高い港湾空間の形成を図るため ・ 民間の能力を活用し、港湾の効率的な運営を行うため ・ 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するため ・ 大規模地震等の発生時において、緊急救援物資等の輸送機能を確保するため ・ 大規模地震等の発生時において、幹線貨物輸送の拠点として機能するため
軽易な変更	平成28年1月 第90回東京都港湾審議会	平成28年2月	<p>(1) 旅客船埠頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 晴海ふ頭の小型栈橋6基(うち1基既設)の既定計画を削除する <p>(2) 専用埠頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 晴海ふ頭に小型栈橋4基、船揚場 6mを計画する(新規) <p>(3) 外郭施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内港地区に防波堤49mを計画する(新規) <p>(4) 港湾環境整備施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内港地区に緑地9haを計画する(変更) <p>(5) 土地利用計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内港地区の土地利用計画を変更する 埠頭用地0.9ha→港湾関連用地0.9ha 緑地2.8ha→緑地2.5ha・港湾関連用地0.3ha 交流厚生用地1.9ha→交流厚生用地1.7ha・港湾関連用地0.2ha ・ 中部地区の土地利用計画を変更する 交流厚生用地7.1ha→交流厚生用地5.3ha・交通機能用地1.8ha 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京消防庁の要請に対応するため ・ 東京消防庁の要請及び臨海副都心のまちづくりに係る計画の変更に対応するため
軽易な変更	平成29年5月 第92回東京都港湾審議会	平成29年6月	<p>(1) 旅客船埠頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 13号地に680m・水深11.5mの岸壁2バースを計画する(変更) ・ 晴海ふ頭の225m・水深10mの岸壁1バースを廃止する <p>(2) 水域施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中部地区に4ha・水深11.5mの泊地、24ha・水深11.5mの航路・泊地を計画する(変更) <p>(3) 港湾環境整備施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内港地区に緑地6haを計画する(新規) <p>(4) 土地利用計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内港地区の土地利用計画を変更する 埠頭用地4.1ha・交流厚生用地1.7ha ・ 中部地区の土地利用計画を変更する 埠頭用地3.0ha→埠頭用地3.5ha・交流厚生用地0.2ha <p>(5) 大規模地震対策施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 晴海ふ頭に240m・水深10mの岸壁1バースを計画する(変更) <p>(6) 物資補給等のための施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 晴海ふ頭に240m・水深10mの岸壁1バース、552m・水深9mの岸壁3バースを計画する(変更) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 船舶の大型化に対応するため ・ 豊洲・晴海開発整備計画の一部改定に対応するため ・ 船舶の大型化及び豊洲・晴海開発整備計画の一部改定に対応するため ・ 大規模地震発生時における緊急物資輸送等に対応するため ・ 官庁船、貨物船等の待機及び物資補給に対応するため
軽易な変更	平成30年7月 第93回東京都港湾審議会	平成30年8月	<p>(1) 旅客船埠頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 13号地に小型栈橋1基を計画する(新規) <p>(2) 港湾環境整備施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中部地区に海浜1箇所を計画する(新規) <p>(3) 海浜計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中部地区に海浜1箇所を計画する(新規) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京港内の海上交通ネットワーク拡充のため ・ 東京港の水域環境の保全・再生を図るとともに、水生生物をはじめとした多様な生物の生息環境を創出するため

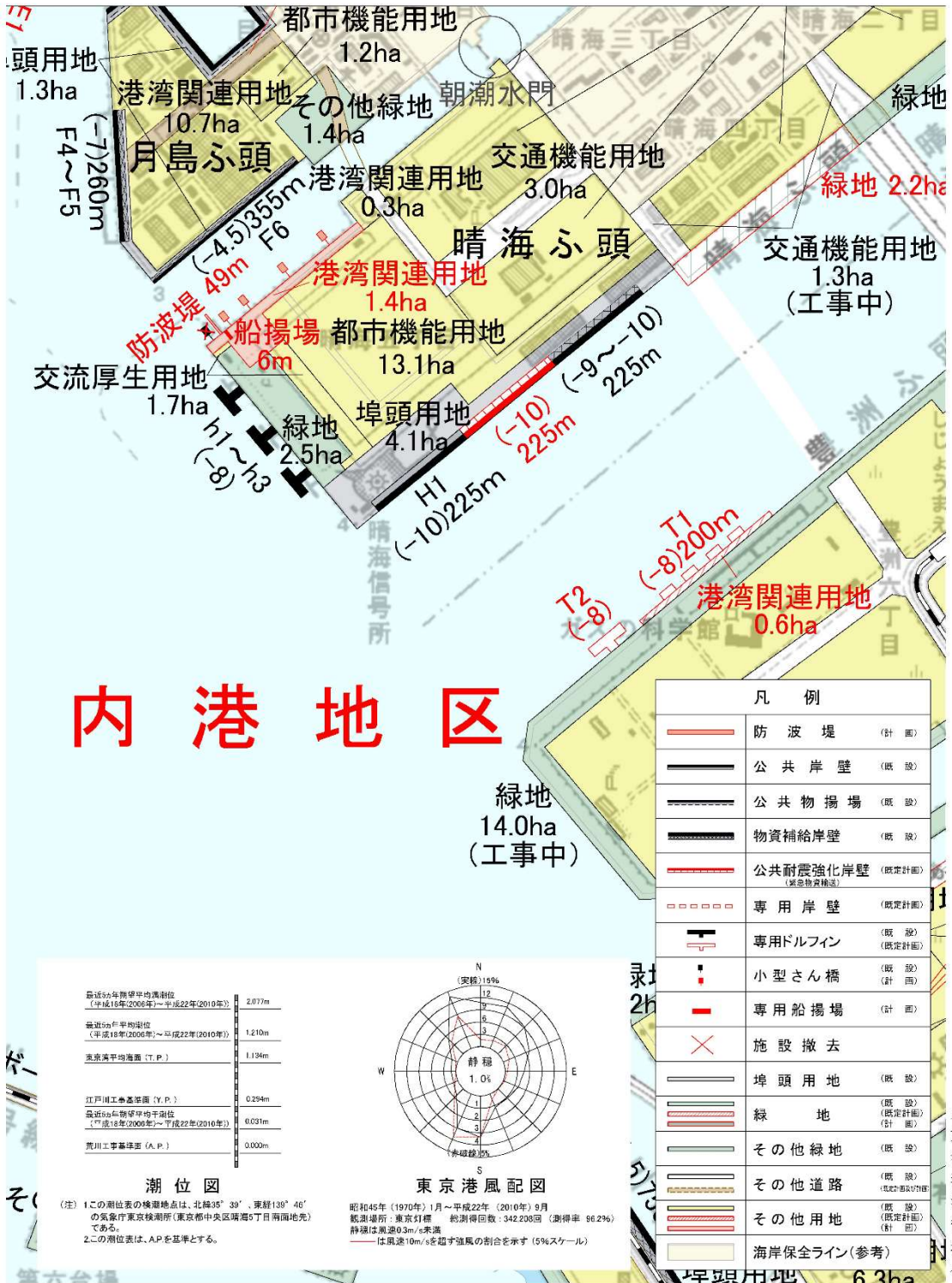
表Ⅷ-5-1 (6) 東京港港湾計画経緯一覧表

計画変更区分	策定年月	公示年月	計画内容	改訂・変更理由
軽易な変更	令和元年5月 第94回東京都港湾審議会	令和元年6月	(1)土地利用設計画 ・内港地区の土地利用計画を変更する 港湾関連用地0.3ha→都市機能用地0.3ha	・再開発に伴う居住人口の増加に対応し、都心部とのアクセス確保および交通利便性の向上を図るため
軽易な変更	令和2年1月 第95回東京都港湾審議会	令和2年2月	(1)公共埠頭計画 ・品川ふ頭に550m・水深11.5mの岸壁2バースを計画する(変更) (2)外貿埠頭計画 ・品川ふ頭に195m・水深10mの岸壁1バースを計画する(変更) (3)水域施設計画 ・内港地区に3ha・水深11.5mの泊地、34ha・水深11.5mの航路・泊地を計画する(変更) (4)土地利用計画 ・内港地区の土地利用計画を変更する 埠頭用地13.8ha→埠頭用地16.8ha (5)港湾の効率的な運営に関する事項 ・品川ふ頭に550m・水深11.5mの岸壁2バース、195m・水深10mの岸壁1バースを計画する(変更) (6)大規模地震対策施設 ・品川ふ頭に550m・水深11.5mの岸壁2バースを計画する(変更)	・船舶の大型化及び増加するアジア貨物に対応するため
軽易な変更	令和2年11月 第96回東京都港湾審議会	令和2年12月	(1)公共埠頭計画 ・大井ふ頭その2に280m・水深6.5mの岸壁3バースを計画する(変更) (2)水域施設計画 ・南部地区に2ha・水深6.5mの泊地、6ha・水深6.5mの航路・泊地を計画する(新規) (3)臨港交通施設計画 ・臨港道路中防内6号線を計画する(新規) (4)港湾環境整備施設計画 ・中部地区に緑地3haを計画する(変更) ・中央防波堤地区に緑地83haを計画する(変更) (5)土地利用計画 ・中部地区の土地利用計画を変更する ・中央防波堤地区の土地利用計画を変更する 緑地85.7ha→緑地82.2ha・交通機能用地3.5ha	・船舶の大型化に対応するため ・海の森公園への交通機能を確保するため ・ふ頭の施設計画及びふ頭背後地の利用形態の変化に対応するため ・海の森公園への交通機能を確保するため ・用途廃止された交通機能用地を海の森公園と一体として整備するため
軽易な変更	令和4年1月 第98回東京都港湾審議会	令和4年2月	(1)港湾環境整備施設計画 ・中部地区に緑地6haを計画する(新規) (2)土地利用計画 ・中部地区の土地利用計画を変更する 緑地7.1ha・都市機能用地26.0ha →緑地13.1ha・都市機能用地20.0ha	・臨海副都心のまちづくりに係る計画の変更に対応するため

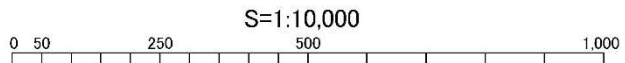
東京港港湾計画図



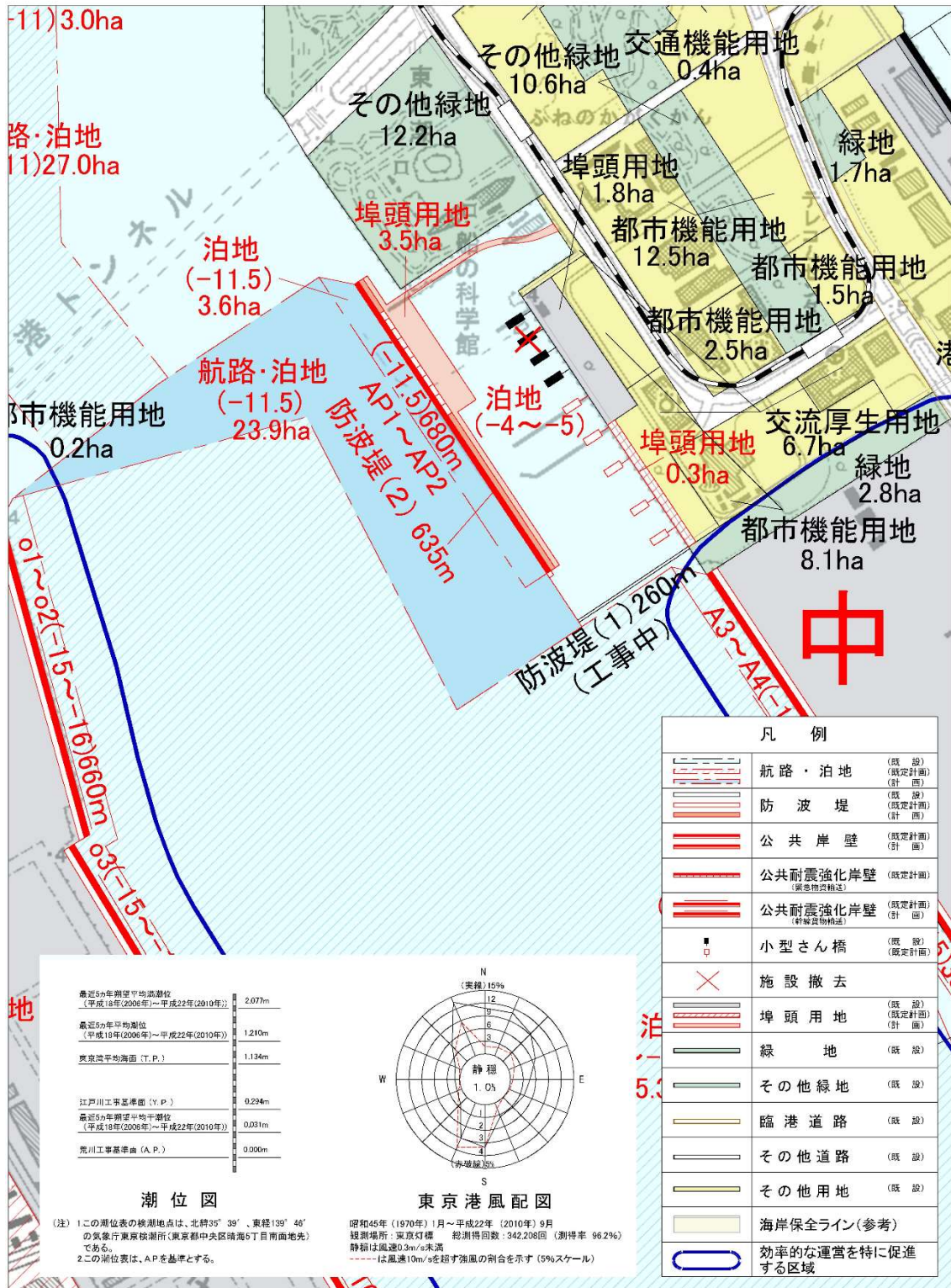
東京港港湾計画図



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平27関復、第17号)



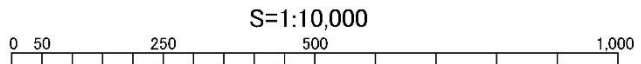
東京港港湾計画図



東京港港湾計画図



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平28情複、第842号)



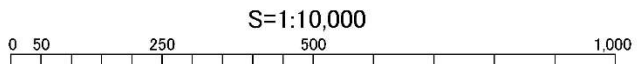
東京港港湾計画図(中部地区)



東京港港湾計画図(中部地区)



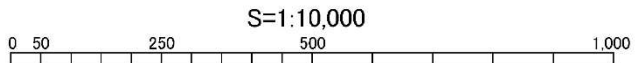
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平29情復、第11114号)



東京港港湾計画図(内港地区)



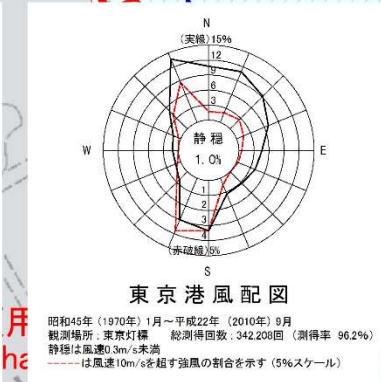
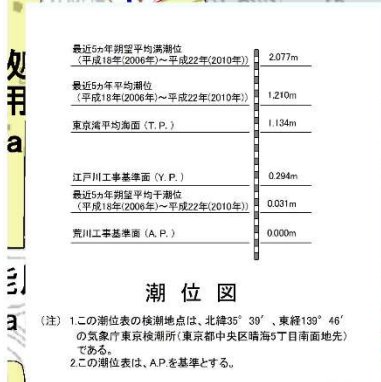
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平30情複、第1602号)



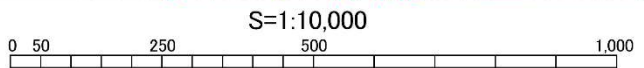
東京港港湾計画図



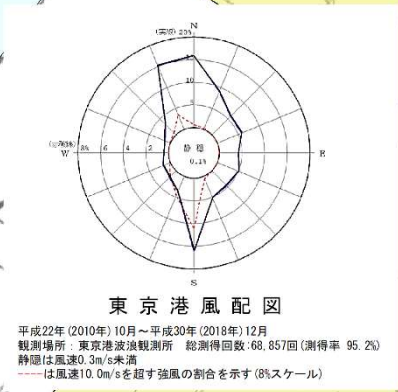
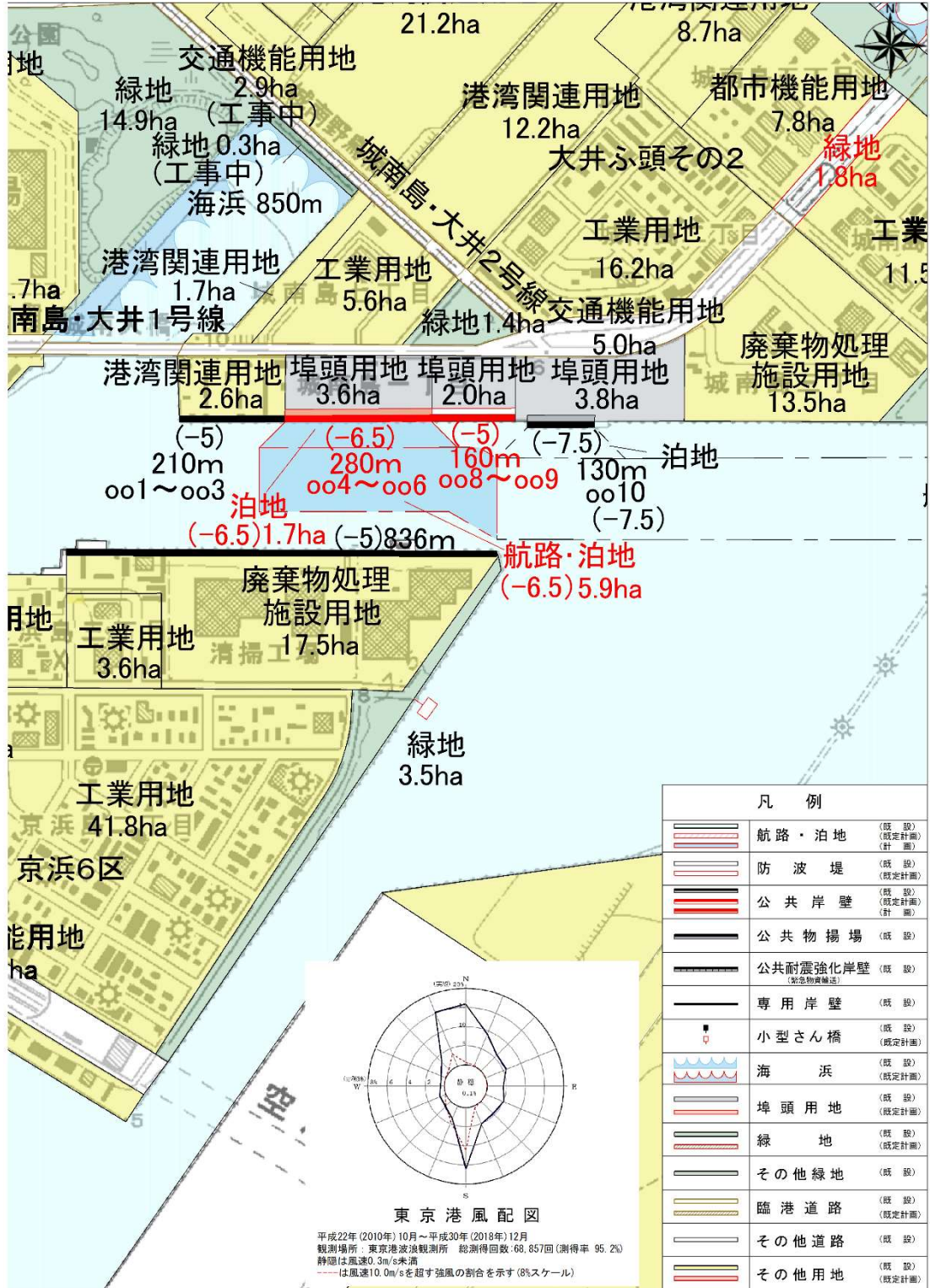
凡 例	
	航路・泊地 (既設) (既定計画) (計画)
	公共岸壁 (既設) (既定計画) (計画)
	公共耐震強化岸壁 (既設) (既定計画) (計画) (緊急物資輸送)
	専用岸壁 (既設) (既定計画) (計画)
	専用ドルフィン (既設) (既定計画)
	小型さん橋 (既設) (既定計画) (計画)
	施設撤去
	海 浜 (既設) (計画)
	埠頭用地 (既設) (既定計画) (計画)
	緑 地 (既設) (既定計画) (計画)
	その他緑地 (既設) (既定計画) (計画)
	臨港道路 (既設) (既定計画) (計画)
	その他道路 (既設) (既定計画) (計画)
	その他用地 (既設) (既定計画) (計画)
	効率的な運営を特に促進する区域



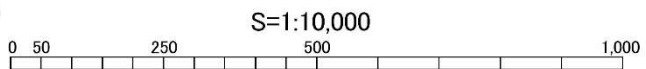
測量法に基づく国土地理院長承認(複製) R2 JHF 277
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。



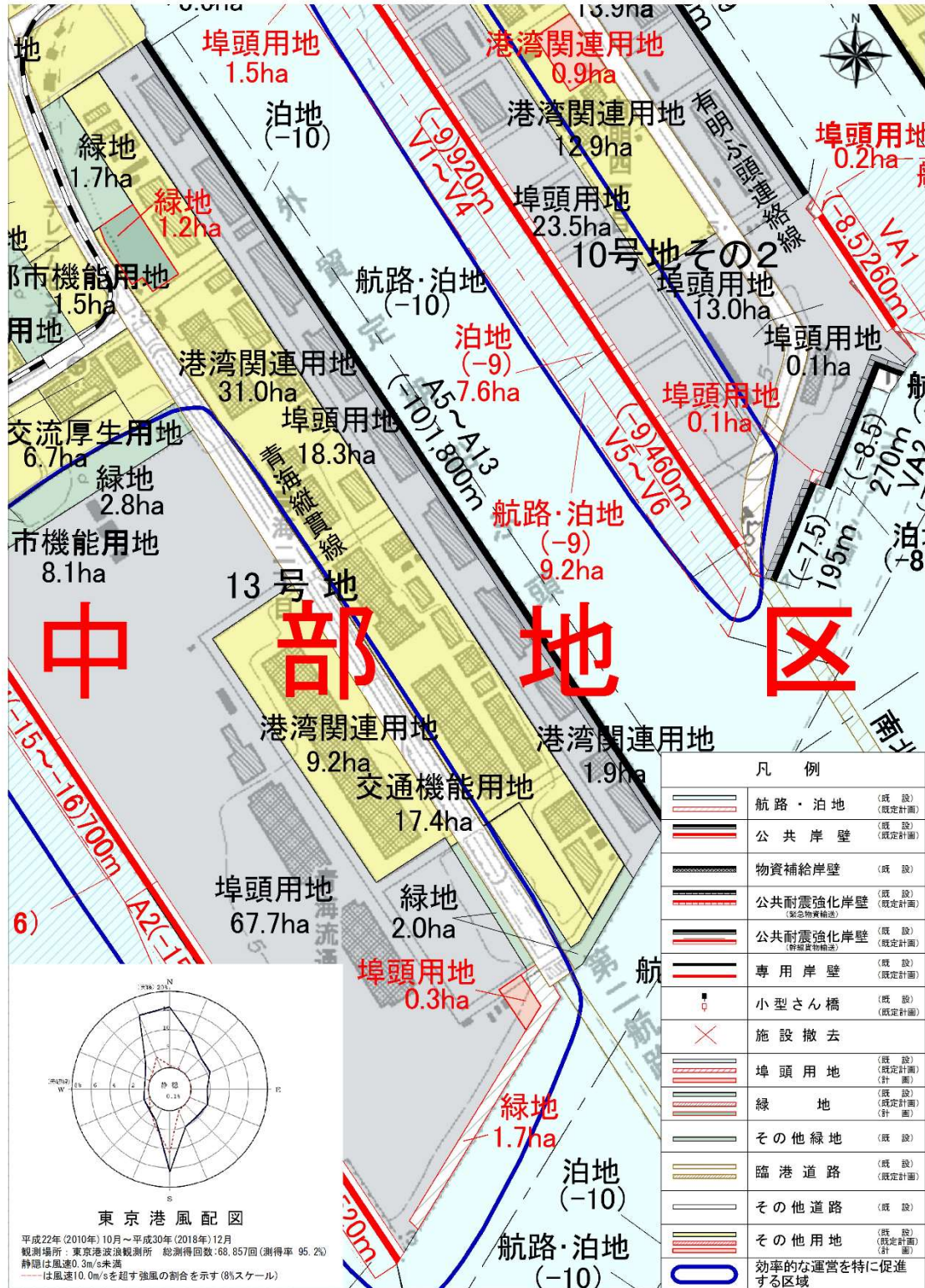
東京港港湾計画図



測量法に基づく国土地理院長承認（複製） R 2JHF 340
 本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

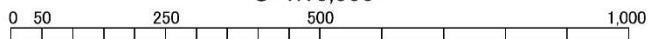


東京港港湾計画図



測量法に基づく国土地理院長承認（複製） R 2JHf 340
 本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

S=1:10,000



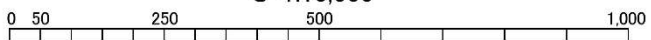
東京港港湾計画図



測量法に基づく国土地理院長承認（複製） R 2JHf 340

本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

S=1:10,000

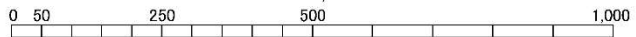


東京港港湾計画図

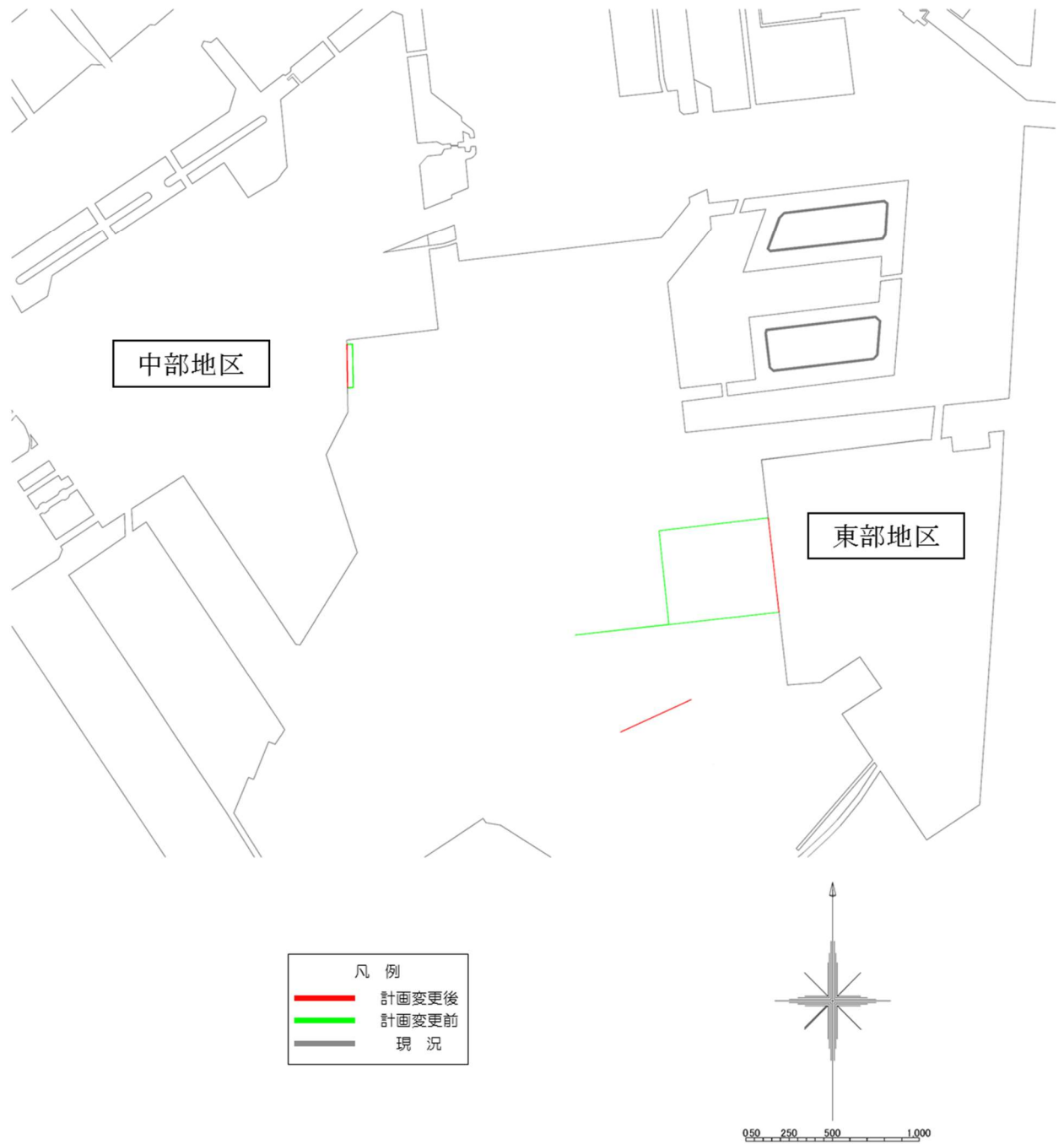


この地図は、国土地理院発行の2万5千分1地形図を使用したものである。

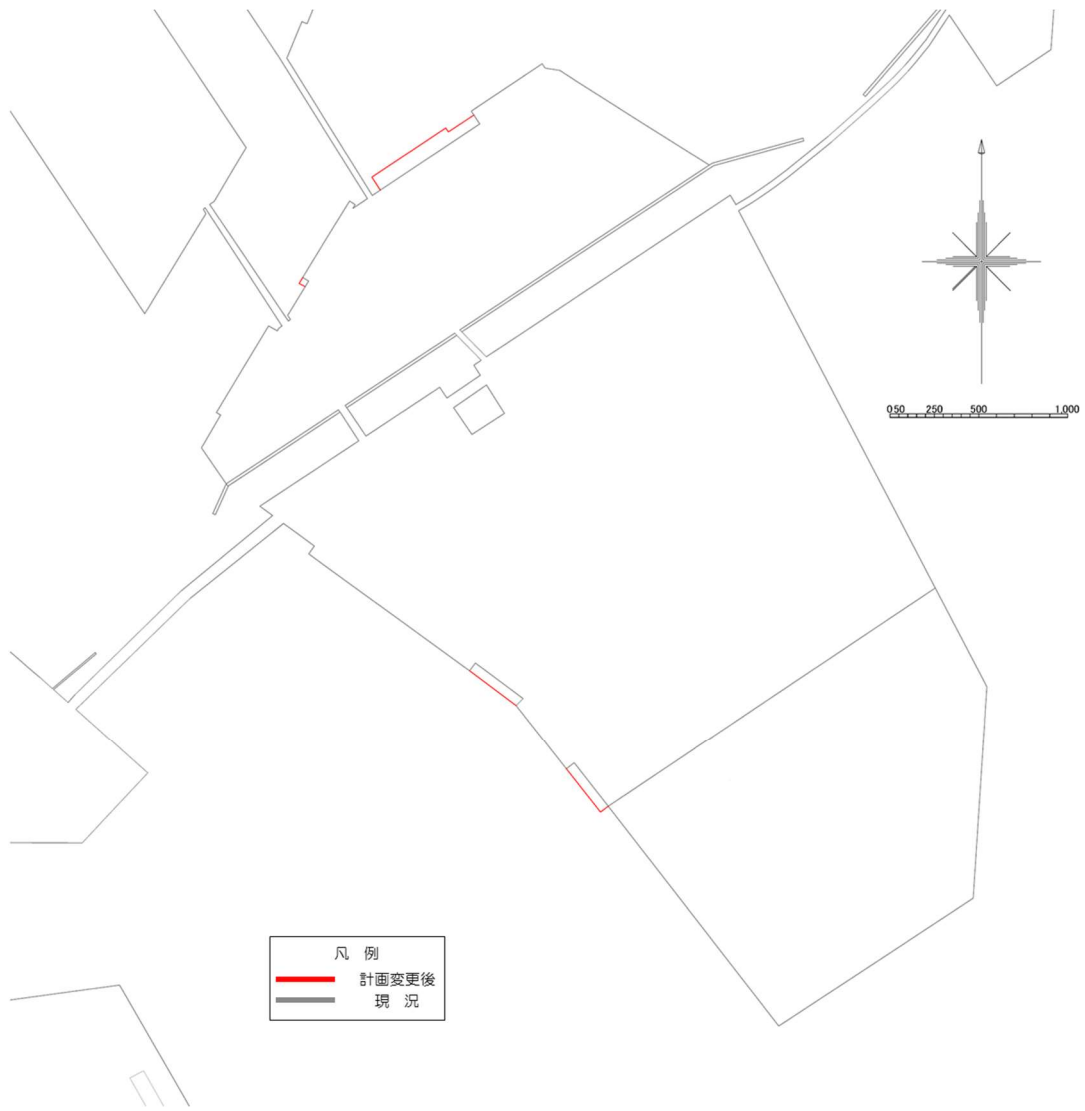
S=1:10,000



6. 新旧法線対象図



図VIII-6-1 新旧法線対照図（中部地区・東部地区）



図VIII-6-2 新旧法線対照図（中央防波堤地区）

7. 東京都港湾審議会委員名簿

令和5年9月11日（順不同）

分野	役職等	氏名
学識経験者 を する 者	日本郵船株式会社 特別顧問	内藤 忠顕
	公益社団法人日本港湾協会 理事長	大脇 崇
	日本機械輸出組合 部会・貿易業務グループ グループリーダー	多田 正博
	東京海洋大学 学術研究院流通情報工学部門 教授	黒川 久幸
	日本大学理工学部まちづくり工学科 准教授	押田 佳子
	東京農業大学地域環境科学部造園科学科 教授	水庭 千鶴子
	立教大学経営学部・ビジネスデザイン研究科 教授	高岡 美佳
	環境カウンセラー	藤野 珠枝
	東京女子大学現代教養学部国際社会学科 教授	二村 真理子
港湾空港技術研究所 所長	河合 弘泰	
港湾・海上公園利用者	一般社団法人東京港運協会 会長	鶴岡 純一
	東京倉庫協会 会長	山崎 元裕
	一般社団法人日本船主協会 企画部長	中村 憲吾
	公益社団法人東京湾海難防止協会 理事長	秋本 茂雄
	東京港湾労働組合連合会 執行委員長	山田 敏也
	全日本海員組合 関東地方支部 地方支部長	高宮 成昭
	一般社団法人東京都レクリエーション協会 副会長	澤内 隆
	都民公募	甲斐田 洋希
都民公募	浅賀 まどか	
港湾区域に隣接する特別区の区長	中央区長	山本 泰人
	港区長	武井 雅昭
	江東区長	木村 弥生
	品川区長	森澤 恭子
	大田区長	鈴木 晶雅
	江戸川区長	斉藤 猛
東京都議員	東京都議会議員	三宅 正彦
	東京都議会議員	菅野 弘一
	東京都議会議員	入江 のぶこ
	東京都議会議員	平 けいしょう
	東京都議会議員	伊藤 こういち
	東京都議会議員	あぜ上 三和子
	東京都議会議員	阿部 祐美子
関係行政機関の職員	東京税関長	源新 英明
	関東地方整備局長	藤巻 浩之
	関東運輸局長	勝山 潔
	東京海上保安部長	木下 敏和
	警視庁交通部長	大窪 雅彦

8. 将来イメージ



